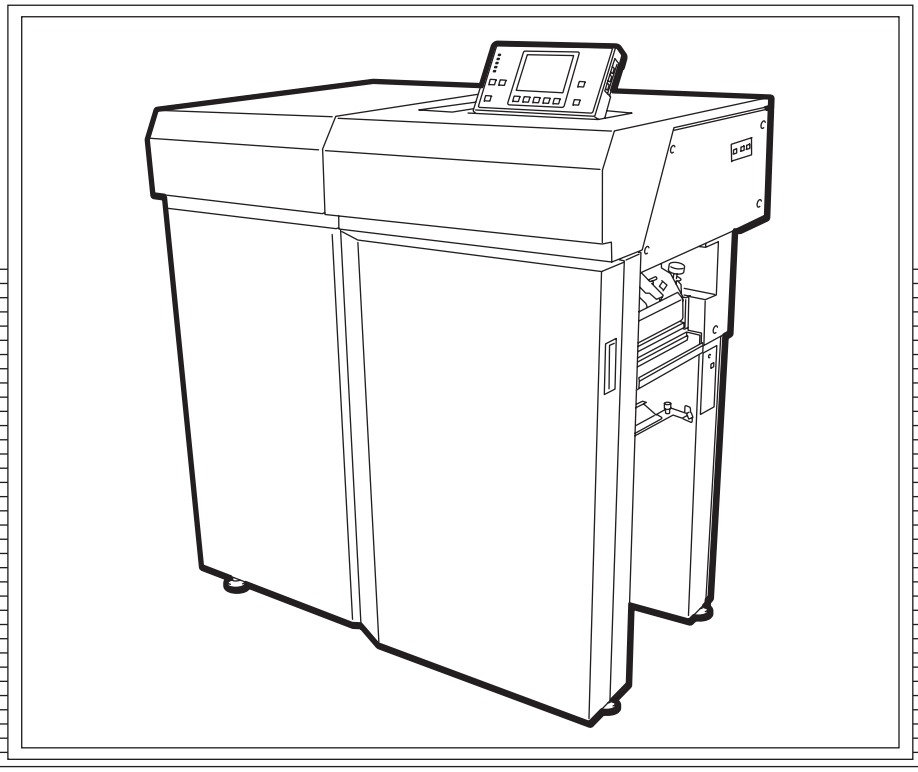
NEC

N1153-029

ページプリンタ

取扱説明書



604E 28384
DE4431J9-2
2013 年 4 月 第 5 版
Printed in Japan

安全にかかわる表示

プリンタを安全にお使いいただくために、本書の指示に従って操作してください。

本書には装置のどこが危険か、どのような危険に遭うか、どうすれば危険を避けられるかなどについて説明されています。
また、装置内で危険が想定される箇所またはその付近には警告ラベルが貼り付けられています。

本書ならびに警告ラベルでは、危険の程度を表す言葉として「警告」と「注意」という用語を使用しています。それぞれの用語は次のような意味を持つものとして定義されています。

⚠警告	人が死亡する、または重傷を負うおそれがあることを示します。
⚠注意	火傷やけがのおそれ、および物的損害の発生のおそれがあることを示します。

危険に対する注意・表示は次の3種類の記号を使って表しています。それぞれの記号は次のような意味を持つものとして定義されています。

△	危険が発生するおそれがあることを示します。記号内の絵表示は危険の内容を図案化したものです。 **（注意の喚起）**	 （感電注意）
⃠	この記号は行為の禁止を表します。記号内や近くの絵表示はしてはならない行為の内容を図案化したものです。**（行為の禁止）**	 （接触禁止）
●	この記号は行為の強制を表します。記号内の絵表示はしなければならない行為の内容を図案化したものです。危険を避けるためにはこの行為が必要です。**（行為の強制）**	 （電源を切断せよ）

本書および警告ラベルで使用する記号とその内容

注意の喚起

	破裂するおそれがあることを示します。		毒性の物質による被害のおそれがあることを示します。
	発煙または発火のおそれがあることを示します。		感電のおそれがあることを示します。
	火傷を負うおそれがあることを示します。		指などがはさまれるおそれがあることを示します。
	けがをするおそれがあることを示します。		特定しない一般的な注意・警告を示します。

行為の禁止

	プリンタを分解・修理・改造しないでください。感電や火災のおそれがあります。		指定された場所には触らないでください。火傷・感電などの傷害が起こるおそれがあります。
	ぬれた手で触らないでください。感電のおそれがあります。		火気に近づけないでください。発火するおそれがあります。

行為の強制

	ブレーカを落としてください。火災や感電のおそれがあります。

商標について

NEC、NECロゴ、FontAvenueは日本電気株式会社の登録商標です。
DocuWorksは富士ゼロックス株式会社の商標です。
Microsoft、Windows、Windows NT、Windows Server、Windows Vista、MS-DOSは米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標または商標です。
画面の使用に際して米国Microsoft Corporationの許諾を受けています。
NetWare、IntranetWareは米国Novell, Inc.の登録商標です。
Macintosh、TrueTypeは、米国およびその他の国々で登録されたApple Inc.の商標です。
IBM、PS/V、PC/ATは米国International Business Machines Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。
Intel、Pentium、Xeon、およびItaniumは、米国およびその他の国におけるインテルコーポレーションまたはその子会社の商標または登録商標です。
UNIXオペレーティングシステムはX/Open Company, Ltd.がライセンスしている米国およびその他の国における登録商標です。
ESC/Pはセイコーエプソン株式会社の登録商標です。
Adobe Reader、Acrobatは米国Adobe Systems Incorporated（アドビシステムズ社）の米国およびその他の国における登録商標または商標です。

その他記載の会社名および商品名は各社の商標または登録商標です。

OSの表記について

Windows 8は、Windows 8 Pro operating system、Windows 8 operating systemの略です。
Windows 7はMicrosoft Windows 7 operating systemの略です。
Windows XPはMicrosoft Windows XP Home Edition operating systemおよびMicrosoft Windows XP Professional operating systemの略です。
Windows XP（64ビット版Windows）はMicrosoft Windows XP operating system, Professional x64 Edition日本語版およびMicrosoft Windows XP operating system, 64-bit Edition日本語版の略です。
Windows Server 2012は、Windows Server 2012 operating system Datacenter Edition、Windows Server 2012 operating system Standard Edition、Windows Server 2012 operating system Essentials Editionの略です。
Windows Server 2008 R2 はMicrosoft Windows Server 2008 R2 operating system の略です。
Windows Server 2008 はMicrosoft Windows Server 2008 operating system の略です。
Windows VistaはMicrosoft Windows Vista Ultimate operating systemおよびMicrosoft Windows Vista Enterprise operating system、Microsoft Windows Vista Business operating system、Microsoft Windows Vista Home Premium operating system、Microsoft Windows Vista Home Basic operating systemの略です。
Windows Server 2003はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Standard Edition およびMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise Editionの略です。
Windows Server 2003（64ビット版Windows）はMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Standard x64 Edition日本語版、Microsoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise x64 Edition日本語版、およびMicrosoft Windows Server 2003 operating system, Enterprise Edition for 64-Bit Itanium-based Systems日本語版の略です。
Windows MeはMicrosoft Windows Millennium Edition operating systemの略です。
Windows 98 Second EditionはMicrosoft Windows 98 Second Edition operating systemの略です。
Windows 98はMicrosoft Windows 98 operating systemの略です。
Windows 95はMicrosoft Windows 95 operating systemの略です。
Windows 2000はMicrosoft Windows 2000 Professional operating systemおよびMicrosoft Windows 2000 Server operating systemの略です。
Windows NT 4.0はMicrosoft Windows NT Workstation operating system Version 4.0、Microsoft Windows NT Server network operating system Version 4.0およびMicrosoft Windows NT Server network operating system Version 4.0 Terminal Server Editionの略です。
複数のOSを記載する場合は、/（スラッシュ）で区切って表記することがあります。
例） Windows 7/XP/2000

ご注意

1. 本書の内容の一部または全部を無断転載することは禁止されています。
2. 本書の内容に関しては将来予告なしに変更することがあります。
3. NECの許可なく複製・改変などを行うことはできません。
4. 本書は内容について万全を期して作成致しましたが、万一ご不審な点や誤り、記載もれなどお気づきのことがありましたら、お買い求めの販売店にご連絡ください。落丁、乱丁本はお取替えいたします。
5. プリンタの機能の一部は使用する環境あるいはソフトウエアによってはサポートされない場合があります。
6. 運用した結果の影響については4項および5項にかかわらず責任を負いかねますのでご了承ください。
7. 本製品を第三者に売却・譲渡する際は必ず本書も添えてください。

© 2013 Fuji Xerox Co., Ltd.

はじめに

このたびはNECのプリンタをお買い求めいただき、まことにありがとうございます。

本書は、N1153-029ページプリンタを正しくお使いいただくための手引きです。

本書には印刷するまでの手順・操作方法やプリンタソフトウエアの設定についての詳しい説明、さらに日常の保守や正しく動作しない場合の対処方法、印刷範囲などの技術情報を記載していますので、ご使用前に必ずお読みください。また、日常使用する上でわからないことや具合の悪いことが起きたときにも、ぜひご活用ください。本プリンタに使用する印刷用紙については、「用紙の規格」（301ページ）を参照してください。

平成25年　4月
第5版

コンピューターウィルスや不正侵入などによって発生した障害については、当社はその責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

万一本体の記憶媒体（ハードディスク等）に不具合が発生した場合、受信したデータ、蓄積されたデータ、設定登録されたデータ等が消失することがあります。データの消失による損害については、弊社は一切その責任を負いませんので、あらかじめご了承ください。

本書の概要

安全にお使いいただくために

プリンタを安全にお使いいただくためにあらかじめ知っておいていただきたい注意事項について説明しています。

1章　各部の名称
プリンタ各部の名称とはたらきについて説明しています。

2章　プリンタソフトウエアのインストールと削除
プリンタ各部の名称とはたらきについて説明しています。

3章　ネットワークでの設定
プリンタソフトウエアのインストールと削除の方法について説明しています。

4章　操作パネルについて
プリンタの操作パネル（ディスプレイ／ランプ／スイッチ）の機能やメニューモードについて説明しています。

5章　操作の手順
用紙のセット方法について説明しています。

6章　プリンタを使いこなす
プリンタドライバについて説明しています。

7章　関連製品
プリンタの機能をさらに活用していただくため、用意された関連製品について説明しています。

8章　日常の保守
プリンタの日常的な保守（トナーの補給、清掃など）の方法について説明しています。

9章　故障かな？と思ったら
プリンタが思うように動作しなかった場合の原因および対処方法について説明しています。

付録　技術情報
N1153-029の仕様など、技術情報について説明しています。

本文中で使用の記号の意味

この説明書では、表紙の裏の「安全にかかわる表示について」で説明した記号のほかに、本文中で次の2種類の記号を使っています。記号はそれぞれ次のように定義されています。

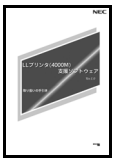
記号	内　容
重要	この注意事項を守らないと、プリンタを含むコンピュータシステムに影響を与える障害が発生するおそれがあることを示しています。
チェック	この注意事項を守らないと、プリンタが正しく動作しない可能性があることを示しています。

LLプリンタ支援ソフトウェアの利用について

N1153-029ページプリンタの専用ソフトウエアとして「LLプリンタ支援ソフトウェア」を別売にて提供しています。
LLプリンタ支援ソフトウェアを利用する場合は、本書に加えてLLプリンタ支援ソフトウェアのマニュアルを併せてご覧ください。
LLプリンタ支援ソフトウェアのマニュアルには製品に添付の「簡単インストールガイド」と添付のソフトウエアCD-ROMに収録されている「取り扱いの手引き」があります（これらのマニュアルでは、N1153-029ページプリンタを「LL4000M」と説明しています）。

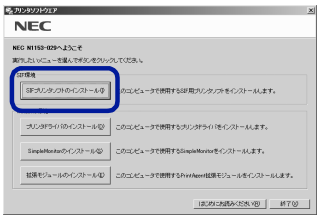
- 簡単インストールガイド
  LLプリンタ支援ソフトウェアのインストール方法から運用時の操作などを説明した小冊子です。

- 取り扱いの手引き
  LLプリンタ支援ソフトウェアに関する詳細な説明が記載されているPDF形式の文書です。



上記のマニュアルの他に、LLプリンタ支援ソフトウェアのライセンスを追加することができる「ライセンスパック」にはライセンスの追加手順が記載された「簡単インストールガイド」が添付されています。ライセンス追加の際に参照してください。
なお、LLプリンタ支援ソフトウェアをインストールするコンピュータでの操作に関して、次の注意を守って本書をお読みください。

- LLプリンタ支援ソフトウェアは、対応するOSがインストールされたNEC Express5800シリーズサーバで動作します。したがって、本書で説明しているOS以外の説明ならびに操作手順は参照しないでください。
- LLプリンタ支援ソフトウェアが対応するOSについては、LLプリンタ支援ソフトウェアのマニュアルをご覧ください。
- LL プリンタ支援ソフトウェアをお使いのコンピュータにインストールする前に、本プリンタのプリンタソフトウエアCD-ROMメニューを使ってプリンタソフトウエアをインストールしてください。また、プリンタソフトウエアのインストールの際は、プリンタソフトウエアCD-ROMメニューの［SIF環境］にある［SIFプリンタソフトのインストール］を選択してください。



- ［Windows環境］でプリンタソフトウエアをインストールしたコンピュータに［SIF環境］用のプリンタソフトウエアを追加でインストールすることはできません。いったんWindowsから本プリンタおよび本プリンタのプリンタドライバを削除した後、Windowsを再起動してから［SIF環境］用のプリンタソフトウエアをインストールし直してください。

その他、LLプリンタ支援ソフトウェアのインストールや設定、ならびに運用に関して不明な点がございましたら、お買い求めの販売店までお問い合わせください。

N1153-029の特長

N1153-029の主な特長を簡単に説明します。

業務効率を向上させるスピード印刷

最新のLED光学技術と転写現像技術を使用し、25.4mm当たり600ドットの解像度で鮮明な画像を毎分4,000行（6行／インチ）の高速度で印刷が可能です。

鮮やかで、滑らかな、優れた印刷品質

多彩なアウトラインフォントを任意のサイズで25.4mm当たり600ドットの高解像度で鮮明に印刷が可能です。

用紙補給時間の軽減が可能

本プリンタはオートローディング機構を有し、簡単な操作で短時間に用紙をセットすることができるので、多種多量の帳票を印刷する場合もオペレータタスク（用紙補給時間）を軽減することができます。

多様な用紙媒体に対応

水平搬送方式の採用により、カード紙やラベル紙などの用紙にも対応しています。

ネットワーク接続

Ethernet経由のネットワーク接続のため、設置場所および設置台数の自由度が高くなっています。また、10Base-T/100Base-TXに加え、1000Base-Tを標準でサポートしています。

目次

安全にかかわる表示 2
本書および警告ラベルで使用する記号とその内容 3
はじめに 5
本書の概要 6
N1153-029の特長 8
目次 9
安全にお使いいただくために 13
警告ラベルについて 13
安全上のご注意 16
法律上の注意事項 21
正しく動作させるために 22
取り扱い上のご注意 24
プリンタの取り扱い 24
用紙の取り扱い 24
消耗品の取り扱い 24
ネットワーク接続時の注意 25
ユーザサポートについて 27
保守サービスについて 27
修理を依頼される前に 27
プリンタの寿命について 28
有寿命部品（定期交換部品）について 28
補修用部品について 28
緊急連絡先について 28

1 章　各部の名称 29

2 章　プリンタソフトウエアの
インストールと削除 37
プリンタソフトウエアCD-ROMについて 38
利用できるネットワーク環境 42
SimpleMonitorについて 45
プリンタソフトウエアのインストール 46
Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/
Windows Vista/Windows Server 2012/
2008 R2/2008/2003/ 日本語版 46
Windows Me/98/95 日本語版 52
NEC Internet Printing System の
インストール 52
プリンタドライバのインストール 54
印刷先の変更 56
Windows NT 4.0 日本語版 57
NEC Internet Printing System の
インストール 57
プリンタドライバのインストール 59
印刷先の変更 61
共有プリンタの設定 62
Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/
Windows Vista/Windows Server 2012/
2008 R2/2008/2003/Windows NT 4.0
日本語版 62
Windows Me/98/95 日本語版 63
プリンタソフトウエアの削除（アンインストール）.. 65
プリンタドライバの削除 65
Windows XP/Windows 2000/
Windows Server 2008/2003 日本語版 65
Windows 8/7/Windows Server 2012/2008 R2
日本語版 66
Windows Vista 日本語版 68
Windows Me/98/95/NT 4.0 日本語版 70
SimpleMonitor の削除 71
ESC/Pエミュレーションで
プリンタを選択する場合について 72

3 章　ネットワークでの設定 73
LANボードについて 74
特長 74
プリンタ内蔵型でさまざまな
ネットワークインタフェースに対応 74
各種ネットワーク OS に対応 74
LAN ケーブルの接続 74
コンフィグレーションページの印刷 75
ネットワークの設定 78
プリンタの主操作パネル
（IP アドレスとサブネットマスクの設定）.... 78
WWW ブラウザ 80
WWW ブラウザの起動 80
画面の構成 82
UNIX コマンド 98
ネットワークポートの作成
（Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/
Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/
2008/2003（日本語版）..... 100

UNIX 用印刷サービス（LPR）を使用して
印刷するには 101
UNIX 用印刷サービスのインストール 101
プリンタドライバのインストール 103
Standard TCP/IP Port（LPR）を使用して
印刷するには 107
より便利なネットワーク機能 112
DHCP 112
DHCP の設定 112
DHCP サーバの設定 115
DHCP の動作について 119
SNMP 120
Get Request・Set Request による管理 120
Trap による管理 125
アクセス制限 126
概要 126
アクセス制限の設定 127
ネットワーク設定の初期化 130

4 章　操作パネルについて 131
主操作パネル 132
ディスプレイ 132
通常表示 133
特定表示 134
ランプ 137
スイッチ 138
電源スイッチ機能 139
通常のスイッチ機能 140
メニューモード時のスイッチ機能 142
［シフト］スイッチを押しているときの
スイッチ機能 143
オートロードパネル 144
スタッカパネル 145
メニューモード 146
メニューモードでの設定変更のしかた 146
メニューモード設定項目一覧 147
メモリスイッチの設定変更のしかた 149
メモリスイッチ設定項目一覧 151
メニューツリー 153

5 章　操作の手順 155
① プリンタの電源をON/OFFする 156
電源の ON 157
電源の OFF 158
② 用紙をセットする 159
用紙の経路 159
用紙長の設定 160
用紙のセット 161
③ 印刷をする 166
印刷の設定と開始 166
印刷動作の一時停止 166
水平・垂直方向に対する印刷位置の調整 167
印刷濃度の調整 169
斜傾防止ガイドの設置 170
④ 印刷された用紙を取り出す 171
スタッカテーブルからの取り出し 171
用紙交換のための取り出し（全排出）..... 173

6 章　プリンタを使いこなす 175
プリンタドライバ 176
サポート用紙サイズ 177
印刷範囲 179
フォーム登録用紙 181
プリンタドライバで印刷する 182
印刷の手順
（Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/
Windows Vista/Windows Server 2012/2008
R2/2008/2003/Windows Me/98/95/
Windows NT 4.0）..... 182
プリンタを選択する
（Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/
Windows Vista/Windows Server 2012/2008
R2/2008/2003/Windows Me/98/95/
Windows NT 4.0）..... 183
N 面付け印刷 184
設定方法 185
論理用紙サイズと可能な N 面付け印刷 187
複数ページ印刷 190
設定方法 191
かんたん設定の使い方 192
設定方法 193
印刷のプロパティダイアログボックス 195
プロパティダイアログボックス
（Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/
Windows Vista/Windows Server 2012/2008
R2/2008/2003）..... 195

プロパティダイアログボックスを開く（Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003）....196
設定の概要（プリンタのプロパティ）（Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003）....198
設定の概要（印刷）（Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003）....202
プロパティダイアログボックス（Windows Me/98/95）....214
プロパティダイアログボックスを開く（Windows Me/98/95）....214
各プロパティシートの設定の概要（Windows Me/98/95）....217
プロパティダイアログボックス（Windows NT 4.0）....230
プロパティダイアログボックスを開く（Windows NT 4.0）....231
設定の概要（プリンタのプロパティ）（Windows NT 4.0）....233
設定の概要（プリンタのドキュメントのプロパティ）（Windows NT 4.0）....237
SimpleMonitor 246

7章　関連製品 249
関連製品の紹介 250
専用ソフトウェア 250
LL プリンタ支援ソフトウェア Ver.1.0 250

8章　日常の保守 251
清　掃 251
清掃用具 251
清掃手順 252
フラッシュランプ部のガラスの清掃 253
トラクタ周辺の清掃 255
前扉の内側・転写チャージャの清掃 257
ADC センサの清掃 258
トナーカートリッジの交換 260
トナーカートリッジ取り扱い上のご注意 261
交換手順 261
廃トナーボックスの交換 264
PCカートリッジの交換 266
消耗品の廃棄と購入 270
消耗品の廃棄 270
消耗品の購入 270
消耗品の指定 270
取り扱い上の注意 270

9章　故障かな？と思ったら 271
印刷がおかしいときは 272
印刷できないとき 272
印刷に異常が見られるとき 273
思うように印刷できないとき 276
用紙が正しくスタックされないとき 277
アラーム表示が出ているときは 278
ネットワークで思うように印刷できないときは 286
用紙ジャムのときは 289
用紙ジャムの処理 290
転写前部から用紙の切り離し 291
スタッカ部から印刷済み用紙の切り離し 291
フラッシュランプ、インナユニット、およびフィードローラ部の開放 292
転写後部から用紙の開放 293
プリンタ内に残留している用紙の取り除き 294
用紙ジャム処理後の確認 295
保守員を呼ぶ前に 296

付録　技術情報 297
仕　様 298
添付品 300
用紙の規格 301
用紙の紙質 301
用紙坪量（連量）....301
折りたたみ長さおよび用紙幅 301
印刷可能領域 302
送り孔 302
ミシン目 304
バインダ孔、カットの禁止領域 310
プレプリント用紙（事前印刷用紙）....311
特殊紙 313
印刷保証範囲 325
用紙の保管条件 326

保管条件 326
保管形態 326
印刷物の保存について 327
用紙設計および管理の指針 328
印刷データ設計のアドバイス 330
エミュレーションの切り替え 332
NPDLの初期状態 333
制御コード 335
テキストモード 336
図形モード 339
ESC/P エミュレーション
サポートコマンド 340
機能拡張制御コード 341
テキストモード 341
図形モード 341
文字スタイル制御コード 342
行桁制御印刷コード 345
文字ロード 346
バーコードの印刷 349
面制御コード 355
ページ制御コード 356
領域指定イメージ 361
座標指定単位設定 362
文字セット制御コード 363
カスタマバーコードの印刷 364
漢字コード表切り替えのための
制御コード 374
ソータ制御コード 375
図形の描画コード 376
プリンタ単位指定 380
塗りつぶしに関する設定 381
楕円弧描画 383
弓形描画 384
扇形描画 385
角丸矩形描画 386
ESC/Pエミュレーション 387
文字の種類 391
内蔵文字の種類 391
文字間隔 392
文字構成 392
文字コード表 394
1 バイト系コード表 395
2 バイト系コード表 396
用語解説 403
索　引 409

安全にお使いいただくために

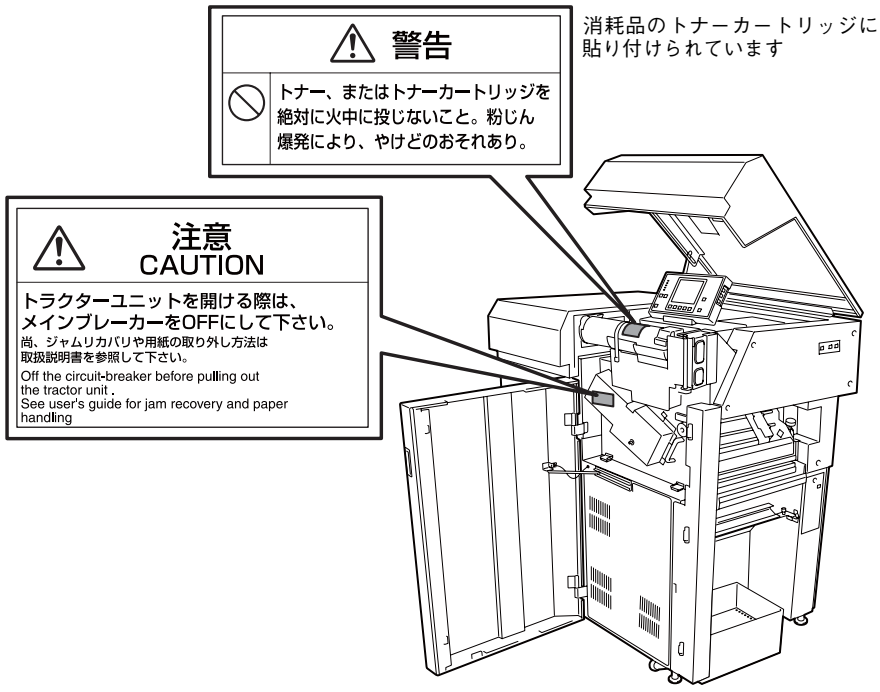
警告ラベルについて

N1153-029ページプリンタ内の危険性を秘める部品やその周辺には、警告ラベルが貼り付けられています。これはプリンタを操作する際、考えられる危険性を常にお客様に意識していただくためのものです。

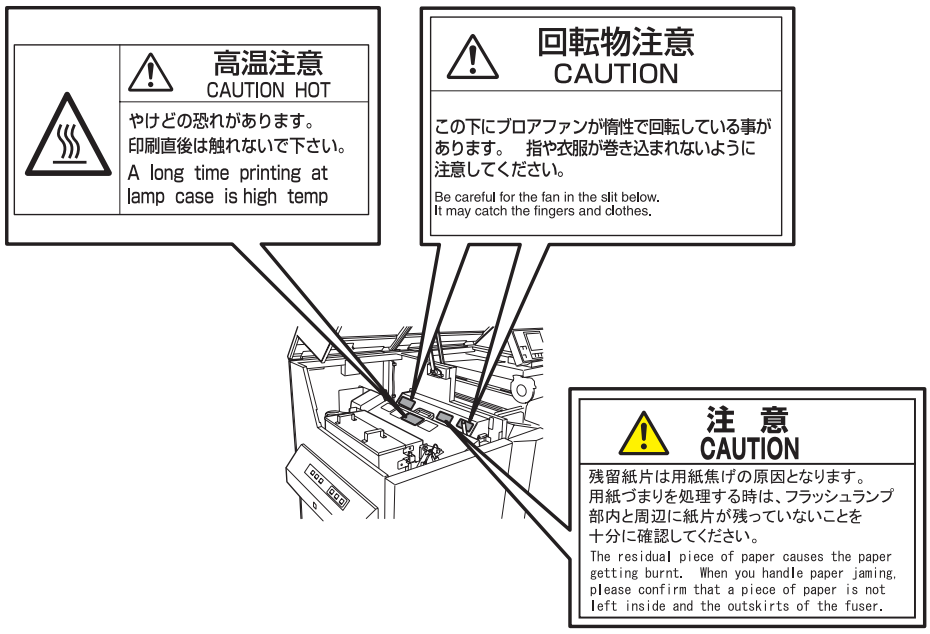
もしこのラベルが貼り付けられていない、はがれかかっている、汚れているなどして判読できない状態でしたら、販売店までご連絡ください。

事故が発生した場合は「メインブレーカ」（35ページ）を落としてすぐに保守員に連絡してください。そのまま使うことのないようにしてください。

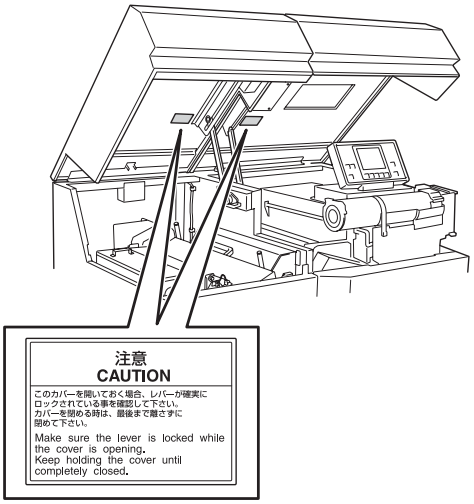
メインブレーカが落ちた場合には再投入せずに保守員に連絡してください。



図A　本体右前面



図B　本体左側内部


注意
CAUTION
このカバーを開いておく場合、レバーが確実にロックされている事を確認して下さい。
カバーを閉める時は、最後まで離さずに閉めて下さい。
Make sure the lever is locked while the cover is opening.
Keep holding the cover until completely closed.

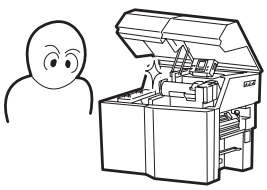
図C　本体カバー裏側

安全上のご注意

ここで示す注意事項はプリンタを安全にお使いになる上で特に重要なものです。この注意事項の内容をよく読んで、ご理解いただき、プリンタをより安全にご活用ください。記号の説明については表紙の裏の「安全にかかわる表示について」を参照してください。

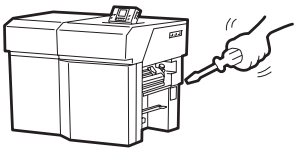
警告

プリンタの内部をのぞかない



光源部（フラッシュ光など）を直接見ないでください。目を傷めるおそれがあります。

分解・修理・改造はしない

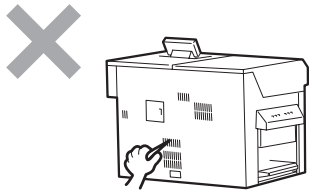


ネジで留められているカバー類を外さないでください。感電、火傷、けがのおそれがあります。

煙や異臭、異音がしたら使わない

万一、発熱、煙、異臭、異音が発生したら、すぐに電源を切断（装置背面のブレーカを落とす）した上で、保守員に連絡してください。そのまま使用すると感電や火災のおそれがあります。

煙針金や金属片を差し込まない

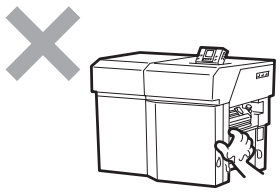


通気孔などのすきまから金属片や針金などの異物を差し込まないでください。感電のおそれがあります。

メインブレーカが落ちた場合には再投入せずに保守員に連絡してください。

警告

ぬれた手で装置や電源ケーブルを触らない

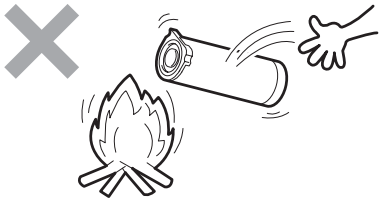


ぬれた手で装置や電源ケーブルを触らないでください。感電するおそれがあります。

掃除機でトナーを吸い取らない

床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らせた布などでふき取ってください。掃除機で吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

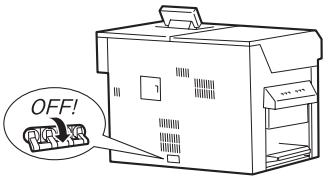
トナー、トナーカートリッジおよびPCカートリッジを火の中に入れない



使用済みのトナー（廃トナーボックスを含む）、トナーカートリッジ、およびPCカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。
異臭が発生します。廃却時には、不燃物の扱いにしてください。

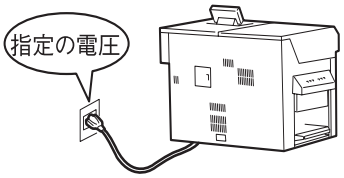
⚠ 注意

お手入れの際はメインブレーカをOFFにして



清掃などのお手入れの際はメインブレーカをOFFにしてください。感電やけがをすることがあります。

正しい電圧で



電源は必ず指定された電圧をお使いください。指定された以外の電圧を使うと火災や漏電になるおそれがあります。

電源ケーブルに薬品類をかけない

清電源ケーブルに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。

電源ケーブルを引っ張らない

電源ケーブルを無理に引っ張らないでください。電源ケーブルを引っ張ると、火災や感電の原因となるおそれがあります。また、電源ケーブルの装置本体と配電盤の接続、取り外しは、必ず保守員にご指示ください。

損傷した電源ケーブルは使わない

電源ケーブルが損傷した場合は、すぐにプリンタの電源をOFFにし、保守員に連絡してください。また、損傷部分を補修してお使いにならないでください。ビニールテープなどで補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。

電源ケーブルは曲げたりねじったりしない

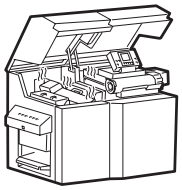
電源ケーブルを無理に曲げたりねじったり、束ねたりしないでください。また重いものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。コードが破損し、感電や火災の原因となることがあります。また、電源ケーブルの装置本体と配電盤の接続、取り外しは、必ず保守員にご指示ください。

⚠ 注意

カバーを閉じるときは

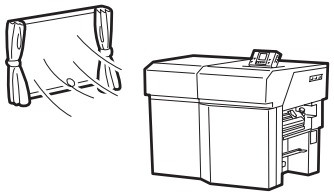
動作中にカバーを開けて手や指や顔を入れないでください。けが（指を挟むなど）のおそれがあります。
装置上面のフードカバーやフューザカバーを閉じるときは、カバーの自重で手などが挟まれてけがをする場合があります。両手で確実にゆっくり閉じてください。

高温注意



動作中または動作直後のフラッシュランプ部は高温になっています。用紙ジャムの解除などでカバーを開けて、フラッシュランプ部を開く場合は、取っ手を利用して開けてください。また、ジャム用紙を取り除く場合は、高温部に十分注意してください。

換気を十分に



装置が置かれた部屋の換気をしてください。オゾンなどが発生し、気分が悪くなるおそれがあります。

ほこり・湿気の多い場所に置かない

プリンタをほこりの多い場所や湿気の多い場所には置かないでください。火災になるおそれがあります。

腐食性ガスの存在する環境、ほこりや空気中に腐食を促進する成分、導電性の金属などが含まれている環境で使用、保管しない

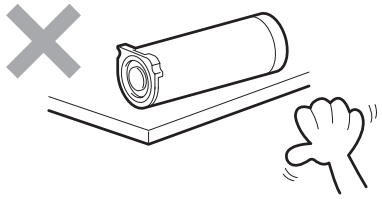
腐食性ガス（二酸化硫黄、硫化水素、二酸化窒素、塩素アンモニア、オゾンなど）の存在する環境、腐食を促進する成分（塩化ナトリウムや硫黄など）が含まれている環境に設置し使用しないでください。
装置内部のプリント板が腐食し、故障および発煙、発火の原因となるおそれがあります。
もし、ご使用の環境で上記の疑いがある場合は、販売店または保守サービス会社にご相談ください。

プリンタ内に異物を入れない

コーヒーなどの液体やクリップなどの金属片が装置内部に入らないように気をつけてください。
感電や火災のおそれがあります。また、装置内部に異物が入るのを防ぐため、装置の上に物を置かないでください。

⚠ 注意

お子様に注意

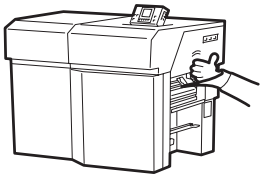


トナーカートリッジはお子様の手の届かない所に保管してください。
また、トナーを目や口に入れないでください。トナーの交換時は添付のビニール手袋を着用してトナーが手に付かないようにしてください。もし、手についた場合は速やかに洗い落とし、目や口に入れないでください。トナー・現像剤をこぼしたときなどにこの粉塵を長いあいだ多量に吸い込むと、肺に影響を及ぼす場合がありますので、ご注意ください。
また、このようなときには、速やかに医師に相談してください。

20kg以上の物を移動する時は2人以上で

20kg以上の物は一人で運ばないでください。
必ず2人以上で運んでください。
腰や手を傷めるおそれがあります。

巻き込み注意



印刷中の用紙といっしょに衣服の袖やネクタイ、髪を巻き込まれないように注意してください。
巻き込まれてけがをするおそれがあります。

法律上の注意事項

1. 本物と偽って使用する目的で次の通貨や有価証券を複製することは、犯罪として厳しく処罰されます。

   □ 紙幣（外国紙幣を含む）、国債証書、地方債証書、郵便為替証書、郵便切手、印紙。これらは、本物と偽って使用する意図がなくても、本物と紛らわしいものを作ること自体が犯罪になります。

   □ 株券、社債、手形、小切手、貨物引換証、倉荷証券、クーポン券、商品券、鉄道乗車券、定期券、回数券、サービス券、宝くじ・勝馬投票券・車券の当たり券などの有価証券。

2. 次の文書や記名捺印などを複製・加工して、正当な権限なく新たな証明力を加えることは、犯罪として厳しく処罰されます。

   □ 各種の証明書類など、公務員または役所を作成名義人とする文書・図画。

   □ 契約書、遺産分割協議書など私人を名義人とする権利義務に関する文書。

   □ 推薦状、履歴書、あいさつ状など、私人を名義人とする事実証明に関する文書。

   □ 役所または公務員の印影、署名、記名。

   □ 私人の印影または署名。

3. 著作権が存在する書籍、新聞、雑誌、冊子、絵画、図画、版画、図面、地図、写真、映像、映画、音楽、コンピュータープログラムなどの著作物は、権利者の許諾なく、次の行為はできません。

   （1）複製　紙に定着させた著作物を複写機でコピーすること、磁気テープに記録した映像や音楽をダビングすること、電子的に読み取った著作物のデータをハードディスクや外部メディアに記録すること、記録した著作物のデータをプリンターで出力すること、ネットワークを介してダウンロードすることなど。

   （2）改変　紙に定着させた著作物を加工や修正すること、電子的に読み取った著作物のデータを切除、書き換え、切り貼りすることなど。

   （3）送信　電子的に読み取った著作物のデータを、公衆の電気通信回線（インターネットを含む）を通じてファクシミリや電子メールで送信すること、ホームページへの掲載など、公衆の電気通信回線に接続したネットワークサーバーに著作物のデータを搭載することなど。

   権利者の許諾なく複製・改変・送信したときは、使用の差止、損害賠償の請求、刑事罰を受けることがあります。ただし、次の場合は例外的に権利者の許諾なく著作物を複製することができます。

   □ 個人的または家庭内、その他これに準ずる生活範囲での私的な使用を目的とした複製。

   □ 国立図書館、私立図書館、学校付属施設、公立の博物館、公立の各種資料センター、公益目的の研究機関など、公衆利用への提供を目的とする図書館等における複製。

   □ 公正な慣行に合致し、報道・批評・研究など、目的に照らして、正当な範囲内での引用。

   □ 国または地方公共団体が発行する公報資料・調査統計資料・報告書の新聞・雑誌・その他刊行物への転載。ただし、複製禁止の表示がある著作物は除かれます。

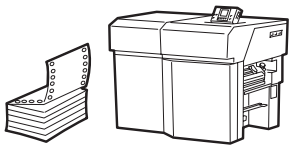
   □ 学校教科書への掲載。ただし、権利者への補償金が必要です。

   □ 学校その他教育機関における複製。ただし、種類・用途・部数・態様に照らして、権利者の利益を不当に害しない範囲内に限ります。

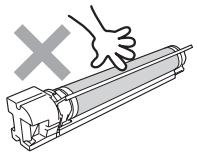
   □ 試験問題としての複製。ただし、権利者への補償金が必要です。

正しく動作させるために

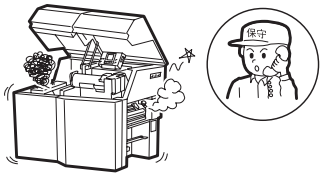
プリンタを正しく動作させるために、次に示す注意事項を守ってください。



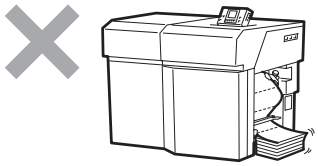
印刷用紙は「用紙の規格」（301ページ）で規定されたものをお使いください。



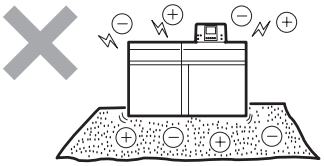
用紙のセットまたは消耗品の交換時にPCカートリッジのドラムに触れないでください。もし、触れてしまったときは、保守員に清掃をご指示ください。



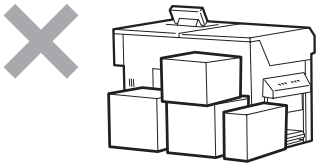
もし故障が発生し、復旧不可能と判断された場合は、すみやかに保守員に連絡してください。
メインブレーカが落ちた場合には再投入せずに保守員に連絡してください。



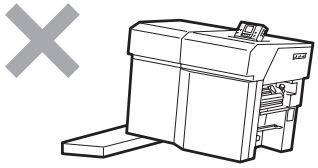
用紙をセットしたまま放置しないでください。印刷業務終了後は用紙をプリンタから取り除いてください。



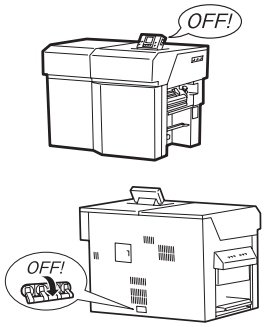
じゅうたんを敷いた場所では使用しないでください。静電気による障害でプリンタが正しく動作しないことがあります。



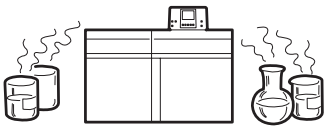
装置内部が高温になるため、通気孔をふさがないでください。
火災のおそれがあります。



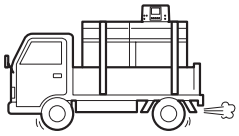
上から物が落ちてきそうな場所、不安定な場所にはプリンタを置かないでください。けがやプリンタの損傷の原因となることがあります



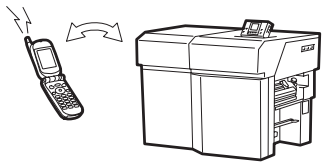
プリンタ内部に物を落としてしまったときは、すぐ電源をOFFにしメインブレーカをOFFにしてください。もし取り出せないようでしたら保守員にご連絡ください。



腐食性ガスの発生する場所にはプリンタを置かないでください。部品が変形したり、傷んだりしてプリンタが正しく動作しなくなることがあります。



プリンタの移設や撤去については保守契約に基づいて実施してください。



携帯電話、PHSをプリンタの近くで使用しないでください。プリンタが異常動作するおそれがあります。

取り扱い上のご注意

プリンタを安全に故障なく使用するために、次の事項について注意してください。

プリンタの取り扱い

- 日常の点検、清掃を必ず行ってください。
- プリンタを長時間にわたって使用しないときは、メインブレーカをOFFにしてください。
- 『高温注意』、『高圧注意』の場所には触れないでください。
- 指定された場所以外のプリンタ内部をむやみに触れないでください。
- 用紙のセットまたは消耗品の交換時にPCカートリッジに触れないでください。もし、触れてしまったときは、保守員に清掃をご指示ください。
- もし障害が発生し、自分では修復できないと思った場合は、速やかに保守員に連絡してください。
- 印刷濃度は、印刷データの文字数大小や、印刷用紙の違い、使用環境温湿度、装置機差によって異なります。濃度調整機能を利用して調整してください。
- 初めてお使いいただく場合には、必ず当社の保守員から操作方法の説明を受けてください。正しい操作以外の手順で操作を行うと、思わぬけがをするおそれがあります。本書を熟読してください。
- 印刷パターンによっては用紙の折り畳み（スタック性）が劣る場合があります。
- メインブレーカが落ちた場合には再投入せずに保守員に連絡してください。
- コンビニバーコード（GS1-128）の読取りグレードはバーコード生成条件や印字状態によって変動しますので、事前テスト時のグレード確認だけではなく、本番印刷直前に印字品質の確認（できれば保守点検の実施）と本番印刷の都度バーコードの印刷状態を点検しバーコードスキャナにて読み取り確認をされることを推奨いたします。
- 一度印刷した用紙の裏面に印刷をすると、最初に印刷した面に汚れが付着したり、印刷した文字が不鮮明になることがあるため、裏面印刷はしないようにしてください。

用紙の取り扱い

- 印刷用紙は「用紙の規格」（301ページ）で規定されたものをお使いください。
- 転写部からフューザ部に入る前の印刷された用紙は、まだトナーが用紙に定着していないので、触れないでください。
- 用紙をセットしたまま放置しないでください。印刷業務終了後は用紙を排出しておいてください。
- 夜間など、プリンタの電源を OFF にする際は必ず用紙を排出してください。用紙をプリンタ内にセットしたまま電源をOFF/ONすると、正しい印刷位置で印刷できない場合があります。
- 本プリンタのスタッカ容量は、坪量81.4g/m^2（連量70kg）用紙で2000枚です。

消耗品の取り扱い

消耗品は保管条件を守ってください。

ネットワーク接続時の注意

ISDNルータ等を使用し、公衆回線を通じて遠隔地のLANと接続して使用する場合は、次のことにご留意ください。

遠隔地にあるNetWareファイルサーバのSAPパケットをルータが通過する設定で使用すると、SAP情報により遠隔地のNetWareファイルサーバに対して定期的に接続を試み、回線利用料金を増加させる場合があります。
このようなLAN環境下で特に遠隔地のNetWareファイルサーバにネットワークを接続させる必要がない場合は、必ずSAPパケットを遮断するか、接続するファイルサーバを回線利用を行わないように設定してください。

メ　モ

ユーザサポートについて

N1153-029ページプリンタは、より良い装置状態を維持するために保守契約が必須となります。契約内容の詳細については、ご購入いただいた販売店、または保守員にお問い合わせください。

保守サービスについて

保守サービスはNECが指定した保守サービス会社によってのみ実施されます。部品交換は純正部品を使用することはもちろん、技術力においてもご安心いただけます。

重要

本プリンタの性能維持のために保守員による定期交換が必要な部品があります。また部品交換以外に定期点検を行う必要があるため、ご購入いただくお客様には保守契約を結んでいただきます。

修理を依頼される前に

「故障かな？」と思ったら、修理を依頼される前に以下の手順を実行してください。

① 定期的な清掃を行っていたか確認してください。
② 9章「故障かな？と思ったら」をご覧ください。該当する症状があれば、記載されている処理を行ってください。

以上の処理を行ってもなお異常があるときは、無理な操作をせず、保守員にご連絡ください。その際にディスプレイのアラーム表示の内容もお知らせください。故障時のディスプレイによるアラーム表示は修理の際の有用な情報となることがあります。

重要

このプリンタは日本国内仕様のため、海外でご使用になることはできません。

プリンタの寿命について

製品寿命*1は印刷枚数900万枚（用紙長279.4mm（11インチ）用紙を1枚とします）、または使用年数5年のいずれか早いほうです。

*1 N1153-029は有寿命部品（定期交換部品）の交換が必要です。有寿命部品（定期交換部品）の交換については販売店にご相談ください。

有寿命部品（定期交換部品）について

プリンタの機能・性能を維持するために、定期的に交換しなければならない部品を「有寿命部品（定期交換部品）」と呼んでいます。有寿命部品（定期交換部品）の交換の目安は、印刷可能ページ数または稼動時間によって定義されています。本製品の有寿命部品（定期交換部品）、および印刷可能ページ数または稼動時間は以下のとおりです。

有寿命部品（定期交換部品）*1	印刷可能ページおよび稼働時間（参考値）	個　数
現像剤	7,500分（450,000ページ相当）	1
現像器キット	15,000分（900,000ページ相当）	1
エアフィルタ	450,000ページ	1
オゾンフィルタセット	450,000ページ	1
キセノンランプ	900,000ページ	1
フィードローラ	900,000ページ	1
転写チャージャ	900,000ページ	1
ジョデンフセット*2	約1,800,000ページ	1
リトラクションユニット*2	約1,800,000ページ	1
パドルセット*2	約1,800,000ページ	1
現像モータギア*2	約1,800,000ページ	1

*1 有寿命部品(定期交換部品)の交換は、保守契約を結んでいただき保守員が実施します。なお、有寿命部品（定期交換部品）費用は有償となります。

*2 各有寿命部品（定期交換部品）の印刷可能ページ数は、使用条件により変動し、参考値と大きく異なることがあります。

補修用部品について

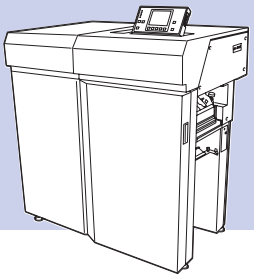
プリンタの補修用部品の保有期間は製造打ち切り後5年です。

緊急連絡先について

本装置の販売元、営業などに事故発生時の緊急連絡先の記入をご依頼ください。

緊急連絡先 _____
TEL： _____
FAX： _____
所在地： _____

1章
各部の名称



この章では、プリンタの各部の名称とはたらきについて説明します。プリンタを使用する前にそれぞれの名称と位置を確認してください。

チェック

ここで紹介していない部品は、日常の運用において特に操作する必要のないもの、またはお客様による操作を禁止しているものです。誤動作などの原因となるため、操作しないよう注意してください。

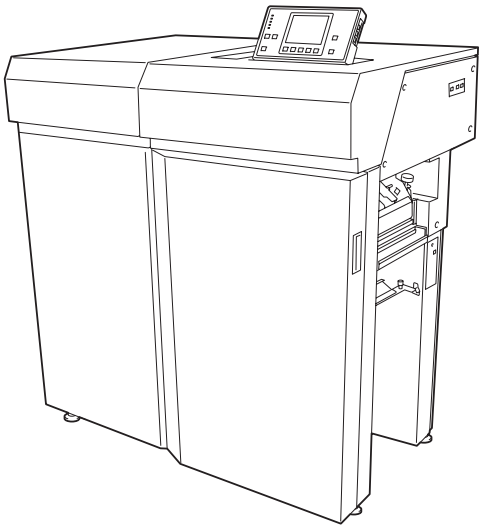


図1-1　外観図

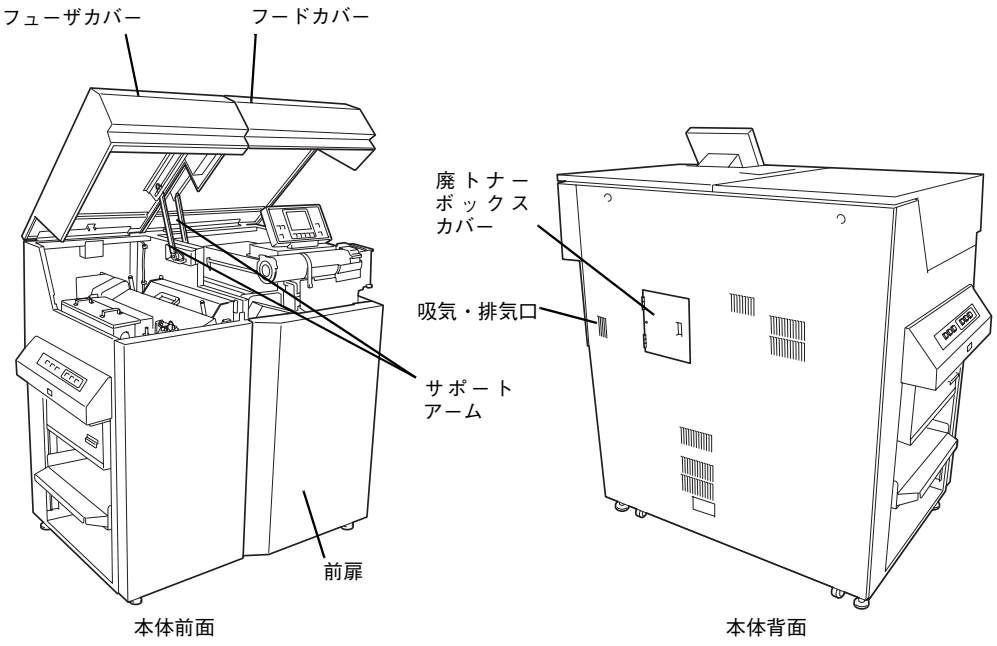


図1-2　カバー関連

フューザカバー
本体左側のフューザ部の部品を覆うカバー。用紙ジャムを解除する際にも開く。

フードカバー
本体右上側を覆うカバー。用紙ジャムを解除する際にも開く。

サポートアーム
フードカバーやフューザカバーを開く際、正しく開くために案内をするサポートアーム。開いたカバーを固定する役割も持つ。

前扉
本体右下側を覆うカバー。消耗品の交換の際にも開く。本体右側面の手前にカバーを開くための取っ手がある。

廃トナーボックスカバー
本体背面に設置されている廃トナーボックスを覆うカバー。廃トナーボックスの交換の際に開く。

吸気・排気口
プリンタ内部の温度を下げるための穴。

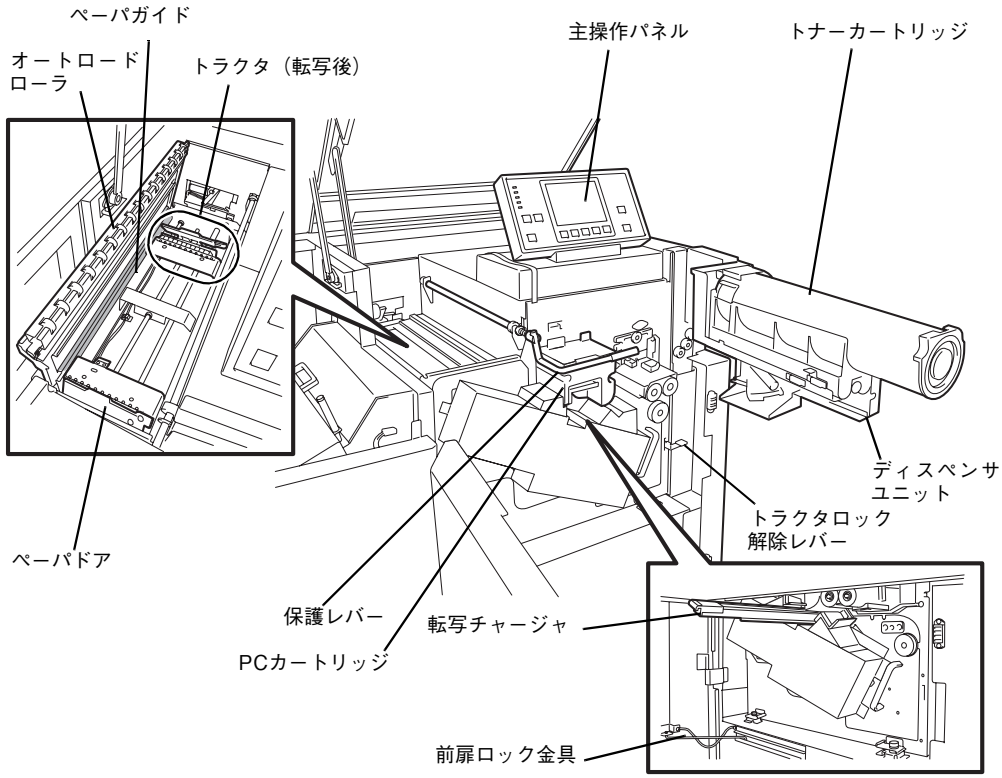


図1-3　前面転写部

主操作パネル
プリンタの電源のON/OFFおよび状態を表示するディスプレイやランプ、およびプリンタの各種設定を行うためのスイッチをまとめたパネル。

トナーカートリッジ
本プリンタで使用するトナーが充てんされたカートリッジ（消耗品）。トナーが無くなったらカートリッジごと交換する。

ディスペンサユニット
トナーカートリッジを取り付ける場所。トナーカートリッジ内のトナーをプリンタ本体内部へ搬送する。

トラクタロック解除レバー
トラクタユニットの引き出しや押し込みの際、ロックを解除するレバー。

PCカートリッジ
印刷イメージを現像する感光ドラム（消耗品）。

保護レバー
PCカートリッジを固定する保護用のレバー。

転写チャージャ
PCカートリッジに現像されているトナーを用紙へ転写するための部品（定期清掃部品）。

前扉ロック金具
前扉を開いた状態を保持する金具。閉じるときはロックを解除してから前扉を閉じる。

オートロードローラ
プリンタ内に搬送された用紙をトラクタへと導くためのガイド。用紙ジャムの際に開く。

ペーパガイド（グレー色で示すスロット部）
トラクタ部からプリンタ左側のフューザ部へと送るアーム（定期清掃部品）。

トラクタ（転写後）（丸で囲んだ部分）
用紙をスタッカへ送り出すための機構部品。トラクタ、トラクタピン、ペーパドアなどから構成されている（定期清掃部品）。

ペーパドア（左右に各1つ）
トラクタにセットされた用紙の保持および用紙ジャムの際などに用紙を開放する際に開くドア。

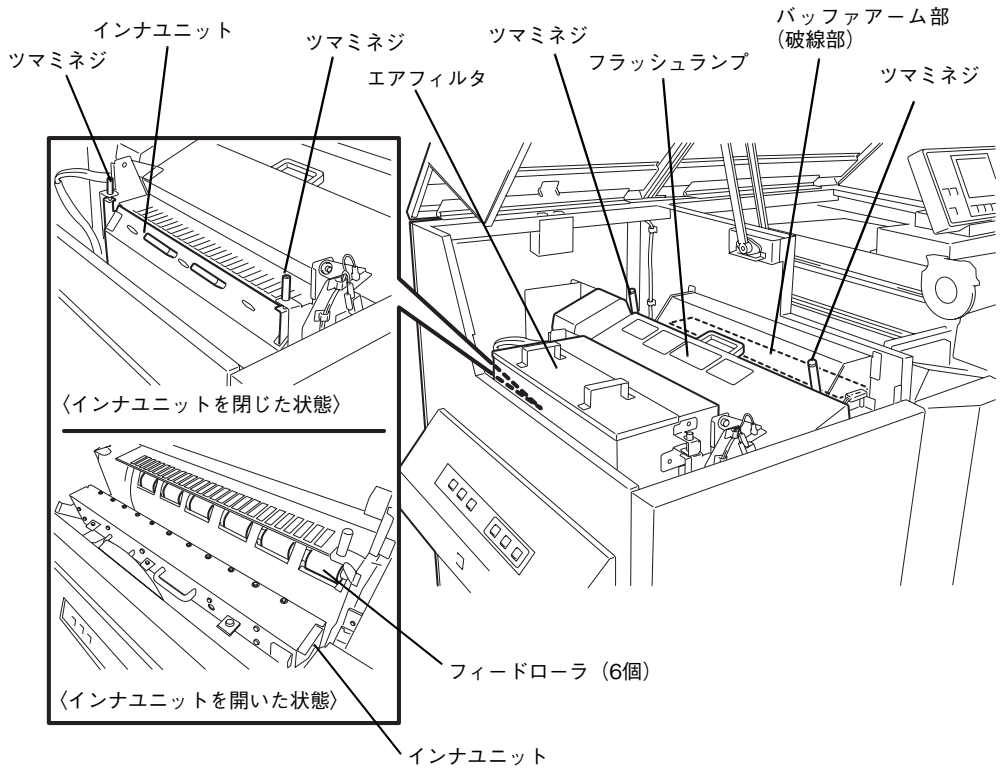


図1-4　前面フューザ部

エアフィルタ
プリンタ内部の空気をフィルタする部品。用紙ジャムの際に取り外す。

ツマミネジ
インナユニットまたはフラッシュランプを固定しているネジ。

フラッシュランプ
トナーを光定着させるユニット。用紙ジャムの際、またはユニットのガラス部分を清掃する際に開く（定期清掃部品）。

バッファアーム部（破線部）
プリンタ内のトラクタとフィードローラ間の用紙搬送状態をチェックする機構部。

> **重要**
>
> 主操作パネルに表示されるアラームメッセージで、バッファアーム部の用紙ジャムを示すメッセージが表示された場合は、9章の「用紙ジャムのときは」（289ページ）を参照して用紙を取り除いてください。
> アラームが解除されない場合は、バッファアーム部を覆っているカバーは取り外さないで、保守員に連絡してください。

インナユニット
用紙送りローラを有する部分。用紙ジャムの際に開く。

フィードローラ（6個）
用紙送りローラ。用紙ジャムの際にインナユニットを開くことで用紙を開放する。

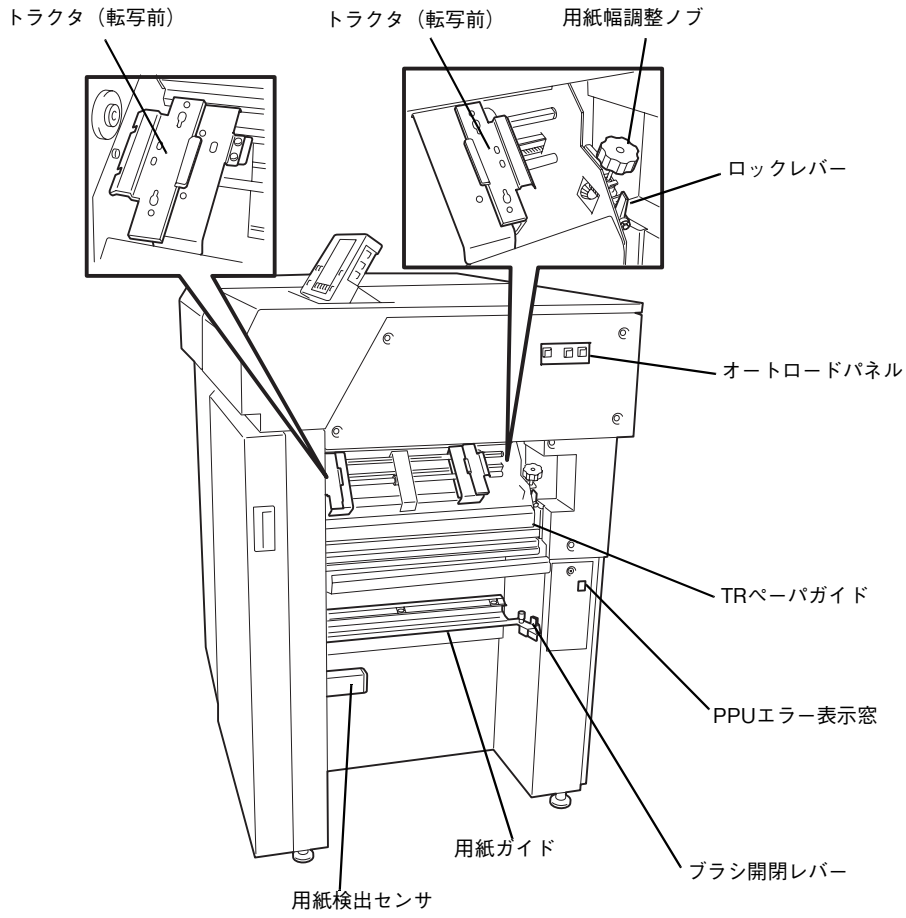


図1-5　給紙部（本体右側面）

オートロードパネル
給紙動作に関するスイッチをまとめた操作パネル。

TRペーパガイド
トラクタへ用紙を送るガイド部（定期清掃部）。

PPUエラー表示窓
プリンタ内部の制御ボードの故障や電源関連のエラーコードを表示する窓。

ブラシ開閉レバー
用紙ガイドの開閉をする際に持つレバー。

用紙ガイド
用紙をセットする際に開く。

用紙検出センサ
用紙の有無を検知するセンサ。用紙をセットする際は、このセンサより奥側に用紙を通す。

トラクタ（転写前）
用紙をスタッカへ送り出すための機構部品。トラクタ、トラクタピン、ペーパドアなどから構成されている（定期清掃部品）。

用紙幅調整ノブ
奥側（上図では右側）のトラクタを左右に移動させるつまみ。トラクタを用紙幅に合わせた位置に移動する際に使う。

ロックレバー
用紙幅調整ノブを固定するレバー。トラクタの位置合わせを終えたらロック状態にする。

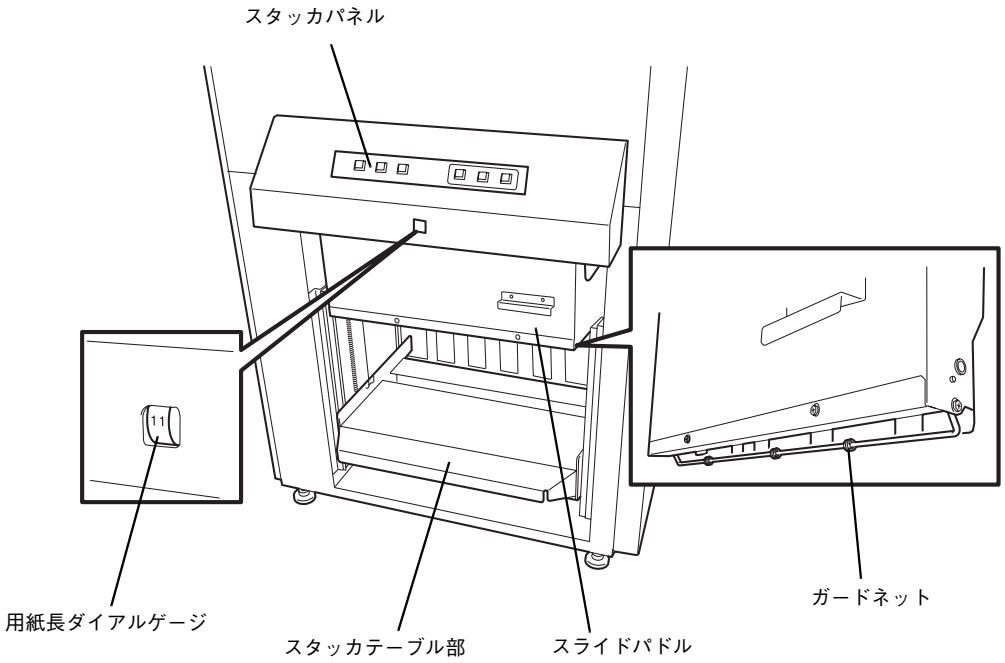


図1-6　スタッカ部（本体左側面）

スタッカテーブル部
印刷済みの用紙を蓄積（スタック）する場所。

スライドパドル
用紙を正しく折りたたむためのガイド。用紙長に合わせてスライドして調節することができる。

スタッカパネル
主操作パネルの一部のスイッチ機能とスタッカ部の昇降動作をするためのスイッチをまとめた操作パネル。

ガードネット
用紙を正しく折りたたむためのガイド。

用紙長ダイアルゲージ
現在のスライドパドルが対応する用紙長を表示するダイアル。

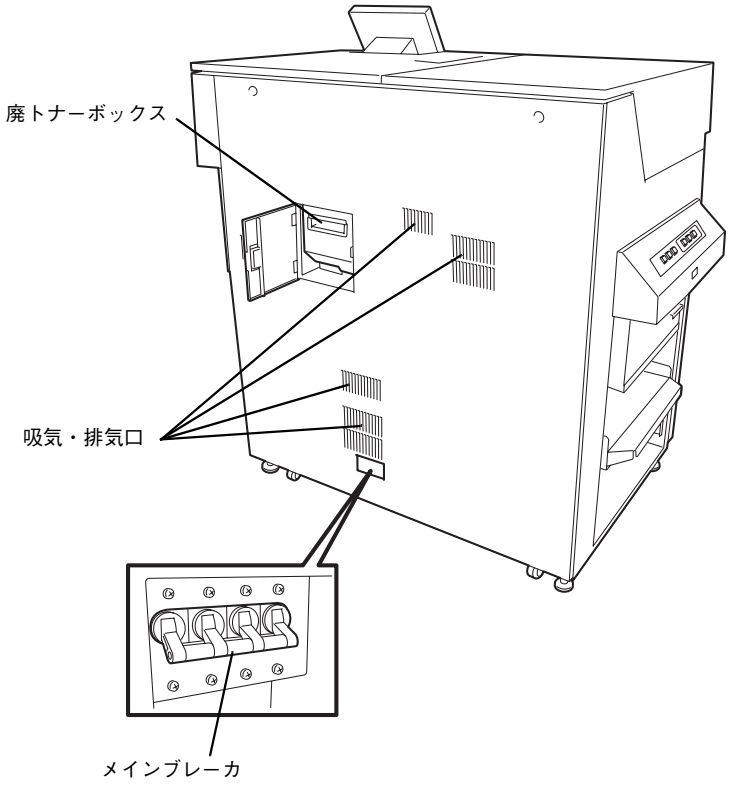


図1-7　背面

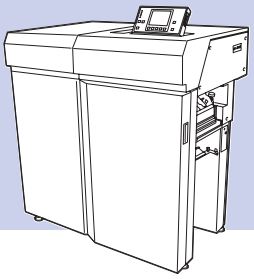
吸気・排気口
プリンタ内部の温度を下げるための通気口。

メインブレーカ
プリンタに電源を供給するためのブレーカスイッチ。

廃トナーボックス
使用済みのトナーを回収する容器（トナーキット添付品）。

メ　モ

2章 プリンタソフトウエアのインストールと削除



お使いのコンピュータでN1153-029をご使用になるためには、コンピュータにプリンタソフトウエアを組み込む必要があります。この作業を「インストール」と呼びます。
インストールは、プリンタに添付されているプリンタソフトウエアCD-ROMを用いて行います。

この章では、Windows®オペレーティングシステムをお使いのコンピュータにプリンタソフトウエア*1をインストールし、プリンタを指定するまでの手順およびソフトウェアを削除する手順について説明します。プリンタソフトウエアを利用できる環境については「プリンタソフトウエアCD-ROMについて」（38ページ）の説明をご覧ください。
また、ESC/Pエミュレーションでプリンタを選択する手順についても説明します（72ページ参照）。

- **フロッピーディスクを使ってプリンタドライバをインストールする場合**

  CD-ROMドライブを利用できないコンピュータへインストールする場合は、あらかじめCD-ROMドライブを搭載したコンピュータを使ってプリンタソフトウエアCD-ROMから該当するOS用のファイルをフロッピーディスクにコピーしてインストール媒体を作成してください。
  詳しくは、プリンタソフトウエアCD-ROM内の「\N1153-029」配下にある「ReadmeJP.txt」を参照してください。

- **Windows環境用とSIF環境用のプリンタソフトウエアの違いについて**

  プリンタに添付のソフトウエアCD-ROMには、「Windows環境」用と「SIF環境」用の2種類のプリンタソフトウエアが含まれています。別売の「LLプリンタ支援ソフトウェア」を利用した印刷環境を構築する場合は「SIF環境」用のプリンタソフトウエアをインストールします。

*1 プリンタソフトウエアは次の2つのソフトウエアから構成されます。

- プリンタドライバ： Windows環境またはSIF環境で印刷制御を行うソフトウエアです。
- SimpleMonitor： 印刷状態監視ソフト「SimpleMonitor（シンプルモニタ）」は、印刷指示を出したジョブ（印刷データ）やプリンタの状態を確認するためのソフトウエアです。

プリンタソフトウエアCD-ROMについて

プリンタに添付されているプリンタソフトウエアCD-ROMはお使いのコンピュータに対応したソフトウエアを提供しています。CD-ROM内の主なファイルとフォルダを以下に示します。
詳しくは各フォルダ内にあるテキストファイル(例:ReadmeJP.txtなど）を参照してください。

フォルダ名／ファイル名	名　称	概要説明
BARCODE	NEC TrueType バーコードフォントキット	NEC TrueTypeバーコードフォントとNEC TrueTypeバーコードフォントユーティリティです。このソフトウエアをインストールすることによりWindows環境でバーコードフォント（5種類）の印刷を行うことができます。 ● Industrial 2 of 5（モジュール比2.2、3.0） ● NW-7（モジュール比2.2、3.0） ● CODE39（モジュール比2.2、3.0） ● JAN（13桁、8桁） ● カスタマバーコード（新郵便番号）
DW	DocuWorks体験版	DocuWorks体験版です。お使いのWindows環境によってインストールできるバージョンが異なります。
FONTS	NEC FontAvenue TrueTypeフォント	NEC FontAvenue TrueTypeフォント3書体が含まれています。
FORMPRN	帳楽	帳票エディタ「帳楽」お試し版、およびフォーム印刷の環境更新ツールが入っています。
N1153-029	プリンタソフトウエア	本プリンタ用のプリンタソフトウエアで、本プリンタで印刷するために必要なファイルやインストーラ、SimpleMonitorなどが含まれています。 配下の「CDFE.exe」はWindows® XP/Windows® 2000/Windows® 8/7/Windows Vista®/Windows Server® 2012/2008 R2/2008/2003を使用しているコンピュータ上で起動するプリンタソフトウエアのインストーラです（46ページ参照）。 また、「Drivers」にはWindows環境で使用する場合の各バージョン用プリンタドライバ、「Drivers_sif」にはSIF環境で使用する場合のプリンタドライバがあります。 詳しくは「N1153-029」フォルダ配下にある「ReadmeJP.txt」を参照してください。
NIPP100	NEC Internet Printing System	ネットワーク上のコンピュータから本プリンタに直接印刷ジョブを送信するための「NEC Internet Printing System」が入っています。以下のOSに対応しています。 ● Windows® Me/98/95日本語版 ● Windows NT® 4.0日本語版
PAEXT	PrintAgent拡張モジュール for SimpleMonitor	旧製品のプリンタで使用していた印刷統合管理ソフトウエア「PrintAgent」の機能を利用した独自の印刷管理アプリケーション用機能拡張モジュールです。 LLプリンタ支援ソフトウェアからの印刷では必ずインストールする必要があります。
AUTORUN.inf	INFファイル	セットアップ情報ファイルです。特に起動や操作および編集などをするファイルではありません。

プリンタドライバ

プリンタへの印刷の制御を行うソフトウエアです。プリンタドライバをインストールできるWindowsのバージョンは次の通りです。

- Windows® 8 日本語版
- Windows® 7 日本語版
- Windows Vista® 日本語版
- Windows Vista® 日本語版（64ビット版Windows）
- Windows® XP 日本語版
- Windows® XP 日本語版（64ビット版Windows）*1
- Windows Server® 2012 日本語版
- Windows Server® 2008 R2 日本語版
- Windows Server® 2008 日本語版
- Windows Server® 2003 日本語版
- Windows Server® 2003 日本語版（64ビット版Windows）*2
- Windows® Me 日本語版
- Windows® 98 日本語版（Windows® 98 Second Editionを含む）
- Windows® 95 日本語版
- Windows® 2000 日本語版
- Windows NT® 4.0 日本語版

SimpleMonitor

「SimpleMonitor（シンプルモニタ）」はプリンタの状態や印刷状況を監視・確認することのできるソフトウエアです。SimpleMonitorをインストールできるWindowsのバージョンは次の通りです。

- Windows® 8 日本語版
- Windows® 7 日本語版
- Windows Vista® 日本語版
- Windows Vista® 日本語版（64ビット版Windows）
- Windows® XP 日本語版
- Windows® XP 日本語版（64ビット版Windows）*1
- Windows Server® 2012 日本語版
- Windows Server® 2008 R2 日本語版
- Windows Server® 2008 日本語版
- Windows Server® 2003 日本語版
- Windows Server® 2003 日本語版（64ビット版Windows）*2
- Windows® 2000 日本語版

プリンタソフトウエアの動作環境

プリンタソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンタソフトウエアの動作環境は以下のとおりです。なお、OSによって動作するコンピュータ条件が異なります。詳しい動作条件は各OSのマニュアルを参照してください。

接続方法	動作コンピュータ	対応 OS（日本語版）	プロトコル	ポート名*4
ネットワークインタフェース	● PC98-NXシリーズを含むIBM PC/AT互換機（DOS/V対応機） ● Express5800シリーズ	● Windows XP ● Windows 8 ● Windows 7 ● Windows Vista ● Windows Server 2012 ● Windows Server 2008 ● Windows Server 2003 ● Windows 2000 ● Windows XP/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/Windows Server 2003（64ビット版Windows）	TCP/IP	● LPR（Standard TCP/IP） ● LPR（UNIX印刷サービス）*5
		● Windows Me*6 ● Windows 98*6 ● Windows 98 Second Edition*6 ● Windows 95*6		NEC Internet Printing System（IPP）
		Windows NT 4.0*6		NEC Internet Printing System（IPP）

*1 Microsoft® Windows® XP Professional x64 Edition日本語版を指します。
*2 x64 Editionおよび64-Bit Edition (Itanium-based Systems)を指します。
*3 x64 Editionを指します。
*4 共有プリンタを利用する場合は、次ページの「チェック」を参照してください。
*5 LPR（UNIX印刷サービス）をご利用の場合、SimpleMonitorは機能しません。
*6 LLプリンタ支援ソフトウェアと連携する場合（SIF環境）は、使用できません。

プリンタソフトウエアの容量

プリンタソフトウエア（プリンタドライバおよびSimpleMonitor）をインストールするのに必要なハードディスク容量は次の通りです。インストールする前に以下の表で確認してください。

インストール方法	Windows XP/Windows 2000/Windows 8/ Windows 7/Windows Vista/ Windows Server 2012/ 2008 R2/2008/2003 日本語版	Windows Me/98/95 日本語版	Windows NT 4.0 日本語版
SimpleMonitorを含む場合	約11.0MB	−	−
プリンタドライバのみ	約5.0MB	約3.0MB	約2.0MB

インストール方法	Windows XP/Windows Server 2003 x64 日本語版	Windows Server 2008 R2/2008/ 2003 Itanium-based Systems
SimpleMonitorを含む場合	約11.0MB	−
プリンタドライバのみ	約5.0MB	約5.0MB

チェック

ネットワーク環境で共有プリンタをお使いになるためには、OSに合わせてコンピュータにあらかじめ次のネットワーク用ソフトウエアを組み込んでおく必要があります。

- Windows Me/98/95の場合　「Microsoftネットワーク共有サービス」
- Windows XP/Windows 2000/ Windows Vista/Windows 8/7/ Windows Server 2012/2008 R2/2008/ 2003の場合：　「Microsoftネットワーク用ファイルとプリンタ共有」
- Windows NT 4.0の場合　「サーバ」などのソフトウエア

詳しくは各OSのマニュアルをご覧ください。

CD-ROMドライブをご自身でお持ちでない場合

通常プリンタソフトウエアのインストールはプリンタに添付のCD-ROMにより行いますが、CD-ROMドライブをご利用できない場合は、Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Windows Me/98/95/Windows NT 4.0環境下でCD-ROMドライブのあるコンピュータをお持ちの方に借りるなどして、CD-ROMに入っているプリンタソフトウエアをフロッピーディスクにコピーしてインストール媒体を作成してください。このフロッピーディスクを使えばCD-ROMと同じ内容のプリンタソフトウエアをインストールすることができます。

詳しくは、プリンタソフトウエアCD-ROM内の「\N1153-029」配下にある「ReadmeJP.txt」を参照してください。

なお、SimpleMonitorはプリンタソフトウエアCD-ROMのメニューからのみインストールすることができます

利用できるネットワーク環境

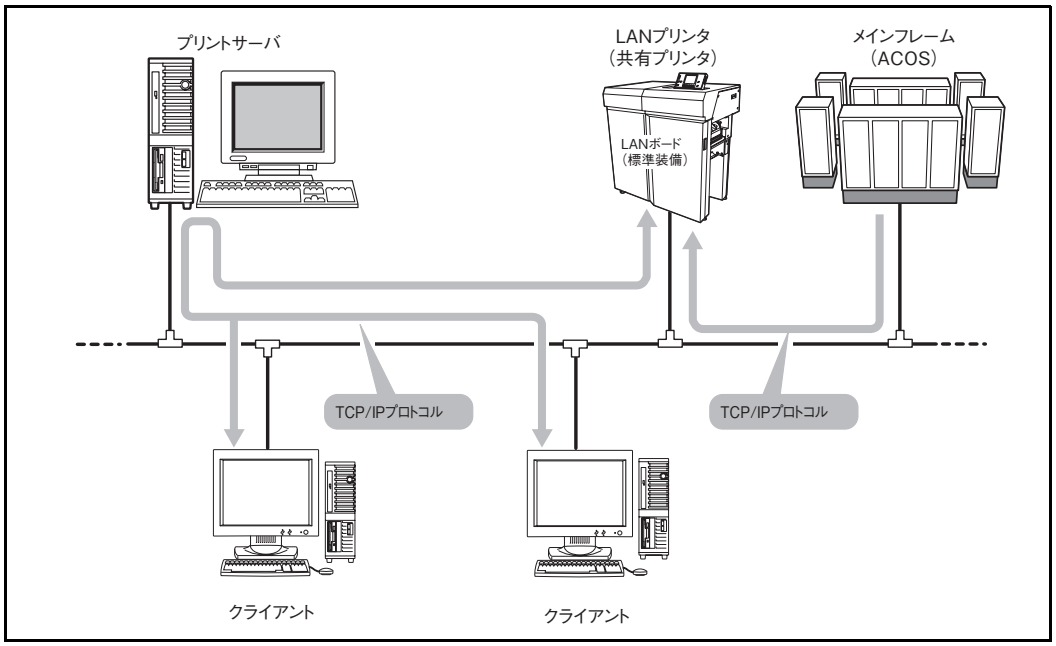
プリンタを次の形態で利用できます。

クライアント・サーバ接続の場合

プリンタ専用のコンピュータ（プリントサーバ）がプリンタを管理し、接続を許されたコンピュータ（クライアント）がそのプリンタを利用できるようにしたものです。中・大規模のネットワーク形態として一般的な接続方法です。
この接続の場合、プリントサーバ、クライアントともにTCP/IPプロトコルが組み込まれている必要があります。

重要

ネットワーク環境でネットワーク共有プリンタをお使いになるためにはあらかじめOSの共有設定を有効にしておく必要があります。詳しくはOSのマニュアルをご覧ください。

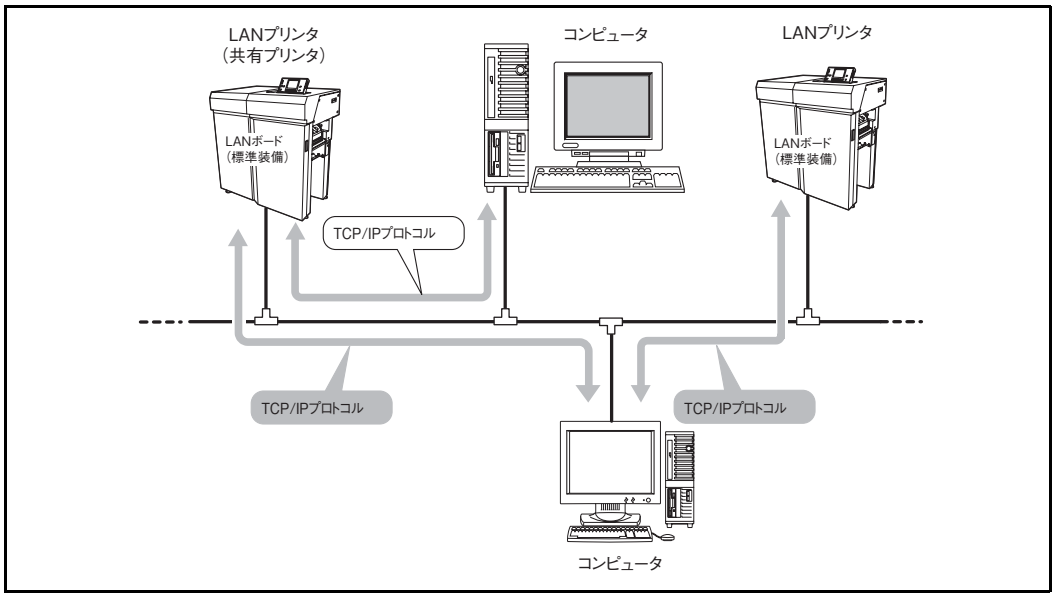


チェック

- SimpleMonitorはクライアント・サーバ接続の環境では使用できません。
- プリントサーバがWindows Me/98/95/Windows NT 4.0の場合は、プリンタソフトウエアCD-ROM内の「NIPP100」フォルダにあるプログラムを使って「NEC Internet Printing System」をコンピュータに組み込む必要があります。

ピア・ツー・ピア接続の場合

ピア・ツー・ピア接続は専用のサーバコンピュータを使用せず、コンピュータどうし、コンピュータとプリンタ間で対等に通信するものです。比較的小規模のネットワークに適した接続形態です。この接続の場合、プリンタを使用するコンピュータにTCP/IPプロトコルが組み込まれていることが必要です。

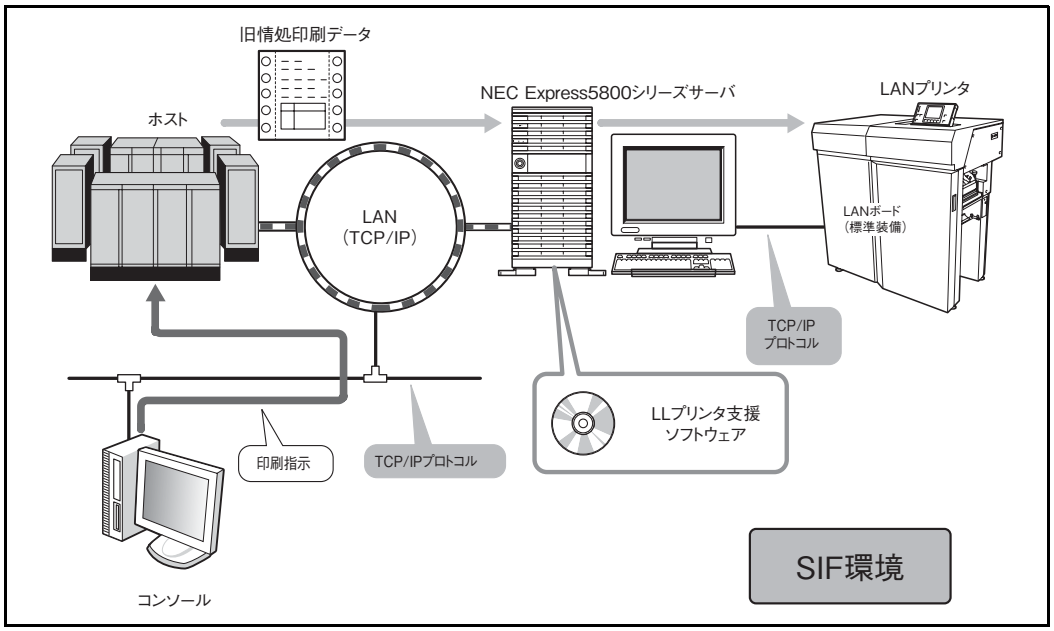


重要

- プリンタと双方向通信を行う条件は次の通りです。
  ① Standard TCP/IPポートを使って出力する。
  ② プリンタドライバで双方向通信を有効にする。
  Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003の場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックス［ポート］シートで双方向サポートを有効にするよう設定します。
- Windows Me/98/95/Windows NT 4.0の場合は、プリンタソフトウエアCD-ROM内の「NIPP100」フォルダにあるプログラムを使って「NEC Internet Printing System」をコンピュータに組み込む必要があります。

LLプリンタ支援ソフトウェアを利用している場合（SIF環境）

コンピュータがプリントサーバーとしてネットワーク接続でプリンタに接続している場合に、本プリンタのプリンタソフトウェアおよび「LLプリンタ支援ソフトウェア（別売）」を使用して旧情処印刷データを印刷することができます。この印刷環境を「SIF環境」と呼びます。



重要

- LLプリンタ支援ソフトウェアはWindows Server 2003、Windows Server 2003 R2、またはWindows 2000 ServerがインストールされたNEC Express5800シリーズサーバにのみインストールすることができます。
- LL プリンタ支援ソフトウェアをインストールする前にプリンタソフトウエアをインストールしてください。
- LLプリンタ支援ソフトウェアを利用した印刷をする場合は、プリンタソフトウェアCD-ROMの「プリンタソフトウエアインストール」メニューから「SIFプリンタソフトのインストール」を選択してプリンタソフトウエアをインストールしてください。
- LLプリンタ支援ソフトウェアを利用する場合は、Standard TCP/IP（LPR）を使用します。UNIX用印刷サービス（LPR）は利用できません。

SimpleMonitorについて

「SimpleMonitor」はネットワークプリンタで印刷する方のためのサービスを提供するソフトウエアです。
SimpleMonitorでは、プリンタの混み具合いや用紙切れ等のエラー情報を手元のパソコンを通じて知らせてくれるなど、快適なネットワーク印刷を行うことができます。
なお、N1153-029のSimpleMonitorはWindows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003環境に対応しています。
SimpleMonitorで利用できる便利な機能を以下に紹介します。起動方法や表示画面の説明については6章の「SimpleMonitor」（246ページ）を参照してください。

チェック

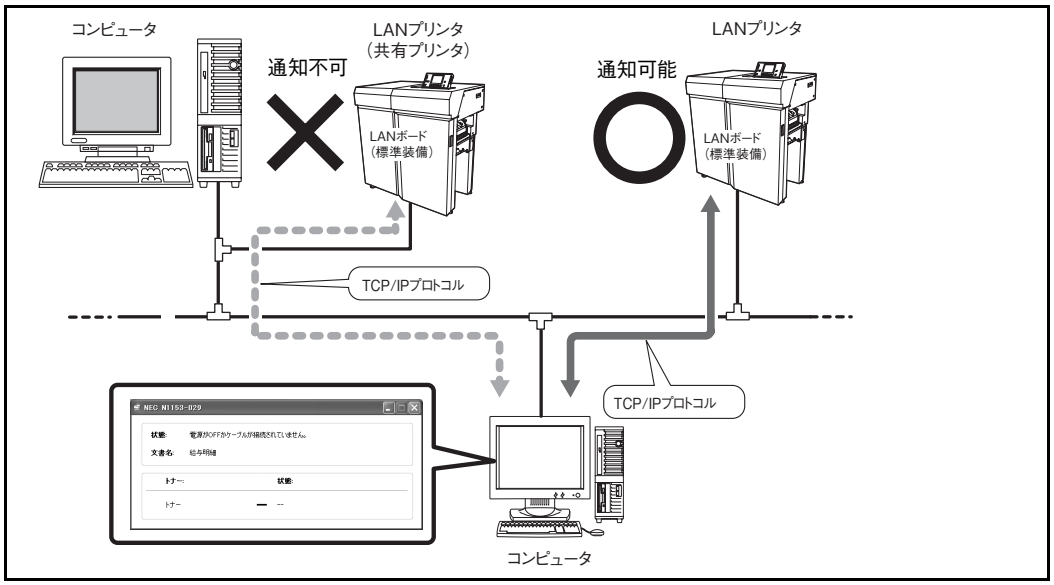
- SimpleMonitorは共有プリンタに対する情報や状態の表示はサポートしていません。
- 「SIF環境」では、SimpleMonitorをサポートしていません。

プリンティングステータスウィンドウ（PSW）

印刷ジョブの情報やプリンタの状態を表示します。

チェック

プリンタの状態変化がコンピュータ側の表示（PSW表示）に反映されるまでに時間がかかる場合があります。



プリンタの一覧

コンピュータにプリンタドライバがインストールしてあるプリンタを一覧形式で表示し、プリンタの状態が参照できます。

プリンタソフトウエアのインストール

プリンタソフトウエアのインストールはお使いのコンピュータで使用しているWindows OSによって手順が異なります。

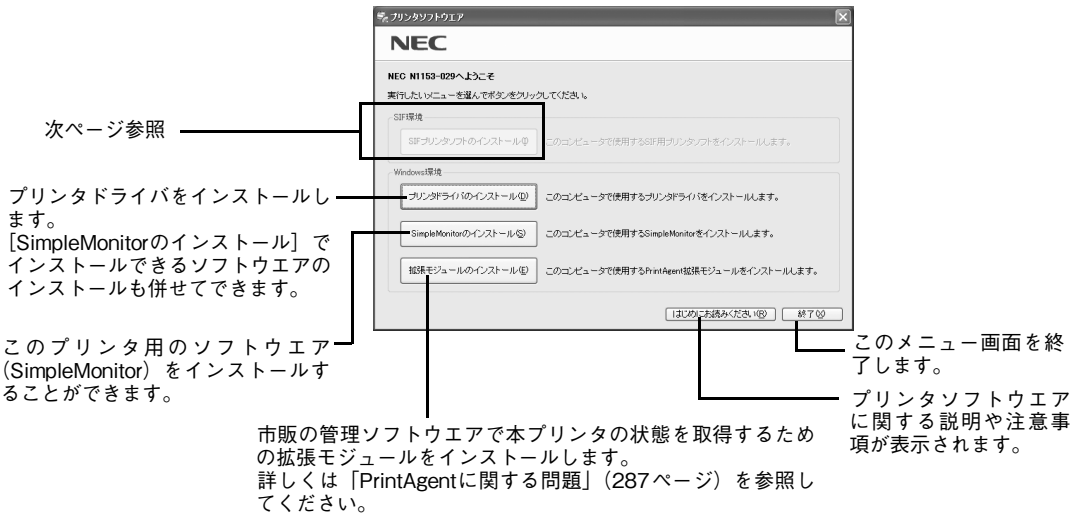
- Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/Windows Server 2003（64ビット版Windows*1を含む）.....46ページ
- Windows Me/98/95 .....52ページ
- Windows NT 4.0 .....57ページ

重要

ここで説明する手順を説明する前にプリンタにIPアドレスなどのネットワークの設定をすませてください。詳しくは3章の「コンフィグレーションページの印刷」（75ページ）および「ネットワークの設定」（78ページ）を参照してください。

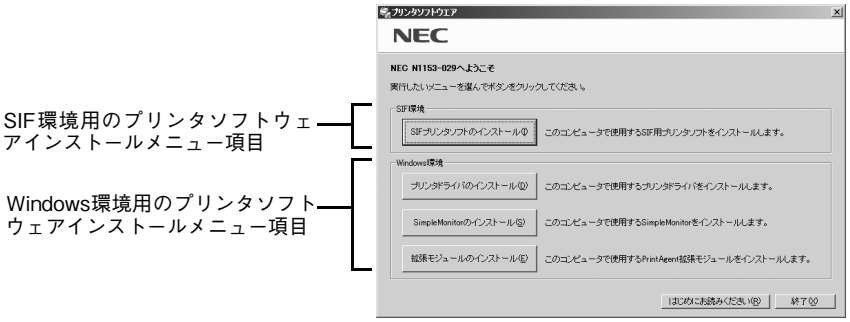
Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/日本語版

プリンタに添付のCD-ROMのメニューを利用してインストールします。
ここではWindows XP 日本語版を例にとり、プリンタソフトウエアのインストール方法を説明します。
プリンタソフトウエアCD-ROMをインストールするコンピュータのCD-ROMドライブにセットすると「プリンタソフトウエアインストール」メニューが起動します。プリンタドライバおよびSimpleMonitorをインストールするときはこのメニューから始めます。



*1 x64 Editionを指します。64-Bit Edition (Itanium-based Systems)のインストールについては「ネットワークポートの作成 （Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003（日本語版）」（100ページ）を参照してください。また、64-Bit Edition (Itanium-based Systems)にはSimpleMonitorをインストールすることはできません。

Windows Server 2003、Windows Server 2003 R2、およびWindows 2000 Serverで動作しているコンピュータのCD-ROMドライブにセットした場合、「プリンタソフトウエアインストール」メニューの「SIF環境」用のメニューが有効となります。LLプリンタ支援ソフトウェアを利用した印刷環境（SIF環境）を構築する場合は、［SIF環境］から［SIFプリンタソフトのインストール］をクリックしてください。通常のWindows環境で本プリンタを運用する場合は、［Windows環境］からそれぞれのメニューを選択してください。



チェック

- インストールプログラムを実行する前に、起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- Windows XP/Windows 8/7/Windows Vistaにインストールするユーザは、アカウントの種類が「コンピュータの管理者」である必要があります。また、Windows 2000/Windows Server 2003でSimpleMonitorをインストールするには、ユーザが「Administrators」または「DomainAdmins」グループのメンバーである必要があります。どちらのメンバーでもない場合、インストールを行うことはできません。
- Windows 8/7/Windows Vistaとその他のOS環境でメニューの表示内容が一部異なりますが、操作は同じです（異なる手順については該当する手順で説明を加えます）。
- ここで説明する手順は共有プリンタへ印刷をするためのもの、またはOSに標準で組み込まれているStandard TCP/IP Port（LPR）を使用した印刷をするためのものです。UNIX用印刷サービス（LPR）を使用したい場合は「UNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷するには」（101ページ）を参照してください。
- ［Windows環境］でプリンタソフトウエアをインストールしたコンピュータに［SIF環境］用のプリンタソフトウエアを追加でインストールすることはできません。（したがって、LLプリンタ支援ソフトウェアのインストールを試みた際に、プリンタソフトウエアがインストールされていないため、LLプリンタ支援ソフトウェアのセットアップが中断されてしまいます。）
  「Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2008/2003 日本語版」（65ページ）を参照して、いったんWindowsから本プリンタおよび本プリンタのプリンタドライバを削除した後、Windowsを再起動してから［SIF環境］用のプリンタソフトウエアをインストールし直してください。
  なお、コンピュータにインストール済みの本プリンタのプリンタドライバのタイプ（Windows環境用かSIF環境用）はプリンタのプロパティダイアログボックスで確認することができます。6章の「［プリンタの設定］シート」（200ページ）を参照してください。

1 プリンタの電源が ON になっていることを確認する。

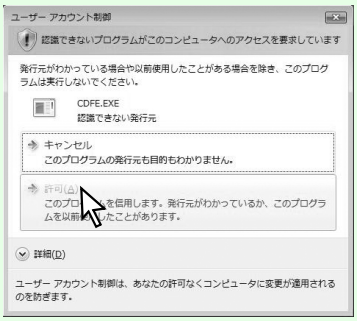
2 Windows XP 日本語版を起動する。

3 プリンタソフトウエアCD-ROMをCD-ROMドライブにセットする。

［プリンタソフトウエア］のメニューを表示します。

チェック

- メニューが表示されなかった場合は、CD-ROMの「N1153-029」フォルダにある「CDFE.exe」（38ページ参照）を実行してください。
- Windows 8/7/Windows Vistaの場合、メニューを表示する前に以下の画面が表示される場合があります。［CDFE.EXEの実行］または［許可］をクリックして進めてください。



4 本プリンタを運用する環境に合わせてメニューをクリックする。

＜Windows環境で運用する場合＞

［Windows環境］から［プリンタドライバのインストール］をクリックする。

セットアップの準備を始めます。しばらくお待ちください。

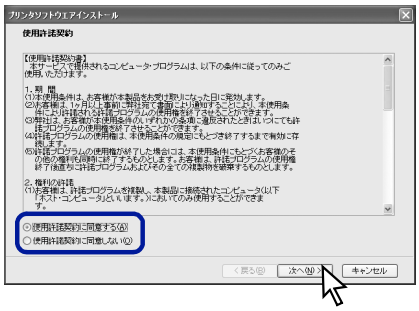
＜SIF環境で運用する場合＞

［SIF環境］から［SIFプリンタソフトのインストール］をクリックしてください。

セットアップの準備を始めます。しばらくお待ちください。

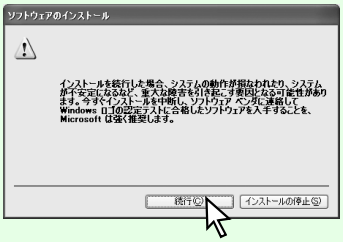
5 ［使用許諾契約］の記載をよく読み、［使用許諾契約に同意する］を選び、［次へ］をクリックする。

同意しないと次へ進めません。

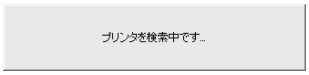


チェック

以下の［ソフトウェアのインストール］ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンタソフトウエアCD-ROMに収録されているソフトウエアは、弊社により動作を確認されています。
［続行］をクリックし、インストールを続行してください。なお、［インストールの停止］をクリックした場合はインストールが中止されます。



プリンタの検索を開始します。しばらくお待ちください。



プリンタの検索を終了すると、リストに検索されたプリンタの一覧が表示されます。

チェック

- インストールするプリンタがリストに表示されていない場合は、［再検索］をクリックしてください。それでも表示されない場合は、プリンタの電源がONになっていること、ネットワークに正しく接続されていること、およびプリンタのネットワーク設定が正しくされていることを確認してください。
- ［プリンタドライバの追加］をクリックすることで、設定した内容でプリンタをインストールすることもできます。Windowsの「マイネットワーク」内に存在するネットワーク共有プリンタとしてインストールをする場合も同様に［プリンタドライバの追加］をクリックして設定してから手順を進めます。

＜ネットワーク共有プリンタを追加する場合＞

プリンタの接続先を［ネットワークパス］に直接入力するか、［参照］をクリックして表示される一覧から指定します。
入力形式は“￥￥サーバー名￥共有名”です。

［ネットワーク共有プリンタ］を選びます。

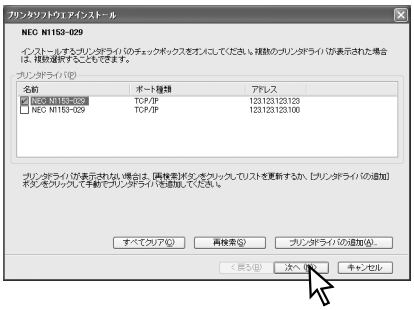
＜IPアドレスを持つネットワーク上のプリンタを追加する場合＞

プリンタのIPアドレスまたはホスト名（DNS名）を［IPアドレス］に直接入力します。

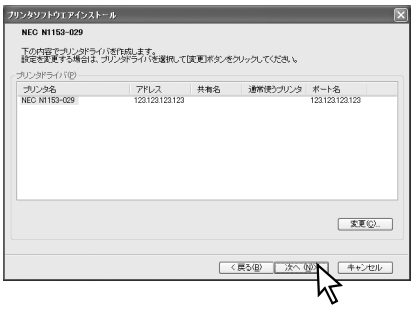
［TCP/IP］を選びます。

6 コンピュータにインストールしたいプリンタをリストから選び、［次へ］をクリックする。

リスト中のチェックボックスにチェックが付いているプリンタがインストールされます。
ダイアログボックスの下側にある［すべてクリア］をクリックするとすべてのチェックがオフになります。

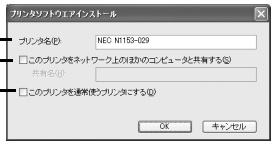


7 設定内容に変更がない場合は［次へ］をクリックする。



リストの中のプリンタを選び、この画面の［変更］をクリックすると設定を変更することができます。

このプリンタの名前を変更できます。複数のプリンタをインストールする場合、およびすでにこのプリンタの名前でインストール済みの場合、プリンタの名前の後ろに“(コピー n)”を自動的に付けます（nは1から順に増えていきます)。



コンピュータでこのプリンタを“通常使うプリンタ”に設定します。

このプリンタをネットワーク上の他のコンピュータからも印刷できる共有プリンタに設定できます。名前はわかりやすいものにしてください。

8 SimpleMonitor　をインストールするかどうか決める。

［SimpleMonitor］はこのプリンタの状態をコンピュータから確認するためのソフトウエアです。

リストから、［SimpleMonitor］を選んでその下の［変更］をクリックするとコンピュータの起動時にSimpleMonitorも起動させるかどうかを設定することができます（お使いのコンピュータに初めてインストールする場合は、［参照］でインストール先を指定することができます)。

インストールを開始します。しばらくお待ちください。

インストールが終了すると、終了を知らせる画面が表示されます。

9 ［完了］をクリックする。

＜手順**4**で“Windows環境で運用する場合”の操作を選択した場合＞

［プリンタソフトウエア］のメニューに戻ります（20秒ほど表示に時間がかかる場合があります。しばらくお待ちください）。インストールしたコンピュータの環境によっては再起動を促すメッセージが表示されることがあります。必要に応じてオプションを選んで完了して手順**12**に進んでください。

＜手順**4**で“SIF環境で運用する場合”の操作を選択した場合＞

［PrintAgent拡張モジュールのインストール］ダイアログボックスが表示されます。

10 ［OK］をクリックする。

ボタンをクリックすると、インストールが始まります。インストール完了後、メニュー画面に戻ります。

11 ［OK］をクリックする。

ボタンをクリックすると、インストールが始まります。インストール完了後、メニュー画面に戻ります。

［プリンタソフトウエア］のメニューに戻ります（20秒ほど表示に時間がかかることがあります。しばらくお待ちください）。インストールしたコンピュータの環境によっては再起動を促すメッセージが表示されることがあります。必要に応じてオプションを選んで完了してください。

12 ［終了］をクリックする。

13 プリンタソフトウエア CD-ROM を取り出す。

以上で完了です。

Windows Me/98/95日本語版

Windows Me/98/95からプリントサーバを使用せずにプリンタへ直接印刷するための設定とプリンタドライバのインストール方法について説明します。
Windows Me/98/95のコンピュータに本プリンタを作成して印刷するには添付のプリンタソフトウエアCD-ROMに収録されているNEC Internet Printing Systemが必要です。

重要

- プロキシサーバを経由してプリンタへ印刷ジョブを送るような環境の場合は、［NEC Internet Printing System］の［詳細設定］シートでプロキシの設定をしてください。
- NEC Internet Printing Systemは［プリンタ］フォルダを開くと、プリンタの状態（ステータス）を確認するようデフォルトで設定されています。ステータスを確認する必要がない場合は［NEC Internet Printing System］の［詳細設定］シートで設定を変更してください。

チェック

- Windows Me/98/95にはSimpleMonitorをインストールすることはできません。
- Windows Me/98/95では、LLプリンタ支援ソフトウェアと連携した印刷はできません。

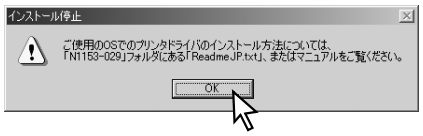
各設定、インストールをする前に、あらかじめプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。
「ネットワークの設定」（78ページ）を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンタにIPアドレスを設定した後、各設定、インストールを行ってください。

NEC Internet Printing Systemのインストール

ここではWindows Me 日本語版を例にとり、NEC Internet Printing Systemのインストール方法を説明します。

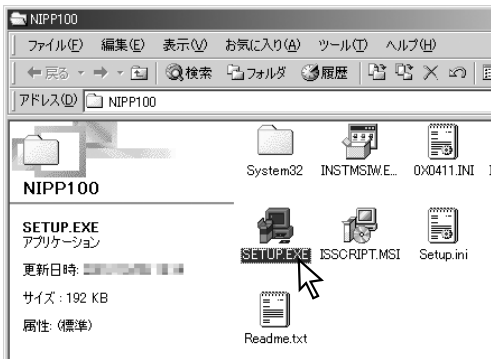
1 プリンタソフトウエアCD-ROMをコンピュータにセットする。

以下のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックして閉じてください。

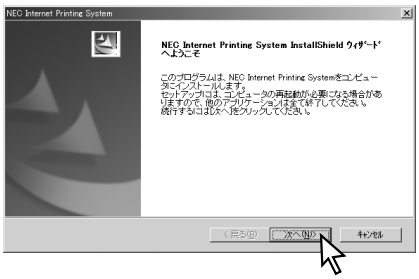


2 Windows エクスプローラなどから、プリンタソフトウエアCD-ROM内の［NIPP100］にある［SETUP.EXE］アイコンをダブルクリックする。

この実行ファイルの詳細については、同じディレクトリにある［Readme.txt］も併せてお読みください。

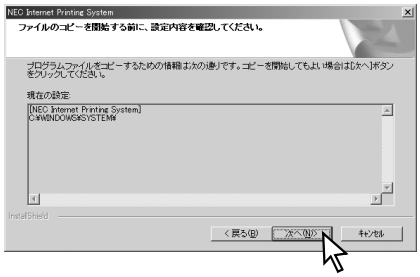


3 ［次へ］をクリックする。



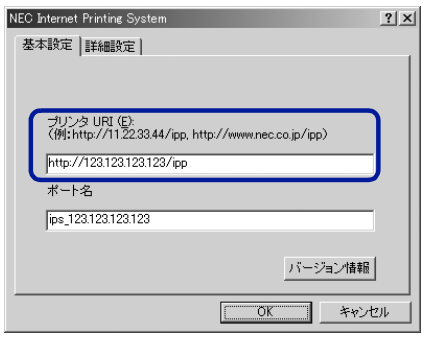
4 ［次へ］をクリックする。

NEC Internet Printing Systemのインストールを開始します。インストールを終了すると基本設定をする画面が表示されます。



5 ［プリンタ URI］ボックスに登録するプリンタのIPアドレスを含むアドレスを入力する。

ここで［キャンセル］をクリックすると、手順**9**へ進みます。印刷先のポートの追加または設定はインストール終了後に「印刷先の変更」（56ページ）で行うことができます。

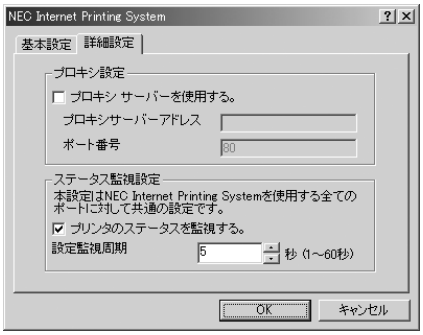


チェック

- （入力例）
  IPアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp）」の場合
  http://123.123.123.123/ipp
  ipp://123.123.123.123/ipp
  printer1.sample.nec.co.jp/ipp
- IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

6 必要に応じて［詳細設定］シートの設定をする。

ここで設定しなくても、インストール終了後にポートを割り当てたプリンタのプロパティダイアログボックスの［詳細］シートにある［ポートの設定］をクリックすると設定を変更することができます。

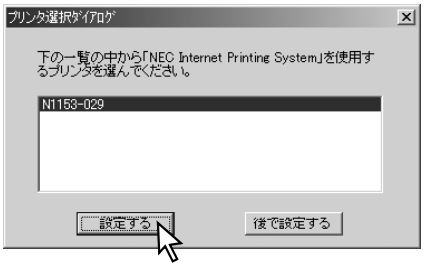


7 設定内容を確認して［OK］をクリックする。

コンピュータに本プリンタおよびNEC Internet Printing Systemを利用できるプリンタがインストール済みの場合は［プリンタ選択ダイアログ］を表示します。対象となるプリンタがインストールされていない場合は、手順**9**の画面を表示します。

8 プリンタを選択して［設定する］をクリックする。

目的のプリンタが一覧にある場合はプリンタを選択して［設定する］をクリックします。該当のプリンタが表示されていない場合は［後で設定する］をクリックしてください。



9 ［完了］をクリックする。

チェック

再起動の要求があった場合はコンピュータを再起動してください。

プリンタドライバのインストール

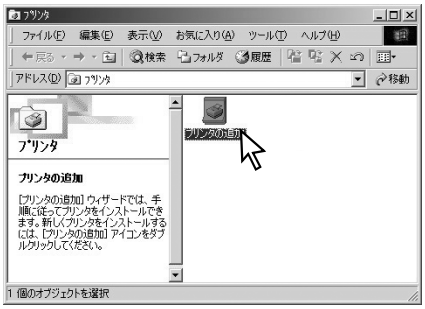
プリンタドライバをインストールします。次の手順に従ってください。

1 プリンタソフトウエア　CD-ROM　をコンピュータにセットする。

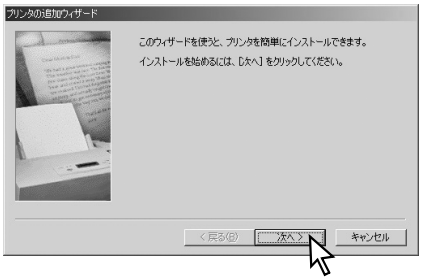
以下のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックして閉じてください。

2 ［プリンタ］フォルダを開く。

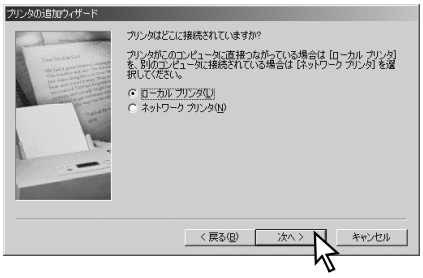
3 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。



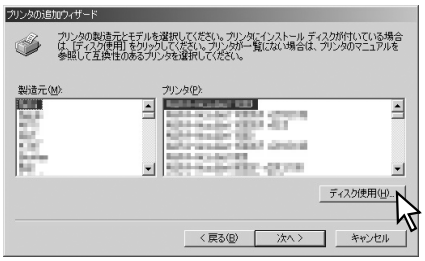
4 ［次へ］をクリックする。



5 ［ローカルプリンタ］を選び、［次へ］をクリックする。

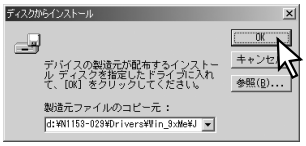


6 ［ディスク使用］をクリックする。

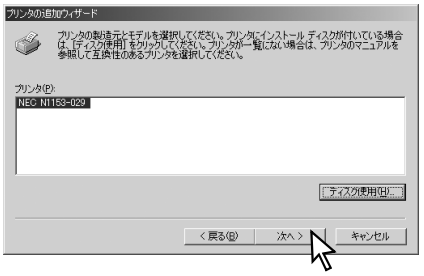


7 ［製造元ファイルのコピー元］を入力して、［OK］をクリックする。

［製造元ファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「N1153-029￥Drivers￥Win_9xMe￥Japanese」と入力します。



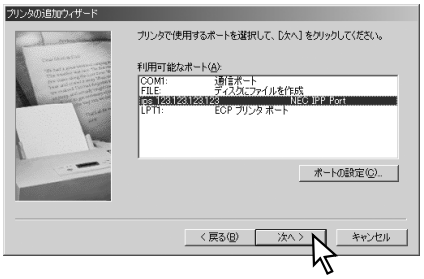
8 プリンタの一覧から“NEC N1153-029”を選択して、［次へ］をクリックする。



すでにプリンタドライバがコンピュータにインストールされている場合は、プリンタドライバを置き換えるかどうかを確認するメッセージが表示されます。置き換えか上書きのいずれかを選択して次へ進んでください。

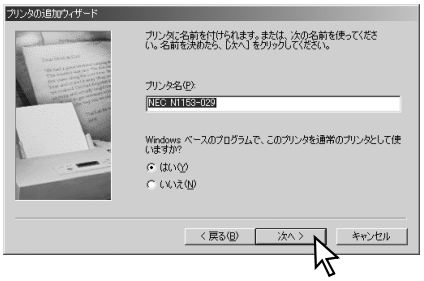
9 作成した［NEC IPP Port］を選び、［次へ］をクリックする。

「NEC Internet Printing Systemのインストール」（52ページ）でポートを作成していない場合はリストに表示されません。次の「印刷先の変更」（56ページ）でポートを作成するので、ここでは仮に「LPT1:」を選んでください。



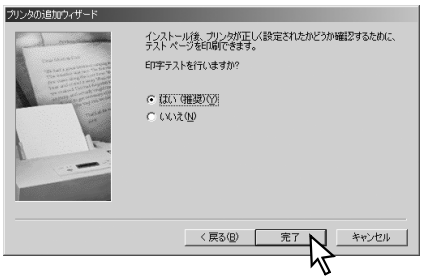
10 プリンタの名前を確認して、［次へ］をクリックする。

必要に応じて「通常使うプリンタ」に設定してください。



11 テスト印刷をするかしないかを選択して、［完了］をクリックする。

プリンタドライバがインストールされます。



以上で設定は完了です。

印刷先の変更

NEC Internet Printing Systemをインストールした後に印刷ポートを追加する場合の手順について説明します。

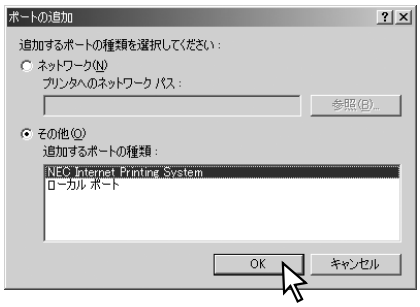
1 ［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

2 ［プリンタ］フォルダの［NEC N1153-029］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。

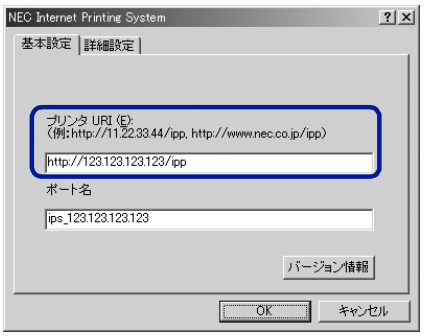
3 ［詳細］タブをクリックする。

4 ［ポートの追加］をクリックする。

5 ［その他］の［追加するポートの種類］で［NEC Internet Printing System］を選択し、［OK］をクリックする。



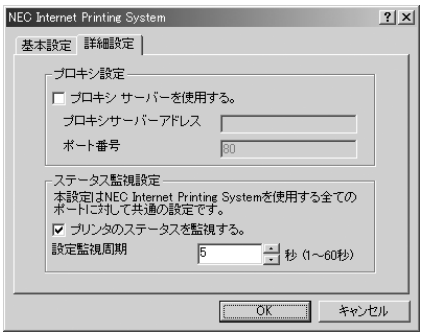
6 ［プリンタ URI］ボックスに登録するプリンタのIPアドレスを含むアドレスを入力する。



チェック

- （入力例）
  IPアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp）」の場合
  http://123.123.123.123/ipp
  ipp://123.123.123.123/ipp
  printer1.sample.nec.co.jp/ipp
- IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

7 必要に応じて［詳細設定］シートの設定をする。



8 設定内容を確認して［OK］をクリックする。

9 ［OK］をクリックする。

［NEC N1153-029のプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

Windows NT 4.0 日本語版

Windows NT 4.0からプリントサーバを使用せずにプリンタへ直接印刷するための設定とプリンタドライバのインストール方法について説明します。
Windows NT 4.0のコンピュータに本プリンタを作成して印刷するには添付のプリンタソフトウエアCD-ROMに収録されているNEC Internet Printing Systemが必要です。

重要

- プロキシサーバを経由してプリンタへ印刷ジョブを送るような環境の場合は、［NEC Internet Printing System］の［詳細設定］シートでプロキシの設定をしてください。
- NEC Internet Printing Systemは［プリンタ］フォルダを開くと、プリンタの状態（ステータス）を確認するようデフォルトで設定されています。ステータスを確認する必要がない場合は［NEC Internet Printing System］の［詳細設定］シートで設定を変更してください。

チェック

- Windows NT 4.0にはSimpleMonitorをインストールすることはできません。
- Windows NT 4.0では、LLプリンタ支援ソフトウェアと連携した印刷はできません。

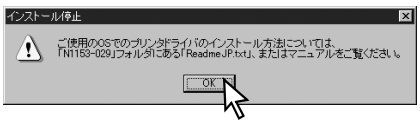
各設定、インストールをする前に、あらかじめプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。
「ネットワークの設定」（78ページ）を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンタにIPアドレスを設定した後、各設定、インストールを行ってください。

NEC Internet Printing Systemのインストール

NEC Internet Printing Systemのインストール方法について説明します。次の手順に従ってください。

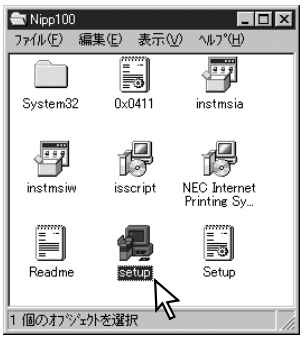
1 プリンタソフトウエア CD-ROM をコンピュータにセットする。

以下のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックして閉じてください。

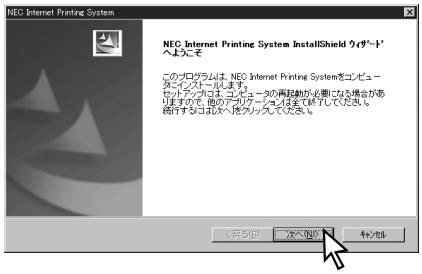


2 Windows エクスプローラなどから、プリンタソフトウエアCD-ROM内の［NIPP100］にある［SETUP.EXE］アイコンをダブルクリックする。

この実行ファイルの詳細については、同じディレクトリにある［Readme.txt］も併せてお読みください。

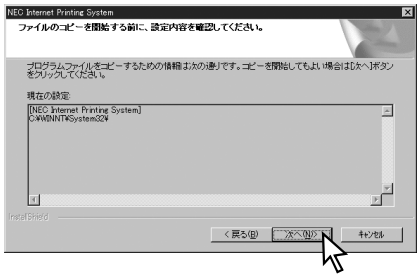


3 ［次へ］をクリックする。



4 ［次へ］をクリックする。

NEC Internet Printing Systemのインストールを開始します。インストールを終了すると基本設定をする画面が表示されます。

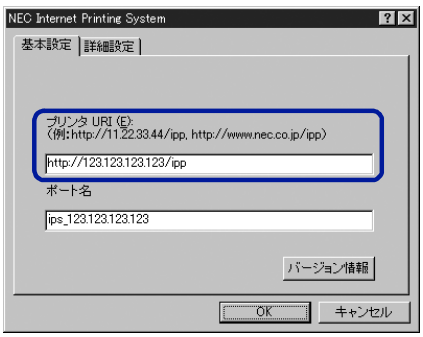


チェック

コンピュータの状態によってはインストール後に手順**9**の画面に進む場合があります。「印刷先の変更」（61ページ）を参照して設定してください。

5 ［プリンタ URI］ボックスに登録するプリンタのIPアドレスを含むアドレスを入力する。

ここで［キャンセル］をクリックすると、手順**9**へ進みます。印刷先のポートの追加または設定はインストール終了後に「印刷先の変更」（61ページ）で行うことができます。

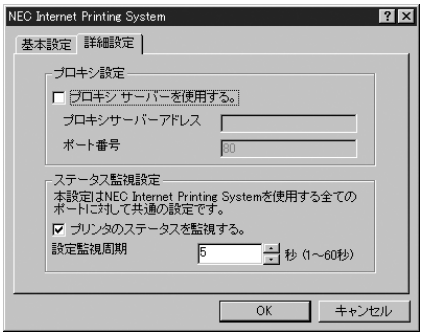


チェック

- （入力例）
- IPアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp）」の場合
  http://123.123.123.123/ipp
  ipp://123.123.123.123/ipp
  printer1.sample.nec.co.jp/ipp
- IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

6 必要に応じて［詳細設定］シートの設定をする。

ここで設定しなくても、インストール終了後にポートを割り当てたプリンタのプロパティダイアログボックスの［ポート］シートにある［ポートの設定］をクリックすると設定を変更することができます。



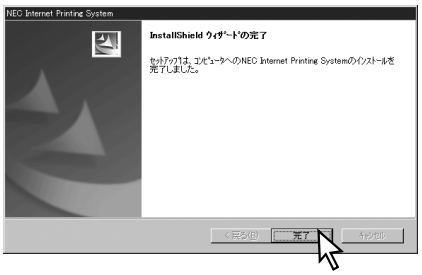
7 設定内容を確認して［OK］をクリックする。

コンピュータに本プリンタおよびNEC Internet Printing Systemを利用できるプリンタがインストール済みの場合は［プリンタ選択ダイアログ］を表示します。対象となるプリンタがインストールされていない場合は、手順**9**の画面を表示します。

8 プリンタを選択して［設定する］をクリックする。

目的のプリンタが一覧にある場合はプリンタを選択して［設定する］をクリックします。該当のプリンタが表示されていない場合は［後で設定する］をクリックしてください。

9 ［完了］をクリックする。



チェック

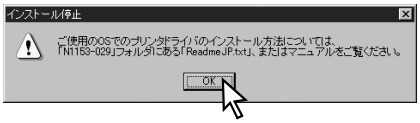
再起動の要求があった場合はコンピュータを再起動してください。

プリンタドライバのインストール

プリンタドライバをインストールします。次の手順に従ってください。

1 プリンタソフトウエアCD-ROMをコンピュータにセットする。

以下のメッセージが表示されたら、［OK］をクリックして閉じてください。



2 ［プリンタ］フォルダを開く。

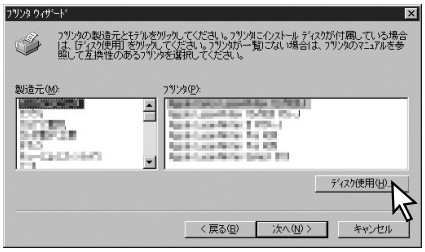
3 ［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックする。

4 ［このコンピュータ］を選択して、［次へ］をクリックする。

5 「NEC Internet Printing Systemのインストール」（57ページ）で作成したポートを選び、［次へ］をクリックする。

ポートを作成していない場合はリストに表示されません。次の「印刷先の変更」（61ページ）でポートを作成するので、ここでは仮に「LPT1:」を選んでください。

6 ［ディスク使用］をクリックする。

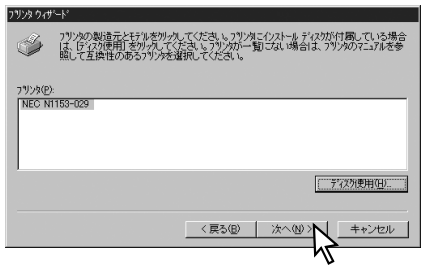


すでにプリンタドライバがコンピュータにインストールされている場合は、プリンタドライバを置き換えるかどうかを確認するメッセージが表示されます。置き換えか上書きのいずれかを選択して次へ進んでください。

7 ［配布ファイルのコピー元］を入力して、［OK］をクリックする。

［配布ファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「N1153-029￥Drivers￥Win_NT4.0￥Japanese」と入力します。

8 プリンタの一覧から“NEC N1153-029”を選択して、［次へ］をクリックする。



9 ［次へ］をクリックする。

10 必要に応じて共有設定をして、［次へ］をクリックする。

11 テストページの印刷をするかしないか選択して、［完了］をクリックする。

プリンタドライバがインストールされます。

印刷先の変更

NEC Internet Printing Systemをインストールした後に印刷ポートを追加する場合の手順について説明します。

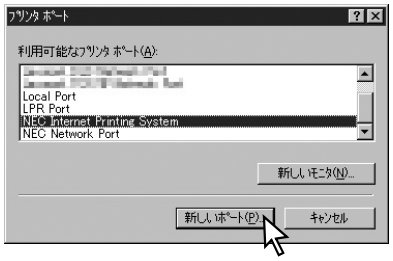
1 ［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

2 ［プリンタ］フォルダの［NEC N1153-029］アイコンをクリックし、［ファイル］メニューの［プロパティ］をクリックする。

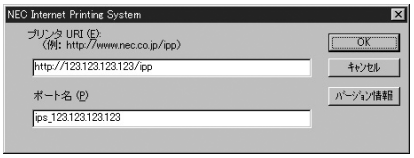
3 ［ポート］タブをクリックする。

4 ［ポートの追加］をクリックする。

5 ［利用可能なプリンタポート］で［NEC Internet Printing System］を選択し、［新しいポート］をクリックする。



6 ［プリンタURI］ボックスにプリンタのURIを入力する。



チェック

- （入力例）
- IPアドレスが「123.123.123.123（printer1.sample.nec.co.jp）」の場合
  http://123.123.123.123/ipp
  ipp://123.123.123.123/ipp
  printer1.sample.nec.co.jp/ipp
- IPアドレスの代わりにドメインネームを使用することができます。ドメインネームとして入力可能な文字の長さは、最大127文字（127バイト）です。

7 ［OK］をクリックする。

［NEC N1153-029のプロパティ］ダイアログボックスを閉じます。

以上で設定は完了です。

共有プリンタの設定

ここでは、ネットワークで接続されているN1153-029を共有プリンタとして使う設定を説明します。

Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Windows NT 4.0 日本語版

Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Windows NT 4.0日本語版で、共有プリンタの設定をします。

チェック

- ネットワーク環境で共有プリンタをお使いになるためには、コンピュータにあらかじめ「Microsoft ネットワーク用ファイルとプリンタ共有」などのクライアントソフトウエアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。
- 共有プリンタとして使用する場合は、SimpleMonitorを利用できません。

1 ［プリンタとFAX］フォルダ*1を開く。

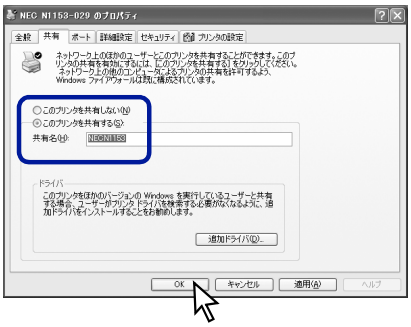
2 ［NEC N1153-029］アイコンを右クリックし、［共有］をクリックする。

［NEC N1153-029のプロパティ］ダイアログボックスの［共有］シートが表示されます。

チェック

Windows 8/7/Windows Vistaの場合は、プリンタのアイコンを右クリックして表示されたメニューから、［管理者として実行］－［共有］の順でクリックするか、［共有］シート上の［共有オプションの変更］をクリックしてください。いずれもコンピュータの管理者のアカウントが必要です。

3 ［このプリンタを共有する］を選んで、共有名を入力し、［OK］をクリックする。



*1 Windows 2000/Windows Vista/Windows NT 4.0の場合は［プリンタ］フォルダです。
Windows 8/7/Windows Server 2012/2008 R2の場合は、［デバイスとプリンター］です。

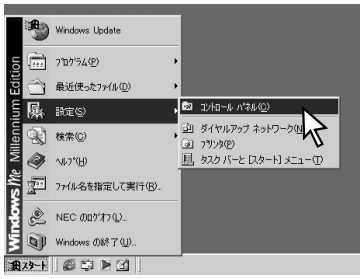
Windows Me/98/95 日本語版

Windows Me/98/95 日本語版で、共有プリンタとして使う設定を説明します。

チェック

ネットワーク環境で共有プリンタをお使いになるためには、コンピュータのネットワーク構成にTCP/IPプロトコルおよびMicrosoftネットワーク共有サービスなどのクライアントソフトウエアを組み込んでおく必要があります。詳しくはOSの取扱説明書をご覧ください。

1 ［コントロールパネル］を開く。



2 ［ネットワーク］アイコンをダブルクリックする。

［ネットワーク］ダイアログボックスが開きます。

3 ［ファイルとプリンタの共有］をクリックする。

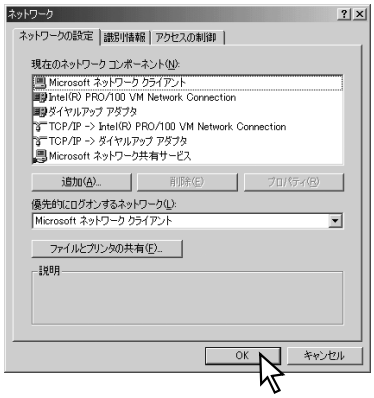
［ファイルとプリンタの共有］ダイアログボックスが開きます。

4 ［プリンタを共有できるようにする］をチェックし、［OK］をクリックする。

［ネットワーク］ダイアログボックスが表示されます。

5 ［OK］をクリックする。

> **チェック**
>
> ネットワークの構成を変更した場合は、必ずWindowsを再起動してください。

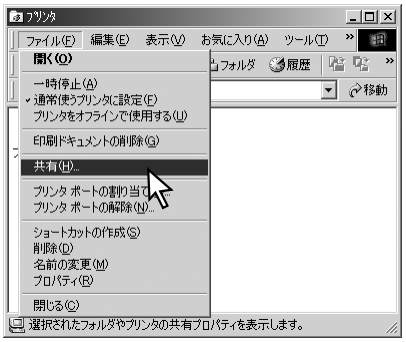


6 ［プリンタ］フォルダ内の［NEC N1153-029］アイコンをクリックする。

［プリンタ］フォルダは［スタート］から［設定］-［プリンタ］をクリックすると開きます。

7 ［ファイル］メニューの［共有］をクリックする。

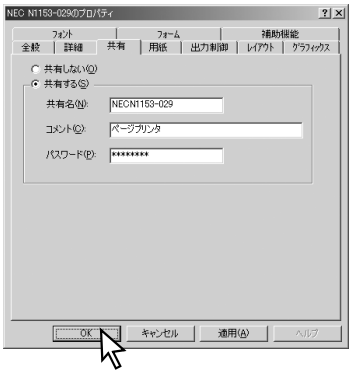
［NEC N1153-029のプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。



8 ［共有］シートの設定をする。

［共有する］を選び、そのプリンタに対して、共有名を設定します（コメント、パスワードは必要に応じて設定します）。

9 ［OK］または［適用］をクリックする。



プリンタソフトウエアの削除（アンインストール）

プリンタソフトウエア（プリンタドライバおよびSimpleMonitor）の削除方法を説明します。

プリンタドライバの削除

必要なファイルが削除されてしまったなどでプリンタが正常に動かなくなったときはプリンタドライバを再インストールする必要があります。プリンタドライバを再インストールするには、一度既存のプリンタドライバを削除（アンインストール）してから行います。ここでは削除方法を説明します。

チェック

- N1153-029で印刷中はソフトウエアの削除は行えません。印刷が終了してから行ってください。
- プリンタドライバの削除を実行する前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- SimpleMonitorをインストールしている場合は、SimpleMonitorの終了またはアンインストール（71ページ）を先に行う必要があります。

Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2008/2003 日本語版

1 ［プリンタとFAX］*1フォルダを開く。

インストール済みのプリンタアイコンが表示されます。

2 ［NEC N1153-029］アイコンを右クリックし、［削除］をクリックする。

3 ［はい］をクリックする。

NEC N1153-029のプリンタアイコンが削除されます。

4 ［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］をクリックする。

［プリントサーバーのプロパティ］が開きます。

5 ［ドライバ］タブをクリックする。

6 ［インストールされたプリンタドライバ］から［NEC N1153-029］をクリックする。

*1 Windows 2000の場合は［プリンタ］フォルダ

7 ［削除］をクリックする。

8 ［はい］をクリックする。

次のダイアログボックスが表示された場合は、OSの再起動後、手順***4***からやり直してプリンタドライバを削除してください。

9 ［インストールされたプリンタドライバ］から［NEC N1153-029］が削除されたことを確認し、［閉じる］をクリックする。

N1153-029のプリンタドライバが削除されます。

チェック

引き続き「SIF環境」用のプリンタソフトウエアをインストールする場合は、いったんWindowsを再起動してください。

Windows 8/7/Windows Server 2012/2008 R2 日本語版

1 ［デバイスとプリンター］を開く。

インストール済みのプリンタアイコンが表示されます。

2 ［NEC N1153-029］アイコンをクリックする。

3 ［プリントサーバープロパティ］をクリックする。

［プリントサーバープロパティ］が表示されます。

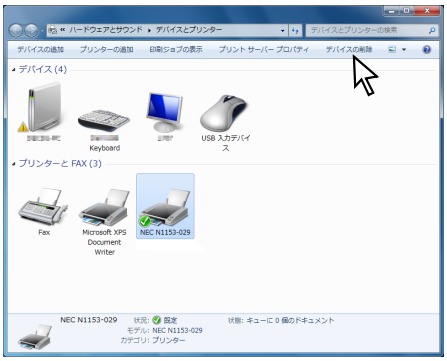
チェック

［プリントサーバープロパティ］は表示させておき、手順6で操作します。

「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。

4 ［デバイスとプリンター］の［デバイス削除］をクリックする。

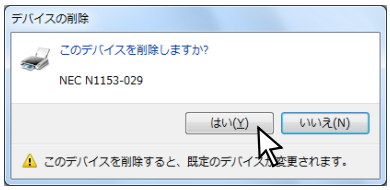
［デバイスの削除］が表示されます。



「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。

5 ［はい］をクリックする。

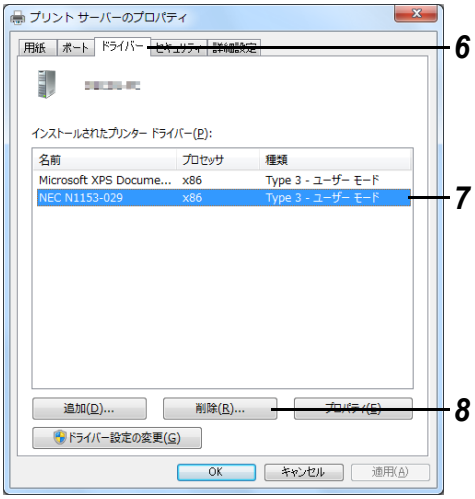
NEC N1153-029のプリンタードライバーが削除されます。



6 ［プリントサーバープロパティ］の［ドライバー］タブをクリックする。

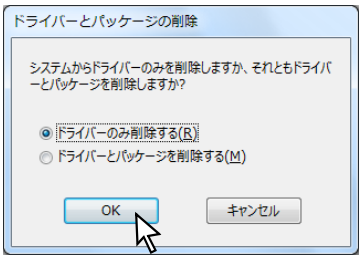
7 ［インストールされたプリンタードライバー］から［NEC N1153-029］をクリックする。

8 ［削除］をクリックする。



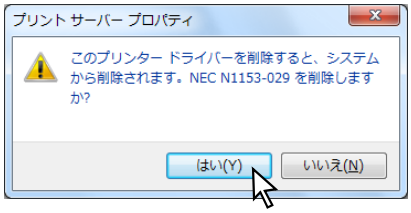
「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。

9 ［ドライバーとパッケージの削除］が表示されるので［ドライバーのみ削除する］を選択して［OK］をクリックする。



10 ［はい］をクリックする。

NEC N1153-029のプリンタードライバーが削除されます。



Windows Vista 日本語版

1 ［コントロールパネル］フォルダを開く。

2 ［ハードウェアとサウンド］から［プリンタ］を開く。

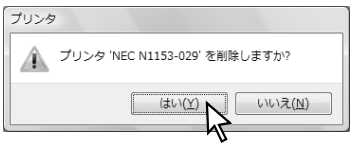
インストール済みのプリンタアイコンが表示されます。

3 ［NEC N1153-029］アイコンを右クリックし、［削除］をクリックする。

「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。

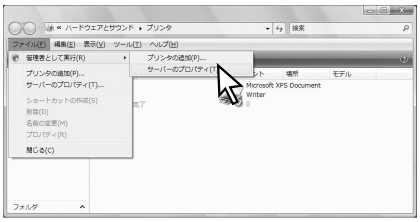
4 ［はい］をクリックする。

NEC N1153-029のプリンタアイコンが削除されます。



5 ［ファイル］メニューの［管理者として実行］から［サーバーのプロパティ］をクリックする。

［プリントサーバーのプロパティ］が開きます。



「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。

チェック

- ［ファイル］メニューが表示されていない場合は、キーボードの<Alt>キーを1回押すか、［整理］メニューの［レイアウト］から［メニューバー］を選んでチェックマークを付けてください。
- 警告メッセージが表示される場合がありますが、続行してください。

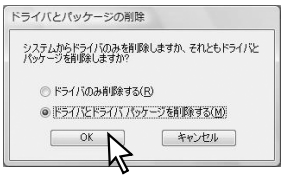
6 ［ドライバ］タブをクリックする。

7 ［インストールされたプリンタドライバ］から［NEC N1153-029］をクリックする。

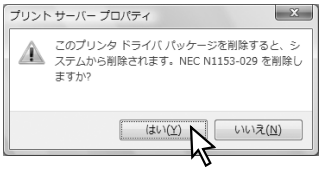
8 ［削除］をクリックする。

「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。

9 ［ドライバとドライバパッケージを削除する］を選択して［OK］をクリックする。

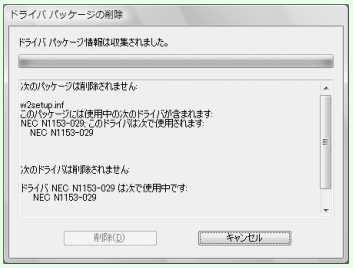


10 ［はい］をクリックする。



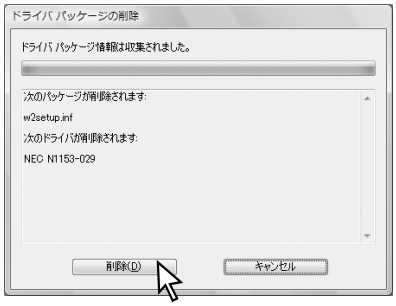
チェック

次のダイアログボックスが表示された場合は、キャンセルしてOSの再起動後、手順***5***からやり直してプリンタドライバを削除してください。



11 ［削除］をクリックする。

N1153-029のプリンタドライバが削除されます。



12 ［OK］をクリックする。

13 ［インストールされたプリンタドライバ］から［NEC N1153-029］が削除されたことを確認し、［閉じる］をクリックする。

「XPS」とは、「XML Paper Specification」の略です。

Windows Me/98/95/NT 4.0 日本語版

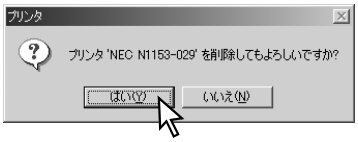
1 ［プリンタ］フォルダを開く。

インストール済みのプリンタアイコンが表示されます。

2 ［NEC N1153-029］アイコンを右クリックし、［削除］をクリックする。

3 ［はい］をクリックする。

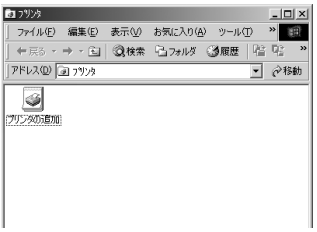
N1153-029のプリンタドライバが削除されます。



チェック

“このプリンタだけが使っていたファイルがいくつかあります。これらのファイルはもう必要ありません。削除しますか？”とメッセージが表示されたら（表示されない場合もあります）、［はい］をクリックしてファイルを削除してください。

4 ［プリンタ］フォルダから［NEC　N1153-029］が削除されたことを確認する。



SimpleMonitorの削除

SimpleMonitorの削除方法を説明します。

チェック

- 実行する前に起動中のアプリケーションをすべて終了させてください。
- Windows XP/Windows 8/7/Windows VistaからSimpleMonitorをアンインストールするユーザは、アカウントの種類が「コンピュータの管理者」である必要があります。
  また、Windows Server 2012/2003/2000からSimpleMonitorをアンインストールするユーザは、アカウントの種類が「Administrators」または「DomainAdmins」グループのメンバーである必要があります。どちらのメンバーでもない場合は、削除できません。
- N1153-029で印刷中はソフトウエアの削除はできません。印刷が終了してから削除してください。

1 ［コントロールパネル］フォルダを開く。

2 ［プログラムの追加と削除］アイコンをダブルクリックする。

Windows 8/7/Windows Vistaの場合は、［プログラムのアンインストール］をクリックします。

Windows 2000の場合は、［アプリケーションの追加と削除］をクリックします。

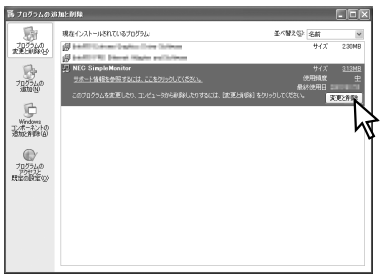
3 ［SimpleMonitor オプション選択］ダイアログボックスを開く。

Windows 8/7/Windows Vistaの場合は、［NEC SimpleMonitor］を選んで、［アンインストールと変更］をクリックします。

Windows 8/Windows 7/Windows Vista以外の場合は、次の順序に従ってください。

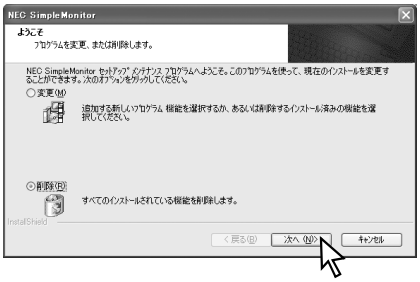
① 左側の［機能選択］バーから［プログラムの変更と削除］をクリックする。

② ［NEC SimpleMonitor］を選んで、［変更と削除］をクリックする。



4 ［削除］を選択して［次へ］をクリックする。

SimpleMonitorと関連するファイルの削除が開始されます。



SimpleMonitorは添付のプリンタソフトウエアCD-ROMのメニューから追加インストールすることができます。再インストールの際にご利用ください。

ESC/Pエミュレーションでプリンタを選択する場合について

ESC/Pエミュレーションで使用する場合、次の手順で設定を行ってください。ESC/Pエミュレーションに関する補足説明については付録の「ESC/Pエミュレーション」（387ページ）を参照してください。

1 プリンタのメニューモードで「エミュレーション」を「ESC/Pエミュレーション」に切り替える。

チェック

エミュレーションの切り替え方法については「エミュレーションの切り替え」（332ページ）をご覧ください。

2 アプリケーションで次の表に示す優先順位でプリンタを指定する。

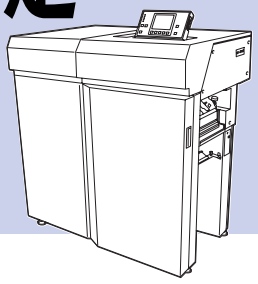
セイコーエプソン社の24ピン漢字シリアルプリンタのほとんどが以下の分類に含まれます。

優先順位	プリンタ名称
1	ESC/P 24-J84
2	ESC/P 24-J84準拠の各プリンタ
3	ESC/P 24-J83
3	ESC/P 24-J83準拠の各プリンタ

チェック

ESC/Pエミュレーションについては、「付録」の「ESC/Pエミュレーション」（387ページ）をご覧ください。

3章
ネットワークでの設定



この章では、LANボード（標準装備）を使用してプリンタをネットワーク接続してお使いになる場合のネットワーク設定について説明します。

LANボードについて

プリンタに標準装備されているLANボードは、Fast Ethernet（1000BASE-T/100BASE-TX）およびEthernet（10BASE-Tネットワーク）にN1153-029プリンタを接続するためのネットワークボードです。

特長

プリンタ内蔵型でさまざまなネットワークインタフェースに対応

プリンタに内蔵されるために設置場所を必要としません。また、LANインタフェースとして、Fast Ethernet（1000BASE-T/100BASE-TX）およびEthernet（10BASE-Tネットワーク）に対応しています。

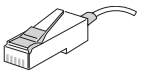
各種ネットワークOSに対応

次のネットワークOSに対応し、さまざまなLAN環境で使用することができます。

- Windows XP/2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Windows NT 4.0（64ビット版Windowsを含む）
- Windows Me/98/95

LANケーブルの接続

LAN ボードには、ネットワークに接続するインタフェースを 10BASE-T、100BASE-TX/1000BASE-Tの3種類用意しています。ケーブルは添付されていないため、適切なケーブルを別途お求めの上、保守員に渡して、LANボードの接続を依頼してください。

ケーブルタイプ	コネクタの状態
Ethernet (10BASE-T)	
Fast Ethernet (100BASE-TX)	
Gigabit Ethernet (1000BASE-T)	

コンフィグレーションページの印刷

コンフィグレーションページとは、LANインタフェースのIPアドレスやサブネットマスク、MACアドレスなどのネットワークの設定情報が一覧できるLANステータス印刷です。ネットワークケーブルを接続したとき、ネットワークに関する変更を行った前後などにコンフィグレーションページ印刷を行い、設定内容の確認をしてください。以下にプリンタの主操作パネルから行うコンフィグレーションページの印刷方法について説明します。

1 プリンタの電源をONにする。

電源ON後、プリンタが印刷可能な状態（ディスプレイに“印刷可”を表示）になったことを確認します。

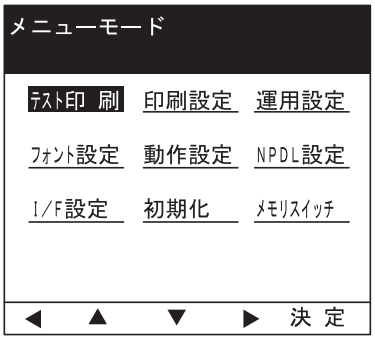
> **チェック**
>
> コンフィグレーションページを印刷する前に、用紙がプリンタにセットされていることを確認してください。用紙がセットされていない場合は、5章の「② 用紙をセットする」(159ページ）を参照してセットしてください。

2 [印刷可] スイッチを押して、オフライン状態にする。

ディスプレイに“オフライン”を表示します。

3 [メニュー] スイッチを押す。

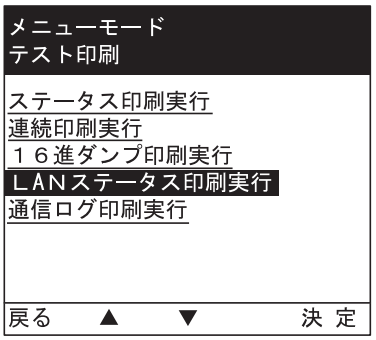
ディスプレイに“メニューモード”と表示されます。この時点で、“ﾃｽﾄ印刷”が選択されています。



4 [決定] スイッチを1回押す。

5 [▼] スイッチを3回押す。

ディスプレイは“LANステータス印刷実行”が選択された表示になります。



6 [決定] スイッチを押す。

プリンタはLANインタフェースの設定情報を印刷します。

7 コンフィグレーションページを参照してLANインタフェースの設定内容を確認する。

次ページ以降の印刷例を参考にしてください。印刷例は工場出荷時における印刷例です。

N1153-029のLANインタフェース　コンフィグレーションページの印刷例

```
NEC Network Interface Configration Page

   <Network Information>

      F/W Version                 :  02.13 00212.0511301524
*1    ID Number                   :  NFE-29000
      Printer Name                :  NFE-29000
*1    MAC Address                 :  00:30:13:0F:01:05
      H/W Description             :  NEC NetworkPrinter7000EZ
      10Base/100Base/1000Base     :  "Auto (1000Base)"
      Half/Full Duplex            :  "Auto (Full Duplex)"
      MDI/MDIX                    :  "MDI"
      Jumbo Packet                :  "Enable"
      MTU                         :  "4 KB"
      Printing Log                :  "Off"

   <Self-Diagnosis>

      Link Test                   :  "OK"
      Network Status              :  "OK"

   <TCP/IP>

*2
      IP Address                  :  11. 22. 33. 44
*2    Subnet Mask                 :  255.  0.  0.  0
      Gateway Address             :   0.  0.  0.  0
      Auto IP Address             :  "On"
      Max. Number of Session      :  64
      Session Timeout [sec]       :  120
      Keep Alive                  :  "On"
      FTP Timeout [min]           :  10
      DHCP                        :  "Off"
      e-Mail Service              :  "Off"
      Current Active Session      :  0
*3    1st Access Limitation       :   0.  0.  0.  0
      "Accept"                    :   0.  0.  0.  0
*3    2nd Access Limitation       :   0.  0.  0.  0
      "Accept"                    :   0.  0.  0.  0
*3    3rd Access Limitation       :   0.  0.  0.  0
      "Accept"                    :   0.  0.  0.  0
*3    4th Access Limitation       :   0.  0.  0.  0
      "Accept"                    :   0.  0.  0.  0
*3    5th Access Limitation       :   0.  0.  0.  0
      "Accept"                    :   0.  0.  0.  0
```

*1　ID NumberおよびMAC AddressはLANインタフェース個々の情報を示します。

*2　IPアドレス、サブネットマスクの工場出荷時の値です。

*3　アクセス制限機能有効時に印刷されます。

チェック

ネットワークへ接続した後やプリンタの設定を変更した後は、必ずコンフィグレーションページを印刷して大切に保管しておいてください。

項　目	説　明
F/W Version	LANインタフェースのファームウエアバージョンです。
ID Number	LANインタフェース固有のIDです。
Printer Name	ネットワーク上から見たプリンタの名前です。半角大文字の英数字、ハイフン「-」、アンダーバー「_」が使用可能です。
MAC Address	プリンタに接続しているネットワークオプション固有のネットワークアドレスです。
H/W Description	プリンタに接続しているネットワークオプションの種別です。
10Base/100Base/1000Base	「Auto」では10BASE-T、100BASE-TX、または1000BASE-Tを自動判別し、通信速度を決定します。
Half/Full Duplex	「Auto」では通信方式を自動判別し、全二重（Full Duplex）、半二重（Half Duplex）のどちらかに決定します。
MDI/MDIX	1000BASE-Tコントローラがサポートしている MDI（ストレートケーブル）とMDIX（クロスケーブル）を表します。
Jumbo Packet	1000BASE-Tコントローラがサポートしている MTU（送信できるデータ分割ブロックの最大値）を拡張して、パケットの送受信を行うジャンボパケットの送受信を表します。
MTU	MTU（送信できるデータ分割ブロックの最大値）を表します。
Printing Log	印刷ログの設定状況です。
Link Test	Link状態を表します。
NetWork Status	ハードウエアテストの結果を表します。
IP Address	IPアドレスを表します。
Subnet Mask	サブネットマスクを表します。
Gateway Address	ゲートウェイアドレスを表します。
Auto IP Address	UNIXコマンド（Arp、Ping）を用いた設定の許可を表します。
Max. Number of Session	TCP/IPの最大接続数を表します。この設定は、すべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象になります。設定範囲は「1～64」、初期値は「64」になっています。
Session Timeout [sec]	TCP/IP接続時にホストコンピュータから応答が無い場合の通信タイムアウトの設定を表します。
Keep Alive	通信タイムアウトで設定した時間が経過した場合に、ホストコンピュータにKeepAliveパケットを送信するか、しないかの設定を表します。
FTP Timeout [min]	FTP接続時のタイムアウト時間を表します。
DHCP	DHCPを用いてアドレスを取得するかどうかの設定を表します。
e-Mail Service	トナー残少時のメール通知設定を表します。
Current Active Session	現在のTCP接続数を表します。
1st～5th Access Limitation	アクセス制限機能が有効の場合、アクセス制限1～5のそれぞれの設定値を表します。 有効（Valid）と設定した各アクセス制限の、IPアドレス（上段）、ネットマスク（下段）、アクセス許可（Accept）／拒否（Reject）が表示されます。

ネットワークの設定

プリンタをネットワーク環境で利用する前に、ネットワークインタフェースのIPアドレスやサブネットマスクなどを設定する必要があります。
ここでは、標準実装LANインタフェースを使用する際に必要な設定方法について説明します。以下のいずれかの方法で設定してください。また、DHCPを使用して設定する場合は、「より便利なネットワーク機能」（112ページ）を参照してください。

- プリンタの主操作パネル（78ページ）..... プリンタの「主操作パネル」を使用してプリンタをネットワーク環境で使用するための設定をします。主操作パネルの詳細については、「4章　操作パネルについて」を参照してください。
- WWWブラウザ（80ページ）..... 汎用の WWW ブラウザを使用してプリンタをネットワーク環境で使用するための設定をします。
- UNIXコマンド（98ページ）..... UNIXコマンド「Ping」と「arp」を使用して設定します。

IPアドレスを設定する前にコンフィグレーションページを印刷して、LANインタフェースのMACアドレスを確認してください。コンフィグレーションページの印刷は主操作パネルから行います。コンフィグレーションページ印刷については「コンフィグレーションページの印刷」（75ページ）を参照してください。

プリンタの主操作パネル（IPアドレスとサブネットマスクの設定）

プリンタの主操作パネルからIPアドレスやサブネットマスクを設定する手順を説明します。DHCPを使用したIPアドレスの自動取得を利用したい場合は、「DHCP」（112ページ）を参照してください。

1 プリンタの電源をONにする。

電源ON後、プリンタが印刷可能な状態（ディスプレイに“印刷可”を表示）になったことを確認します。

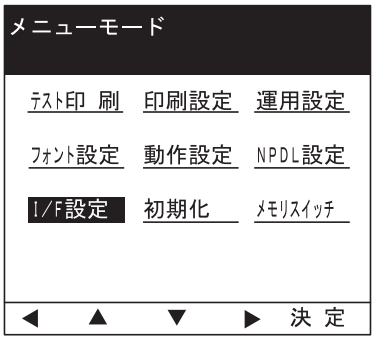
2 ［印刷可］スイッチを押して、オフライン状態にする。

ディスプレイに“オフライン”を表示します。

3 ［メニュー］スイッチを押す。

プリンタはメニューモードに入り、ディスプレイにメニューを表示します。

4 ［▼］スイッチを2回押して、“I／F設定”を選択する。

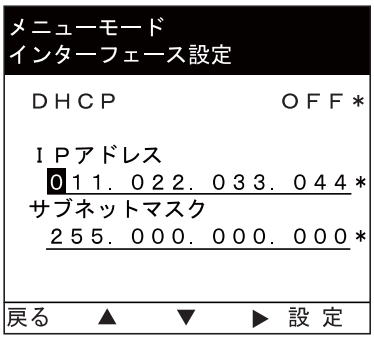


5 ［決定］スイッチを押す。

ディスプレイに“インターフェース設定”の画面が表示されます。

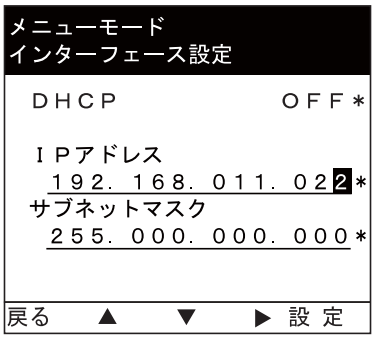
6 [▼] スイッチを1回押して、“IPアドレス”の値にカーソルを移動させる。

表示されているアドレスの一番左端にカーソルが移動します。



7 [▶] スイッチで変更する桁にカーソルを移動させ、[設定] スイッチで値を変更する。

値は1桁単位に設定します。
設定を変更する必要のない桁では、[▶] スイッチを押して次の桁へスキップしてください。
値は [設定] スイッチを押すたびに、“0” → “1” → “2” … “9” → “0” → (繰り返し) と変化します。

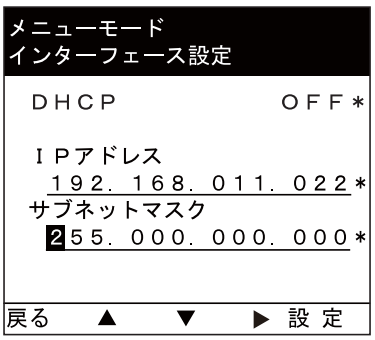


チェック

同一LAN上の他のネットワーク機器とIPアドレスが重複しないよう正しく入力してください。

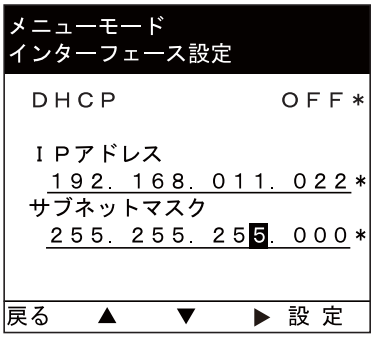
8 [▼] スイッチを1回押して、“サブネットマスク”の値にカーソルを移動させる。

表示されているマスク値の一番左端にカーソルが移動します。



9 手順 **7** と同様にサブネットマスクを正しく設定する。

表示されているマスク値の一番左端にカーソルが移動します。



10 [印刷可] スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンタは印刷可能な状態になり、ディスプレイには“印刷可”と表示されます。

チェック

変更した設定値がプリンタに反映されるまでに時間がかかる場合があります。メニューモードを再度起動させて設定を確認・変更する場合はしばらく待ってください。

WWWブラウザ

プリンタをネットワーク環境で利用するための設定を汎用のWWWブラウザで実行する方法について説明します。

WWWブラウザの起動

LANインタフェースに設定されたIPアドレスをWWWブラウザのURL入力欄に入力することでLANインタフェースのページを開くことができます。

```
http://ddd.ddd.ddd.ddd/
```

「ddd.ddd.ddd.ddd」はLANインタフェースのIPアドレスです。

（実行例）

```
http://11.22.33.44/
```

重要

工場出荷状態または異なるネットワークアドレスのIPアドレスを設定する場合は以下のことにご注意ください。

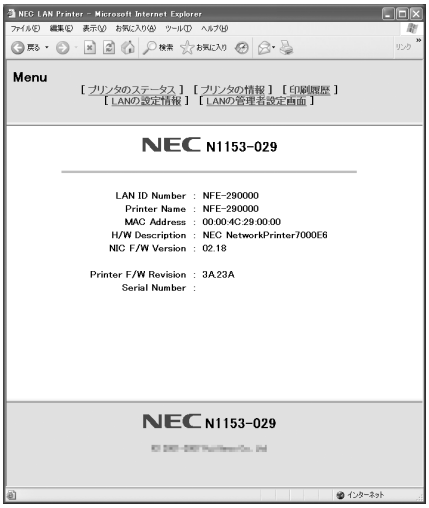
- ホストコンピュータのルーティングテーブルにルートパスを一時的に設定する必要があります。
- 接続時はプロキシサーバを使用しない設定にしてください。
- プリンタとホストコンピュータがルータなどを介さないで接続された環境で行ってください。

ホストコンピュータの設定に関してはホストコンピュータのマニュアルを参照してください。

チェック

LANの管理者設定画面ではフレーム表示対応のWWWブラウザを使用する必要があります。Internet Explorer 3.X以降または、Netscape Navigator 3.X以降などのフレーム対応ブラウザをご使用ください。

LANインタフェースとの接続に成功すると下のような画面が開きます。



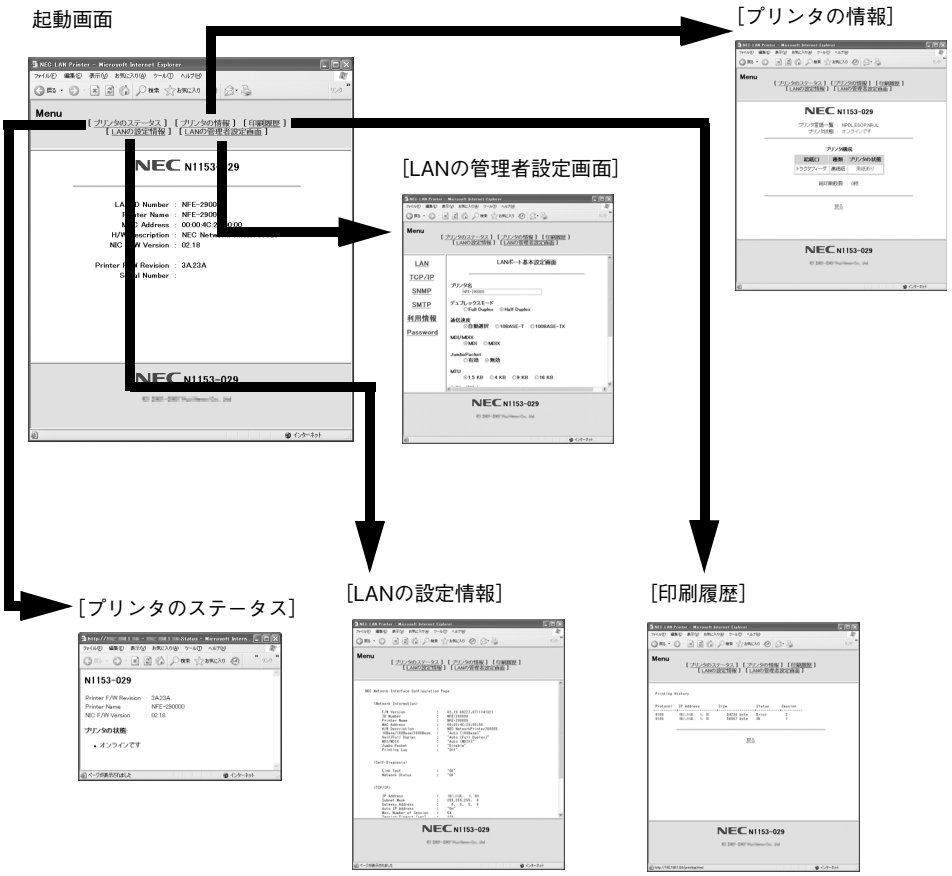
WWWブラウザでは以下の情報を設定または参照できます。

- プリンタのステータス
- プリンタの情報
- 印刷履歴
- LANの設定情報
- LANの管理者設定画面

チェック

LANの管理者設定画面ではフレーム表示対応のWWWブラウザを使用する必要があります。Internet Explorer 3.X以降またはNetscape Navigator 3.X以降などのフレーム対応ブラウザをご使用ください。

画面の構成



各メニューの詳細

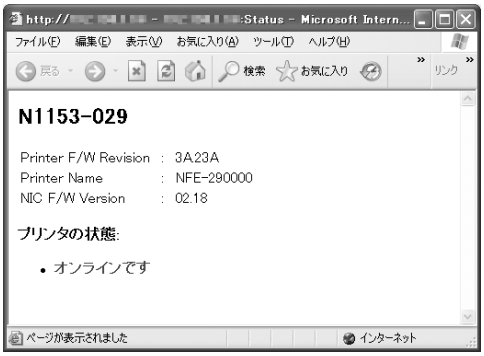
起動画面から選択するメニューの詳細について説明します。

プリンタのステータス

プリンタのステータス画面では、プリンタの状態が表示されます。
この画面は起動画面とは別の新規ブラウザとして起動されます。

チェック

状態表示の周期は変更できません。
プリンタ名はLANの管理者設定画面で変更できます。



- Printer F/W Revision
  プリンタのファームウエアのバージョンを示します。
- Printer Name
  LANボードに登録されたプリンタ名を示します。
- NIC F/W Version
  LANボードのファームウエアのバージョンを示します。
- プリンタの状態
  30秒周期にプリンタの状態を監視し、状態が自動的に更新されます。

プリンタの情報

プリンタの情報画面では、プリンタの状態、構成情報が表示されます。

- プリンタ言語一覧
  プリンタがサポートしている処理言語を一覧表示します。
- プリンタ状態
  プリンタの情報画面を開いたときのプリンタの状態が表示されます。

チェック

ステータスはWWWブラウザの表示を更新するまで変わりません。

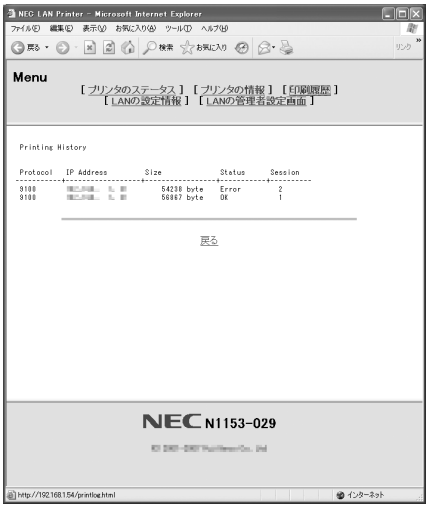
- プリンタ構成
  プリンタの給紙ユニット情報、用紙種類、および用紙の有無が表示されます。

印刷履歴

印刷履歴画面では、LANインタフェース経由で印刷した印刷履歴が表示されます。

チェック

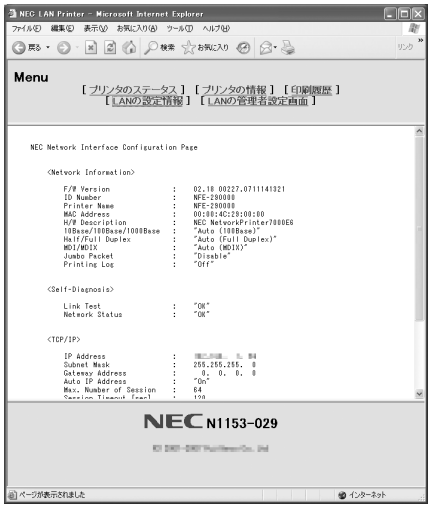
プリンタの印刷履歴を表示する場合は、印刷履歴を記録するための設定変更が必要です。工場出荷時の設定では［記録しない］になっています。
印刷履歴を記録するための設定変更は、「LANの管理者設定画面」（87ページ）で行います。



- Protocol：　印刷アプリケーションプロトコルを示します。
- IP Address：　ホストコンピュータのアドレスです。
- Size：　プリンタが受信したデータサイズを示します。
- Status：　通信結果を示します。
- Session：　リンタが受けている印刷リクエストの数を示します。

LANの設定情報

LANの設定情報画面では、ネットワーク関係の設定一覧を表示します。
この画面は、コンフィグレーションページより得られる印刷出力情報を画面に表示したものです。

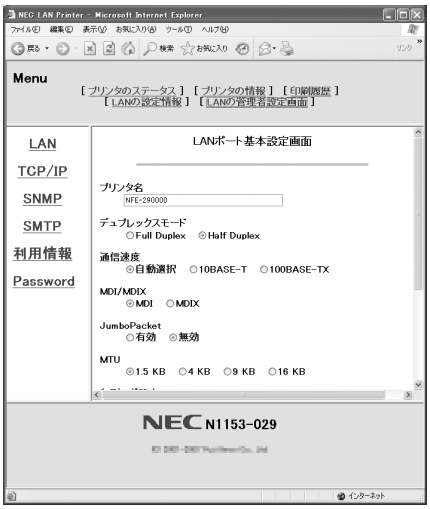


LANの管理者設定画面

LANの管理者設定画面では、ネットワーク関係の設定確認、設定変更を行うことができます。

チェック

- パスワードの変更に関してはPassword設定画面を参照してください。
- 出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。
- パスワードを忘れた場合は、設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るため、再設定が必要です。初期化については、「ネットワーク設定の初期化」（130ページ）を参照してください。
- 設定の登録は大きく分かれた個々のブロック単位で行います。設定変更後に［設定］を押して登録を行ってください。



設定項目は大きく次の6つに分かれています。

- LAN（88ページ）
  ［LANポート基本設定画面］が表示され、LAN固有の基本設定を行います。
- TCP/IP（90ページ）
  ［TCP/IP設定画面］が表示され、IPアドレス設定など、ネットワーク接続に必要な設定を行います。
- SNMP（93ページ）
  ［SNMP設定画面］が表示され、SNMP管理プロトコルを使用する場合に、必要な設定を行います。
- SMTP（94ページ）
  ［SMTP設定画面］が表示され、プリンタのトナー残量が少なくなった場合に電子メールを送信する設定を行います。
- 利用情報（96ページ）
  ［利用情報 設定画面］が表示され、利用情報の設定を行います。
- Password（97ページ）
  ［Password設定画面］が表示され、設定を変更するときに入力するパスワードの変更が行えます。

LANポート基本設定画面

LANポート基本設定画面では、プリンタ名や通信速度などの基本的な設定を行います。

- プリンタ名
  LANインタフェース固有の名前を登録することができます。
  登録可能な文字列は半角大文字の英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。
- デュプレックスモード
  スイッチングハブ接続時のパケットの送受信設定を行います。
  - Full Duplex（全二重通信）
    パケットの送受信を同時に行うことができます。
  - Half Duplex（半二重通信）
    パケットの送受信をそれぞれ別々に実行します。

チェック

「通信速度」で「自動選択」が選ばれているときはデュプレックスモードの設定は無効となり自動選択になります。

- 通信速度
  LANインタフェースの通信速度の設定を行います。
  - 自動選択
    10BASE-Tまたは100BASE-TXを自動判別し、通信速度を決定します。本設定選択時は、デュプレックスモードも自動判別し、決定します。
  - 10BASE-T
    10BASE-T固定の接続設定になります。
  - 100BASE-TX
    100BASE-TX固定の接続設定になります。

チェック

10BASE-Tまたは100BASE-TX選択時は、デュプレックスモードの設定が有効になります。

- MDI/MDIX
  1000BASE-Tコントローラがサポートしている MDI（ストレートケーブル）とMDIX（クロスケーブル）の設定を行います。
  - MDI
    MDI（ストレートケーブル）設定になります。
  - MDIX
    MDIX（クロスケーブル）設定になります。
- Jumbo Packet
  1000BASE-Tコントローラがサポートしている MTU（送信できるデータ分割ブロックの最大値）を拡張して、パケットの送受信を行うジャンボパケットの送受信の設定を行います。
  - 有効
    ジャンボパケットの送受信が有効になります。
  - 無効
    ジャンボパケットの送受信が無効になります。
- MTU
  MTU（送信できるデータ分割ブロックの最大値）を設定します。1.5／4／9／16KBから選択できます。
- 印刷ログ設定
  LANインタフェース経由の印刷履歴を記録するための設定を行います。
  - 記録する（自動排出）
    印刷履歴を記録するとともに、最大登録ジョブ数になると、自動的に印刷履歴を印刷出力します。
    最大登録ジョブ数：50
  - 記録する（上書き）
    印刷履歴を記録するとともに最大登録ジョブ数を超えて印刷すると、一番古いジョブから削除（上書き）されます。
  - 記録しない
    印刷履歴は記録されません。

チェック

- 印刷履歴はプリンタの電源切断時またはリセット時にすべてクリアされ、内部に保持されません。
- IPアドレスなどの設定を変更した場合もクリアされます。
- 設定を［記録する］から［記録しない］に変更した場合、LANインタフェースが保持している印刷履歴を印刷してから設定が変更されます。

- Password
  パスワードを入力します。

TCP/IP設定画面

TCP/IPに関する設定を行います。

- DHCP
  LANインタフェースのIPアドレスをDHCPサーバから自動的に取得する機能を使用するかしないかを設定します。[使用する] 選択時にDHCPが有効となります。DHCPの詳細については「DHCPの設定」（112ページ）を参照してください。
- IPアドレス
  LANインタフェースのIPアドレスを設定します。

チェック

工場出荷状態または異なるネットワークアドレスのIPアドレスを設定する場合は、次のことに注意してください。

- ホストコンピュータのルーティングテーブルにルートパスを一時的に設定する必要があります。
- 接続時はプロキシサーバを使用しない設定にしてください。
- プリンタとホストコンピュータがルータなどを介さないで接続された環境で行ってください。
- 異なるIPアドレスを設定すると応答が返らなくなります。一度、WWWブラウザを閉じて正しいIPアドレスをURLに指定してください。

- サブネットマスク
  LANインタフェースのサブネットマスクを設定します。
- ゲートウェイ
  ゲートウェイアドレスを設定します。

チェック

- ゲートウェイアドレスの設定はSNMPのTrap機能、電子メール配信機能およびルータを経由した印刷を行う場合に必要です。
- 使用しないときは「0.0.0.0」を登録してください。

- FTPタイムアウト
  FTPログイン時のタイムアウト時間を設定します。
  - 設定範囲： 5～60（分）
  - 初期値： 10（分）
- 最大セッション数
  TCP/IPの最大接続数を設定します。
  この設定はすべてのTCP/IPアプリケーション層プロトコルが対象となります。
  - 設定範囲： 1～64
  - 初期値： 64
- 通信タイムアウト
  TCP/IP接続時にホストコンピュータから応答がない場合のタイムアウト時間を設定します。
  - 設定範囲： 30～7200（秒）
  - 初期値： 120（秒）
- AutoIp設定（PING）
  UNIXコマンドによるIPアドレス設定時にPINGによるIPアドレス設定を許可するかしないかを設定します。
  ［設定する］選択時にPINGによる設定変更が可能です。

チェック

IPアドレス設定後は、AutoIp設定を「設定しない」にしてください。

- KeepAlive
  ［通信タイムアウト］で設定した時間が経過した場合に、ホストコンピュータにキープアライブパケットを送信するかしないかを設定します。
  キープアライブパケット送信時にホストコンピュータから対応がある場合は、TCP/IP接続が維持されます。
  ［使用する］選択時にキープアライブパケットが送信されます。
- アクセス制限
  IPアドレスによるアクセス制限機能を使用するか、しないかを設定します。アクセス制限については「アクセス制限」（126ページ）を参照してください。

- アクセス制限1
  アクセス制限1の各項目を設定します。項目は以下の4項目で構成されています。
  - 有効／無効設定
    アクセス制限1のパラメータの有効／無効を設定します。
  - アクセス許可／拒否設定
    アクセス制限1のIPアドレス／ネットマスクにマッチしたパケットの取り扱いを設定します。
  - アクセス制限を行うIPアドレス
    アクセス制限を行うIPアドレスを設定します。

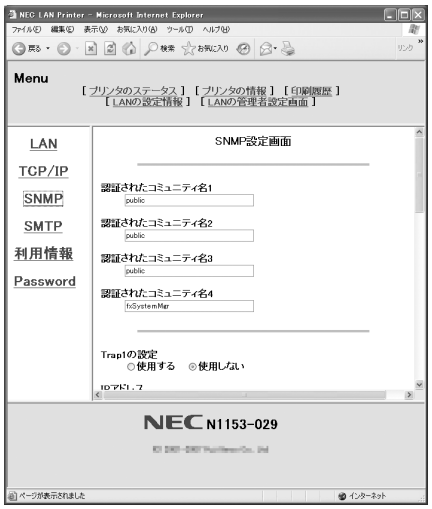
    設定範囲：　各オクテットは0～255

    初期値：　0.0.0.0
  - アクセス制限を行うIPアドレスのネットマスク
    アクセス制限を行うIPアドレスのネットマスクを設定します。

    設定範囲：　各オクテットは0～255

    初期値：　0.0.0.0
- アクセス制限2～5
  各パラメータ、入力条件はアクセス制限1と同じです。
- Password
  パスワードを入力します。

SNMP設定画面



- 認証されたコミュニティ名
  Get Request、Set Requestコマンド通信に必要なコミュニティ名を設定します。
  コミュニティ名には異なる名称を最大4つまで登録できます。
- Trapの設定
  Trap送信先のTrapマネージャの登録を最大4つまで行うことができます。
  それぞれのTrapマネージャに対し、以下の設定が必要です。
  ［使用する］選択時に有効となります。
- IPアドレス
  Trap送信するホストコンピュータのIPアドレスを設定します。
- コミュニティ名
  ホストコンピュータがTrapを受け付けるコミュニティ名を設定します。

チェック

Trap送信先ホストコンピュータのIPアドレスのネットワークアドレスがLANインタフェースのネットワークアドレスと異なる場合はゲートウェイアドレスの設定が必要です。
TCP/IP設定の［ゲートウェイアドレス］欄でゲートウェイアドレスを設定してください。

SMTP設定画面

プリンタのトナー残量が少なくなると、電子メールを送信して通知します。

- トナーの残量が少ないとき、メールで通知
  プリンタのトナーの残量が少ない場合に電子メールを送信するかしないかを設定します。［する］を選択すると、電子メールの送信が有効となります。

チェック

- トナーの残量が少なくなった初期の状態において、プリンタ側のセンサーの状況により、数回電子メールが送信される可能性があります。
- 電子メール送信後、トナーの補給またはカートリッジの交換が行われる前に送信先メールアドレスなどのパラメーターが変更されると、再度、電子メールが送信されます。

- メールサーバーのIPアドレス
  メールサーバーのIPアドレスを設定します。

チェック

メールサーバーのIPアドレスのネットワークアドレスがLANインタフェースのネットワークアドレスと異なる場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
TCP/IP設定画面の［ゲートウェイアドレス］ボックスでゲートウェイアドレスを設定してください。

- To:のメールアドレス
  電子メール送信先のメールアドレスを入力します。

チェック

メールのSubjectは以下で固定です。
Subject: ［NECNIC Report］Printer low-toner

- Cc:のメールアドレス
  電子メール送信先の写しが必要な場合にメールアドレスを入力します。
- From:のメールアドレス
  電子メール送信元のメールアドレスを変更します。初期値として「PRN@domain-name」が設定されています。必要に応じて、送信元アドレスの変更を行ってください。

チェック

From：送信元アドレスを入力する場合
「ユーザ名@ドメイン名」の形式で必ず入力してください。
「@」がない場合や「@」の前後に文字列がない場合は入力エラーとなり、設定変更されません。

- メール本文
  電子メールの本文に記載するコメントを入力します。3行まで入力できます。各行ともに最大80文字（80バイト）、計240文字の入力可能です。

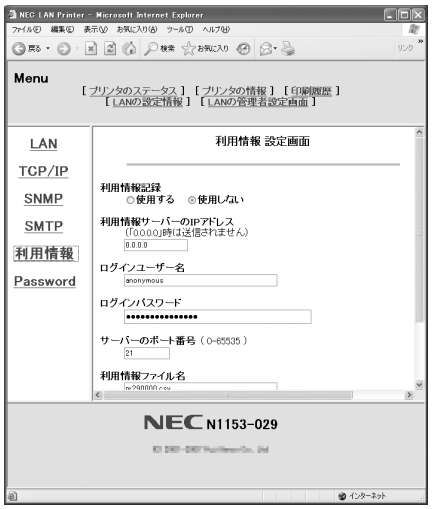
チェック

本文として使用可能な文字列は、ASCIIコード：0020h～0007Eh（16進）の範囲に限ります。ただし、以下の文字コードは使用することができません。

- “（0022h）
- &（0026h）
- ;（003Bh）
- <（003Ch）
- >（003Eh）

- Password
  パスワードを入力します。

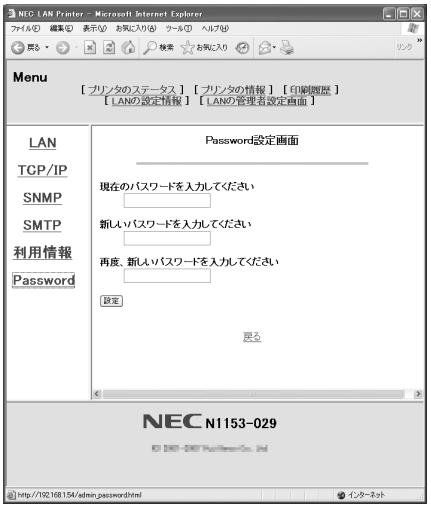
利用情報設定画面



- 利用情報記録
  利用情報記録機能を使用するか、しないかを設定します。
- 利用情報サーバーのIPアドレス
  FTPサーバのIPアドレスを入力します。
  - 初期値：0.0.0.0
  - 初期値の場合、利用情報はプリンタからコンピュータへ送信されず、印刷出力されます。
- ログインユーザー名
  - 初期値：　anonymous
  - 使用できる文字：　半角英数、アンダーバー「_」、およびハイフン「-」。32文字まで有効
- ログインパスワード
  - 初期値：　PRN@domain-name
  - 使用できる文字：　文字コード（0x20-0x7F）、32文字まで有効
- サーバーのポート番号
  - 初期値：　21
  - 設定範囲：　0～65535
- 利用情報ファイル名
  - 初期値：　prXXXXXX.csv（LANインタフェースの場合）
  - 使用できる文字：　半角英数、アンダーバー「_」、ハイフン「-」、ドット（0x2e）「.」、64文字まで有効。ファイル名は、ディレクトリ指定（'/'）ができます。ファイル名は変更できません。ファイル名が存在しない場合は、エラーとなります。
- Password
  パスワードを入力します。

Password設定画面

設定変更するときに入力するパスワードの変更方法を説明します。



画面の指示に従い、以下の3つのパスワードをすべて入力して新しいパスワードの登録を行ってください。

- 現在のパスワード入力
- 新しいパスワード入力
- 新しいパスワード再入力

出荷時のパスワードは、「NECPRADMIN」です。

チェック

- パスワードとして使用可能な文字列は半角英字、数字、ハイフン「-」、およびアンダーバー「_」です。
- 英字の大文字と小文字は区別されます。
- 新しいパスワードは、次回のログイン時から有効になります。
- パスワードを忘れた場合は、LANインタフェースの設定を初期化し、工場出荷時の設定に戻してください。その場合は、他の設定も工場設定値に戻るので、再設定が必要です。LANインタフェースの初期化に関しては「ネットワーク設定の初期化」（130ページ）を参照してください。

UNIXコマンド

UNIXコマンドを使ってIPアドレスを設定する方法を説明します。

重要

- ここで示す方法でIPアドレスを設定すると、LANインタフェースの設定を初期化するまで同じ方法では設定できません（「ネットワーク設定の初期化」（130ページ）参照）。
  LANインタフェースの設定を初期化すると他のOSの設定もクリアされ、工場出荷時の設定に戻ります。初期化を行う前に、コンフィグレーションページを印刷して設定を控えておいてください（「コンフィグレーションページの印刷」（75ページ）参照）。
- プリンタにIPアドレスを設定する場合は、設定するために使うコンピュータとプリンタがIPルータなどを介さない（同一ネットワーク内）で接続された環境で行ってください。

ここでは、設定例としてコンピュータのIPアドレスを「123.123.123.1」、プリンタに設定するIPアドレスを「123.123.123.123」とします。

1 プリンタの電源をOFFにし、再度電源をONにする。

2 コマンドプロンプトを開き、routeコマンドを実行する。

```
>route add 11.22.33.44 ＜コンピュータのIPアドレス＞
```

（実行例）

```
>route add 11.22.33.44 123.123.123.1
```

3 pingコマンドを実行する。

```
>ping 11.22.33.44
```

（実行例）

```
Pinging 11.22.33.44 with 32bytes of data:
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time＜10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time＜10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time＜10ms TTL=32
Reply from 11.22.33.44: bytes=32 time＜10ms TTL=32
```

4 arpコマンドを実行する。

```
>arp -a 11.22.33.44
```

次のような画面が表示されます。
（画面表示例）

```
Interface: 123.123.123.1
Internet Address      Physical Address      Type
11.22.33.4400.-00-4C-29-00-00 dynamic
```

Physical Addressには、ネットワークに接続されているプリンタのMACアドレスが表示されます。複数のプリンタが接続されている場合には、その中の1つが表示されます。IPアドレスを設定するプリンタの電源のみをONにして設定することをお勧めします。

5 IPアドレスをコンピュータへ登録する。
以下のarpコマンドを実行します。

```
>arp -s ＜プリンタに設定するIPアドレス＞＜設定するプリンタのMACアドレス＞
```

（実行例）

```
>arp -s 123.123.123.123 00-00-4C-29-00-00
```

6 pingコマンドを実行する

```
>ping　＜プリンタに設定するIPアドレス＞
```

（実行例）

```
>ping 123.123.123.123
```

以上でIPアドレスの設定は終了です。

コンフィグレーションページを印刷して、IPアドレスが正しく設定されたことを確認してください（「コンフィグレーションページの印刷」（75ページ）参照）。

続いて他のプリンタのIPアドレスを変更する場合は、以下のコマンドを実行後、手順**3**から設定を行ってください。

```
>arp -d 11.22.33.44
```

ネットワークポートの作成
（Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/ Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003（日本語版）

ここでは、2章で説明しているプリンタソフトウエアCD-ROMのメニューを使わずに接続先の設定とプリンタドライバをインストールする手順について説明します。

重要

LLプリンタ支援ソフトウェアを利用する場合は、Standard TCP/IP (LPR)を使用します。UNIX用印刷サービス（LPR）は利用できません。

チェック

Windows Me/98/95/Windows NT 4.0については2章を参照してください。

Windows XP*1、Windows 8/7、Windows Vista、Windows Server 2012/2008 R2/2008/、Windows Server 2003*1、Windows 2000からプリントサーバ（ネットワーク共有プリンタ）を利用しない印刷には、以下の2つの方法があります。

- UNIX用印刷サービス（LPR）（101ページ参照）..... OSに標準で収録されているUNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷します。
- Standard TCP/IP Port（LPR）（107ページ参照）... OSに標準で収録されているStandard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷します。

これらの印刷方法で印刷する前に、あらかじめプリンタにIPアドレスを設定する必要があります。「ネットワークの設定」（78ページ）を参照してIPアドレスを設定してください。
プリンタにIPアドレスを設定した後、各設定、インストールを行ってください。

OSの設定を行った後に、ネットワークを介しての印刷がうまくいかなかったときは9章の「ネットワークで思うように印刷できないときは」を参照してください。

*1 64ビット版Windowsを含みます。

UNIX用印刷サービス（LPR）を使用して印刷するには

LPRには、UNIX用印刷サービスによる印刷方法とStandard TCP/IP Portによる印刷方法の2種類があります。はじめに、UNIX用印刷サービス（LPR）を使用した印刷を行うための設定方法を説明します。

重要

UNIX用印刷サービス（LPR）を使用する場合、［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスの［ポート］シートで［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、無効にしてください。

使用するコンピュータにUNIX用印刷サービスをインストールします。インストールされている場合は、「プリンタドライバのインストール」へ進んでください。

UNIX用印刷サービスのインストール

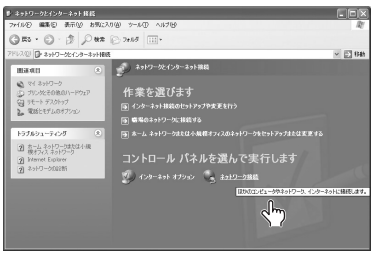
UNIX用印刷サービスを使用するには、TCP/IPプロトコルがインストールされていて、設定が完了している必要があります。TCP/IPプロトコルのインストールについては、OSのヘルプ「TCP/IPプロトコルをインストールするには」を参照してください。UNIX用印刷サービスのインストール方法について説明します。
Windows XP、Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003、Windows 8/7、Windows Vista、またはWindows 2000では手順が異なるため、それぞれ説明します。

＜Windows XP、Windows Server 2003＞

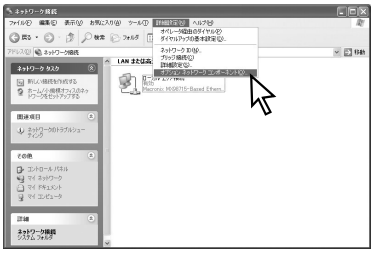
1 OSのCD-ROMをセットする。

2 コントロールパネルの［ネットワークとインターネット接続］をクリックする。

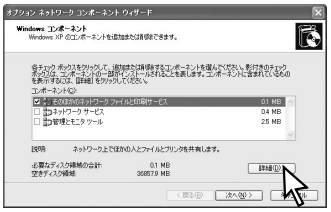
3 ［ネットワーク接続］をクリックする。



4 ［詳細設定］メニューの［オプション ネットワーク コンポーネント］をクリックする。

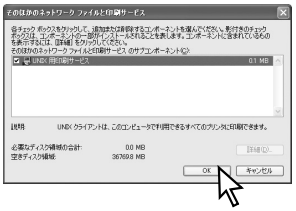


5 ［そのほかのネットワーク　ファイルと印刷サービス］を選択し、［詳細］をクリックする。



6 ［UNIX　用印刷サービス］をチェックして、［OK］をクリックする。

［オプション ネットワーク コンポーネントウィザード］ダイアログボックスに戻ります。



7 ［次へ］をクリックする。

次に「プリンタドライバのインストール」へ進んでください。

＜Windows 8/7、Windows Vista、Windows Server 2012/2008 R2/2008＞

1 コントロールパネルの［プログラム］をクリックする。

2 ［プログラムと機能］の［Windowsの機能の有効化または無効化］をクリックする。

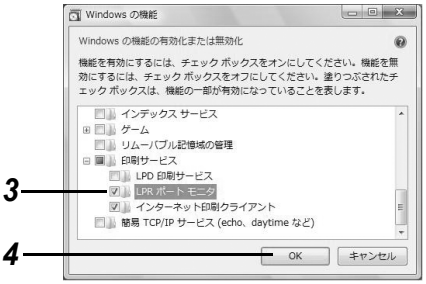
チェック

警告メッセージが表示された場合は、続行して手順を進めてください。

［Windowsの機能］ダイアログボックスが表示されます。

3 表示された一覧から、［印刷サービス］の［LPRポートモニタ］をクリックしてチェックを付ける。

4 ［OK］をクリックする。



機能を有効にするためにしばらく時間がかかる場合があります。また、有効になった後、再起動を促すメッセージが表示される場合があります。メッセージに従ってコンピュータを再起動してください。

次に「プリンタドライバのインストール」へ進んでください。

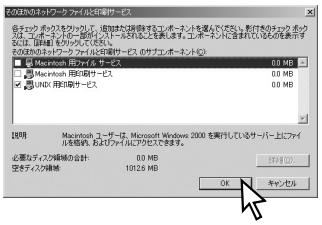
＜Windows 2000＞

1 コントロールパネルの［ネットワークとダイアルアップ接続］ダイアログボックスを開く。

2 ［詳細設定］メニューの［オプション ネットワーク コンポーネント］をクリックする。

3 ［そのほかのネットワーク　ファイルと印刷サービス］を選択し、［詳細］をクリックする。

4 ［UNIX　用印刷サービス］をチェックして、［OK］をクリックする。



次に「プリンタドライバのインストール」へ進んでください。

プリンタドライバのインストール

1 プリンタソフトウエアCD-ROMをセットする。

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］が起動します。

2 ［終了］をクリックする。

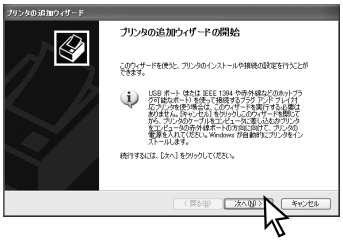
プリンタソフトウエアを終了します。

3 ［プリンタとFAX］フォルダ*1を開く。

4 ［プリンタのインストール］*2をクリックする。

5 ［次へ］をクリックする。

Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008では表示されません。次へ進んでください。



6 ［このコンピュータに接続されているローカル プリンタ］*3を選択し、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して［次へ］をクリックする。

チェック

Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008の場合の操作
Windows 8/7/ Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2 /2008の場合は、［ローカル プリンタを追加します］をクリックして手順**7**に進んでください。

7 ［新しいポートの作成］をクリックし、［LPR Port］を選択する。

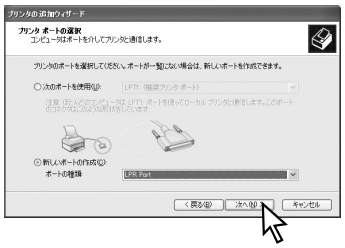
［LPR Port］が表示されない場合は、［UNIX用印刷サービス］をインストールしてください。

*1 Windows Vista/Windows 2000の場合は、［プリンタ］フォルダです。
Windows 8/7/Windows Server 2012/2008 R2の場合は、［デバイスとプリンター］です。

*2 Windows 2000の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

*3 Windows 2000の場合は、［ローカル プリンタ］です。

8 ［次へ］をクリックする。



9 ［LPD　を提供しているサーバーの名前またはアドレス］ボックスに、追加するプリンタのIPアドレスまたはドメインネームを入力し、［OK］をクリックする。

10 ［ディスク使用］をクリックする。

11 ［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

＜Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003の場合＞

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「N1153-029￥Drivers￥Win_2000XP￥Japanese」と入力します。

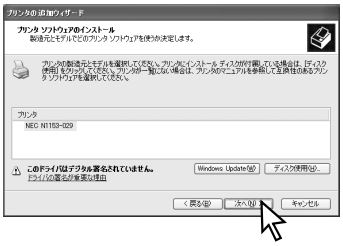
＜64ビット版Windows（IA64版）の場合＞

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「N1153-029￥Drivers￥Win_IA64￥Japanese」と入力します。

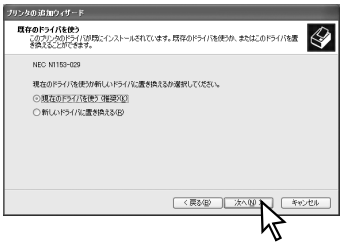
＜64ビット版Windows（x64版）の場合＞

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「N1153-029￥Drivers￥Win_x64￥Japanese」と入力します。

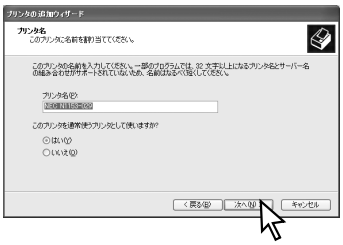
12 使用するプリンタを選び、［次へ］をクリックする。



インストールするコンピュータにすでにこのプリンタドライバがインストールされている場合は、プリンタドライバを置き換えるか既存のプリンタドライバを使用するかを選択するダイアログボックスが表示されます。どちらかを選択して［次へ］をクリックして進んでください。



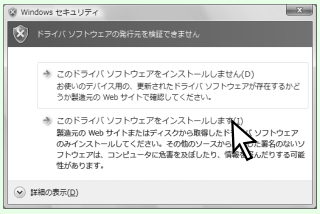
13 ［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。



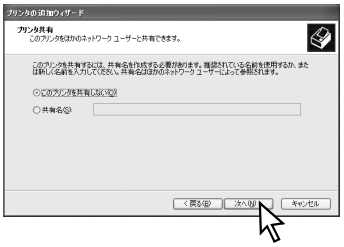
チェック

Windows 8/7/Windows Vistaの場合の操作

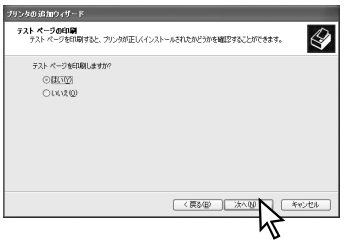
- 警告メッセージが表示された場合は、続行して手順を進めてください。
- ［Windows　セキュリティ］ダイアログボックスが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］を選択してください。添付のプリンタソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンタソフトウエアは、弊社により動作を確認しております。



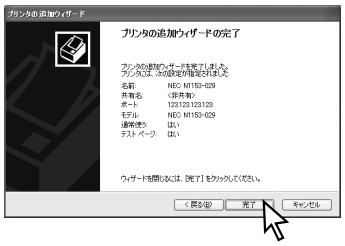
14 プリンタを共有するかを選び、［次へ］をクリックする。



15 テスト印刷するかを選び、［次へ］をクリックする。

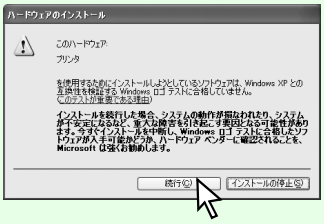


16 ［完了］をクリックする。



チェック

以下の［ハードウエアのインストール］ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンタソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンタソフトウエアは、弊社により動作を確認しております。
［続行］をクリックし、インストールを続行してください。
なお、［インストールの停止］をクリックした場合は、インストールが中止されます

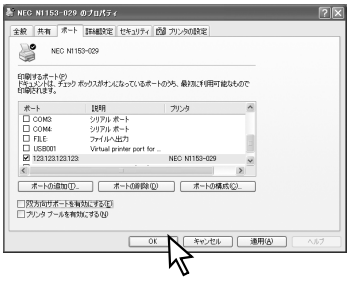


次に、双方向通信を無効にします。以下の手順で設定してください。

1 ［プリンタとFAX］フォルダ*1内に作成されたプリンタの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

2 ［ポート］タブをクリックする。

3 ［双方向サポートを有効にする］のチェックを外して、［OK］をクリックする。



以上で設定は完了です。

*1 Windows Vista/Windows 2000の場合は、［プリンタ］フォルダです。
Windows 8/7/Windows Server 2012/2008 R2の場合は、［デバイスとプリンター］です。

Standard TCP/IP Port（LPR）を使用して印刷するには

Windows XPの環境でLPRを使用してプリンタドライバのインストール手順から印刷するまでの設定方法について説明します。

重要

従量課金回線でご使用の場合、［SNMPステータス］チェックを外してください。チェックを外さないと異常に課金される場合があります。

1 プリンタに添付のプリンタソフトウエアCD-ROMをセットする。

［プリンタソフトウエアCD-ROMメニュー］ダイアログボックスが表示されます。

チェック

プリンタソフトウエアCD-ROMメニューの［プリンタドライバのインストール］からStandard TCP/IP Portを使用した設定ができます（64ビット版Windows（IA64版）を除く）。2章を参照してください。

2 ［終了］をクリックする。

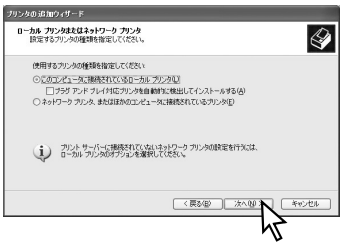
3 ［プリンタとFAX］フォルダ*1を開く。

4 ［プリンタのインストール］*2をクリックする。

5 ［次へ］をクリックする。

Windows 8/7/Windows Vistaでは表示されません。次へ進んでください。

6 ［このコンピュータに接続されているローカルプリンタ］*3を選択し、［プラグ アンド プレイ対応プリンタを自動的に検出してインストールする］のチェックを外して、［次へ］をクリックする。



チェック

Windows 8/7/Windows Vistaの場合の操作
Windows 8/7/Windows Vistaの場合は、［ローカル プリンタを追加します］をクリックして手順**7**に進んでください。

*1 Windows Vista/Windows 2000の場合は、［プリンタ］フォルダです。
Windows 8/7/Windows Server 2012/2008 R2の場合は、［デバイスとプリンター］です。

*2 Windows 2000の場合は、［プリンタの追加］アイコンをダブルクリックします。

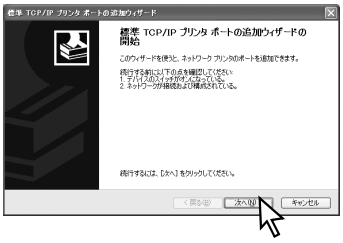
*3 Windows 2000の場合は、［ローカル プリンタ］です。

7 ［新しいポートの作成］、［Standard TCP/IP Port］を選び、［次へ］をクリックする。

［標準TCP/IPプリンタポートの追加ウィザード］ダイアログボックスが表示されます。

Windows 8/7/Windows Vistaの場合は、手順***9***に進んでください。

8 ［次へ］をクリックする。



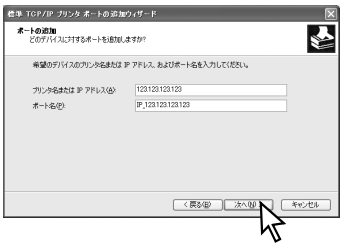
9 ［プリンタ名またはIPアドレス］ボックスに追加するプリンタのIPアドレスを入力し、［次へ］をクリックする。

チェック

DNSサーバが存在し、プリンタが登録されている場合には、DNS名を指定することもできます。

ネットワーク上にネットワークプリンタが存在する場合は、ネットワークプリンタが検出され、自動的に設定が完了します。手順***11***へ進んでください。

ネットワーク上にネットワークプリンタが存在しない場合は、手順***10***へ進んでください。



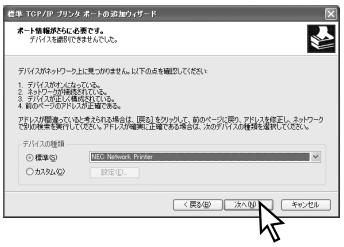
チェック

Windows 8/7/Windows Vistaの場合の操作

- Windows 8/7/Windows Vistaの場合は、［ホスト名またはIPアドレス］ボックスに追加するプリンタのIPアドレスを入力して［次へ］をクリックしてください。
- ［プリンタを照会して、使用するプリンタドライバを自動的に選択する］のチェックボックスは任意で選択してください。
- ネットワークの規模によってプリンタの照会に時間を要する場合があります。

10 ［デバイスの種類］の［標準］をクリックし、［NEC Network Printer］を選び、［次へ］をクリックする。

Windows 8/7/Windows Vistaの場合は手順***12***へ進んでください。



11 内容を確認し、［完了］をクリックする。

12 ［ディスク使用］をクリックする。

13 ［製造元のファイルのコピー元］を入力し、［OK］をクリックする。

＜Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/ Windows Vista/Windows Server 2012/2008/ R2/ 2008/2003の場合＞

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「N1153-029￥Drivers￥Win_2000XP￥Japanese」と入力します。

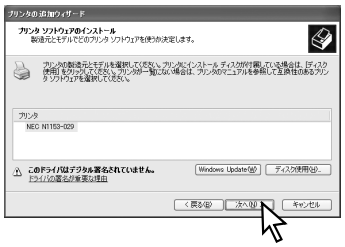
＜64ビット版Windows（IA64版）の場合＞

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「N1153-029￥Drivers￥Win_IA64￥Japanese」と入力します。

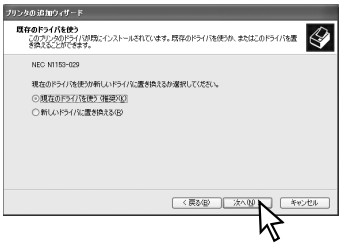
＜64ビット版Windows（x64版）の場合＞

［製造元のファイルのコピー元］に、CD-ROMを挿入したドライブ名、コロン（：）、円記号（￥）に続けて「N1153-029￥Drivers￥Win_x64￥Japanese」と入力します。

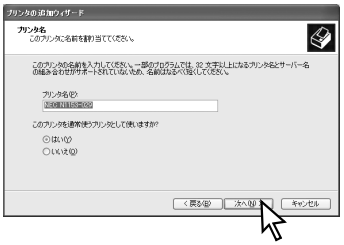
14 使用するプリンタを選び、［次へ］をクリックする。



インストールするコンピュータにすでにこのプリンタドライバがインストールされている場合は、プリンタドライバを置き換えるか既存のプリンタドライバを使用するかを選択するダイアログボックスが表示されます。どちらかを選択して［次へ］をクリックして進んでください。



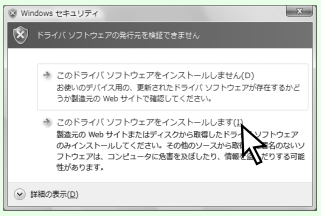
15 ［通常使うプリンタ］に設定するか、しないかを選び、［次へ］をクリックする。



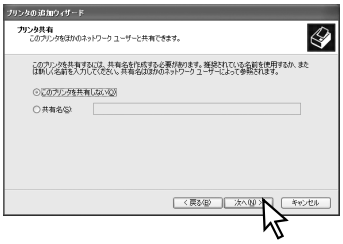
チェック

Windows 8/7/Windows Vistaの場合の操作

- 警告メッセージが表示された場合は、続行して手順を進めてください。
- ［Windows セキュリティ］ダイアログボックスが表示された場合は、［このドライバソフトウェアをインストールします］を選択してください。添付のプリンタソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンタソフトウエアは、弊社により動作を確認しております。



16 プリンタを共有するかを選び、［次へ］をクリックする。



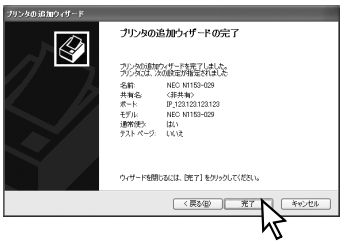
17 テスト印刷するかを選び、［次へ］をクリックする。

チェック

Windows 8/7/Windows Vistaの場合の操作

- Windows 8/7/Windows Vistaの場合は［テストページの印刷］ボタンが配置されています。必要に応じてクリックしてテスト印刷をしてください。
- テスト印刷に問題がなければ［完了］をクリックしてください。Windows 8/7/Windows Vistaの場合は以上で終了です。

18 ［完了］をクリックする。

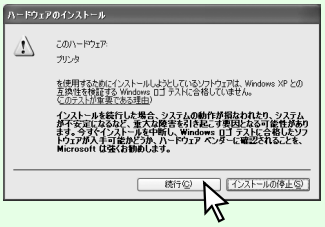


チェック

以下の［ハードウエアのインストール］ダイアログボックスが表示される場合があります。添付のプリンタソフトウエアCD-ROMに収録されているプリンタソフトウエアは、弊社により動作を確認しております。

［続行］をクリックし、インストールを続行してください。

なお、［インストールの停止］をクリックした場合は、インストールが中止されます。



次に「LPRバイトカウント機能」へ進んでください。

LPRバイトカウント機能

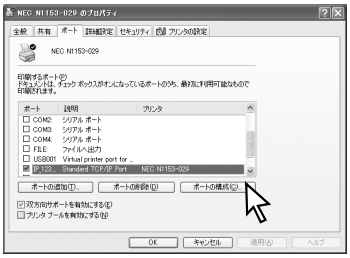
LPRプロトコルには、印刷データを送信する前に印刷データの容量を測定し、プリンタに送信する機能があります。これを「LPRバイトカウント機能」といいます。

この「LPRバイトカウント機能」を有効にすると、印刷が途中で中断されたときに、プリンタは処理されずに残っている印刷データを消去します。この機能を使用することで次の印刷データが送られてきたときにプリンタ内に残っているデータと混在することを防ぐことができます。LPRバイトカウント機能を有効にするには、次の手順で設定してください。

1 ［プリンタとFAX］フォルダ*1内に作成されたプリンタの［プリンタのプロパティ］ダイアログボックスを表示させる。

2 ［ポート］タブをクリックする。

3 ［ポートの構成］をクリックする。



4 ［LPRバイトカウントを有効にする］をチェックして、［OK］をクリックする。

以上で設定は完了です。

より便利なネットワーク機能

N1153-029には、ネットワーク上にあるプリンタの情報を取得することやネットワークからの利用者を制限することができる便利なネットワーク機能があります。
ここでは、それぞれの機能の設定方法や利用方法について説明しています。

- DHCP 112ページ
- SNMP 120ページ
- アクセス制限 126ページ

DHCP

DHCPを使用してIPアドレスを設定する場合は、ネットワーク環境にDHCPサーバが必要です。DHCPを使用すると、DHCPサーバ（Windows Server 2012/2008 R/2008/2003、Windows 2000 Server、Windows NT Server、またはUNIX Server）からIPアドレス、サブネットマスク、およびゲートウェイアドレスを自動的に取得することができます。これによりDHCPサーバにIPアドレスの登録を行うだけで個々のLANボードに対するIPアドレスの設定が不要となります。

重要

工場出荷時の設定では、[DHCPは使用しない]に設定されています。次に説明する方法で設定を変更してから使用してください。
LANインタフェースに割り当てるIPアドレスは固定です。毎回、IPアドレスが変わると印刷データの送信先が不明となり、プリンタに印刷データが送信されなくなります。これを避けるために必ずDHCPサーバでIPアドレスの予約をしてください（「DHCPサーバの設定」（115ページ）参照）。すでにIPアドレスが設定されている環境では、WWWブラウザを使用してDHCPをオンにすることができます。

DHCPの設定

DHCP設定は、主に以下の2つの方法があります。それぞれについては次ページで説明します。

- WWWブラウザ
- プリンタの主操作パネル

WWWブラウザ

汎用のWWWブラウザでを使用してDHCPの設定ができます。WWWブラウザの起動や詳細な説明については「WWWブラウザ」（80ページ）を参照してください。

重要

すでにIPアドレスが設定されている環境においてWWWブラウザを使用してDHCPをオンにすることができます。

表示された画面の上のフレームの［Menu］から［LANの管理設定画面］をクリックすると表示される画面で、左のフレームの［TCP/IP］をクリックすると表示される［TCP/IP設定画面］上で［DHCP］の［使用する］を選択してください。

＜LANインタフェースの場合の表示例＞

プリンタの主操作パネル

プリンタの主操作パネルからDHCPの設定を切り替えることができます。N1153-029に標準実装されているLANインタフェースのDHCP設定を変更する方法について説明します。

1 プリンタの電源をONにする。

電源ON後、プリンタが印刷可能な状態（ディスプレイに“印刷可”を表示）になったことを確認します。

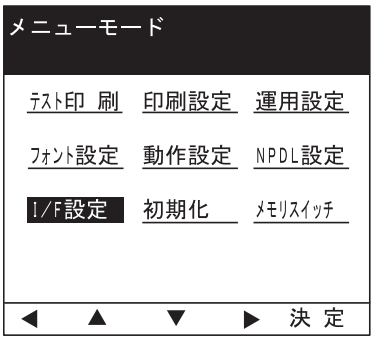
2 [印刷可] スイッチを押して、オフライン状態にする。

ディスプレイに“オフライン”を表示します。

3 [メニュー] スイッチを押す。

プリンタはメニューモードに入ります。

4 [▼] スイッチを2回押して、“I／F設定”を選択する。

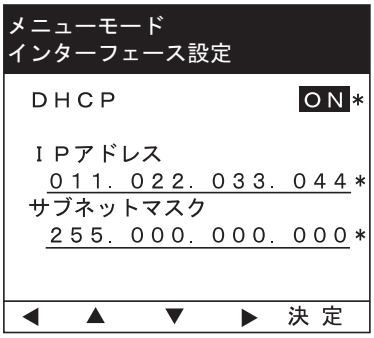


5 [決定] スイッチを押す。

ディスプレイに“DHCP OFF”と表示します。

6 [設定] スイッチを1回押す。

ディスプレイに“DHCP ON”と表示します。



7 [印刷可] スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これで設定完了です。プリンタは印刷可能な状態になり、ディスプレイには“印刷可”と表示されます。

DHCPサーバの設定

DHCP機能を使用するためには、DHCPサーバとしてWindows Server 2012/2008 R/2008/2003、Windows 2000 Server、Windows NT Server 4.0、またはUNIX Serverが必要です。Windows Server 2012/2008 R/2008/2003、Windows 2000 ServerとWindows NT Server 4.0によるDHCPサーバの設定について説明します。

チェック

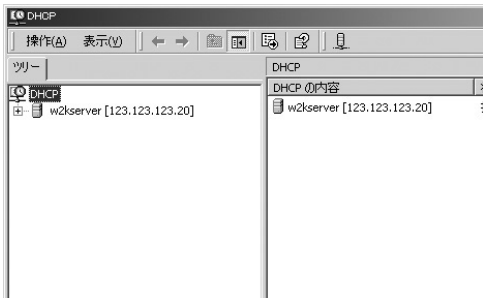
- Windows 2000 Professional、Windows NT WorkstationはDHCPサーバ機能をサポートしていません。
- UNIXサーバについては、OSのマニュアルを参照してください。

Windows Server 2012/2008 R/2008/2003、Windows 2000 Serverの場合

ここでは、Windows 2000 Serverの場合を例にとって説明します。Windows Server 2012/2008 R/2008/2003においても同じ手順で設定できます。DHCPサーバの設定を行うためには、Windows 2000 Serverに「DHCPサーバ」がインストールされている必要があります。「DHCPサーバ」のインストールについては、Windows 2000 Serverのヘルプを参照してください。

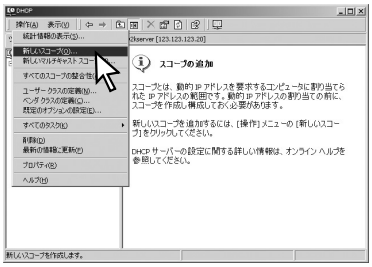
1 DHCPを起動する。

［スタート］メニューから［プログラム］*1－［管理ツール］の順でポイントし、［DHCP］をクリックします。

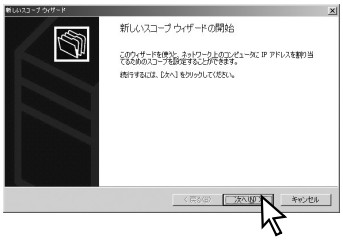


2 DHCPサーバ（ここでは「w2kserver」）を選択し、［操作］メニューから［新しいスコープ］をクリックする。

新しいスコープウィザードが起動します。



3 ［次へ］をクリックする。

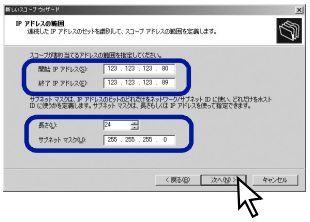


4 任意のスコープ名を［名前］ボックスに入力し、［次へ］をクリックする。

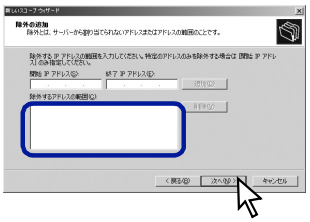
ここでは、例として「IPSCOPE」と入力します。

*1 Windows Server 2003の場合は、［すべてのプログラム］です。

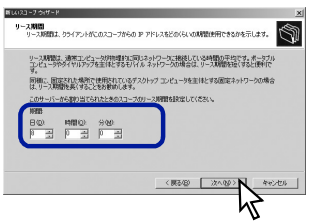
5 DHCP サーバが割り当てる IP アドレスの範囲とサブネットマスクを入力し、［次へ］をクリックする。



6 手順***5***で入力したIPアドレスの範囲で、割り当てに使用したくないIPアドレスがあれば［除外するアドレスの範囲］ボックスに入力し、［次へ］をクリックする。

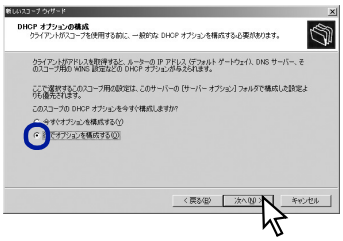


7 LAN インタフェースに割り当てられた IP アドレスが使用できる期間を設定し、［次へ］をクリックする。

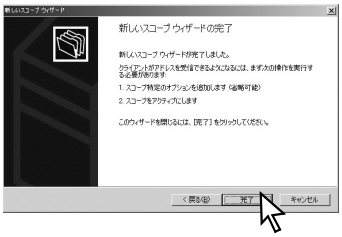


8 ［後でオプションを構成する］を選択し、［次へ］をクリックする。

ここで、オプションの設定を行う場合は、［今すぐオプションを構成する］を選択し、ウィザードの指示に従ってください。

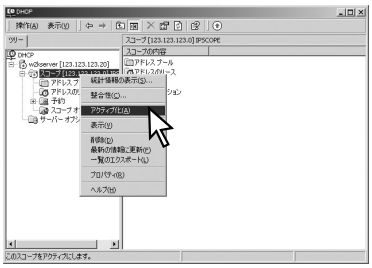


9 ［完了］をクリックして、ウィザードを終了する。

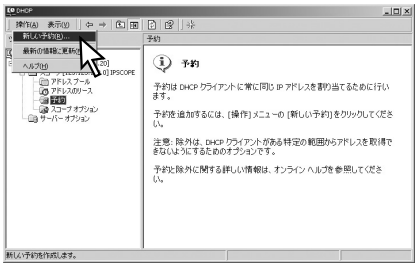


10 ［スコープ］（ここでは「スコープ [123.123.123.0] IPSCOPE」）上で右クリックし、［アクティブ化］をクリックする。

手順***9***までの手順で作成したスコープ「IPSCOPE」をアクティブにするために必要な手順です。



11 手順**9**までの手順で作成した［スコープ］（ここでは「スコープ［123.123.123.0］IPSCOPE」）上の［予約］を選択し、［操作］メニューから［新しい予約］をクリックする。

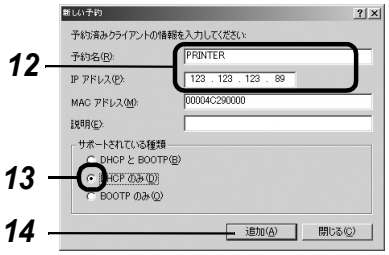


チェック

DHCPによるIPアドレス自動取得で、LANインタフェースには毎回同じIPアドレスが割り当てられなければなりません。この［新しい予約］では、LANインタフェースの固有情報であるMACアドレスをIPアドレスと関連付けることで、毎回同じIPアドレスをLANインタフェースに割り当てることができるようになります。

12 LANインタフェースに割り当てたいIPアドレスを入力し、［予約名］ボックスに任意の名前を入力する。

ここでは、例として「PRINTER」と入力します。

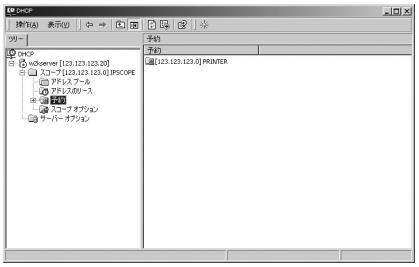


13 ［サポートされている種類］で［DHCPのみ］を選択する。

14 ［追加］をクリックする。

15 ［閉じる］をクリックする。

以上で設定は完了です。設定後は、以下のような画面が表示されます。

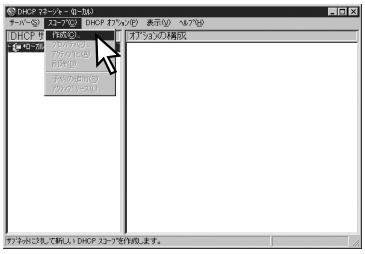


Windows NT Server 4.0の場合

DHCPサーバの設定を行うためには、Windows NT Server 4.0に「DHCPサーバ」がインストールされている必要があります。DHCPサーバのインストールについては、Windows NT Server 4.0のヘルプを参照してください。

1 ［ネットワーク管理］グループの DHCP マネージャを起動する。

2 メニューバーの［スコープ］メニューから［作成］をクリックし、スコープを作成する。



3 ［スコープの作成］ダイアログボックスで以下の設定を入力する。

- IPアドレスプールの開始アドレス（必須）
- IPアドレスプールの終了アドレス（必須）
- サブネットマスク（必須）
- 除外範囲の開始アドレス（必要時）
- 除外範囲の終了アドレス（必要時）
- ソース期間の設定（必要時）

4 ［OK］をクリックし、［スコープの作成］ダイアログボックスを閉じる。

5 ［DHCPマネージャ］ダイアログボックスのメニューバーの［スコープ］メニューから［予約の追加］を選択する。

［予約クライアントの追加］ダイアログボックスが開きます。

チェック

DHCPによるIPアドレス自動取得で、LANインタフェースには毎回同じIPアドレスが割り当てられなければなりません。この［予約の追加］では、LANインタフェースの固有情報であるMACアドレスをIPアドレスと関連付けることで、毎回同じIPアドレスをLANインタフェースに割り当てることができるようになります。

6 以下の情報を入力する。

- IPアドレス：　LANインタフェースのIPアドレス（必須）
- 一意のID：　LANインタフェースのMACアドレス（必須）
- クライアント名：　任意の名前（必須）
- クライアントコメント：　任意のコメント（必要時）

チェック

IPアドレスはスコープ作成時に設定したIPアドレスプールの範囲内で設定してください。

7 ［追加］をクリックし、［予約クライアントの追加］ダイアログボックスを閉じる。

以上で設定は完了です。

DHCPの動作について

LANインタフェースのDHCP設定を有効にした場合の動作について説明します。
DHCP機能を使用するためには、ネットワーク上にDHCPサーバが必要です。LANインタフェースに電源が供給されると、DHCPサーバを自動的に検索します。ネットワーク上に複数のDHCPサーバが存在する場合は、最初に応答を受け取ったDHCPサーバと通信し、IPアドレスのリース（貸し出し）を受けます。LANインタフェース用にIPアドレスの予約を行ったDHCPサーバのみのネットワーク環境で使用してください。

チェック

- IPアドレスの予約を行っていないDHCPサーバからIPアドレスがリースされるとLANインタフェースは誤って登録されたIPアドレスで動作します。一度受信したIPアドレスを解放するには以下のどちらかを行ってください。
  - DHCP設定を1度無効にする。
  - LANインタフェースの設定を初期化する（「ネットワーク設定の初期化」（130ページ）参照）。
- DHCPはルータを越えたネットワーク上のDHCPサーバと通信することができます。ルータを使用している場合は、ルータのリレーエージェントの設定を確認してください。

DHCP機能を有効にし、起動時にDHCPサーバが検索されなかった場合*1、LANインタフェースは1分周期でDHCPサーバの検索を継続します。

チェック

一度DHCP機能を有効にしたLANインタフェースの設定を無効にする場合は、以下のどちらかを行ってください。

- LANインタフェース設定を初期化する（「ネットワーク設定の初期化」（130ページ）参照）。
- 主操作パネルでDHCPを無効（112ページ参照）にして、IPアドレスを再設定する。

*1 DHCPサーバからIPアドレスを設定された後、DHCPサーバのないネットワーク環境に接続を切り替えた場合を含む。

SNMP

SNMP（Simple Network Management Protocol）を使用することで汎用のSNMPマネージャソフトウエアからプリンタの情報を取得することができます。

Get Request・Set Requestによる管理

通信に必要なコミュニティ名を4つまで登録できます。コミュニティ名の変更には「WWWブラウザ」を使用します。設定の詳細については、「WWWブラウザ」の「SNMP設定画面」（93ページ）を参照してください。

チェック

- 工場出荷時のコミュニティ名には「public」もしくは「fxSystemMgr」が登録されています。必要に応じて設定変更を行ってください。
- すべてのコミュニティ名を「public」以外に設定すると、製品に添付されているソフトウエアでプリンタの情報が取得できなくなる場合があります。

サポートしているMIBは、MIB-II（RFC1213）、ホストリソースMIB（RFC1514）、およびプリンタMIB（RFC1759）です。

SNMP MIB-II（RFC1213）オブジェクト一覧

[system] グループ	[ip] グループ	[icmp] グループ
sysDescr	ipForwarding	icmpInMsgs
sysObjectID	ipDefaultTTL	icmpInErrors
sysUpTime	ipInReceives	icmpInDestUnreachs
sysContact	ipInHdrErrors	icmpInTimeExcds
sysName	ipForwDatagrams	icmpInParmProbs
sysLocation	ipInDiscards	icmpInSrcQuenchs
sysServices	ipInDelivers	icmpInRedirects
	ipOutRequests	icmpInEchos
	ipOutDiscards	icmpInEchoReps
	ipReasmTimeout	icmpInTimestamps
	ipReasmReqds	icmpInTimestampReps

（次ページへ続く）

[interface] グループ

ifNumber
ifIndex
ifDescr
ifType
ifMtu
ifSpeed
ifPhysAddress
ifAdminStatus
ifOperStatus
ifLastChange
ifInOctets
ifInUcastPkts
ifInNUcastPkts
ifInDiscards
ifInErrors
ifInUnknownProtos
ifOutOctets
ifOutUcastPkts
ifOutNUcastPkts
ifOutDiscards
ifOutErrors
ifOutQLen
ifSpecific

ipReasmOKs
ipFragOKs
ipFragFails
ipFragCreates
ipAdEntAddr
ipAdEntIfIndex
ipAdEntNetMask
ipAdEntBcastAddr
ipRouteDest
ipRouteIfIndex
ipRouteMetric1
ipRouteMetric2
ipRouteMetric3
ipRouteMetric4
ipRouteNextHop
ipRouteMask
ipRouteMetric5

icmpInAddrMasks
icmpInAddrMaskReps
icmpOutMsgs
icmpOutDestUnreachs
icmpOutTimeExcds
icmpOutParmProbs
icmpOutSrcQuenchs
icmpOutRedirects
icmpOutEchos
icmpOutEchoReps
icmpOutTimestamps
icmpOutTimestampReps
icmpOutAddrMasks
icmpOutAddrMaskReps

[tcp] グループ

tcpRtoAlgorithm
tcpRtoMin
tcpRtoMax
tcpMaxConn
tcpCurrEstab
tcpInSegs
tcpOutSegs
tcpRetransSegs
tcpConnState
tcpConnLocalAddress
tcpConnLocalPort
tcpConnRemAddress
tcpConnRemPort
udpOutDatagrams
tcpInErrs

[udp] グループ

udpInDatagrams
udpNoPorts
udpInErrors
udpOutDatagrams
udpLocalAddress
udpLocalPort

[snmp] グループ

snmpInPkts
snmpOutPkts
snmpInBadVersions
snmpInBadCommunityNames
snmpInBadCommunityUses
snmpInASNParseErrs
snmpInTotalReqVars
snmpInTotalSetVars
snmpInGetRequests
snmpInGetNexts
snmpInSetRequests
snmpInGetResponses
snmpInTraps
snmpOutTooBigs
snmpOutNoSuchNames
snmpOutBadValues
snmpOutGenErrs
snmpOutGetRequests
snmpOutGetNexts
snmpOutSetRequests
snmpOutGetResponses
snmpOutTraps
snmpEnableAuthenTraps

SNMPホストリソースMIB（RFC1514）オブジェクト一覧

[Device] グループ
hrDeviceIndex
hrDeviceType
hrDeviceDescr
hrDeviceStatus
hrPrinterStatus
hrPrinterDetectedErrorState

プリンタMIB（RFC1759）オブジェクト一覧

[General Printer] グループ

prtGeneralConfigChanges
prtGeneralCurrentLocalization
prtGeneralReset
prtInputDefaultIndex
prtOutputDefaultIndex
prtMarkerDefaultIndex
prtMediaPathDefaultIndex
prtConsoleLocalization
prtConsoleNumberOfDisplayLines
prtConsoleNumberOfDisplayChars
prtConsoleDisable
prtDeviceRefIndex
prtCoverDescription
prtCoverStatus
prtLocalizationLanguage
prtLocalizationCountry
prtLocalizationCharacterSet

[Input]グループ

prtInputType
prtInputDimUnitr
prtInputMediaDimFeedDirDeclared
prtInputMediaDimXFeedDirDeclared
prtInputMediaDimFeedDirChosen
prtInputMediaDimXFeedDirChosen
prtInputCapacityUnit
prtInputMaxCapacity
prtInputCurrentLevel
prtInputStatus
prtInputMediaName

[Extended Input]グループ

prtInputName
prtInputVendorName
prtInputModel
prtInputVersion
prtInputSerialNumber
prtInputDescription
prtInputSecurity

[Output] グループ

prtOutputType
prtOutputCapacityUnit
prtOutputMaxCapacity
prtOutputRemainingCapacity
prtOutputStatus

[Extended Output]グループ

prtOutputName
prtOutputVendorName
prtOutputModel
prtOutputVersion
prtOutputSerialNumber
prtOutputDescription
prtOutputSecurity

[Output Dimensions]グループ

prtOutputDimUnit
prtOutputMaxDimFeedDir
prtOutputMaxDimXFeedDi
prtOutputMinDimFeedDir
prtOutputMinDimXFeedDir

[Output Features]グループ

prtOutputStackingOrder
prtOutputPageDeliveryOrientation
prtOutputBursting
prtOutputDecollating
prtOutputPageCollated
prtOutputOffsetStacking

[Marker]グループ

prtMarkerMarkTech
prtMarkerCounterUnit
prtMarkerLifeCount
prtMarkerPowerOnCount
prtMarkerProcessColorants
prtMarkerSpotColorants
prtMarkerAddressabilityUnit
prtMarkerAddressabilityFeedDir
prtMarkerAddressabilityXFeedDir
prtMarkerNorthMargin

（次ページへ続く）

prtMarkerSouthMargin
prtMarkerWestMargin
prtMarkerEastMargin
prtMarkerStatus

[Marker Supplies]グループ

prtMarkerSuppliesMarkerIndex
prtMarkerSuppliesColorantIndex
prtMarkerSuppliesClass
prtMarkerSuppliesType
prtMarkerSuppliesDescription
prtMarkerSuppliesSupplyUnit
prtMarkerSuppliesMaxCapacity
prtMarkerSuppliesLevel

[Marker Colorant]グループ

prtMarkerColorantMarkerIndex
prtMarkerColorantRole
prtMarkerColorantValue
prtMarkerColorantTonality

[Media Path]グループ

prtMediaPathMaxSpeedPrintUnit
prtMediaPathMediaSizeUnit
prtMediaPathMaxMediaFeedDir
prtMediaPathMaxMediaXFeedDi
prtMediaPathMinMediaFeedDir
prtMediaPathMinMediaXFeedDir
prtMediaPathType
prtMediaPathDescription
prtMediaPathDescription
prtMediaPathDescription.3
prtMediaPathStatus
prtMediaPathStatus
prtMediaPathStatus.3

[Channel]グループ

prtChannelType
prtChannelProtocolVersion
prtChannelCurrentJobCntlLangIndex
prtChannelDefaultPageDescLangIndex
prtChannelState
prtChannelIfIndex
prtChannelStatus

[Interpreter]グループ

prtInterpreterLangFamily
prtInterpreterLangLevel
prtInterpreterLangVersion
prtInterpreterDescription
prtInterpreterVersion
prtInterpreterDefaultOrientation
prtInterpreterFeedAddressability
prtInterpreterXFeedAddressability
prtInterpreterDefaultCharSetIn
prtInterpreterDefaultCharSetOut
prtInterpreterTwoWay

[Console]グループ

prtConsoleDisplayBufferText
prtConsoleOnTime
prtConsoleOffTime
prtConsoleColor
prtConsoleDescription

[Alerts]グループ

prtAlertSeverityLevel
prtAlertTrainingLevel
prtAlertGroup
prtAlertGroupIndex
prtAlertLocation
prtAlertCode
prtAlertDescription

Trapによる管理

プリンタのエラーまたは状態変化が発生した場合に指定されたホストコンピュータにTrapを発信することができます。最大4台のホストコンピュータにTrapを送信することができます。

Trapの設定

Trapによる管理を行うためには以下の設定が必要です。

- Trap使用の要否設定
- 送信先ホストコンピュータのIPアドレス
- Trap通信のコミュニティ名
- ゲートウェイアドレスの設定

チェック

- ゲートウェイアドレスの設定について
  - 4つのホストコンピュータのIPアドレス設定の中で、LANインタフェースのネットワークアドレスと異なるものが含まれている場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要です。
  - 同じネットワークアドレスのホストコンピュータにTrap送信する場合は、ゲートウェイアドレスの設定は不要です。「0.0.0.0」（工場出荷設定）のままでご使用ください。
- SNMP MIB IIの［SNMP］グループで「SnmpEnableAuthenTraps」の設定が［Disabled（2）］になっている場合は、すべてのTrap設定が無効となります。Trapをご使用の場合は、［Enabled（1）］に設定してください。なお、工場出荷時は［Enabled（1）］に設定されています。
- 「SnmpEnableAuthenTraps」の設定に関わらず、LANインタフェースに登録されたIPアドレス等の情報は保持されます。

Trapの設定には、「WWWブラウザ」を使用します。設定の詳細については、「WWWブラウザ」の「SNMP設定画面」（93ページ）を参照してください。

Trapの送信

プリンタのエラーまたは状態変化が発生すると登録されたすべてのホストコンピュータにTrapが送信されます。Trapはプリンタのエラーが取り除かれるまで10分おきに送信されます。Trap-PDUで通知される情報は次の通りです。

- プリンタCold Start発生情報
- プリンタWarm Start発生情報
- プリンタエラー発生情報

  Variable-bindings
  - hrPrinter Detected Error State
  - prtAlert Index
  - prtAlert Severity Level
  - prtAlert Group
  - prtAlert Group Index
  - prtAlert Location
  - prtAlert Code

アクセス制限

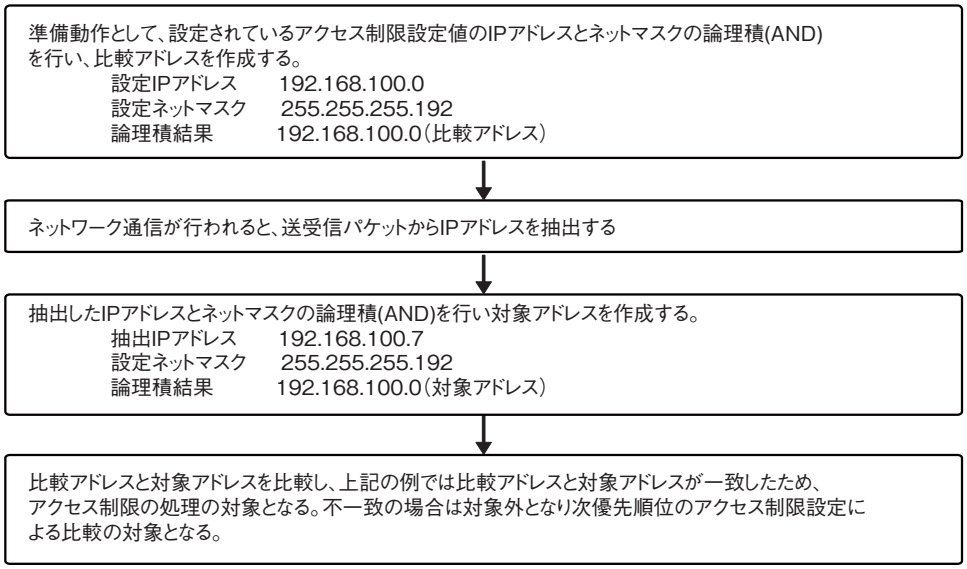
アクセス制限とは、例えばサーバ(課金サーバなど)を特定した印刷実行ニーズに対応するために、ある特定のコンピュータまたはネットワークからの印刷を許可または拒否する機能です。あらかじめ設定されたアクセス許可／拒否設定、IPアドレス、ネットマスクにより指定される送受信パケットはフィルタリングが実行され、印刷が行えるコンピュータを制限できます。

チェック

アクセス制限機能が有効な場合は、アクセスを拒否されているコンピュータからWWWブラウザなど、すべての通信を行うことができません。通信を行う場合は、設定を無効にしてください。

概要

アクセス制限による送受信パケットのフィルタリングはプリンタ内で以下のように実行されます。



アクセス制限の設定

アクセス制限設定には、以下の2つの方法があります。

- WWWブラウザ
  汎用のWWWブラウザを使用して設定します。
  WWWブラウザからLANボードのページを起動し、[LANの管理者設定画面]－[TCP/IP]から「TCP/IP設定画面」を開き、アクセス制限に関する各項目を設定してください。詳しくは、「ネットワークの設定」の「WWWブラウザ」（80ページ）をご覧ください。
- プリンタの主操作パネル
  プリンタの主操作パネルからアクセス制限のON/OFFを切り替えることができます。
  アクセス制限を「ON」→「OFF」とすることでアクセス制限は無効となります。再度、「OFF」→「ON」とした時に、前回「ON」時に設定された条件でアクセス制限が有効となります。
  プリンタの主操作パネルからの設定は、一時的なアクセス制限の解除やユーザの設定ミスによって生じたネットワーク不通状態からの復旧のために使用し、詳細な設定は「WWWブラウザ」から行ってください。

アクセス制限の解除

1 プリンタの電源をONにする。

電源ON後、プリンタが印刷可能な状態（ディスプレイに“印刷可”を表示）になったことを確認します。

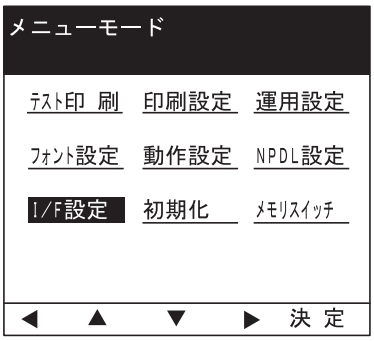
2 [印刷可] スイッチを押して、オフライン状態にする。

ディスプレイに“オフライン”を表示します。

3 [メニュー] スイッチを押す。

プリンタはメニューモードに入ります。

4 [▼] スイッチを2回押して、“I／F設定”を選択する。



5 [決定] スイッチを押す。

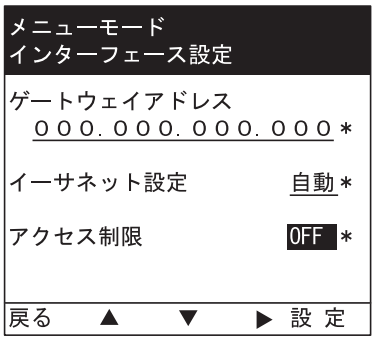
6 “インターフェース設定”の表示が出るので[決定] スイッチを1回押す。

7 [▲] スイッチを3回押す。

ディスプレイ上の“アクセス制限”を選択します。

8 [設定] スイッチを1回押す。

“OFF”に設定されます。



9 [印刷可] スイッチを押して、メニューモードを終了させる。

これでアクセス制限の解除終了です。プリンタは印刷可能な状態になり、ディスプレイには“印刷可”と表示されます。

アクセス制限使用例

使用例 ①　特定クライアントをアクセス制限の対象とする場合
192.168.1.10 からの印刷のみ許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス許可	192.168.1.10	255.255.255.255	192.168.1.10 許可
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

192.168.1.50 からの印刷のみ拒否したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス拒否	192.168.1.50	255.255.255.255	192.168.1.50 拒否
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

使用例 ②　特定ネットをアクセス制限の対象とする場合
192.168.1 ネットからの印刷のみ許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス許可	192.168.1.0	255.255.255.0	192.168.1　ネット許可
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

192.168.2 ネットからの印刷のみ拒否したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス拒否	192.168.2.0	255.255.255.0	192.168.2　ネット許可
アクセス制限2	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

使用例 ③　応用例
192.168 ネットのみ許可したい
ただし192.168.2 ネットは拒否したい
しかし192.168.2.10 は許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス許可	192.168.2.10	255.255.255.255	192.168.2.10　ネット許可
アクセス制限2	有効	アクセス拒否	192.168.2.0	255.255.255.0	192.168.2　ネット拒否
アクセス制限3	有効	アクセス許可	192.168.0.0	255.255.0.0	192.168　ネット許可
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

使用例 ④　応用例
192.168.1.64 ～192.168.1.127 まで許可したい

設定名称	有効 / 無効	許可 / 拒否	IP アドレス	ネットマスク	コメント
アクセス制限1	有効	アクセス拒否	192.168.1.0	255.255.255.192	192.168.1.0～63　拒否
アクセス制限2	有効	アクセス許可	192.168.1.0	255.255.255.128	192.168.1.0～127　許可
アクセス制限3	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限4	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない
アクセス制限5	無効	アクセス許可	0.0.0.0	0.0.0.0	フィルタ条件に含まない

ネットワーク設定の初期化

N1153-029に標準実装されているLANインタフェースのIPアドレスなどのネットワーク設定情報を初期化する方法について説明します。

1 プリンタの電源をONにする。

電源ON後、プリンタが印刷可能な状態（ディスプレイに“印刷可”を表示）になったことを確認します。

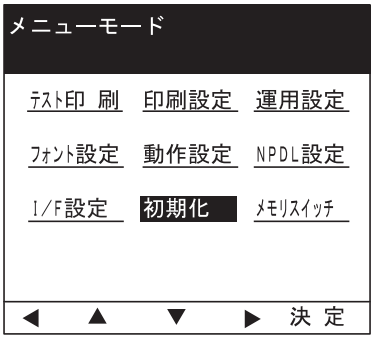
2 [印刷可]スイッチを押して、オフライン状態にする。

ディスプレイに“オフライン”を表示します。

3 [メニュー]スイッチを押す。

プリンタはメニューモードに入り、ディスプレイに“メニュー”を表示します。

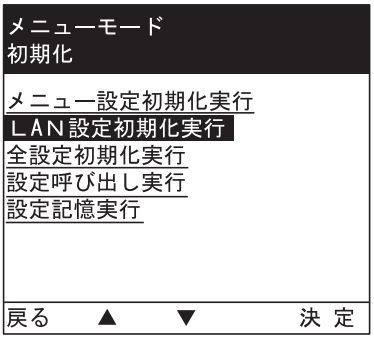
4 [▶]スイッチを1回、[▼]スイッチを2回押して、“初期化”を選択します。



5 [決定]スイッチを1回押す。

ディスプレイには“設定初期化メニュー”が表示されます。

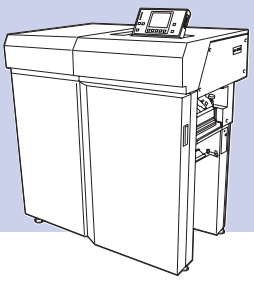
6 [▼]スイッチを押して、“LAN 設定初期化実行”を選択します。



7 [決定]スイッチを1回押す。

ネットワークの設定が初期値に戻ります。その後、自然にプリンタが印刷可能な状態（ディスプレイには“印刷可”と表示）になります。

4章
操作パネルについて



この章では、操作パネルやメニューモードなどプリンタの操作の基本的なことについて説明しています。

操作パネルはユーザがプリンタの状態を見たり、設定やプリンタの操作を行ったりするためのもので、本プリンタには4つの操作パネルがあります。

- 主操作パネル
- オートロードパネル
- スタッカパネル
- メンテナンスパネル

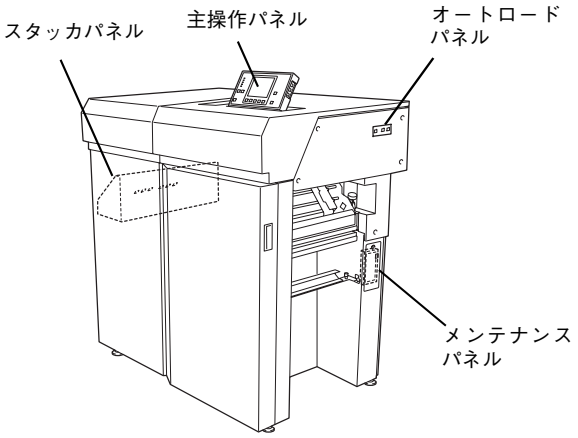


図4-1　操作パネルの配置

重要

メンテナンスパネルは、保守サービス会社の保守員が使用する専用のパネルです。お客様が使用することはできません（本書でも詳しい説明は記載していません）。

主操作パネル

「主操作パネル」は、プリンタの状態表示や各種設定をするためのパネルです。
ここでは主にNPDL（Level2）で使用する時の、主操作パネル上の「ディスプレイ」および「ランプ」の表示の意味と、「スイッチ」の使い方について説明します。

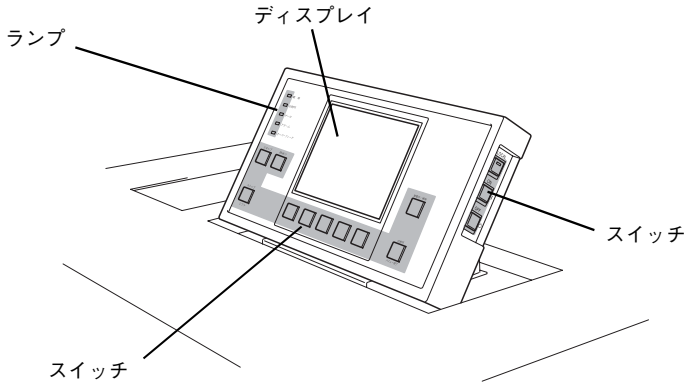


図4-2　主操作パネルの配置

ディスプレイ

プリンタの状態や操作に関する情報を表示します。以下の内容を表示します。

- 通常表示　特定表示およびアラーム表示に該当しない、通常状態のときに表示されるものです。
- 特定表示　特定の状態において通常表示に代わって表示されるものです（「特定表示」（134ページ）参照）。
- アラーム表示　異常が発生したとき、その内容を表示します。9 章の「アラーム表示が出ているときは」（278ページ）をご覧ください。
- メニュー表示　メニューモードの選択時、設定内容を表示します。「メニューツリー」（153ページ）をご覧ください。

通常表示

プリンタが通常状態のときはその状態の内容を表示します。

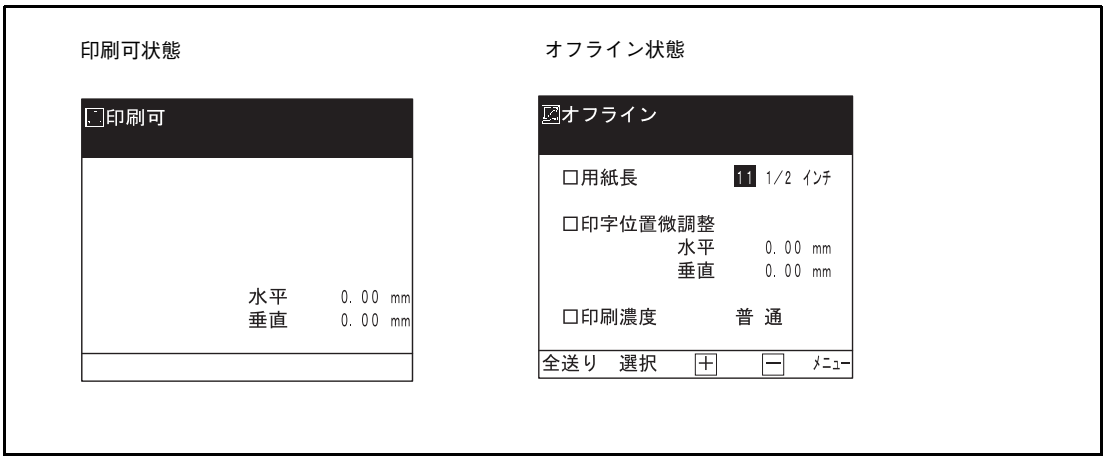
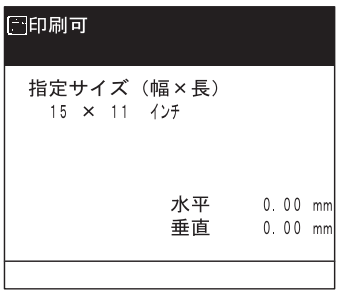
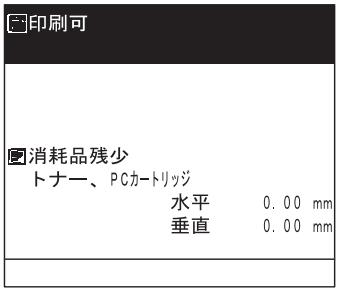


図4-3　ディスプレイの表示

印刷可状態および特定表示2の“データ受信中”、“処理中”、“印刷中”、“データが残っています”、“コネクト中”表示中は以下の内容も同時に表示します。

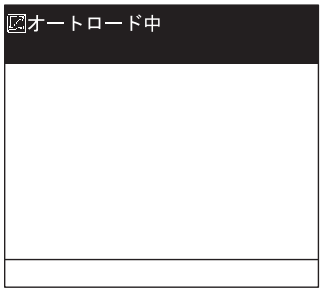
表示例	表示の内容
	水平・垂直表示 印字位置微調整の水平値、垂直値がそれぞれ表示されます。表示範囲は、水平が0.00～+53.98mm、垂直が-1.69～+1.48mmです。
	指定サイズ（幅×長）表示 現在プリンタで管理している用紙サイズが表示されます。印刷用紙が1インチ単位でない場合には、端数を1/6インチ単位で表示します。 例：15 1/6× 11 1/3インチ

表示例	表示の内容
	消耗品残少表示 消耗品の交換時期が近づくと表示します（先の例はすべての消耗品が交換時期に近づいたときの例）。 表示が出ても印刷は停止せず「76　トナーが無くなりました」または「78　PCカートリッジが寿命です」の表示が出るまでなら継続することができます。 交換方法については8章の「トナーカートリッジの交換」（260ページ）、「PCカートリッジの交換」（266ページ）を参照してください。

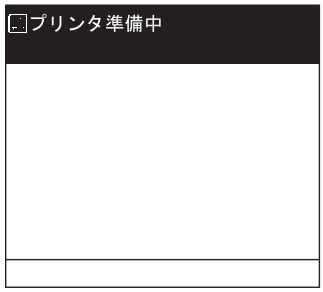
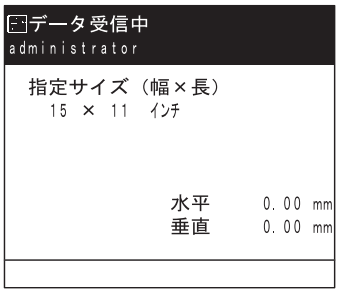
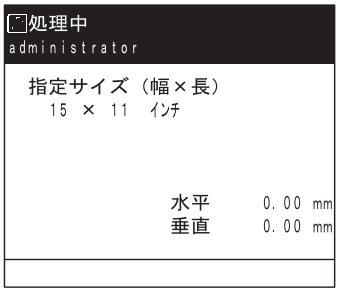
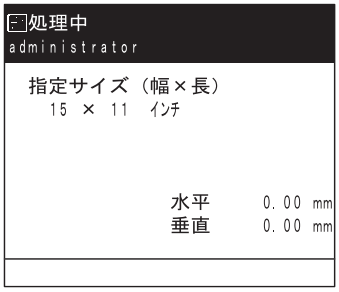
特定表示

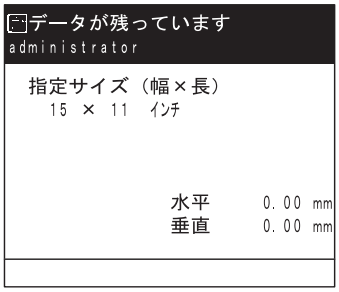
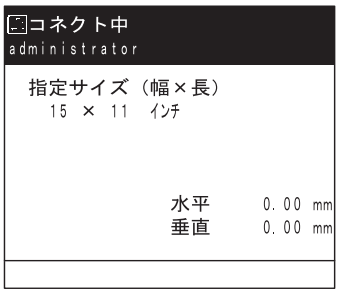
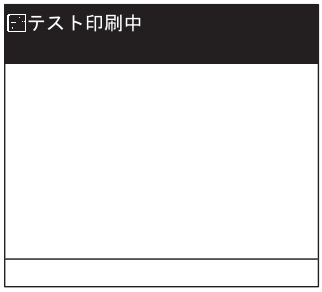
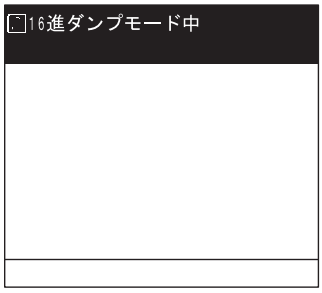
特定表示は、以下に示す特定の状態において通常表示に代わって表示されるものです。特定表示 1 と特定表示 2とが定義されています。特定表示は通常表示よりも表示優先度が上です。

特定表示1

表示例	表示の内容
	イニシャライズ プリンタがイニシャライズ処理実行中であることを示します。
	オートロード中表示 プリンタがオートロード中であることを示します。

特定表示2

表示例	表示の内容
	プリンタ準備中表示 プリンタが準備中であることを示します。
	データ受信中表示 ● データ受信中であることを示します。 ● 印刷中、処理中のデータ受信時は表示しません。 ● ユーザ名が登録されていればユーザ名を表示します。
	処理中表示 ● 印刷データが処理中であることを示します。 ● データ処理が終了し、排出可能となるまで表示されます（データなし状態、または“データが残っています”表示まで）。 ● ユーザ名が登録されていればユーザ名を表示します。
	印刷中表示 ● 印刷中であることを示します。 ● ユーザ名が登録されていればユーザ名を表示します。

表示例	表示の内容
	データ受信中断表示 ● 印刷可能状態でデータ受信を中断したことを示します。 ● 印刷中は表示しません。 ● ユーザ名が登録されていればユーザ名を表示します。
	コネクト中表示 ● TCP/IPセッションが接続中であることを示します。 ● ユーザ名が登録されていればユーザ名を表示します。
	テスト印刷中表示 プリンタがメニューモードのテスト印刷を行っていることを示します。
	16進ダンプ中表示 ● プリンタが16進ダンプモード中であることを示します。 ● ストップスイッチによるストップ中の時は表示しません。

ランプ

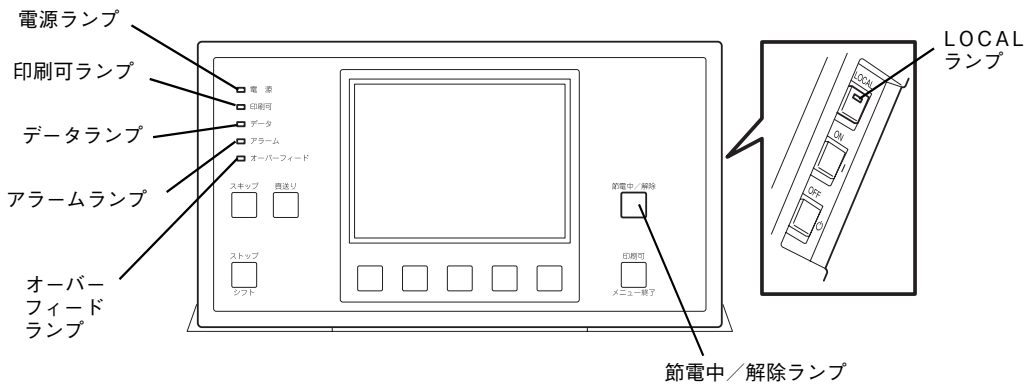


図4-4　主操作パネルのランプ

電源ランプ（緑）

点灯	プリンタに電源が通電されている状態です。
消灯	プリンタに電源が通電されていない状態です。

印刷可ランプ（緑）

点灯	プリンタが印刷データを受信できる状態にあることを示します。
消灯	プリンタがオフライン（印刷データを受信できない状態）にあることを示します。

データランプ（橙）

点灯	プリンタが印刷データを受信中でなく、かつプリンタ内に印刷データが残っていることを示します。
点滅	プリンタが印刷データを受信中です。
消灯	プリンタが印刷データを受信中でなく、かつプリンタ内に印刷データが残っていないことを示します。

アラームランプ（赤）

点滅	用紙なし、カバーオープン、またはプリンタに異常が発生していることを示します。
消灯	プリンタが正常な状態にあることを示します。

オーバーフィードランプ（赤）

点灯	ハードウエアに異常が発生し、プリンタが緊急停止したことを示します。
消灯	プリンタが正常な状態にあることを示します。

節電中／解除ランプ（緑）

点灯	プリンタが節電モード中であることを示します。
消灯	プリンタが節電モード中でないことを示します。

LOCAL ランプ（橙）

点灯	電源ONスイッチと電源OFFスイッチが機能する状態であることを示します。
消灯	電源ONスイッチと電源OFFスイッチが機能しない状態であることを示します。

スイッチ

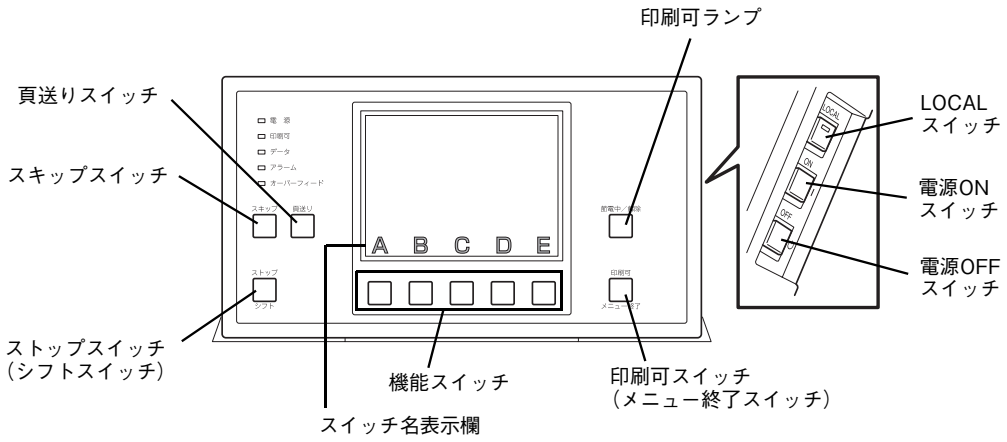


図4-5　主操作パネルのスイッチ

プリンタの状態に合わせて、AからEの5つのスイッチは下表のように機能が切り替わります（表中の“－”は機能しないことを表します）。

プリンタの状態		A	B	C	D	E
電源OFF時	メインブレーカOFF （電源ランプ消灯）時	－	－	－	－	－
	メインブレーカON （電源ランプ点灯）時	－	－	－	－	－
通常時	印刷可状態時	－	－	－	－	－
	オフライン状態	全送り	選択	＋	－	メニュー
	［シフト］スイッチを押している時	排出	－	－	－	リセット
メニューモード時	レベル1	◀	▲	▼	▶	決定
	レベル2	戻る	▲	▼	－	決定
	レベル3	戻る	▲	▼	▶	設定

スイッチの機能は、「プリンタの状態」によって機能したり、その機能が変化したりします。プリンタの状態とは次の4つを意味し、それぞれの状態によってスイッチは機能します。

- 電源スイッチ機能.....主操作パネルの電源ランプが点灯した状態（背面のメインブレーカがONの状態）で働く機能です。
- 通常のスイッチ機能.....[電源ON］スイッチを押した後、印刷可状態およびオフライン状態に働く機能です（[ストップ]スイッチを除く）。
- メニューモード時のスイッチ機能.....[メニュー]スイッチを押してメニューモードに入ると働く機能です。
- ［シフト］スイッチを押しているときのスイッチ機能.....[シフト]スイッチを押しながら押すと働く機能です。

チェック

主操作パネルで、誤った操作を行った場合は、ブザーが鳴ります。

電源スイッチ機能

プリンタの電源投入、切断を行うスイッチです。

[電源 ON] スイッチ

プリンタの電源がONになり、プリンタが動作する状態にします。スイッチを押すと、初期診断動作を始め、ディスプレイに状態を表示します。
[LOCAL］スイッチがON（LOCALランプ点灯）の状態のときに機能します。ディスプレイに状態やメッセージが表示されているときには機能しません。

[電源 OFF] スイッチ

電源がOFFになり、ディスプレイやランプ（電源ランプを除く）が消灯します。
[LOCAL］スイッチがON（LOCALランプ点灯）の状態のときに機能します。ディスプレイに状態やメッセージが表示されていないときには機能しません。

[LOCAL] スイッチ

このスイッチはプリンタの背面にあるメインブレーカがONの状態の間、常に機能します。
［電源ON］スイッチおよび［電源OFF］スイッチが機能する状態（LOCALランプ点灯）と機能しない状態（LOCALランプ消灯）を切り替えます。スイッチを押すたびに状態が交互に切り替わります。
通常は、機能する状態（LOCALランプ点灯）で使用します。

通常のスイッチ機能

[節電中／解除] スイッチ

節電モードを解除する。
このスイッチは節電ランプが点灯しているとき（節電モード中）に機能します。
このスイッチを押すと節電モードを解除します。

[頁送り] スイッチ

1ページ分の用紙を送る。
このスイッチはオフライン状態で機能します。
1度押すと、ページ送り動作を1ページ分行います。押し続ければ放すまでページ送りを続けます。

[スキップ] スイッチ

1/6インチ分の用紙を送る。
このスイッチはオフライン状態で機能します。
1度押すと、用紙がスタッカへ1/6インチ分送られます。押し続けることで連続送りをします。

[印刷可] スイッチ

このスイッチはプリンタが初期化中でないとき、およびテスト印刷中でないときに機能します。また、通常時とメニューモード時によって機能が異なります。

データを受信できる状態にする。
スイッチを押すごとにデータを受信できる状態と受信できない状態に交互に切り替わります。

メニューモードを終了する。
プリンタがメニューモードに入っているときは、[メニュー終了] スイッチとして機能します。
スイッチを押すと、設定したパラメータを記憶して、印刷可能な状態に戻ります。

[ストップ] スイッチ

このスイッチは常に機能します。また、プリンタの状態によって3つの機能を持ちます。

データの受信と印刷を停止し、オフライン状態にする。
印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を印刷した後、一時的に印刷を停止します。
受信済みのデータは、プリンタ内に残ったままになります。
印刷を再開するときは、[印刷可]スイッチを押します。

アラーム音を止める。
アラームが発生してブザーが鳴っているときに、このスイッチを押すとアラーム音が止まります。

[シフト] スイッチを使った操作をする。
このスイッチを押したままの状態にしている間、[シフト] スイッチとして機能します。
「[シフト] スイッチを押しているときのスイッチ機能」（143ページ）を参照してください。

[全送り] スイッチ

用紙を全ページ送る。
このスイッチはオフライン状態で機能します。
1度押すことにより、一定の長さの用紙を排出します（一定の長さとは、印刷終了した用紙をスタッカ部に送り出すまでの長さです）。

[選択] スイッチ

設定項目を選択する。
このスイッチはオフライン状態で機能します。
このスイッチを押すと、用紙長、印字位置微調整、および印刷濃度の各設定項目が選択できます。1回押すごとに選択カーソルが移動します。
プリンタにデータが残っている場合は、「用紙長」の選択はできません。

[＋] スイッチ

選択中の設定値をプラス方向に変更する。
このスイッチはオフライン状態で機能します。
このスイッチを押すと、用紙長、印字位置微調整、および印刷濃度の各設定項目の中で、現在選択されている設定値をプラス方向に変更します。
プリンタにデータが残っている場合は、「用紙長」の選択はできません。

[－] スイッチ

選択中の設定値をマイナス方向に変更する。
このスイッチはオフライン状態でプリンタのデータが残っていないときに機能します。
このスイッチを押すと、用紙長、印字位置微調整、および印刷濃度の各設定項目の中で、現在選択されている設定値をマイナス方向に変更します。
プリンタにデータが残っている場合は、「用紙長」の選択はできません。

[メニュー] スイッチ

メニューモードに入る。
このスイッチはオフライン状態でプリンタにデータが残っていないときに機能します。
このスイッチを押すと、メニューモードに入ります。詳しくは、「メニューモード」（146ページ）を参照してください。

メニューモード時のスイッチ機能

ここで記載している「メニューモードのレベル」については、「メニューツリー」（153ページ）を参考にしてください。

[メニュー終了] スイッチ

メニューモードを終了させる。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューモードを終了します。

[決定] スイッチ

設定変更したい項目を選択し、サブメニュー（レベル2またはレベル3）を表示する。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、選択したメニューの次の階層（レベル2またはレベル3）へ遷移します。なお、「テスト印刷メニュー（レベル2)」および「初期化メニュー（レベル2)」でこのスイッチを押すと、選択された項目を実行します。

[戻る] スイッチ

ひとつ前の項目（レベル2またはレベル3）を表示する。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーのひとつ前のレベル（レベル1またはレベル2）へ遷移します。

[設定] スイッチ

項目（レベル3）の設定を変更する。
メニューモード時でメニューツリーのレベル3の項目を選択中にこのスイッチを押すと、任意の項目の設定を変更できます。

[▶] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[→]スイッチとして機能）。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択することができます。また、IPアドレスやメモリスイッチなど桁（カラム）ごとに設定を変更できる場合は、押すごとに1つ右の桁へ移動します。

[▲] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[↑]スイッチとして機能）。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択できます。

[◀] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[←]スイッチとして機能）。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択できます。

[▼] スイッチ

ディスプレイに表示されている設定項目を選択する（[↓]スイッチとして機能）。
メニューモード時にこのスイッチを押すと、メニューツリーの同じレベルの項目を選択できます。

[シフト] スイッチを押しているときのスイッチ機能

このスイッチが押されている間、「排出」と「リセット」機能が追加されます。

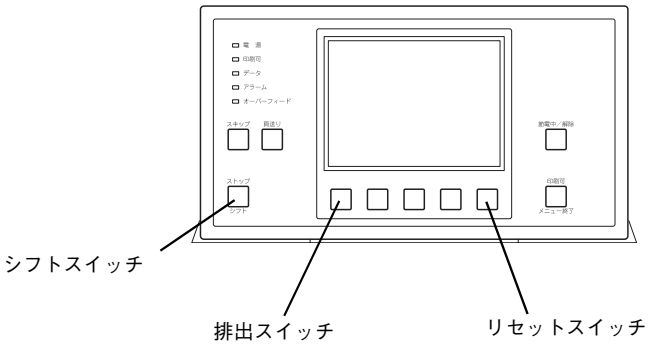


図4-6 ［シフト］スイッチで機能するスイッチ

[排出] スイッチ

プリンタに残っている未印刷データをすべて印刷する。

このスイッチはディスプレイに“データが残っています”と表示されているときに機能します。アラーム中および用紙がない状態では機能しません。

[シフト] スイッチを押した状態でこのスイッチを押すとプリンタに残っているデータをすべて印刷出力します。

[リセット] スイッチ

プリンタを初期状態にする。

このスイッチはオフライン状態のときに機能します。アラーム（保守員コール以外）中も機能します。

[シフト］スイッチを押した状態でこのスイッチを2回続けて押すと、ディスプレイに“リセット実行中”と表示され、未印刷データは消失し、プリンタは初期状態（［電源ON］スイッチを押した直後の状態）になります。リセット後、ブザーが2回鳴ります。

オートロードパネル

オートロードパネルは、プリンタ右側面上部にあります。
オートロードパネルの配置を図4-7に、それぞれの機能を表4-1に示します。

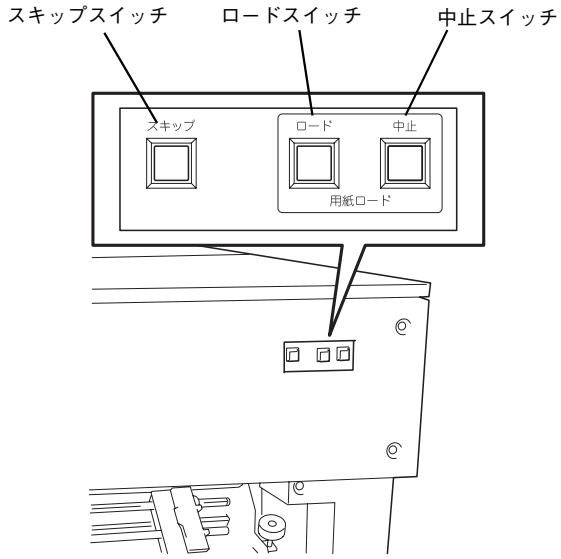


図4-7　オートロードパネルの配置

表4-1　オートロードパネルの機能

名　　称	機　　能	有効条件
ロード	用紙がトラクタにセットされているとき、このスイッチを押すことにより、用紙は自動的に吸入されます。本機能をオートロードと呼びます。このとき、主操作パネルの表示は「オートロード中」となります。	主操作パネルに“用紙を補給してください”のメッセージが表示されている場合に有効です。
中止	オートロード動作を緊急停止する必要が生じたとき、このスイッチを押します。	オートロード動作中に有効です。
スキップ	このスイッチを押すことにより、用紙がスタッカ側へ1/6インチ分送られます。押し続けると、連続動作をします。	オフラインで用紙搬送が停止している場合に有効です。以下の状態では無効です。 ● 72 カバーが開いています ● 保守員コール

スタッカパネル

スタッカパネルは、プリンタ左側面のスタッカ部の上部にあります。スタッカパネルの配置を図4-8に、それぞれの機能を表4-2に示します。

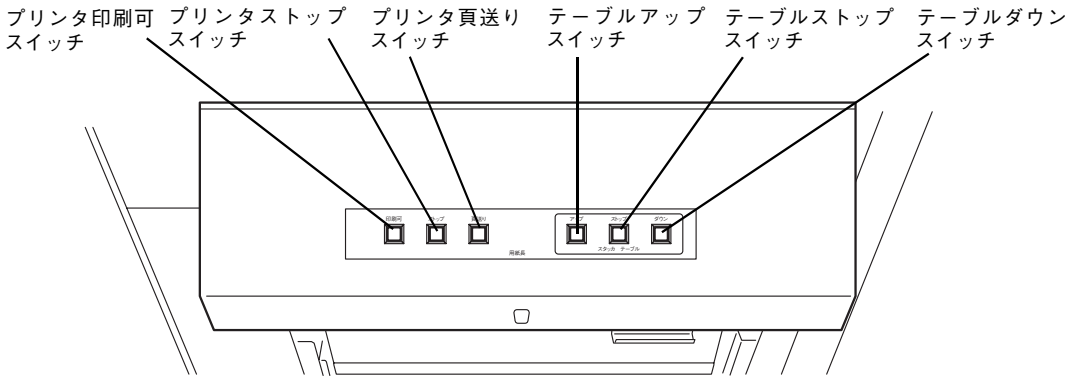


図4-8　スタッカパネルの配置

表4-2　スタッカパネルの機能

名　　称	機　　能	有効条件
プリンタ印刷可スイッチ	スイッチを押すごとにデータを受信できる状態と受信できない状態に交互に切り替わります。主操作パネルの［印刷可］スイッチと同等の機能です。	プリンタが初期化中でないとき、およびテスト印刷中でないときに機能します。
プリンタストップスイッチ	印刷中にこのスイッチを押すと、印刷中の用紙を印刷した後、一時的に印刷を停止します。受信済みのデータは、プリンタ内に残したままになります。印刷を再開するときは、［印刷可］スイッチを押します。 また、アラームが発生してブザーが鳴っているときに、このスイッチを押すとアラーム音が止まります。	このスイッチは常に有効です。
プリンタ頁送りスイッチ	このスイッチはページ送り動作を1ページ分行い、定着を行います。押し続けると、スイッチを放すまでページ送りを続けます。	オフライン状態中に有効です。
テーブルアップスイッチ	このスイッチを押すことにより、用紙の折り畳み動作に適した高さまでテーブルが自動的に上昇します。	印刷動作が停止している場合に有効です。
テーブルストップスイッチ	このスイッチを押すことにより、テーブルの上下動作が停止します。	印刷動作が停止している場合に有効です。
テーブルダウンスイッチ	このスイッチを押し続けている間、テーブルが下降します。スイッチを放すと下降動作は停止します。	印刷動作が停止している場合に有効です。

メニューモード

メニューモードでは、プリンタの主操作パネル上のスイッチを使ってプリンタのさまざまな設定を変更することができます。

メニューモードで変更した設定内容は電源をOFFにしても変わりません。

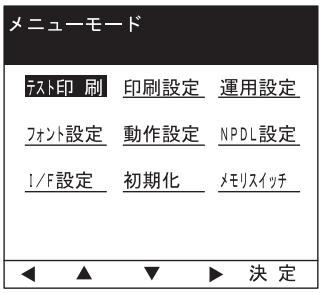
メニューモードでの設定変更のしかた

1 ［印刷可］スイッチを押して、オフライン状態にする。

ディスプレイの表示が「オフライン」表示になります。

2 ［メニュー］スイッチを押す。

プリンタはメニューモードに入り、ディスプレイに“メニューモード”と表示し、メニュー項目の一覧を表示します。



3 メニューモードの設定を変更する。

メニューモードの内容は次ページの「メニューモード設定項目一覧」および「メニューツリー」（153ページ）を参照してください。

メニューモード中は次の7個のスイッチで項目の選択、設定の変更を行います。

［◀］、［▲］、［▼］、［▶］スイッチ：

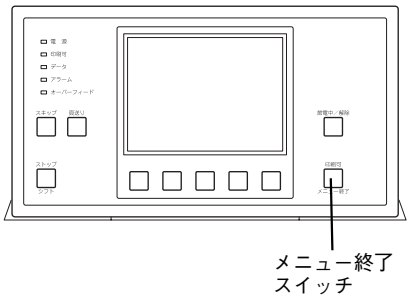
このスイッチを押すとその方向へカーソルが進むことを示しています。

［決定］スイッチ：
次のメニューレベル〔レベル2またはレベル3〕へ遷移します。

［設定］スイッチ：
メニューレベル3において、選択している項目の設定値を変更します。

［戻る］スイッチ：
メニューレベル2およびレベル3において、一つ前のレベルに戻ります。

4 ［メニュー終了］スイッチを押して、メニューモードを終了する。



プリンタは印刷可状態になり、ディスプレイは通常表示に戻ります。変更した設定内容は、このスイッチを押すことによって記憶されます。もしこのスイッチを押さずに電源を落としてしまうと、設定内容の変更は記憶されませんので、ご注意ください。

メニューモード設定項目一覧

メニューモードで設定できる項目の一覧とそれらの簡単な説明を以下に示します。これらの設定の一部はメモリスイッチからも設定できます。各設定方法で設定できる項目の一覧も以下に示します。

表4-3　メニューモード設定項目一覧

○：有効　×：無効

設定項目		説明	メモリスイッチ（MSW）	ESC/P エミュレーション
テスト印刷メニュー	ステータス印刷実行	ステータス印刷を行います。ステータス印刷では、メモリスイッチの状態など、各プリンタの状態が印刷されます。	×	○
	連続印刷実行	連続印刷を行います。	×	○
	16進ダンプ印刷実行	16進ダンプ印刷を行います。	×	○
	LANステータス印刷実行	標準LAN（インタフェース）の設定状態を印刷します。	×	○
	通信ログ印刷実行	標準LAN（インタフェース）の通信ログを印刷します。	×	○
印刷設定メニュー	コピー枚数設定	コピー枚数は“01”から“99”まで設定できます。	×	○
	ジョブエンドマーク	ジョブエンドマークの印字パターンを選択します。	×	○
運用設定メニュー	総印字枚数	総印字枚数を表示します。	×	○
	自動排出*1	自動排出の有効／無効、および設定時間を選択します。	×	○
	節電機能	節電機能の使用有無を選択します。	×	○
	節電時間	節電モードに入るまでの時間を設定します。	×	○
フォント設定メニュー	1バイト系ゼロ*2	1バイト系ゼロの字体を切り替えます。	○	○
	2バイト系ゼロ	2バイト系ゼロの字体を切り替えます。	×	○
	ANK	1バイト系コードのフォントのANK文字を選択します。	×	○
	漢字	標準フォント（2バイト文字）を選択します。	×	○*3
	文字セット	2バイト系文字セットを選択します。	×	1983固定
	国別	各国文字セットを選択します。	×	○
動作設定メニュー	動作エミュレーション	インタフェースの初期動作エミュレーションの設定を行います。	×	○
	動作自動切り替え	インタフェースの動作自動切り替えを使用するかどうか、自動切り替え時間の設定を行います。	×	○
NPDL 設定メニュー	エミュレーション	ページプリンタモードか201PLエミュレーションモードかを選択します。	○	×
	136桁モード設定	136桁モードの有効・無効を選択します。有効のときは、用紙位置微調整の方向と量を選択します。	○	○
I/F 設定メニュー	インタフェース設定	標準LANのIPアドレス、サブネットマスクなどを設定します。	×	○

設定項目		説明	メモリスイッチ（MSW）	ESC/Pエミュレーション
初期化メニュー	メニュー設定初期化実行	メニュー項目を初期設定に戻します。	×	○
	LAN初期化実行	LAN項目を初期設定に戻します。	×	○
	全設定初期化実行	メニュー項目、LAN項目のすべてを初期設定に戻します。	×	○
	設定呼び出し実行	設定記憶で記憶されている内容を呼び出します。	×	○
	設定記憶実行	メニューモード内の各種機能設定をまとめて記憶します。	×	○
メモリスイッチメニュー	メニューモードの中で比較的変更頻度の低いものがまとめられています。		151ページ参照	

*1 コンピュータに負荷がかかっている場合やネットワークのデータ量が多い場合、自動排出までの待ち時間（最大30秒）以上にデータ送信が停止することがあります。この場合、途中で用紙が排出されるため正常な印刷結果が得られませんので、自動排出の設定を無効にする必要があります。

*2 OCR-Bフォントを使用した場合は、設定に関わらず「0」で印刷されます。

*3 「明朝」「ゴシック」はESC/Pコマンドの「FS k（漢字の書体選択）」によって切り替えることができます。

メモリスイッチの設定変更のしかた

ここでは、ブザー機能の有効/無効のメモリスイッチの設定変更を例にして説明します。対象となるメモリスイッチは「3-8」です。

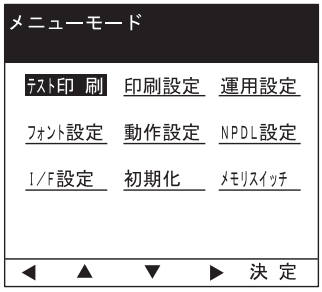
1 プリンタの電源をONにする。

2 [印刷可] スイッチを押して、オフライン状態にする。

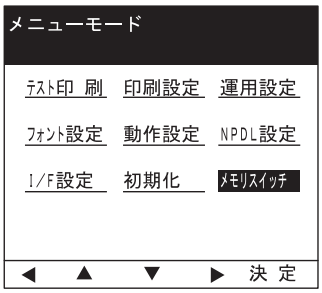
ディスプレイの表示が「オフライン」表示になります。

3 [メニュー] スイッチを押す。

プリンタはメニューモードに入り、ディスプレイに“メニューモード”と表示します。

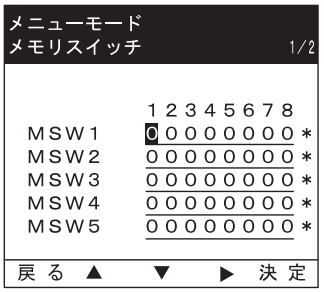


4 [▶] スイッチを2回、[▼] スイッチを2回押して、“メモリスイッチ”にカーソルを移動する。

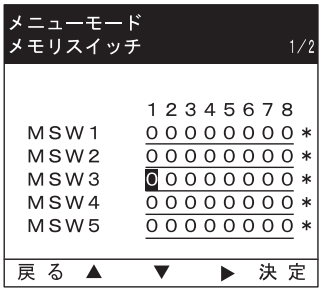


5 [決定] スイッチを1回押す。

MSW1～MSW5が表示されます。



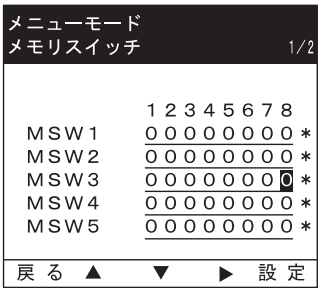
6 [▼] スイッチを2回押して、MSW3にカーソルを移動する。



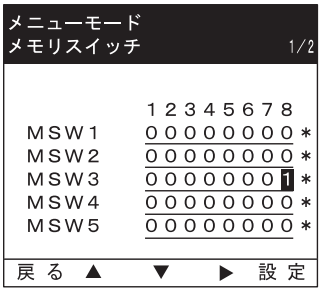
チェック

MSW6～MSW10は、表示されるまで [▼] スイッチを数回押してください。

7 [▶] スイッチスイッチを７回押して、カーソルをMSW3-8に移動する。

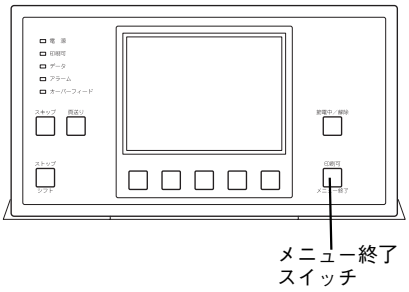


8 [設定] スイッチを1回押して、MSW3-8を“1”に変更する。



9 [メニュー終了]スイッチを押して、メニューモードを終了する。

プリンタは印刷可状態になり、ディスプレイは通常表示に戻ります。



メモリスイッチ設定項目一覧

メモリスイッチは1（ON）か0（OFF）を選択することによって、以下の表に示されている項目を設定することができます。メモリスイッチは1-1から10-8まであります。（未使用のスイッチもあります。未使用のスイッチの設定値はすべて“0”です。）
以下の表中の太文字は、工場出荷時の設定を示しています。

表4-4　メニューモードで設定できるメモリスイッチの内容

○：有効　×：無効

番号	機　能	0	1	ESC/P モードでの動作
1-1	各国文字の切り替え	3つのスイッチの1／0の組み合わせにより、5か国語の文字を切り替えます。 **すべて0（日本語）**		○
1-2				
1-3				
1-4	グレースケールの網点の切り替え	**粗い**	細い	×
1-5	（未使用）	**0**		−
1-6	自動復帰改行の切り替え	**復帰改行**	復帰のみ	×
1-7	印刷指令の切り替え	**CRのみ**	CR＋その他	×
1-8	CR機能の切り替え	**復帰のみ**	復帰改行	○
2-1	1バイト系コードのゼロの字体の切り替え*1	**0**	Ø	○
2-2	エミュレーションモードの切り替え	**201PL　エミュレーション**	ページプリンタ（NPDL）	×
2-3	ドット列印刷モードの切り替え	**ネイティブモード**	コピーモード	×
2-4 ～ 2-5	（未使用）	**0**		−
2-6	7ビット／8ビットデータの切り替え	**8ビット**	7ビット	×
2-7 ～ 2-8	（未使用）	**0**		−
3-1	レフトマージン量の設定 または用紙位置微調整量の設定（136桁モード）	4つのスイッチの1／0の組み合わせにより、0インチから15/10インチまでの範囲で設定します。（1/10インチ単位） **すべて0（0インチ）**		○
3-2				
3-3				
3-4				
3-5	用紙位置微調整方向の設定（136桁モード）	**左**	右	○
3-6	用紙位置の設定（136桁モード）	**左端合わせ**	中央合わせ	○
3-7	136桁モードの有効／無効の切り替え	**無効**	有効	○
3-8	ブザー機能の有効／無効の切り替え	**有効**	無効	○
4-1 ～ 4-2	（未使用）	**0**		−
4-3	ESC c1 での登録データを初期化する／しないの切り替え	**初期化する**	初期化しない	×
4-4	FFコードのみで白紙を出力する／しないの切り替え	**出力する**	出力しない	×
4-5 ～ 4-8	（未使用）	**0**		−
5-1 ～ 5-8	（未使用）	**0**		−
6-1 ～ 6-6	（未使用）	**0**		−
6-7	節電機能を使用する／しないの切り替え	**使用する**	使用しない	○
6-8	（未使用）	**0**		−

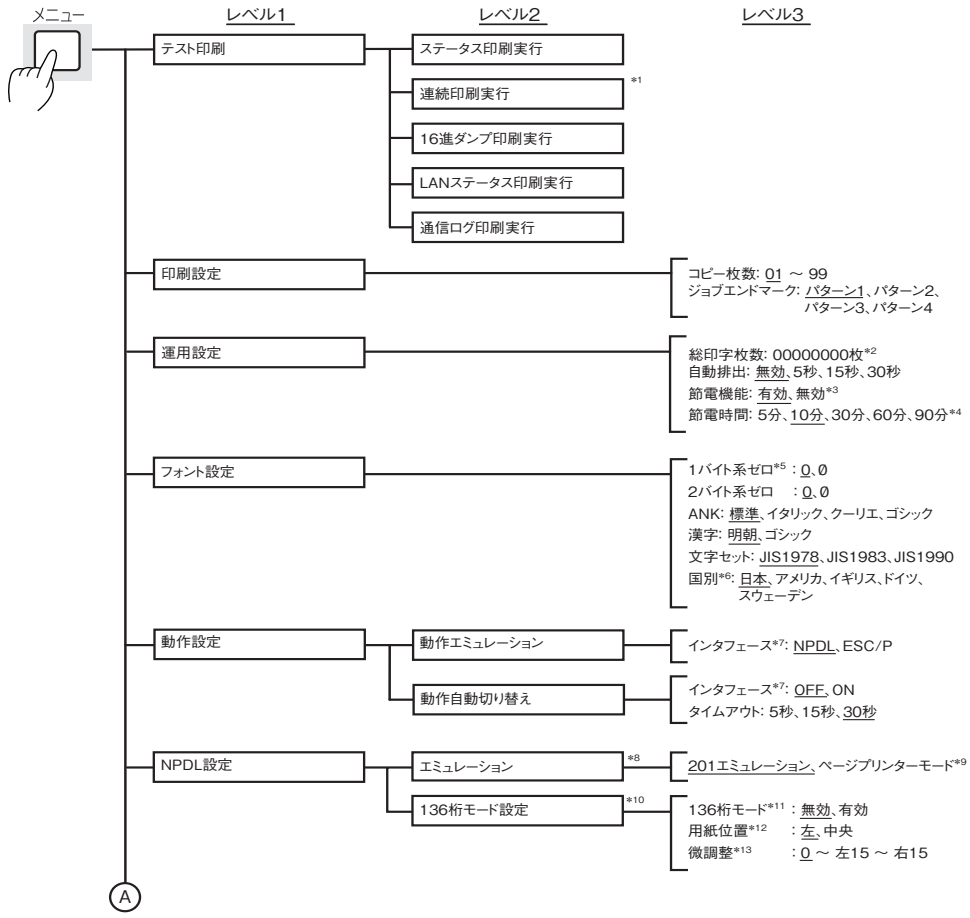
番号	機　能	0	1	ESC/P モードでの動作
7-1 ～ 7-3	（未使用）	**0**		－
7-4	バーコード400dpi補正	**補正しない**	補正する	×
7-5	アラーム検出条件	**アラーム発生時**	印刷開始時	－
7-6 ～ 7-8	（未使用）	**0**		－
8-1 ～ 8-4	（未使用）	**0**		－
8-5	アラームブザー音	**30 秒周期で 3x2 回鳴動**	断続鳴動（0.5秒間隔）	－
8-6 ～ 8-8	（未使用）	**0**		－
9-1	（未使用）	**0**		－
9-2	ページフォーマットの回転をする／しないの切り替え	**反転しない**	反転する	○
9-3 ～ 9-8	（未使用）	**0**		－
10-1	用紙下端1/6inchのデータ処理*2	**改頁する**	改頁しない	○
10-2	印刷可能桁数［インサツカノウケタスウ］	**170桁**	144 桁（従来互換）	○
10-3 ～ 10-4	（未使用）	**0**		－
10-5	用紙サイズ不一致時の動作モード選択	**用紙交換メッセージを表示し一時停止**	印刷を継続	－
10-6	JOB ENDマーク印刷後の改頁	**あり**	なし	×
10-7 ～ 10-8	（未使用）	**0**		－

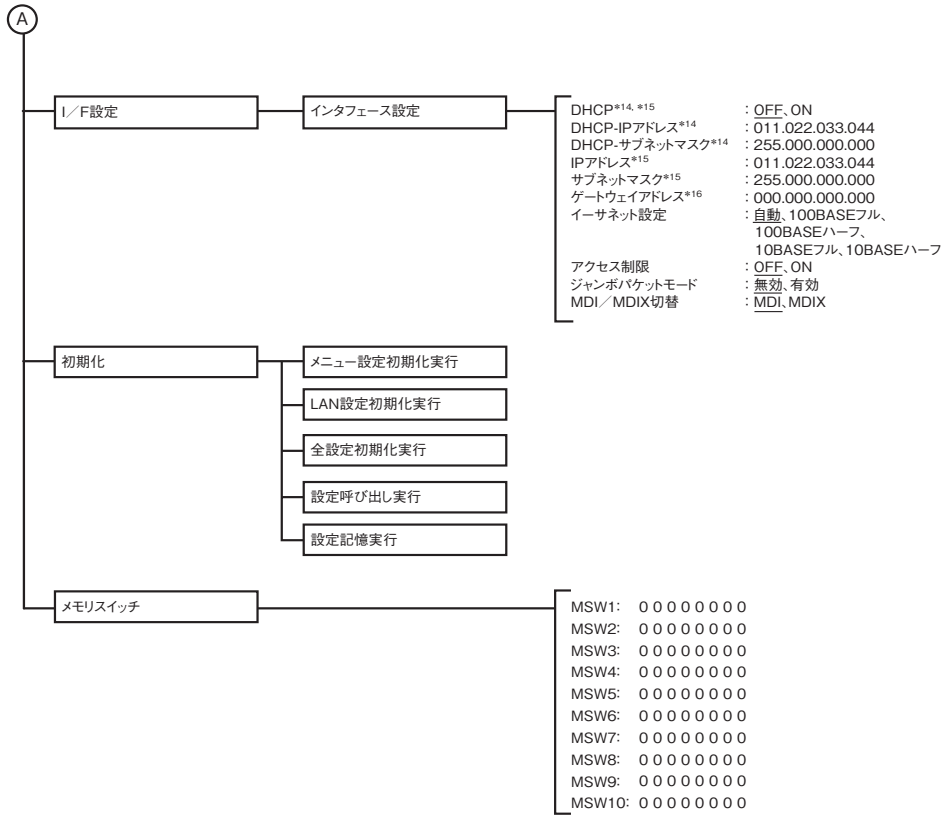
*1　OCR-Bフォントを使用した場合は設定に関わらず「0」で印刷されます。

*2　専用のプリンタドライバからの印刷時は、本設定は無効になります。

メニューツリー

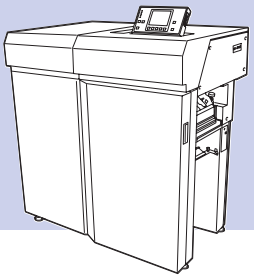
次にメニューモードを図式的に表したメニューツリーを示します。（下線部分は出荷時の設定値です。）
「＊」で示す補足的な説明は次のページにあります。





*1 MSW10-2が0の場合は幅18インチ、1の場合は幅15インチの用紙サイズに合わせて改行します。
*2 表示のみです。
*3 MSW6-7と同期します。
*4 「節電機能」を有効にした場合にのみ表示されます。
*5 MSW2-1と同期します。
*6 MSW1-1～MSW1-3と同期します。
*7 標準LANポートの設定。
*8 MSW2-2と同期します。
*9 新情処モードの時は、“ページプリンタモード”は表示されません。ただし、MSW5-6=ONで表示されます。
*10 201エミュレーションモード時のみ表示されます。
*11 MSW3-7と同期します。
*12 136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-6と同期します。
*13 136ケタモードが有効のときのみ表示されます。MSW3-1～MSW3-5と同期します。
*14 DHCPがONの場合は、DHCPから取得したアドレスが表示されます。（入力不可）
*15 DHCPがOFFの場合、表示されます。
*16 DHCPがONの場合、表示され、DHCPから取得したアドレスが表示されます。（入力不可）

5章
操作の手順



ここではN1153-029の基本的な操作の手順について説明します。

① プリンタの電源をON/OFFする

プリンタの電源をONにして使用できる状態にする手順とプリンタの電源をOFFにする手順を示します。

⚠警告

- 万一、発熱、煙、異臭、異音が発生したら、すぐに電源を切断（装置背面のブレーカを落とす）した上で、保守員に連絡してください。そのまま使用すると感電や火災のおそれがあります。
- ぬれた手で装置や電源ケーブルを触らないでください。感電するおそれがあります。

⚠注意

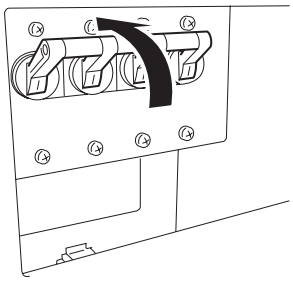
- 清掃などのお手入れの際はブレーカを落としてください。感電やけがをすることがあります。
- 電源は必ず指定された電圧をお使いください。指定された以外の電圧を使うと火災や漏電になるおそれがあります。プリンタ内の安全スイッチには手を触れないでください。プリンタが急に作動状態となり、けが（指を挟むなど）のおそれがあります。
- 電源ケーブルに殺虫剤などの薬品類をかけないでください。コードの被覆が劣化し、感電や火災の原因となることがあります。
- 電源ケーブルを無理に引っ張らないでください。電源ケーブルを引っ張ると、火災や感電の原因となるおそれがあります。また、電源ケーブルの装置本体と配電盤の接続、取り外しは、必ず保守員にご指示ください。
- 電源ケーブルが損傷した場合は、すぐに電源スイッチをOFFにし、保守員に連絡してください。また、損傷部分を補修してお使いにならないでください。ビニールテープなどで補修した部分が過熱し、火災や感電の原因となるおそれがあります。
- 電源ケーブルを無理に曲げたりねじったり、束ねたりしないでください。また重いものを載せたり、はさみ込んだりしないでください。コードが破損し、感電や火災の原因となることがあります。また、電源ケーブルの装置本体と配電盤の接続、取り外しは、必ず保守員にご指示ください。
- 添付の電源ケーブルは本装置に接続し、使用することを目的に設計され、その安全性が確認されているものです。決して他の装置や用途に使用しないでください。火災や感電の原因となるおそれがあります。
- メインブレーカが落ちた場合には再投入せずに保守員に連絡してください。

電源のON

プリンタの電源は、分電盤のブレーカ、プリンタ本体のブレーカ、プリンタ本体の電源スイッチの順でONになります。

1 分電盤のブレーカを ON の位置にセットする。

2 プリンタ本体背面にあるメインブレーカをONの位置にセットする。

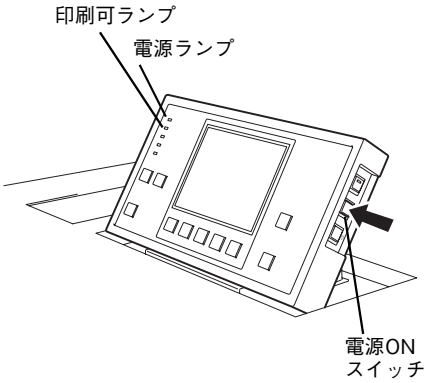


3 主操作パネルの右側面にあるLOCALランプが点灯していることを確認する。

LOCALランプが消灯している場合は［LOCAL］スイッチを1回押してLOCALランプを点灯させてください（後述の「LOCALスイッチの利用」を参照）。

4 電源ランプが点灯するまで［電源　ON］スイッチを押す。

プリンタは初期動作（自己診断など）を開始します。印刷ができる状態になると、印刷可ランプが点灯します。

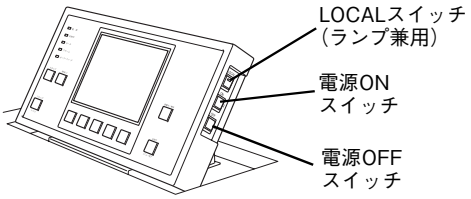


LOCALスイッチの利用

主操作パネルの右側面には［電源ON］スイッチ、［電源OFF］スイッチに加え、［LOCAL］スイッチがあります。

［LOCAL］スイッチは、プリンタの作業者が誤って電源スイッチを押してしまい、日常の業務を停止させたり、電源をONにして不要な印刷をしてしまったりすることを防止するためのスイッチです。

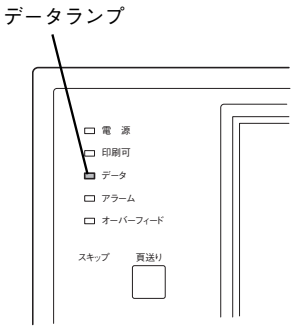
［LOCAL］スイッチがON（LOCALランプ点灯）の状態で、電源スイッチが機能します。［LOCAL］スイッチがOFF（LOCALランプ消灯）の間は、電源スイッチは機能しません。



電源のOFF

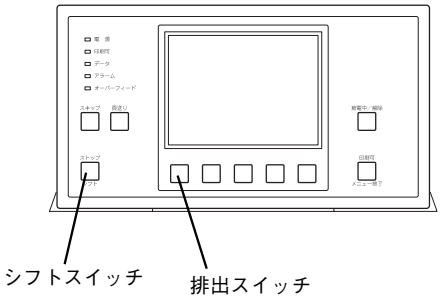
電源のOFFは、電源のONと逆の操作を行います。

1 主操作パネルのデータランプが消灯していることを確認する。



データランプが点滅している場合は、プリンタが印刷データを受信中であることを示します。受信中の印刷データを印刷し終わるまでお待ちください。

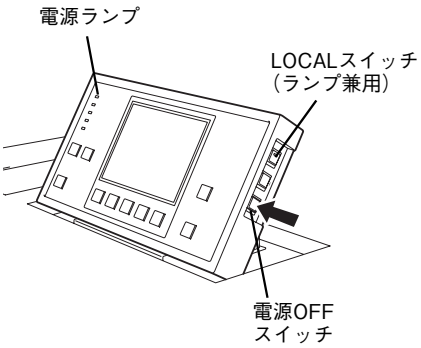
ランプが点灯している場合は、プリンタ内に印刷データが残っている状態であることを示します。[シフト]スイッチを押しながら、[排出]スイッチを押すと、プリンタ内に残っている印刷データを印刷します。



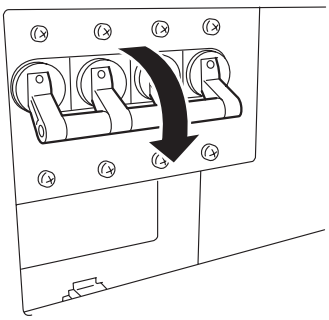
2 主操作パネルの右側面にあるLOCALランプが点灯していることを確認して、電源ランプが消灯するまで［電源OFF］スイッチを押す。

LOCALランプが消灯している場合は、[LOCAL]スイッチを1回押してください。

プリンタは電源OFFの処理をした後、OFFの状態になります。



3 プリンタ本体背面にあるメインブレーカをOFFの位置にセットする。



4 分電盤のブレーカを OFF の位置にセットする。

② 用紙をセットする

プリンタにセットできる用紙は、幅が165.1mm（6.5インチ）から457.2mm（18インチ）で、坪量が64g/m^2(連量55kg）から157g/m^2(連量135kg）までの送り孔付き連続折りたたみ紙です。
使用できる用紙の規格については、付録の「用紙の規格」を参照してください。

用紙の経路

用紙の経路を以下に示します。

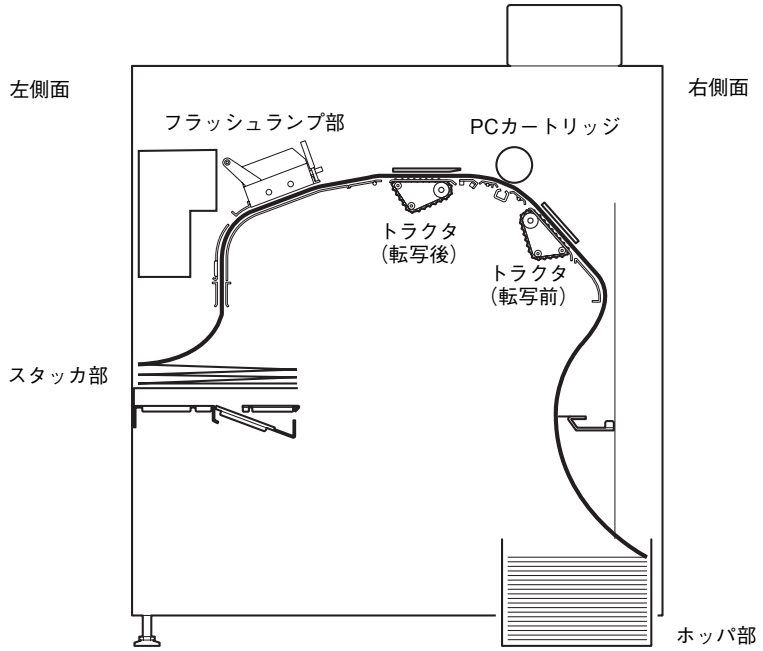


図5-1　用紙の経路

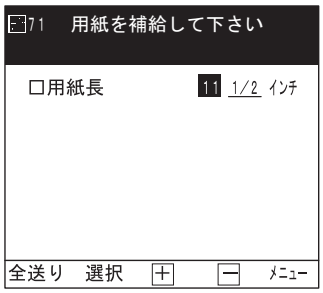
用紙長の設定

プリンタにセットする用紙の用紙長をプリンタに記憶させます。操作は、主操作パネルのスイッチを使用します。

チェック

- 設定した用紙長に合わせてオートロード（用紙の自動装てん）動作をします。間違った設定は印刷位置がずれるなどの原因となります。
- 印刷データに用紙長指定コマンドを含める場合（標準添付のプリンタドライバ使用時など）は、本設定操作を省略することができます。省略した場合は、印刷動作を開始すると自動でミシン目合わせを行います。ただし、誤操作防止のため、なるべく本設定を省略せず、事前に用紙のセット位置確認（165ページ）を行うことをお勧めします。

1 現在の用紙長設定を確認する。



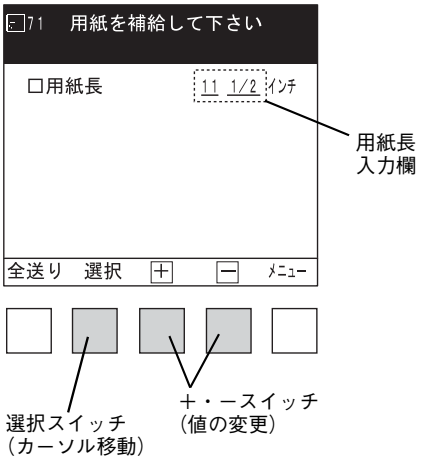
セットする用紙の用紙長と現在の用紙長設定が一致している場合は次ページへ進んでください。

一致していない場合は次の手順へ進んでください。

用紙をセットした後に設定し直したい場合は、プリンタをオフラインの状態（印刷可ランプが消灯）にすると用紙長の設定画面（下図）を表示します（設定を変更したら、オートロードパネルの［スキップ］スイッチでミシン目をページパドアの目盛りに合わせた後、［印刷可］スイッチを押してください）。

2 用紙長を設定する。

［選択］スイッチ、［+］スイッチおよび［−］スイッチを使って用紙長入力欄にセットする用紙の用紙長を入力してください。

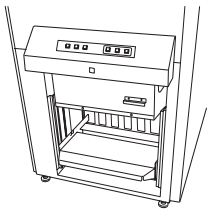


用紙のセット

前ページの「用紙長の設定」をしたら、以下の手順で用紙をセットします。

⚠注意 20kg（用紙3000枚）以上の媒体を運ぶときは、必ず2人以上または運搬台車をお使いください。

1 プリンタ左側面のスタッカテーブル上に用紙が残っていないことを確認する。

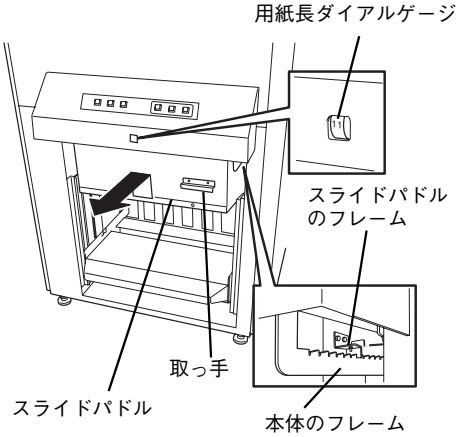


2 プリンタ左側面のスタッカ部へ移動する。

3 スライドパドルの取っ手を軽く持ち上げ、セットした用紙長に合わせて位置を調節する。

スライドパドルの正面には、現在のセット位置に対応した用紙長を表すダイアルゲージがあります。

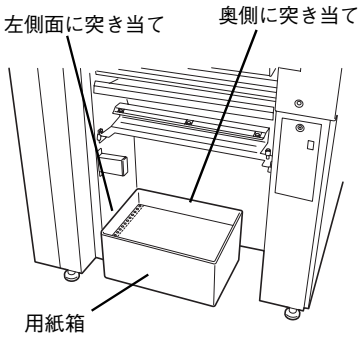
正しい位置に調節したら取っ手をゆっくりと下ろしてパドルを固定します。
使用する用紙の用紙長が7インチの場合は、用紙長ダイアルゲージの表示を“7.5”インチに合わせてスタッカテーブルに専用のトレーを装着します。添付のリーフレット「7インチトレー使用方法」を参照してください。



チェック

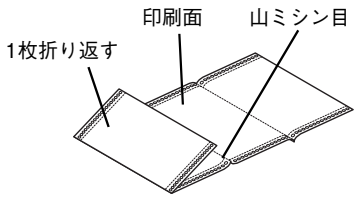
- スライドパドルの取っ手を下ろした時にパドルのフレームと本体のフレームがしっかりとかみ合った状態で固定されていることを確認してください。
- 7インチトレーから印刷用紙がはみ出したときは手で直してください。

4 用紙箱をプリンタ右側面のホッパ部に置き、ホッパ部の左側面と奥側に突き当てる。

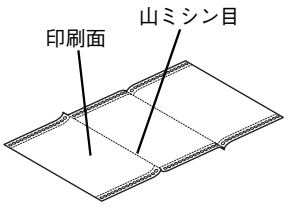


5 用紙先端を図のようにする。

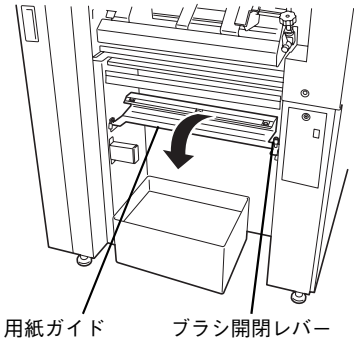
- 用紙坪量が104.7g/m^2（連量90kg）未満の場合



- 用紙坪量が104.7g/m^2（連量90kg）以上の場合

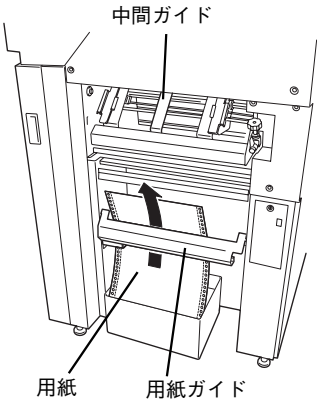


6 ブラシ開閉レバーを持って開方向に回して、用紙ガイドを開いた状態にする。



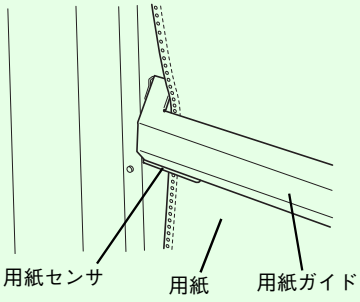
7 用紙を用紙ガイドの内側に通して装着する。

このとき中間ガイドが極端に左右に寄っている場合は、中間ガイドを用紙幅中央付近に寄せてください。



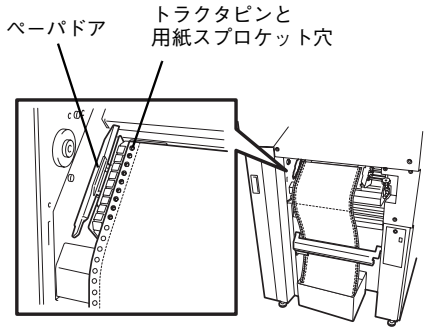
チェック

左側には用紙検出センサがあります。下図のとおりに用紙がこのセンサを横切るように配置してください。



8 左右のペーパドアを開ける。

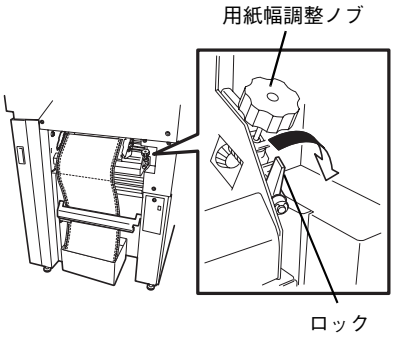
9 用紙スプロケット穴を左側のトラクタピンに挿入し、ペーパドアを閉じる。



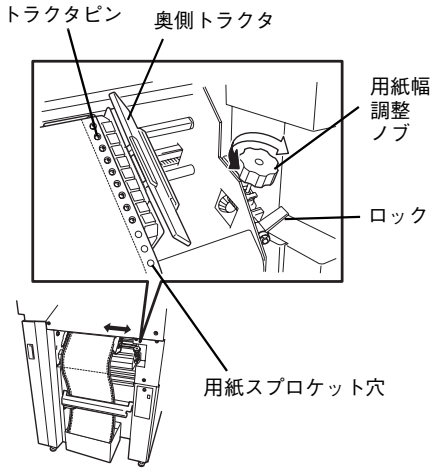
チェック

用紙をセットする際、トラクタピン上にあるすべての用紙スプロケット穴をピンへ差し込んでください。

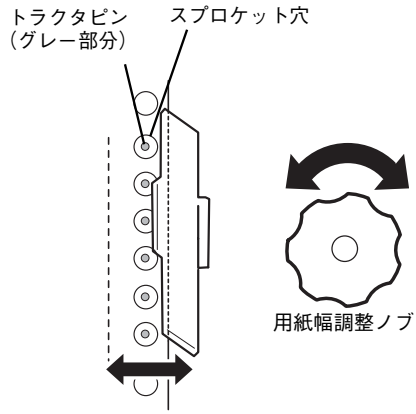
10 用紙幅調整ノブのロックを解除する。



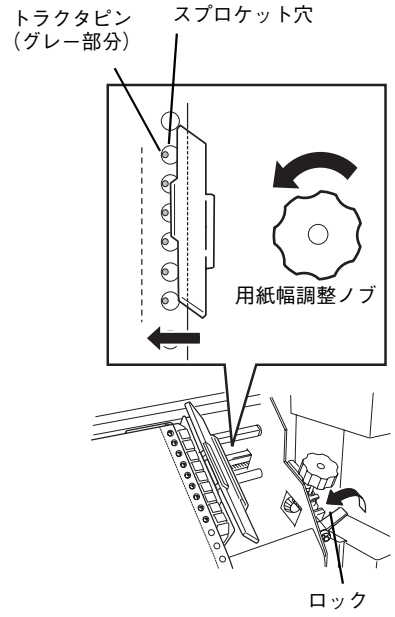
11 用紙幅調整ノブを回して、奥側トラクタピンを用紙幅（奥側スプロケット穴）に合わせた後、用紙幅調整ノブをロックする。



① 用紙幅調整ノブを回してスプロケット穴とトラクタピンを一致させる。



② 用紙幅調整ノブを反時計回りに回して、トラクタピンを約0.5mm程度、左に動かして（用紙をたるませる）、その状態で用紙幅調整ノブをロックする。

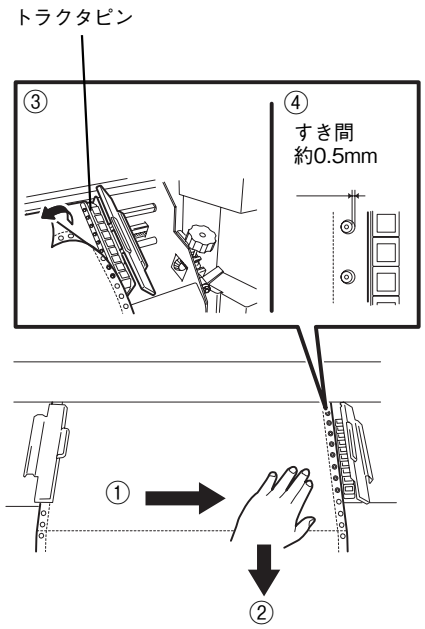


チェック

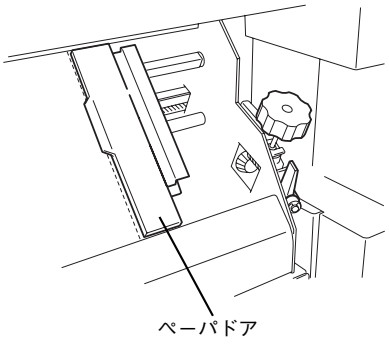
用紙幅調整ノブをロックする際には奥側トラクタが不用意に動かないよう慎重に行ってください。

＜用紙幅の調整確認方法＞

① 用紙のたるみを、軽い力で右側に寄せる。
② その状態で用紙の右端を押さえる。
③ その状態で用紙をトラクタピンからめくり、手を放す。
④ 下図のすき間があることを確認する。
⑤ すき間が適正なときは、めくった用紙をトラクタピンに戻す。
すき間が適正でないときは、手順***11***の先頭に戻ってください。



12 ペーパドアを閉じる。



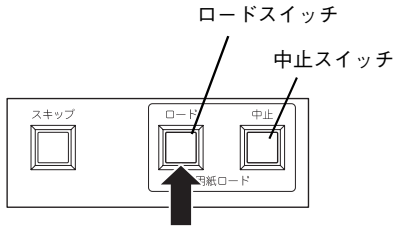
チェック

- 用紙幅調整時、用紙のたるみすぎは、オートロードジャムの原因となります。また、用紙を張りすぎると、トラクタ外れや印字位置精度の劣化が起こりやすくなります。
- 湿度の高い環境にある用紙を使用した場合、用紙箱上部の用紙が膨張していることがあります。このような用紙を使用すると、用紙端部が汚れたり、プリンタから用紙が外れたりすることがあります。
このような用紙を使用する際は用紙幅調整ノブを使って奥側トラクタを1mm程度用紙の内側に寄せてトラクタを固定してください。

13 手順***6***で開いた用紙ガイドを閉じる。

14 用紙箱が曲がって置かれていないこと、および用紙がまっすぐ走行できるように用紙箱の左右位置を微調整する。

15 オートロードパネルの［ロード］スイッチを押す。



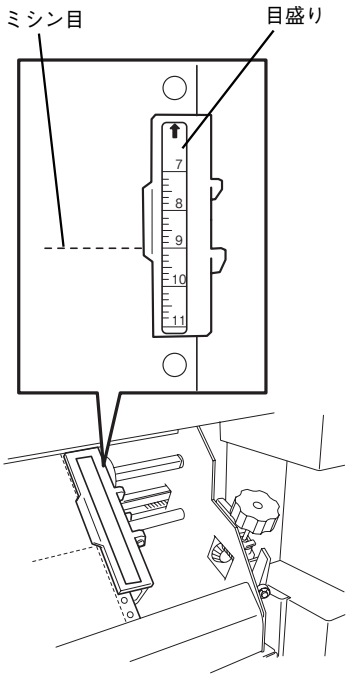
用紙が自動的に転写部、フューザ部を経て、スタッカに送り込まれます。

万一、用紙搬送中において用紙がひっかかった場合は、オートロードパネルの［中止］スイッチを押し、用紙を停止させてその原因を取り除き、用紙破れがあった場合、紙片が搬送部内に残っていないか点検し再度実施してください。

16 用紙のセット位置を確認する。

左右のペーパドアには用紙長に合わせた位置合わせの確認をするための目盛りがあります。

セットした用紙のミシン目が用紙長と同じ値の位置に合っていることを確認してください。ずれている場合は「用紙交換のための取り出し（全排出）」（173ページ）を参照していったん用紙をプリンタから取り除いた後、用紙長の設定を確認して用紙をセットし直してください。



17 主操作パネルまたはスタッカパネルの［印刷可］スイッチを押して、印刷が可能な状態にする。

プリンタが印刷が可能な状態になると、主操作パネルの印刷可ランプが点灯します。

③ 印刷をする

印刷された用紙は、スタッカテーブルに自動的に折り重なります。スタッカテーブルに用紙が一定量たまるとスタッカテーブルは少しずつ下がっていき、坪量81.4g/m^2（連量70kg）用紙で2000枚程度まで収容できます。

チェック

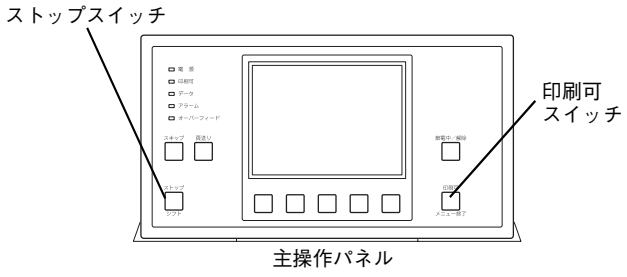
- 印刷中の用紙に手を触れないでください。動いている用紙によって、手を切ることがあります。
- 印刷動作中は、前扉を開けないでください。開けるときは、印刷動作が停止していることを確認してください。印刷動作中に前扉を開くと、危険防止のため印刷動作が緊急停止します。そのあと印刷ジョブ再スタートが必要となります。
- 印刷終了直後に電源を切断するときは、5分間ほど放置してください。印刷が終了しても、フューザ部の温度を下げるために冷却ファンとプリンタ部の排気ファンが動作しています。

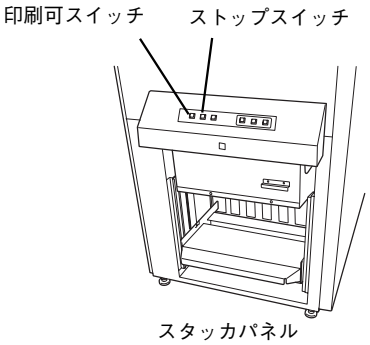
印刷の設定と開始

印刷の詳細な設定や設定した内容での印刷の開始は本プリンタのドライバソフトウエアをインストールしたコンピュータから行います。設定方法や設定できる内容については6章を参照してください。

印刷動作の一時停止

印刷動作を一時停止させたい場合は、主操作パネルまたはスタッカパネルの［ストップ］スイッチを押します。印刷動作は、現在印刷中のページを印刷し終えた時点で停止します。
印刷動作を再開させたい場合は、主操作パネルまたはスタッカパネルの［印刷可］スイッチを押します。

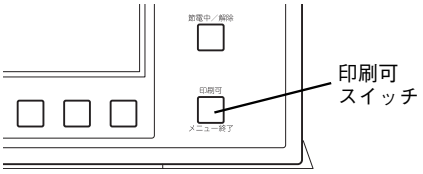




水平・垂直方向に対する印刷位置の調整

印刷用紙に対する印刷データの水平（用紙幅）方向、垂直（用紙送り）方向の印刷位置の調整を、主操作パネルにあるスイッチを使って調整することができます。

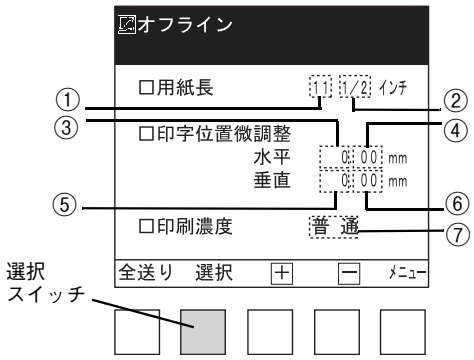
1 ［印刷可］スイッチを1回押す。



ディスプレイには、プリンタに現在設定されている用紙長、および印字位置微調整の設定値、トナー濃度の設定が表示されます。

2 ［選択］スイッチを数回押して、カーソルを“水平”または“垂直”のうち、変更したい数値部分に移動させる。

スイッチを押すたびに、カーソル（破線部）は下図の順に移動します。水平位置を変更する場合、カーソルを③（整数部）または④（小数部）、垂直位置を変更する場合は、カーソルを⑤（整数部）または⑥（小数部）へ移動させてください（値について次ページの表を参照してください）。



3 ［+］スイッチまたは［−］スイッチを押して、値を変更する。

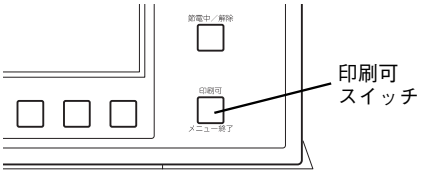
水平方向には、“0.00mm”から“+53.98mm”までの範囲で256段階の固定値から設定することができます。垂直方向には、“-1.69mm”～“0.00mm”～“+1.48mm”の範囲で16段階の固定値から設定することができます。

チェック

最初に整数部でおおまかに調整し、次に小数部で微調整すると、素早く目的の印刷位置に合わせることができます。

4 設定の変更が終わったら、［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが点灯します。



5 試し印刷をして、正しく調整されていることを確認する。

必要に応じて、手順***2***～手順***5***を繰り返して調整してください。

表5-1　水平方向の印字位置微調整値の設定範囲

水平方向の設定範囲（mm）							
0.00	+6.77	+13.55	+20.32	+27.09	+33.87	+40.64	+47.41
+0.21	+6.99	+13.76	+20.53	+27.31	+34.08	+40.85	+47.63
+0.42	+7.20	+13.97	+20.74	+27.52	+34.29	+41.06	+47.84
+0.64	+7.41	+14.18	+20.96	+27.73	+34.50	+41.28	+48.05
+0.85	+7.62	+14.39	+21.17	+27.94	+34.71	+41.49	+48.26
+1.06	+7.83	+14.61	+21.38	+28.15	+34.93	+41.70	+48.47
+1.27	+8.04	+14.82	+21.59	+28.36	+35.14	+41.91	+48.68
+1.48	+8.26	+15.03	+21.80	+28.58	+35.35	+42.12	+48.90
+1.69	+8.47	+15.24	+22.01	+28.79	+35.56	+42.33	+49.11
+1.91	+8.68	+15.45	+22.23	+29.00	+35.77	+42.55	+49.32
+2.12	+8.89	+15.66	+22.44	+29.21	+35.98	+42.76	+49.53
+2.33	+9.10	+15.88	+22.65	+29.42	+36.20	+42.97	+49.74
+2.54	+9.31	+16.09	+22.86	+29.63	+36.41	+43.18	+49.95
+2.75	+9.53	+16.30	+23.07	+29.85	+36.62	+43.39	+50.17
+2.96	+9.74	+16.51	+23.28	+30.06	+36.83	+43.60	+50.38
+3.18	+9.95	+16.72	+23.50	+30.27	+37.04	+43.82	+50.59
+3.39	+10.16	+16.93	+23.71	+30.48	+37.25	+44.03	+50.80
+3.60	+10.37	+17.15	+23.92	+30.69	+37.47	+44.24	+51.01
+3.81	+10.58	+17.36	+24.13	+30.90	+37.68	+44.45	+51.22
+4.02	+10.80	+17.57	+24.34	+31.12	+37.89	+44.66	+51.44
+4.23	+11.01	+17.78	+24.55	+31.33	+38.10	+44.87	+51.65
+4.45	+11.22	+17.99	+24.77	+31.54	+38.31	+45.09	+51.86
+4.66	+11.43	+18.20	+24.98	+31.75	+38.52	+45.30	+52.07
+4.87	+11.64	+18.42	+25.19	+31.96	+38.74	+45.51	+52.28
+5.08	+11.85	+18.63	+25.40	+32.17	+38.95	+45.72	+52.49
+5.29	+12.07	+18.84	+25.61	+32.39	+39.16	+45.93	+52.71
+5.50	+12.28	+19.05	+25.82	+32.60	+39.37	+46.14	+52.92
+5.72	+12.49	+19.26	+26.04	+32.81	+39.58	+46.36	+53.13
+5.93	+12.70	+19.47	+26.25	+33.02	+39.79	+46.57	+53.34
+6.14	+12.91	+19.69	+26.46	+33.23	+40.01	+46.78	+53.55
+6.35	+13.12	+19.90	+26.67	+33.44	+40.22	+46.99	+53.76
+6.56	+13.34	+20.11	+26.88	+33.66	+40.43	+47.20	+53.98

表5-2　垂直方向の印字位置微調整値の設定範囲

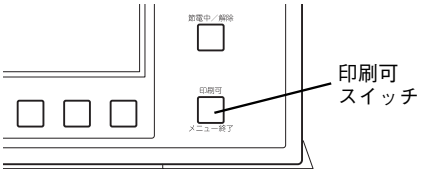
垂直方向の設定範囲（mm）							
-1.69	-1.48	-1.27	-1.06	-0.85	-0.64	-0.42	-0.21
0.00							
+0.21	+0.42	+0.64	+0.85	+1.06	+1.27	+1.48	—

印刷濃度の調整

主操作パネルにあるスイッチを使って印刷濃度を調整することができます。

1 ［印刷可］スイッチを1回押す。

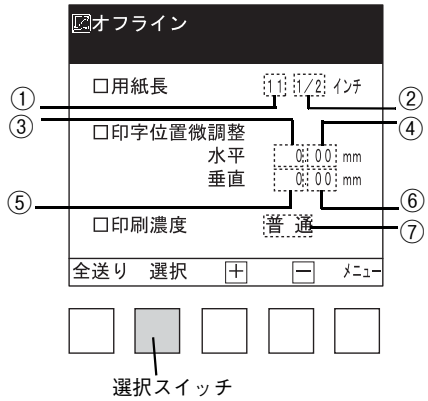
印刷可ランプが消灯します。



ディスプレイには、プリンタに現在設定されている用紙長、および印刷位置微調整の設定値、トナー濃度の設定が表示されます。

2 ［選択］スイッチを数回押して、カーソルを現在の印刷濃度の設定値部分に移動させる。

スイッチを押すたびに、カーソル（破線部）は下図の順に移動します。

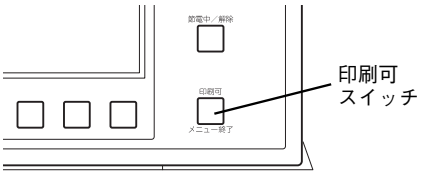


3 ［＋］スイッチまたは［－］スイッチを押して、値を変更する。

濃度は、“淡い”、“普通”、“濃い”の3つから設定することができます。

4 設定の変更が終わったら、［印刷可］スイッチを押す。

印刷可ランプが点灯します。

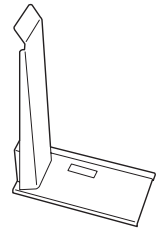


5 試し印刷をして、適切な印刷濃度であることを確認する。

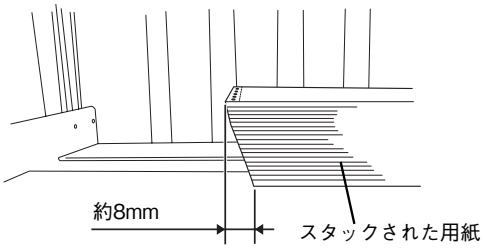
必要に応じて、手順***2***～手順***6***を繰り返して調整してください。

斜傾防止ガイドの設置

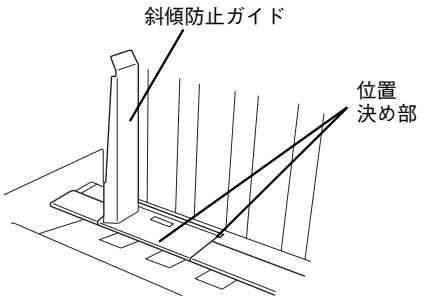
スタッカ部で用紙が斜めに積まれていく傾向（目安：約8mmの傾き）が見られる場合は、印刷をいったん停止して、付属の「斜傾防止ガイド」をスタッカにセットしてください。



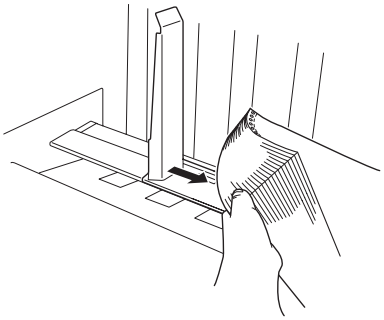
斜傾防止ガイド



1 斜傾防止ガイドを下図のとおりにスタッカ部へ取り付ける。

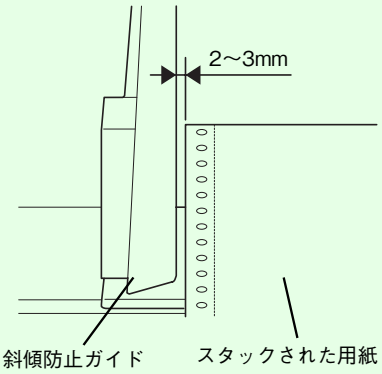


2 取り付けが終わったら、用紙をまっすぐに修正し、斜傾防止ガイドの底面を用紙の下に通してから印刷を再開する。



チェック

ガイドと用紙が密着せず、2～3mmほどのすき間が空くようにガイドを調節してください。



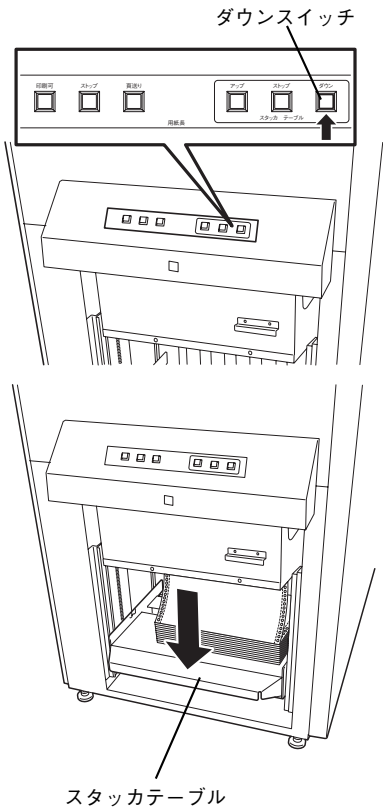
④ 印刷された用紙を取り出す

⚠注意

- 20kg（用紙3000枚）以上の媒体を運ぶときは、必ず2人以上または運搬台車をお使いください。
- スタッカテーブルの下に手などを差し込まないでください。けが（指挟みなど）のおそれがあります。
- プリンタ内の安全スイッチには手を触れないでください。プリンタが急に作動状態となり、けが（指挟みなど）のおそれがあります。

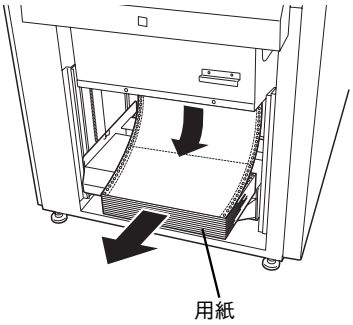
スタッカテーブルからの取り出し

1 スタッカパネルの［ダウン］スイッチを押し、用紙を取り出し位置まで下げる。

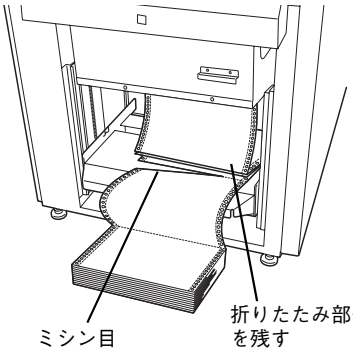


2 用紙をテーブルから取り出す。

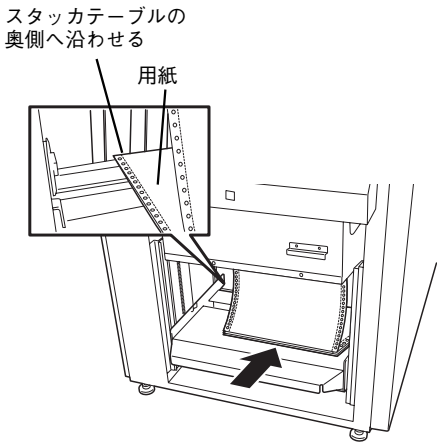
最終用紙がイジェクタ内に残った状態で停止している場合は、用紙を引き降ろしてたたんでください。



用紙の途中で取り出す場合は、ミシン目の部分で切断します。その際には、折りたたみ部分を用紙1～2枚分残して切断し、山谷折りミシン目を逆にしないようにしてテーブルに戻してください。



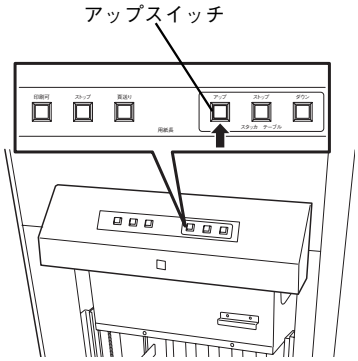
3 残っている用紙がスタッカテーブルの奥側に沿うようセットし直す。



用紙を残さずに切断した場合は、切断したミシン目が谷ミシン目の場合はスタッカテーブルの奥側または中央部のスロート溝に入るようにセットしてください。
山ミシン目で切断した場合は、スタッカテーブル手前側に来るように用紙先端をセットしてください。

> **チェック**
>
> 折り畳みミシン目の山と谷の折り目を逆に折らず、正しい方向に折ってください。

4 スタッカパネルの［アップ］スイッチを押す。



用紙交換のための取り出し（全排出）

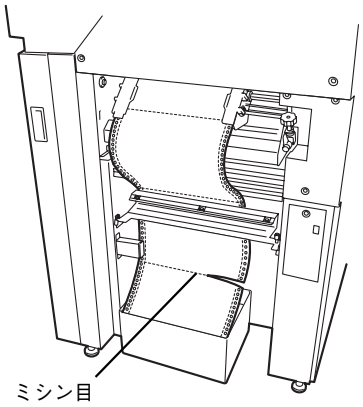
スタッカ部で用紙が斜めに積まれていく傾向（目安：約8mmの傾き）が見られる場合は、印刷をいったん停止して、付属の「斜傾防止ガイド」をスタッカにセットしてください。

チェック

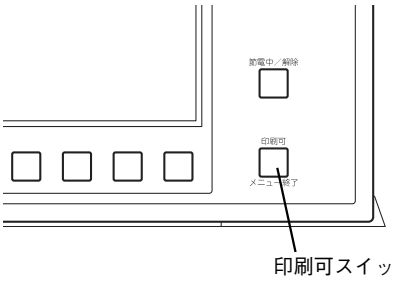
用紙を途中で切断して排出する必要のある場合は、下記の点に注意してください。

- 用紙に損傷やストレスを与えないように切断してください。用紙の一部に損傷があると用紙を排出する際に残留紙片となり、次の印刷時に障害となる場合があります。
- 切断した用紙は用紙箱にていねいに折りたたんでください。また、この手順を行った際にも、いったん用紙箱に収納してから、その後の作業を行ってください。

1 プリンタ右側面のホッパ部の用紙をミシン目に沿って切断する。

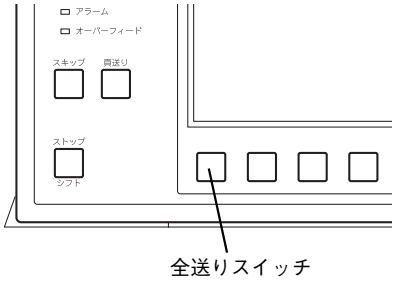


2 主操作パネルの［印刷可］スイッチを押して、プリンタをオフラインの状態（印刷可ランプ消灯）にする。



3 主操作パネルの［全送り］スイッチを押す。

プリンタ内部の用紙がすべてスタッカへ排出されます。



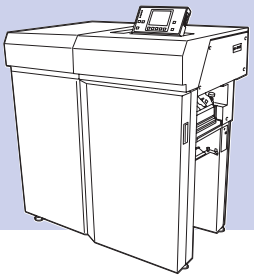
主操作パネルおよびスタッカパネルの［頁送り］スイッチでも用紙は送ることができます（ページ単位で送ります）。また、主操作パネルおよびオートロードパネルの［スキップ］スイッチでも送ることができます（1/6インチ単位で送ります）。

チェック

手順***1***に示す用紙の切断をしていない場合は未定着のページを定着してから停止します。

メ　モ

6章
プリンタを使いこなす



ここでは、プリンタドライバで行う印刷の手順やプロパティダイアログボックスおよび印刷統合管理ソフトウエアの「SimpleMonitor」について説明します。

プリンタドライバ

～印刷の手順とダイアログボックス～

プリンタドライバはN1153-029で印刷を行うためのソフトウエアです。ここでは、プリンタドライバで行う一般的な印刷の手順と、設定を行うプロパティダイアログボックスについて各OS別に説明します。また、プリンタドライバがサポートする用紙サイズや印刷範囲、および特徴的な機能「N面付け印刷」「複数ページ印刷」「かんたん設定の使い方」についても説明します。

- サポート用紙サイズ.....177ページ
- 印刷範囲.....179ページ
- プリンタドライバで印刷する.....182ページ
- N面付け印刷.....184ページ
- 複数ページ印刷.....190ページ
- かんたん設定の使い方.....192ページ
- 印刷のプロパティダイアログボックス.....195ページ
  - Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/ Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003.....195ページ
  - Windows Me/98/95.....214ページ
  - Windows NT 4.0.....230ページ

サポート用紙サイズ

N1153-029用プリンタドライバでサポートする用紙サイズについて説明します。
N1153-029用プリンタドライバでは、出力用紙サイズ（プリンタから出力する物理用紙サイズ）と、用紙サイズ（アプリケーション上で編集・印刷する原稿の論理用紙サイズ）を指定できますので、それぞれについて説明します。

表6-1　出力用紙サイズ（プリンタから出力する物理用紙サイズ）

ドライバ画面上に表示される出力用紙サイズ	実際の用紙サイズ（用紙幅×用紙長）
9.5×11 inch 10×11 inch 15×11 inch 15×7 inch 15×7.5 inch	241.3×279.4mm 254×279.4mm 381×279.4mm 381×177.8mm 381×190.5mm
15×8 inch 15×8.5 inch 15×9 inch 15×9.5 inch 15×10 inch	381×203.2mm 381×215.9mm 381×228.6mm 381×241.3mm 381×254mm
15×10.5 inch 15×11.5 inch 15×12 inch 15×12.5 inch 15×13 inch	381×266.7mm 381×292.1mm 381×304.8mm 381×317.5mm 381×330.2mm
15×13.5 inch 15×14 inch 16×11 inch 17×11 inch 18×11 inch	381×342.9mm 381×355.6mm 406.4×279.4mm 431.8×279.4mm 457.2×279.4mm
18×12 inch 18×14 inch*1 上記以外のサイズ	457.2×304.8mm 457.2×355.6mm 用紙幅165.1～457.2mm×用紙長177.8～355.6mm

*1 「上記以外のサイズ」とは表示されず、用紙幅6.5～18 inch×用紙長7～14 inch以内の用紙であれば出力用紙サイズとして設定でき、表示されます。
フォーム登録された用紙（用紙の登録方法は、213ページ）は、以下の範囲内で用紙をサポートします。
用紙幅165.1～457.2mm×用紙長177.8～355.6mm
（用紙幅6.50～18.00 inch×用紙長7.00～14.00 inch）

表6-2　用紙サイズ（アプリケーション上で編集・印刷する原稿の論理用紙サイズ）

ドライバ画面上に表示される出力用紙サイズ	実際の用紙サイズ（用紙幅×用紙長）
A3 A4 A5 B4（JIS） B5（JIS）	A3 A4 A5 Windows Me/98/95では“B4”と表示されます。 Windows Me/98/95では“B5”と表示されます。
Letter はがき 往復はがき A3横 A4横	Letter はがき 往復はがき A3横 A4横
A5横 B4（JIS）横 B5（JIS）横 Letter横 はがき横	A5横 Windows Me/98/95では“B4横”と表示されます。 Windows Me/98/95では“B5横”と表示されます。 Letter横 はがき横
往復はがき横 9.5×11 inch 10×11 inch 15×11 inch 15×7 inch	往復はがき横 241.3×279.4mm 254×279.4mm 381×279.4mm 381×177.8mm
15×7.5 inch 15×8 inch 15×8.5 inch 15×9 inch 15×9.5 inch	381×190.5mm 381×203.2mm 381×215.9mm 381×228.6mm 381×241.3mm
15×10 inch 15×10.5 inch 15×11.5 inch 15×12 inch 15×12.5 inch	381×254mm 381×266.7mm 381×292.1mm 381×304.8mm 381×317.5mm
15×13 inch 15×13.5 inch 15×14 inch 15×3.5 inch 15×4 inch	381×330.2mm 381×342.9mm 381×355.6mm 381×88.9mm 381×101.6mm
15×4.5 inch 15×5 inch 15×5.5 inch 15×6 inch 15×6.5 inch	381×114.3mm 381×127mm 381×139.7mm 381×152.4mm 381×165.1mm
16×11 inch 17×11 inch 18×11 inch 18×12 inch 18×14 inch	406.4×279.4mm 431.8×279.4mm 457.2×279.4mm 457.2×304.8mm 457.2×355.6mm
上記以外（Windows Me/98/95では、「ユーザ定義サイズ」として設定可能）	用紙幅72.1～457.2mm×用紙長59.4～355.6mm

チェック

Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Windows NT4.0では、用紙サイズ設定画面上には前記の用紙サイズ以外にもサポートしている論理用紙サイズの範囲内の用紙が表示されます。

印刷範囲

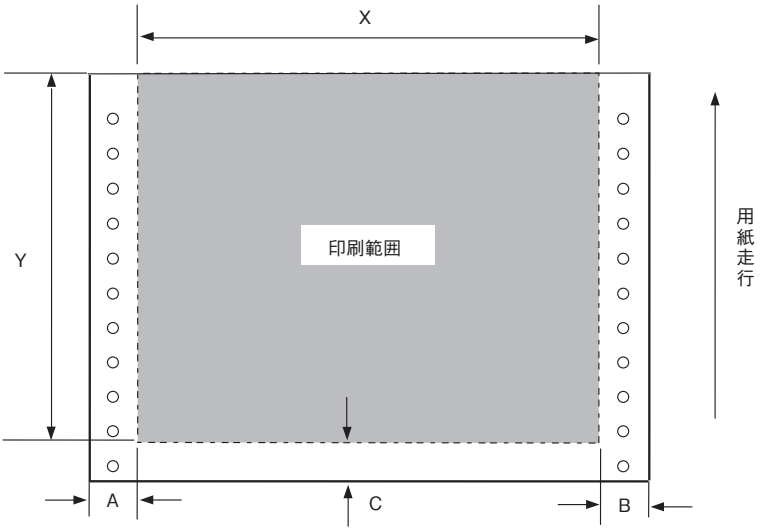
N1153-029用プリンタドライバの出力用紙サイズと印刷範囲は以下の通りです。

重要

- 印刷保証範囲外に印刷する場合、印刷品質に不具合が生じたり、スタッカジャムの発生頻度が高くなる場合があります（印刷保証範囲については、325ページを参照してください）。
- ミシン目の近傍は印刷開始・停止頁や印刷用紙の加工状態により印刷品質が低下しますので、重要なデータの印刷は避けてください。

チェック

印刷範囲はミシン目セット位置でセットすることを前提としています。用紙のセット方法については、「用紙のセット」（161ページ）をご覧ください。



出力用紙サイズ	X	Y	A および B	C
9.5 x 11 inch	215.9mm	275.2mm	12.7mm	4.23mm
10 x 11 inch	228.6mm	275.2mm	12.7mm	4.23mm
15 x 11 inch	355.6mm	275.2mm	12.7mm	4.23mm
15 x 7 inch	355.6mm	173.6mm	12.7mm	4.23mm
15 x 7.5 inch	355.6mm	186.3mm	12.7mm	4.23mm
15 x 8 inch	355.6mm	199.0mm	12.7mm	4.23mm
15 x 8.5 inch	355.6mm	211.7mm	12.7mm	4.23mm
15 x 9 inch	355.6mm	224.4mm	12.7mm	4.23mm
15 x 9.5 inch	355.6mm	237.1mm	12.7mm	4.23mm
15 x 10 inch	355.6mm	249.8mm	12.7mm	4.23mm
15 x 10.5 inch	355.6mm	262.5mm	12.7mm	4.23mm
15 x 11.5 inch	355.6mm	287.9mm	12.7mm	4.23mm
15 x 12 inch	355.6mm	300.6mm	12.7mm	4.23mm
15 x 12.5 inch	355.6mm	313.3mm	12.7mm	4.23mm
15 x 13 inch	355.6mm	326.0mm	12.7mm	4.23mm
15 x 13.5 inch	355.6mm	338.7mm	12.7mm	4.23mm
15 x 14 inch	355.6mm	351.4mm	12.7mm	4.23mm
16 x 11 inch	381.0mm	275.2mm	12.7mm	4.23mm
17 x 11 inch	406.4mm	275.2mm	12.7mm	4.23mm
18 x 11 inch	431.8mm	275.2mm	12.7mm	4.23mm
18 x 12 inch	431.8mm	300.6mm	12.7mm	4.23mm
18 x 14 inch	431.8mm	330.2mm	12.7mm	4.23mm
ユーザ定義	139.7～431.8mm	173.6～351.4mm	12.7mm	4.23mm

フォーム登録用紙

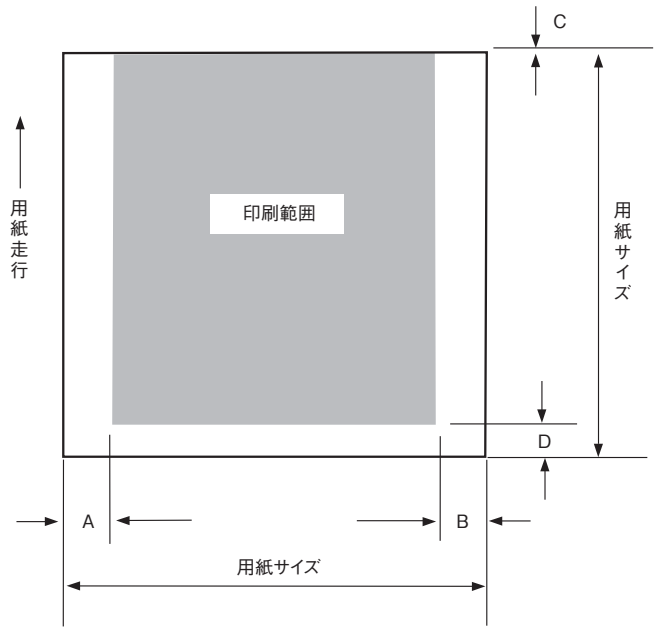
フォーム登録された用紙の中で、縦177.8～355.6mm（7.00～14.00インチ）、横165.1～457.2mm（6.50～18.00インチ）の範囲内で用紙をサポートします。ただし、印刷範囲、余白については以下の通りです。

重要

- 印刷保証範囲外に印刷する場合、印刷品質に不具合が生じたり、スタッカジャムの発生頻度が高くなる場合があります（印刷保証範囲については、325ページを参照してください）。
- ミシン目の近傍は印刷開始・停止頁や印刷用紙の加工状態により印刷品質が低下しますので、重要なデータの印刷は避けてください。

チェック

印刷範囲はミシン目セット位置でセットすることを前提としています。用紙のセット方法については、「用紙のセット」（161ページ）をご覧ください。



左端余白 A	右端余白 B	上端余白 C	下端余白 D
12.7mm	12.7mm	0	4.23mm

* 用紙サイズの縦の長さは、4.23mm（1/6インチ）単位で設定されるため、フォーム登録された用紙を使用する場合で縦の長さが4.23mm（1/6インチ）単位でないものは、4.23mm（1/6インチ）単位で丸められます（端数切り捨て）。

プリンタドライバで印刷する

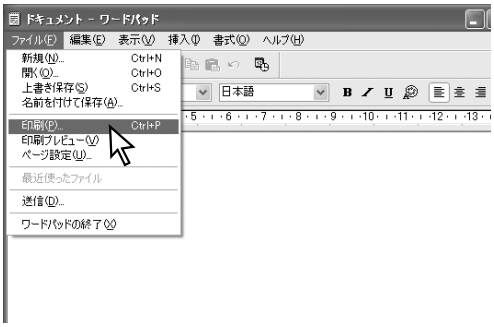
ここでは、プリンタドライバを使った各OSの一般的な印刷を説明します。お使いになるアプリケーションによってはメニュー構成など多少異なる場合があります。詳細はアプリケーションのヘルプ、マニュアル等をご覧ください。

印刷の手順（Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Windows Me/98/95/Windows NT 4.0）

ここでは、Windows XPに付属されている日本語ワードプロセッサ「ワードパッド」を例にとって一般的な印刷手順について説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。（Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Windows Me/98/95/Windows NT 4.0の場合は、多少画面の表示が異なります。）

1 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。

［印刷］ダイアログボックスが開きます。



2 ［印刷］ダイアログボックスの［プリンタの選択］に［NEC N1153-029］が選択されていることを確認する。

もし選択されていなければ選択し直します。

選択方法については「プリンタを選択する（Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Windows Me/98/95/Windows NT 4.0）」（183ページ）を参照してください。

3 必要に応じてプロパティダイアログボックスで印刷の詳細を設定する。

プロパティダイアログボックスの開き方については、以下をご覧ください。

- Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003：196ページ
- Windows Me/98/95：214ページ
- Windows NT 4.0：231ページ

4 ページ範囲、部数を指定し、［印刷］をクリックする。

プリンタを選択する（Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Windows Me/98/95/Windows NT 4.0）

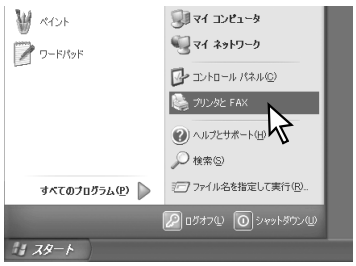
印刷をするとき、あらかじめ本プリンタを［通常使うプリンタ］として選択しておく方法を説明します。

チェック

お使いになっているアプリケーションによっては［プリンタの設定］ダイアログボックスを使って本プリンタを［通常使うプリンタ］として選択することができます。詳しくはアプリケーションのヘルプ、マニュアル等をご覧ください。

1 ［プリンタとFAX］*1フォルダを開く

［NEC N1153-029］アイコンが［プリンタとFAX］*1フォルダ内に表示されます。（表示されない場合はプリンタドライバがインストールされていません。「プリンタソフトウエアのインストール」（37ページ）をご覧になり、プリンタドライバをインストールしてください。）



2 ［NEC N1153-029］アイコンを右クリックする。

メニューが表示されます。

3 メニューの［通常使うプリンタに設定］をクリックする。

すでに設定されている場合はアイコンの上にチェックマークが表示されています。またこの設定は他のプリンタを選択しないかぎり変更されません。

4 ［プリンタとFAX］*1フォルダを閉じる。

*1 Windows 2000/Windows Vista/Windows Me/98/95/Windows NT 4.0の場合は［プリンタ］です。
Windows 8/7/Windows Server 2012/2008 R2の場合は、［デバイスとプリンター］です。

N面付け印刷

N面付け印刷では、連続した複数のページを1枚の用紙に等倍に配置して印刷することができます。さらにページとページの区分けを表す境界線を設定することもできます。
この機能は印刷するページを等倍で配置するため、実際にセットする用紙サイズに対して、アプリケーション上で指定されている論理用紙サイズが、複数枚配置できるだけ小さい用紙サイズに設定されていないと選択することができません。(「論理用紙サイズと可能なN面付け印刷」(187ページ) 参照。)
宛名書き印刷などに有効な機能です。

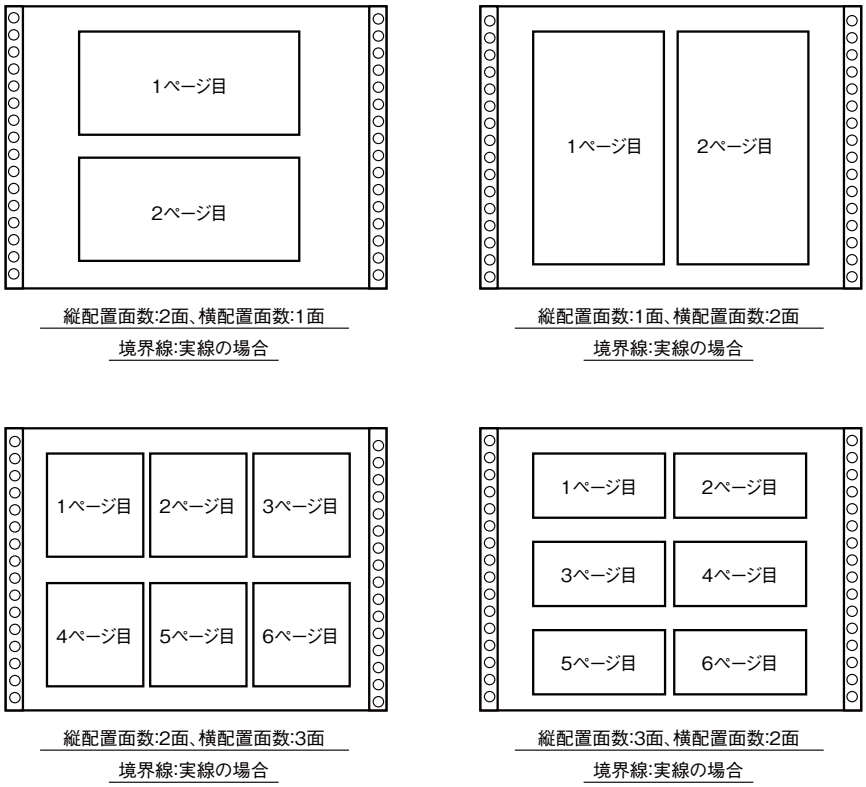


図6-1　N面付けのイメージ

チェック

- この機能を使用するときは、「複数ページ印刷」(190ページ) での設定が無効になります。
- 配置された各ページ間の余白は自動で設定されるため、実際の運用を始める前に十分な試し印刷をしてください。

設定方法

以下に設定方法を説明します。

1 ［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開き、［用紙サイズ］を選択する。

ただし、（論理）用紙サイズと可能なN面付け印刷の組み合わせについては、次ページの「論理用紙サイズと可能なN面付け印刷」を参照してください。

＜Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Windows NT4.0の場合＞

Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［用紙］シートを開き、［用紙サイズ］を選択する。

＜Windows Me/98/95の場合＞

［プロパティ］ダイアログボックスの［用紙］シートを開き、［用紙サイズ］を選択する。

2 ［N面付け］欄の［縦配置面数］と［横配置面数］を選択する。

> **チェック**
>
> セットしている用紙サイズの確認メッセージが出ます。これは正しいサイズをセットしていても表示される確認のメッセージです。

3 ［配置］を選択する。

ただし、N面付け印刷と可能な配置の組み合わせについては、次ページの「論理用紙サイズと可能なN面付け印刷」を参照してください。

4 必要な場合、境界線を設定する。

＜Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Windows NT4.0の場合＞

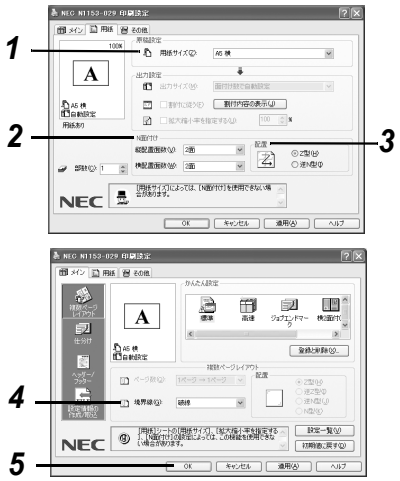
- Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［複数ページレイアウト］を選択する。
- ［境界線］を選択する。

＜Windows Me/98/95の場合＞

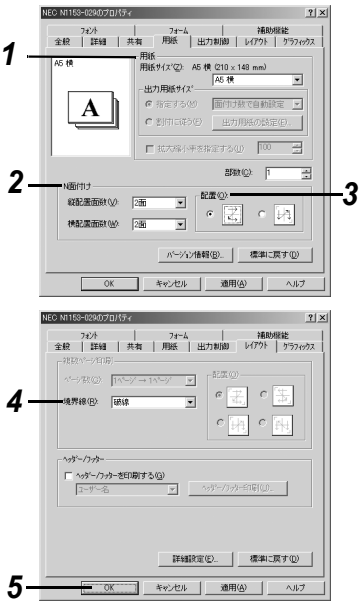
- ［プロパティ］ダイアログボックスの［レイアウト］シートを開く。
- ［境界線］を選択する。

5 ［OK］をクリックする。

＜Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Windows NT4.0の場合＞



＜Windows Me/98/95の場合＞



論理用紙サイズと可能なN面付け印刷

（論理）用紙サイズと可能なN面付け印刷の組み合せは、以下の通りです。

		（縦配置面数 x 横配置面数）								
		1 × 1	2 × 1	3 × 1	1 × 2	2 × 2	3 × 2	1 × 3	2 × 3	3 × 3
（論理）用紙サイズ	A3	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	A4	○	○	−	−	−	−	−	−	−
	A5	○	○	−	−	−	−	−	−	−
	B4	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	B5	○	○	−	−	−	−	−	−	−
	Letter	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	はがき	○	−	−	−	○	○	−	−	−
	往復はがき	○	−	−	○	○	−	−	−	−
	A3横	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	A4横	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	A5横	○	−	−	○	○	−	−	−	−
	B4横	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	B5横	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	Letter横	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	はがき横	○	−	−	○	○	−	○	○	−
	往復はがき横	○	○	−	−	−	−	−	−	−
	9.5×11inch	○	○	−	−	−	−	−	−	−
	10×11inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	15×11inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	16×11inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	17×11inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	18×11inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	15×7inch	○	−	−	○	−	−	−	−	−
	15×7.5inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	15×8inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	15×8.5inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	15×9inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	15×9.5inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	15×10inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	15×10.5inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	15×11.5inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	15×12inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	15×12.5inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	15×13inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	15×13.5inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	15×14inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	15×3.5inch	○	−	−	○	−	−	○	−	−
	15×4inch	○	−	−	○	−	−	○	−	−
	15×4.5inch	○	−	−	○	−	−	○	−	−

		（縦配置面数 x 横配置面数）								
		1 × 1	2 × 1	3 × 1	1 × 2	2 × 2	3 × 2	1 × 3	2 × 3	3 × 3
（論理）用紙サイズ	15×5inch	○	−	−	○	−	−	−	−	−
	15×5.5inch	○	−	−	○	−	−	−	−	−
	15×6inch	○	−	−	○	−	−	−	−	−
	15×6.5inch	○	−	−	○	−	−	−	−	−
	18×12inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	18×14inch	○	−	−	−	−	−	−	−	−
	定形外1 幅：2.84inch以上3.75inch未満 長さ：2.34inch以上3.50inch未満	○	−	−	−	−	−	−	−	○
	定形外2 幅：3.75inch以上6.50inch未満 長さ：2.34inch以上3.50inch未満	○	−	−	−	−	−	−	○	○
	定形外3 幅：6.50inch以上6.66inch以下 長さ：2.34inch以上3.50inch未満	○	−	−	−	−	−	○	○	○
	定形外4 幅：6.67inch以上9.50inch以下 長さ：2.34inch以上3.50inch未満	○	−	−	−	−	−	○	○	−
	定形外5 幅：9.51inch以上18.00inch以下 長さ：2.34inch以上3.50inch未満	○	−	−	−	−	−	○	−	−
	定形外6 幅：2.84inch以上3.75inch未満 長さ：3.50inch以上4.66inch以下	○	−	−	−	−	○	−	−	○
	定形外7 幅：3.75inch以上6.50inch未満 長さ：3.50inch以上4.66inch以下	○	−	−	−	○	○	−	○	○
	定形外8 幅：6.50inch以上6.66inch以下 長さ：3.50inch以上4.66inch以下	○	−	−	○	○	○	○	○	○
	定形外9 幅：6.67inch以上9.50inch以下 長さ：3.50inch以上4.66inch以下	○	−	−	○	○	−	○	○	−
	定形外10 幅：9.51inch以上18.00inch以下 長さ：3.50inch以上4.66inch以下	○	−	−	○	−	−	○	−	−
	定形外11 幅：2.84inch以上3.75inch未満 長さ：4.67inch以上7.00inch未満	○	−	−	−	−	○	−	−	−
	定形外12 幅：3.75inch以上6.50inch未満 長さ：4.67inch以上7.00inch未満	○	−	−	−	○	○	−	−	−
	定形外13 幅：6.50inch以上6.66inch以下 長さ：4.67inch以上7.00inch未満	○	−	−	○	○	○	−	−	−
	定形外14 幅：6.67inch以上9.50inch以下 長さ：4.67inch以上7.00inch未満	○	−	−	○	○	−	−	−	−

		（縦配置面数 x 横配置面数）								
		1 × 1	2 × 1	3 × 1	1 × 2	2 × 2	3 × 2	1 × 3	2 × 3	3 × 3
（論理）用紙サイズ	定形外15 幅：9.51inch以上18.00inch以下 長さ：4.67inch以上7.00inch未満	○	−	−	○	−	−	−	−	−
	定形外16 幅：2.84inch以上3.75inch未満 長さ：7.00inch	○	−	○	−	−	○	−	−	−
	定形外17 幅：3.75inch以上6.50inch未満 長さ：7.00inch	○	○	○	−	○	○	−	−	−
	定形外18 幅：6.50inch以上6.66inch以下 長さ：7.00inch	○	○	○	○	○	○	−	−	−
	定形外19 幅：6.67inch以上9.50inch以下 長さ：7.00inch	○	○	−	○	○	−	−	−	−
	定形外20 幅：9.51inch以上18.00inch以下 長さ：7.00inch	○	−	−	○	−	−	−	−	−
	定形外21 幅：2.84inch以上3.75inch未満 長さ：7.01inch以上14.00inch以下	○	−	○	−	−	−	−	−	−
	定形外22 幅：3.75inch以上6.50inch未満 長さ：7.01inch以上14.00inch以下	○	○	○	−	−	−	−	−	−
	定形外23 幅：6.50inch以上6.66inch以下 長さ：7.01inch以上14.00inch以下	○	○	○	−	−	−	−	−	−
	定形外24 幅：6.67inch以上9.50inch以下 長さ：7.01inch以上14.00inch以下	○	○	−	−	−	−	−	−	−
	定形外25 幅：9.51inch以上18.00inch以下 長さ：7.01inch以上14.00inch以下	○	−	−	−	−	−	−	−	−

N面付け印刷と可能な配置の組み合せは、以下の通りです。

N 面付け	1 × 1	2 × 1	3 × 1	1 × 2	2 × 2	3 × 2	1 × 3	2 × 3	3 × 3
配置	初期値	[左→右型]に固定	[左→右型]に固定	[上→下型]に固定	選択可	選択可	[上→下型]に固定	選択可	選択可

複数ページ印刷

複数ページ印刷では、連続した複数ページの印刷データを1枚の用紙に縮小配置して印刷することができます。さらに境界線を次の通り設定することができます。この機能では縮小配置を行うため、セットされた用紙と（論理）用紙サイズ、配置するページ数の組み合わせによっては、1ページ当たりの倍率が変化します。
他の印刷機能とも組み合わせることができるのでドラフト印刷、カタログ印刷などに有効な機能です。

Windows XP、Windows 8/7、Windows Vista、Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003、Windows 2000、Windows NT 4.0、Windows Me、Windows 98、Windows 95でご利用できます。

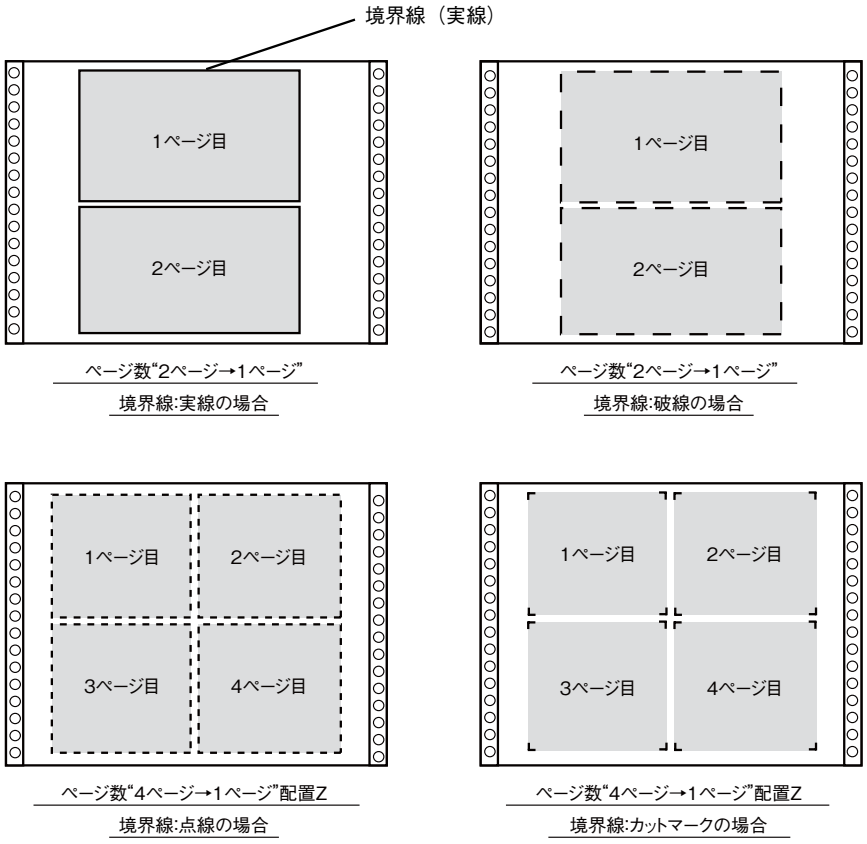


図6-2　配置と境界線のイメージ

チェック

「N面付け印刷」（184ページ）を使用するときは、この設定が無効になります。

設定方法

以下に設定方法を説明します。

1 ［プロパティ］ダイアログボックスの［メイン］シートを開き、[複数ページレイアウト]を選択する。

＜Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Windows NT4.0の場合＞

Windows XP、Windows 8/7、Windows Vista、Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003、Windows 2000は［印刷設定］ダイアログボックス、Windows NT 4.0は［ドキュメントの既定値］ダイアログボックスの［メイン］シートを開き、左側の［機能選択］バーから［複数ページレイアウト］を選択します。

＜Windows Me/98/95の場合＞

Windows Me、Windows 98、Windows 95は［プロパティ］ダイアログボックスの［レイアウト］シートを開く。

2 ［ページ数］から縮小配置するページ数を選択する。

3 ［配置］から配置方法を選択する。

4 必要に応じて、［境界線］を選択する。

5 ［OK］をクリックする。

＜Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Widows NT4.0の場合＞

＜Windows Me/98/95の場合＞

かんたん設定の使い方

「かんたん設定」はWindows XP、Windows 8/7、Windows Vista、Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003、Windows 2000、Windows NT4.0のプリンタドライバでご利用になれます。[印刷設定]ダイアログボックスおよび［ドキュメントのプロパティ］ダイアログボックス内の設定内容をまとめて登録できる機能で、アイコンをクリックすれば登録した設定内容で簡単に印刷することができます。

ここでは、「かんたん設定」の登録と削除方法について説明します。

なお、「かんたん設定」には、あらかじめ5つの印刷方法が設定された「プリンタで登録済みの設定」アイコンがあります。それぞれのアイコンに設定されている内容は以下の表の通りです。

チェック

- 各アイコンをクリックすると、以下の表の通りに各機能が設定されます。
- 各機能のいずれかの設定を変更した場合は、アイコンの左下に「警告」マークが表示されます。ただし、アプリケーションによっては、アプリケーションで設定した解像度などが有効になり、最初から「警告」マークが付いている場合があります。変更した設定を元に戻すか、「警告」マークがついたアイコンをクリックすると「警告」マークが表示されなくなります。

プリンタで登録済みの設定アイコン	設定内容								
	用紙サイズ	出力サイズ	割付に従う	部数	縦配置面数	横配置面数	ジョブエンドマークを付加する	ジョブエンドマークを付加する	解像度
標準	―	用紙サイズと同じ	チェックあり	―	1面	1面	チェックなし	―	600dpi
高速	―	―	―	―	―	―		―	300dpi
ジョブエンドマーク	―	―	―	―	―	―	チェックなし	チェックなし	―
横2面付け	9.5×11inch	面付け数で自動設定	チェックなし	―	1面	2面	―	―	―
15×11inch固定	―	15×11inch	チェックなし	―	1面	1面	―	―	―

設定方法

ユーザ設定の登録

1 任意のプロパティシートで登録したい設定内容に変更する。

> **チェック**
>
> 設定内容を確認したい場合は［設定一覧］をクリックして、［設定一覧］ダイアログボックスを表示させます。［かんたん設定］のアイコンを右クリックすると［設定一覧］が開きます。

2 ［メイン］シートを開く。

3 ［登録と削除］をクリックする。

［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックスが表示されます。

4 ［新規登録］の［名前］に名前を入力し、［アイコン］から任意のアイコンを選択する。

名前は必ず入力してください。名前の入力文字は全角/半角に関係なく、15文字までです。

登録する設定の簡単な説明を全角/半角に関係なく、127文字まで［コメント］ボックスに入力することができます。

5 ［追加］をクリックする。

6 設定内容が表示されるので、確認して［OK］をクリックする。

［印刷設定］ダイアログボックスを開いた後に変更された内容は、赤で表示されます。

7 ［登録一覧］リストビューに登録したアイコンが追加されたことを確認し、［OK］をクリックする。

アイコンの表示順は、アイコンを直接ドラッグドロップすることで変更できます。

チェック

各シートの右クリックメニューからも［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックス［設定一覧］ダイアログボックスを開くことができます。

ユーザ設定の削除

1 ［メイン］シートを開く。

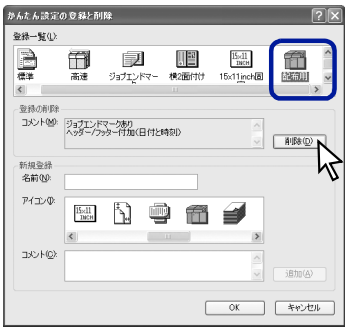
2 ［登録と削除］をクリックする。

［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックスが表示されます。

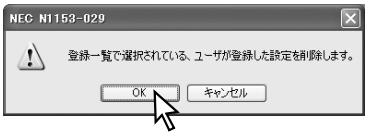
3 削除したいアイコンを選択し、［削除］をクリックする。

チェック

［プリンタで登録済みの設定］アイコンは削除できません。



4 ［OK］をクリックする。



5 ［登録一覧］リストビューから登録していたアイコンが削除されたことを確認し、［OK］をクリックする。

チェック

各シートの右クリックメニューからも［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックス［設定一覧］ダイアログボックスを開くことができます。

印刷のプロパティダイアログボックス

［プロパティダイアログボックス］では印刷の詳細な設定を行います。ここではそのプロパティダイアログボックスの開き方とダイアログボックスの機能を各OSに分けて説明します。

プロパティダイアログボックス（Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003）

Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003では、印刷の詳細設定は以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。

［プリンタのプロパティ］ダイアログボックス

このダイアログボックスはプリンタのポートや共有などに関する設定を行うものです。以下の6枚のプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューから表示させることはできません。

- ［全般］シート
- ［共有］シート
- ［ポート］シート
- ［詳細設定］シート
- ［色の管理］シート（Windows 8/7/Windows Vistaのみ）
- ［セキュリティ］シート
- ［プリンタの設定］シート

［印刷設定］ダイアログボックス

このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。以下の3枚のプロパティシートで構成されています。

- ［メイン］シート
- ［用紙］シート
- ［その他］シート

プロパティダイアログボックスを開く（Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003）

プロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

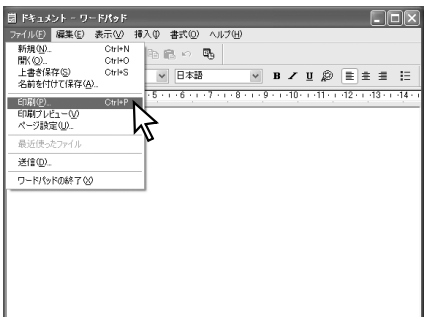
- アプリケーションのメニューから呼び出す方法
  一般的にダイアログボックスの設定は、そのアプリケーションでのみ有効となります。また用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。アプリケーションから呼び出せるのは印刷の設定を行う［印刷］ダイアログボックスのみです。
- タスクバー上の［スタート］ボタンを使って呼び出す方法
  ダイアログボックスの設定は、［印刷設定］、［プリンタのプロパティ］ともにすべてのアプリケーションでの基本設定になります。

アプリケーションのメニューから呼び出す

アプリケーションから［印刷］ダイアログボックスを呼び出す場合、［ファイル］メニューの［印刷］コマンドか［プリンタの設定］コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合［ファイル］メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのヘルプ、マニュアル等をご覧ください。）

ここではWindows XPに付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって［印刷］ダイアログボックスを呼び出す手順を説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。



以下のような［印刷］ダイアログボックスが表示されます。

また、［印刷］ダイアログボックスで［詳細設定］をクリックすると、以下のようなプロパティボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、202ページからの「印刷の概要（印刷）」を参照してください。

[スタート] ボタンを使って呼び出す

1 [プリンタとFAX] フォルダ*1を開く。

2 [NEC N1153-029] アイコンを右クリックする。

プリンタのアイコンが選択され、メニューが表示されます。

[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを開きたい場合は手順***3***へ、[印刷設定] ダイアログボックスを開きたい場合は手順***4***へ進みます。

3 [プロパティ] をクリックして、[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを開く。

下のようなプロパティダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては198ページからの「設定の概要（プリンタのプロパティ）」を参照してください。

4 [印刷設定] をクリックして、[印刷設定] ダイアログボックスを開く。

下のようなプロパティダイアログボックスが表示されます。
各プロパティシートについては、202ページからの「設定の概要（印刷）」を参照してください。

*1 Windows Vistaの場合はスタートメニューから［コントロールパネル］－［ハードウェアとサウンド］の［プリンタ］を選んで［プリンタ］フォルダを開きます。Windows 2000の場合は［プリンタ］フォルダです。Windows 8/7/Windows Server 2012/2008 R2の場合は、［デバイスとプリンター］です。

設定の概要（プリンタのプロパティ）（Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003）

［プリンタのプロパティ］ダイアログの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細な説明はヘルプを参照してください（ヘルプはプロパティシート上の各アイテムにおいてマウスの右ボタンをクリックするか、［?］ボタンをクリック後、各アイテムをクリックすると表示されます*1）。各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。

各プロパティシートおよびダイアログボックス共通ボタン

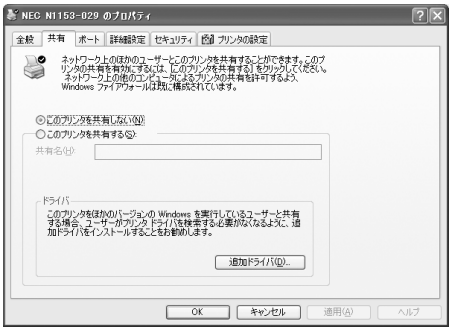
- ［OK］ボタン
  すべての設定を有効にし、設定を終了します。
- ［キャンセル］ボタン
  すべての設定を無効にし、変更以前の状態で設定を終了します。
- ［適用］ボタン
  現在開いているプロパティシート内の設定に更新します。

［全般］シート

このプロパティシートではあらかじめ入力されたプリンタについてのコメントなどを表示・設定します。Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003日本語版対応のプリンタドライバとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003日本語版のヘルプをご覧ください。

［共有］シート

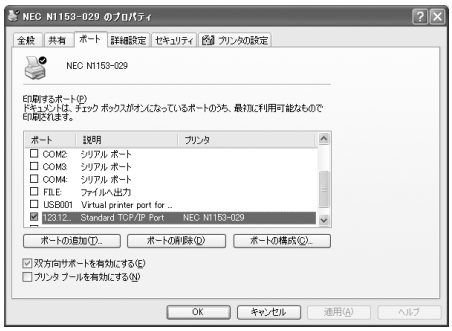


このプロパティシートはプリンタを共有するときに設定を行うシートです。Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003日本語版対応のプリンタドライバとして共通のものです。

詳しくはWindows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003 日本語版のヘルプをご覧ください。

*1 Windows 8/7/Windows Vistaでは［?］ボタンおよび右クリックからのヘルプ表示機能は対応していません。

[ポート] シート

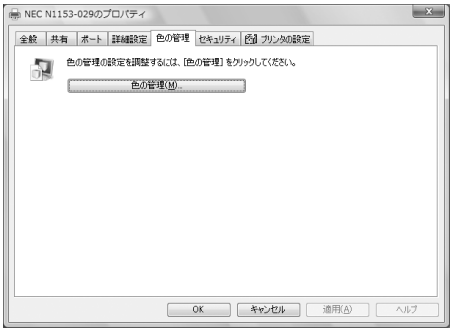


このプロパティシートは印刷するポートについて表示・設定を行うものです。Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003日本語版対応のプリンタドライバとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003日本語版のヘルプをご覧ください。

> **チェック**
>
> プリンタと双方向通信を行う必要があります。[双方向サポートを有効にする] をチェックすることがプリンタと双方向通信を行う条件です。

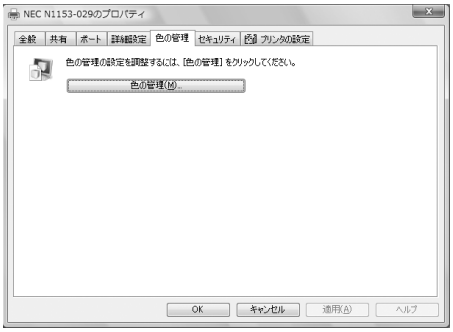
[詳細設定] シート



このプロパティシートはプリンタを利用する時間などについて表示・設定を行うものです。Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003日本語版対応のプリンタドライバとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003日本語版のヘルプをご覧ください。

[色の管理] シート



このプロパティシートは色の管理・調整の設定を行うものです。Windows 8/7/Windows Vista日本語版対応のプリンタドライバとして共通のものです。

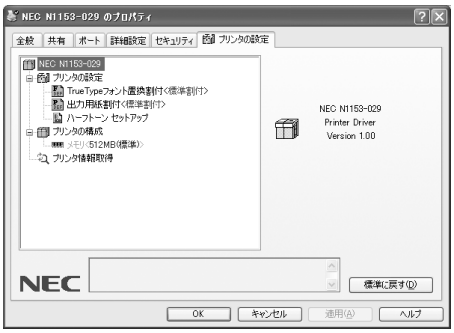
通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows 8/7/Windows Vista 日本語版のヘルプをご覧ください。

[セキュリティ] シート

このプロパティシートはプリンタのセキュリティについて表示・設定を行うものです。Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003日本語版対応のプリンタドライバとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003日本語版のヘルプをご覧ください。

[プリンタの設定] シート



このプロパティシートはプリンタに関する以下の設定表示を行います。

設定内容は< >内に表示されます。通常は青色で、ダイアログボックスを開いた後に変更した場合は赤色で表示されます。設定が変更できない項目は、青色＋グレー、または赤色＋グレーで表示されます。

- NEC N1153-029
  右側の表示エリアにプリンタドライバのバージョンを表示します。
  なお、「Windows環境」用と「SIF環境」用でプリンタドライバのバージョン表記が次のように異なります。

Windows環境用のプリンタドライバをインストールした場合

SIF環境用のプリンタドライバをインストールした場合

- プリンタの設定
  プリンタの設定を行います。以下の項目を設定できます。
  - [TrueTypeフォント置換割付]（標準値：標準割付）
    TrueTypeフォントの置き換えを設定できます。
    以下の手順で置き換えを設定します。
    ① [標準割付] を選択した場合は、[ＭＳゴシック] はプリンタフォントの [ゴシック] に、[ＭＳ明朝] はプリンタフォントの [明朝] に置き換える設定となります。
    [ユーザ割付] を選択した場合は、[割付設定] ボタンで置き換え方法をフォントごとに設定できます。
    ② [OK] をクリックして設定を保存し、[プロパティ] ー [プリンタの設定] シートを閉じます。

③［印刷設定］－［その他］シートの［TrueTypeフォント置換］で［有効にする］を選択します。［無効にする］を選択した場合は、フォントの置き換えは行われません。

④［OK］をクリックして設定を保存し、［印刷設定］－［その他］シートを閉じます。

チェック

文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。期待どおりの印刷結果にならない場合があります。

－［出力用紙割付］（標準値：標準割付）

用紙サイズを出力サイズに割り付ける場合の割り付けを設定できます（サポート用紙サイズについては177ページを参照）。以下の手順で割り付けを設定します。

①［標準割付］を選択した場合は、幅：2.84inch～6.49inch、長さ：2.34inch～6.99inchの範囲内の用紙と下記カット紙は［15x11inch］に設定されます。
［A3］、［A4］、［A5］、［B4（JIS）］、［B5（JIS）］、［Letter］、［はがき］、［往復はがき］、［A3横］、［A4横］、［A5横］、［B4（JIS）横］、［B5（JIS）横］、［Letter横］、［はがき横］、［往復はがき横］
それ以外の用紙は［用紙サイズと同じ］に割り付ける設定となります。
［ユーザ割付］を選択した場合は、［割付設定］ボタンで割り付け方法を用紙サイズごとに設定できます。

②［OK］をクリックして設定を保存し、［プロパティ］－［プリンタの設定］シートを閉じます。

③［印刷設定］－［用紙］シートの［出力設定］で［割付に従う］をチェックします。
［割付に従う］をチェックしない場合は、用紙サイズの割り付けは行われません。

④［OK］をクリックして設定を保存し、［印刷設定］－［用紙］シートを閉じます。

－［ハーフトーンセットアップ］

ハーフトーンの色設定を表示または変更できます。

［ハーフトーン セットアップ］ボタンをクリックすると［デバイスカラー/ハーフトーンのプロパティ］ダイアログ ボックスが表示されます。

詳細については［デバイス カラー /ハーフトーンのプロパティ］ダイアログ ボックスのヘルプをご覧ください。

- プリンタの構成
プリンタに搭載されているメモリ量を表示します。
本装置では512MB固定となります。
- [プリンタ情報取得]
[プリンタ情報取得]ボタンをクリックすることにより、プリンタの最新情報を取得します。本機能は、双方向通信でのみ使用できます。SimpleMonitorがインストールされていない場合や、プリンタの［プロパティ］－［ポート］シートの［双方向サポートを有効にする］がチェックされていない場合は、グレー表示となり使用できません。
また、IA-64版Windowsでは、本ボタンは表示されません。
- ［標準に戻す］ボタン
表示されているプロパティシートの内容を標準の状態に戻します。

設定の概要（印刷）（Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003）

［印刷設定］ダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細な説明はヘルプを参照してください（ヘルプは［ヘルプ］ボタンをクリックするか、プロパティシートの［?］ボタンをクリック後、各アイテムをクリックすると表示されます）。

チェック

- Windows 8/7/Windows Vistaではプリンタドライバの［印刷設定］ダイアログボックスに［?］ボタンは表示されません。
- アプリケーションから開いた場合、アプリケーションによってはダイアログボックスのタイトル名が［印刷設定］ダイアログボックス以外（例えば、“（設定しているプリンタ名）のプロパティ”など）で表示されることがありますが、表示されている項目内容は同じです。

各プロパティシートおよびダイアログボックス共通ボタン

- ［OK］ボタン
  すべての設定を有効にし、設定を終了します。
- ［キャンセル］ボタン
  すべての設定を無効にし、変更以前の状態で設定を終了します。
- ［適用］ボタン（［印刷設定］ダイアログのみ）
  現在開いているプロパティシート内の設定に更新します。
- ［ヘルプ］ボタン
  プロパティダイアログボックスのヘルプを表示します。

チェック

Windows 8/7/Windows Vistaではプリンタドライバのプロパティダイアログボックスに［?］ボタンは表示されません。

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。

［メイン］シート

このプロパティシートは以下の設定表示を行います。

［かんたん設定］

アイコンを選択することで、登録されている設定を読み込みます。

登録されている設定には、設定範囲の異なる「プリンタで登録済みの設定」と「ユーザが登録した設定」の2つの種類があります。詳細は「かんたん設定の使い方」（192ページ）を参照してください。

〈プリンタで登録済みの設定〉

プリンタドライバであらかじめ用意された設定です。各［プリンタで登録済みの設定］は以下のように設定されています。“－”の欄は、設定を変更しません。

プリンタで登録済みの設定アイコン	設定内容								
	用紙サイズ	出力サイズ	割付に従う	部数	縦配置面数	横配置面数	ジョブエンドマークを付加する	ジョブエンドマークを付加する	解像度
標準	－	用紙サイズと同じ	チェックあり	－	1面	1面	チェックなし	－	600dpi
高速	－	－	－	－	－	－		－	300dpi
ジョブエンドマーク	－	－	－	－	－	－	チェックあり	チェックなし	－
横2面付け	9.5×11inch	面付け数で自動設定	チェックなし	－	1面	2面	－	－	－
15×11inch固定	－	15×11inch	チェックなし	－	1面	1面	－	－	－

〈ユーザが登録した設定〉

ユーザが追加登録した設定です。

設定範囲は［印刷設定］－［メイン］、［用紙］、［その他］シートのすべての設定となります。

チェック

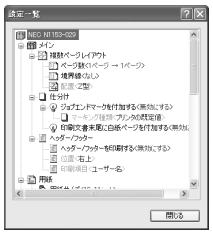
- 登録されている設定を読み込んだあとで設定範囲の項目を変更した場合は、アイコンの左下に「警告」マークが表示されます。ただし、アプリケーションによっては、アプリケーションで設定した解像度などが有効になり、最初から「警告」マークが付いている場合があります。変更した設定を元に戻すか、「警告」マークがついたアイコンをクリックすると「警告」マークが表示されなくなります。
- 「ユーザが登録した設定」の設定範囲には、［ハーフトーン カラーの調整］、［印刷位置微調整］、［フォーム］ダイアログボックスの設定も含まれます。

[登録と削除]

[かんたん設定の登録と削除] ダイアログボックスを表示し、かんたん設定の登録と削除を行うことができます（192ページ参照）。

[設定一覧]

現在設定されている内容の一覧を表示します。



[初期値に戻す]

[印刷設定] ー [メイン]、[用紙]、[その他] シートのすべての設定を初期値に戻します。

機能選択バー

[メイン] シート左側のバーで設定したい機能を選択します。以下の機能が設定できます

.....204ページ

.....205ページ

.....205ページ

.....206ページ

機能選択バー

機能選択バーで選択した項目に併せてこのフィールドの表示が切り替わる。

- [複数ページレイアウト]（初期値：[1ページ→1ページ]）
  複数ページ印刷の設定を行います。以下の項目を設定できます。
  - [ページ数]
    複数のページ印刷を選択すると、選択したページ数分を用紙の一面に縮小印刷します。
    選択できるページ数は、[1ページ→1ページ]、[2ページ→1ページ]、[4ページ→1ページ]、[6ページ→1ページ]、[8ページ→1ページ]、[9ページ→1ページ] および [16ページ→1ページ] です。
  - [境界線]（初期値：なし）
    縮小配置した各ページ単位に境界線を選択します。選択できる境界線は、「なし」、「実線」、「破線」、「点線」および「カットマーク」です。
    [拡大縮小率を指定する] や [フォーム] を設定している場合は、[境界線] はグレー表示となります。
  - [配置]（初期値：グレー表示、無効）
    複数のページ印刷の並びかたを選択します。
    [2ページ→1ページ] の場合は、[左→右]、[右→左] から選択できます。
    [4ページ→1ページ]、[6ページ→1ページ]、[8ページ→1ページ]、[9ページ→1ページ]、[16ページ→1ページ] の場合は、[Z型]、[逆Z型]、[N型]、[逆N型] から選択できます。
    [複数ページレイアウト] 以外はグレー表示され使用できません。

チェック

本機能は以下の場合を除き、常に有効です。ただし [境界線] は常に有効でグレー表示になることはありません。

- [印刷設定] ー [用紙] シートと [その他] シートの [印刷位置微調整] で [拡大縮小率を指定する] がチェックされている場合
- [印刷設定] ー [用紙] シートの[N面付け]で [縦配置面数] または [横配置面数] が [1面] 以外に設定されている場合
- フォーム印刷を指定している場合

● [仕分け]
仕分けの設定を行います。以下の項目を設定できます。

– [ジョブエンドマークを付加する]（初期値：チェックなし、未選択）
本設定をチェックすると、ジョブ末尾に付加した白紙ページのミシン目に黒いマークを印刷します。

チェック

[印刷文書末尾に白紙ページを付加する]が選択されている場合は使用できません。

– [マーキング種類]（初期値：プリンタ既定値）
ジョブエンドマークパターンを設定します。パターン1～パターン4、プリンタの既定値を設定できます。
[ジョブエンドマークを付加する]を選択している場合のみ使用できます。

– [マーキング数]（初期値：グレー表示、無効）
ジョブエンドマークのマーキング数を設定します。2～6まで設定できます。
[ジョブエンドマークを付加する]を選択している場合のみ使用できます。

– [印刷文書末尾に白紙ページを付加する]（初期値：チェックなし、未選択）
本設定をチェックすると、ジョブ末尾に白紙ページを付加します。

チェック

[ジョブエンドマークを付加する]が選択されている場合は使用できません。

– [白紙ページ数]（初期値：グレー表示、無効）
ジョブ末尾に付加する白紙ページ数を設定します。1～6まで設定できます。
[印刷文書末尾に白紙ページを付加する]を選択している場合のみ使用できます。

● [ヘッダー /フッター]
ヘッダー/フッターの設定を行います。以下の項目を設定できます。

– [ヘッダー /フッターを印刷する]（初期値：チェックなし、未選択）
本設定をチェックすると、[印刷項目] で選択した項目を指定位置に印刷します。

– [印刷項目]（初期値：グレー表示、無効）
ヘッダー、フッターに印刷する項目を選択します。[ユーザ名]、[コンピュータ名]、[ユーザ名/コンピュータ名]、[日付]、[時刻]、[日付/時刻]、[ドキュメント名]、[ページ番号]、[文字列入力] から選択してください。

– [位置]（初期値：グレー表示、無効）
ヘッダー、フッターを印刷する位置を指定します。[左上]、[中上]、[右上]、[左下]、[中下]、[右下から選択してください。

– [文字列入力]（初期値：グレー表示、無効）
ヘッダー、フッターに印刷する文字列を入力します。[印刷項目] コンボボックスで [文字列入力] を選択すると、グレー表示が解除され、入力可能になります。入力できる文字列は全角で64文字、半角で64文字までです。

- ［設定情報の作成/取込］
  - ［設定情報ファイルの作成］ボタンで、現在のドライバに設定されている内容をファイルを出力します。
  - ［設定情報ファイルの取込］ボタンで、作成済みの設定情報ファイルを参照してドライバに設定情報を取り込みます。

［用紙］シート

このプロパティシートは用紙に関する以下の設定表示を行います。

- ［原稿設定］（初期値：15×11inch）
  編集時の用紙サイズを選択します。プリンタで選択できる用紙サイズは「サポート用紙サイズ」（177ページ）を参照してください。
  以下の条件の場合は［15×11inch］として印刷されます。
  - ［割付に従う］がOFFで、かつ［出力サイズ］で［用紙サイズと同じ］が選択されている場合にカット紙サイズを選択した場合。
  - ［割付に従う］がOFFで、かつ［出力サイズ］で［用紙サイズと同じ］が選択されている場合に、用紙幅が2.84inch以上6.49inch以下または用紙長が2.34inch以上6.99inch以下の用紙を選択した場合。

チェック

- ［用紙サイズ］にはコンピュータ上に登録されている用紙サイズのうち使用可能な用紙サイズすべて表示されますが、使用できる定形外用紙は、以下の範囲内の用紙です。
  （コンピュータ上に登録された用紙サイズは［プリンタとFAX］フォルダの［サーバーのプロパティ］で参照できます。ご使用のOSによって、［プリンタとFAX］は［プリンタ］と表示されます。）
  － 幅：2.84inch ～ 18.00inch
  － 高さ：2.34inch ～ 14.00inch
- 選択可能なカット紙は以下の通りです。
  ［A3］、［A4］、［A5］、［B4 (JIS)］、［B5 (JIS)］、［Letter］、［はがき］、［往復はがき］、［A3 横］、［A4 横］、［A5 横］、［B4 (JIS) 横］、［B5 (JIS) 横］、［Letter 横］、［はがき 横］、［往復はがき 横］
- ［印刷設定］－［その他］シートの［フォーム印刷を使用する］がチェックされている場合は、グレー表示となり使用できません。

- 用紙情報表示エリア
  用紙情報（あり／なし）を表示します。
  この表示エリアは、片方向通信の場合は表示されません。
  用紙情報（あり／なし）は、プリンタとLAN接続されている場合のみ取得できます。
- ［出力設定］
  （初期値　出力サイズ：グレー表示、無効
  割付に従う：チェックあり、選択
  拡大縮小率を指定する：チェックなし、未選択）
  印刷時の用紙サイズ（出力サイズ）、拡大縮小率を設定します。拡大縮小率は10～400%まで設定できます。
  - ［割付に従う］をチェックした場合は、プリンタの［プロパティ］－［プリンタの設定］シートで設定した割付内容に従い、出力サイズが選択されます。
  - ［割付内容の表示］は、プリンタの［プロパティ］－［プリンタの設定］シートで設定した割付内容を確認することができます。

チェック

- ［N面付け］-［縦配置面数］または［横配置面数］で［1面］以外が選択されている場合は、［出力サイズ］は［面付け数で自動設定］固定でグレー表示となり使用できません。
- ［印刷設定］－［その他］シートの［フォーム印刷を使用する］がチェックされている場合は、グレー表示となり使用できません。
- ［印刷設定］－［メイン］シートの［複数ページレイアウト］で［1ページ→1ページ］以外が選択されている場合は、［拡大縮小率を指定する］はグレー表示となり使用できません。
- ［出力サイズ］にはコンピュータ上に登録されている用紙サイズがすべて表示されますが、使用できる定形外用紙は、以下の範囲内の用紙です。
- （コンピュータ上に登録された用紙サイズは［プリンタとFAX］フォルダの［サーバーのプロパティ］で参照できます。ご使用のOSによって、［プリンタとFAX］は［プリンタ］と表示されます。）
  幅：6.5inch ～ 18.00inch
  高さ：7.0inch ～ 14.00inch

- ［部数］（初期値：1）
  印刷時の部数を設定します。1～999部までを設定できます。

チェック

アプリケーションによっては、アプリケーションで設定した部数が優先される場合があります。その場合はアプリケーションで設定を行ってください。

- ［N面付け］（初期値：グレー表示、無効）
  詳細については「N面付け印刷」（184ページ）を参照してください。
  - 複数ページを1枚の紙に等倍配置し印刷できます。選択できる面数は［縦配置面数］、［横配置面数］共に1/2/3面ですが、用紙サイズにより利用できる面数が異なります。
    ［印刷設定］－［メイン］シートの［複数ページレイアウト］の[境界線]で境界線を選択することができます。
  - ［配置］ボックスで複数のページ印刷の並べかたを選択します。
    [縦配置面数]が[1面]の場合は、［左→右型］が選択されます。[横配置面数]が[1面]の場合は、［上→下型］が選択されます。[縦配置面数]、[横配置面数]どちらも[1面]以外の場合は、［Z型］、［逆N型］から選択できます。
  - ［その他］シートの［印刷位置微調整］で［印刷位置微調整］ボタンをクリックすると、ダイアログボックスが開き印刷位置を設定することができます。詳細は［印刷位置微調整］（210ページ）の説明を参照してください。

［その他］シート

このプロパティシートはその他に関する以下の設定表示を行います。

設定・情報の確認は左側のツリービューで項目を選んで右側のボックス、ボタンを使って行います。グレーで表示されている項目は、設定が変更できない項目です。

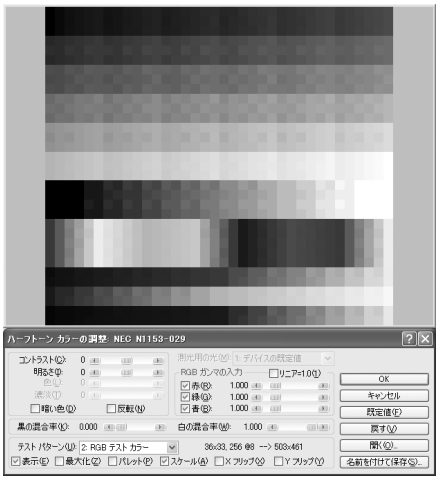
設定内容は< >内に表示されます。通常は青色で、ダイアログ ボックスを開いた後に変更した場合は赤色で表示されます。設定が変更できない項目は、青色＋グレー、または赤色＋グレーで表示されます。

- ［NEC N1153-029］
  右側の表示エリアにプリンタドライバのバージョンを表示します。
- ［解像度］（初期値：600dpi）
- プリンタの解像度を選択できます。以下の値を選択できます。
  600dpi（23.6dot/mm）
  400dpi（15.7dot/mm）
  300dpi（11.8dot/mm）
  240dpi（9.4dot/mm）
  200dpi（7.9dot/mm）
- ［ブラシパターン］（初期値：拡大する）
  ブラシパターンの表現方法を選択します。
  [拡大する]を選択すると、網掛けパターンを拡大して印刷します。模様などのパターンが細かすぎて読めない場合に選択します。
  アプリケーションによっては、設定が有効にならない場合があります。
- ［印刷モード］（初期値：標準）
  印刷モードを選択します。
  図形の重なりが正しくないなどの問題が発生する場合は、［ビットマップ］を選択してください。

チェック

［印刷モード］で［ビットマップ］が選択されている場合は、［解像度］と［ブラシパターン］がグレー表示となり使用できません。

- ［ハーフトーン カラーの調整］
  ハーフトーンカラー設定を表示または変更できます。



［ハーフトーンカラーの調整］ボタンをクリックすると［ハーフトーンカラーの調整］ダイアログ ボックスが表示されます。

詳細については［ハーフトーンカラーの調整］ダイアログ ボックスのヘルプをご覧ください。

- ［文字セット］（初期値：JIS90）
  プリンタフォントの文字セット（日本工業規格で定められているJISコード）を選択します。

● [TrueTypeフォント置換]（初期値：無効にする）
TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えます。
[有効にする]を選択すると、[プロパティ]－[プリンタの設定] シートの [TrueTypeフォント置換割付] で設定された割付設定に従いTrueTypeフォントの置き換えを行います。

チェック

[印刷モード]で[ビットマップ]が選択されている場合は、グレー表示となり使用できません。

● [OCR文字の文字ピッチ]（初期値：固定しない）
OCR文字の文字ピッチを選択します。
[固定する]を選択すると、日本工業規格(JIS)で定められている文字ピッチに固定することができます。

チェック

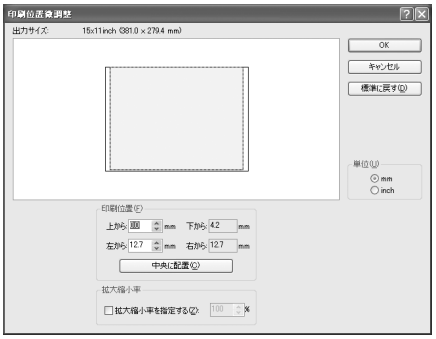
[印刷モード]で[ビットマップ]が選択されている場合は、グレー表示となり使用できません。

● [文字の表現]（初期値：標準（グレースケール））
文字の表現方法を選択します。
[白黒] を選択すると、文字の色を、グレースケールを使わずに、白か黒のいずれかで印刷できます。

チェック

[印刷モード]で[ビットマップ]が選択されている場合は、グレー表示となり使用できません。

● [印刷位置微調整]
[印刷位置微調整] ボタンをクリックすると、[印刷位置微調整] ダイアログ ボックスを表示します。



N面付け印刷を行うか否かで表示される画面に違いがあります。以下の項目を設定できます。

－ N面付け印刷機能未使用時

－[単位]（初期値：mm）
設定する単位（mm、inch）を設定します。

－[印刷位置]（初期値：上から0.0mm、左から12.7mm）
出力用紙の印刷範囲枠の位置を設定します。
印刷範囲枠の位置設定は、[上から]または[左から]しか設定できません。[下から]または[右から]は、それに連動して自動的に設定されます。
また、[中央に配置]ボタンをクリックすると、印刷範囲枠を用紙の中央に配置します。

－[拡大縮小率を指定する]（初期値：チェックなし）
本設定をチェックすると印刷文書の拡大縮小率を10%～400%の範囲で設定できます。［用紙サイズ］で指定した用紙サイズと［出力用紙サイズ］で指定した用紙サイズが異なる場合は、自動的に拡大縮小率は設定されます。

チェック

- ［用紙］シートの［拡大縮小率を指定する］と連動します。
- ［メイン］シートー［複数ページレイアウト］で複数ページ印刷を設定した場合、本項目は設定できません。
- ［その他］シートー［フォーム］でフォーム印刷を設定した場合、本項目は設定できません。
- ［用紙］シートのN面付けで[縦配置面数]または[横配置面数]を[1面]以外に設定した場合、本項目は設定できません。

－ N面付け印刷機能使用時

－[単位]（初期値：mm）
設定する単位（mm、inch）を設定します。

－[印刷位置]（初期値：上から0.0mm、左から12.7mm）
出力用紙の印刷範囲枠の位置を設定します。印刷範囲枠の位置設定は、[論理配置面の上から]または[論理配置面の左から]しか設定できません。[論理配置面の下から]または[論理配置面の右から]は、それに連動して自動的に設定されます。
また、[論理配置面の中央に配置]ボタンをクリックすると、印刷データを中央にした論理配置面をN面配置します。

- ［操作パネル表示］（初期値：ユーザ名）
プリンタの主操作パネル表示の設定を行います。以下の項目を設定できます。

－ ［なし］
印刷時にプリンタの主操作パネルに何も文字列を表示しない場合に選択します。

－ ［ユーザ名］
ネットワークにログインしている場合、印刷時にプリンタの主操作パネルにユーザ名を表示します。印刷文書の所有者を明確にしたい場合に選択します。

－ ［指定文字列］
印刷時にプリンタの主操作パネルに［表示文字列］に入力した文字列を表示します。印刷文書の所有者を明確にしたい場合に選択します。

－ ［表示文字列］
指定文字列を選択した場合、［表示文字列］テキストボックスにプリンタの主操作パネルに表示させたい文字列を入力してください。英数半角カナ文字で16文字まで入力することができます。
入力できる文字は下表の英数カナ文字です。

ｽﾍﾟｰｽ	0	@	P		p		ー	タ	ミ
!	1	A	Q	a	q	。	ア	チ	ム
	2	B	R	b	r	「	イ	ツ	メ
#	3	C	S	c	s	」	ウ	テ	モ
$	4	D	T	d	t	、	エ	ト	ヤ
%	5	E	U	e	u	・	オ	ナ	ユ
&	6	F	V	f	v	ヲ	カ	ニ	ヨ
’	7	G	W	g	w	ァ	キ	ヌ	ラ
(	8	H	X	h	x	ィ	ク	ネ	リ
)	9	I	Y	i	y	ゥ	ケ	ノ	ル
*	:	J	Z	j	z	ェ	コ	ハ	レ
+	;	K	[	k	{	ォ	サ	ヒ	ロ
,	<	L	¥	l	|	ャ	シ	フ	ワ
ー	=	M	]	m	}	ュ	ス	ヘ	ン
.	>	N	^	n		ョ	セ	ホ	゛
／	?	O	_	o		ッ	ソ	マ	゜

● [フォーム]（初期値：無効にする）
フォーム印刷に関する設定表示を行います。

[フォーム] ボタンをクリックすると、[フォーム] ダイアログボックスが表示され、設定を行うことができます。
フォーム印刷とは、見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データを重ね合わせて印刷することです。
フォーム印刷を行う場合は、[フォーム印刷を使用する] を選択して、使用したいフォームファイルをコンボボックスで選択します。
また、以下の設定ができます。

－ [フォームデータを先に描画する]
本設定をチェックするとフォームデータを文書の下に描画します。

チェック

- フォーム印刷を有効にした場合は、フォームデータが優先されるため、以下の項目がグレー表示となり、変更できなくなります。
[原稿設定]
[出力設定]
[複数ページレイアウト]
[印刷位置微調整]
[N面付け]
- 印刷データの途中で [用紙サイズ] 等が変更された場合の印刷結果は保証されません。
- フォームデータで設定された [用紙サイズ] 等が、アプリケーションソフトウエアの設定と異なる場合は、印刷結果は保証されません。

● [プリンタ情報取得]
プリンタの最新情報を取得します。

チェック

SimpleMonitorがインストールされていない場合や、プリンタの [プロパティ] ー [ポート] シートの [双方向サポートを有効にする] がチェックされていない場合は、グレー表示となり使用できません。

用紙の登録方法

Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Windows NT 4.0では、用紙サイズを登録して保存しておくことができます。この用紙を「フォーム登録用紙」と呼びます。フォーム登録用紙の登録は次の通り行います。
ここではWindows XPを例にとり、用紙の登録方法を説明します。

1 ［プリンタとFAX］フォルダ*1を開く。

2 ［ファイル］メニューの［サーバーのプロパティ］をクリックする。

Windows Vistaの場合は、［ファイル］メニューの［管理者として実行］から［サーバーのプロパティ］をクリックしてください（警告メッセージが表示された場合は、続行または管理者のパスワードの入力操作をしてください）。

［プリントサーバーのプロパティ］ダイアログボックスが開きます。

3 ［用紙］シートを選択し、［新しい用紙を作成する］のチェックボックスをチェックする。

4 単位（メートル法：センチ）、またはヤードポンド法：インチ）、用紙サイズ（幅および高さ）、余白（左、右、上、下）を設定する。

5 ［用紙名］*2テキストボックスに新しいフォーム登録用紙の名前を入力する。

6 単位（メートル法：センチ）、またはヤードポンド法：インチ）、用紙サイズ（幅および高さ）、余白（左、右、上、下）を設定する。

7 ［用紙の保存］をクリックする。

8 ［閉じる］（または［OK］）をクリックし、［プリントサーバーのプロパティ］ダイアログボックスを終了する。

フォーム登録用紙が設定されます。

*1 Windows XP/Windows Server 2008/2003以外の場合は［プリンタ］フォルダです。
Windows 8/7/Windows Server 2012/2008 R2の場合は、［デバイスとプリンター］です。

*2 OSによって［用紙の説明］となる場合があります。

プロパティダイアログボックス（Windows Me/98/95）

Windows Me/98/95では、印刷の詳細設定は以下のようなプロパティダイアログボックスで行います。このプロパティダイアログボックスは10枚のプロパティシートで構成されています。

- ［全般］シート
- ［詳細］シート
- ［共有］シート
- ［用紙］シート
- ［出力制御］シート
- ［レイアウト］シート
- ［グラフィックス］シート
- ［フォント］シート
- ［フォーム］シート
- ［補助機能］シート

プロパティダイアログボックスを開く（Windows Me/98/95）

プロパティダイアログボックスを呼び出す方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法
  一般的にはこの方法で呼び出しますが、この場合、ダイアログボックスの設定はそのアプリケーションでのみ有効となります。ただし、OSが管理している［全般］、［詳細］、［共有］シートは表示されません。また、用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。
- タスクバー上の［スタート］ボタンを使って呼び出す方法
  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションに有効となります。

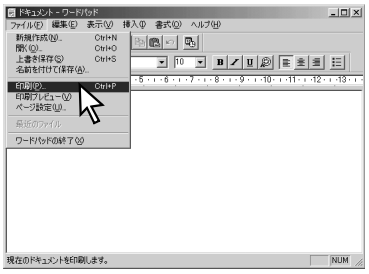
アプリケーションのメニューから呼び出す

アプリケーションからプロパティダイアログボックスを呼び出す場合、［ファイル］メニューの［印刷］コマンドか［プリンタの設定］コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合［ファイル］メニューの中にありますが、メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのヘルプ、マニュアル等をご覧ください。）

ここではWindows Me/98/95に付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。

［印刷］ダイアログボックスが開きます。



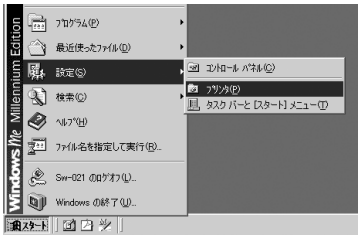
2 ［プロパティ］をクリックする。

下のようなプロパティダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、217ページからの「各プロパティシートの設定の概要（Windows Me/98/95）」を参照してください。

［スタート］ボタンを使って呼び出す

1 ［プリンタ］フォルダを開く。



2 ［NEC N1153-029］アイコンを右クリックする。

プリンタのアイコンが反転し、メニューが表示されます。

3 メニューの［プロパティ］をクリックする。

下のようなプロパティダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、217ページからの「各プロパティシートの設定の概要（Windows Me/98/95）」を参照してください。

各プロパティシートの設定の概要（Windows Me/98/95）

プロパティダイアログボックスの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細な説明はヘルプを参照してください（ヘルプはプロパティシート上の各アイテムにおいてマウスの右ボタンをクリックするか、［?］ボタンをクリック後、各アイテムをクリックすると表示されます）。

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。

各プロパティシートおよびダイアログボックス共通ボタン

- ［OK］ボタン
  すべての設定を有効にし、設定を終了します。
- ［キャンセル］ボタン
  すべての設定を無効にし、変更以前の状態で設定を終了します。
- ［適用］ボタン*1
  現在開いているプロパティシート内の設定に更新します。
- ［標準に戻す］ボタン（プロパティシートのみ）
  表示されているプロパティシートの内容を標準の状態に戻します（次ページ表参照）。［全般］シート

*1 Windows 95の場合は［更新］ボタンとなる場合があります。

チェック

プロパティシートのタブを変更すると、表示されていたプロパティシートの内容は保存されます。

各プロパティシートの標準値について

各プロパティシートの標準値は以下の通りです。
各プロパティシートで「標準に戻す」ボタンをクリックすると以下の値に戻ります。

プロパティシート	項目	標準値
用紙	用紙サイズ	15×11inch
	出力用紙サイズ	割付に従う
	拡大縮小率を指定する	チェックなし（未選択）
	部数	1
	縦配置面数	無効（グレー表示）
	横配置面数	無効（グレー表示）
	配置	無効（グレー表示）
出力制御	ジョブエンドマークを付加する	チェックなし（未選択）
	マーキング種類	プリンタの既定値
	マーキング数	2
	印刷文書末尾に白紙ページを付加する	チェックなし（未選択）
	白紙ページ数	1
レイアウト	ページ数	1ページ→1ページ
	境界線	なし
	配置	無効（グレー表示）
	ヘッダー /フッターを印刷する	チェックなし（未選択）
	［詳細設定］ダイアログボックス 単位 上から 左から 拡大縮小率を指定する	 mm 0.0mm 12.7mm チェックなし（未選択）
グラフィックス	解像度	600dpi
	ディザリング	パターン
	濃度	100
	描画方法	自動
	ブラシパターンを拡大する	チェックあり（選択）
	ビットマップを低解像度で印刷する	無効（グレー表示）
フォント	TrueTypeフォント	一番近いプリンタフォントで印刷
	［TrueType置き換えテーブル］ダイアログボックス	@MSゴシック→@ゴシック @MS明朝→@明朝 @FAゴシック→@ゴシック @FA明朝→@明朝 MSゴシック→ゴシック MS明朝→明朝 FAゴシック→ゴシック FA明朝→明朝
	文字を白黒で印刷する	チェックなし（未選択）
	OCR文字の文字ピッチを固定する	チェックなし（未選択）
	JIS78コードのプリンタフォントを使用する	チェックなし（未選択）
フォーム	フォーム印刷	ボタン非押下（未選択）
	フォームデータを先に描画する	無効（グレー表示）
補助機能	操作パネル表示	ユーザ名

［全般］シート

このプロパティシートはプリンタについてのコメントなどを表示・設定します。Windows Me/98/95 日本語版対応のプリンタドライバとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定を変更する必要はありません。

［用紙］シート

このプロパティシートでは印刷用のポートや使用するプリンタドライバなどを表示･設定します。Windows Me/98/95 日本語版対応のプリンタドライバとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定を変更する必要はありません。

> **チェック**
>
> タイムアウト設定の時間が短いと、複雑なデータやアプリケーションによっては、印刷データ送信を中止することがあります。その場合には、タイムアウト設定の時間を長くしてください。

[共有] シート

このプロパティシートはプリンタを共有するときの設定を行うシートです。Windows Me/98/95対応のプリンタをネットワークで使用しているときのみ表示されます。Windows Me/98/95 日本語版対応のプリンタドライバとして共通のものです。

[用紙] シート

このプロパティシートは用紙に関する以下の設定表示を行います。

- 用紙サイズ
  アプリケーションで設定した用紙サイズを選択します。プリンタで選択できる用紙サイズは「サポート用紙サイズ」(177ページ) を参照してください。[ユーザ定義] を選択した場合、ダイアログボックスにより用紙サイズを設定できます。設定できる範囲は、幅：72.1～457.2mm、長さ：59.4～355.6mm (幅：2.84～18.00 inch、長さ：2.34～14.00 inch) です。

チェック

[フォーム] シートでフォーム印刷を設定している場合、グレー表示され使用できません。また、用紙サイズは、自動的にフォームファイルに合った用紙サイズに設定されます。

- 出力用紙サイズ
  出力用紙サイズを選択します。
  アプリケーションであらかじめ設定されている論理上の用紙サイズに対して、原稿を実際に印刷する出力用紙サイズを設定することにより、印刷データの拡大・縮小を行います。印刷データは出力用紙サイズに合わせて自動的に拡大・縮小されます。
  出力できる範囲は、幅：165.1～457.2mm、長さ：177.8～355.6mm（幅：6.50～18.00 inch、長さ：7.00～14.00 inch）です。

  出力用紙サイズには次の2通りがあります。

  ［指定する］：
  サポートするすべての用紙サイズに対して、共通の出力用紙サイズを割り付けます。本機能を使用するには、［指定する］をクリックし、コンボボックスから任意の出力用紙サイズを選択してください。

  ［割付に従う］：
  既に設定してある用紙割り付けに従って出力用紙サイズを設定します。用紙割り付けの設定を変更する場合は、［出力用紙の設定］ボタンをクリックし、［出力用紙 設定テーブル］で変更してください。

チェック

［N面付け］で［縦配置面数］または［横配置面数］が［1面］以外に設定されている場合、［割付に従う］がOFF固定でグレー表示となり、［出力用紙サイズ］が［面付け数で自動設定］でグレー表示されます。

- 拡大縮小率を指定する
  本設定をチェックすると印刷文書の拡大縮小率を10%～400%の範囲で設定できます。［用紙サイズ］で指定した用紙サイズと［出力用紙サイズ］で指定した用紙サイズが異なる場合は、自動的に拡大縮小率は設定されます。

チェック

- 本設定は［詳細設定］ダイアログボックスの［拡大縮小率を指定する］と連動します。
- ［レイアウト］シートで複数ページ印刷を設定した場合、本項目は設定できません。
- ［フォーム］シートでフォーム印刷を設定した場合、本項目は設定できません。
- ［用紙］シートのN面付けで［縦配置面数］または［横配置面数］を［1面］以外に設定した場合、本項目は設定できません。

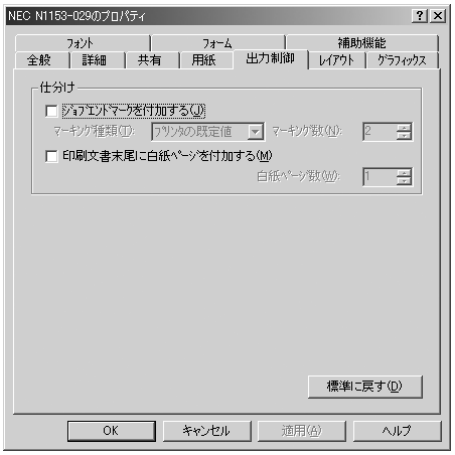
- 部数
  印刷時の部数を設定します。1～999部までを設定できます。

チェック

この機能を使用する場合、性能を十分に発揮させるために、アプリケーションの部数の設定を行わないでください。
また、アプリケーションの部数設定が連動している場合は、アプリケーションで部数の設定を変更しないようにしてください。

- N面付け
  詳細については「N面付け印刷」（184ページ）を参照してください。
  - 複数ページを１枚の紙に等倍配置し印刷できます。選択できる面数は［縦配置面数］、［横配置面数］共に1/2/3面ですが、用紙サイズにより利用できる面数が異なります。また、［レイアウト］シートの［複数ページ印刷］の［境界線］で境界線を選択することができます。
  - ［配置］ボックスで複数のページ印刷の並びかたを選択します。
    ［縦配置面数］が［1面］の場合は、［左→右］が選択されます。［横配置面数］が［1面］の場合は、［上→下］が選択されます。［縦配置面数］、［横配置面数］どちらも［1面］以外の場合は、［Z型］、［逆N型］から選択できます。
  - ［レイアウト］シートの［詳細設定］ボタンをクリックすると［詳細設定］ダイアログボックスが開き印刷位置を設定できます。詳細は、［詳細設定］ボタン（224ページ）の説明を参照してください。
- ［バージョン情報］ボタン
  プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

[出力制御] シート



このプロパティシートは出力制御に関する以下の設定表示を行います。

- [ジョブエンドマークを付加する] (初期値：チェックなし、未選択)
  本設定をチェックすると、ジョブ末尾に付加した白紙ページのミシン目に黒いマークを印刷します。

> **チェック**
> [印刷文書末尾に白紙ページを付加する]が選択されている場合は使用できません。

- [マーキング種類] (初期値：プリンタ既定値)
  ジョブエンドマークパターンを設定します。パターン1～パターン4、プリンタの既定値を設定できます。
  [ジョブエンドマークを付加する]を選択している場合のみ使用できます。
- [マーキング数] (初期値：グレー表示、無効)
  ジョブエンドマークのマーキング数を設定します。2～6まで設定できます。
  [ジョブエンドマークを付加する]を選択している場合のみ使用できます。
- [印刷文書末尾に白紙ページを付加する] (初期値：チェックなし、未選択)
  本設定をチェックすると、ジョブ末尾に白紙ページを付加します。

> **チェック**
> [ジョブエンドマークを付加する]が選択されている場合は使用できません。

- [白紙ページ数] (初期値：グレー表示、無効)
  ジョブ末尾に付加する白紙ページ数を設定します。1～6まで設定できます。
  [印刷文書末尾に白紙ページを付加する]を選択している場合のみ使用できます。

［レイアウト］シート

このプロパティシートはレイアウトに関する以下の設定表示を行います。

- 複数ページ印刷
  複数ページ印刷の設定を行います。以下の項目を設定できます。
  - ページ数
    複数のページ印刷を選択すると、選択したページ数分を用紙の一面に縮小印刷します。
    選択できるページ数は、［1ページ→1ページ］、［2ページ→1ページ］、［4ページ→1ページ］、［6ページ→1ページ］、［8ページ→1ページ］、［9ページ→1ページ］および［16ページ→1ページ］です。
  - 境界線
    縮小配置した各ページ単位に境界線を選択します。選択できる境界線は、「なし」、「実線」、「破線」、「点線」および「カットマーク」です。
    ［拡大縮小率を指定する］や［フォーム］を設定している場合は、［境界線］はグレー表示になります。
  - 配置
    複数のページ印刷の並べかたを選択します。
    ［2ページ→1ページ］の場合は、［左→右］、［右→左］から選択できます。
    ［4ページ→1ページ］、［6ページ→1ページ］、［8ページ→1ページ］、［9ページ→1ページ］、［16ページ→1ページ］の場合は、［Z型］、［逆Z型］、［N型］、［逆N型］から選択できます。
    ［複数ページレイアウト］以外はグレー表示され使用できません。

チェック

この機能は以下の場合を除き、常に有効です。ただし［境界線］は常に有効でグレー表示になることはありません。

- ［用紙］シートや［詳細設定］ダイアログボックスで拡大・縮小印刷を設定している。
- ［フォーム］シートでフォーム印刷を設定している。

● ヘッダー /フッター
ヘッダー/フッターの設定を行います。以下の項目を設定できます。

－ ヘッダー /フッターを印刷する
本設定をチェックすると、［印刷項目］で選択した項目を指定位置に印刷します。
［ヘッダー /フッター印刷］ボタンをクリックすると、［ヘッダー /フッター印刷設定］ダイアログボックスが表示されます。

－ 印刷項目
ヘッダー、フッターに印刷する項目を選択します。［ユーザ名］、［コンピュータ名］、［ユーザ名/コンピュータ名］、［日付］、［時刻］、［日付/時刻］、［ドキュメント名］、［ページ番号］、［文字列入力］から選択してください。

－ ［ヘッダー /フッター印刷設定］ダイアログボックス
［ヘッダー /フッター印刷］ボタンをクリックすると表示されます。以下の項目を設定できます。

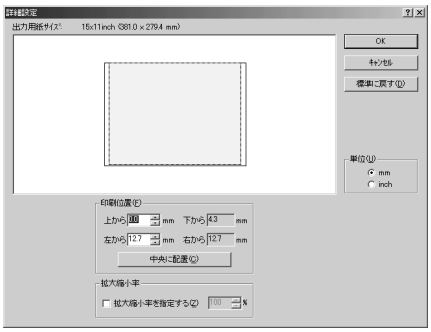
－ 位置：ヘッダー、フッターを印刷する位置を指定します。［左上］、［中上］、［右上］、［左下］、［中下］、［右下］から選択してください。

－ 文字列入力：ヘッダー、フッターに印刷する文字列を入力します。［印刷項目］コンボボックスで［文字列入力］を選択すると、グレー表示が解除され、入力可能になります。
入力できる文字列は、全角で32文字、半角で64文字までです。

チェック

- この機能は常に有効で、複数ページ印刷など他の印刷機能と組み合わせることができます。

● ［詳細設定］ボタン
ボタンをクリックすると、［詳細設定］ダイアログボックスが開き、印刷位置や拡大縮小率を設定できます。N面付け印刷を行うか否かで表示される画面に違いがあります。次の項目を設定できます。



－ N面付け印刷機能未使用時

－単位
設定する単位（mm、inch）を設定します。

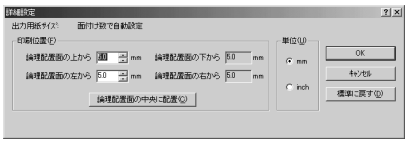
－印刷位置
出力用紙の印刷範囲枠の位置を設定します。
印刷範囲枠の位置設定は、[上から]または[左から]しか設定できません。[下から]または[右から]は、それに連動して自動的に設定されます。
また、[中央に配置]ボタンをクリックすると、印刷範囲枠を用紙の中央に配置します。

－拡大縮小率を指定する
本設定をチェックすると印刷文書の拡大縮小率を10%～400%の範囲で設定できます。
［用紙サイズ］で指定した用紙サイズと［出力用紙サイズ］で指定した用紙サイズが異なる場合、自動的に拡大縮小率は設定されます。

チェック

- ［用紙］シートの［拡大縮小率を指定する］と連動します。
- ［レイアウト］シートで複数ページ印刷を設定した場合、本項目は設定できません。
- ［フォーム］シートでフォーム印刷を設定した場合、本項目は設定できません。
- ［用紙］シートのN面付けで[縦配置面数]または[横配置面数]を[1面]以外に設定した場合、本項目は設定できません。

－ N面付け印刷機能使用時



－単位

設定する単位（mm、inch）を設定します。

－印刷位置

出力用紙の印刷範囲枠の位置を設定します。印刷範囲枠の位置設定は、[論理配置面の上から]または[論理配置面の左から]しか設定できません。[論理配置面の下から]または[論理配置面の右から]は、それに連動して自動的に設定されます。

また、[論理配置面の中央に配置]ボタンをクリックすると、印刷データを中央にした論理配置面をN面配置します。

［グラフィックス］シート

このプロパティシートは印刷解像度やグラフィックスに関する以下の設定表示を行います。

- 解像度
  プリンタの解像度を選択できます。
  以下の値を選択できます。
  600dpi（23.6 dot/mm）
  400dpi（15.7 dot/mm）
  300dpi（11.8 dot/mm）
  240dpi（9.4 dot/mm）

チェック

- ［600dpi］以外を選択した場合、［ビットマップを低解像度で印刷する］は無効となり、選択できません。
- ［240dpi］を選択した場合、［ブラシパターンを拡大する］は無効となり、選択できません。

- ディザリング
  イメージのディザリング方法を指定します。
  下記のオプションボタンを選択できます。

  ［なし］
  グラフィックスのグレーを白または黒に変換します。

  ［パターン］
  グラフィックスのパターンを用いてより細かいイメージで印刷します。

  ［誤差拡散法］
  はっきりした境目のない写真や絵を印刷する場合に選択してください。

- 濃度
  グラフィックスの濃度を指定します。指定できる値は0～200までです。濃度が変更されても、ディザリングのビットマップは変化しません。
- 描画方法
  プリンタの描画方法を設定します。描画方法には以下の種類があります。

  ［自動］
  通常はグラフィックスをプリンタ内蔵の図形コマンドで高速に印刷しますが、必要に応じてビットマップで出力します。

  ［すべてプリンタ］
  グラフィックスをプリンタ内蔵の図形コマンドで高速に印刷します。

  ［すべてビットマップ］
  グラフィックスをすべてビットマップで印刷します。この場合、プリンタフォントもビットマップ（TrueTypeフォント）で印刷されます。

チェック

- 印刷結果に不正が生じる場合は、他の描画方法に切り替えてください。
- ［すべてビットマップ］を選択した場合、［フォント］プロパティシートの［TrueTypeフォント］グループは［そのまま印刷］が選択され使用できません。
- ［すべてビットマップ］を選択した場合、［ブラシパターンを拡大する］は使用できません。

- ブラシパターンを拡大する
  この設定をチェックすると、網掛けパターンを2倍に拡大することができます。模様などのパターンが細かすぎて下の文字が読めない場合、この設定をチェックします。

- ビットマップを低解像度で印刷する
  この設定をチェックすると、イメージデータを印刷する際、ビットマップを縦横に間引いて印刷します。

[フォント] シート

このプロパティシートはフォントに関する以下の設定表示を行います。

- TrueTypeフォント
  TrueTypeフォントの設定を行います。以下の中から設定できます。
  - そのまま印刷
    TrueTypeフォントをグラフィックスとして印刷します。
    プリンタフォントで印刷するより印刷が多少遅くなる場合がありますが、画面に忠実な美しい印刷ができます。
  - 一番近いプリンタフォントで印刷
    TrueTypeフォントを一番近いプリンタフォントとして印刷します。
    [MSゴシック] はプリンタフォントの[ゴシック]、[MS明朝] はプリンタフォントの[明朝]で印刷されます。印刷は速くなります。
  - 指定したプリンタフォントで印刷
    TrueTypeフォントの置き換えをフォントごとに設定できます。右の[置き換えるフォントの設定]ボタンを押して、[TrueType置き換えテーブル] ダイアログボックスを開いて、どのTrueTypeフォントをどのプリンタフォントに置き換えるかを設定してください。

チェック

- [グラフィックス] シート上の[描画方法]で[すべてビットマップ]が選択されている場合は、グレー表示され使用できません。
- TrueTypeフォントについては、OS付属のヘルプを参照してください。

チェック

- [グラフィックス] シート上の[描画方法]で[すべてビットマップ]が選択されている場合は、グレー表示され使用できません。
- TrueTypeフォントについては、OS付属のヘルプを参照してください。

- 文字を白黒で印刷する
  本設定をチェックすると、文字の色を、グレースケールを使わずに文字色が白以外の場合は黒、文字色が白の場合は白で印刷します。
- OCR文字の文字ピッチを固定する
  OCR文字の文字ピッチを固定して印刷するかどうかを選択します。
  本設定をチェックすると、OCR文字列を強制的にJISで定められた文字ピッチに固定して印刷します。

チェック

［グラフィックス］シート上の[描画方法]で[すべてビットマップ]が選択されている場合は、グレー表示され使用できません。

- JIS78コードのプリンタフォントを使用する
  プリンタフォントをJIS78コードで印刷するかどうかを選択します。
  本設定をチェックすると、プリンタフォントをJIS78コードで印刷します。

チェック

［グラフィックス］シート上の[描画方法]で[すべてビットマップ]が選択されている場合は、グレー表示され使用できません。

［フォーム］シート

このプロパティシートはフォーム印刷に関する設定表示を行います。

フォーム印刷とは、見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データを重ね合わせて印刷することです。

フォーム印刷を行う場合は、［フォーム印刷］ボックス内のアイコンボタンをON（押し下げた状態）にして、使用したいフォームファイルをコンボボックスで選択します。

また、以下の設定ができます。

- フォームデータを先に描画する
  本設定をチェックするとフォームデータを文書の下に描画します。

チェック

フォーム印刷について以下の注意事項があります。

- フォーム印刷を選択した場合は、フォームデータで設定された［用紙サイズ］等が優先されます。
- 印刷データの途中で［用紙サイズ］等が変更された場合の印刷結果は保証されません。
- フォームデータで設定された［用紙サイズ］等が、アプリケーションソフトウエアの設定と異なる場合は、印刷結果は保証されません。
- フォーム印刷を選択した場合は、［レイアウト］シートの［詳細設定］ボタンは無効となり、グレー表示になります。

［補助機能］シート

このプロパティシートは補助機能に関する以下の設定表示を行います。

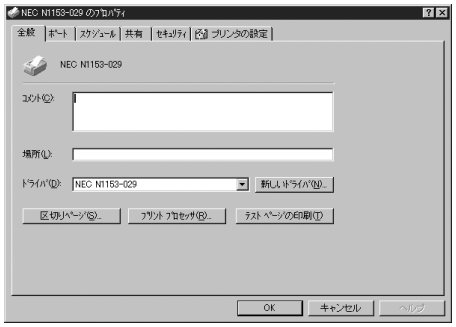
- 操作パネル表示
  プリンタの主操作パネル表示の設定を行います。以下の項目を設定できます。
  - なし
    印刷時にプリンタの主操作パネルに何も文字列を表示しない場合に選択します。
  - ユーザ名
    ネットワークにログインしている場合、印刷時にプリンタの主操作パネルにユーザ名を表示します。印刷文書の所有者を明確にしたい場合に選択します。
  - 指定文字列
    印刷時にプリンタの主操作パネルに［表示文字列］に入力した文字列を表示します。印刷文書の所有者を明確にしたい場合に選択します。
  - 表示文字列
    指定文字列を選択した場合、［表示文字列］テキストボックスにプリンタの主操作パネルに表示させたい文字列を入力してください。英数半角カナ文字で16文字まで入力することができます。
    入力できる文字は下表の英数カナ文字です。

ｽﾍﾟｰｽ	0	@	P		p		ー	タ	ミ
!	1	A	Q	a	q	。	ア	チ	ム
	2	B	R	b	r	「	イ	ツ	メ
#	3	C	S	c	s	」	ウ	テ	モ
$	4	D	T	d	t	、	エ	ト	ヤ
%	5	E	U	e	u	・	オ	ナ	ユ
&	6	F	V	f	v	ヲ	カ	ニ	ヨ
’	7	G	W	g	w	ァ	キ	ヌ	ラ
(	8	H	X	h	x	ィ	ク	ネ	リ
)	9	I	Y	i	y	ゥ	ケ	ノ	ル
*	:	J	Z	j	z	ェ	コ	ハ	レ
+	;	K	[	k	{	ォ	サ	ヒ	ロ
,	<	L	¥	l	|	ャ	シ	フ	ワ
ー	=	M	]	m	}	ュ	ス	ヘ	ン
.	>	N	^	n		ョ	セ	ホ	゛
／	?	O	_	o		ッ	ソ	マ	゜

プロパティダイアログボックス（Windows NT 4.0）

Windows NT 4.0では、印刷の詳細な設定は以下の2つのプロパティダイアログボックスで行います。

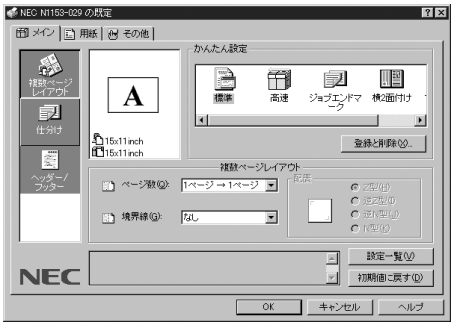
［プリンタのプロパティ］ダイアログボックス



このダイアログボックスはプリンタのポートや共有などに関する設定を行うものです。以下の6枚のプロパティシートで構成されています。このダイアログボックスはアプリケーションのメニューから表示させることはできません。

- ［全般］シート
- ［ポート］シート
- ［スケジュール］シート
- ［共有］シート
- ［セキュリティ］シート
- ［プリンタの設定］シート

［プリンタの（既定の）ドキュメントのプロパティ］ダイアログボックス



このダイアログボックスは印刷の詳細な設定を行うものです。以下の3枚のプロパティシートで構成されています。

- ［メイン］シート
- ［用紙］シート
- ［その他］シート

プロパティダイアログボックスを開く（Windows NT 4.0）

プロパティダイアログボックスを開く方法は次の2通りあります。

- アプリケーションのメニューから呼び出す方法
  一般的にはこの方法で呼び出しますが、この場合、ダイアログボックスの設定はそのアプリケーションでのみ有効となります。また、用紙の設定の項目などが表示できないことがあります。
- タスクバー上の［スタート］ボタンを使って呼び出す方法
  ダイアログボックスの設定はすべてのアプリケーションに有効となります。

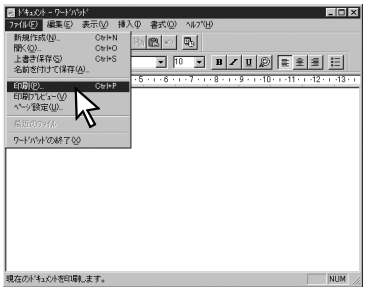
アプリケーションのメニューから呼び出す

アプリケーションから［プリンタのドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスを呼び出す場合は、［ファイル］メニューの［印刷］コマンドか［プリンタの設定］コマンドを使います。（このコマンドはほとんどの場合［ファイル］メニューの中にありますが、［ファイル］メニューの構成はアプリケーションによって異なります。詳しくはアプリケーションのヘルプ、マニュアル等をご覧ください。）

ここではWindows NT 4.0に付属されている日本語ワードプロセッサー「ワードパッド」を例にとって、［プリンタのドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスを呼び出す手順を説明します。任意のワードパッド文書を表示させて次の手順を確認してください。

1 ［ファイル］メニューの［印刷］をクリックする。

［印刷］ダイアログボックスが開きます。



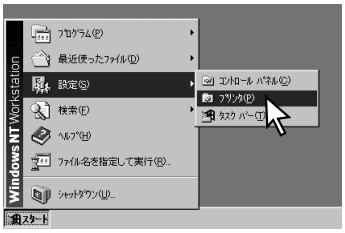
2 ［プロパティ］をクリックする。

下のような［プリンタのドキュメントのプロパティ］ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、237ページからの「設定の概要」を参照してください。

[スタート] ボタンを使って呼び出す

1 [プリンタ] フォルダを開く。



2 [NEC N1153-029] アイコンを右クリックする。

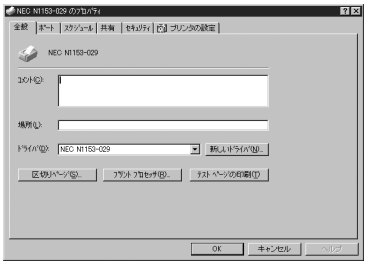
プリンタのアイコンが黒く反転し、メニューが表示されます。

このメニューから2つの [プロパティ] ダイアログボックスが呼び出せます。

- [プロパティ] をクリックして、[プリンタのプロパティ] ダイアログボックスを開く。

下のような [プリンタのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、233ページからの「設定の概要（プリンタのプロパティ）」を参照してください。



- [ドキュメントの既定値] をクリックして、[プリンタの既定のドキュメントのプロパティ] ダイアログボックスを開く。

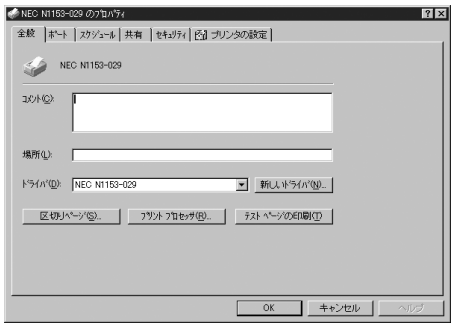
下のような [プリンタの既定のドキュメントのプロパティ] ダイアログボックスが表示されます。

各プロパティシートについては、237ページからの「設定の概要（プリンタのドキュメントのプロパティ）」を参照してください。

設定の概要（プリンタのプロパティ）（Windows NT 4.0）

［プリンタのプロパティ］ダイアログの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細な説明はヘルプを参照してください（ヘルプは［ヘルプ］ボタンをクリックするか、プロパティシートの［?］ボタンをクリック後、各アイテムをクリックすると表示されます）。

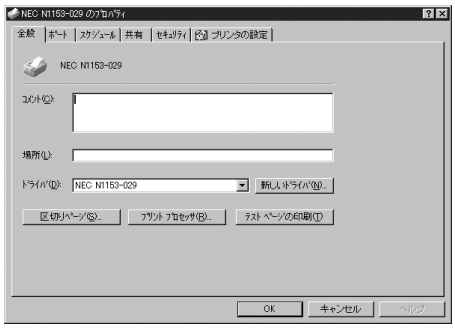
各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。



各プロパティシートおよびダイアログボックス共通ボタン

- ［OK］ボタン
  すべての設定を有効にし、設定を終了します。
- ［キャンセル］ボタン
  すべての設定を無効にし、変更以前の状態で設定を終了します。
- ［ヘルプ］ボタン
  プロパティダイアログボックスのヘルプを表示します。

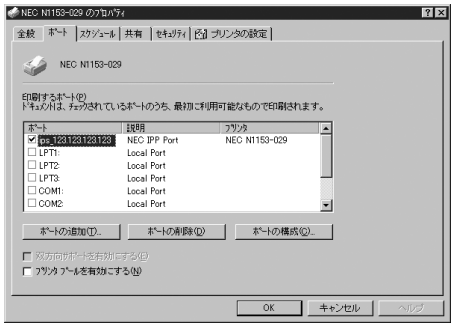
［全般］シート



このプロパティシートではあらかじめ入力されたプリンタについてのコメントなどを表示・設定します。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタドライバとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

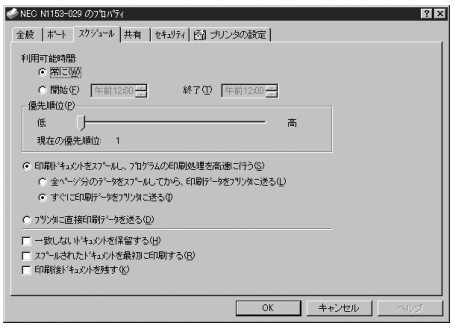
［ポート］シート



このプロパティシートは印刷用のポートについて表示・設定するものです。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタドライバとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

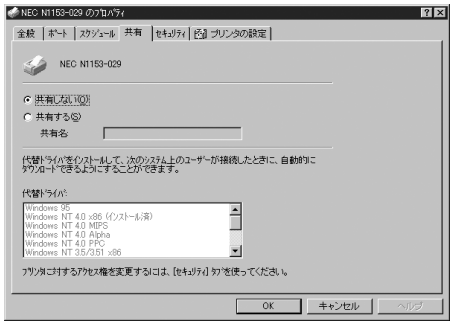
[スケジュール] シート



このプロパティシートはプリンタを利用する時間などについて表示・設定するものです。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタドライバとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

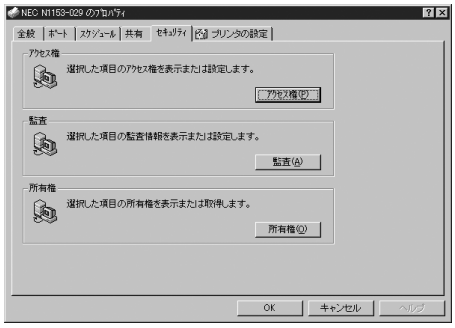
[共有] シート



このプロパティシートはネットワーク上でのプリンタの共有について設定するものです。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタドライバとして共通のものです。

詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

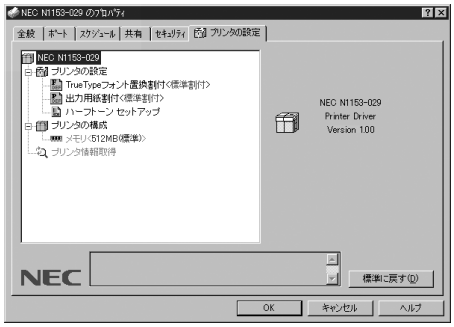
[セキュリティ] シート



このプロパティシートはプリンタのセキュリティについて表示・設定するものです。Windows NT 4.0 日本語版対応のプリンタドライバとして共通のものです。

通常ご使用になっている上では設定の変更は必要ありません。詳しくはWindows NT 4.0 日本語版のヘルプをご覧ください。

［プリンタの設定］シート



このプロパティシートはプリンタに関する以下の設定表示を行います。

設定内容は< >内に表示されます。通常は青色で、ダイアログボックスを開いた後に変更した場合は赤色で表示されます。設定が変更できない項目は、青色＋グレー、または赤色＋グレーで表示されます。

- ［NEC N1153-029］
  右側の表示エリアにプリンタドライバのバージョンを表示します。
- ［プリンタの設定］
  プリンタの設定を行います。以下の項目を設定できます。
  - ［TrueTypeフォント置換割付］（標準値：標準割付）
    TrueTypeフォントの置き換えを設定できます。以下の手順で置き換えを設定します。
    ① ［標準割付］を選択した場合は、［MSゴシック］はプリンタフォントの［ゴシック］に、［MS明朝］はプリンタフォントの［明朝］に置き換える設定となります。
    ［ユーザ割付］を選択した場合は、［割付設定］ボタンで置き換え方法をフォントごとに設定できます。
    ② ［OK］をクリックして設定を保存し、［プロパティ］－［プリンタの設定］シートを閉じます。
    ③ ［ドキュメントの規定値］－［その他］シートの［TrueTypeフォント置換］で［有効にする］を選択します。
    ［無効にする］を選択した場合は、フォントの置き換えは行われません。
    ④ ［OK］をクリックして設定を保存し、［その他］シートを閉じます。

チェック

文字セットが異なるフォント、デザインが著しく異なるフォントへの置き換えは行わないでください。
期待どおりの印刷結果にならない場合があります。

  - ［出力用紙割付］（標準値：標準割付）
  - 用紙サイズを出力サイズに割り付ける場合の割り付けを設定できます（サポート用紙サイズについては177ページを参照）。以下の手順で割り付けを設定します。
    ① ［標準割付］を選択した場合は、幅：2.84inch～6.49inch、長さ：2.34inch～6.99inchの範囲内の用紙と下記カット紙は［15x11inch］に設定されます。
    ［A3］、［A4］、［A5］、［B4（JIS）］、［B5（JIS）］、［Letter］、［はがき］、［往復はがき］、［A3横］、［A4横］、［A5横］、［B4（JIS）横］、［B5（JIS）横］、［Letter横］、［はがき横］、［往復はがき横］
    それ以外の用紙は［用紙サイズと同じ］に割り付ける設定となります。
    ［ユーザ割付］を選択した場合は、［割付設定］ボタンで割り付け方法を用紙サイズごとに設定できます。
    ② ［OK］をクリックして設定を保存し、［プロパティ］－［プリンタの設定］シートを閉じます。

③［ドキュメントの規定値］－［用紙］シートの［出力設定］で［割付に従う］をチェックします。
［割付に従う］をチェックしない場合は、用紙サイズの割り付けは行われません。

④［OK］をクリックして設定を保存し、［ドキュメントの規定値］－［用紙］シートを閉じます。

－［ハーフトーンセットアップ］
ハーフトーンの色設定を表示または変更できます。

［ハーフトーン セットアップ］ボタンをクリックすると［デバイスカラー/ハーフトーンのプロパティ］ダイアログ ボックスが表示されます。

詳細については［デバイス カラー /ハーフトーンのプロパティ］ダイアログ ボックスのヘルプをご覧ください。

- ［プリンタの構成］
プリンタに搭載されているメモリ量を表示します。
本装置では512MB固定となります。
- ［標準に戻す］ボタン
表示されているプロパティシートの内容を標準の状態に戻します。
- ［プリンタ情報取得］
Windows NT 4.0では機能しません。

設定の概要（プリンタのドキュメントのプロパティ）（Windows NT 4.0）

「プリンタのドキュメントのプロパティ」ダイアログの概要をプロパティシートごとに説明します。詳細な説明はヘルプを参照してください（ヘルプは［ヘルプ］ボタンをクリックするか、プロパティシートの［?］ボタンをクリック後、各アイテムをクリックすると表示されます）。

各プロパティシートを開くには、開きたい項目のタブをクリックします。

各プロパティシートおよびダイアログボックス共通ボタン

- ［OK］ボタン
  すべての設定を有効にし、設定を終了します。
- ［キャンセル］ボタン
  すべての設定を無効にし、変更以前の状態で設定を終了します。
- ［ヘルプ］ボタン
  プロパティダイアログボックスのヘルプを表示します。

［メイン］シート

このプロパティシートは以下の設定表示を行います。

［かんたん設定］
アイコンを選択することで、登録されている設定を読み込みます。

登録されている設定には、設定範囲の異なる「プリンタで登録済みの設定」と「ユーザが登録した設定」の2つの種類があります。詳細は「かんたん設定の使い方」（192ページ）を参照してください。

〈プリンタで登録済みの設定〉
プリンタドライバであらかじめ用意された設定です。
各「プリンタで登録済みの設定」は以下のように設定されています。－の欄は、設定を変更しません。

プリンタで登録済みの設定アイコン	設定内容								
	用紙サイズ	出力サイズ	割付に従う	部数	縦配置面数	横配置面数	ジョブエンドマークを付加する	印刷文書末尾に白紙ページを付加する	解像度
標準	－	用紙サイズと同じ	チェックあり	－	1面	1面	チェックなし	－	600dpi
高速	－	－	－	－	－	－	－	－	300dpi
ジョブエンドマーク	－	－	－	－	－	－	チェックあり	チェックなし	－
横2面付け	9.5×11inch	面付け数で自動設定	チェックなし	－	1面	2面	－	－	－
15×11inch固定	－	15×11inch	チェックなし	－	1面	1面	－	－	－

〈ユーザが登録した設定〉

ユーザが追加登録した設定です。

設定範囲は［ドキュメントの規定値］－［メイン］、［用紙］、［その他］シートのすべての設定となります。

チェック

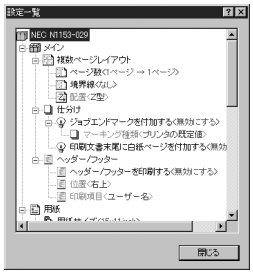
- 登録されている設定を読み込んだあとで設定範囲の項目を変更した場合は、アイコンの左下に「警告」マークが表示されます。ただし、アプリケーションによっては、アプリケーションで設定した解像度などが有効になり、最初から「警告」マークが付いている場合があります。変更した設定を元に戻すか、「警告」マークがついたアイコンをクリックすると「警告」マークが表示されなくなります。
- 「ユーザが登録した設定」の設定範囲には、［ハーフトーン カラーの調整］、［印刷位置微調整］、［フォーム］ダイアログボックスの設定も含まれます。

［登録と削除］

［かんたん設定の登録と削除］ダイアログボックスを表示し、かんたん設定の登録と削除を行うことができます（179ページ参照）。

［設定一覧］

現在設定されている内容の一覧を表示します。



［初期値に戻す］

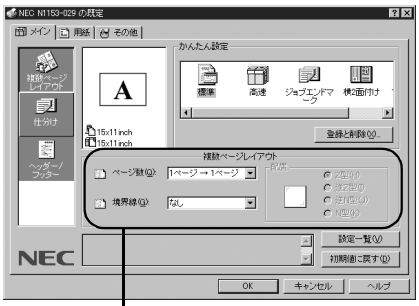
［ドキュメントの規定値］－［メイン］、［用紙］、［その他］シートのすべての設定を初期値に戻します。

機能選択バー

［メイン］シート左側のバーで設定したい機能を選択します。以下の機能が設定できます。

.....239ページ
.....239ページ
.....240ページ

機能選択バー



機能選択バーで選択した項目に併せてこのフィールドの表示が切り替わる。

- ［複数ページレイアウト］（初期値：［1ページ→1ページ］）
  複数ページ印刷の設定を行います。以下の項目を設定できます。
  - ［ページ数］
    複数のページ印刷を選択すると、選択したページ数分を用紙の一面に縮小印刷します。
    選択できるページ数は、［1ページ→1ページ］、［2ページ→1ページ］、［4ページ→1ページ］、［6ページ→1ページ］、［8ページ→1ページ］、［9ページ→1ページ］および［16ページ→1ページ］です。
  - ［境界線］（初期値：なし）
    縮小配置した各ページ単位に境界線を選択します。選択できる境界線は、「なし」、「実線」、「破線」、「点線」および「カットマーク」です。
    本設定は常に有効で、グレー表示になることはありません。
  - ［配置］（初期値：グレー表示、無効）
    複数のページ印刷の並びかたを選択します。
    ［2ページ→1ページ］の場合は、［左→右］、［右→左］から選択できます。
    ［4ページ→1ページ］、［6ページ→1ページ］、［8ページ→1ページ］、［9ページ→1ページ］、［16ページ→1ページ］の場合は、［Z型］、［逆Z型］、［N型］、［逆N型］から選択できます。
    ［1ページ→1ページ］以外はグレー表示され使用できません。

チェック

この機能は以下の場合を除き、常に有効です。ただし［境界線］は常に有効で、グレー表示になることはありません。

- ［ドキュメントの既定］－［用紙］シートと［その他］シートの［印刷位置微調整］で［拡大縮小率を指定する］がチェックされている場合
- ［ドキュメントの規定値］－［用紙］シートの［N面付け］で［縦配置面数］または［横配置面数］が［1面］以外に設定されている場合
- ［ドキュメントの規定値］－［その他］シートの［フォーム印刷を使用する］がチェックされている場合

- ［仕分け］
  仕分けの設定を行います。以下の項目を設定できます。

  - ［ジョブエンドマークを付加する］（初期値：チェックなし、未選択）
    本設定をチェックすると、ジョブ末尾に付加した白紙ページのミシン目に黒いマークを印刷します。

チェック

［印刷文書末尾に白紙ページを付加する］が選択されている場合は使用できません。

  - ［マーキング種類］（初期値：プリンタ既定値）
    ジョブエンドマークパターンを設定します。
    パターン1～パターン4、プリンタの既定値を設定できます。
    ［ジョブエンドマークを付加する］を選択している場合のみ使用できます。
  - ［マーキング数］（初期値：グレー表示、無効）
    ジョブエンドマークのマーキング数を設定します。2～6まで設定できます。
    ［ジョブエンドマークを付加する］を選択している場合のみ使用できます。
  - ［印刷文書末尾に白紙ページを付加する］（初期値：チェックなし、未選択）
    本設定をチェックすると、ジョブ末尾に白紙ページを付加します。

チェック

［ジョブエンドマークを付加する］が選択されている場合は使用できません。

－ ［白紙ページ数］（初期値：グレー表示、無効）
ジョブ末尾に付加する白紙ページ数を設定します。1～6まで設定できます。
[印刷文書末尾に白紙ページを付加する]を選択している場合のみ使用できます。

- ［ヘッダー /フッター］
ヘッダー/フッターの設定を行います。以下の項目を設定できます。

－ ［ヘッダー /フッターを印刷する］（初期値：チェックなし、未選択）
本設定をチェックすると、［印刷項目］で選択した項目を指定位置に印刷します。

－ ［印刷項目］（初期値：グレー表示、無効）
ヘッダー、フッターに印刷する項目を選択します。［ユーザ名］、［コンピュータ名］、［ユーザ名/コンピュータ名］、［日付］、［時刻］、［日付/時刻］、［ドキュメント名］、［ページ番号］、［文字列入力］から選択してください。

－ ［位置］（初期値：グレー表示、無効）
ヘッダー、フッターを印刷する位置を指定します。［左上］、［中上］、［右上］、［左下］、［中下］、［右下］から選択してください。

－ ［文字列入力］（初期値：グレー表示、無効）
ヘッダー、フッターに印刷する文字列を入力します。［印刷項目］コンボボックスで［文字列入力］を選択すると、グレー表示が解除され、入力可能になります。入力できる文字列は、全角で64文字、半角で64文字までです。

［用紙］シート

このプロパティシートは用紙に関する以下の設定表示を行います。

- ［原稿設定］（初期値：15x11inch）
  編集時の用紙サイズを選択します。プリンタで選択できる用紙サイズは「サポート用紙サイズ」（177ページ）を参照してください。
  以下の条件の場合は［15x11inch］として印刷されます。
  - ［割付に従う］がOFFで、かつ［出力サイズ］で［用紙サイズと同じ］が選択されている場合にカット紙サイズを選択した場合。
  - ［割付に従う］がOFFで、かつ［出力サイズ］で［用紙サイズと同じ］が選択されている場合に、用紙幅が2.84inch以上6.49inch以下または用紙長が2.34inch以上6.99inch以下の用紙を選択した場合。

チェック

- ［用紙サイズ］にはコンピュータ上に登録されている用紙サイズのうち使用可能な用紙サイズすべて表示されますが、使用できる定形外用紙は、以下の範囲内の用紙です。
  （コンピュータ上に登録された用紙サイズは［プリンタ］フォルダの［サーバーのプロパティ］で参照できます。）
  ー 幅：2.84inch ～ 18.00inch
  ー高さ：2.34inch ～ 14.00inch
- 選択可能なカット紙は以下の通りです。
  [A3、[A4]、[A5]、[B4 (JIS)]、[B5 (JIS)]、[Letter]、［はがき］、[往復はがき]、[A3 横]、[A4 横]、[A5 横]、[B4 (JIS) 横]、[B5 (JIS) 横]、[Letter 横]、[はがき 横]、[往復はがき 横]
- ［ドキュメントの規定値］ー［その他］シートの［フォーム印刷を使用する］がチェックされている場合は、グレー表示となり使用できません。

- ［出力設定］
  （初期値　出力サイズ：グレー表示、無効
  割付に従う：チェックあり、選択
  拡大縮小率を指定する：チェックなし、未選択）

  印刷時の用紙サイズ（出力サイズ）、拡大縮小率を設定します。拡大縮小率は10～400％まで設定できます。
  - ［割付に従う］をチェックした場合は、プリンタの［プロパティ］ー［プリンタの設定］シートで設定した割付内容に従い出力サイズが選択されます。
  - ［割付内容の表示］は、プリンタの［プロパティ］ー［プリンタの設定］シートで設定した割付内容を確認することができます。

チェック

- ［N面付け］ -［縦配置面数］または［横配置面数］で［1面］以外が選択されている場合は、［出力サイズ］は［面付け数で自動設定］固定でグレー表示となり使用できません。
- ［ドキュメントの規定値］ー［その他］シートの［フォーム印刷を使用する］がチェックされている場合は、グレー表示となり使用できません。
- ［ドキュメントの規定値］ー［メイン］シートの［複数ページレイアウト］で［1ページ→1ページ］以外が選択されている場合は、［拡大縮小率を指定する］はグレー表示となり使用できません。
- ［出力サイズ］で選択できる定形外用紙は、以下の範囲内の用紙です。
  幅：6.5inch ～ 18.00inch
  高さ：7.0inch ～ 14.00inch

- ［部数］（初期値：1）
  印刷時の部数を設定します。1～999部までを設定できます。

チェック

アプリケーションによっては、アプリケーションで設定した部数が優先される場合があります。その場合はアプリケーションで設定を行ってください。

- ［N面付け］（初期値：グレー表示、無効）
  詳細については「N面付け印刷」（184ページ）を参照してください。
  - 複数ページを1枚の紙に等倍配置し印刷できます。選択できる面数は［縦配置面数］、［横配置面数］共に1/2/3面ですが、用紙サイズにより利用できる面数が異なります。
    ［ドキュメントの規定値］ー［メイン］シートの［複数ページレイアウト］の[境界線]で境界線を選択することができます。
  - ［配置］ボックスで複数のページ印刷の並べかたを選択します。［縦配置面数]が[1面]の場合は、［左→右型］が選択されます。［横配置面数]が[1面]の場合は、［上→下型］が選択されます。［縦配置面数]、［横配置面数]どちらも[1面]以外の場合は、［Z型］、［逆N型］から選択できます。
  - ［その他］シートの［印刷位置微調整］で［印刷位置微調整］ボタンをクリックすると、ダイアログボックスが開き印刷位置を設定することができます。詳細は［印刷位置微調整］の説明を参照してください。

チェック

［ドキュメントの規定値］ー［その他］シートの［フォーム印刷を使用する］がチェックされている場合は、グレー表示となり使用できません。

［その他］シート

このプロパティシートはその他に関する以下の設定表示を行います。

設定・情報の確認は左側のツリービューで項目を選んで右側のボックス、ボタンを使って行います。グレーで表示されている項目は、設定が変更できない項目です。

設定内容は< >内に表示されます。通常は青色で、ダイアログ ボックスを開いた後に変更した場合は赤色で表示されます。設定が変更できない項目は、青色＋グレー、または赤色＋グレーで表示されます。

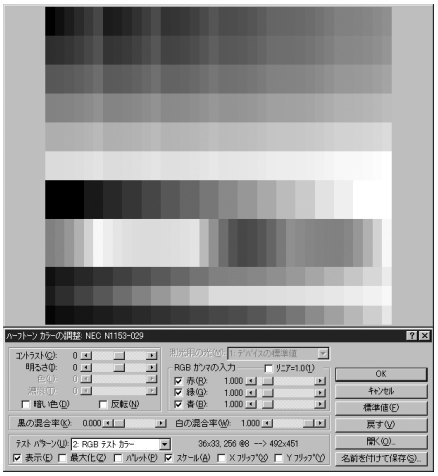
- ［NEC N1153-029］
  右側の表示エリアにプリンタドライバのバージョンを表示します。

- [解像度]（初期値：600dpi）
  プリンタの解像度を選択できます。以下の値を選択できます。
  600dpi（23.6dot/mm）
  400dpi（15.7dot/mm）
  300dpi（11.8dot/mm）
  240dpi（9.4dot/mm）
  200dpi（7.9dot/mm）
- [ブラシパターン]（初期値：拡大する）
  ブラシパターンの表現方法を選択します。
  [拡大する]を選択すると、網掛けパターンを拡大をして印刷します。模様などのパターンが細かすぎて読めない場合に選択します。
  アプリケーションによっては、設定が有効にならない場合があります。

チェック

[印刷モード]で[ビットマップ]が選択されている場合は、グレー表示となり使用できません。

- [印刷モード]（初期値：標準）
  印刷モードを選択します。
  図形の重なりが正しくないなどの問題が発生する場合は、[ビットマップ]を選択してください。
- [ハーフトーン カラーの調整]
  ハーフトーンカラー設定を表示または変更できます。
  [ハーフトーンカラーの調整]ボタンをクリックすると[ハーフトーンカラーの調整]ダイアログ ボックスが表示されます。



詳細については[ハーフトーンカラーの調整]ダイアログ ボックスのヘルプをご覧ください。

- [文字セット]（初期値：JIS90）
  プリンタフォントの文字セット（日本工業規格で定められているJISコード）を選択します。
- [TrueTypeフォント置換]（初期値：有効にする）
  TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えます。
  [有効にする]を選択すると、[プロパティ]－[プリンタの設定]シートの[TrueTypeフォント置換割付]で設定された割付設定に従いTrueTypeフォントの置き換えを行います。

チェック

[印刷モード]で[ビットマップ]が選択されている場合は、グレー表示となり使用できません。

- [OCR文字の文字ピッチ]（初期値：固定しない）
  OCR文字の文字ピッチを選択します。
  [固定する]を選択すると、日本工業規格（JIS）で定められている文字ピッチに固定することができます。

チェック

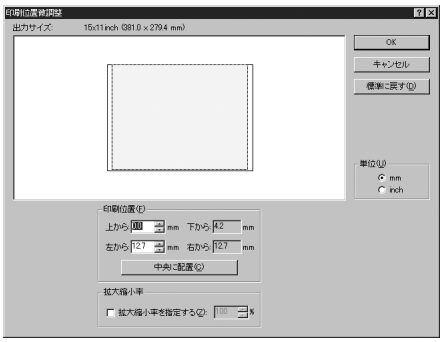
[印刷モード]で[ビットマップ]が選択されている場合は、グレー表示となり使用できません。

- [文字の表現]（初期値：標準（グレースケール））
  文字の表現方法を選択します。
  [白黒]を選択すると、文字の色を、グレースケールを使わずに、白か黒のいずれかで印刷することができます。

チェック

[印刷モード]で[ビットマップ]が選択されている場合は、グレー表示となり使用できません。

● ［印刷位置微調整］
［印刷位置微調整］ボタンをクリックすると、［印刷位置微調整］ダイアログ ボックスを表示します。



N面付け印刷を行うか否かで表示される画面に違いがあります。以下の項目を設定できます。

－ N面付け印刷機能未使用時

－［単位］（初期値：mm）
設定する単位（mm、inch）を設定します。

－［印刷位置］（初期値：上から0.0mm、左から12.7mm）
出力用紙の印刷範囲枠の位置を設定します。印刷範囲枠の位置設定は、[上から]または[左から]しか設定できません。[下から]または[右から]は、それに連動して自動的に設定されます。
また、[中央に配置]ボタンをクリックすると、印刷範囲枠を用紙の中央に配置します。

－［拡大縮小率を指定する］（初期値：チェックなし）
本設定をチェックすると印刷文書の拡大縮小率を10%～400%の範囲で設定できます。［用紙サイズ］で指定した用紙サイズと［出力用紙サイズ］で指定した用紙サイズが異なる場合、自動的に拡大縮小率は設定されます。

チェック

- ［用紙］シートの［拡大縮小率を指定する］と連動します。
- ［メイン］シートー［複数ページレイアウト］で複数ページ印刷を設定した場合、本項目は設定できません。
- ［その他］シートー［フォーム］でフォーム印刷を設定した場合、本項目は設定できません。
- ［用紙］シートのN面付けで[縦配置面数]または[横配置面数]を[1面]以外に設定した場合、本項目は設定できません。

－ N面付け印刷機能使用時

－［単位］
設定する単位（mm、inch）を設定します。

－［印刷位置］
出力用紙の印刷範囲枠の位置を設定します。印刷範囲枠の位置設定は、[論理配置面の上から]または[論理配置面の左から]しか設定できません。[論理配置面の下から]または[論理配置面の右から]は、それに連動して自動的に設定されます。
また、[論理配置面の中央に配置]ボタンをクリックすると、印刷データを中央にした論理配置面をN面配置します。

● ［操作パネル表示］（初期値：ユーザ名）
プリンタの主操作パネル表示の設定を行います。以下の項目を設定できます。

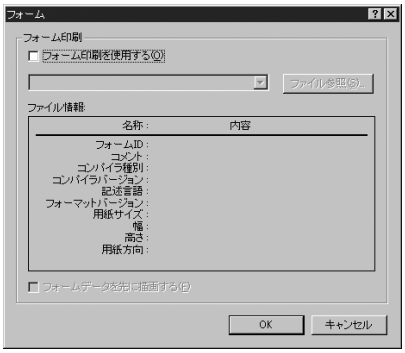
－ ［なし］
印刷時にプリンタの主操作パネルの下段に何も文字列を表示しない場合に選択します。

－ ［ユーザ名］
ネットワークにログインしている場合、印刷時にプリンタの主操作パネルの下段にユーザ名を表示します。印刷文書の所有者を明確にしたい場合に選択します。

- ［指定文字列］
  印刷時にプリンタの主操作パネルの下段に［表示文字列］に入力した文字列を表示します。印刷文書の所有者を明確にしたい場合に選択します。
- ［表示文字列］
  指定文字列を選択した場合、［表示文字列］テキストボックスにプリンタの主操作パネルの下段に表示させたい文字列を入力してください。英数半角カナ文字で16文字まで入力することができます。
  入力できる文字は下表の英数カナ文字です。

ｽﾍﾟｰｽ	0	@	P		p		ー	タ	ミ
!	1	A	Q	a	q	。	ア	チ	ム
	2	B	R	b	r	「	イ	ツ	メ
#	3	C	S	c	s	」	ウ	テ	モ
$	4	D	T	d	t	、	エ	ト	ヤ
%	5	E	U	e	u	・	オ	ナ	ユ
&	6	F	V	f	v	ヲ	カ	ニ	ヨ
’	7	G	W	g	w	ァ	キ	ヌ	ラ
(	8	H	X	h	x	ィ	ク	ネ	リ
)	9	I	Y	i	y	ゥ	ケ	ノ	ル
*	:	J	Z	j	z	ェ	コ	ハ	レ
+	;	K	[	k	{	ォ	サ	ヒ	ロ
,	<	L	¥	l	|	ャ	シ	フ	ワ
−	=	M	]	m	}	ュ	ス	ヘ	ン
.	>	N	^	n		ョ	セ	ホ	゛
／	?	O	_	o		ッ	ソ	マ	゜

- ［フォーム］（初期値：無効にする）
  フォーム印刷に関する設定表示を行います。



［フォーム］ボタンをクリックすると、［フォーム］ダイアログボックスが表示され、設定を行うことができます。

フォーム印刷とは、見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文書データを重ね合わせて印刷することです。

フォーム印刷を行う場合は、［フォーム印刷を使用する］を選択して、使用したいフォームファイルをコンボボックスで選択します。
また、以下の設定ができます。

- ［フォームデータを先に描画する］
  本設定をチェックするとフォームデータを文書の下に描画します。

チェック

- フォーム印刷を有効にした場合は、フォームデータが優先されるため、以下の項目がグレー表示となり、変更できなくなります。
  ［原稿設定］
  ［出力設定］
  ［N面付け］
  ［複数ページレイアウト］
  ［印刷位置微調整］
- 印刷データの途中で［用紙サイズ］等が変更された場合の印刷結果は保証されません。
- フォームデータで設定された［用紙サイズ］等が、アプリケーションソフトウエアの設定と異なる場合は、印刷結果は保証されません。
- フォームデータは、「￥OS ROOT ￥system32」フォルダに置いてください。

- プリンタ情報取得
  Windows NT 4.0では使用できません。

SimpleMonitor

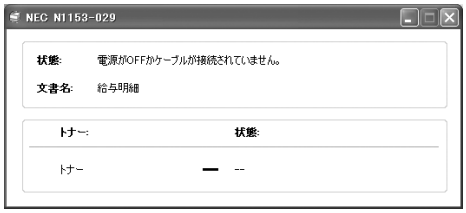
プリンタのトナーの交換時期、またはエラーが発生したときの内容など、印刷ジョブやプリンタの状態を確認することができるユーティリティです。

チェック

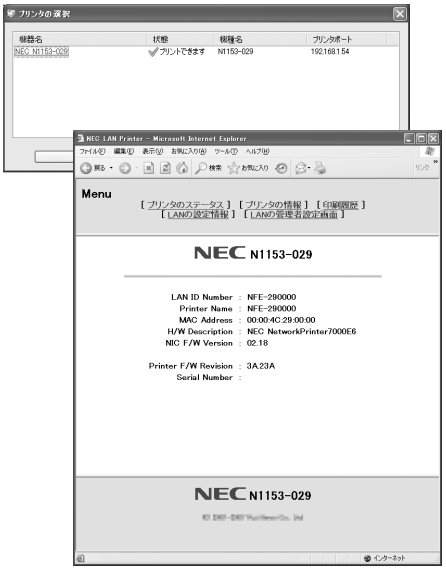
- SimpleMonitorはWindows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003*1 環境に対応しています。
- SimpleMonitorはプリンタソフトウエアCD-ROMに収録されています。インストールする場合は、「2章 プリンタソフトウエアの インストールと削除」の「Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/日本語版」（46ページ）を参照してください。
- 「SIF」環境ではSimpleMonitorはご使用になれません。

SimpleMonitorは次の2つのウィンドウを表示させます。

- Printing Status Window（PSW）
  印刷中のジョブに関する情報をポップアップ表示します。
- WEBブラウザベースの管理ウィンドウ
  SimpleMonitorを起動後、選択したプリンタの情報をWEBブラウザベースの画面で表示します。



Printing Status Window（PSW）



WEBブラウザベースの管理ウィンドウ

*1 IA64版Windows Server 2003を除く64ビット版Windowsにも対応しています。

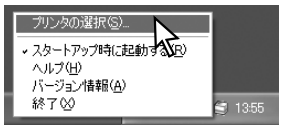
SimpleMonitorの起動方法には、以下の2種類があります。

チェック

Printing Status Window（PSW）は手動で起動しません。ポップアップ表示の設定に従って印刷中のみ自動で起動します。

- ［スタート］メニューから開く
  ［スタートメニュー］の［すべてのプログラム*1］から［NEC Printers］フォルダ、［SimpleMonitor］フォルダ、［SimpleMonitorの起動］の順にクリックすると、［プリンタの選択］ダイアログボックスが開きます。

- タスクバーの［SimpleMonitor］アイコンから開く
  タスクバーの［SimpleMonitor］アイコンをダブルクリックするか、右クリックから［プリンタの選択］をクリックすると、［プリンタの選択］ダイアログボックスが開きます。

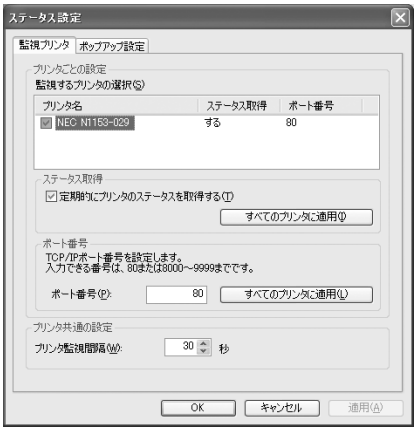


表示された［プリンタの一覧］から目的のプリンタの機種名をクリックすると、該当のプリンタの情報をWEBブラウザベースのウィンドウで表示します。ウィンドウの操作や表示内容の説明については、3章の「WWWブラウザ」（80ページ）を参照してください。

チェック

フレーム表示対応のWWWブラウザを使用する必要があります。Internet Explorer 3.X以降または、Netscape Navigator 3.X以降などのフレーム対応ブラウザをご使用ください。

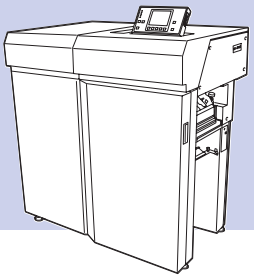
また、［プリンタの選択］画面の［ステータス設定］をクリックすると、SimpleMonitorで監視するプリンタの設定、監視方法、およびPSWのポップアップ表示の設定などをする［ステータス設定］画面を表示します。設定項目の詳細については、SimpleMonitorのヘルプを参照してください（タスクバーの［SimpleMonitor］アイコンを右クリックして表示されるメニューから［ヘルプ］をクリックしてください）。



*1 Windows XP/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003以外では［プログラム］です。

メ　モ

7章
関連製品

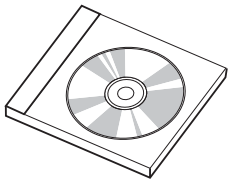


この章では、N1153-029に取りそろえられている関連製品を紹介します。関連製品のご購入にあたりましては、お買い上げの販売店にお問い合わせください。

関連製品の紹介

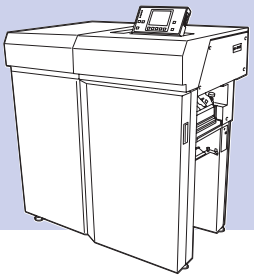
専用ソフトウェア

LLプリンタ支援ソフトウェア Ver.1.0



Expressサーバ（OS： Windows Server 2003、Windows 2000 Server）上で動作する印刷制御ソフトウェアです。
オフィスコンピュータで使用していたCOBOLアプリケーションから出力される従来の印刷データ（SIF旧情処）をWindowsデータに変換し、Windowsプリンタドライバを経由して本プリンタでの印刷を実現します。従来環境で使用していたフォームやフォントを移行することが可能なので、従来の様式をそのまま印刷することができます。

8章
日常の保守



清　掃

長時間プリンタを使用すると、紙紛がプリンタの各部にたまったり、表面がトナーで汚れてきます。常に最良の状態で使用するために、オペレータはプリンタの清掃を定期的に行ってください。

⚠注意 清掃をする前にプリンタの電源を切ってください（「電源のOFF」（158ページ）を参照）。切らないで行うと、火災や感電の原因となることがあります。

清掃用具

日常清掃時に必要な清掃用具と清掃周期を以下に示します。

表8-1　清掃用具

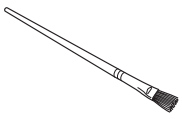
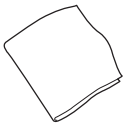
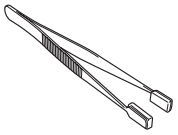
品名	用途
清掃筆 	紙紛、トナーの汚れの除去。
ワイピングガーゼ（EF-4109） ウエットワイパ（EF-4119L） 	紙紛、トナーの汚れの除去。
ワイヤクリーナ 	紙紛、トナーの汚れの除去。

表8-2　清掃周期*1

清掃箇所	清掃頻度	参照ページ
フラッシュランプ部のガラス	始業点検時*2	253ページ
トラクタ周辺・用紙先端検出センサ	約15,000ページごと*2	255ページ
前扉周辺		257ページ
転写チャージャ		257ページ
ADCセンサ		258ページ
トナー補給・回収系	適宜	－

*1　清掃周期の目安としてください。印刷した用紙のサイズやページ数、印刷データによって多少の誤差があります。

*2　用紙ジャムのときは、その都度、必要に応じて行ってください。

清掃手順

以下の手順に従って清掃してください。

⚠警告　清掃する際には、フューザ部に紙片が残っていないか十分確認してください。
紙片が残ったまま印刷すると、フューザ部に残った紙片によって未定着障害が発生するばかりでなく、用紙焦げや発煙の原因となることがあります。

⚠注意　フラッシュランプを閉じるときは、指をはさまないように注意してください。

チェック

- 清掃作業は、危険防止のため必ずプリンタの電源をOFFにして、ブレーカを落としてから作業してください。
- フラッシュランプ部のガラスを清掃する際は、ガラスを破損しないよう注意してください。
- 印刷直後はフラッシュランプが高温になっているため、十分冷めてから清掃作業を始めてください。
- 前扉を開いた際は、必ず前扉ロック金具で前扉をロックし、閉じる際には前扉ロック金具のロックを解除してから前扉を閉めてください。

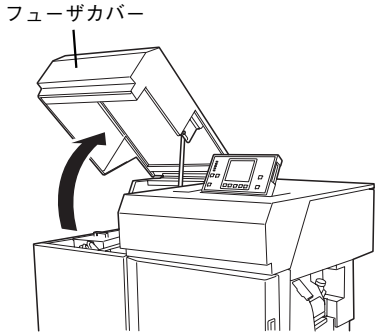
フラッシュランプ部のガラスの清掃

フラッシュランプ部のガラス面が汚れていると、定着不良、地汚れが生じるので定期的に点検清掃をする必要があります。また、印字出力に伴い、ガラスにトナーが付着することがあるため、始業点検時に汚れていれば清掃する必要があります。ただし、用紙ジャム発生時にはその都度必要に応じて清掃します。

⚠注意 印刷終了直後はガラス面が高温になっているため、10分以上経過してから清掃してください。

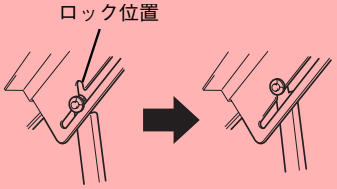
清掃は以下の手順に従って行います。

1 フューザカバーを開く。

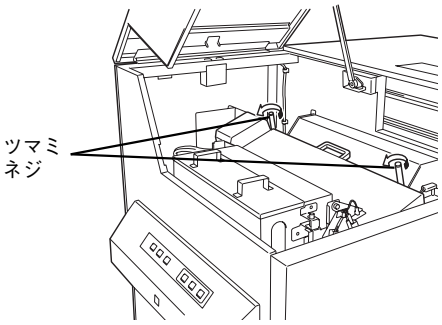


重要

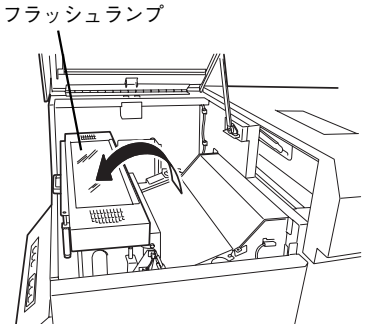
フューザカバーは図に示す位置でロックさせます。ロックしていないと、不安定な状態となり、カバーが突然閉まり、手が挟まるなどの原因となります。



2 ツマミネジ（2本）を解除する。

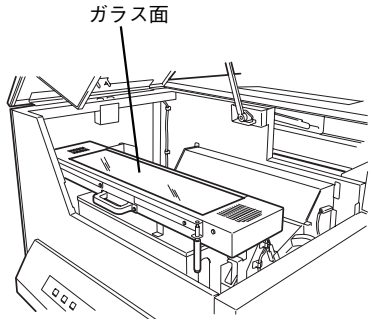


3 フラッシュランプの取っ手を持って開く。



4 ガラスおよび用紙搬送路に汚れがないか点検し、ガラス面に付着しているトナーをワイピングガーゼでからぶきする。

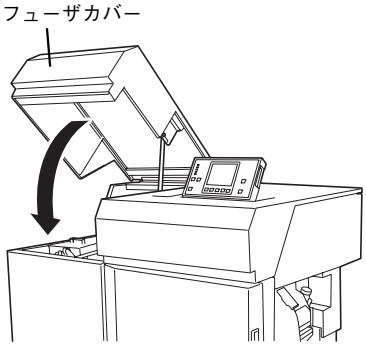
ガラス面に付着しているトナーが多い場合は、ウエットワイパで拭きとってからワイピングガーゼでからぶきしてください。



ガラスの汚れがひどく、清掃しても取れないような場合は、保守員に連絡してください。

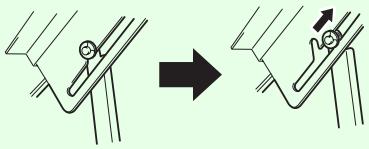
5 フラッシュランプをゆっくりと閉じる。

6 フューザカバーを閉じる。



チェック

フューザカバーを閉じるときは、いったんフューザカバーを軽く持ち上げて、ガイドの端をロック位置から開放し、手を添えながらゆっくりと閉じてください。



トラクタ周辺の清掃

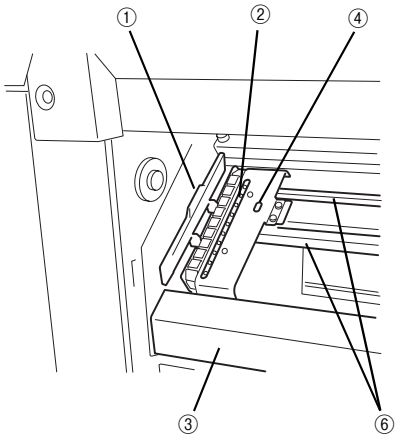
これらの部分は用紙との接触が特に多いため、用紙片や紙粉がたまりやすくなります。安定した印刷品質やプリンタの動作を保つために清掃してください。また、用紙ジャム発生時にはトラクタ周辺などに用紙片が残っていないことを確認し、その都度必要に応じて清掃します。
清掃は以下の手順に従って行います。

1 転写前側（ホッパ部）のトラクタフレームユニットを清掃する。

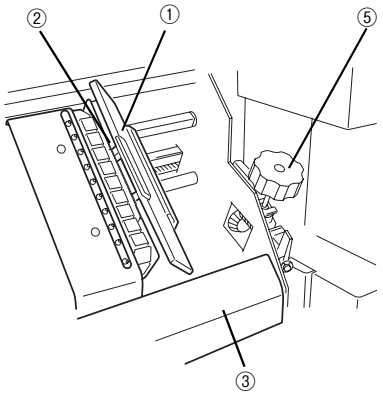
以下に清掃内容を示します。表と図に従って清掃を行ってください。なお、表と図の番号は対応しています。

表8-3　トラクタフレームユニット（ホッパ部）の清掃

順番	内容
①	ペーパドアの汚れをふき取る。
②	ペーパドアを開けて、裏側の汚れをふき取る。ワイピングガーゼをたたくようにして、トラクタピンにはさまった紙紛をふき取る。
③	TRペーパガイド表面の汚れをワイピングガーゼでふき取る。
④	用紙先端センサ1の検出窓部の汚れをワイピングガーゼでふき取る。
⑤	用紙幅調整ノブ表面の汚れをワイピングガーゼでふき取る。
⑥	シャフト（2本）の汚れをワイピングガーゼでふき取る。

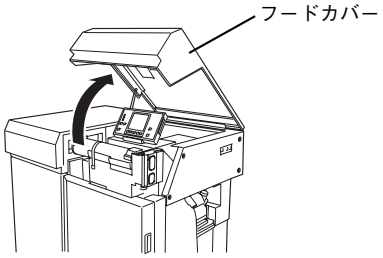


トラクタ（左）



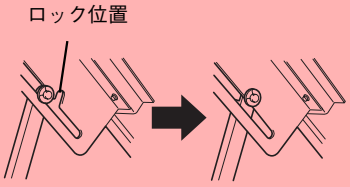
トラクタ（右）

2 フードカバーを開く。



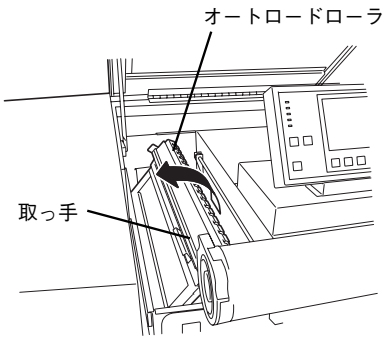
重要

フードカバーは図に示す位置でロックさせます。ロックしていないと、不安定な状態となり、カバーが突然閉まり、手が挟まるなどの原因となります。



3 オートロードローラを開く。

オートロードローラにある取っ手を持ってゆっくりと開いてください。

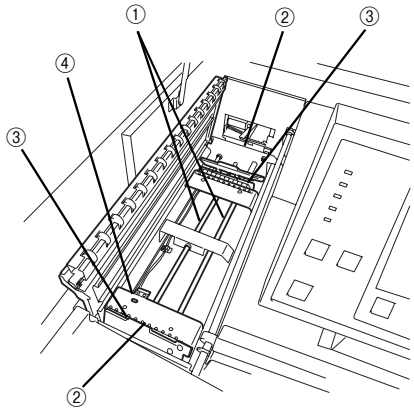


4 転写後側（プリンタ内）のトラクタフレームユニットを清掃する。

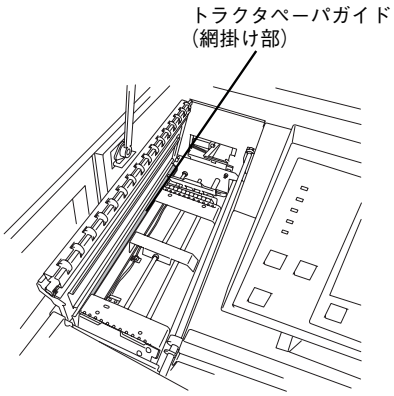
以下に清掃内容を示します。表と図に従って清掃を行ってください。なお、表と図の番号は対応しています。

表8-4　トラクタフレームユニット（プリンタ内部）の清掃

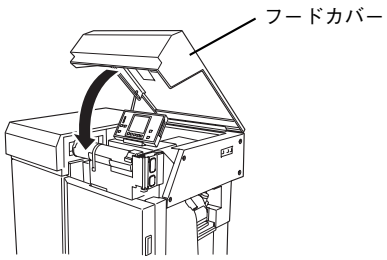
順番	内容
①	シャフト（2本）の汚れをワイピングガーゼでふき取る。
②	ペーパドア表面の汚れをふき取る。
③	ペーパドアを開けて、裏面の汚れをふき取る。ワイピングガーゼをたたくようにして、トラクタピンにはさまった紙紛をふき取る。
④	用紙先端センサ2の検出窓部の汚れをワイピングガーゼでふき取る。



5 トラクタペーパガイド周辺の汚れをワイピングガーゼでふき取る。



6 フードカバーを閉じる。



チェック

- トラクタユニットを元に戻す際は、右側面の用紙セット側に異物などが挟まれていないことを確認してから操作してください。
- 前扉を開いた際は、必ず前扉ロック金具で前扉をロックし、閉じる際には前扉ロック金具のロックを解除してから前扉を閉めてください。

前扉の内側・転写チャージャの清掃

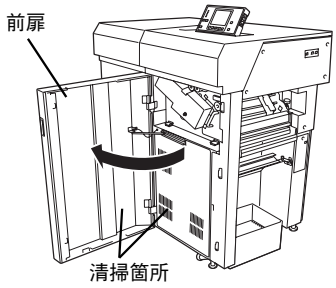
プリンタ内を清潔に保つために前扉の内側を清掃します。また、転写チャージャが汚れると印刷面に薄くトナーの汚れなどが付着することがあります。定期的に清掃してください。清掃は以下の手順に従って行います。

チェック

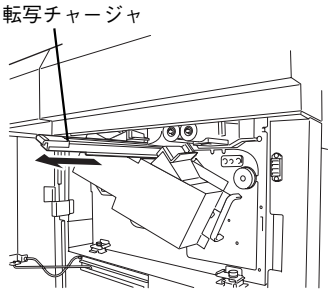
- 転写チャージャはまっすぐに抜き差ししてください。斜めに抜き差しすると、プリンタ内部の部品を傷つけるおそれがあります。転写チャージャの取り外し／取り付けがしづらい場合は、次ページ以降の手順***1***～***7***を参照してトラクタユニットを引き出してください（トラクタユニットを引き出した場合は、作業後に確実にトラクタユニットをプリンタに押し込んでください(259ページの手順***8***参照)。
- 転写チャージャのワイヤは細く、切れやすいため、無理な力を加えないよう注意しながら清掃してください。また、転写チャージャが奥に突き当たるまで押し込んでください。

1 前扉を開く。

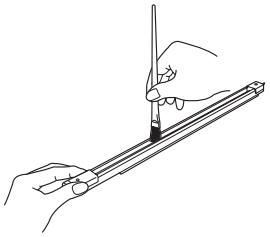
前扉の内側とプリンタ内部の前面にたまった汚れをワイピングガーゼでふき取ってください。



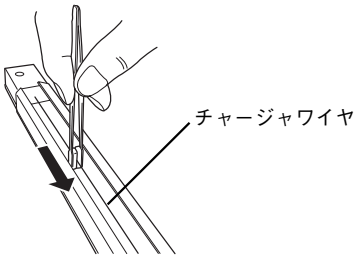
2 転写チャージャの取っ手を持って引き抜く。



3 清掃筆で転写チャージャのケース全体を清掃する。



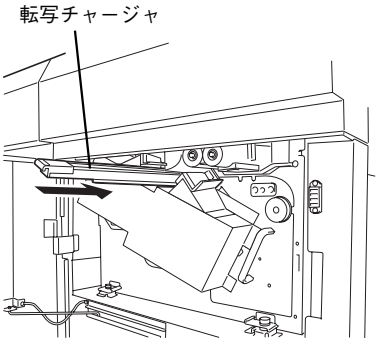
4 チャージャワイヤをワイヤクリーナで軽くはさみ、全長にわたってゆっくり動かす。



チェック

- チャージャワイヤは細く切れやすいため、無理な力を加えないようにしてください。
- ワイヤクリーナは左右いずれか一方向に向けて動かしてください。左右に動かすとチャージャワイヤに負荷がかかり切れてしまうことがあります。

5 チャージャを元の位置に戻す。

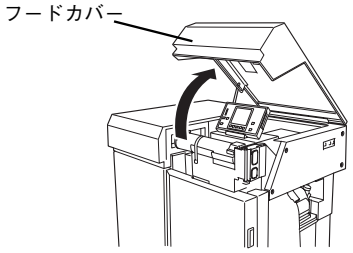


6 前扉を閉じる。

ADCセンサの清掃

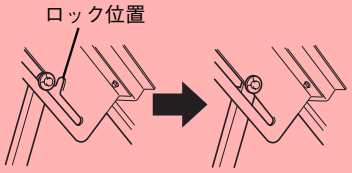
プリンタ内には印刷濃度を調整するセンサが取り付けられています。印刷濃度を均一に保つためにセンサを定期的に清掃してください。
清掃は以下の手順に従って行います。

1 プリンタのフードカバーを開ける。

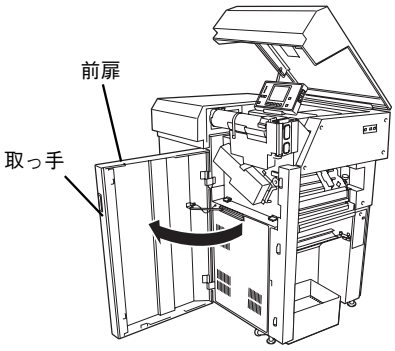


重要

フードカバーは図に示す位置でロックさせます。ロックしていないと、不安定な状態となり、カバーが突然閉まり、手が挟まるなどの原因となります。

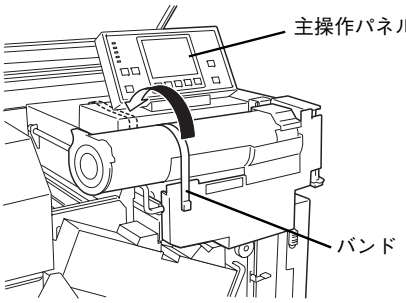


2 前扉の取っ手を持って手前に開く。

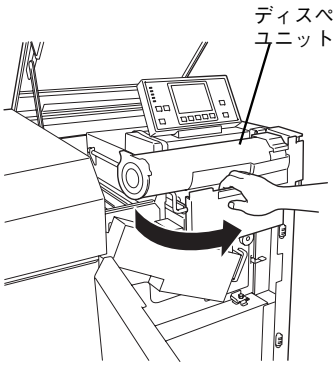


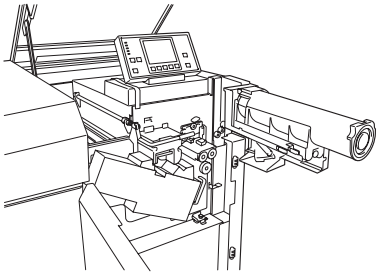
3 ディスペンサユニットを固定しているバンドのロックを解除する。

解除したバンドはじゃまにならないよう主操作パネルの横に置いてください。



4 操作部を持って、ディスペンサユニットを手前に90度回す。

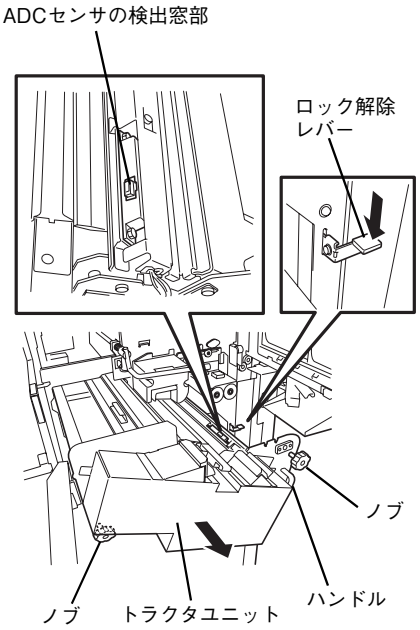




5 プリンタ内部前面にある緑色のノブ（2 か所）を反時計回りに回してトラクタユニットのロックを解除する。

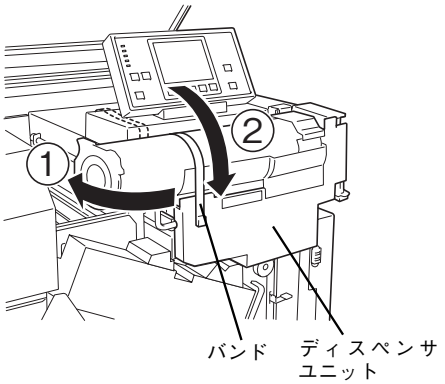
6 緑色のロック解除レバーを押しながら、ハンドルをしっかりと握ってトラクタユニットを手前に止まるまでゆっくりと引き出す。

7 トラクタユニット上部にあるADCセンサの検出窓部の汚れをワイピングガーゼでふき取る。

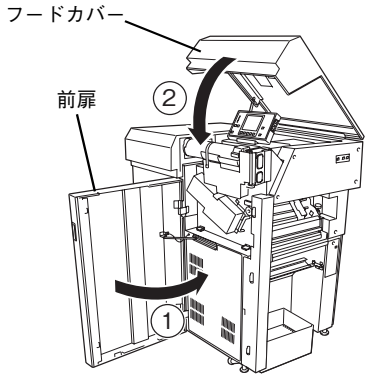


8 緑色のロック解除レバーを押しながら、引き出したトラクタユニットをプリンタにしっかりと押し込んでノブ（2か所）で確実に固定する。

9 ディスペンサユニットを元の位置に戻し、バンドでディスペンサユニットを固定する。

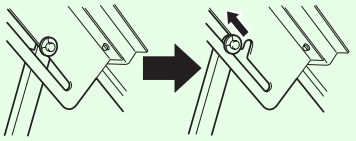


10 前扉を閉じて、フードカバーを閉じる。



チェック

フードカバーを閉じるときは、いったんフードカバーを軽く持ち上げて、ガイドの端をロック位置から開放し、手を添えながらゆっくりと閉じてください。

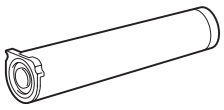
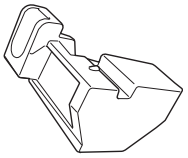
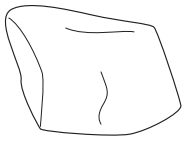


トナーカートリッジの交換

ディスプレイに“消耗品残少（トナー）”が表示された場合は、トナーが残り少なくなったことを示します。表示されると同時に印刷が不可能になることはありませんが、なるべく早く以下の手順でトナーを補給してください。
なお、電源投入時または印刷中、ディスプレイに“76　トナーが無くなりました”が表示された場合は、トナーを補給しないと印刷はできません。

本プリンタで推奨する交換用トナーカートリッジは、「トナーキット（型番：N1154-SU001）」です。トナーキットには次のものが含まれています。

表8-5　トナーキット

品名	数量
トナーカートリッジ 	1本
廃トナーボックス 	3個（シール含む）
ビニール手袋	1組
ビニール袋（大） トナーカートリッジ廃棄用	1枚
ビニール袋（小） 廃トナーボックス廃棄用 	3枚
使用済廃トナーボックス口止め用 シール(銀色)	3式

重要

このプリンタは、純正のトナーカートリッジを使用時に印刷品質やプリンタの性能が最も安定するように設計されています。純正品と異なる仕様のトナーカートリッジを使用された場合、プリンタ本来の印刷品質や性能を発揮できない場合がありますので、トナーカートリッジは純正品のご使用をお勧めいたします。

トナーカートリッジ取り扱い上のご注意

トナーカートリッジの取り扱いについては、以下の注意事項をお読みください。

⚠警告 使用済みのトナーおよびトナーカートリッジは絶対に火の中に入れないでください。粉じん発火・爆発するおそれがあります。廃却時には、不燃物の扱いにしてください。

⚠注意 床などにこぼしたトナーは、ほうきで掃き取るか、または石けん水を湿らせた布などでふき取ってください。掃除機でトナーを吸い取ると、吸い取ったトナーが掃除機内部で粉じん発火・爆発するおそれがあります。

チェック

トナーカートリッジの交換時に手についたトナーは速やかに洗い落とし、目や口に入れないでください。トナーをこぼしたときなどに、この粉じんを長い間、多量に吸い込むと、肺に影響を及ぼすことがありますので、ご注意ください。また、このようなときには、速やかに医師に相談してください。

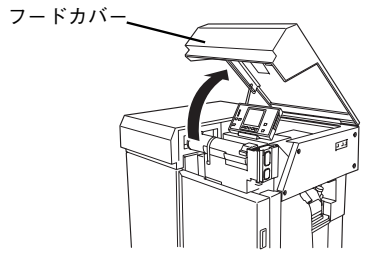
交換手順

次の手順に従ってトナーカートリッジを交換します。

チェック

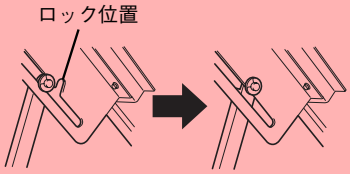
交換は必ず印刷を停止させてから行ってください。

1 プリンタのフードカバーを開ける。

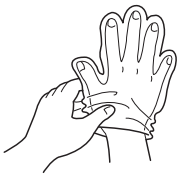


重要

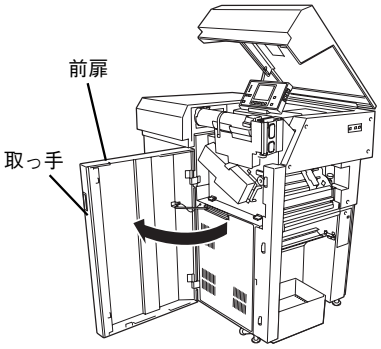
フードカバーは図に示す位置でロックさせます。ロックしていないと、不安定な状態となり、カバーが突然閉まり、手が挟まるなどの原因となります。



2 トナーキットに付属の手袋を着用する。

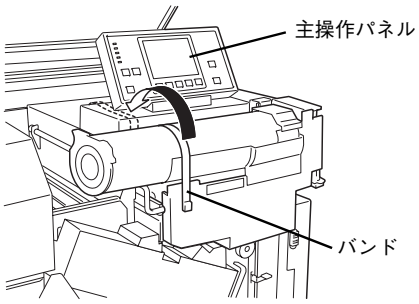


3 前扉の取っ手を持って手前に開く。

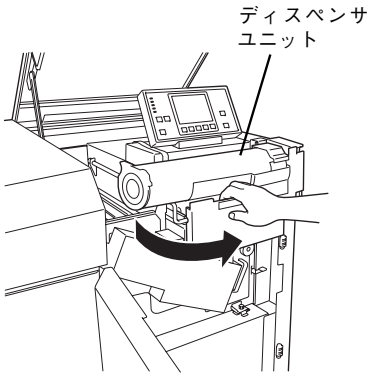


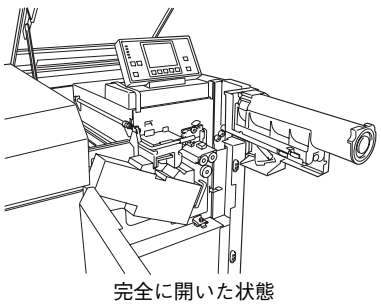
4 ディスペンサユニットを固定しているバンドのロックを解除する。

解除したバンドはじゃまにならないよう主操作パネルの横に置いてください。

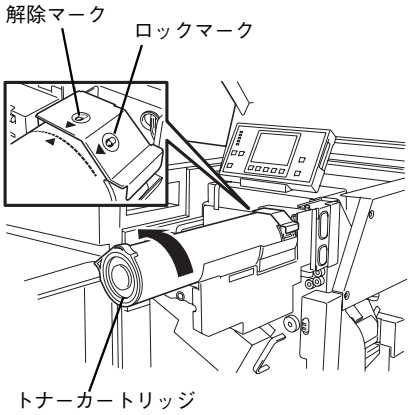


5 操作部を持って、ディスペンサユニットを手前に90度回す。



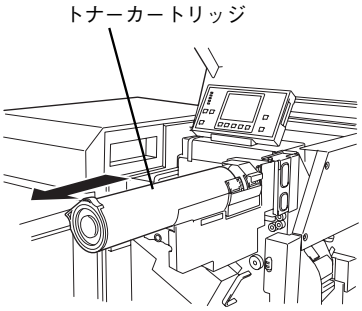


6 使用済みのトナーカートリッジを解除マークの位置まで左に回してロックを解除する。

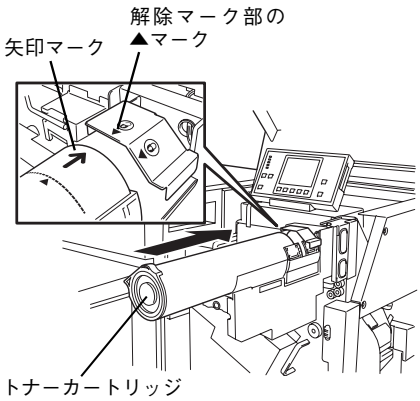


7 トナーカートリッジを手前に引き抜く。

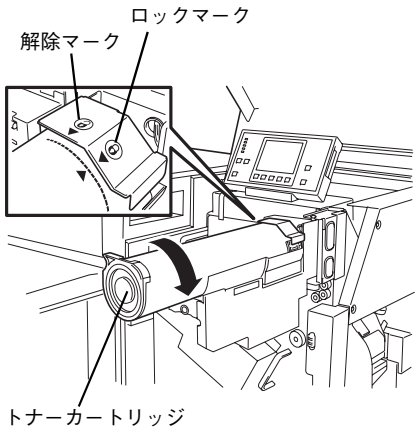
使用済みのトナーカートリッジは添付のビニール袋（大）に入れて廃棄してください。



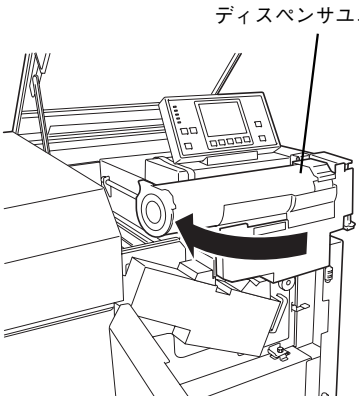
8 新しいトナーカートリッジの矢印マークをディスペンサユニットの解除マーク部の▲マークに合わせてまっすぐに差し込む。



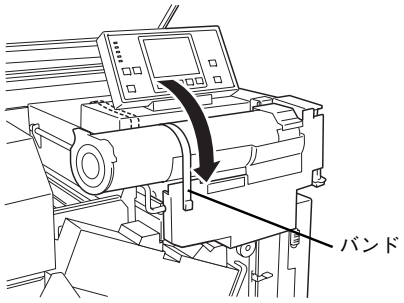
9 ロックマークの位置まで右に回す。



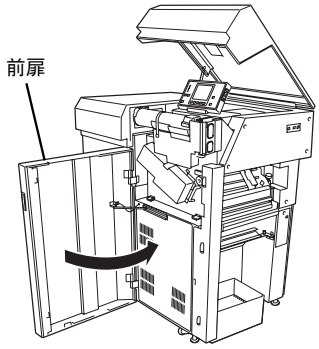
10 ディスペンサユニットを元の位置に戻す。



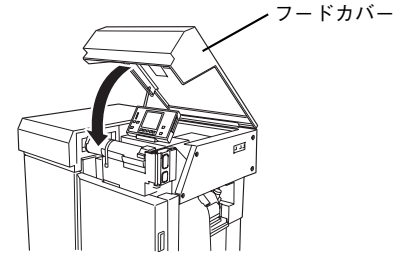
11 バンドでディスペンサユニットを固定する。



12 前扉を閉じる。

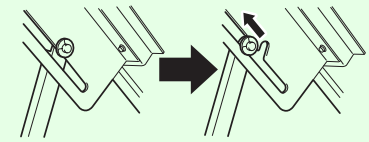


13 フードカバーを閉じる。



チェック

フードカバーを閉じるときは、いったんフードカバーを軽く持ち上げて、ガイドの端をロック位置から開放し、手を添えながらゆっくりと閉じてください。



14 廃トナーボックスを交換する。

「廃トナーボックスの交換」(264ページ) を参照してください。
なお、取り外した使用済みのトナーカートリッジは、ビニール袋に入れて廃棄します。廃棄の際は不燃物扱いにしてください。

廃棄規則の詳細については自治体のルールに従ってください。

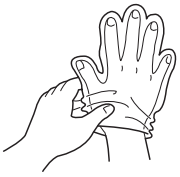
廃トナーボックスの交換

チェック

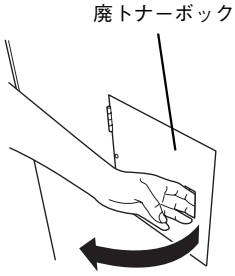
廃トナーボックスの交換時に手についたトナーは速やかに洗い落とし、目や口に入れないでください。トナーをこぼしたときなどに、この粉じんを長い間、多量に吸い込むと、肺に影響を及ぼすおそれがあります。また、誤って吸い込んでしまった場合、速やかに医師に相談してください。

ディスプレイに“79 廃トナーボックスがいっぱいです”と表示されると印刷はできなくなります、必ず未使用の廃トナーボックスに交換してください。
ディスプレイに“消耗品残少　廃トナーボックス”と表示された場合は、廃トナーボックスの交換時期が近づいたことを示すもので印刷は可能ですが早めに未使用の廃トナーボックスと交換してください。
なお、“76 トナーがなくなりました”にてトナーカートリッジを交換したあとにも必ず“79 廃トナーボックスがいっぱいです”を表示します。
また、“消耗品残少　トナーキット”を表示しているときには、トナーカートリッジと廃トナーボックス両方を交換してください。このときに廃トナーボックスを交換しなかった場合は、その後に“79 廃トナーボックスがいっぱいです”を検知し停止します。

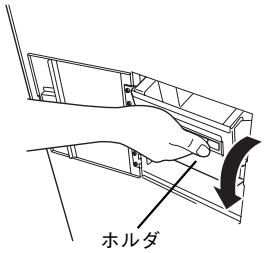
1 トナーキットに付属の手袋を着用する。



2 プリンタ背面の廃トナーボックスカバーの取っ手に手をかけて開く。



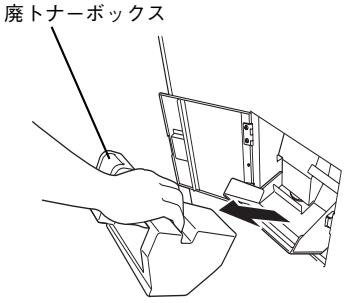
3 廃トナーボックスのホルダに手をかけ、手前に倒す。



チェック

ホルダはゆっくりとていねいに開けてください。勢いよく開けると内部のトナーが飛散して周囲やプリンタを汚してしまいます。

4 廃トナーボックスを斜め手前に持ち上げて、プリンタから引き出す。

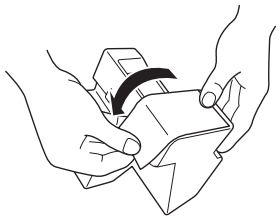


チェック

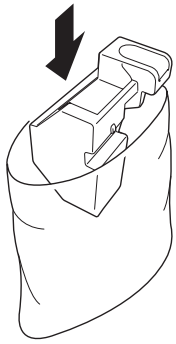
- 上図に示す場所をしっかりと持って取り出してください。
- 廃トナーボックスの取り外しの際も内部のトナーが飛散しないよう、ゆっくりとていねいに扱ってください。

5 廃トナーボックスのトナー回収口を添付のシールでふさぐ。

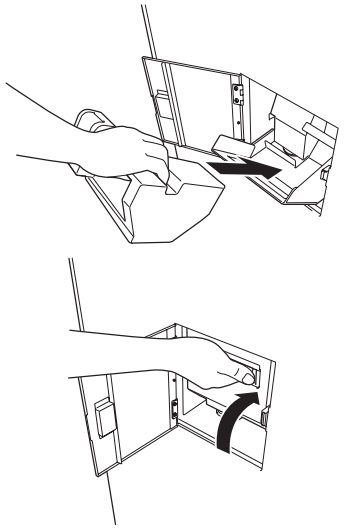
片方の手で廃トナーボックスを支えながら封印してください。



6 廃トナーボックスを添付のビニール袋に入れる。



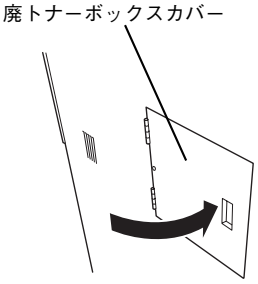
7 新しい廃トナーボックスをホルダに差し込み、プリンタ内に押し込む。



8 プリンタ背面の廃トナーボックスカバーを閉じる。

取り外した使用済みの廃トナーボックスは、ビニール袋に入れて廃棄します。廃棄の際は不燃物扱いにしてください。

廃棄規則の詳細については自治体のルールに従ってください。



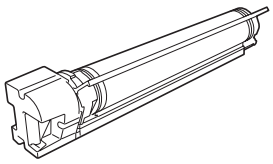
重要

廃トナーボックスは必ず未使用品に交換してください。
使用途中品を再利用されますと廃トナーが満杯となった時にPCカートリッジ排出口が目詰りしてしまいPCカートリッジが使用不可能となります。(このような状態になるとコール01-02Er-6Dを検知し停止します) 再使用はしないようお願いいたします。

PCカートリッジの交換

ディスプレイに“消耗品残少（PCカートリッジ）”が表示された場合は、PCカートリッジの寿命が近づいてきていることを示します。表示されると同時に印刷が不可能になることはありませんが、なるべく早く以下の手順でPCカートリッジを交換してください。
なお、電源投入時または印刷中、ディスプレイに“78　PCカートリッジが寿命です”が表示された場合は、PCカートリッジを交換しないと印刷はできません。

本プリンタで推奨する交換用PCカートリッジの型番は、「N1154-SU002」です。



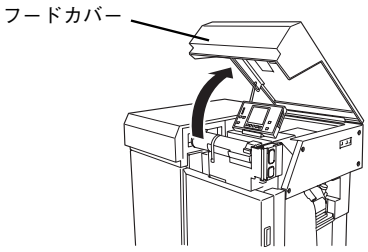
重要

このプリンタは、純正のPCカートリッジを使用時に印刷品質やプリンタの性能が最も安定するように設計されています。純正品と異なる仕様のPCカートリッジを使用された場合、プリンタ本来の印刷品質や性能を発揮できない場合がありますので、PCカートリッジは純正品のご使用をお勧めいたします。

チェック

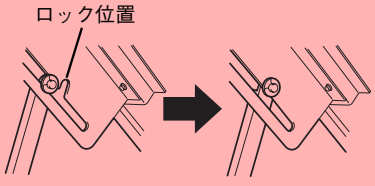
交換作業は必ず印刷を停止させてから行ってください。

1 プリンタのフードカバーを開ける。

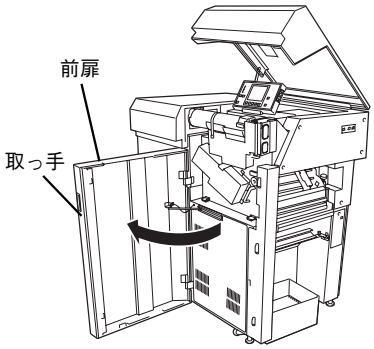


重要

フードカバーは図に示す位置でロックさせます。ロックしていないと、不安定な状態となり、カバーが突然閉まり、手が挟まるなどの原因となります。

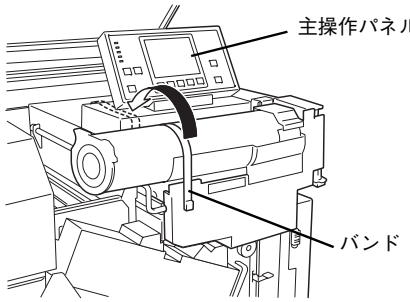


2 前扉の取っ手を持って手前に開く。

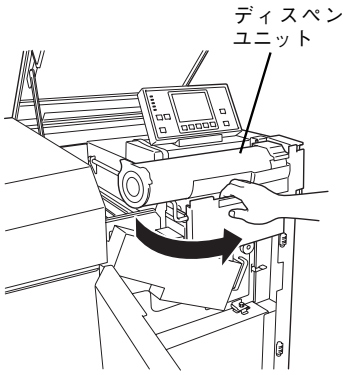


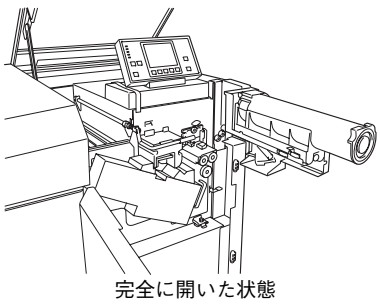
3 ディスペンサユニットを固定しているバンドのロックを解除する。

解除したバンドはじゃまにならないよう主操作パネルの横に置いてください。



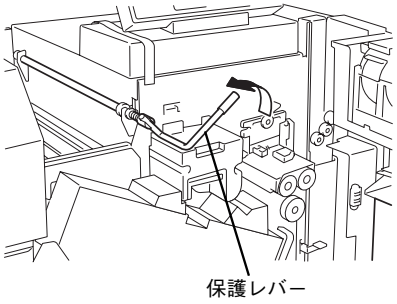
4 操作部を持って、ディスペンサユニットを手前に90度回す。





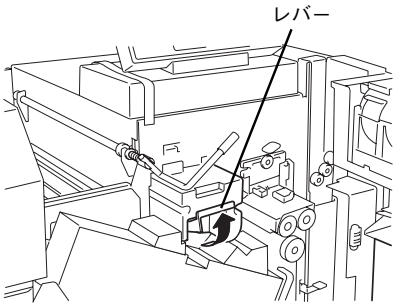
5 保護レバーを反時計回りに回す。

「カチッ」と音がして解除されます。



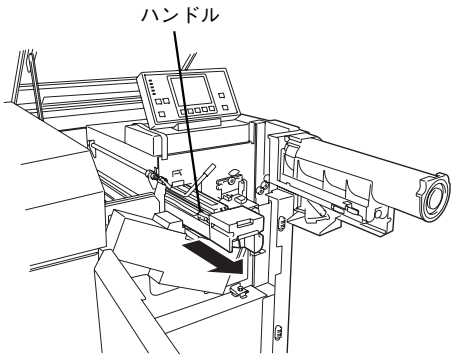
6 PCカートリッジのレバーを持ち上げる。

「カチッ」と音がして解除されます。



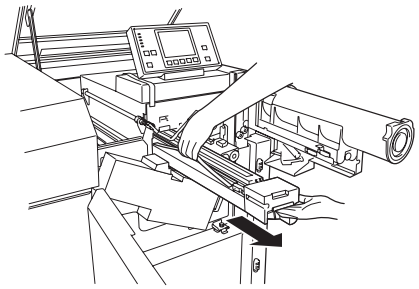
7 レバーを持ったままゆっくりとプリンタから引き出す。

PCカートリッジのハンドルがつかめるくらいまでゆっくりと引き出してください。



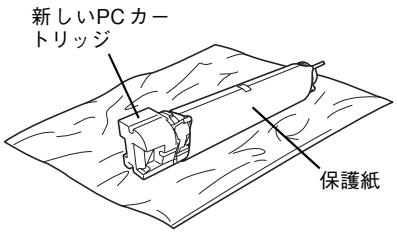
8 ハンドルをしっかりと持って使用済みのPCカートリッジをプリンタから取り出す。

取り出したPCカートリッジはきれいな紙などを敷いた机の上など、ほこりや水気のない場所にていねいに置いてください。



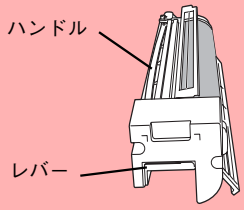
9 新しいPCカートリッジを準備する。

箱から取り出したPCカートリッジを包装されていたアルミパックやきれいな紙などを敷いた机の上など、ほこりや水気のない場所にていねいに置き、保護紙を取り除いてください。



重要

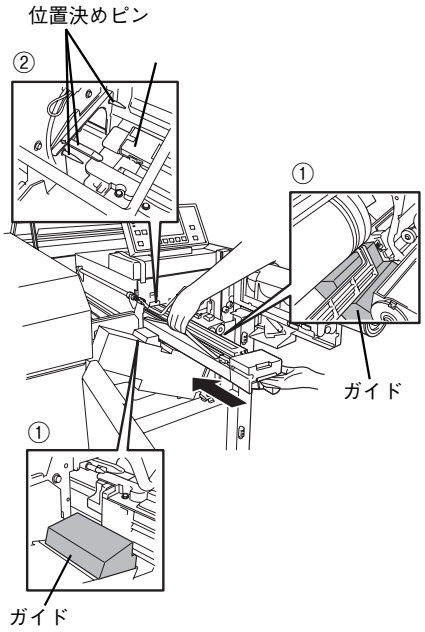
新しいPCカートリッジの開梱後の持ち運びはハンドルとレバーを持ってください。感光ドラムの表面(下図のグレー色の部分)には触れないようにしてください。人体には影響ありませんが、PCカートリッジの性能が低下する場合があります。また、感光ドラムを露出させたままPCカートリッジを明るいところに放置すると特性が劣化するため、室内での露出は5分以内にとどめてください。



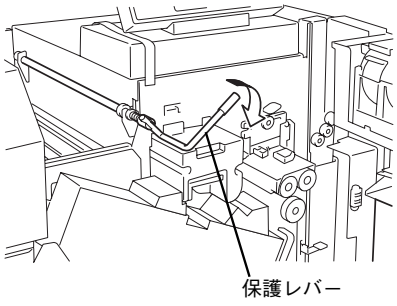
10 新しいPCカートリッジの上部のハンドルとレバー部を持って、プリンタにロックするまでゆっくりと差し込む。

チェック

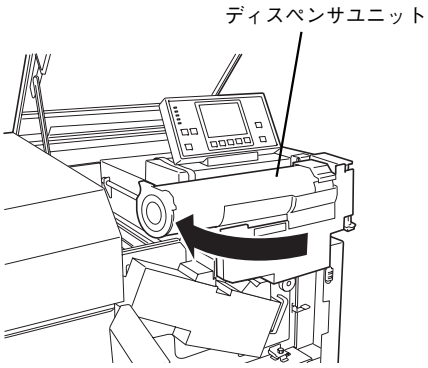
① 差し込み口の左右にあるガイドに沿うようにして差し込みます。
② 差し込む際にプリンタにある位置決めピンがPCカートリッジに確実に差し込まれていることを確認してください



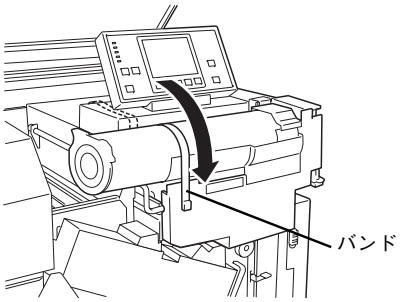
11 保護レバーを時計方向に回してロックする。



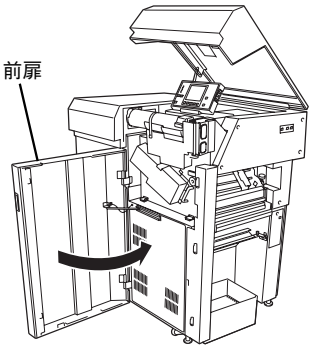
12 ディスペンサユニットを元の位置に戻す。



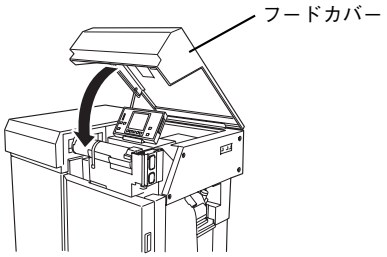
13 バンドでディスペンサユニットを固定する。



14 前扉を閉じる。

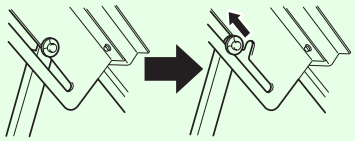


15 フードカバーを閉じる。



チェック

フードカバーを閉じるときは、いったんフードカバーを軽く持ち上げて、ガイドの端をロック位置から開放し、手を添えながらゆっくりと閉じてください。



なお、取り外した使用済みのPCカートリッジは、新しいPCカートリッジを包装していたアルミパックに入れて廃棄します。廃棄規則の詳細については自治体のルールに従ってください。

消耗品の廃棄と購入

消耗品の廃棄

使用済みの消耗品は法令、条例に従って産業廃棄物としてお客様にて処分をお願いします。

消耗品の購入

消耗品の購入については、保守員またはお買い求めになった販売店にお問い合わせください。

消耗品の指定

本プリンタで使用する消耗品は、トナーキットとPCカートリッジです。

表8-6　消耗品一覧

品　名	型　番	購入単位	寿命（目安）
トナーキット*1	N1154-SU001	1本/箱	45,000ページ/箱
PCカートリッジ	N1154-SU002	1セット	260,000ページ相当

*1　トナーカートリッジ、廃トナーボックス、およびビニール手袋を含んだ交換用キット。

寿命は下記条件にて達成可能な目安値です。

- 印刷用紙：　横15 x 縦11インチ
- 印字率：　4%（黒面積率）
- 印字濃度設定：　普通
- 環境：　25℃、50%

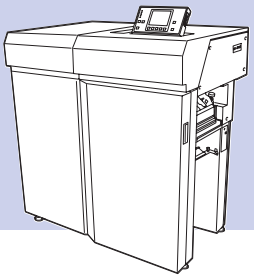
なお、トナーキットに含まれるトナーカートリッジ1本の寿命は印字率や印字濃度設定により変化します。PCカートリッジの寿命は、連続印刷を行った場合の最大印刷ページ数です。間欠印刷の頻度によっては寿命ページ数が変化します。

取り扱い上の注意

(1)　トナーカートリッジの交換およびPCカートリッジの交換はオペレータが行ってください。
(2)　保管条件

- 温度：0～35℃
- 湿度：15～80%
- 梱包されたまま保管のこと。
- 日光の照射される場所に保管しないこと。
- 保管期間は24か月を超えないこと。

9章
故障かな？と思ったら



この章では、「故障かな？」と思ったときの症状を以下の項目に分けて、原因と処置方法を説明します。

- 印刷できないときは（→272ページ）
- 印刷に異常が見られるときは（→273ページ）
- 思うように印刷できないときは（→276ページ）
- 用紙が正しくスタックされないときは（→277ページ）
- アラーム表示が出ているときは（→278ページ）
- ネットワークで思うように印刷できないときは（→286ページ）
- 用紙ジャムのときは（→289ページ）

印刷がおかしいときは

プリンタの動作がおかしかったり、印刷結果が思うように出なかったりしたときはここで説明する項目を参照して原因の確認と処置を行ってください。

印刷できないとき

次の表に、印刷できないときの症状、および確認と処理方法を示します。それぞれの方法に従って確認、処理してください。

表9-1　印刷できないとき

症状	原因と処理方法
電源ランプがつかない	**電源ケーブルのブレーカまたはメインブレーカがOFFになっている。** →　ブレーカをONにしてください。(「5章 操作の手順」(155ページ) 参照) **LOCALスイッチのランプが消灯している。** →　LOCAL スイッチを押してランプが点灯した状態で電源を ON にしてください。(「LOCALスイッチの利用」(157ページ) 参照) **PPUエラー表示窓 (33ページ参照) に“0”以外の英数字が表示されている。** →　本プリンタは電源系の障害、制御ボードの故障などが発生すると、安全性を考慮して自動的に電源をOFFにし、PPUエラー表示窓に“0”以外の英数字によるエラーコードを表示する機能を持っています。この機能が働いている場合は、電源を再度ONにしないで、保守員に連絡して保守を依頼してください。
データを送り終わったのに印刷ができない、または長い間印刷を開始しない	**[オフライン] 表示になっている。** →　[印刷可] スイッチを押して、印刷可ランプを点灯させてください。 **[印刷可] スイッチを押して、印刷可状態にしてください。** →　ネットワークケーブルの種類を確認後、接続してください。 **改ページまたは排出コードがない。** →　[ストップ] スイッチを押しながら、[排出] スイッチを押してプリンタ内に残っている未印刷データを印刷してください。また、この状態が多く発生するソフトウエアをお使いの場合は、メニューモードで自動排出を選択することをお勧めします。 **用紙がない。** →　「5章 操作の手順」(155ページ) を参照して、用紙を補給してください。 **アラームが発生している。** →　「アラーム表示が出ているときは」(278ページ) をご覧ください。 **データが送信途中である。** →　このプリンタはページ単位で処理するプリンタなので、1ページ分のデータが揃わないと印刷を開始しません。また、グラフィックモードで多量のデータを送る場合などは、データ転送に時間がかかります。もう少しお待ちください。 **N1153-029が「通常使うプリンタ」として選択されていない。** →　「通常使うプリンタ」として選択してください。

印刷に異常が見られるとき

印刷にカスレや汚れなど異常が発生する場合は、まずおおよその原因を特定するために次の内容について確認してください。

- 印刷用紙が要因となっている印刷異常の場合
  印刷用紙にへこみやしわ、油分の付着などがあるとその部分に印字はされず、にじんたり、ぼやけたりします。用紙表面の状態をよく観察するか、他の印刷用紙でも同様の異常が見られるか確認してください。
  印刷用紙のへこみやしわは用紙の特定箇所に生じ、毎ページ同じ箇所に異常が現れる特徴があります。用紙の水分量が多く、波打っている場合も同様の現象が起きます。
- PCカートリッジが要因となっている印刷異常の場合
  次の現象にあてはまる場合は、PCカートリッジを交換（266ページ参照）すると復旧する場合があります。確認してください。
  - 黒または白の傷（スジ状かポチ状）が周期的に発生する。
  - 黒スジが縦方向に発生する。
  - 地汚れ現象（白紙部分にうっすらとトナーが散る）が見られる。
- フラッシュランプ部が要因となっている印刷異常の場合
  印字された文字の定着にムラがある場合は、フラッシュランプ部のガラスが汚れているか、紙片が挟まっている場合が考えられます。フラッシュランプ部を確認し、必要に応じて清掃してみてください（253ページ参照）。

次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

印刷濃度不良が生じたときの処理を表9-2に示します。

表9-2　印刷濃度不良

ステップ	異常原因	はい	いいえ
1	メニューモードで印刷濃度を設定し、設定値を変更し、数枚印刷します。 濃度が回復したか？	変更した濃度設定値で使用します。	保守員に連絡してください。

地汚れ*1が発生したときの処理を表9-3に示します。

表9-3　地汚れ（かぶり）

ステップ	異常原因	はい	いいえ
1	プリンタのカバーが開いているか？	カバーを閉じます。	ステップ2へ
2	メニューモードで印刷濃度を設定し、設定値を低くし、数枚印刷します。 地汚れが少なくなったか？	変更した濃度設定値で使用します。	保守員に連絡してください。

印字抜けが生じたときの処理を表9-4に示します。（ミミズ状の抜け、縦筋状の抜け）

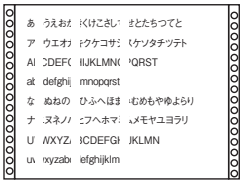


表9-4　印字抜け

ステップ	異常原因	はい	いいえ
1	用紙のセットが異常か？	用紙を正しくセットし直すか用紙の交換をします。	ステップ2へ
2	用紙の保管状態に異常はなかったか？	用紙の交換をします。	保守員に連絡してください。

印刷むらが生じたときの処理を表9-5に示します。

表9-5　印刷むら（印刷濃度のむら）

ステップ	異常原因	はい	いいえ
1	用紙のセットが異常か？	用紙を正しくセットし直すか用紙の交換をします。	ステップ2へ
2	印刷濃度の設定値を高くし、数枚印刷します。 印刷むらが少なくなったか？	変更した濃度設定値で使用します。	保守員に連絡してください。

*1　地汚れとは、印刷面全体あるいは部分的において、白地背景部にトナーが付着することをいいます。

定着むらが生じたときの処理を表9-6に示します。

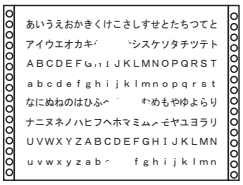
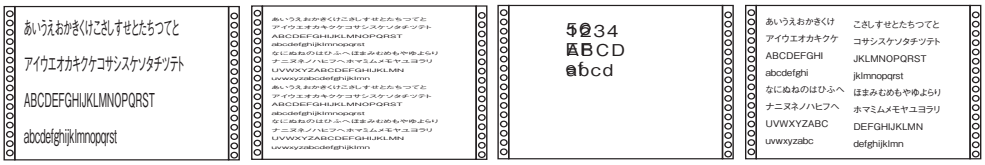


表9-6　定着むら

ステップ	異常原因	はい	いいえ
1	フラッシュランプ部のガラスが汚れているか？	フラッシュランプ部のガラスの清掃をします。	ステップ2へ
2	印刷濃度の設定値を低くし、数枚印刷します。 定着むらが少なくなったか？	変更した濃度設定値で使用します。	保守員に連絡してください。

像の乱れが生じたときの処理を表9-7に示します。



伸び　縮み　重ね印字　ずれ

表9-7　像の乱れ（伸び・縮み・重ね印字・ずれ）

ステップ	異常原因	はい	いいえ
1	用紙のセットが異常か？	用紙を正しくセットします。	保守員に連絡してください。

ボイド*1が発生したときの処理を表9-8に示します。

表9-8　ボイド（画像内白ヌケ）

ステップ	異常原因	はい	いいえ
1	メニューモードで印刷濃度を設定し、設定値を低くして数枚印刷します。 ボイドが削減したか？	変更した濃度設定値で使用します。	保守員に連絡してください。

*1　ボイドとは、トナーが付着すべき黒印刷の部分が一部白点上状に抜ける状態です。

チェック

- このプリンタは大量の印刷データを高速に、高い印刷品位で印刷することが可能ですが、印刷動作の開始、停止が頻繁に発生するような少量印刷等を頻繁に行った場合、「定期点検です。」が表示する前に印刷に異常が発生し、定期交換部品、清掃が必要となる場合があります。そのような場合、一度の印刷を大量に連続して印刷できるように印刷データを調整することで、解決できます。詳しくは、保守員にご相談ください。
- 室内の温度、湿度を急激に変化させると、装置が結露して印刷が不鮮明になったり、用紙ジャムが発生しやすくなるので注意してください。

思うように印刷できないとき

思うように印刷できない場合は、次の表を参照して異常原因を取り除いてください。

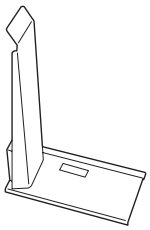
表9-9　思うように印刷できないとき

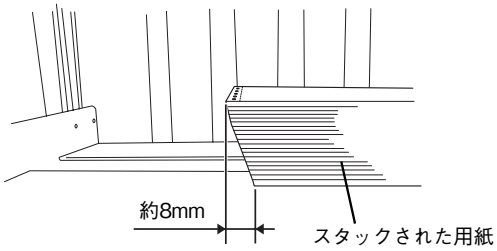
症状	原因と処理方法
正常に印刷できない	**他のプリンタドライバが同一のポートを使用している。** →　プリンタドライバによっては接続先のポートに対し常に通信しようとするため、同一ポートに接続されているプリンタに悪影響を与えることがあります。Windowsのヘルプを参照して、他のプリンタドライバのポートをこのプリンタドライバと違うポートに変更するか、他のプリンタドライバを削除してください。） **お使いのコンピュータのプリンタポート設定とプリンタのI/F設定が異なる。** →　お使いのコンピュータのプリンタポート設定とプリンタのI/F設定の動作モードを同じ設定にしてください。お使いのコンピュータの取扱説明書をご覧ください。
印刷位置が以前使用していたプリンタと合わない	**アプリケーションの用紙・印刷に関する設定が間違っている。** →　アプリケーションの説明書を見て正しく設定してください。アプリケーションによっては、わずかでも異なる設定項目があると、印刷位置がずれる場合があります。 **使用している用紙がプリンタの規格に合っていない。** →　付録の「用紙の規格」（301ページ）を参照して、規格に合っているか確認してください。
“データが残っています”を表示したまま印刷を開始しない	**改ページコードまたは排出コードがない。** →　［ストップ］スイッチを押してオフライン表示にしてから、［排出］スイッチを押してください。 このプリンタはページ単位で処理するプリンタなので、1ページ分のデータが揃わないと印刷を開始しません。また、アプリケーションの中にはページの最後に排出コードなどのページの終わりを示す制御コードをプリンタに送らないものがあります。このような場合は上記の方法で処理してください。 なお、メニューモードで自動排出を有効にしておくと設定した時間内に印刷データが来ない場合、自動的に印刷・排出されます。ただし、コンピュータからのデータ速度が長い時間途切れるような場合には、この機能を使用しないでください。 **アプリケーションのプリンタ設定が「シリアルプリンタ」になっている。** →　ページプリンタまたはレーザプリンタを選択してください。ソフトウエアのプリンタ設定がシリアルプリンタになっていると、排出コードをプリンタへ送らないためにこのような症状が起こります。 また、新たにソフトウエアを作成する場合は、このような症状を防ぐために、各ページの最後に排出コード（0Ch）を付加するようにしてください。 **コンピュータからのデータ送信が途切れている。** →　プリンタへのデータ送信について、プリンタドライバの「タイムアウト設定」の設定時間を長くしてください。複雑なデータやアプリケーションによっては、設定時間が短いとデータ送信を中止することがあります。

症状	原因と処理方法
縮小すると、縮小前と印刷結果が異なる	**印刷データによっては、縮小すると印刷結果が異なる場合がある。** → プリンタでは、座標値などを縮小することにより縮小印刷を行っています。このときに、数値の丸め誤差が生じ、図形と図形の重なりなどが変わることにより、印刷結果が異なってしまう場合があります。 このような場合、ビットマップで印刷するようにしてください。 （Windows Me/98/95：226ページ、Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003：209ページ、Windows NT4.0：243ページ参照）。
画面の文字と異なる文字が印刷された	**ご使用のコンピュータ環境に最も適した方法でプリンタをインストールしていない。** → 「2章 プリンタソフトウエアの インストールと削除」（37ページ）を参照してください。 **適切なエミュレーションモードを選択していない。** → 「エミュレーションの切り替え」（332ページ）を参照して、エミュレーションモードを選択し直してください。動作自動設定を選択している場合は、動作設定モードにて正しいエミュレーションを選択し直してください。 **ネットワークケーブルがきちんと接続されていない。** → ネットワークケーブルがきちんと接続されていない。

用紙が正しくスタックされないとき

印刷された用紙は本体左側のスタッカ部にスタックされます。
スタッカ部で用紙が斜めに積まれていく傾向（目安：約8mmの傾き）が見られる場合は、印刷をいったん停止して、付属の「斜傾防止ガイド」をスタッカにセットしてください。詳しい手順は「斜傾防止ガイドの設置」（170ページ）で説明しています。


斜傾防止ガイド

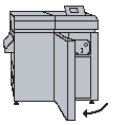
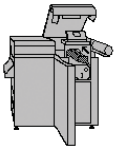


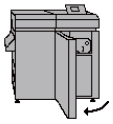
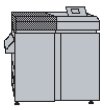
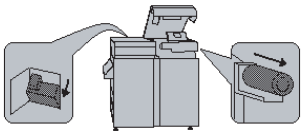
アラーム表示が出ているときは

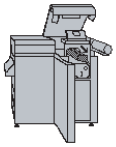
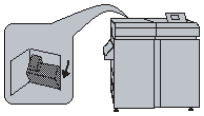
保守が必要な時期になったりエラーが発生したりすると、ディスプレイにその内容が表示（アラーム表示）されます。このとき、ブザーが30秒ごとに6回鳴ります。

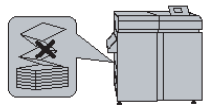
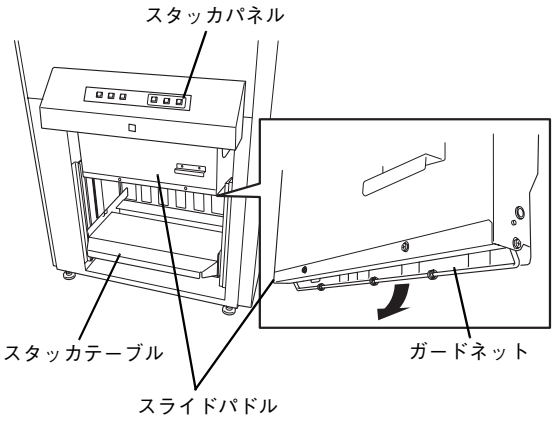
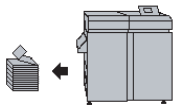
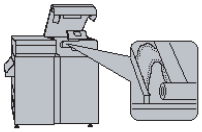
次の表に、アラーム表示とその内容、および処理方法を示します。それぞれの方法に従って処理してください。

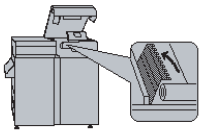
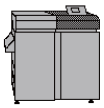
表9-10　アラーム表示と処理方法

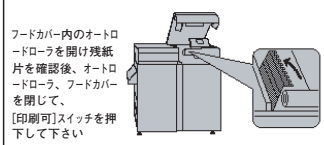
ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
71　用紙を補給して下さい □用紙長　11 ___ インチ 全送り　選択　＋　－　メニュー	**用紙がない。または印刷フォーマットで指定されたサイズの用紙がない。** →　「② 用紙をセットする」(159ページ) を参照して、用紙を補給し、[印刷可] スイッチを押してください。 “指定サイズ” が表示されている場合は、印刷データの指定フォーマットと装着されている用紙サイズが異なっている可能性があります。指定サイズ表示と用紙サイズが一致していることを確認してください。 ＜用紙サイズが一致している＞ [印刷可] スイッチを押して印刷を開始してください。 ＜用紙サイズが一致していない＞ 指定サイズの用紙を再セット後、[印刷可] スイッチを押してください。
72　カバーが開いています 前扉オープン  全送り　メニュー	**カバーが開いている。** →　それぞれ指示されたカバーをきちんと閉じて、[印刷可] スイッチを押してください。 ● トラクタ部オープン ● インナユニットオープン ● フラッシュランプオープン ● エアフィルタオープン ● 前扉オープン ● フューザカバーオープン ● 廃トナーボックスオープン
73　PCｶｰﾄﾘｯｼﾞが未装着です PCｶｰﾄﾘｯｼﾞを装着して下さい  全送り　メニュー	**PCカートリッジが装着されていないことを示す。** →　PCカートリッジを装着し、前扉をきちんと閉じて、[印刷可] スイッチを押してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
74　用紙ジャムが発生しました 前扉  全送り　メニュー	**用紙ジャムが発生している。** →　「用紙ジャムのときは」(289ページ) を参照して、つまった用紙を取り除き、用紙を始めからセットし直してください。 ● 前扉 ● トラクタ部 ● フューザカバー ● インナユニット ● フラッシュランプ ● エアフィルタ ● 廃トナーボックス
74　用紙ジャムが発生しました フューザ部  装置内の残紙片を確認後、［印刷可］スイッチを押下して下さい 全送り　メニュー	**用紙ジャムが発生している。** →　「用紙ジャムのときは」(289ページ) を参照して、つまった残紙片を取り除き、用紙を始めからセットし直してください。 ● フューザ部 ● フィードローラ部 ● バッファアーム部
76　トナーが無くなりました ﾄﾅｰ、廃ﾄﾅｰﾎﾞｯｸｽを交換して下さい  全送り　メニュー	**トナーの交換時期を示している** →　「トナーカートリッジの交換」(260　ページ) に従ってトナーカートリッジと廃トナーボックスを交換して、［印刷可］スイッチを押してください。
77　定期交換部品が寿命です 以下の部品を交換して下さい 転写チャージャ オゾンフィルタ 全送り　メニュー	**定期保守（転写チャージャなどの交換）の必要な時期を示している。** →　保守員または販売店にお問い合わせください。 このアラームが発生してもただちに印刷できなくなるわけではありません。［印刷可］スイッチを押してプリンタを印刷可状態にすれば、印刷を続けることはできます。しかし、なるべく早く定期保守を行ってください。 “77　定期交換部品が寿命です”は、電源を投入した時と用紙補給アラームを解除した時に発生しますが、部品を交換しないで継続させた場合、次の電源投入時と用紙補給アラーム解除時に再発生します。

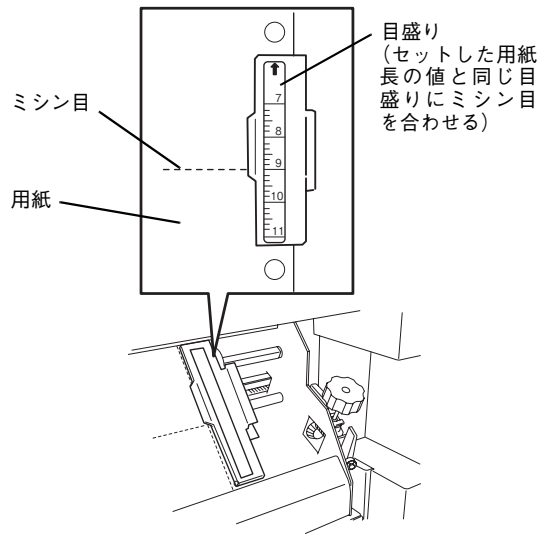
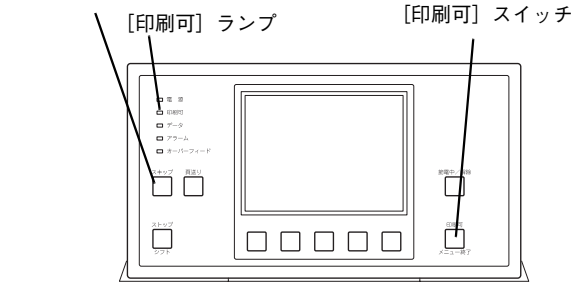
ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
78 PCｶｰﾄﾘｯｼﾞが寿命です PCｶｰﾄﾘｯｼﾞを交換して下さい  全送り メニュー	**PCカートリッジの寿命を示している。** → 「PCカートリッジの交換」（266ページ）を参照してPCカートリッジを交換し、［印刷可］スイッチを押してください。
79 廃ﾄﾅｰﾎﾞｯｸｽがいっぱいです 廃ﾄﾅｰﾎﾞｯｸｽを交換して下さい  全送り メニュー	**廃トナーボックスがいっぱいになったことを示している。** → 「廃トナーボックスの交換」（264ページ）を参照して廃トナーボックスを交換してください。交換後、カバーを閉じて、［印刷可］スイッチを押してください。
84 ﾌｫｰﾑｵｰﾊﾞｰが発生しました 001 全送り メニュー	**フォーム登録に必要なメモリが不足している。** → ［印刷可］スイッチを押すことでアラームは解除されますが、表示された番号のフォームデータは登録されません。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
85 スタッカジャムが発生しました スタッカの用紙を積み直して下さい  （解除できない場合はガードネットを確認してください） 全送り　メニュー	**スタッカジャムが発生している。** → スタッカの用紙を積み直し、スタッカパネルの［アップ］スイッチを押した後、［印刷可］スイッチを押してください。 ［アップ］スイッチを押してもスタッカテーブルが上がらない場合、スライドパドルのガードネットに何か挟まっていないか、またはガードネットが上がったままになっていないか確認してください。 
86 スタッカの用紙がいっぱいです スタッカの用紙を取り除いて下さい  全送り　メニュー	**スタッカの用紙がいっぱいです。** → スタッカの用紙を取り除き、スタッカパネルの［アップ］スイッチを押した後、［印刷可］スイッチを押してください。
89 用紙セットが不正です 用紙を再セットして下さい  全送り　メニュー	**用紙がスタッカテーブルまで装着されていない。** → 用紙をスタッカテーブルまで装着し［印刷可］スイッチを押してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
90 オートロード失敗 オートロードローラが開いています  全送り メニュー	**オートロードが失敗したことを示します。** → 失敗要因を解除後、再度オートロードで用紙を装着し、[印刷可] スイッチを押してください。 ● 用紙セット位置が合っていません ● スタッカに用紙が残っています ● ロードが中止されました ● 用紙の長さが足りません ● オートロードローラが開いています ● 用紙が装着済みです
90 オートロード失敗 用紙搬送に失敗しました  装置内の残紙片を確認後、再度オートロードを行って下さい 全送り メニュー	**オートロードが失敗したことを示します。** → 失敗要因を解除し、装置内の残紙片を確認後、再度オートロードで用紙を装填し、[印刷可] スイッチを押してください。 ● 用紙搬送に失敗しました
92 濃度が不安定になりました 印刷結果を確認して下さい [印刷可]スイッチを押下することで印刷を再開できますが、印刷結果が極端に薄い、または濃い場合には保守員に連絡して下さい 全送り メニュー	**印刷濃度が不安定になったことを示します。** → [印刷可] スイッチを押すと、印刷を再開できますが、印刷結果が極端に薄いまたは濃い場合はお買い求めの販売店または保守員にご連絡ください。
ﾊﾞｯｸｱｯﾌﾟ情報が一致していません 保守員に連絡して下さい □エンジンメモリ エンジン : XXXXXXXX バックアップ : XXXXXXXX □コントローラメモリ コントローラ : XXXXXXXX バックアップ : XXXXXXXX	**プリンタ内のバックアップ情報が正しく設定されていません。** → [印刷可] スイッチを押すと復旧します。運用中に何度もこのメッセージが表示される場合は、お買い求めの販売店または保守員にご連絡ください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
オートロードローラ部を確認してください ※用紙ジャム対処後に必要な手順です  全送り　メニュー	**用紙ジャム（フューザ部、フィードローラ部、バッファアーム部）及びオートロード失敗（用紙搬送に失敗しました）対処後のオートロード時にオートロードローラ部の残紙片を確認。** →　フードカバー内のオートロードローラを開け残紙片を確認後、オートロードローラ、フードカバーを閉じて、[印刷可] スイッチを押下してください。 なお、本アラーム表示は、用紙ジャム発生後からオートロードスイッチが押されるまでの間に、オートロードローラの開動作がなかった場合のみとなります。
フューザ部を確認して下さい ※用紙ジャム対処後に必要な手順です 全送り　メニュー	**用紙ジャム（フューザ部、フィードローラ部、バッファアーム部）及びオートロード失敗（用紙搬送に失敗しました）対処後のオートロード完了時にフューザ部の残紙片を確認。** →　フューザカバー内のフラッシュランプを開け残紙片を確認後、フラッシュランプおよびフューザカバーを閉じて、[印刷可] スイッチを押下してください。
02　コール02 エラーが発生しました 転写チャージャが未装着です。 転写チャージャを装着し、電源を再投入して下さい。	**転写チャージャが装着されていません。** →　プリンタ内部の部品である「転写チャージャ」が装着されていないか、正しく装着されていません。 電源をOFFした後、「前扉の内側・転写チャージャの清掃」（257ページ）で説明している手順を参考に転写チャージャを正しく取り付けてください。
XX　コール09−32 エラーが発生しました 電源をOFFした後、用紙を取り除いて下さい。 その後、ブレーカをOFF/ONし、次に電源をONして下さい。 印刷の完了していないデータは再度印刷出力して下さい。	**[コール03-13]・[コール09-32]** **プリンタに深刻なエラーが発生しました。（左の表示はコール09-32の例です）** →　電源をOFFした後、用紙を取り除いてください。 その後、ブレーカをOFF/ONし、次に電源をONしてください（印刷の完了していないデータは印刷し直してください）。 それでもアラームが表示される場合は、コールエラー番号をメモして、お買い求めの販売店または保守員にご連絡ください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
XX　コール06ーXX 保守員に連絡して下さい コールエラー番号をメモして、電源をOFFした後、お買い求めの販売店または保守員に連絡して下さい。	**[コール06-XX]（06-XX：下記参照）** **プリンタに深刻なエラーが発生しました。** ● コール06-01 ● コール06-02 ● コール06-07 ● コール06-08 → コールエラー番号をメモして、電源をOFFした後、お買い求めの販売店または保守員に連絡してください。

ディスプレイ表示	アラームの内容と処理方法
XX　コールXX—XX エラーが発生しました 電源をOFFして下さい。 その後、電源をONして、立ち上がった後にミシン目位置を合わせて下さい。 印刷の完了していないデータは再度印刷出力して下さい。	**[コールXX-XX]（XX-XX：前述のコード以外のコード）** **プリンタに深刻なエラーが発生しました。** →　次の順序で処理してください。 ① プリンタの電源をOFFにする。 ② プリンタの電源をONにして、プリンタが印刷可能な状態（印刷可ランプ点灯）になるまで待つ。 それでもアラームが表示される場合は、コールエラー番号をメモして、お買い求めの販売店または保守員にご連絡ください。 ③ 主操作パネルの［印刷可］スイッチを押してプリンタをオフライン（印刷可ランプ消灯）にする。 ④ 用紙のミシン目をペーパドアの目盛りに合わせる。 主操作パネル（またはオートロードパネル）の［スキップ］スイッチで用紙は1/6インチ分送られます（押し続けると連続して用紙を送ります）。 ⑤ 主操作パネルの［印刷可］スイッチを押してプリンタをオンライン（印刷可ランプ点灯）にする。   アラームの復旧後、印刷の完了していないデータは印刷し直してください。

ネットワークで思うように印刷できないときは

ネットワーク接続上の疑問およびネットワークを介しての印刷がうまくできないときは、プリンタの故障を疑う前にこのページを参照してください。

表9-11　ネットワークで思うように印刷できないとき

症状	原因と処理方法
Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/ Windows Me/98/95/Windows NT 4.0 をご使用の場合	
プリンタに印刷できない。プリンタがネットワーク上から見えない。	**1.　コンフィグレーションページを印刷して以下の項目を確認してください（「コンフィグレーションページの印刷」（75ページ）参照）。** →　ネットワークケーブルは正しく接続されていますか？ コンフィグレーションページ「Link Test」の結果が「OK」であることを確認してください。 →　プリンタのリンクランプ（緑色）は点灯していますか？ →　プリンタおよびHUBのリンクランプが点灯していますか？ ネットワークケーブルが抜けていないか、ハブの電源がONになっているか確認してください。 →　ネットワーク通信速度は正しく設定されていますか？ 「10BASE/100BASE/1000BASE」の設定が、接続されているハブの通信速度と一致していることを確認してください。「?」と表示されるときはハブの通信速度を固定してください。 →　IPアドレスとサブネットマスクは正しく設定されていますか？ IPアドレスとサブネットマスクを確認してください。ルータを超えた環境ではゲートウェイアドレスを設定してください。 **2.　コンピュータからPingコマンドを実行し、コンピュータとプリンタが通信できるか、以下の手順に従って確認してください。** ● ＜Windows XP 日本語版の場合＞ ①［スタート］―［すべてのプログラム］―［アクセサリ］―［コマンドプロンプト］を選択する。 ② ping 123.123.123.123（「123.123.123.123」）はプリンタのIPアドレス） （例） C:￥WINDOWS> ping 123.123.123.123［return］ Pinging 123.123.123.123 with 32 byte of data: Reply from 123.123.123.123:bytes=32 time<10ms TTL=225 Reply from 123.123.123.123:bytes=32 time<10ms TTL=225 Reply from 123.123.123.123:bytes=32 time<10ms TTL=225 Reply from 123.123.123.123:bytes=32 time<10ms TTL=225 Ping stastics for 123.123.123.123: Packets:Sent=4, Recieved=4, Lost=0（0% loss）. Approximate round trip times in milli-seconds: Minimum=0ms, Maximum=0ms, Average=0ms 応答がある場合は、コンピュータ上のプリンタのプロパティを開いて［印刷先］を再度、確認してください。 また、プリンタの電源をOFFにして応答がないことを確認してください。 プリンタの電源を入れた状態で応答がない場合は、プリンタ以外の機器（コンピュータ）と通信できるか確認してください。また、コンピュータおよびプリンタのIPアドレスが適切かどうか確認してください。 IPアドレスは、コンピュータのIPアドレスが「192.168.0.1」のとき、プリンタのIPアドレスは「192.168.0.2」のようにネットワークの番号が一致している必要があります。プリンタのIPアドレスが「11.22.33.44」のように番号帯が異なる場合は、一致させるようにしてください。

症状	原因と処理方法
コンフィグレーションページが印刷されない。	→ 再度プリンタの電源を入れ直してください。
SNMP Trapがホストコンピュータに送信されない。	→ ルータを超えた環境にSNMPマネージャのコンピュータが存在する場合は、ゲートウェイアドレスの設定が必要になります。
SNMPに応答がない。	→ ホストコンピュータに設定されたコミュニティ名と同じコミュニティ名を LAN 設定で設定してください。
Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003 をご使用の場合	
プリンタに印刷できるが正しく印刷されない。 **印刷の途中で主操作パネルに「データガノコッテイマス」と表示される。データの最後の部分が欠けて印刷される。** **白紙が印刷される。**	→ IPアドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。 → プリンタのプロパティを開いて、スプールの設定を「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」にしてください。 → Standard TCP/IPの設定を確認してRAW（9100）になっている場合はLPRに変更してください。 → Standard TCP/IPのLPRを用いて印刷している方は、「LPRバイトカウントを有効にする」を有効にしてください。
Windows NT 4.0 をご使用の場合	
LPR印刷で、しばらくしてプリントマネージャに「プリンタビジーまたはエラー」と表示される。	→ 他のジョブを印刷している場合に起こることがあります。プリンタが使用中であれば、しばらく待ってからデータを送り直してください。
LPRで印刷中に、ジョブがキャンセルされる「エラー」と表示した状態で停止する。	→ 印刷するページを少なくして、もう一度印刷してみてください。印刷できた場合は、Windows NTのSystemディレクトリの空き容量が少ないことが考えられます。十分な空き容量を確保してください。
LPRで大量の印刷を行うと途中で印刷が止まる。	→ 12ジョブ以上の印刷で止まる場合はWindows NTシステムの設定による可能性があります。マイクロソフト社から提供されている「サポート技術情報」を参考にして設定を確認してください。 → IPアドレスが他の機器と重なっていないか確認してください。 → プリンタのプロパティを開いて、スプールの設定を「全ページ分のデータをスプールしてから、印刷データをプリンタに送る」にしてください。
別売の「LL プリンタ支援ソフトウェア」をご使用の場合	
「LLプリンタ支援ソフトウェア」と連携した印刷ができない	→ Windows XP/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/Windows Me/98/95/Windows NT 4.0で動作するコンピュータからの連携は利用できません。 → プリンタソフトウェアCD-ROMに収録されている「SIF環境」用のプリンタソフトウエアをインストールしてください（46ページ参照）。インストールしようとしているコンピュータに「Windows環境」用のプリンタドライバがインストール済みの場合は、2章の「Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2008/2003 日本語版」（65ページ）を参照してWindowsから本プリンタとプリンタドライバを削除してからSIF用のプリンタソフトウエアをインストールしてください。なお、インストール済みの本プリンタのプリンタドライバがどちらの環境用のドライバであるかは、本プリンタのプロパティダイアログボックスの［プリンタの設定］シート」で表示されるバージョン情報で確認することができます（200ページ参照）。
PrintAgent に関する問題	
PrintAgentで本プリンタを選択・監視できない	→ 本プリンタはPrintAgentに対応していません。本プリンタの印刷状態などを監視するソフトウエアは「SimpleMontor」です。 インストールについては、2章の「プリンタソフトウエアのインストール」（37ページ）を参照してください（SimpleMontor が対応している OS については「SimpleMonitor」（39ページ）を参照してください）。

症状	原因と処理方法
市販のソフトウエアとの連携が機能をしない	→ 一部の連携ソフトウエアでは、PrintAgentを利用してPrintAgent対応プリンタのステータスを取得し、連携して動作するものがあります。 本プリンタでは、「PrintAgent拡張モジュール for SimpleMonitor」をインストールすることにより、本プリンタのステータス通知をPrintAgent対応プリンタと同じインタフェースで受けることができます。インストールは添付のプリンタソフトエアCD-ROMのメニューから行えます。2章の「Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/日本語版」（46ページ）を参照してください。 本拡張モジュールの動作環境などの詳細については添付のプリンタソフトウエアCD-ROM内の「PAEXT」フォルダにあるREADME.TXTを参照してください。 また、拡張モジュールの利用についてはお使いになるソフトウエアの発売元、および保守員にお問い合わせになり、システムの運用上、問題のないことを確認してください。

用紙ジャムのときは

このプリンタでは用紙ジャムが起こりにくいように配慮されていますが、万一用紙ジャムが発生した場合は、次の要領で処理してください。
なお、用紙ジャムが起きたときは、主操作パネルのディスプレイに“74　用紙ジャムが発生しました”と表示されます。また、用紙ジャムが頻発する場合には、保守員に連絡してください。
急激な温度変化があった場合など、プリンタ内が結露していると、用紙を搬送できずにジャムとなりますので、結露してしまった場合は使用しないようにしてください。

⚠警告

- 装置停止直後のフラッシュランプ部の用紙は非常に高温になっています。この状態で用紙を引き出すと空気に触れて発火するおそれがありますので、用紙状態に異常がみられた場合も、フューザ部のファンが停止するまでは用紙を引き出したり動かしたりしないでください。
- フラッシュランプ部および前後の搬送路に用紙片が残ったまま印刷を行うと、未定着の障害となるほか，用紙焦げが発生するおそれがあります。用紙ジャムを処理した後は，紙片が残っていないことを十分に確認してください。
  内部が見えない状態で処理を行うと用紙片が残ることがあります。残留用紙を処理する場合はフラッシュランプ部を開放してから行ってください。

用紙ジャムが発生したとき、特に注意しなければならないことは、用紙ジャムの処理の過程で未定着印刷部分（用紙に転写されているが、フューザ部を通過していない未定着の印刷部分）の用紙をフューザ部に通さないよう注意する必要があることと、必ず処理後、フラッシュランプ部のガラスが汚れていないことを確認してください。
もし、誤って未定着部分を通した場合は、フラッシュランプ部のガラスの清掃を行ってください（「フラッシュランプ部のガラスの清掃」（253ページ）参照）。

重要

用紙ジャムが発生したときにとくに注意しなければならないこと。

- 未定着印刷部分(用紙に転写しているが、フューザ部を通過していない未定着の印刷部分)の用紙を取り除く場合に未定着トナーが装置内に触れないように注意することと、取り除く際に紙片がちぎれ落ちて内部に残らないように注意すること。
- 印刷完了していないページは確実に取り除くようにすること。
- 用紙を取り除かずに主操作パネルまたはオートロードパネルの［SKIP］スイッチを押して無理にフィードさせないこと。
- 印刷中に「カバーオープンエラー」となった場合など、印刷途中ページが詰まったり、たるんだりしていない場合も印刷途中ページを取り除くこと。

このプリンタでは複数発生したジャム要因のうち、最初に検出された一つを表示します。このため、用紙ジャムの処理を行うと、また別の場所で用紙ジャムが発生したという表示をする場合があります。その場合は表示された場所の用紙ジャムを確認してください。
また、フューザ部、フィードローラ部、バッファアーム部で用紙ジャム、およびオートロード失敗が発生した場合、処理後のオートロード時、およびオートロード後に残紙片確認のメッセージが表示されますので、メッセージに沿ってオートロードローラ部、およびフューザ部の確認を行ってください。（表9-10（283ページ）参照）

用紙ジャムの処理

フューザ部で用紙が詰まってしまった場合や、トラクタ部から用紙が外れた場合など用紙が正常な状態でなくなったときは、以下の方法でプリンタ内にある用紙を取り出してください。

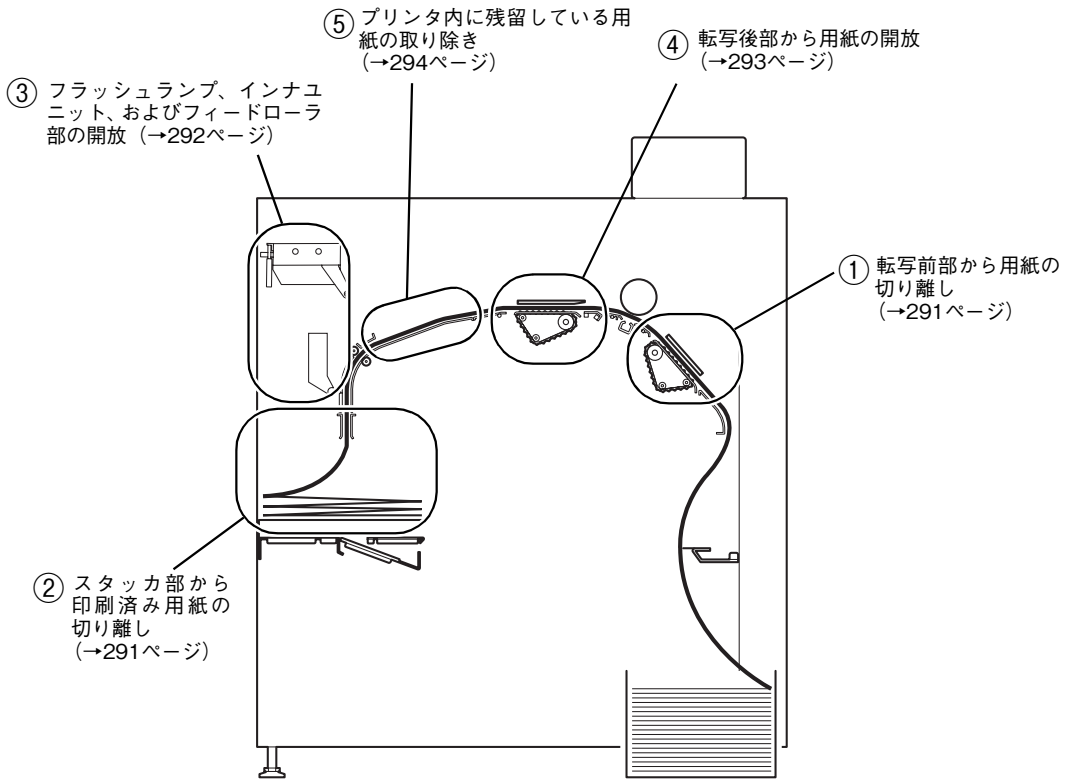
用紙の損傷が比較的少ない場合は、カバーを閉じてから、主操作パネルまたはオートロードパネルの［スキップ］スイッチを押してプリンタ内の留まった用紙をスタッカに排紙させてから取り出してください。

もし用紙が破断していたり、取り除く際に破れてしまった場合は紙片を残さないよう確実に取り除いてください。転写部やPCカートリッジに紙片が残こしてしまうと、画像不良の原因となります。またフラッシュランプ部やインナユニット部に残っていると用紙ジャムの原因となります。

チェック

“用紙ジャムが発生しました”の表示は［スキップ］スイッチを押すことで（用紙の状態に関わらず）無条件に解除されます。［スキップ］スイッチでアラーム表示を解除した場合は、すぐに［印刷可］スイッチを押さず、確実に用紙を取り除いた後に用紙を再セットしてください。

下図に全体の作業の順序と場所を示します。

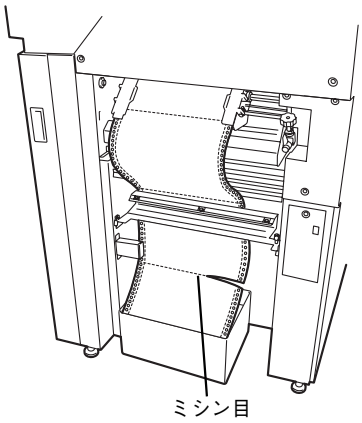


転写前部から用紙の切り離し

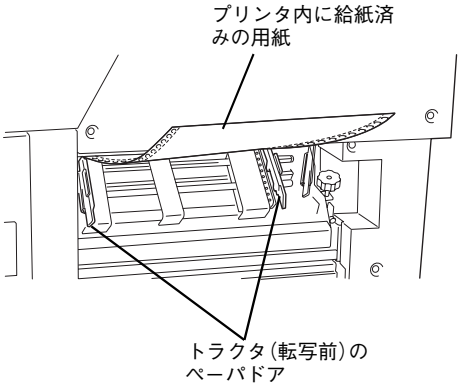
転写前から印刷されていないページを用紙箱に戻し、トラクタピンに引っかかっている用紙を開放します。

1 プリンタ右側面のホッパ部の用紙をミシン目に沿って切断する。

切断した印刷されていない用紙は用紙箱に戻してください。



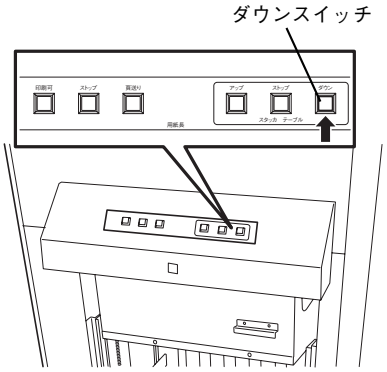
2 トラクタ（転写前）のペーパドアを開け、用紙を解放する。

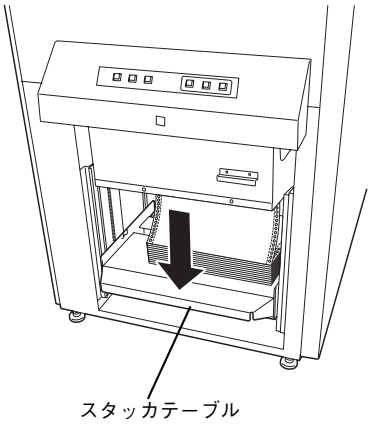


スタッカ部から印刷済み用紙の切り離し

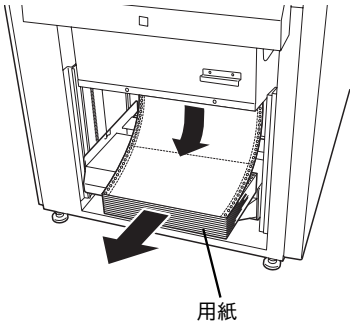
スタッカテーブルを下げて、印刷済みページのミシン目から切断して印刷済み用紙を取り出します。

1 スタッカパネルの［ダウン］スイッチを押し、用紙を取り出し位置まで下げる。

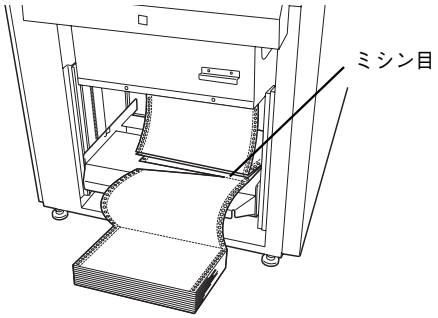




2 用紙をテーブルから取り出す。



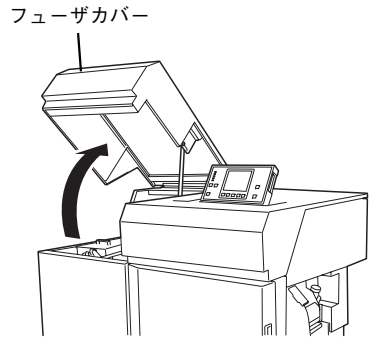
3 ミシン目の部分で切断してプリンタから印刷済みの用紙を取り出す。



フラッシュランプ、インナユニット、およびフィードローラ部の開放

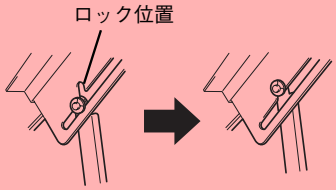
フラッシュランプ、インナユニット、およびフィードローラ部を開いた状態にして用紙を取り出せる準備をします。

1 フューザカバーを開く。

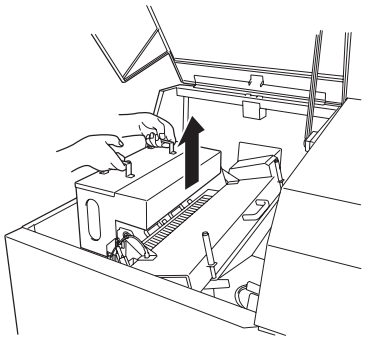


重要

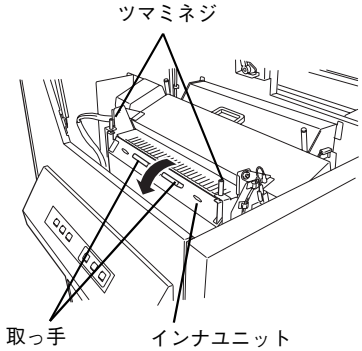
フューザカバーは図に示す位置でロックさせます。ロックしていないと、不安定な状態となり、カバーが突然閉まり、手が挟まるなどの原因となります。



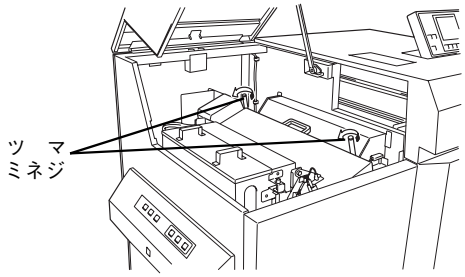
2 エアフィルタを垂直に持ち上げてプリンタから取り出す。



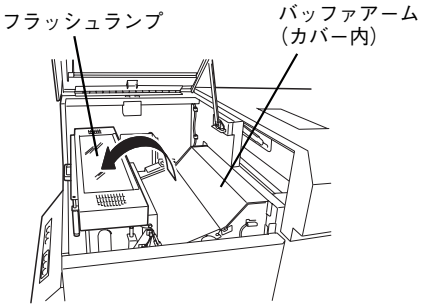
3 インナユニットを固定しているツマミネジ（2本）をゆるめ、取っ手を持ってインナユニットをゆっくりと開き、フィードローラ部を開放する。



4 フラッシュランプを固定しているツマミネジ（2本）を解除する。



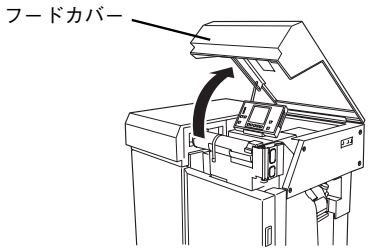
5 フラッシュランプの取っ手を持ってを開く。



転写後部から用紙の開放

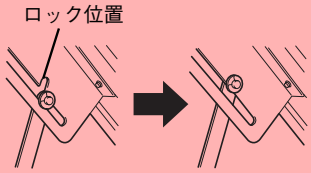
転写後トラクタドアを開き、用紙をトラクタピンから開放します。

1 プリンタのフードカバーを開ける。



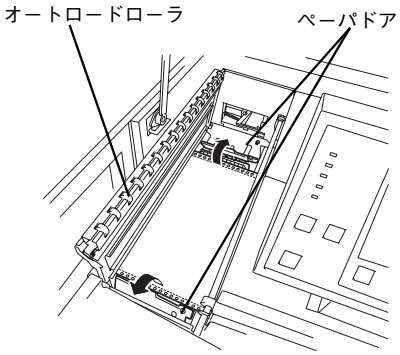
重要

フードカバーは図に示す位置でロックさせます。ロックしていないと、不安定な状態となり、カバーが突然閉まり、手が挟まるなどの原因となります。



2 オートロードローラを開く。

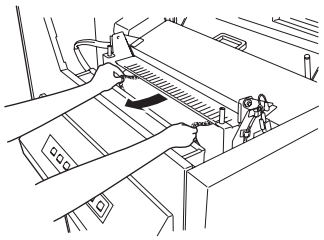
3 ペーパドア（手前と奥）を開ける。



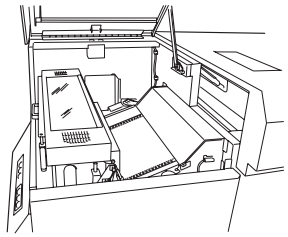
4 両方のトラクタピンから用紙を開放する。

プリンタ内に残留している用紙の取り除き

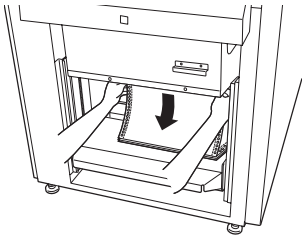
用紙ジャムを起こしている場所（インナユニットおよびフィードローラ部・フラッシュランプ部またはバッファアーム部・スタッカ部）よりつまった用紙を引き出し、トラクタ内部に残った用紙をインナユニット部から用紙をゆっくりと引っぱり取り除いてください。



インナユニットおよびフィードローラ部からの用紙の取り出し



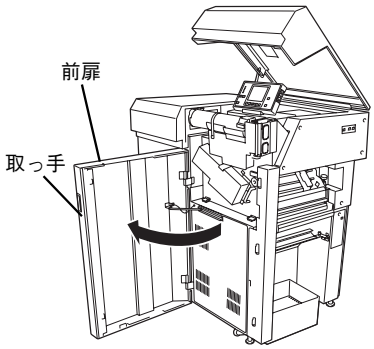
フラッシュランプ部またはバッファアーム部からの用紙の取り出し



スタッカ部からの用紙の取り出し

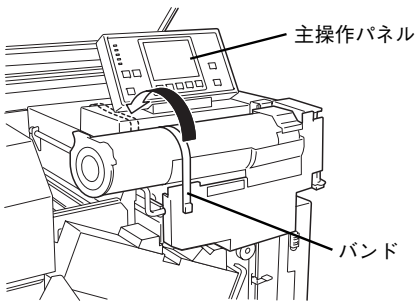
次にトラクタユニット内に残っている用紙を取り除きます。

1 前扉の取っ手を持って手前に開く。

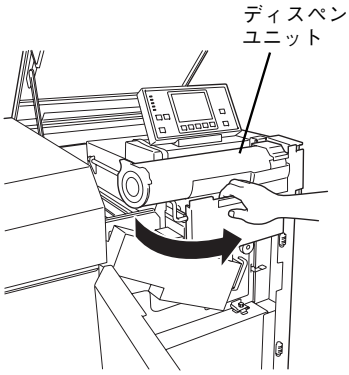


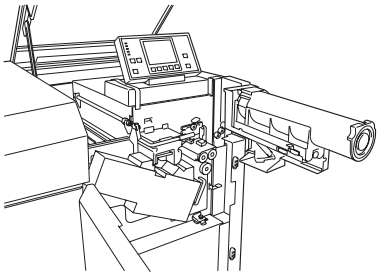
2 ディスペンサユニットを固定しているバンドのロックを解除する。

解除したバンドはじゃまにならないよう主操作パネルの横に置いてください。



3 操作部を持って、ディスペンサユニットを手前に90度回す。



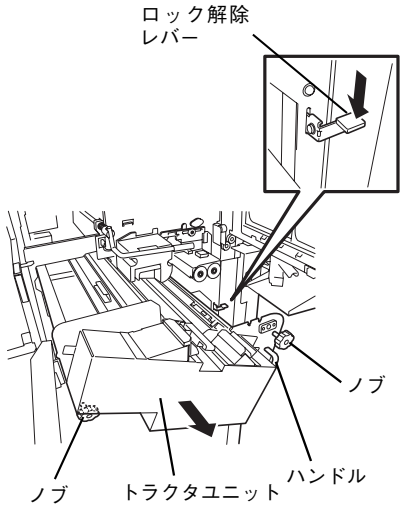


完全に開いた状態

4 プリンタ内部前面にある緑色のノブ（2 か所）を反時計回りに回してトラクタユニットのロックを解除する。

5 緑色のロック解除レバーを押しながら、ハンドルをしっかりと握ってトラクタユニットを手前に止まるまでゆっくりと引き出す。

6 トラクタユニット内に残っている用紙および紙片を取り除く。



7 緑色のロック解除レバーを押しながら、引き出したトラクタユニットをプリンタにしっかりと押し込んでノブ（2か所）で確実に固定する。

用紙を取り除いたら、前述の手順で開いたカバーや取り外した部品を元どおりにした後、用紙をセットしてください（「② 用紙をセットする」（159ページ）を参照）。

チェック

- トラクタユニットを元に戻す際は、右側面の用紙セット側に異物などが挟まれていないことを確認してから操作してください。
- 前扉を開いた際は、必ず前扉ロック金具で前扉をロックし、閉じる際には前扉ロック金具のロックを解除してから前扉を閉めてください。

用紙ジャム処理後の確認

つまっていた用紙を取り除いたら、用紙ジャムの再発を防止するために、次の事項を確認してください。

□ 用紙は正しくセットされていますか。

□ 用紙は規格内のものを使用していますか。

□ 一度印刷した用紙を使用していませんか。

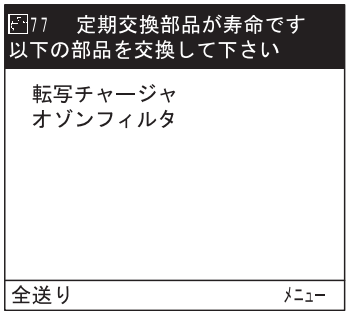
保守員を呼ぶ前に

「故障かな？」と思ったら、修理に出す前に以下の手順を行ってください。

1 主操作パネルのディスプレイに定期点検を示す表示がされていないか確認する。

定期点検を指示するメッセージが表示されている場合は、保守員にご連絡ください。

〈表示例〉



2 定期的に清掃していたことを確認する。

日常清掃箇所が汚れていると正しい印刷結果を得ることができません。

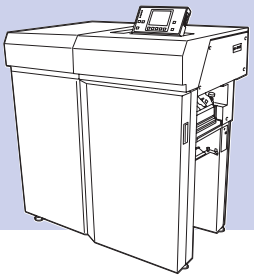
3 消耗品（トナーカートリッジ、PCカートリッジ、廃トナーボックス）が確実に交換されていることを確認する。

トナーカートリッジ（廃トナーボックス含む）、PCカートリッジは消耗品です。消耗品が寿命になったら、補給/交換してください（8章の「トナーカートリッジの交換」（260ページ）、「PCカートリッジの交換」（266ページ）、「廃トナーボックスの交換」（264ページ））をご覧ください）。確実に取り付けられていないと、正しい印刷結果が得られないばかりでなく、プリンタ本体の故障の原因となります。

4 本章の272 ～295ページを参照し、当てはまる症状があれば、記載されている処置を行う。

以上の処理を行っても、改善されない場合は、無理な操作をせずに、お買い求めの販売店または保守員にご連絡ください。その際のディスプレイのアラーム表示の内容や、不具合印刷サンプルがあると、修理の際の有力な情報となることがあります。

付録
技術情報



ここでは、N1153-029の仕様、印刷範囲、制御コード、文字コードその他の技術情報について説明します。

仕　様

項 目		仕　様
印刷方式		LED書込みによる乾式電子写真方式
現像・定着方式		乾式二成分現像、フラッシュ定着
印刷速度		4,000行/分（6行/25.4mm）
解像度		23.6ドット/mm（600ドット/インチ）
CPU		RM7900
RAM		512MB（固定、増設不可）
ウォームアップの待ち時間*1	電源投入時	70秒以内
	節電モード時	70秒以内
ファーストプリントタイム（用紙長：279.4mm（11インチ）、印刷文字数：1文字）*2		4秒以下
インタフェース		イーサネット（1000BASE-T/100BASE-TX/10BASE-T:TCP/IPのみ）
言語		NPDL Level 2（201PLエミュレーション*3含む） ESC/Pエミュレーション*3
印刷文字（NPDL Level 2モード）	書体：1バイト	標準フォーマット、イタリック、クーリエ、ゴシック、OCR-B/K
	書体：2バイト	明朝体、ゴシック体
	文字数:1バイト	最大192字／フォント
	文字数:2バイト	8000字／フォント
	サイズ:1バイト	0.035～352.7mm（0.1～999.9ポイント）（アウトラインフォント）
	サイズ:2バイト	0.035～352.7mm（0.1～999.9ポイント）（アウトラインフォント）
印刷文字（イメージ）		非圧縮、MH、MR、MMR
最大印刷桁数		170桁（10文字/25.4mm（10 cpi）文字換算）
最大印刷行数		84行*4（最大355.6mm（14インチ） 上／下印刷余白8.46mm（1/3インチ）含む
用紙	種類	送り孔付き折り畳み印刷用紙（1P）
	サイズ	幅　165.1～457.2mm（6.5～18インチ） 折り畳み長　177.8～355.6mm（7～14インチ）
	坪量	64～157g/m^2（連量55～135kg）
給紙／スタック容量		2,000枚（坪量81.4g/m^2（連量70kg）の用紙の場合）
環境条件	印刷時温度	15～32℃
	印刷時湿度	30～70%（結露しないこと）
	休止時温度	5～45℃
	休止時湿度	8～80%（結露しないこと）
	塵埃量	一般事務室程度
	ガス成分	一般事務室程度
	気圧	1013～752.4hPa（海抜0～2500m）
騒音（音響パワーレベル、A特性）	動作時	8.0B以下
	待機時	6.0B以下
電源周波数		50/60 Hz±1Hz
発熱量	動作時平均	約9000kJ/h
	待機時	約504kJ/h
電源電圧		AC200V±10%（単相2線式+接地線）
定格電流		25A以下

項 目		仕　様
消費電力	動作時平均	約2.6kVA以下
	待機時平均	約175VA以下
寸法		幅1250mm×奥行き900mm×高さ1310mm（突起含まず）
質量		約360kg
製品寿命		印刷枚数900万枚*5または使用年数5年のいずれか早いほう
対応OS		Microsoft Windows 8 日本語版 Microsoft Windows 7 日本語版 Microsoft Windows Vista 日本語版 Microsoft Windows Server 2003, Enterprise Edition for 64-Bit Itanium-based Systems 日本語版 Microsoft Windows Server 2003, x64 Edition 日本語版 Microsoft Windows XP, x64 Edition 日本語版 Microsoft Windows XP, 64-bit Edition 日本語版 Microsoft Windows Server 2012 日本語版 Microsoft Windows Server 2008 R2 日本語版 Microsoft Windows Server 2008 日本語版 Microsoft Windows Server 2003 日本語版 Microsoft Windows XP 日本語版 Microsoft Windows 2000 日本語版 Microsoft Windows Millennium Edition 日本語版 Microsoft Windows 98 Second Edition 日本語版 Microsoft Windows 98 日本語版 Microsoft Windows 95 日本語版 Microsoft Windows NT 4.0 日本語版 日本語MS-DOS （ver 3.3以上）、MS-DOS 5.0/V以上またはIBM DOS Ver.J5.0/V以上（DOS/V）

*1 電源投入からプリント可能になるまでの待ち時間です。

*2 印刷データの内容によって異なります。

*3 完全な互換性を保っているものではありません。一部の機能（コマンド）については完全に一致した印刷結果を得ることができないことがあります。

*4 6行＝25.4mm。

*5 用紙長 279.4mm（11インチ）用紙を1枚とします。

添付品

- 電源ケーブル 1本
- PCカートリッジ空箱 1箱
- トナーカートリッジ 1本
- ビニール手袋 1組
- ビニール袋（使用済みトナーカートリッジ回収用）.....1枚
- ビニール袋（使用済み廃トナーボックス回収用）.....1枚
- シールテープ（使用済み廃トナーボックスの回収口の封印用）.....1枚
- 清掃筆、ワイヤクリーナ（ケースに収納）..... 各1本
- 斜傾防止ガイド.....1個
- 7インチトレー 1組
- プリンタソフトウエアCD-ROM.....1個
- ジャム処理手順リーフレット 1枚
- 7インチトレー使用方法リーフレット 1枚
- 取扱説明書 1冊

用紙の規格

用紙の紙質

用紙は、送り孔付き連続折りたたみ紙のうち単票用紙の一部紙が使用できます。用紙に使用される原紙の品質は、JIS P 4502（連続伝票用原紙）に準じます。一般には次の条件を満たすことが必要です。

- 通常の用紙走行では、用紙送り孔が破れないような十分な強さをもつもの。
- 鉛筆、万年筆、ボールペンによる筆記性に優れるもの。
- 折れ、しわ、裂け目、破れ、著しい湾曲などがないこと。
- 粘着液、油などのしみがないこと。
- 表裏面がコーティングされたり、プラスチック物質（熱可塑性樹脂）を含まないこと。

用紙坪量（連量）

坪量64g/m^2（連量55kg）から坪量157g/m^2（連量135kg）のものまで使用できます。

折りたたみ長さおよび用紙幅

本装置で使用できる折りたたみ寸法および用紙幅を以下に示します。表に示す寸法範囲内で自由に選択することができますが、慣用的寸法を用いることを推奨します。
また、印刷頁長（印刷データの頁サイズ）と折りたたみ長さは必ず一致させてください。物理的折りたたみ長さと印刷頁長が不一致の場合、印刷濃度制御、折りたたみ性能に不具合が出る可能性があります。

表A-1　折りたたみ長さおよび用紙幅

項　目	寸　法
折りたたみ*1	177.8～355.6mm（7～14インチ）
ピッチ	4.23mm（1/6インチ）
用紙幅*2	165.1mm～457.2mm（6.5～18インチ）
ピッチ	任意

*1 折りたたみ長さの許容値は、±0.5mmとします。
スタッカ部のピッチ設定は1/2インチです。
*2 用紙幅の許容差は、＋1.5mm、―0.5mmとします。

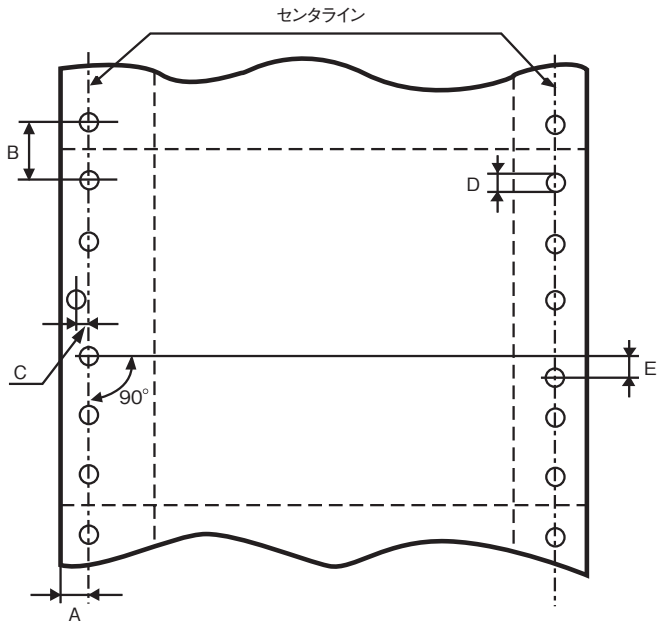
印刷可能領域

「印刷保証範囲」（325ページ）を参照してください。

送り孔

送り孔は、用紙の両端に設け、完全に打ち抜かれていることが必要です。また切り口が極度にだれていないことが必要で、抜きかすは完全に除去されていなければいけません。

送り孔の位置と寸法はJIS X 6195に準じ、以下の通りです。ここでいうセンタラインとは、送り方向に約254mm離れた任意の二つの送り孔の中心を結ぶ線分のことです。



図A-1　送り孔の位置と寸法

- 送り孔の位置
  送り孔は、連続伝票の左右両側の余白にあけます。送り孔のセンタラインと対応する端辺との距離Aは、次の通りとします。

  A＝6.0±0.7mm

- 送り孔の直径
  送り孔の直径Dは、次の通りとします。
  D＝4.0±0.1mm

  ただし、孔の縁が歯状になっている送り孔は、最小直径が上記のDの通りとし、最大直径が4.5mmを超えてはなりません。

- 送り孔の中心間距離
  隣接する二つの送り孔の中心間の距離Bは、次の通りとします。

  B＝12.70±0.05mm

- 送り孔の中心間距離の累積誤差
  送り孔の中心間距離の累積誤差は、送り孔中心間距離254mmを超えない任意の二つの送り孔の間で±0.3mmを超えてはなりません。

- 送り孔の中心のずれ
  送り孔の中心のセンタラインに対する左右のずれの最大許容値Cは0.1mmとします。

- 左右の対応する送り孔の中心のずれ
  左側の任意の送り孔の中心を通り、センタラインに垂直な直線とそれに対応する右側の送り孔の中心のずれの最大許容値Eは0.15mmとします。

- 左右のセンタラインの傾き
  左右のセンタラインを平行に移動して一方の端点と重ねたとき、他方の端点間の距離は0.15mm以内とします。

ミシン目

ミシン目は、折りたたみミシン目、中間ミシン目、および内部（水平、垂直）ミシン目の3種類が使われます。

折りたたみミシン目

177.8～355.6mm（7～14インチ）の折りたたみ長さで折りたたみに使われる水平ミシン目です。用紙はこのミシン目単位で納入され、印刷後はこのミシン目を使ってスタッカ部で連続的に折りたたまれます。

中間ミシン目

折りたたみミシン目間で複数セットを1ページとして保持する場合に、折りたたみ単位内で使われる境界用のミシン目です。この中間ミシン目では折りたたみは行われません。折りたたみ性を考慮すると、中間ミシン目の間隔は、76.2mm（3インチ）以上必要です。

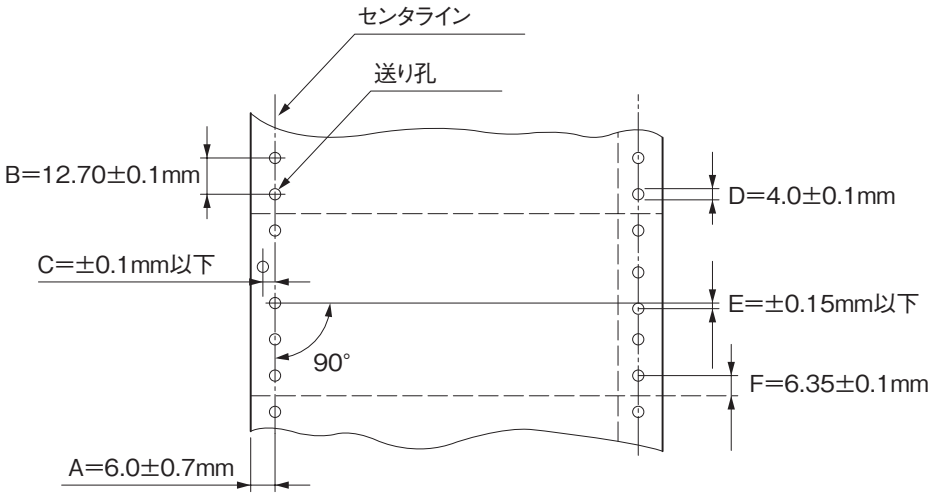
内部ミシン目

水平および垂直ミシン目で用紙の境界用に使われます。垂直内部ミシン目間隔は、50.8mm（2インチ）以上必要であり、水平内部ミシン目間隔は、76.2mm（3インチ）以上必要です。

均一の印刷品質を保証するために、内部ミシン目から上下左右ともに1.27mm（1/20インチ）範囲以内の印刷は、できるだけ避けてください。

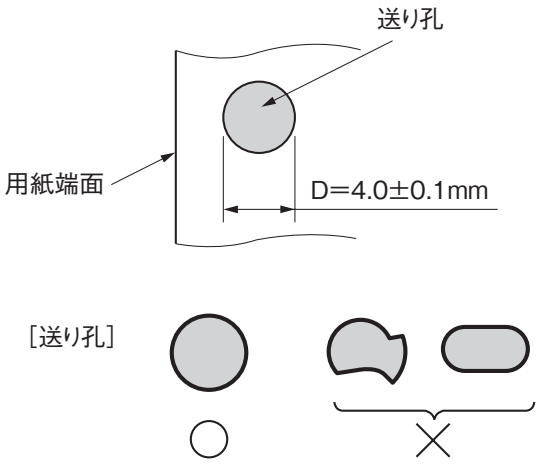
送り孔、ミシン目の精度

送り孔は、用紙の両端に設けます。半抜け状態の孔、もしくは抜きかすが用紙の間に挟まって残っている用紙は、用紙搬送不良や抜きかすによる脱字現象が発生する可能性があるので、使用できません。



図A-2　用紙加工精度

A：送り孔のセンタと対応する端辺との距離
B：連続する二つの孔の中心間の距離
※センタラインに沿って存在する中心距離 254mm（10 インチ）を超えない任意の二つの送り孔の中心距離の累積誤差は±0.3mm以下のこと
C：孔の中心のセンタに対するずれの量
D：送り孔の直径
E：左右の対応する孔の中心のずれ量
F：折りたたみミシン目と隣接する送り孔のセンタとの距離



図A-3　送り孔の直径

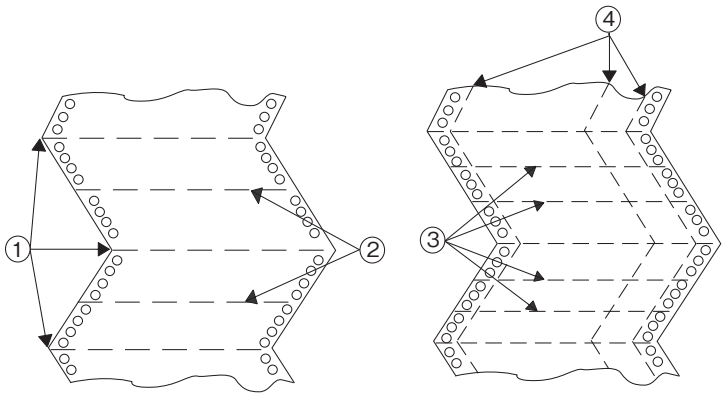
孔の縁が菊形状になっている送り孔は、最小径が上記のD寸法とし、最大径は4.5mmを超えないようにします。

ミシン目の寸法規格と強度

ミシン目の寸法は印刷中に切断されない強度を持つことと折りたたみ性から求められます。
64g/m^2（55kg）紙の折りたたみミシン目は、タイ部とカット部の比率が約1対3であり、タイ部の長さが0.8～1.0mmの範囲にあることが必要です。なお、64g/m^2（55kg）紙の折りたたみミシンの引っ張り強さは、0.6kg/cm以上必要です。

表A-2に推奨するミシン目の寸法規格を示します。折りたたみミシン目と中間及び水平内部ミシン目との寸法がインパクトプリンタの寸法と異なっているので注意してください。表A-2に示されない部分はインパクトプリンタで通常使用されているミシン目寸法で支障はありません。
また、ミシン目加工の際には、以下の点に注意してください。

- 一直線に加工されていること。
- 折りたたみミシン目は正しい角度であけられていること。
- ミシン目は、印刷面より裏側に向かって入れること。
- 用紙の両端はタイ部とし、ミシン目を入れておくこと。
  - 折りたたみミシン目のミシン止め：左右2～3mm
  - 中間及び、水平内部ミシン目のミシン止め：左右10～12.7mm
    特に中間ミシン目のミシン止め寸法が不足する場合、中間ミシン目で折りたたんでしまう場合があります。
- 垂直内部ミシン目カットは、中間及び、水平内部ミシン目のカットに交差しないこと。



①折りたたみミシン目
②中間ミシン目
③水平内部ミシン目
④垂直内部ミシン目

図A-4　ミシン目の種類

ミシン目デザイン上の注意事項

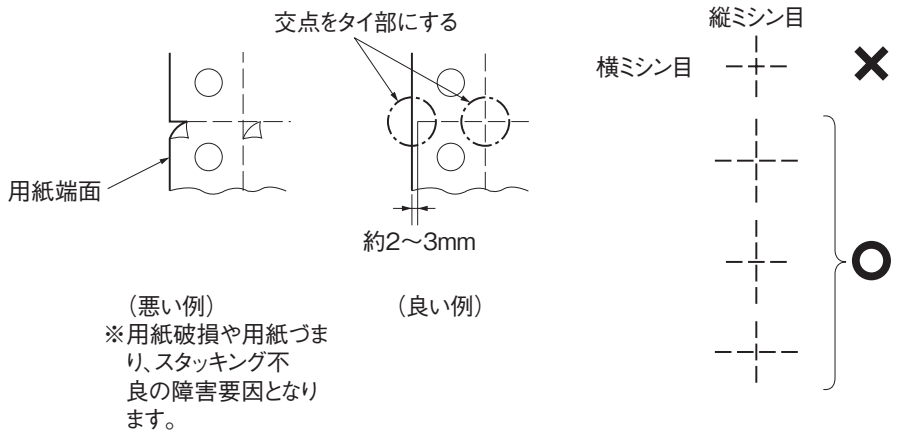
折りミシン目、中間ミシン目、中間縦ミシン目、および中間横ミシン目の加工基準推奨値を以下の表に示します。ミシン目加工寸法が同一であっても、用紙の銘柄や加工条件の違いによって折りたたみ特性、切り離し特性が変わる場合があるため、この基準を目安に事前確認をする必要があります。

表A-2　折りミシン目、中間及び、内部ミシン目加工寸法

ミシン目		坪量（連量）				
		64g/m^2（55kg）	81.4g/m^2（70kg）	104.7g/m^2（90kg）	127.9g/m^2（110kg）	157g/m^2（135kg）
折りたたみミシン目＊1		0823 0825	0825	0825	0825	1030
中間及び、内部ミシン目	一般上質紙の場合	0819	0819	0819	0819	1020
	一般上質紙の場合	−	0823	0823	0823	−

＊　0823は、はじめの2桁で「タイ」が0.8mm、残りの2桁で「カット」が2.3mmを表しています。

- 折りミシン目および中間横ミシン目と用紙の両端面との交点には、必ず約2～3mmのタイ部を設けてください。また、折りミシン目および中間横ミシン目と縦ミシン目との交点にも、必ずタイ部を設けてください。



図A-5　ミシン目の交点

- 中間及び、内部ミシン目の凹凸やバリの存在が印字品質低下の原因となります。凹凸やバリのない用紙を使用すると共に、ミシン目近傍の印字を避けたデザインとしてください。余白の目安は約2mmです。（「バインダ孔、カットの禁止領域」（310ページ）参照。）
- 中間及び、内部ミシン目から裁断したときに印字データが分割されてしまうことを防ぐため、ミシン目近傍に重要なデータを印字することは避けてください。余白の目安は約2mmです。（「バインダ孔、カットの禁止領域」（310ページ）参照。）
- 本プリンタには構造上、縦ミシン目を設けることのできない領域が規定されているものがありますので注意してください。（「バインダ孔、カットの禁止領域」（310ページ）参照。）
- 中間及び、内部横ミシン目の本数が多くなると、用紙のバタツキやスタッカ障害の原因となります。中間及び、内部横ミシン目の本数はできるだけ少なくしてください。多くなる場合は、タイ／カット比率を工夫すると共に、十分に事前確認をする必要があります。

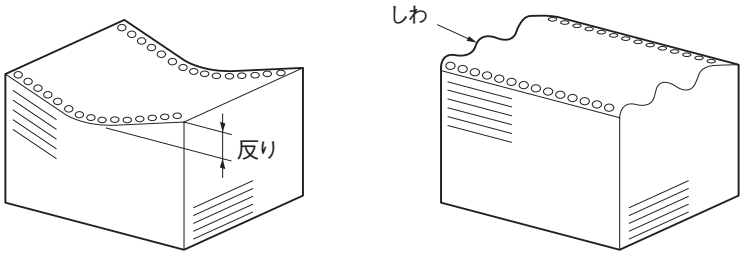
表A-3　内部ミシン目数の目安

用紙坪量（連量）	ミシン目区分	
	横ミシン目	縦ミシン目
64.0 ～ 81.4g/m^2（55 ～ 70kg）	1 本以下	3 本以下
81.4g/m^2（70kg）を超え～ 127.9g/m^2（110kg）未満	2 本以下	3 本以下
127.9g/m^2（110kg）を超え～ 157g/m^2（135kg）	2 本以下	4 本以下

* 内部ミシン目は折りたたみミシン目より3インチ以上離してください。

ミシン目加工上の注意事項

- ミシン目の加工は、用紙表面（プリンタ印字面）から裏面方向に打ち抜き、膨らみがないようにしてください。加工方向が逆の場合は、切り込みによる用紙突起部の周囲で印字不良や感光ドラムへの障害が発生することがあります。
- 折りミシン目は用紙端に対して直角で、かつ一直線に加工されていることが必要です。直角度が損なわれると斜積や用紙のよじれなどの原因となります。
- 使用するミシンカッタは、刃厚、切れ味の管理を十分に行ってください。刃厚が厚すぎたり切れ味が悪い場合は、ミシン目の膨らみが大きくなり、重送、反り、斜積、用紙のねじれ等の原因となります。刃厚が薄すぎたり切れ味が良すぎる場合は、用紙切れや逆折れ等の原因となります。

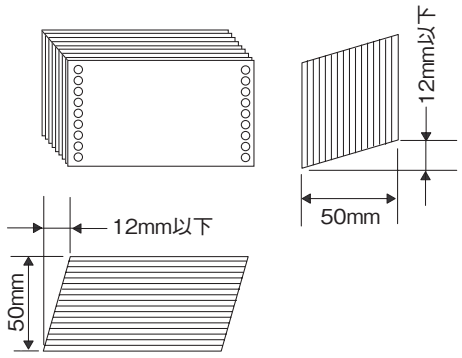


ミシン目の切り込みが弱い場合
⇒用紙の反りが大きくなる。
坪量が64g/m^2、2,000
シート反り<15mm

ミシン目の切り込みが強い場合
⇒しわが発生する。用紙がミシン目で切れやすい。

図A-6　用紙の変形

- ミシン目の加工方法などにより紙紛が大量に発生し、搬送不良や印字品質低下の原因となることがあります。ミシン目加工は、極力鋭利なカッタで加工するとともに、必要により紙紛除去処理を行ってください。
- ページプリンタ内のスタッカの性能を十分発揮させるためには、折りたたみミシン目が正しい角度であけられている必要があります。印刷用紙の製造業者はこの点を次の方法によりチェックすることができます。
  - 用紙梱包前の用紙スタックから50mm分を取り出し、マージナル部分を両手で持ち、用紙を上下に振ります。次に、この用紙を水平面に置き、その傾きを図A-7のように計測します。
    その結果、傾斜長が12mm以下であることを確認します。



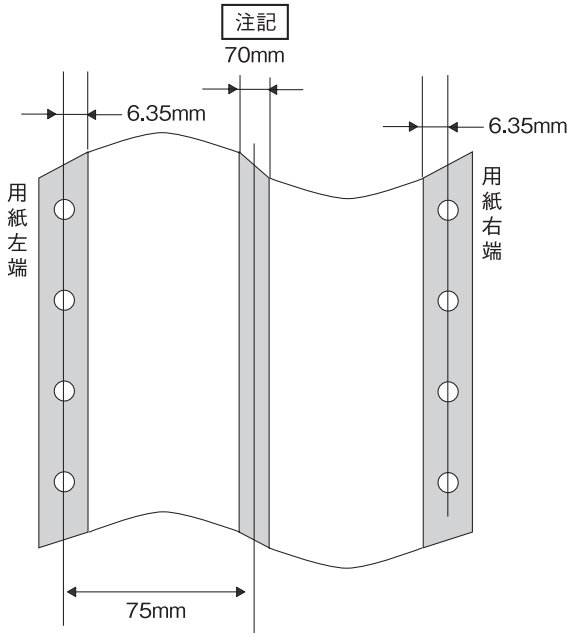
図A-7　折りたたみ均一性

バインダ孔、カットの禁止領域

ファイル用のバインダ孔および、フォームの特定位置を示すためのカットが必要になる場合は、用紙送り系の問題、用紙切れ、そして印刷品質の低下を避けるために、表A-4に示す諸点に留意しなければなりません。

表A-4　バインダ孔とカットの制限事項

項目	規格
バインダ孔とカットの 使用禁止領域	図A-8参照
バインダ孔とカットの 大きさ	バインダ孔直径：φ6.35mm 以内最大 カット形状：　6mm 6mm
バインダ孔および、 カット周辺の印刷禁止領域	バインダ孔とカットから2.5mm以内には印刷しない



注記）70mm範囲には横方向に複数のバインダ孔、カットがあってはいけません。それを避けられない場合は印刷装置の改造で対応する必要があります。

図A-8　バインダ孔とカットの使用禁止領域

プレプリント用紙（事前印刷用紙）

デザイン上の注意事項

- インクの量は極力少なくてすむデザインをしてください。インクの量で印刷濃度を出すのではなく、インクの色でカバーし、インク量を減らしてください。
- 印刷インクの影響で印字品質が低下する場合があります。このため、重要なデータを印刷する部分へのプレプリントを避けたデザインとします。
- ベタ印刷はインクが紙面を完全に覆うため、印字品質への影響が大きくなります。バックカラー印刷や地紋印刷などをする場合は、ベタ印刷を避け、網点印刷にしてください。
- プレプリントした印刷枠の中にプリンタで印刷する場合は、印字位置ずれが目立つことがあります。極力、枠印刷を避け、地紋印刷などにより代替えする、あるいは地紋印刷した用紙にオーバーレイで枠を印字する方法を採用してください。プレプリントした印字枠が必要な場合は、印字位置精度を考慮して、枠の寸法を大きめにします。余白は1mm以上設けます。
- ベタ縦線の連続は、インク転写が起きやすく、印字品質の低下や紙面汚損の原因となるので避けてください。
- プレプリント（オフセット印刷）によって用紙の水分量が増減する場合があります。この場合でも含水量は5.5±0.5%としてください。
- 本装置には構造上、プレプリントのできない領域が規定されているので注意が必要です。（「バインダ孔、カットの禁止領域」（310ページ）参照。）

インク

- プレプリントには耐熱性のフラッシュ定着用 UV インク（紫外線硬化型インク）を使用してください。耐熱性フラッシュ定着用UVインクには一例として下記の製品があります。UVインク乾燥のためのランプ照射条件が適切でなくインク乾燥が不十分な場合には、用紙走行路や感光ドラムにインクが付着し、障害原因となることがあります。カーボン入り墨インクは印刷用紙紙質によって変質する場合がありますので、事前に通紙確認をしてインク銘柄と用紙を選定してください。
  - UVシリーズ（(株) T&K TOKA）
  - FDFWO耐熱性シリーズ（東洋インキ製造（株））
  - UVBFシリーズ（ザ・インクテック（株））
  - 耐熱乾式用インク（大日本インキ化学工業（株）製）
- UVインクの印刷設備がない場合には酸化重合タイプのインクを使用してください。酸化重合タイプのインクを使用する場合には、乾燥に十分注意してください。印刷後のインク乾燥および用紙含水率制御のための用紙乾燥調質を十分に行ってください。酸化重合タイプインクの乾燥所要時間は、一般的に5～7日といわれています。
- 耐熱性の低いインクを使用すると、定着時の熱によるインクの変質や、フューザ部などへの付着が発生し、印字品質の低下や搬送不良、異臭発生などの原因となります。200℃の熱に耐えるインクを使用してください。
- 金属混入インク、導電性インク、コールドセットインク、ラバーベースインク、シリコン含有量が多いインクの使用は絶対に避けてください。

取り扱い上の注意事項

- インクが乾燥していない状態で使用すると、インクがフューザ部や感光ドラム、ローラなどに付着し、印字品質の低下、搬送不良、装置破損の原因となります。したがって、十分にインクが乾燥した用紙を使用してください。
- 異物が用紙に混入したり、付着したりしていないどうかを確認してください。プレプリントの印刷工程中に、印刷機から異物が混入（静電気除電用のワイヤーブラシ等）することによって装置損傷の原因となることがあります。したがって、用紙メーカを決めるに際しては、メーカと検討した後、十分な枚数の用紙で印字テストを行うことをお勧めします。
- プレプリント後に用紙にコーティングを行う場合があります。コート材料によっては印字品質に問題が生じる場合があるので、用紙メーカにフラッシュ定着方式の電子写真印刷に適しているかどうかを確認してください。

事前確認

- 運用に先立って用紙を試作し，事前に通紙確認を十分に行ってください。
- 確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカと十分に話し合い、一定品質の用紙供給が得られることを確認してください。

特殊紙

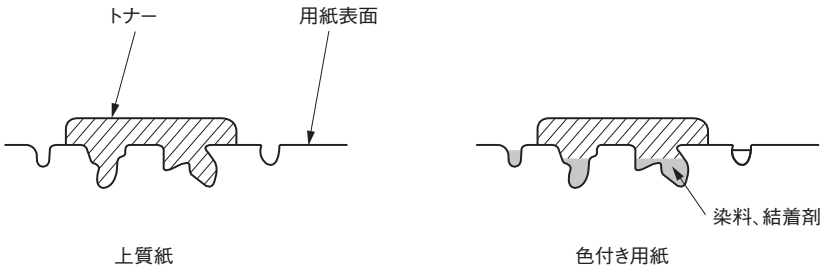
重要

用紙種類ごとに「使用可」、「使用不可」、「事前確認が必要」な用紙があります。

上質紙以外の特殊紙は、従来他方式のプリンタで使用していたものをそのまま電子写真式プリンタに適用するのではなく、電子写真式プリンタに適した用紙のご使用をお勧めします。
用紙メーカから新タイプの特殊帳票が各種開発・販売されていますが、これらの特殊帳票は、用紙メーカでのテストはもちろんのこと運用先においても事前に十分なテストの実施が必要です。テストでは印字品質を確認するだけではなく、気化物質等によってオペレータの環境衛生やプリンタに悪影響を与えない帳票であることを確認してください。

色付き用紙（事前確認が必要）

色付き用紙は、着色のため染料およびその結着剤を用紙の繊維中に含浸させるため、紙面の微細な凹凸が少なく、溶融トナーが繊維中に浸透しにくくなるので、定着性が低下します。また、結着剤（樹脂）とトナーの親和性が悪い場合は特に定着性が劣ります。このため、本プリンタでは印字品質を保証できませんので、色付き用紙の使用は避けてください。
やむを得ず使用する場合は十分に事前確認を行い、定着性の低下レベルを理解した上で運用してください。



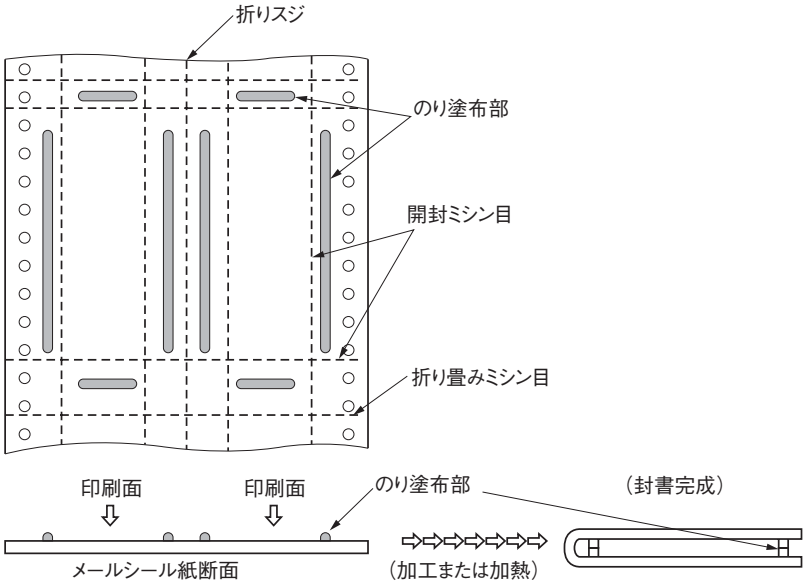
図A-9　色付き用紙とトナー付着

中質紙（使用可）

再生パルプを含んでいるため色がうす茶または灰色を帯びています。安価ではありますが、紙粉が出やすい傾向にあるため、特に装置の日常清掃が必要です。

メールシール紙（事前確認が必要）

用紙の隅に部分的にのりを塗布したもので、プリンタで印字後、袋状に閉じて接着し、封書とします。のり部は通常は接着力を持ちませんが、加熱または加圧により接着力が得られます。これを郵送し、送付先にてミシン目を切断して開封します。



図A-10　メールシール紙

デザイン上の注意事項

- 接着剤の盛り上がりが、搬送不良や印字品質低下の原因となります。接着剤の盛り上がりのない用紙を選択するとともに、接着剤塗布部付近への重要データの印字を避けてください。余白の目安は3.5mmです。（「バインダ孔、カットの禁止領域」（310ページ）参照。）
- 接着剤（のり）が感光ドラムやフューザ部に付着すると、搬送不良や印字品質低下、装置破損の原因となりますので、ドラムやフューザ部、搬送路に糊が付着しないことを事前に十分確認してください。
- 接着剤やインクに含まれる物質が、気化することによってプリンタを劣化させたり、オペレータに不快感を与える場合があるため、事前に十分確認してください。

取り扱い上の注意事項

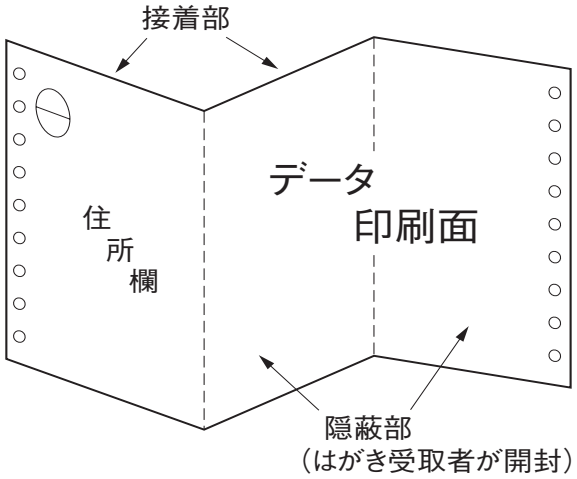
- 用紙の積み重ね量が増えると、自重により用紙にブロッキング（糊による貼り付き）が発生する可能性があります。用紙の保管の際の積み重ね量については、用紙メーカに確認してください。
- メールシール紙には、普通紙に比べて長期保存性の劣るものがあります。用紙の保存期間、保管条件については、用紙メーカに確認してください。

事前確認

- 運用に先立って用紙を試作し，事前に通紙確認を十分に行ってください。
- 確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカと十分にご相談の上、安定した用紙供給が得られることを確認してください。

シールはがき用紙（事前確認が必要）

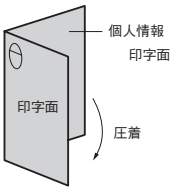
用紙の両面（または片面）にシールのりを全面塗布したもので、プリンタで印刷後、折りたたんで、はがき状に接着します。のり部は通常は接着力を持ちませんが、折り畳み後加圧（シーラーと呼ぶ専用機を用いる）することにより、接着力が得られます。
はがきとして郵送し、送付先にて開封します。一度剥がすと再び貼り付けられないようになっているので、親展性が高まります。



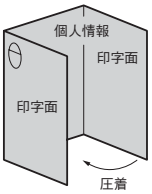
図A-11　シールはがき用紙

*　シールはがき用紙の特性は、用紙メーカによって異なり、随時、新商品が発売されていますので、詳細はメーカに問い合わせてください。

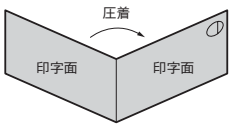
また、帳票の種類は、上記に説明した三つ折りタイプ（両面にシールのみを塗工）の他に、往復はがきタイプ（片面にシールのりが塗工され1面のみ圧着）、ハーフタイプ（はがき1枚半の大きさで半面のみ圧着）などがあります。



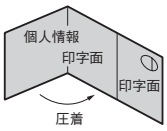
2ツ折り連続プリンタ用
2ツ折りカット紙プリンタ用
隠蔽面2面分　情報量4面分



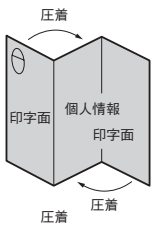
2ツ折り連続プリンタ用
2ツ折りカット紙プリンタ用
隠蔽面2面分　情報量6面分



2ツ折りウェットシール転換用
情報量2面分



2ツ折り連続プリンタ用
2ツ折りカット紙プリンタ用
隠蔽面ハガキ半面分　情報量3面分



3ツ折り連続プリンタ用
隠蔽面4面分　情報量6面分

図A-12　各種シールはがき

デザイン上の注意事項

- 用紙の裏表に特殊な感圧糊が塗工されています。そのため、印字／印刷する際、圧着不良につながる可能性がありますので、相対する面の印字／印刷が極力左右対称とならないようなレイアウトで設計してください。
- 上記と同じ理由により、ベタ印刷は極力使用しないでください。また網点印刷も15%を上限としてください。
- 用紙の圧着力は、事前印刷条件やプリンタによる印字量によって変化します。圧着力が強すぎると開封時に破れやカールが発生し、弱すぎると郵送途中でのめくれなどが起こる可能性があります。帳票デザインに適した加圧条件を用紙メーカに確認してください。

取り扱い上の注意事項

- 接着剤（のり）が感光ドラムやフューザ部に付着すると、搬送不良や印字品質低下、装置破損の原因となりますので、ドラムやフューザ部、搬送路に糊が付着しないことを事前に十分確認してください。
- 接着剤やインクに含まれる物質が、気化することによってプリンタを劣化させたり、操作者に不快感を与える場合があるため、事前に十分確認してください。
- 湿度の変化に弱いため、通常は防湿包装（ビニール袋など）のまま保管します。
- 用紙の積み重ねの量が増えると、自重により底部でブロッキング（糊による貼り付き）が発生するおそれがありますので、用紙の積み重ね量については用紙メーカに確認してください。
- 普通紙に比べて長期保存性に劣るものがあるので、用紙の保存期間、保管条件については用紙メーカに確認してください。

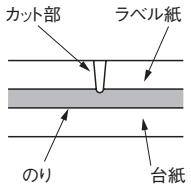
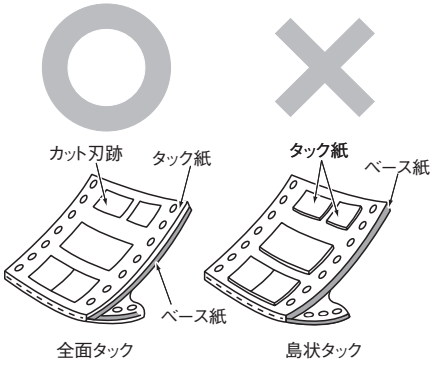
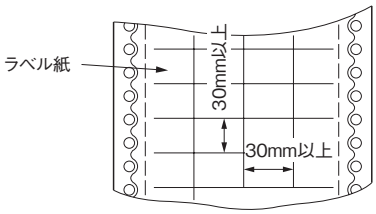
事前確認

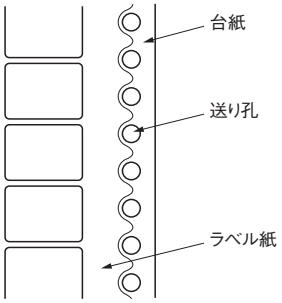
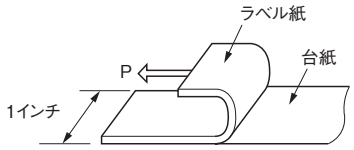
- 運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙、圧着品質の確認を十分行ってください。なお、プレプリンタの内容や出力データの領域によってシールはがきとしての品位が左右されるため、テスト時はデータフォーマット、印字濃度等、実運用と同じ条件下で行ってください。
- 確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカと十分に話し合い、一定品質の用紙供給が得られることを確認してください。

タック紙（事前確認が必要）

タック紙とは、裏面に糊の付いたラベル紙を台紙の上に並べたもので、印刷後に台紙からラベルを剥がして使用します。

表A-5　タック紙の推奨仕様

<table>
<tr><th colspan="3">項目</th><th>仕様</th><th>仕様</th></tr>
<tr><td rowspan="5">用紙</td><td rowspan="2">ラベル紙</td><td>紙質</td><td>上質紙</td><td rowspan="5">● 接着剤がカット部からはみ出すと搬送不良や装置破損の原因となります。定着熱が加わっても接着剤がはみ出したりラベル紙が捲れないことが必要です。
● カット部が深く、台紙に傷が付くと用紙の腰が弱くなり搬送不良の原因となります。
 
</td></tr>
<tr><td>坪量</td><td>52～64g/m^2</td></tr>
<tr><td rowspan="2">台紙</td><td>紙質</td><td>グラシン紙</td></tr>
<tr><td>坪量</td><td>81～93g/m^2</td></tr>
<tr><td colspan="2">のり</td><td>アクリル系溶剤</td></tr>
<tr><td colspan="3">ラベル形状</td><td>島状不可</td><td>ラベルの形状は下図に示す通りとしてください。島状に配置されていると、搬送不良の原因となります。
 
</td></tr>
<tr><td rowspan="2">ラベルサイズ</td><td>送り方向寸法</td><td>30mm以上</td><td rowspan="2">カット部で用紙剛性が小さくなるため、カット面が多く入ったタック紙は搬送不良などの原因となります。
 
</td></tr>
<tr><td colspan="2">軸方向寸法</td><td>30mm以上</td></tr>
</table>

項目		仕様	仕様
ラベルフォーマット		かす取り禁止 送り孔部の かす取り禁止	ラベル部以外の台紙が露出しないようにしてください。 送り孔の周囲に接着剤がはみ出すとトラクタピンに接着剤が多堆積搬送不良、印字汚れの原因となります。 
のりの接着力	はく離抵抗（P）	30g以上／ インチ	180度ピール法で約30g／1インチの強度が必要です。 
折りミシン目タイ／カット比		1030（1：3）	
台紙の中間ミシン目		禁止	

取り扱い上の注意事項

- タック紙の保管条件は、湿度15～32℃、湿度40～70%とし、保管期限は製造後1年を目安とします。また製造後、湿気が入らないよう、できるだけ速く防湿フィルムなどで完全包装します。
- カット部の影響により印字品質が低下する場合がありますので、カット面付近の印字を避けてください。余白の目安は印字位置精度も考慮して約2mmです。（「バインダ孔、カットの禁止領域」（310ページ）参照。）
- ラベル紙と台紙の紙質や厚さが異なると、定着時の熱でカールを発生します。このため、ラベル紙、台紙とともに電子写真印刷用に製造され、かつ含水率を5.5±0.5%以内とするなどの考慮をされた熱によるカールのない用紙を使用してください。
- 用紙の積み重ね量が増えると自重により底部の用紙に接着剤のはみ出しが発生する可能性があります。保管の際の用紙の積み重ね量については用紙メーカに確認してください。

事前確認

- 運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙確認を十分行ってください。
- 確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカと十分にご相談の上、一定品質の用紙供給が得られることを確認してください。

エンボス用紙（使用不可）

用紙に絞りを入れて社名ロゴなどを浮き彫りにした用紙をエンボス用紙と称します。用紙の一部に厚さの差や凹凸があると、搬送不良や印字品質低下の原因となります。エンボス用紙あるいは、これに類似した用紙（厚みに差のある用紙など）は使用できません。

シークレットラベル用紙（使用不可）

はがきを親展にするために、はがきの一部に部分的に貼り付ける、剥離可能かつ再貼り付け不可能なラベルをシークレットラベル用紙と称します。
事前にシークレットラベル用紙を貼り付けた用紙は、本プリンタでは使用することはできません。
通常の用紙に出力後、後処理でシークレットラベルを貼り付けてください。
なお、はがきサイズに裁断後、ラベルを貼る機器と、裁断前にラベルを貼り、その後用紙を裁断する機器が市販されています。業務に見合った機器を選択してください。

透かし入り用紙（使用不可）

一度すいた紙に重ねてもう一度紙をすくことにより製造されたり、特殊な薬剤印刷によって製造された透かし入り用紙は、表と裏の用紙の特性差や印刷物質の剥落があり、用紙のカールや印字品質低下の原因になります。また、透かし部分の印字品質の保証もできません。したがって、原則的には透かし入り用紙は使用できません。
官公庁向け文書などでやむを得ず使用せざるを得ない場合は、十分に事前確認してください。

透明フィルム（使用不可）

本装置では透明フィルムは使用できません。

塗工紙（使用不可）

用紙に酸化チタン・カオリン・クレー・炭酸カルシウムなどでコーティングを施した塗工紙にはアート紙・コート紙・微塗工紙などがあります。一般に、塗工紙は用紙の腰が弱く、またトナー定着性が悪いためにスタック不良や印字品質劣化の恐れがありますので、事前に十分な確認が必要です。特にシリコーンコート紙は印字品質の劣化が激しく使用できません。

取り扱い上の注意事項

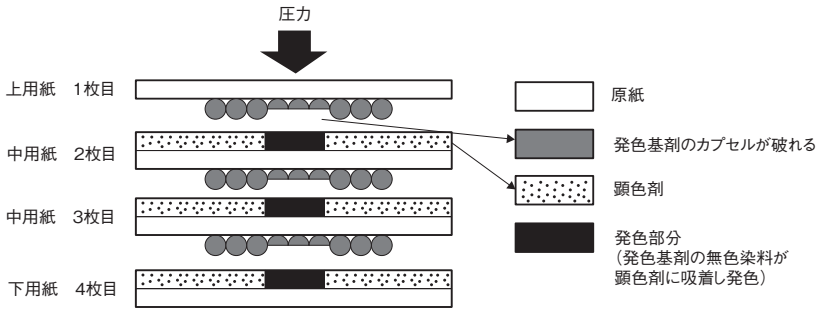
- 微塗工紙は外部環境による影響を受け易く印字品質劣化の原因となります。用紙搬送・保管時の外部環境による影響を防止するため、必ず防湿梱包（ビニール袋等）を行ってください。
- 乾燥や吸湿を防ぐため、開封した用紙の長時間放置は避け，防湿梱包した状態で保管してください。またプリンタ内の用紙についても装置停止後はプリンタから外し、防湿梱包した状態で保管してください。

事前確認

- 運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙、印刷確認だけでなく封入封緘等の事後処理も確認を十分に行ってください。
- 確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカと十分にご相談の上、安定した用紙供給が得られることを確認してください。

ノンカーボン紙（使用不可）

図のように、筆圧で発色する材料（感圧剤）を塗布した用紙3種を組み合わせた複写用紙です。インパクトプリンタを使用する場合は、3枚同時の印字が可能（2枚目以降は感圧剤にて発色）となります。本プリンタのようなノンインパクトプリンタに関しては、3種を別々に印字した後、2枚以上を綴じ合わせる方法で使用される場合があります。



図A-13　ノンカーボン紙

ノンカーボン紙使用における問題としては、下記の事項があります。

（1）筆圧を伝えるため用紙1枚が薄く、坪量が規格の範囲以下である場合が多い。
　→搬送不良、スタック不良の原因となります。
（2）感圧剤がフューザ部の熱で溶ける場合がある。
　→溶けた成分が搬送系に付着することによる搬送障害や脱煙、脱臭フィルタ系への負荷増加により早期交換が必要となります。
（3）感圧剤が搬送ローラ等の搬送系に付着する。
　→搬送力の低下による用紙バタツキ等の搬送障害の原因となります。

これらの問題により、ノンカーボン紙は基本的には使用不可ですが、やむを得ず使用する場合は、十分に事前確認を行い、問題点を理解した上で運用してください。特に（3）については、大量印刷を行う場合にローラ清掃、保守部品交換等、保守条件の見直しが必要となりますので、注意してください。

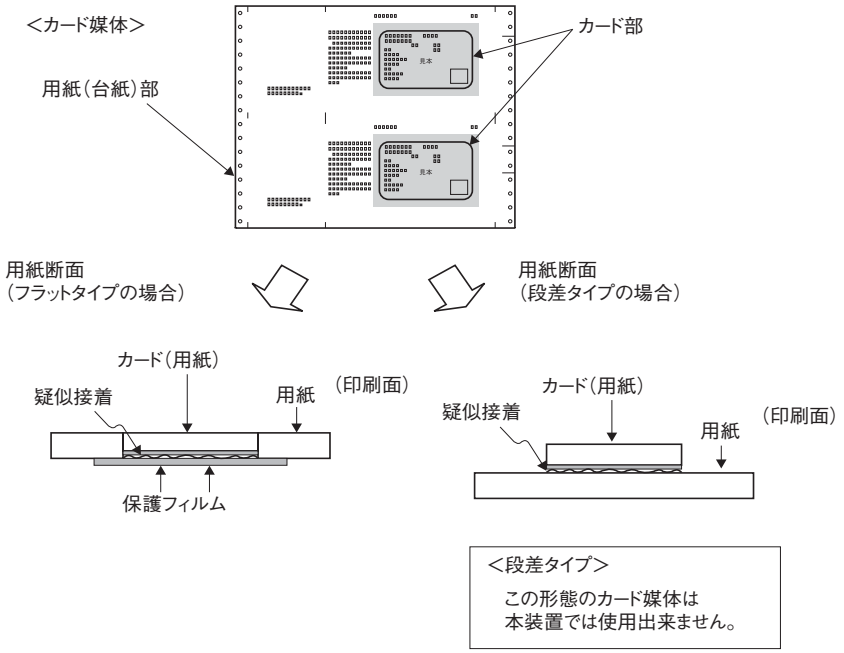
OCR用紙（使用可）

用紙表面に帯電防止剤がコーティングされていると、文字や罫線がにじんだり、ぼやけたりすることがあります。これは、帯電防止剤がドラムに付着してドラムの帯電が損なわれるためです。用紙加工メーカにご確認の上、帯電防止剤がコーティングされていないOCR紙をご使用ください。

カード媒体（事前確認が必要）

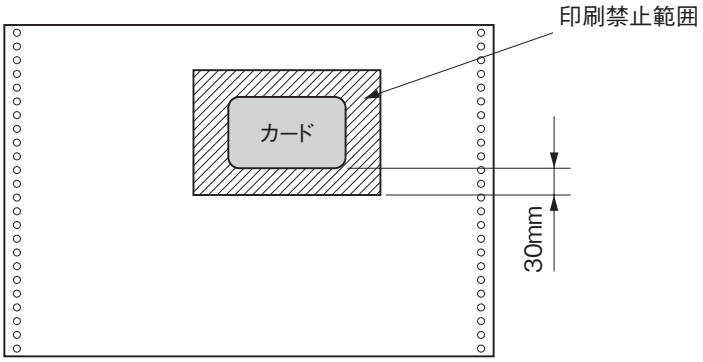
用紙（台紙）の一部に剥離可能なカードを貼った帳票をカード媒体と称します。
このようなカード媒体は、会員証や健康保険証用にプリンタで印刷後、郵送して受け取り人が剥がして使用します。

- カード媒体の形態にはフラットタイプと段差タイプがありますが、本プリンタでは段差タイプは使用しないでください。
- カード媒体は、形態／材質等の仕様が統一されていないため、各媒体により印字品質に与える影響は大きく異なります。運用に先立って十分な検討と事前確認を実施したうえで使用可否を判断して使用してください。

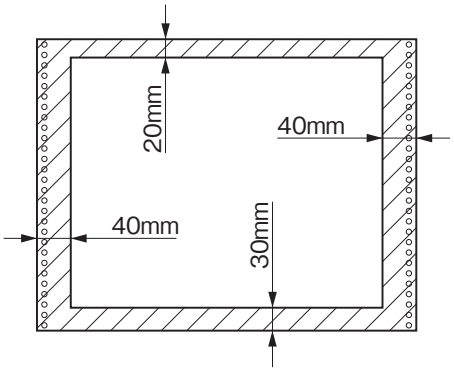


デザイン上の注意事項

- カード媒体は、部分的に帳票の紙質（用紙の腰の強さ）が異なるため搬送性、スタッキング性、印刷適正を考慮したデザインとしてください。
- 台紙とカード部分で用紙の厚さや腰の強さも異なるため、梱包仕様（セット数、積み重ね量）についても、用紙メーカに仕様を十分確認してください。
- カードを含めた用紙の総厚さは0.35mm以下としてください。
- 1箱の収容枚数は最大で500枚としてください。
- カード周辺部30mmの範囲の印刷は保証できません。
（印字抜け等の印刷不良の発生が予想されます。カード媒体仕様によって影響度が異なりますので、サンプル評価等、十分事前調査を行ってください。）



- 下図の斜線範囲へのカードの貼り付けは、用紙走行不良となるおそれがあるのでおやめください。



取り扱い上の注意事項

- カードにバリ、カエリ等の突起があるものは感光ドラム損傷の原因となるため使用できません。
- 接着剤（のり）が感光ドラムやフューザ部に付着すると、搬送不良や印字品質低下、装置破損の原因となりますので、のりが付着しないことを事前に十分確認してください。
- カード媒体の保管期間、条件については用紙メーカに事前確認し、条件を厳守してください。
- カード材質や接着剤特性によって運用環境が制約されますので、用紙メーカに事前確認を行ってください。（使用環境温度は15～32℃、湿度は40～70%としてください。）

事前確認

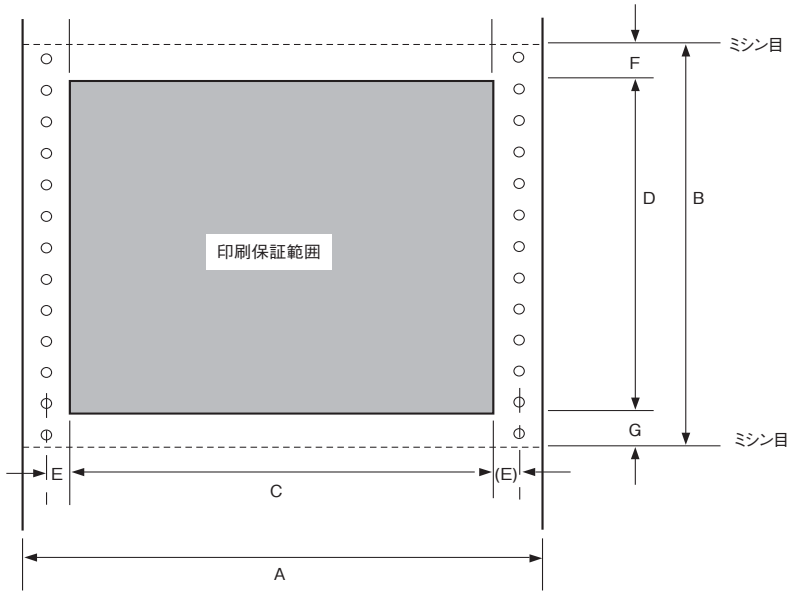
- 運用に先立って用紙を試作し、事前に通紙、印刷確認だけでなく封入封緘等の事後処理も確認を十分行ってください。
- 確認した用紙の品質保証についても、用紙メーカと十分ご相談の上、安定した用紙供給が得られることを確認してください。

その他特殊用紙（事前確認が必要）

封筒などの糊付け紙や、フィルムポケットのある用紙、合成紙といった特殊用紙を使用すると、フューザ部の熱で糊やコート剤やフィルムが溶けることがあります。溶けた部分が感光ドラムや搬送路に付着したり、フューザ部にダメージを与えたり、悪臭を発することがあるので、これらの特殊用紙の使用は避けてください。やむを得ず使用する場合は十分に事前確認を行い、問題点を理解した上で運用してください。

印刷保証範囲

以下に示す印刷範囲は、理論印刷範囲を表しています。実際の印刷範囲とは使用環境、プリンタ設定により多少異なる場合があります。



記号	名称	規格
A	用紙幅	165.1～457.2mm（6.5～18インチ)
B	用紙長	177.8～355.6mm（7～14インチ）
C	印刷保証範囲（横）	最大431.8mm（17インチ）
D	印刷保証範囲（縦）	最大338.7mm（13. 1/3インチ）
E＊1	左右余白	6.35mm（1/4インチ）
F＊2	印刷非保証範囲	8.46mm（1/3インチ）
G＊2	印刷非保証範囲	8.46mm（1/3インチ）

＊1　（E）は概算1/4インチ（JIS規格6.0±0.7mm）となります。

＊2　Fの領域とGの下1/6インチを除く領域は印刷を行いますが、保証はしません。

用紙の保管条件

保管条件

用紙は温湿度により著しく影響を受けますが、特に湿度条件は印刷プロセスに大きく作用します。次の条件下で保管および使用してください。箱から取り出して放置した用紙は使用しないでください。

- 保管条件

  用紙箱を密封した場合：　特殊加工紙　　温度15～30℃、相対湿度40～70%

  　　標準/一般紙/再生紙　温度10～30℃、相対湿度30～70%

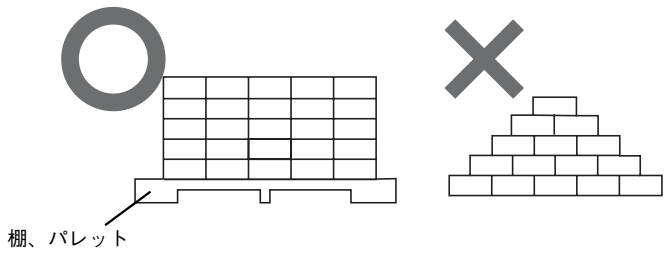
  用紙箱を開いた場合：　温度15～32℃、相対湿度30～70%（温度勾配10℃以内）

- 保管環境が適切であっても3か月を超える長期保管は避けてください。
- 乾燥や吸湿を防ぐため、開封した用紙の長時間（12H 以上）放置は避け、防湿フィルムに包んで保管してください。また、プリンタ内の用紙についても、長時間停止する場合はプリンタから外し防湿フィルムに包んで保管してください。
- 乾燥や吸湿を防ぐため、用紙を急激な温度変化に晒さないでください。用紙箱はあらかじめ使用場所へ運び、移動先の温度に用紙をなじませてから梱包を開くことをお勧めします。以下は環境変化に用紙がなじむために必要な目安時間です。
  - 温度差（5℃）：　放置時間6時間
  - 温度差（10℃）：　放置時間12時間
  - 温度差（20℃）：　放置時間24時間

保管形態

用紙は次の形態で保管してください。

- 用紙箱は直接床の上に置かないでください。床に直接用紙を置くと吸湿しやすくなります。用紙は水平で凹凸のない棚かパレット上に水平に保管してください。
- 変形を避けるため、用紙は高く積み上げないでください。箱に入った状態の用紙であっても高く積み上げないようにしてください。目安として1メートル以上の積み上げは避けてください。

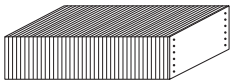
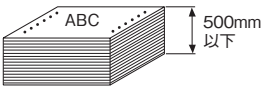


- 一部使用済みの箱は「ごみ」や「ほこり」から用紙を保護するために封印し、一番上に置いてください。また、一部使用済みの箱には、適切なマークなどを付け、最初に使用してください。

印刷物の保存について

本装置から出力された印刷物を長期間（15年以内）保存する場合、印字状態の変化が少なくなるよう表に示した点に留意して保存してください。
なお、用紙の変色、劣化についてを保証するものではありません。

表A-6　印刷物の保存方法

項　目	方　法		備　考
保存環境	温度40℃以下、湿度80%以下を目安としてください。		
積み重ね保存	印刷面どうしが重ならない場合： （各ページ裁断後印刷面を上に重ねる） 長期保存可能		
	印刷面どうしが重なる場合	横型積み重ねは長期保存可能 	
		縦型積み重ねの場合、高さが500mm以下で、ほかの物品による加圧がないとき長期保存可能 	500mm以上のとき、1年以上の保存はトナー転移を起こすことがあります。
耐透明フィルム保存	可塑剤を含有しないプラスチック材料に接するとき長期保存可能 ● 塩化ビニール系材料を使用すると、印字転移するので保存には適しません。 ● ポリエチレン系またはポリプロビレン系材料は一般に可塑剤を含まないので長期保存に適します。		(1) 可塑剤はトナーを軟化させプラスチック材料側に転移させる作用をします。 (2) 塩化ビニール系とポリエチレン系、ポリプロピレン系の判別は燃焼させて判別するとよいでしょう。 ● 塩ビ系は塩素が分解し、異臭を発生します。 ● ポリエチレン、ポリプロプレン系はろうそくがとけるような臭いがします。
耐直射日光	印刷面の変色、退色なし。		用紙自身が変色する可能性があります。
耐折性	印刷された部分を折り曲げた保存は禁止。		曲折線に沿ってトナーはく離を起こすことがあります。

用紙設計および管理の指針

以下に本書に記載した用紙設計および管理の指針と目的、および指針が守られなかった場合に起こる現象について示します。

表A-7　用紙設計および管理の指針と目的および障害発生現象

記載箇所	指　針	指　針	指針が守られなかった場合に起こる現象
用紙の紙質	折れ、しわ、裂け目、破れ、著しい湾曲などがないこと。	用紙走行を安定に保ちトラクタ部およびスタッカ部でのジャムを防止する。	● 用紙走行不良、折りたたみ不良を生じ、プリンタ動作が停止します。 ● 転写不良、折印刷抜けが生じます。
	粘着液、油などのしみがないこと。	転写不良、定着不良を防止する。	転写不良、定着不良のため印刷抜けを生じます。
	表裏面がコーティングされたり、プラスチック物質を含まないこと。	用紙走行を安定に保ち印刷品質を良好に保つ。	● 用紙走行不良となり、プリンタ動作が停止することがあります。 ● 熱を吸収しやすい用紙なので、スタッカ内でトナーどうしが癒着することがあります。癒着した用紙を開くと、トナーが一方の用紙に転移して、他方の用紙のトナーがはがれます。
用紙坪量（連量）	64g/m^2（55kg）～157g/m^2（135kg）まで使用可能。	用紙走行不良、転写不良、スタッカ部でのジャムを防止する。	● 64g/m^{2}未満の用紙を使用すると、用紙方向不良、スタッカジャムが頻発し、プリンタ動作がそのたびに停止し、プリンタが故障することもあります。 ● 157g/m^{2}より厚い用紙を使用すると、転写不良、定着不良が起こり、印刷抜けが生じます。
用紙色		● 見やすさ ● 定着性の確保	
折りたたみ長さおよび用紙幅	折りたたみ長さ、用紙幅の規格および許容差を守る。	用紙走行の安定性、スタッカジャムの防止、印刷の位置決めを確保する。	● 用紙走行不良、スタッカジャムが発生し、プリンタ動作が停止します。 ● 印刷位置がずれることがあります。
印刷可能領域	印刷可能領域を守る。	印刷品質を良好に保つ。	折りたたみミシン目から上下8.47mm（1/3インチ）以内の印刷は、転写不良が起こり、印刷抜けが生じることがあります。
送り孔	送り孔の規格を守る。	用紙走行の安定性を確保する。	● 印刷位置ずれが生じたりジャムが発生し、プリンタ動作が停止することがあります。 ● 定着不良が起こることがあります。
ミシン目	ミシン目の規格を守る。	● 印刷中の用紙破れを防止する。 ● スタッカジャムを防止する。 ● 後処理機（デタッチャーなど）での処理信頼性を確保する。	● 印刷中に用紙がミシン目から破れてプリンタ動作が停止します。 ● スタッカジャムが頻発し、プリンタ動作がそのたびに停止します。 ● 後処理機で用紙が切断できないことが生じます。
バインダー孔とカット	バインダー孔とカットの使用禁止領域を守る。	ペーパーエンド、ジャムを誤検出することを防止する。	ペーパーエンド、ジャムを誤検出してプリンタが停止します。
	バインダー孔とカットの大きさの制限を守る。	印刷品質、用紙走行を良好に保つ。	大きすぎると用紙が破れることがあります。
事前印刷用インク	事前印刷用のインクの選択を守る。	フラッシュ定着時のインク溶け現象が起きることを防止する。	事前印刷されたインクの種類によっては、インクを溶かし、事前印刷抜けや印刷面を汚染することがあります。

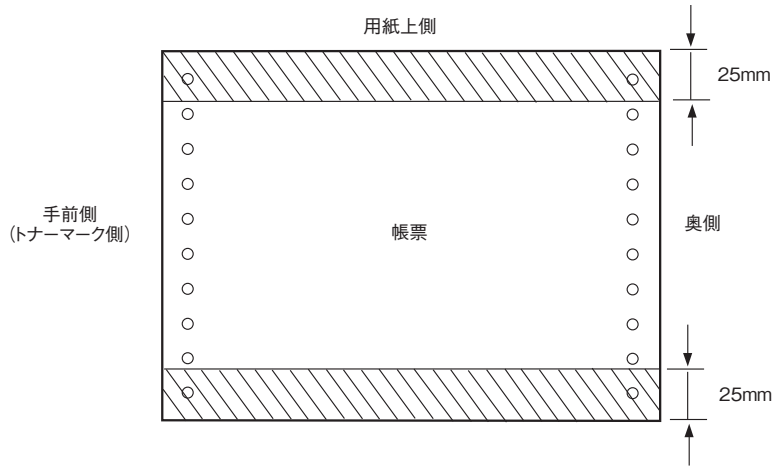
記載箇所	指　針	指　針	指針が守られなかった場合に起こる現象
用紙の保管条件	温湿度の保管条件を守る。	用紙の吸湿放出を防止する。	● ミシン目付近の吸湿による波打ちのため転写不良となり、印刷抜けが生じます。 ● 用紙の放湿で画質が低下することがあります。
	積み重ね方法などの保管形態を守る。	折りたたみミシン目を保護し、用紙折れ、しわの発生を防止する。	● 用紙走行不良のため、印刷不良を生じます。 ● スタッカジャムを頻発します。

印刷データ設計のアドバイス

帳票中に網点パターンを使用すると、網点パターンを使用しない帳票と比較して、定着時のトナー融解による用紙変形が大きく、スタッカ部においてジャムが発生しやすくなることがあります。これは、網点部での用紙上のトナー量が局部的に多いために紙のしなやかさ（腰）を消してしまうからです。
網点パターンに起因するスタッカジャムの発生頻度は、帳票のデザインに大きく依存するため、帳票設計時に下記を参考にして帳票設計を行ってください。
同様に、マス状および帯状のべた黒や太大文字についても用紙のしなやかさを消してしまうため、印刷データ設計を行う際は用紙坪量（連量）の選定を考慮して帳票設計を行ってください。

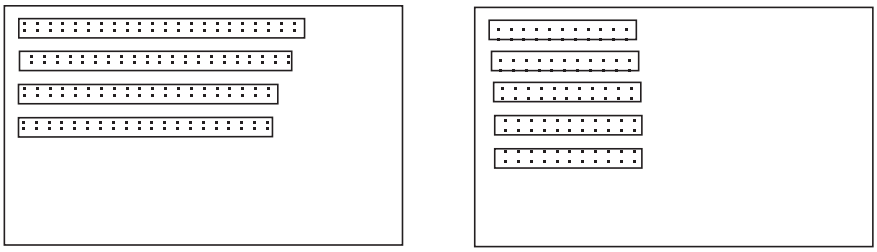
1. 網点密度
帳票中に網点パターンを使用する場合、網点の密度は15%以下のものを使用してください。

2. 網点禁止領域
特に折りたたみミシン目近くの網点パターンはスタッカジャムの発生を誘発します。以下に示す領域には、なるべく網点パターンを配置しないでください。



図A-14　網点禁止領域

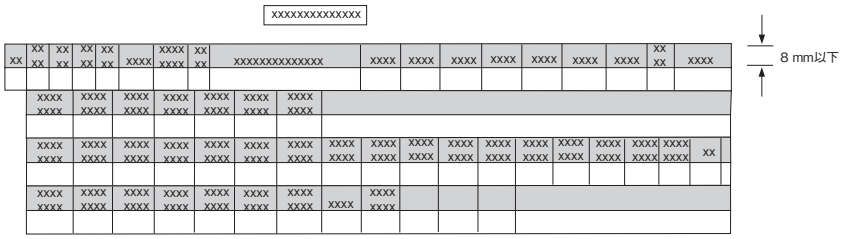
3. 網点面積のバランス
帳票集計時、網点パターン配置について下図のような一部に網点の偏ったデザインは避け、できる限り上下、左右の配分が均等になるようデザインを行うことで、スタッカジャムの発生しにくい環境を設計することができます。



図A-15　ジャムの発生しやすい帳票のデザイン

4. 網点面積

基本的に帳票中の網点パターンは、その面積が小さいほどスタック性への影響が少なくなります。以下のように行間ごとにコントラストの網点パターンを使用する場合は、行の高さを8mm以下にすることが望ましく、8mm以上となる場合は使用する網点の密度をより低くすることを推奨します。



図A-16　網点パターンの行の高さ

5. 印刷用紙の幅長さの比率

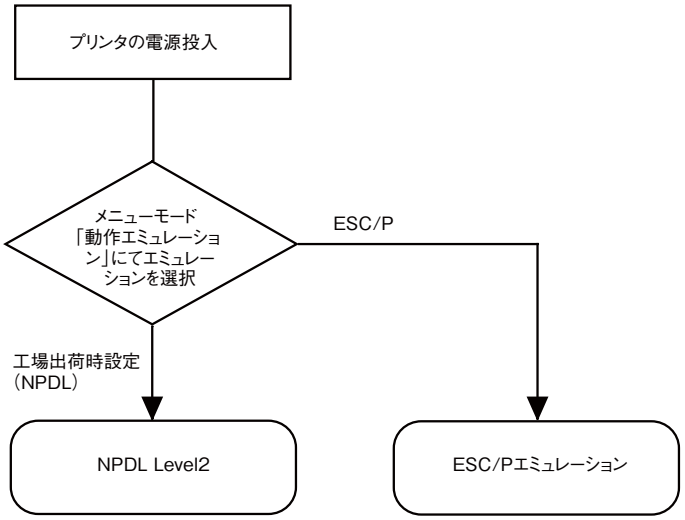
本プリンタは用紙幅が165.1～457.2mm（6.5～18インチ）の用紙が使用可能ですが、幅、長さの比率が1:2（または2:1）以上（おおよその目安）の用紙は、スタッカ部においてジャムが発生しやすくなりますので、印刷用紙の幅、長さの比率を極端に大きくしないようにしてください。

6. 黒の面積が大きい印字データ

網点、黒マス、黒帯、太大文字などの黒べた面積が大きい印字データを使用すると、スタッカ部においてジャムが発生しやすくなりますので、薄い用紙は避けて、厚紙（坪量：81.4g/m^2以上、連量：70kg以上）を選定することを推奨します。

エミュレーションの切り替え

NPDL Level2（工場出荷時設定）からESC/Pエミュレーションへの切り替え方法は次の通りです。



チェック

- メニューモードの操作方法は「メニューモード」（146ページ）を参照してください。
- 装置出荷時の設定においては、プリンタ電源投入時にNPDL Level2が選択されます。メニューモードからの設定変更により、ESC/Pエミュレーションを選択することができます。

NPDLの初期状態

内部設定

次の条件で、プリンタの内部状態は初期状態になります。それぞれの条件下における初期状態については、次の表をご覧ください。

- 電源をONにしたとき
- ソフトウエアリセット（ESC c1）を実行したとき
  →印刷フォーマットは初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- JOBキャンセルを実行したとき
  →VFU印刷フォーマットおよびセレクト／ディセレクトは初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。
- パラメーターリセット（ESC c8）を実行したとき
  →VFU、印刷フォーマット、セレクト／ディセレクト、動作モード、網かけ登録、1バイト文字登録などの登録内容は初期状態になりません。未印刷データは印刷されます。

内部状態		イニシャライズ（初期化）の種類			
		電源 ON	ESC c1	JOB キャンセル	ESC c8
現在位置		第1行第1桁			
レフトマージン幅		メニュー設定に従う（工場設定000）			
ライトマージン幅		144桁or170桁（MSW10-2に従う）			
水平タブセット		クリア			
VFU	FF長	設定されている用紙長の行数-1行			変化せず
	ボトム領域	なし			変化せず
	VTセット（CH2）	第7、13、19、25、31、37、43、49、55、61、67、73、79行目			変化せず
	VTセット (CH3～CH6)	クリア			変化せず
改行方向		順方向改行			
改行幅		4.23mm（1/6インチ）			
セレクト／ディセレクト状態		セレクト状態		変化せず	
受信バッファ		クリア	クリアせず		
ページバッファ		クリア	クリアせず		
未印刷データ		—	印刷実行		
動作モード		メニュー設定に従う（エミュレーション/ページプリンタ）			変化せず
印刷方式		パイカモード			
コード表のシフト状態		カタカナ状態（8ビットコード）			
1バイト文字フォント		メニュー設定に従う（標準／イタリック／クーリエ／ゴシック）			
漢字書体		メニュー設定に従う（内蔵明朝／内蔵ゴシック）			
漢字	文字サイズ	3.7mm（10.5ポイント）			
	文字幅	3.81mm（3/20インチ）			
半角	縦書き	解除			
	組文字	解除			
スクリプト文字		解除			
倍率指定		縦横とも解除			
修飾印刷		解除			

内部状態		イニシャライズ（初期化）の種類			
		電源 ON	ESC c1	JOB キャンセル	ESC c8
アンダーライン	指定	解除			
	線種	実線、一重線			
	線幅	2ドット			
網かけ	指定	解除			
	登録	クリア（未登録状態）			クリアせず
白黒反転		解除			
固定ドットスペース		左右とも0ドット			
縦方向文字位置オフセット		0ドット			
1バイト文字登録	パターン	ROMパターン			
	登録	クリア（未登録状態）			クリアせず
2バイト文字登録		クリア（未登録状態）			クリアせず
ドット切り替え		メニュー設定に従う（ネイティブモード／コピーモード）			
コピー枚数	コード (FSx)	1枚	メニュー設定に従う		
	操作パネル	1枚	変化せず		
座標指定単位		0.1mm（1/240インチ）			
描画座標		（X，Y）=（0，0）			
全点アドレス印刷モード		解除			
フォーム	登録	クリア			クリアせず
	参照	解除			変化せず
図形印刷モード		解除			
グラフ描画モード		絶対描画モード			
プリンタ単位		0.1mm（1/240インチ）			
線分	線種	実線			
	線幅	1ドット幅			
	線長	P_1P_2の対角線距離の4%			
	線端タイプ	断ち切り型			
	接続タイプ	マイタ接続			
	選択パターン	黒べた			
	登録パターン	クリア			クリアせず
ペン	座標	（X，Y）＝（0，0）			
	上下位置	アップ状態			
塗り潰しモード		解除			
塗り潰し	選択パターン	パターン番号0			
	登録パターン	クリア（未登録状態）			クリアせず
スケーリングポイント		（X，Y）＝（0，0）			
		各用紙サイズ、印刷フォーマットでの最大印刷位置			
スケーリング		解除			
ウィンドウ領域		各用紙サイズでの最大			
座標系反転		解除			
座標系回転		0度			
論理描画		OR			
パス構築モード		解除			
パスデータ		廃棄			

制御コード

制御コードは「テキストモード」と「図形モード」の2つに分かれています。制御コードの詳細については別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）リファレンスマニュアル」を参照してください。なお、「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）リファレンスマニュアル」に記載されていない制御コードまたは、機能を拡張した制御コードについては「機能拡張制御コード」（341ページ）で細かく説明しています。

以下の表において「E」と「P」は動作モードを表します。
E：201PLエミュレーションモード
P：ページプリンタ（NPDL）モード

また、「○」と「×」はそれぞれの動作モードでその制御コードを使用できるか（○）使用できないか（×）を示します。

テキストモード

コード区分	機　　能	制御コード	E	P
ページ制御コード	改ページ指令	FF	○	○
	未印刷データ排出	ESC a	○	○
	未印刷データ排出	ESC b	○	○
	ページコピー枚数の設定	FS x	○	○
行桁関連制御コード				
● 行桁制御印刷コード	ドットスペース（1～8ドットスペース）	ESC <n>	○	○
	ドットスペース（9～25ドットスペース）	ESC <n>	×	○
	固定ドットスペース	FS w	○	○
	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
	ドットアドレッシング	ESC F	○	○
	半角文字の組文字設定	ESC q	○	○
	縮小文字の組文字印刷指定	FS P	○	○
	縦方向オフセット量の設定	FS t	×	○
	VFUの設定開始	GS	○	○
	VFUの設定終了	RS	○	○
	簡易VFUの設定	ESC v	○	○
	垂直タブの実行	VT	○	○
	VFUの実行	US	○	○
	水平タブの設定	ESC (	○	○
	水平タブの実行	HT	○	○
	水平タブの部分クリア	ESC)	○	○
	水平タブの全クリア	ESC 2	○	○
	レフトマージンの設定	ESC L	○	○
	ライトマージンの設定	ESC /	○	○
	4.23mm（1/6インチ）改行モードの設定	ESC A	○	○
	3.18mm（1/8インチ）改行モードの設定	ESC B	○	○
	25.4N/120mm（N/120インチ）改行モードの設定	ESC T	○	○
	印刷位置の復帰	CR	○	○
	改行指令	LF	○	○
	改ページ指令	FF	○	○
	n行改行	US	○	○
	順方向改行モードの設定	ESC f	○	○
	逆方向改行モードの設定	ESC r	○	○
● 行桁修飾制御コード	ライン付加モードの設定	ESC X	○	○
	ライン付加モードの解除	ESC Y	○	○
	アンダーライン／オーバーラインの指定	ESC _	○	○
	付加ライン線種の設定	FS 04 L	○	○
	網かけ・白黒反転モードの設定	FS n	○	○
	網かけ・白黒反転モードの解除	FS E	○	
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
● ドット印刷制御コード	8ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC S	○	○
	16ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC I	○	○
	24ビットドット列対応グラフィックモードの設定	ESC J	○	×
	8ビットドット列リピート	ESC V	○	×
	16ビットドット列リピート	ESC W	○	×
	24ビットドット列リピート	ESC U	○	×
	40ビットドット列印刷モードの設定	FS b	×	○
その他	コピーモードの設定	ESC D	○	○
	ネイティブモードの設定	ESC M	○	○

コード区分	機　　能	制御コード	E	P
文字関連制御コード				
● 文字セット制御コード	英数モードの設定（7ビットコード）	SI	○	×
	カタカナモードの設定（7ビットコード）	SO	○	×
	カタカナモードの設定（8ビットコード）	ESC $	○	○
	英数モードの設定（7ビットコード）	ESC $	○	×
	ひらがなモードの設定（8ビットコード）	ESC &	○	○
	ひらがなモードの設定（7ビットコード）	ESC &	○	×
	CGグラフィックモードの設定（7ビットコード）	ESC #	○	×
	外字（24×24ドット）のロード	ESC +	○	×
	外字（16×16ドット）のロード	ESC *	○	×
	1バイトコード文字のダウンロード	ESC I	○	×
	登録文字のクリア	ESC I 0	○	×
	登録文字の印刷	ESC I +	○	×
	プリンタ内蔵文字の印刷	ESC I −	○	×
	1バイトコード文字の登録	FS g R	×	○
	2バイトコード文字の登録	FS g R2K	×	○
	1バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC1.	×	○
	2バイトコード登録文字の全クリア	FS g AC2.	×	○
	1バイトコード内蔵文字印刷	FS g MI1.	×	○
	1バイトコード登録文字印刷	FS g MR1.	×	○
	1バイト文字フォントの選択	FS 06F1	○	○
	2バイト文字書体の選択	FS 06F2	×	○
	2バイト文字指定	ESC O	○	○
● 文字スタイル制御コード	文字拡大モードの設定（8ビットコード）	SO	○	×
	文字拡大モードの解除（8ビットコード）	SI	○	×
	文字拡大モードの設定（7ビットコード）	DC2	○	×
	文字拡大モードの解除（7ビットコード）	DC4	○	×
	パイカモードの設定	ESC H	○	○
	エリートモードの設定	ESC E	○	○
	コンデンスモードの設定	ESC Q	○	○
	プロポーショナルモードの設定	ESC P	○	○
	漢字（横書き）モードの設定	ESC K	○	○
	漢字（縦書き）モードの設定	ESC t	○	○
	外字の印刷（横書き）	ESC K a_1 b_1	○	○
	外字の印刷（縦書き）	ESC t a_1 b_1	○	○
	半角文字の縦書きモード設定	ESC h1	○	○
	半角文字の縦書きモード解除	ESC h0	○	○
	スーパスクリプトモードの設定	ESC s1	○	○
	サブスクリプトモードの設定	ESC s2	○	○
	スクリプトモードの解除	ESC s0	○	○
	文字サイズの設定	FS 04S	○	○
	1バイト文字サイズの設定	FS 07S1	×	○
	2バイト文字サイズの設定	FS 07S2	×	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：3.81mm（3/20インチ）、文字サイズ：3.7mm（10.5ポイント））	FS A	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：5.08mm（1/5インチ）、文字サイズ：3.7mm（10.5ポイント））	FS B	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：4.23mm（1/6インチ）、文字サイズ：3.7mm（10.5ポイント））	FS C	○	○
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：2.54mm（1/10インチ）、文字サイズ：2.47mm（7ポイント））	FS F	○	×
	全角漢字の文字幅設定 （文字幅：4.23mm（1/6インチ）、文字サイズ：4.23mm（12ポイント））	FS G	○	×

コード区分	機　　能	制御コード	E	P
● 文字スタイル制御コード	縦横拡大率の指定	ESC e	○	×
	文字の拡大率、縮小率の指定	FS m	○	○
	強調印刷モードの設定	ESC !	○	○
	強調印刷モードの解除	ESC ”	○	○
	文字修飾の指定／解除	FS c	○	○
	文字明度の指定	FS $ P1.	×	○
● その他	キャラクタリピート	ESC R	○	○
面制御コード	座標指定単位の設定	FS <	×	○
	描画座標の指定	FS e	×	○
	座標のコピー	FS e	×	○
	罫線の描画	FS l	×	○
	領域指定の網かけ	FS s	×	○
	網かけパターンの登録	FS r	×	○
	領域指定のイメージ印刷	FS i	×	○
	全点アドレス印刷モードの設定	FS a	×	○
	全点アドレス印刷モードの解除	FS R	×	○
	フォーム登録の開始／参照	FS u	○	○
	フォーム登録モードの解除	FS U	○	○
その他	セレクト状態の設定	DC1	○	×
	ディセレクト状態の設定	DC3	○	×
	201PLエミュレーションモードの設定	FS d 160.	○	○
	ページプリンタモードの設定	FS d 240.	○	○
	ソフトウエアリセット	ESC c1	○	○
	パラメーターリセット	ESC c8	○	○
	図形モードの設定	FS Y	×	○
	図形モードの解除	FS Z	×	○
	描画論理の指定	FS "	×	○
	クリッピング領域の設定	FS #	×	○

図形モード

図形モードに関する制御コードはすべてページプリンタモードの図形モード中で有効です。

コード区分	機　　能	制御コード	E	P
図形の座標系設定	スケーリングポイントの設定	IP	×	○
	座標系の設定	SC	×	○
	ウィンドウ領域の指定	IW	×	○
	回転角の設定	RO	×	○
	座標系の反転	RC	×	○
	プリンタ単位の設定	SU	×	○
線に関する設定	線種の設定	LT	×	○
	線幅の設定	LW	×	○
	線端タイプの設定	LC	×	○
	線接続タイプの設定	LJ	×	○
	線タイプの登録	RL	×	○
	線パターンの選択	LP	×	○
塗りつぶしに関する設定	塗りつぶしモードの設定	XX1	×	○
	塗りつぶしモードの解除	XX0	×	○
	塗りつぶしパターンの選択	PP	×	○
	塗りつぶしパターンの登録	RP	×	○
	グレーレベルパターンの設定	SG	×	○
	描画論理の設定	PM	×	○
図形の描画	ペンを上げる	PU	×	○
	ペンを下げる	PD	×	○
	直線の描画（絶対描画モード）	PA	×	○
	直線の描画（相対描画モード）	PR	×	○
	ペンの移動（絶対描画モード）	MA	×	○
	ペンの移動（相対描画モード）	MR	×	○
	自由曲線の移動（絶対描画モード）	BA	×	○
	自由曲線の移動（相対描画モード）	BR	×	○
	扇形の描画（絶対描画モード）	FA	×	○
	扇形の描画（相対描画モード）	FR	×	○
	円の描画	CI	×	○
	円弧の描画（絶対描画モード）	AA	×	○
	円弧の描画（相対描画モード）	AR	×	○
	円弧の描画（絶対座標）	AX	×	○
	円弧の描画（相対座標）	AY	×	○
	円弧の描画	AT	×	○
	楕円の描画	EL	×	○
	楕円弧の描画	ED	×	○
	楕円弧の描画（逆方向）	EN	×	○
	枠無し四角形の塗りつぶし（絶対位置指定）	RA	×	○
	枠無し四角形の塗りつぶし（相対位置指定）	RR	×	○
	枠あり四角形の塗りつぶし（絶対位置指定）	EA	×	○
	枠あり四角形の塗りつぶし（相対位置指定）	ER	×	○
	枠無し扇形の塗りつぶし	WG	×	○
	枠あり扇形の塗りつぶし	EW	×	○
	閉領域の塗りつぶし	PI	×	○
	パス構築モードの開始	NP	×	○
	パスの閉鎖	CP	×	○
	パス構築モードの終了	EP	×	○
	ストロークの描画	ST	×	○
	フィルの描画（非零則）	FL	×	○
	フィルの描画（偶奇則）	EF	×	○
その他	イニシャライズ	IN	×	○
	初期設定	DF	×	○
	図形モード設定	FS Y	×	○
	図形モード解除	FS Z	×	○

ESC/Pエミュレーションサポートコマンド

コマンド	機　　能	コマンド	機　　能
ESC C	行単位ページ長設定	ESC -	アンダーライン指定、解除
ESC C 0	インチ単位ページ長設定	SO	自動解除付き倍幅拡大指定
ESC N	ミシン目スキップ設定	ESC SO	自動解除付き倍幅拡大指定
ESC O	ミシン目スキップ解除	DC4	自動解除付き倍幅拡大解除
ESC Q	右マージン設定	ESC W	倍幅拡大指定、解除
ESC 1	左マージン設定	ESC E	強調指定
ESC 0	1/8インチ改行量設定	ESC F	強調解除
ESC 2	1/6インチ改行量設定	ESC G	二重印字指定
ESC 3	n/180インチ改行量設定	ESC H	二重印字解除
ESC A	n/60インチ改行量設定	FS SO	自動解除付き倍幅拡大指定
ESC +	n/360インチ改行量設定	FS DC4	自動解除付き倍幅拡大解除
ESC B	垂直タブ位置設定	ESC 4	イタリック指定
ESC D	水平タブ位置設定	ESC 5	イタリック解除
ESC /	VFUチャネル選択	ESC q	文字スタイル選択
ESC b	VFUタブ位置設定	ESC !	一括指定
CR	キャリッジリターン	FS J	縦書き指定
LF	改行	FS K	横書き指定
FF	改ページ	FS D	半角縦書き2文字指定
ESC J	n/180インチ順方向紙送り	FS W	4倍角指定、解除
ESC j	n/180インチ逆方向紙送り	FS -	漢字アンダーライン指定、解除
HT	水平タブ	FS !	漢字一括指定
VT	垂直タブ	FS &	漢字モード指定
BS	後退	FS .	漢字モード解除
ESC $	絶対位置指定	FS SI	半角文字指定
ESC ¥	相対位置指定	FS DC2	半角文字指定解除
ESC M	12 CPI指定	FS r	1/4角文字指定
ESC P	10 CPI指定	FS k	漢字書体選択
ESC g	15 CPI指定	FS 2	外字定義
ESC p	プロポーショナル指定、解除	FS S	全角文字スペース量設定
ESC R	国際文字選択	FS T	半角文字スペース量設定
ESC S	スーパー、サブスクリプト指定	FS U	半角文字スペース量補正
ESC T	スーパー、サブスクリプト解除	FS V	半角文字スペース量補正解除
ESC x	文字品位選択	ESC K	8ビット単密度ビットイメージ
ESC k	書体選択	ESC L	8ビット倍密度ビットイメージ
ESC 6	上位側コントロールガイド解除	ESC Y	8ビット倍速倍密度ビットイメージ
ESC 7	上位側コントロールガイド指定	ESC Z	8ビット4倍密度ビットイメージ
ESC t	文字コード表選択	ESC *	ビットイメージ選択
ESC %	ダウンロード文字セット指定、解除	ESC *	ビットイメージリピート
ESC &	ダウンロード文字定義	ESC ?	ビットイメージ変換
ESC :	文字セットコピー	ESC @	初期化
ESC SP	文字間スペース量設定	DC 1	デバイスコントロール1
ESC w	縦倍拡大指定、解除	DC 3	デバイスコントロール3
SI	縮小指定	DEL	1文字削除
ESC SI	縮小指定	CAN	データ抹消
DC2	縮小解除	ESC EM	カットシートフィーダ制御*1

*1　一部のコマンド機能のみサポート

機能拡張制御コード

別売りの「日本語ページプリンタ言語NPDL（Level2）リファレンスマニュアル」に記載されていない機能を拡張した制御コードの一覧表を以下に示します。その後にそれぞれの機能を説明しています。

テキストモード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
● 文字スタイル制御コード	漢字文字幅 3.38mm（2/15 インチ）、文字サイズ 3.35mm（9.5ポイント）設定	FS D	○	×
	文字明度の指定	FS $	×	○
	1バイト文字サイズの設定	FS 07 S1	×	○
	2バイト文字サイズの設定	FS 07 S2	×	○
	1バイト文字縦横サイズの設定	FS 12 S1	×	○
	2バイト文字縦横サイズの設定	FS 12 S2	×	○
● 行桁制御印刷コード	2バイトコード文字の文字幅設定	FS p	○	○
● 文字ロード	1バイト/2バイトコード文字幅設定	FS g	×	○
● バーコードの印刷	バーコードの印刷	FS'p_1,p_2,p_3,p_4,p_5,p_6,p_7.$d_1d_2d_3d_4$…	○	○
● 面制御コード	フォーム登録の開始／参照	FS u	○	○
● ページ制御コード	用紙長／用紙幅の設定およびN面付け印刷設定	FSfc_1,c_2,c_3,c_4,c_5,c_6,c_7.$p_1p_2p_3p_4p_5$	○	○
	縮小印刷での設定	FS 05f	○	○
	ページコピー枚数の設定	FS x	○	○
● 領域指定単位設定	領域指定イメージ描画の設定	FS i	×	○
● 座標指定単位設定	座標指定単位の設定	FS <	×	○
● 文字セット制御コード	OCR-Bフォントの指定	FS 06 F1-004	×	○
● カスタマバーコードの印刷	カスタマバーコード書体の選択	FS 06 F2-$n_1n_2n_3$	○	○
● 漢字コード表切り替えのための制御コード	漢字コード表の設定	FS 05 F2	○	○
● ソータ制御コード	ジョブエンドマーク付加の設定	FS %	○	○

図形モード

コード区分	機　能	制御コード	E	P
● 図形の描画コード	楕円の描画	EL	×	○
	楕円弧の描画	ED, EN	×	○
	自由曲線の描画（絶対座標モード）	BA	×	○
	自由曲線の描画（相対座標モード）	BR	×	○
● プリンタ単位指定	プリンタ単位の設定	SU	×	○
● 塗りつぶしに関する設定	グレーレベルパターンの設定	SG	×	○
● 楕円弧描画	楕円弧の描画	SG	×	○
● 弓形描画	弓形の描画	CV	×	○
● 扇形描画	扇形の描画	FV	×	○
● 角丸矩形描画	角丸矩形描画	RB	×	○

漢字文字幅3.38mm（2／15インチ）、文字サイズ3.35mm（9.5ポイント）設定　FS D

全角漢字の文字幅を3.38mm（2／15インチ）、文字サイズを3.35mm（9.5ポイント）に設定します。

形　式　　FS D

記述例

```
LPRINT CHR$(&h1C); CHR$(&h44);
または
LPRINT CHR$(28); "D";
```

文字明度の指定　FS $

テキストモードでの文字明度を指定します。

チェック

FS $は形式、パターンの範囲ともに従来と同じですが、従来0～100のパラメータを白または黒のどちらかに解釈して印刷していたものが、本プリンタでは中間調に印刷できるようになりました。これにより従来よりも細かい明度表現が可能となります。

形　式　　FS $ p_1 .

- p_1 でテキストモードでの文字明度を指定します。
- p_1 の範囲は0～100が有効です。
- p_1 は0に近いほど黒くなり、100に近いほど白くなります。（p_1 =0で黒、p_1 =100で白）
- p_1 省略時およびp1 が100より大きいときは、本コマンドは無効となります。

記述例　　テキストモードでの文字明度を50に指定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h24);"50.";
または
LPRINT CHR$(28);"$50.";
```

1バイト文字サイズの設定　FS 07S1

1バイト文字のサイズを0.03mm（0.1ポイント）単位で設定します。

形　式　　FS０７Ｓ１－ $c_1\ c_2\ c_3\ c_4$

- $c_1\ c_2\ c_3\ c_4$ で文字サイズを設定します。単位は0.03mm（1/10ポイント）です。
- $c_1\ c_2\ c_3\ c_4$ の有効範囲は0001～9999です。

記述例　　文字サイズを7mm（20ポイント）に設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h37);CHR$(&h53);CHR$(&h31);
       CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);

または
LPRINT CHR$(28);"07S2-0200";
```

2バイト文字サイズの設定　FS 07 S2

2バイト文字のサイズを0.03mm（0.1ポイント）単位で設定します。

形　式　　FS０７Ｓ２－ $c_1\ c_2\ c_3\ c_4$

- $c_1\ c_2\ c_3\ c_4$ で文字Xサイズを設定します。単位は0.03mm（1/10ポイント）です。
- $c_1\ c_2\ c_3\ c_4$ の有効範囲は0001～9999です。

記述例　　文字サイズを7mm（20ポイント）に設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h30);CHR$(&h37);CHR$(&h53);CHR$(&h32);
       CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
または
LPRINT CHR$(28);"07S2-0200";
```

1バイト文字縦横サイズの設定　FS 12S1

1バイト文字のサイズを縦横別々に0.03mm（0.1ポイント）単位で設定します。

形　式　　FS１２Ｓ１ － $c_1\ c_2\ c_3\ c_4$ － $c_5\ c_6\ c_7\ c_8$

- $c_1\ c_2\ c_3\ c_4$ で文字Xサイズを設定します。単位は0.03mm（1/10ポイント）です。
- $c_5\ c_6\ c_7\ c_8$ で文字Yサイズを設定します。単位は0.03mm（1/10ポイント）です。
- 有効範囲はX、Yともに0001～9999。

記述例　　縦7mm（20ポイント）、横17.5mm（50ポイント）を設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h31);CHR$(&h32);CHR$(&h53);CHR$(&h31);
       CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
       CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
または
LPRINT CHR$(28);"12S1-0500-0200";
```

2バイト文字縦横サイズの設定　FS 12S2

2バイト文字のサイズを縦横別々に0.03mm（0.1ポイント）単位で設定します。

形　式　　FS１２Ｓ２－ $c_1\ c_2\ c_3\ c_4$ － $c_5\ c_6\ c_7\ c_8$

- $c_1\ c_2\ c_3\ c_4$ で文字Xサイズを設定します。単位は0.03mm（1/10ポイント）です。
- $c_5\ c_6\ c_7\ c_8$ で文字Yサイズを設定します。単位は0.03mm（1/10ポイント）です。
- 有効範囲はX、Yともに0001～9999。

記述例　　縦7mm（20ポイント）、横17.5mm（50ポイント）を設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h31);CHR$(&h32);CHR$(&h53);CHR$(&h32);
       CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h35);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
       CHR$(&h2D);CHR$(&h30);CHR$(&h32);CHR$(&h30);CHR$(&h30);
または
LPRINT CHR$(28);"12S2-0500-0200";
```

行桁制御印刷コード

2バイトコード文字の文字幅設定　FS p

2バイトコード文字の文字幅（印刷ピッチ）を設定します。

形　式　　FS ｐ ２ , p_1 / p_2 .

- p_1／p_2 で文字幅を設定します。
- p_1 は文字幅の分子、p_2 は文字幅の分母を表します。
- p_2 を240に設定したとき、p_1 は1～240の値が有効となります。
- p_2 を240以外の値に設定するときは、以下の組み合わせのみが有効です。

p_1	p_2	文字幅
1	5	5.08mm（1/5インチ）
1	6	4.23mm（1/6インチ）
1	10	2.54mm（1/10インチ）
2	15	3.39mm（2/15インチ）
3	20	3.81mm（3/20インチ）

チェック

従来このコマンドは表に示す組み合わせにのみ設定可能でしたが、本プリンタでは1/240～240/240の設定が可能になりました。これにより、より細かな文字幅の設定が行えます。

記述例　　2バイトコード文字の文字幅を3.17mm（1/8インチ）（30/240）に設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h70);"2,30/240.";
または
LPRINT CHR$(28);"p";"2,30/240.";
```

文字ロード

1バイト/2バイトコード文字の登録　FS g

外字パターンのロードをします。

形　式　　FS g c_1 c_2 c_3, p_1, p_2, p_3, p_4, p_5. c_4 c_5 d_1 ··· d_n

- c_1 はこの制御コードのモードを表す1バイトの文字です。c_1 によってこの制御コードは次の動作をします。

c_1	動作
R	登録
A	クリア
M	印刷文字選択

- c_2 c_3 は印刷方式とキャラクタモードを指定します。

c_2	c_3	印刷方式／キャラクタモード	
K	N	パイカ	カタカナ
	H	パイカ	
	E	エリート	
	Q	コンデンス	
	P	プロポーショナル	
H	N	パイカ	ひらがな
	H	パイカ	
	E	エリート	
	Q	コンデンス	
	P	プロポーショナル	
2	K	漢字	

- c_1 がAのときは、c_2 c_3 は次の意味を持ちます。このとき、この制御コードはp_1 以降のパラメータとデータは不要です。

c_2	c_3	動作
C	1	1バイト系の全クリア
C	2	2バイト系の全クリア

- c_1 がMのときは、c_2 c_3 は次の意味を持ちます。このとき、この制御コードはp_1 以降のパラメータとデータは不要です。

c_2	c_3	動作
I	1	1バイト系は内部CGを印刷
R	1	1バイト系はダウンロード文字を印刷

- p_1 は文字の高さを表します。p_1 はc_1 がRのときのみ有効で、登録する文字の高さをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_1	240dpi	400dpi	動作
H or K	36	60	—
2の時	24 26 40	40 60 67	2.54mm（7.2ポイント）の登録を意味する 3.81mm（10.8ポイント）の登録を意味する 4.23mm（12ポイント）の登録を意味する

- p_2 は左スペース量を表します。p_2 はc_1 がRのときのみ有効で、登録する文字の左側スペースをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi
P	0～23	0～39
P以外	0	

- p_3 は文字幅を表します。p_3 はc_1 がRのときのみ有効で、登録する文字の文字幅をドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。またc_3=pのときは

  $p_2+p_3+p_4 \leqq 24$（240dpi）

  $p_2+p_3+p_4 \leqq 40$（400dpi）でなくてはなりません。

c_3	p_3	
	240dpi	400dpi
N	24	40
H		
E	20	34
Q	14	24
P	1～24	1～40
K	p_1	p_1

- p_4 は右スペース量を表します。p_1 はc_1 がRのときのみ有効で、登録する文字の右側スペースをドット単位で設定します。下表の値のみ有効です。

c_3	240dpi	400dpi
P	0～23	0～39
P以外	0	

- p_1 ～p_4 はc_1c_2 の状態によっては省略可能な場合があります。省略可能な場合は次の通りです。

c_1c_2	p_1	p_2	p_3	p_4
R K	不可	可（0）	不可	可（0）
RH	不可	可（0）	不可	可（0）
R2	不可	可（0）	可（p_1）	可（0）

（ ）内は省略時の値

- c_4 c_5 は参照に使用する文字コードを表します。使用可能なコードは次の通りです。

  c_2=HまたはKのとき　21h≦ c_4 ≦7Eh　80h≦ c_4 ≦9Eh　A1h≦ c_4 ≦FEh　c_5 は指定しない

  c_2 =2のとき　76h≦ c_4 ≦78h　20h≦ c_5 ≦7Fh

  上記以外の値を指定したときは、c_2 =HまたはKのときはc_4 までを、c_2 =2のときはc_5 までを読み捨ててシーケンスを終了します。
- d_1 ～ d_n はパターンデータをバイナリー表現で表します。データ数はp_1 × p_4÷8とします。
- この制御コードでパラメータに不正があったときはピリオドまでを読み捨てて、シーケンスを終了します。ただし文字コードに不正があったときは、文字コードまでを読み捨てます。どちらの場合でもパターンデータの読み捨てはしません（パターンデータはテキストデータとして扱い、印刷される）。
- 本装置では、登録可能な文字数は次の通りです。

  c_2 =HまたはKのもの　128文字（1バイト系）

  c_2 =2のとき　256文字（2バイト系）

  また文字の登録があった時、そのエリアに登録されていた前のパターンは同一ページ内では保証されません。
- 未登録の文字コードや文字サイズは空白が登録されているのと同様の印刷を行います。

バーコードの印刷

バーコードの印刷　　FS '

チェック

バーコードをご使用になる際には次のことにご注意ください。

- 読み取り装置によっては、本プリンタで印刷したバーコードをうまく読み取れない場合があります。ご使用になる読み取り装置でバーコードを読み取れることを確認してからご使用ください。
- 縮小印刷は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。
- トナー濃度によっては読み取り装置でバーコードを読み取れないことがありますのでトナー濃度の確認を行ってください。
- p_2 で指定されるHRCは疑似OCR-Bフォントで印刷されます。ただし、OCR-Bフォントの最小ピッチは25.4 characters/mm（10CPI）のため、HRCの幅の方がバーコードより広くなることがあります。また、オートリターン有効時でも、印刷範囲から越えた場合にはデータを読み捨てます（オートリターンしません）。
- バーコードの印刷を行う際には、次のコマンドは無効となります。
  - 縦横拡大指定（FS m）
  - 網かけ、反転（FS n）
  - アンダーライン／オーバーライン（ESC X）
  - 縦方向オフセット（FS t）
  - 固定ドットスペース（FS w）

形　式　　FS ' p_1 , p_2 , p_3 , p_4 , p_5 , p_6 , p_7 . d_1 d_2 d_3 d_4 ···

- p_1 はバーコードの種類を設定します。

＜201PLエミュレーションモード＞

p_1		バーコードの種類
0	1	NW-7のスタート／ストップキャラクタ設定
0	2	NW-7
0	3	JAN
0	4	CODE 39
0	5	INDUSTRIAL 2 OF 5
0	6	INTERLEAVED 2 OF 5

＊ コンビニバーコード（GS1-128）の読取りグレードはバーコード生成条件や印字状態によって変動しますので、事前テスト時のグレード確認だけではなく、本番印刷直前に印字品質の確認 (できれば保守点検の実施) と本番印刷の都度バーコードの印刷状態を点検しバーコードスキャナにて読み取り確認をされることを推奨いたします。

＜ページプリンタモード＞

p_1	バーコードの種類
1	NW-7のスタート／ストップキャラクタ設定
2	NW-7
3	JAN
4	CODE 39
5	INDUSTRIAL 2 OF 5
6	INTERLEAVED 2 OF 5
7	UCC/EAN-128

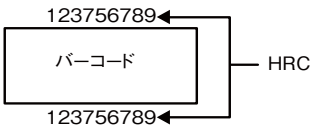
p_1 の指定により、p_2 ～p_7、d_1 ～d_7 の値は変化します。

- p_2 はバーコードに対するHRC（付加文字）の有無およびその位置を指定します。

p_2	HRC
0	文字なし
1	文字を下につける
2	文字を上につける
3	新料金代理収納ガイドライン形式で文字を下につける（p_1 =7の時のみ有効）

＊ HRC はバーコードの下または上に OCR-B フォントで印刷します。

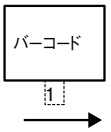
バーコードと OCR 文字のボディフェースは隣接するべきだが、ページモードでバーコードの上に文字がつく場合に限り、4dot（240dot）の隙間を開けている。



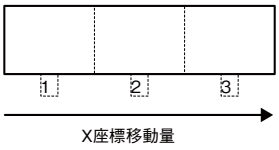
HRCの均等割付方法

バーコードにより文字列の方が長い場合は、文字幅単位で印刷されます。（以下の例は文字列よりバーコードの方が長い場合を示します。）

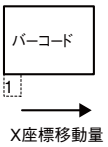
＜201PLエミュレーション＞
1文字の場合、バーコードの幅の中央に配置し、バーコードの幅の分だけX座標を移動します。



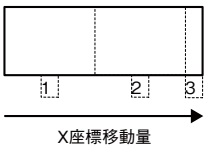
複数文字の場合、バーコードの幅を文字数で割り、その中央に配置します。



＜ページプリンタモード＞
1文字の場合、バーコードの左側に配置し、文字の幅の分だけX座標を移動します。



複数文字の場合、バーコードの幅から1文字幅引き、文字数-1で割り、その左端に配置します。



- p_3 はバーコードのモジュール幅をドット単位で指定します。

  ＜201PLエミュレーション＞
  指定範囲：2≦ p_3 ≦4（6.3ドット/mm（160 dpi））

  ＜ページプリンタモード＞
  指定範囲：4≦ p_3 ≦10（15.7ドット/mm（400 dpi））

- p_4 はバーコードのワイド／ナローエレメント比を指定します。

  p_4 ＝30のみ有効

- p_5 はバーコード高さをドット単位で指定します。

  ＜201PLエミュレーション＞
  0≦ p_5 ≦999（6.3ドット/mm（160 dpi））
  p_5 が0の時は、高さを改行ピッチに設定します。したがって、改行ピッチの切り替えコマンドと組み合わせることにより0.21mm（1/120インチ）単位での指定も可能となります。またバーコードの下にHRCがある場合は、実際に改行する幅はバーコードの高さ＋HRCの高さです。

  ＜ページプリンタモード＞
  指定範囲：
  10≦ p_5 ≦1665（15.7ドットmm（400 dpi）1ドット＝約0.064ミリなるべく150～300程度の値でご使用ください）

- p_6 はデータキャラクタの長さをバイト単位で指定します。
  この値は、バーコードの種類ごとに下記のように制限されます。

p_1	有効な p_6
1	2
2	0～34
3	13または8
4	0～34
5	0～34
6	0～34(偶数のみ)
7	1～25

- p_7 はp_3、p_5 の解像度を指定します。

  ＜201PLエミュレーション＞
  省略してください。（160dpi）

  ＜ページプリンタモード＞
  指定：p_7 =400（400 dpi）

- d_1、d_2、d_3、d_4 …はデータキャラクタまたはスタート／ストップキャラクタ（p1 =1のとき）です。
- グレーの実現レベルはプリンタ機種および解像度に依存します。

記述例　　p_1 =1、スタートキャラクタを“a”、ストップキャラクタを“b”とするとき

```
LPRINT  CHR$(&h1C);CHR$(&h60);"1,,,,,2,.ab";
または
LPRINT  CHR$(&h1C);"`1,,,,,2,.ab";
```

補足

バーコードの種類によって、パラメータの意味が少しずつ異なります。

- p_1 ＝1のとき（NW-7のスタート／ストップキャラクタを指定します。）
  - バーコードの印刷ではなく、バーコードの種別NW-7の仕様に従い、NW-7で付加されるスタート／ストップキャラクタの設定を行います。
  - スタート／ストップキャラクタとして指定可能な文字は次の通りです。（初期状態は“a”）
    ａｂｃｄｅｎｔ＊ＡＢＣＤＥＮＴ
    また、p_2～p_5 およびp_7は省略されます。
    記述例スタートキャラクタを“a”、ストップキャラクタを“b”とするとき
    LPRINT CHR$(&h1C);"`1,,,,,2,.ab";

- p_1 ＝2のとき（NW-7）
  - p_3 の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3 × p_4 ／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6 ＝0のときは、スタート／ストップキャラクタのみ印刷します。
  - データキャラクタとして指定可能な文字は次の通りです。
    ０１２３４５６７８９－＄．／：＋
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクタを自動的に付加して印刷します。

- p_1 ＝3のとき（JAN）
  - p_3 の値が1モジュールの幅に対応し、他の幅のバーおよびスペースはこの整数倍の幅となります。
  - p_6 は13または8とし、13のときはJAN標準のバーコード、8のときはJAN短縮のバーコードを印刷します。
  - データキャラクタとして指定可能な文字は次の通りです。
    ０１２３４５６７８９
  - JAN標準でデータキャラクタの1バイト目（フラグキャラクタ）が規定外のときは、データキャラクタも含めて読み捨てます。
  - レフトガードバー、サイドガードバー、ライトガードバーは自動的に付加します。

- p_1 ＝4のとき（CODE-39）
  - p_3 の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3 × p_4 ／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6 ＝0のときは、スタート／ストップキャラクタ（“＊”固定）のみ印刷します。
  - データキャラクタとして指定可能な文字は次の通りです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9 － $. ／ + % SP（スペース）
    A B C D E F G H I J K L M N O P Q R S T U V W X Y Z
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクタを自動的に付加して印刷します。

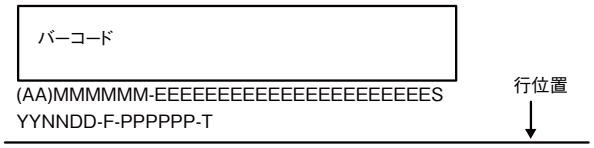
- p_1 ＝5のとき（INDUSTRIAL 2 OF 5）
  - p_3 の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3 × p_4 ／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6 ＝0のときは、スタート／ストップキャラクタのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクタがないため印刷されません。
  - データキャラクタとして指定可能な文字は次の通りです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクタを自動的に付加して印刷します。

- p_1 ＝6のとき（INTERLEAVED 2 OF 5）
  - p_3 の値がナローバー、ナロースペースの幅に対応し、p_3 × p_4 ／10の値がワイドバー、ワイドスペースの幅に対応します。
  - p_6 ＝0のときは、スタート／ストップキャラクタのみ印刷します。ただし、HRC付加指定をしても対応するキャラクタがないため印刷されません。
  - データキャラクタとして指定可能な文字は次の通りです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - 2つのデータキャラクタを1組のバーコードデータとして印刷します。
  - データの最初と最後にあらかじめ設定されたスタート／ストップキャラクタを自動的に付加して印刷します。

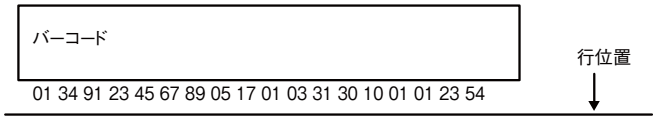
- p_1 ＝7のとき（UCC/EAN-128）
  - 初期コードセットは、CODE Cです。
  - p_3 の値が最小バーの幅に対応し、それに対して1:2:3:4の幅で他のバーを表現します。
  - p_6（データキャラクタの長さ）は1～25（バイト）とし、それ以外の時はピリオドまで読み捨てます。
  - データキャラクタとして指定可能な文字はASCIIコードすべてです。
    0 1 2 3 4 5 6 7 8 9
  - 1個のデータキャラクタを1つのバーコードデータとして印刷します。HRCは本装置の1バイト系文字で印刷可能であればそのまま印刷し、それ以外の場合はスペースを印刷します。HRCは、コードセットに従います。
  - データの最後のストップキャラクタを自動的に付加して印刷します。特殊キャラクタ対応コードを以下に示します。

特殊キャラクタ	HEX 表現値
START（CODE A）	F0
START（CODE B）	F1
START（CODE C）	F2
SHIFT	F3
CODE A	F4
CODE B	F5
CODE C	F6
FNC 1	F7
FNC 2	F8
FNC 3	F9
FNC 4	FA

－ p_2＝3指定の場合は、バーコードの下に以下のようなフォーマットでHRCを付加します。HRCにおける改行表示、括弧「()」、ハイフン「-」は自動的に付加されますが、バーコードは含まれません。また、これらの自動的付加は桁位置で判断し、データの正当性や内容は問いません。データの25バイト目に付加されるチェックデジットは、バーコード上には表示しますが、HRC上には表示されません。



＜補足＞
p_2＝1（CODE C）の場合



フォーム登録の開始／参照　FS u

フォームデータの登録開始および参照を指示します。

形　式　　FS u c_1, p_1, c_2.

- c_1 で登録か参照かを設定します。

c_1	機能
1	フォーム登録モードを設定（フォーム登録を開始）
2	フォーム参照モードを設定

- p_1 でフォーム番号を指定します。省略時は1となります。指定範囲は1～100です。
- c_2 は c_1 =1（フォーム登録モード）のときは必ず省略してください。c_1 =2（フォーム参照モード）のときは、c_2 でフォーム参照の継続の有無を設定します。

c_2	機能
省略	この制御コードが存在するページに対してフォームを描画（参照）します。現ページに対してのみ有効です。
S	この制御コードが存在するページ以降、解除が指定される間でのフォーム参照を継続します。
E	上記「S」で設定されたフォーム参照モードを解除します。

チェック

100面までの登録が可能です。実際にはメモリの容量に依存します。また、従来フォームに登録できなかった図形モードデータ、領域指定網かけ、全点アドレス印刷データも登録可能となっています。

記述例　　フォーム番号2にフォーム登録を行うとき

```
LPRINT CHR$(&h1C);CHR$(&h75);CHR$(&h31);CHR$(&h2C);"2";CHR$(&h2E);
または
LPRINT CHR$(28);"u1,2.";
```

用紙長、用紙幅の設定およびN面付け印刷設定　FS f

NPDL制御コードで、用紙長、用紙幅の設定およびN面付け印刷時の用紙幅と用紙長の指定をすることができます。

形　式　FS f c_1 c_2 c_3 c_4 c_5 c_6 c_7, p_1, p_2, p_3 / p_4, p_5.

- c_1 は用紙の幅、長さの変更を指定します。

C_1	内容
P（0x50）	ポートレート（無効）
L（0x4C）	ランドスケープ（無効）
0（0x30）	用紙長変更（p_1（幅）を無視する）
1（0x31）	用紙幅／長さの変更

- c_2 c_3 は帳票を指定します。

C_2	C_3	内容
L	P	帳票

- c_4 c_5 はN面付け時の用紙幅または用紙長方向に配置する面数を指定します。

C_4（固定）	C_5
V（0x56）	配置する面数（1 or 2 or 3）
H（048）	配置する面数（1 or 2 or 3）

- c_6 c_7 はN面付け時の用紙幅または用紙長方向に配置する面数を指定します。

C_6（固定）	C_7
V（0x56）	配置する面数（1 or 2 or 3）
H（048）	配置する面数（1 or 2 or 3）

- p_1 は用紙幅（可変長）、p_2 は用紙長（可変長）、p_3 / p_4 は単位量の値（可変長（1/60：固定）、p_5 は単位（i：固定）を示します。
- c_1 は「0」または「1」を指定します。「0」が指定されたときは、p_1 の用紙幅を無視しp_2 の用紙長の設定のみ有効とし、p_2 で指定された用紙長を物理用紙長指定として扱います。また、「0」が指定されたときはc_3 までが設定可能とし、c_4 ～c_7 が指定された場合は無効コマンドとして、コマンドを読み飛ばします。
  「1」が指定されたときは、p_1 の用紙幅とp_2 の用紙長の設定を有効とし、以下の条件によりp_1、p_2 の扱いが変わります。また、c_4 ～c_7 は省略可能とします。
- c_4 ～c_7 の指定が省略された場合は、p_1、p_2 は物理用紙幅、用紙長が指定されます。

- c_4～c_7 の指定が有効であり、かつc_5、c_7のどちらかに「2」または「3」が指定された場合はN面付け印刷指定と判断し、p_1、p_2は論理用紙幅、用紙長が指定されます。また、c_5、c_7で指定する配置面数が共に「1」である場合は、p_1、p_2は1面分の論理用紙幅、用紙長が指定されます。c_1に「0」、「1」以外が指定された時は無効コマンドとしてコマンドを読み飛ばします。
  ※「0」が指定されp_1のパラメータを無視する場合9桁ルールは適用されます。
- 物理用紙サイズ指定時の用紙幅（p_1）は左右余白1/2inch（スプロケット部分）を含んだサイズを指定します。
- 論理用紙サイズ指定時の用紙幅（p_1）は論理印刷面の印刷幅（左右余白分を含まない）を指定します。
- c_2、c_3は「LP」固定としそれ以外が指定されたときは無効コマンドとして、コマンドを読み飛ばします。
- c_4は「V」または「H」固定とし、c_5は1～3の値が指定可能であり、それ以外が指定されたときは無効コマンドとして、コマンドを読み飛ばします。
- c_6は「V」または「H」固定とし、c_7は1～3の値が指定可能であり、それ以外が指定されたときは無効コマンドとして、コマンドを読み飛ばします。
- p_1、p_2の有効範囲は以下とし、範囲外の値が指定された時は無効コマンドとし、コマンドを読み飛ばします。物理用紙幅、用紙長として扱う場合、幅方向はp_1 -1inch、長さ方向はMSW10-1に従った範囲が印刷範囲となります。

  ＜物理用紙幅／長として扱う場合＞
  p_1：390≦ p1 ≦1080（6.5～18inch）
  p_2：420≦ p2 ≦840（7～14inch）

  ＜論理用紙幅／長として扱う場合＞
  p_1：110≦ p1 ≦1020（1 5/6～17inch）
  p_2：140≦ p2 ≦840（2 1/3～14inch）

  p_3／p_4は「1/60」固定とし、それ以外が指定された時は無効コマンドとして、コマンドを読み飛ばします。
- p_5は「i」固定とし、それ以外が指定されたときは無効コマンドとして、コマンドを読み飛ばします。
- p_2 は1/60inch単位で指定可能ですが、エンジンへ指定できる用紙長単位は1/2inch単位であるため、1/2inch単位に変換後の端数分は切り上げた値が編集範囲となります。N面付け印刷時も指定された論理用紙長サイズ x 配置面数分の長さが1/2inch単位でなかった場合は端数分を切り上げた値が、印刷起動させる物理用紙長サイズとなります。
- N面付け印刷時、指定された論理用紙サイズで配置面数分の面付けが、本プリンタで使用可能な最大用紙サイズを超えた場合、または最小物理用紙サイズに満たない場合、無効コマンドとしてコマンドを読み飛ばします。また用紙幅については（指定論理用紙幅×配置面数）＋1inch（スプロケット余白分）＝使用可能な物理用紙幅サイズとなります。

項目	使用可能な最小用紙物理サイズ	使用可能な最大用紙物理サイズ
用紙幅	6.5インチ	18インチ
用紙長	7インチ	14インチ

- 設定はページの先頭（TOF）でプリンタが印字データを保持していない時に行います。それ以外の場所で設定された場合は無効コマンドとし、コマンドを読み飛ばします。
- 電源ON/OFFおよび、すべてのリセット処理に対して用紙長は変わりません。
- 本制御コードで設定された物理用紙長は、論理用紙長設定（VFU、FS= 等）で設定された用紙長の影響を受けません。

[フォーム登録、参照について]

- フォーム参照は、登録時の論理印刷可能範囲X、Yと用紙幅モードが参照時のものと一致したとき参照を有効とします。

  ＜用紙情報比較項目＞

  - 用紙幅モード
    モード1：c_1 = 0：従来互換で用紙幅固定
    モード2：c_1 = 1：指定用紙幅
  - 論理ページの印刷可能範囲X、Y

[フォーム登録、参照時の制限事項]

- c_1 =0状態でフォーム登録をする場合は、MSW7-5（アラーム検出条件）をOFF（アラーム発生時に検出）で使用します。
- c_1 =0状態でフォーム参照印字をする場合は、フォーム登録前に使用する用紙をセットします。
- c_1 =0状態でフォーム参照を使用してスプール印刷を行うと、複数サイズ幅のフォーム切換に対応できません。期待通りの印刷結果は得られません。したがって、c_1 =1状態で使用してください。

縮小印字の設定　　FS 05f

形　式　FS ０ ５ ｆ c_1 c_2 c_3 c_4

- c_1、c_2、c_3 で縮小率を設定します。
  組み合わせは次の中から選択します。

c_1、c_2、c_3	設定内容
1　0　0	縮小印字解除(原寸)
0　8　0	4/5縮小印字
0　6　7	2/3縮小印字

- c_4 で縮小基準位置を設定します。
  設定は次の通りです。

c_4	縮小基準位置
L	左端基準
C	中央基準

- すべての文字に対して有効です。
- 行の先頭で指定してください。その行から縮小印字します。
- 行の途中で指定した場合は、次の行から縮小印字します。
- 縮小印刷は受信したデータを2／3または4／5に縮小して印刷します。
- プリンタがサポートしていない縮小率を設定しようとした場合、その命令は無視されます。
- 縮小を行うと、改行幅も縮小されます。また文字によっては見づらくなるものがあります。

記述例　　縮小率を4／5、左端基準で印刷するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C); CHR$(&h30); CHR$(&h35);
LPRINT CHR$(&h66); "080L"

または
LPRINT CHR$(28); "05f"; "080L"
```

ページコピー枚数の設定　　FS x

コピー枚数を設定します。

形　式　　FS x p_1, c_1, p_2, p_3, p_4, p_5, p_6, p_7, p_8.

- p_1 はコピー枚数です。
- c_1 はコピー枚数の継続指定を表します。
- p_2 ～p_8 は無効パラメータです。
- p_1 でコピー枚数を指定します。値はオリジナルを含んだものとします（コピー無しのときは、1を指定します）。p_1 は、1～999までが有効です。
- c_1 はp_1 で指定したコピーの継続の有無を表します。

c_1	コピーの継続
S	継続する
C	継続しない

- 継続する場合、p_1 で指定されたコピー枚数は、新たに設定されるまで有効で、すべてのページに対してコピーが実行されます。
- 継続しない場合、ページコピーは1回実行すると、実行後に1枚に初期化されます（コピーの実行は物理的印刷動作のことで、FFコードがなくても印刷桁数を超えればそれ以降のデータに対してコピーは実行されません）。
- c_1 は省略可能で、省略したときはSが指定されたものとみなします。
- p_1 は省略可能ですが、省略時の動作はそのときのc_1 の値によって異なります。

  c_1 =Sのとき、p_1 はメニューの設定に従う。
  c_1 =Cのとき、p_1 は直前の状態が継続される。

- 本指定により設定されたコピー枚数印刷後は、操作パネルで設定されているコピー枚数に戻ります。したがって、本指定で主操作パネルにより設定されたコピー枚数は、変化しません。
- コピー処理自体はFF動作時に行われるので、FF動作する前で最後に指定したコピー枚数の値が有効となります。

領域指定イメージ

領域指定イメージ描画の設定 FS i

描画座標を原点として指定された領域にラスタイメージを描画します。

形　式　　FS i p_1，p_2，p_3，p_4 / p_5，p_6 / p_7 ，p_8，p_9 ． d_1 ･･･ d_n

- p_1 はイメージ領域のXサイズです。
- p_2 はイメージ領域のYサイズです。
- p_3 はデータの形式です。
- p_4 はX方向拡大率の分子です。
- p_5 はX方向拡大率の分母です（省略時は1と同等）。
- p_6 はY方向拡大率の分子です。
- p_7 はY方向拡大率の分母です（省略時は1と同等）。
- p_8 はパターンデータのバイト数です。
- p_9 はイメージデータの解像度を指定します。p9 を省略した場合、または既定値以外の数値を指定した場合、解像度は240dpiになります。

c_9	解像度
160	160dpi
200	200dpi
240	240dpi
300	300dpi
400	400dpi

- d_1 ～d_n はバイトのラスタイメージデータ（バイナリー形式）です。

座標指定単位設定

座標指定単位の設定　　FS <

面モード時の移動量の基本単位を設定します。

形　式　　FS < p_1 / p_2 ， c_1 ．

- p_1 は単位量の分子を表します。
- p_2 は単位量の分母を表します。
- c_1 はインチまたはmmの識別を表します。
- p_1 、p_2 、c_1 は下記の値が有効です。

p_1	p_2	c_1	座標指定単位
1	160	i	1/160インチ
1	200		1/200インチ
1	240		1/240インチ
1	300		1/300インチ
1	400		1/400インチ
1	100	m	1/100mm

- 描画座標指定（FS e）、座標指定罫線（FS l）、領域指定網かけ（FS s）の領域の大きさ、全点アドレス印刷モード（FS a）の移動量、クリッピング領域指定（FS #）が、この制御コードで設定された単位で指定されます。
- 領域指定イメージのビットパターンデータは影響を受けません。
- 上記制御コードの後に、この単位設定を実行しても、それまでに設定した座標、大きさ、移動量等は変化しません。
- p_1 が省略された場合は1、p_2 が省略された場合は240、c_1 が省略された場合はiとみなされます。
- 本コマンドを再度受信するまでは有効です。
- 以下の場合、単位は1/240インチとなります。

  ① 電源ON時

  ② 操作パネルでリセットが実行されたとき

  ③ ソフトウエアリセットを受けたとき

  ④ インプットプライムを受けたとき

文字セット制御コード

OCR-Bフォントの指定　FS 06F1-004

形　式　　FS０６Ｆ１－００４

1バイト文字としてOCR-Bフォントを選択します。

OCR-Bフォントについて

本プリンタはOCR-Bフォントを内蔵しており、各種アプリケーションから指定して印刷することができますが、ご使用にあたっては以下の点にご注意ください。

- OCR-Bフォントは大きさが限定されています。本プリンタの場合25.4 character/mm（10CPI）（4.23 character/mm（12ポイント）、パイカサイズ）のみでご使用になれます。それ以外の文字サイズは指定しないでください。また文字の拡大/縮小、ページの拡大/縮小を行うと印刷できません。
- OCR-Bフォントの印刷は本プリンタのNPDLモードでのみ可能です。またOCR-Bフォントの指定はアプリケーションソフトから行う必要があります。
- WindowsからOCR-Bフォントを使用する場合はいずれかの方法で指定します。

  ① アプリケーションのフォント選択で「OCR-Bフォント」を選択します。
  このとき画面上は他のフォントを使用して表示されます。なお文字のサイズは必ず4.23 character/mm（12ポイント）を指定してください。またボールド、イタリック（斜体）、アンダーラインなどの文字スタイルを設定しないでください。

  ② アプリケーションのフォント選択の中に「OCR-B」というプリンタフォントがない場合は、本プリンタドライバの「TrueTypeフォントのプリンタフォントへ置き換え」機能を使用して印刷します。

  なおOCR-Bフォントに置き換えるフォントは「Courier New」等の固定ピッチの英文フォントで指定してください。また置き換えるフォントによっては文字のピッチがOCR-Bフォントと合わないため、OCR読み取り装置で読み取れないことがあります。特にプロポーショナルフォントには置き換えないでください。和文フォントは置き換えるフォントとして指定できますが、実際に置き換えることができるのは半角英数文字だけです。
- OCR-Bフォントは、OCR読み取り装置によっては読み取れない場合があります。事前にご確認ください。
- トナーが少なくなり印刷にかすれなどがある場合には、OCR読み取り装置でうまく読み取れない場合があります。
- OCR-Bフォントでは、メモリスイッチ2-1またはフォントメニュー1バイト系ゼロの書体で「Ø」と設定しても「0」で印刷します。

カスタマバーコードの印刷

カスタマバーコード書体の選択　FS 06F2

カスタマバーコードはJANコードなどのバーコードとは異なり、2バイト文字として印刷を行います。
このため、カスタマバーコードの印刷には、まず2バイト文字書体の選択を行う必要があります。

形　式　　FS 0 6 F 2 - n_1 n_2 n_3

- n_1、n_2 、n_3 は3桁の文字表現の10進数（‘123’など）であり、書体番号を示します。
  ただし、例外として‘CLR’（43h 4Ch 52h）のパラメータは指定可能です。
- 初期状態ではプリンタのメニュー機能による設定が有効となります。
- 本制御コードによる書体選択制御コードにより他の書体が選択されるまで、現在の書体選択が有効です。
- 初期化処理により書体は初期状態に戻ります。

カスタマバーコードの書体番号を次のように割り当てます。

851：カスタマバーコード書体(回転なし)
852：カスタマバーコード書体(反時計回り90度回転)
853：カスタマバーコード書体(反時計回り180度回転)
854：カスタマバーコード書体(反時計回り270度回転)
CLR：初期状態の書体に戻す。(メニュー設定に従う)

- 2桁目の数字‘5’は文字の太さを指定するパラメータですが、カスタマバーコード書体の場合は意味を持ちません。
- 8から始まる書体番号において上記に合致しない場合は、カスタマバーコード書体への切り替えは行わず読み捨てます。その際、書体選択の初期化は行いません。（例：850、861、867）

チェック

- 書体番号851を選択して縦書きで印刷すると書体番号852の印刷結果と等しくなります。同様に書体番号852の縦書きは書体番号853、書体番号853の縦書きは書体番号854、書体番号854の縦書きは書体番号851となります。
- 201PLエミュレーションで使用する場合、「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来のサポートはされておりませんが、カスタマバーコード書体選択時のみ、201PL環境でも有効となります。カスタマバーコード以外の「2バイト系文字書体の選択コマンド」は従来どおり無効コマンドとなります。
- バーコードをご使用になる際には縮小印刷は行わないでください。読み取り装置でバーコードを読み取ることができません。

カスタマバーコードのサイズの指定

カスタマバーコードの21種のキャラクタは次の文字コードを割り当てます。

数字(‘0’～‘9’)	:2330h～2339h(数字の‘0’～‘9’)
ハイフン	:215Dh(マイナス記号‘−’)
英字用制御コード(CC1～CC3)	:2361h～2363h(小文字アルファベットの‘a’～‘c’)
予備用制御コード(CC4～CC8)	:2364h～2368h(小文字アルファベットの‘d’～‘h’)
スタートコード(STC)	:2163h(不等号‘<’)
ストップコード(SPC)	:2164h(不等号‘>’)

上記外の文字コードが指定された場合は全角スペースに置き換えて印刷します。

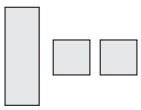
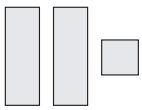
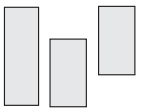
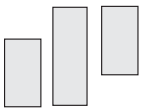
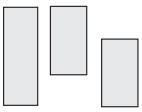
カスタマバーコードのサイズの指定

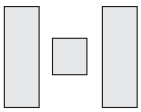
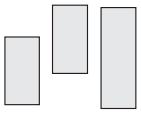
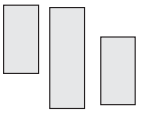
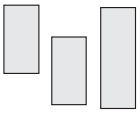
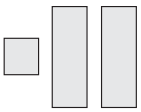
日本郵政株式会社のカスタマバーコードの仕様によると、読み取りのためにはバーコードパターンを文字とみなしたときにその大きさを2.82mm (8ポイント)から4.05mm（11.5ポイント）までの範囲にする必要があります(この範囲内で任意の値を指定できます)。
一方、プリンタはカスタマバーコードといえども文字であるため、NPDL2、201PLそれぞれで定義された文字制御に関する全ての機能を有効とします(例えば、上記範囲から外れる文字サイズ指定や不適切な文字ピッチ指定、拡大・縮小、アンダーライン、文字修飾など)。
このため、カスタマバーコードの印刷を行うアプリケーションは適切な印刷結果が得られるように留意してください。また、プリンタ側の機能で縮小や拡大を指定しての印刷においても適切な印刷結果が得られなくなります。

カスタマバーコード（キャラクタ指定とバーの組み合わせ

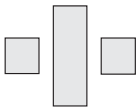
カスタマバーコードの体系について
（バーの種類とは、ロングバー：1、セミロングバー (上)：2、セミロングバー (下)：3、タイミングバー：4としたもの。）

- 数字(‘0’ ～ ‘9’)

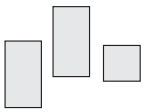
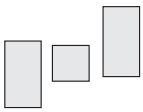
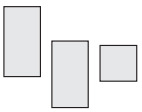
キャラクタ	0	1	2	3	4
文字コード	0 (2330h)	1 (2331h)	2 (2332h)	3 (2333h)	4 (2334h)
カスタマバーコード					
バー種類	1 4 4	1 1 4	1 3 2	3 1 2	1 2 3

キャラクタ	5	6	7	8	9
文字コード	5 (2335h)	6 (2336h)	7 (2337h)	8 (2338h)	9 (2339h)
カスタマバーコード					
バー種類	1 4 1	3 2 1	2 1 3	2 3 1	4 1 1

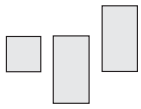
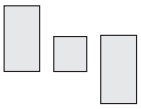
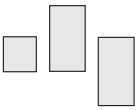
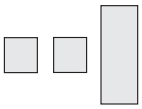
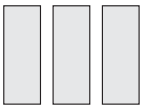
- ハイフン

キャラクタ	－
文字コード	－ (215Dh)
カスタマバーコード	
バー種類	4 1 4

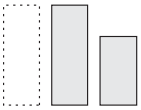
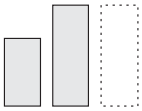
- 英字用制御コード

キャラクタ	CC1	CC2	CC3
文字コード	a (2361h)	b (2362h)	c (2363h)
カスタマバーコード			
バー種類	3 2 4	3 4 2	2 3 4

- 予備用制御コード

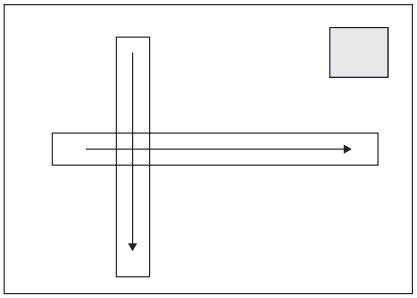
キャラクタ	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
文字コード	d (2364h)	e (2365h)	f (2366h)	g (2367h)	h (2368h)
カスタマバーコード					
バー種類	4 3 2	2 4 3	4 2 3	4 4 1	1 1 1

- スタート/ストップコード

キャラクタ	スタート	ストップ
文字コード	＜ (2163h)	＜ (2164h)
カスタマバーコード		
バー種類	1 3	3 1

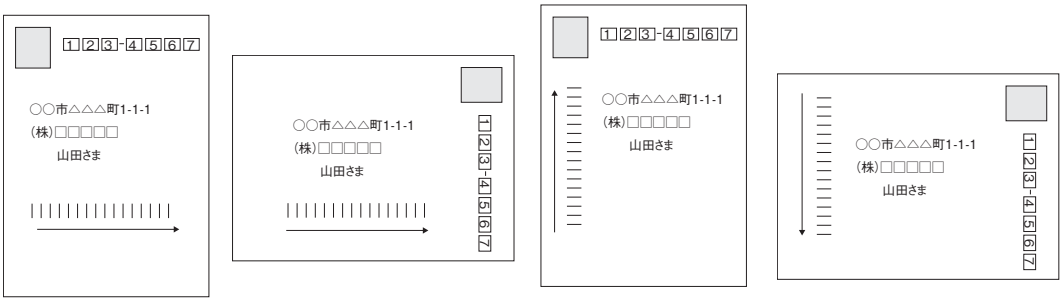
備考(宛名書きとカスタマバーコードとの関係)

カスタマバーコードは、封書の切手の位置(はがきの料金印刷部分)を右上に位置付けたときに、右図の示すように上から下、左から右の方向へ印刷されます。

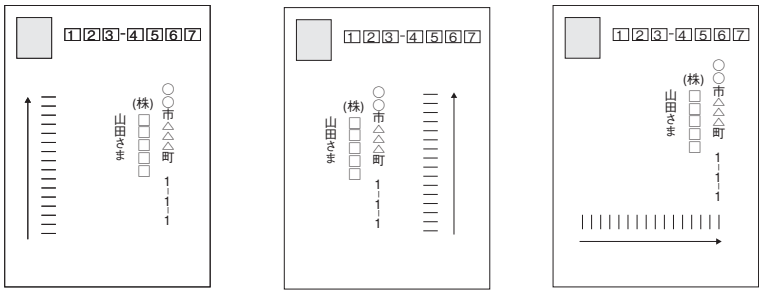


- 宛名が横書きの場合

*日本郵政株式会社の資料には記載されていない印刷例



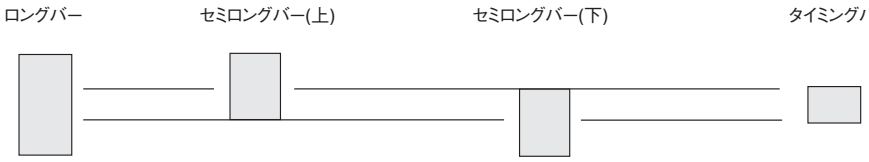
- 宛名が縦書きの場合



カスタマバーコードの仕様と注意点

カスタマバーコードの形状

カスタマバーコードは、上下にバーを延ばしたロングバー、上方向のみにバーを延ばしたセミロングバー (上)、下方向のみにバーを延ばしたセミロングバー (下)およびタイミングバーの4つの形状のバーを3本組み合わせて1つのキャラクタを表す4ステイト3バーとします。



カスタマバーコードの寸法

0.353amm（aポイント）、2.82、3.17、3.53、4.05mm（8、9、10、11.5ポイント）の場合、次表の通りとして(3.53mm（10ポイント）の場合、a/10=1)、8≦a≦11.5の大きさを許すものとします。

0.353amm（a ポイント）	比率	基準寸法 (mm)	許容範囲 (mm)
ロングバー長さ	6	3.6× a/10	3.40× a/10～3.60× a/10
タイミングバー長さ	2	1.2× a/10	1.05× a/10～1.35× a/10
バーピッチ	2	1.2× a/10	0.95× a/10～1.30× a/10
バー幅	1	0.6× a/10	0.50× a/10～0.70× a/10
バースペース	1	0.6× a/10	0.45× a/10～0.60× a/10

8≦a≦11.5

2.82mm（8 ポイント）	比率	基準寸法 (mm)	許容範囲 (mm)
ロングバー長さ	6	2.88	2.72～2.88
タイミングバー長さ	2	0.96	0.84～1.08
バーピッチ	2	0.96	0.76～1.04
バー幅	1	0.48	0.40～0.56
バースペース	1	0.48	0.36～0.48

3.17mm（9 ポイント）	比率	基準寸法 (mm)	許容範囲 (mm)
ロングバー長さ	6	3.24	3.06～3.24
タイミングバー長さ	2	1.08	0.95～1.22
バーピッチ	2	1.08	0.86～1.20
バー幅	1	0.54	0.45～0.63
バースペース	1	0.54	0.41～0.54

3.53mm（10 ポイント）	比率	基準寸法 (mm)	許容範囲 (mm)
ロングバー長さ	6	3.60	3.40～3.60
タイミングバー長さ	2	1.20	1.05～1.35
バーピッチ	2	1.20	0.95～1.30
バー幅	1	0.60	0.50～0.70
バースペース	1	0.60	0.45～0.60

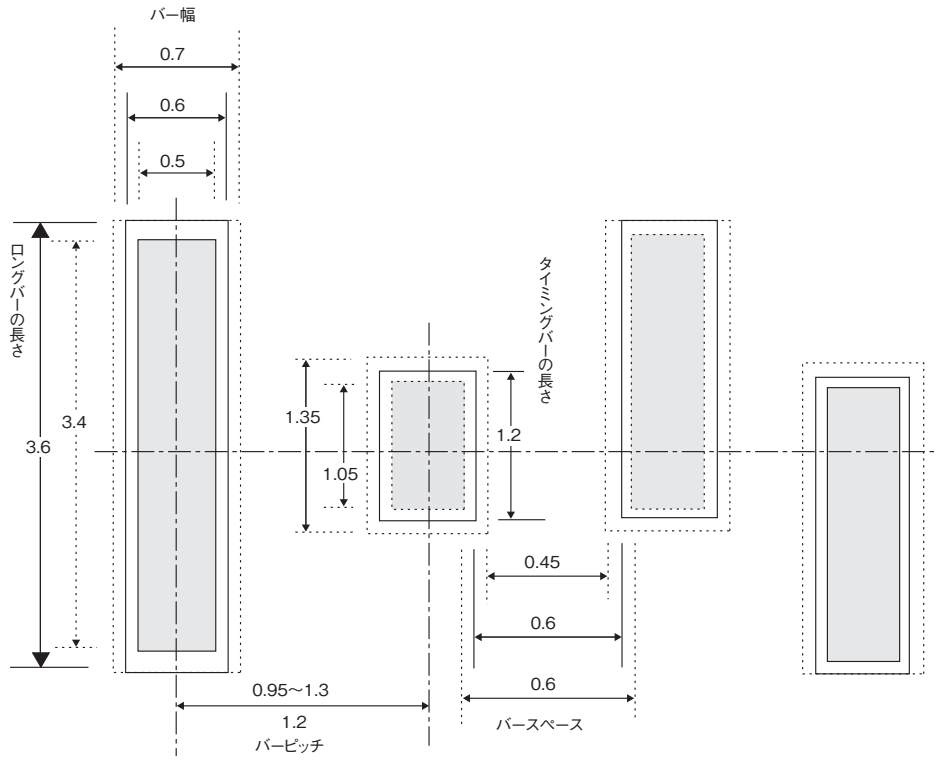
4.05mm（11.5 ポイント）	比率	基準寸法 (mm)	許容範囲 (mm)
ロングバー長さ	6	4.14	3.91～4.14
タイミングバー長さ	2	1.38	1.21～1.55
バーピッチ	2	1.38	1.09～1.50
バー幅	1	0.69	0.58～0.81
バースペース	1	0.69	0.52～0.69

*1 カスタマバーコードは、すべての規定(ロングバーの長さ、タイミングバーの長さ、バーピッチ、バー幅及びバースペース)が許容範囲に収まらなければなりません。

*2 各比率に対して、許容範囲の設定に変更がありますが、これは印刷時のバーの太り等を考慮したものです。

【例1】カスタマバーコードの寸法(3.53mm（10 p)相当)

実線で囲まれた範囲は基準寸法を示し(数値はゴシック体で表記)、点線で囲まれた範囲は許容範囲を示します。



【例2】ドット割付寸法(参考)

レーザプリンタなどドットマトリックス形式で印刷する場合などは、バーコードの印刷上がりを規定の比率にできるかぎり近づけます。この点を考慮して下記にドット構成の参考を記します。

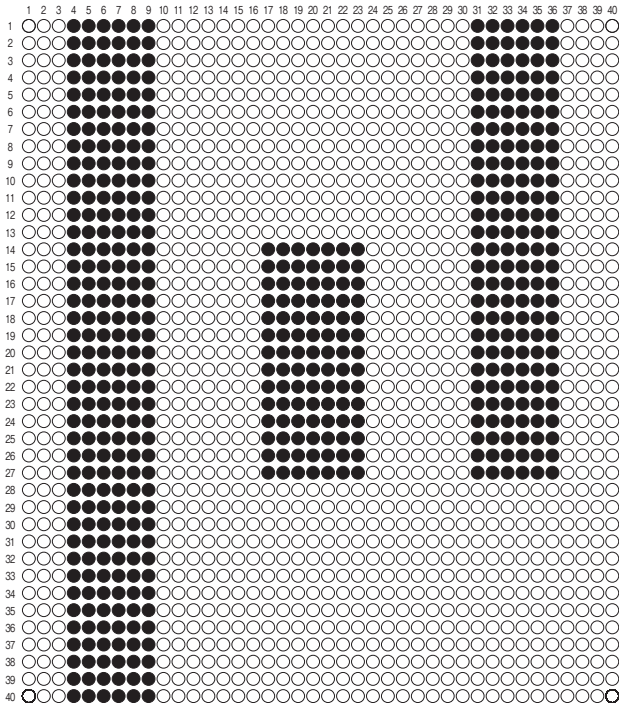
マトリックスサイズ	横 7 分割 W, B, W, B, W, B, W	縦 3 分割 U, M, L
24×24	2,4,4,4,4,4,2	8,8,8
30×30	2,5,5,5,5,5,3	10,10,10
32×32	3,5,5,5,6,5,3	11,10,11
40×40	3,6,7,7,7,6,4	13,14,13
60×60	5,10,10,10,10,10,5	20,20,20

(B：バー部のドット数、W：空白部のドット数、U：バー上部のドット数、M：タイミングバーのドット数、L：バー下部のドット数)

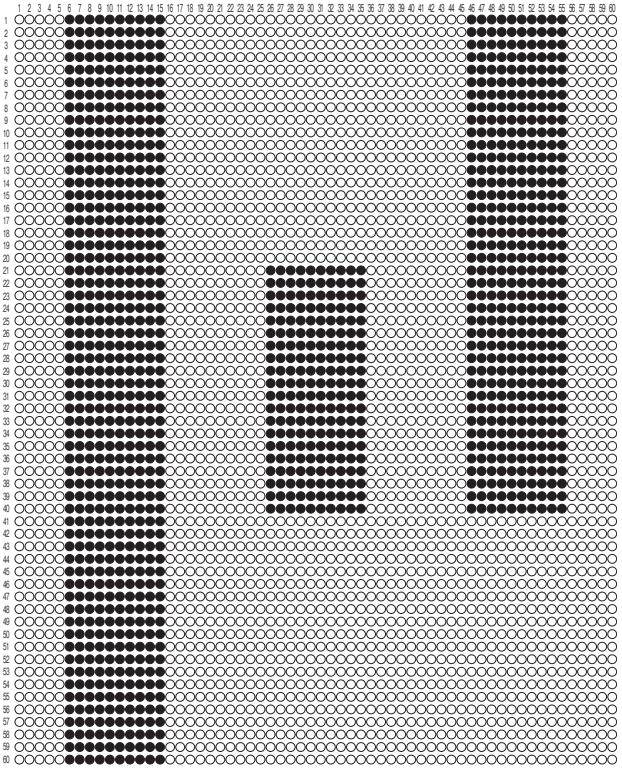
この表にないマトリックスサイズ(例：48×48等)のドット振り分けは比例的に準じます。

各マトリックスサイズにおけるドットの割付の実際については、次のページに参考例を挙げます。

〈参考例1〉40ドット×40ドットの場合



〈参考例2〉60ドット×60ドットの場合



カスタマバーコードのフォーマットおよび桁数

カスタマバーコードのフォーマットは次の通りとします。ただし、新郵便番号の3桁目と4桁目の間のハイフンおよび新郵便番号と住所表示番号を連結するハイフンは省くものとします。また、英字1文字は制御コードと数字コードの組み合わせにより表現し、バーコード2桁分として扱います。

フォーマット：スターコード＋新郵便番号＋住所表示番号＋チェックデジット＋ストップコード
バーコード桁数：　(1)　(7)　(13)　(1)　(1)

住所表示番号が規定のけた数13桁に対して過不足のある場合には、次のように調節します。

13桁を超える場合：
13桁までの住所表示番号をバーコードに変換し、それ以上の情報は含めません。ただし、制御コード＋数字コードで表される英字の制御コードが13桁目に当たる場合は、この制御コードに該当するバーコードまで含めるものとします。

13桁に満たない場合：
13桁になるまで制御コードCC4に該当するバーコードで埋めるものとします。

また、チェックデジットは、新郵便番号～住所表示番号に盛り込む情報の各キャラクタをチェック用数字に置き換え、その合計が19の倍数となるように生成します。
各キャラクタのチェック用数字への置き換えは、次の通りとします。

バーコード用キャラクタ	1	2	3	4	5	6	7	8	9	-	CC1	CC2	CC3	CC4	CC5	CC6	CC7	CC8
チェック用数字	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18

漢字コード表切り替えのための制御コード

本プリンタは、従来の1978年版のJIS漢字コード表に加えて、1983年版、1990年版の3つの漢字コード表に対応しています。これらをコンピュータから切り替えるために、以下の制御コードを使用します。

漢字コード表の設定　FS 05F2

形　式　　FS 0 5 F 2 — c_1 c_2

- c_1、c_2 で漢字コード表を設定します。

c_1、c_2	漢字コード表
00	JIS 1978年版(JIS C6226-1978)
01	JIS 1983年版(JIS X0208-1983)
02	JIS 1990年版(JIS X0208-1990)

- 本プリンタで印刷する文字は、基本的に上記JISに準拠していますが、デザイン処理等の都合により多少字形が異なるものがあります。
- コンピュータが対応していないコード表を選択した場合には、コンピュータのディスプレイと印刷結果の文字が異なる場合があります。

記述例　　JIS 1983年版を選択するとき

```
LPRINT CHR$(&h1C); CHR$(&h30); CHR$(&h35); CHR$(&h46);
       CHR$(&h32); CHR$(&h2D); CHR$(&h30); CHR$(&h31);
または
LPRINT CHR$(28); "05F2-01";
```

ソータ制御コード

ソータ制御コード　FS %

NPDLコマンドでジョブエンドマークの設定を行います。

形　式　　FS % c_1 , p_1 , p_2 .

パラメータ

- c_1 は機能モードを設定します。
- p_1 は使用グループ番号を設定します。
- p_2 は実行する機能を設定します。
- c_1 により制御モードを設定します。

c_1	制御モード
F	ステープル（無効）
P	パンチ（無効）
B	排出先（無効）
J	オフセット排紙（無効）
M	ジョブエンドマーク設定
E	JOB終了

- p_1 は使用グループ番号を指定します（本装置では、「1」固定）。
- p_2 はc_1 の設定によって以下のように機能します。

c_1	p_2 の機能
F	ステープル位置（無効）
P	パンチ位置（無効）
B	排出先（無効）
J	無効
M	無効
E	無効

- 上位ソフトウエアは本コマンドを実行指示するため、復帰（CR）＋改ページ（FF）＋JOB終了（FS$E.）の対でコマンドを発行しなければなりません。対になっていない場合、ジョブエンドマークの設定は実行されません。

楕円の描画 EL

現在の座標位置を中心に楕円を描画します。従来のELコマンドに加え、楕円の回転を可能にしています。これにより斜楕円の描画を行えます。

形　式　　E L r_1, r_2, θ ;

- r_1 は楕円の長軸を、r_2 は楕円の短軸を示します。
- θ は楕円の回転角度を示します。θ は省略した場合0°とみなします。
- θ =360以上を指定した場合、360の剰余とみなします。また θ は負の値も設定可能です。
  たとえば-1°は359°とみなします。
- 回転の方向は反時計回りです。
- r_1、r_2 は線幅の1/2以下でなければなりません。
- r_1、r_2 は下記の値以下でなければなりません。
- 23.6ドット/mm（400 dpi）で印刷する場合：　32767-400=32367　（約2055mm）

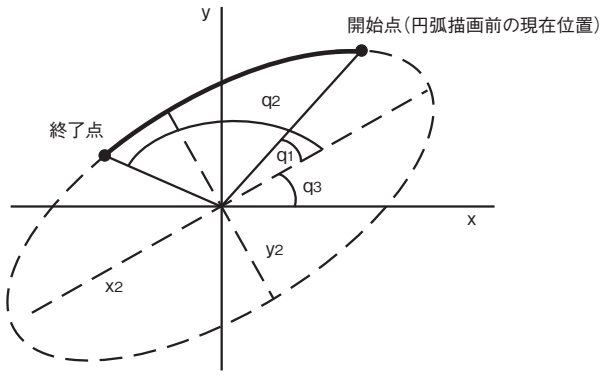
記述例　　長軸方向1000、短軸方向500の楕円を30°回転させて描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h45);CHR$(&h4C);"1000, 500, 30;";
または
LPRINT "EL1000, 500, 30;";
```

楕円弧の描画　　ED, EN

楕円弧を描きます（直線がはじめに引かれる場合があります）。

形　式　　E D x_1，y_1，x_2，y_2，θ_1，θ_2，θ_3；
E N x_1，y_1，x_2，y_2，θ_1，θ_2，θ_3；



- (x_1、y_1)は楕円の中心座標を示します。
- x_2とy_2はそれぞれx軸方向、y軸方向の長短軸の半径を示します。
- θ_1とθ_2 はそれぞれ楕円弧の開始角度、終了角度を示します。0～359（度単位）が有効です。
- θ_2 が省略された場合、欠けていない楕円を描画します。θ_1は省略できません。
- θ_3 は楕円弧の回転角度を示します。θ_3で示された角度だけ、楕円そのものと楕円の開始、終了角度が回転します。θ_3 が省略された場合、回転なしと解釈されます。
- 楕円の開始角度で示される開始点が現在位置と異なる場合、現在位置から楕円の開始位置まで直線が描画されます。欠けていない楕円の場合も同様です。
- 楕円描画後の現在位置は楕円弧の終了位置になります。
- EDコマンドの楕円弧の描画方向は、座標系コマンド（RC、RO）の設定に関わらず常に反時計回りになります。ENコマンドは常に時計回りに描画します。
- 指定角度が360を超えている場合は360で割った余りが使用されます。
- 指定角度に負の数を使用することができます。-1は359とみなします。

記述例　　長中心点（100,100）、軸方向1000、短軸方向500で、開始角度15°、終了角度120°の楕円弧を反時計方向に30°回転させて描画するとき

```
LPRINT "ED100,100,1000,500,15,120,30;";
```

チェック

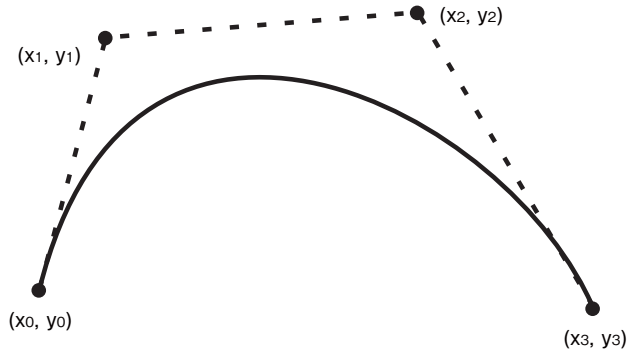
従来は楕円を回転（傾斜）させることができませんでしたが、EL、ED、ENの各コマンドに楕円の角度を指定するパラメータが追加され、任意の角度に回転させることができるようになりました。

自由曲線の描画（絶対座標モード） BA

曲線を絶対座標モードで描画します。

形　式　　B A x_1，y_1，x_2，y_2，x_3，y_3　...　，x_n，y_n；

- 現在の座標を(x_0 y_0)として(x_0，y_0)、(x_1，y_1)、(x_2，y_2)、(x_3，y_3)の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。
- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは絶対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中（コマンドNP指定後）でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。



記述例　　現在の座標位置から(x_1，y_1)、(x_2，y_2)、(x_3，y_3)を結ぶ曲線を描画するとき

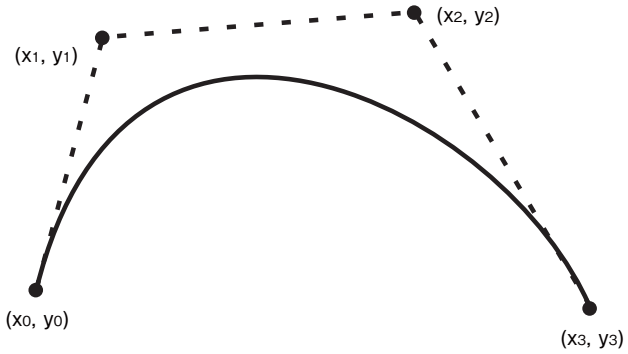
```
LPRINT CHR$(&h42);CHR$(&h41);"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
または
LPRINT "BA X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
```

自由曲線の描画（相対座標モード） BR

曲線を相対座標モードで描画します。

形　式　　B R x_1 , y_1 , x_2 , y_2 , x_3 , y_3 ... , x_n , y_n ;

- 現在の座標を(x_0 y_0)として(x_0 , y_0)、(x_1 , y_1)、(x_2 , y_2)、(x_3 , y_3)の4点を制御点とする3次ベジエ曲線を描画します。



- 座標点を続けて記述することにより、複数の3次ベジエ曲線を続けて描画します。2つ目以降の曲線の最初の制御点は、その前の最後の制御点が用いられます。3つ目の座標に対して一つの曲線を描画するので、座標の数は必ず3の倍数にしてください。
- 本コマンドにより描画モードは相対座標モードになります。
- 本コマンドは、パス構築モード中（コマンドNP指定後）でも有効です。
- 描画後、現在位置は最後に描画した曲線の終点に移動します。

記述例　　現在の座標位置から(x_1 , y_1)、(x_2 , y_2)、(x_3 , y_3)を結ぶ曲線を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h42);CHR$(&h52);"X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
または
LPRINT "BR X1, Y1, X2, Y2, X3, Y3;";
```

プリンタ単位指定

プリンタ単位の設定 SU

図形モードのプリンタ単位を設定します。

形　式　　ＳＵn_1，n_2，n_3；

- n_1、n_2、n_3でプリンタ単位を設定します。

n_1, n_2, n_3	プリンタ単位
1,160,0	1/160インチ
1,200,0	1/200インチ
1,240,0	1/240インチ
1,400,0	1/400インチ
1,100,0	1/100ミリ

- プリンタ単位の初期設定は1/240インチです。初期化動作（電源ON、主操作パネルのリセット操作、リセットコマンド他）およびイニシャライズ（IN）制御コードにより1/240インチに初期化されます。
- プリンタ単位設定により初期化が実行されます。
- 上記以外の組み合わせは無効です。
- パラメータを省略することはできません。省略した場合、コマンドは無効となります。

塗りつぶしに関する設定

グレーレベルパターンの設定　SG

フィル描画（FL, EL）や閉領域塗りつぶし描画（PI）で使用する塗りつぶしパターンを明度で設定します。

チェック

SGは形式、パラメータの指定範囲ともに従来と同じですが、本プリンタでは64階調で表現しています。これにより従来よりも細かな明度表現が可能となります。

形　式　　S G n_1 , n_2 ;

- n_1 、n_2 は明度を示します。

パラメータ	用途	明度
n_1	面分描画で使用	0～100
n_2	線分描画で使用	0～100

- n_1 、n_2 の設定範囲は0（黒ベタ）から100（白）までです。（初期値は0です）
- n_1 、n_2 とも省略すると本コマンド以前の内容が保存されます。
- 本コマンドでの設定は
  ① 初期化動作（電源ON、リセット動作など）
  ② イニシャライズコマンド（IN）実行
  ③ 初期化を伴うコマンド（RC、SU、DF）の実行
  ④ 塗りつぶしパターン選択（PP）の実行
  まで有効です。
- 塗りつぶしパターン選択コマンド（PP）が実行された場合、そのコマンドで指定されたパターンが選択されます。
- 線パターンとして黒ベタ以外を設定した場合、一般に線描画で閉領域が構成できないため閉領域塗りつぶし（PI）の使用は避けること。
- グレーの実現レベルはプリンタ機種ならびに解像度に依存します。
- スクリーン角度は45° です。
- パラメータを省略したとき、いずれか一方でもパラメータを設定範囲外に指定した時は本コマンドは無効です。
- パラメータ値とパターンの関係は以下の通りです。パターン番号は小数点第 1 位を四捨五入した値です。
  パターン番号 ＝ パラメータ × 63/100
  （例） パラメータで70を指定するとき
  70 × 63/100 ＝ 44.1
  選択されるパターンはパターン番号44となります。

記述例　　面分描画での明度を50、線分描画での明度を0（黒）に設定するとき

```
LPRINT CHR$(&h53);CHR$(&h47);"50,0;";
または
LPRINT "SG 50,0;";
```

楕円弧描画

楕円弧の描画 AV

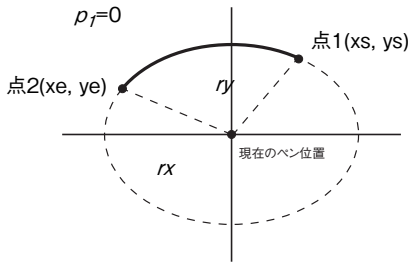
矩形領域に内接する楕円弧を描きます。

形　式　　A V *rx*，*ry*，*xs*，*ys*，*xe*，*ye*，p_1 ；

パラメータ

① *rx*.....x半径
② *ry*.....y半径
③ *xs*.....点1のx座標（絶対座標）
④ *ys*.....点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe*.....点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye*.....点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1.....描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（*xe*、*ye*）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画方向に従い描画します。
- p_1 ＝0の時、反時計回り、p_1 ＝1の時、時計回りになります。
- 省略時は反時計回りになります。p_1 に0、1以外の値が指定されたときは、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が中心点と同じ場合、楕円弧を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンタ座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスのとき、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅／2>半径の場合は、線幅／2＝半径となるように線幅を丸めます。



記述例　　現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h41);CHR$(&h56) ;rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1;";
または
LPRINT "AV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1;";"
```

弓形描画

弓形の描画 CV

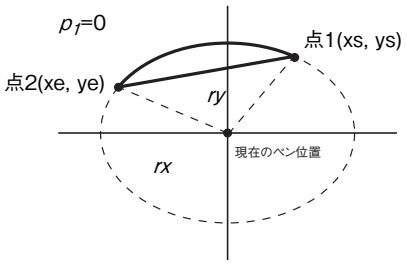
矩形領域に内接する楕円弧を基に弓形を描きます。

形　式　　C V *rx*，*ry*，*xs*，*ys*，*xe*，*ye*，p_1，p_2 ；

パラメータ

① *rx*.....x半径
② *ry*.....y半径
③ *xs*.....点1のx座標（絶対座標）
④ *ys*.....点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe*.....点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye*.....点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1.....描画モード
⑧ p_2.....描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（*xe*、*ye*）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に弓形を描画します。
- p_1 ＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画する。）p_1 ＝1の時、塗りつぶしのみ、p_1 ＝2の時、輪郭＋塗りつぶしを行います。p_1 に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効となります。
- p_2 ＝0の時、反時計回り、p_2 ＝1の時、時計回りに、省略時は反時計回りになります。
- p_2 に0、1以外の値が指定されたときは、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画しません。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、弓形を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンタ座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスの時、あるいは32767-（解像度）より大きいとき、コマンドは無効になります。
- 線幅／2＞半径の場合は、線幅／2＝半径となるように線幅を丸めます。



記述例　　現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする弓形を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h43);CHR$(&h56) ;rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2;"
または
LPRINT "CV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2;";
```

扇形描画

扇形の描画 FV

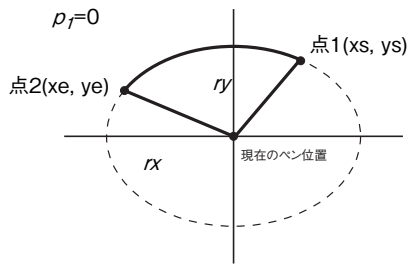
矩形領域に内接する楕円弧を基に扇形を描きます。

形　式　　F V *rx*，*ry*，*xs*，*ys*，*xe*，*ye*，p_1，p_2；

パラメータ

① *rx*.....x半径
② *ry*.....y半径
③ *xs*.....点1のx座標（絶対座標）
④ *ys*.....点1のy座標（絶対座標）
⑤ *xe*.....点2のx座標（絶対座標）
⑥ *ye*.....点2のy座標（絶対座標）
⑦ p_1.....描画モード
⑧ p_2.....描画方向（省略可）

- 現在のペン位置を中心とする半径x、yの楕円と、中心と点1（*xs*、*ys*）を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2（*xe*、*ye*）を結ぶ直線との交点を終了点とする楕円弧を基に扇形を描画します。
- p_1 ＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画する。）、p_1 ＝1の時、塗りつぶしのみ、p_1 ＝2の時、輪郭＋塗りつぶしを行います。p_1 に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効となります。
- p_2 ＝0の時、反時計回り、p_2 ＝1の時、時計回りに、省略時は反時計回りになります。p2 に0、1以外の値が指定されたときは、コマンドは無効になります。
- 求めた開始点と終了点が同じ場合、楕円を描画します。
- 求めた開始点あるいは終了点が矩形領域の中心と同じ場合、扇形を描画しません。
- 点1、点2の座標（プリンタ座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 半径がマイナスのとき、あるいは32767-（解像度）より大きいときは、コマンドは無効になります。
- 線幅／2＞半径の場合は、線幅／2＝半径となるように線幅を丸めます。



記述例　　現在のペン位置を中心とする半径rx、ryの楕円に対して、中心と点1を結ぶ直線との交点を開始点とし、中心と点2を結ぶ直線との交点を終了点とする扇形を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h46);CHR$(&h56) ;rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2;";
または
LPRINT "FV rx, ry, xs, ys, xe, ye, p1, p2;";"
```

角丸矩形描画

角丸矩形の描画　RB

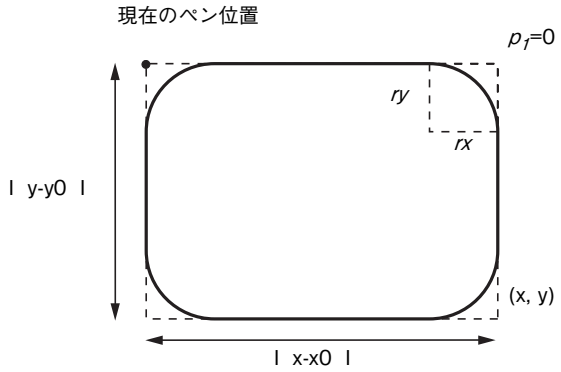
指定された2点を基に角丸矩形を描画します。

形　式　　ＲＢ *x*，*y*，*rx*，*ry*，p_1 ；

パラメータ

① *x*..... 矩形の対角のx座標（絶対座標）
② *y*..... 矩形の対角のy座標（絶対座標）
③ *rx*..... 角丸のx半径
④ *ry*..... 角丸のy半径
⑤ p_1..... 描画モード

- 現在のペン位置からx、yで示される矩形の角に半径rx、ryの1/4楕円を描画します。
- p_1 ＝0の時、輪郭のみ（線種パターンに従って描画します。）、p_1 ＝1の時、塗りつぶしのみ、p_1 ＝2の時、輪郭＋塗りつぶしを行います。p_1 に0、1、2以外の値が指定されたとき、コマンドは無効になります。
- ｜x - x0｜＞2 × *rx*かつ｜y - y0｜＞2 × *ry* のとき丸めを行い、それ以外は角丸めを行いません。
- x、y 半径が32767-解像度を超える場合は、32767-解像度に丸めます。
- 対角点の座標軸（プリンタ座標系）が-32768～32767の範囲内にないとき、コマンドは無効になります。
- 線幅／2＞半径の場合は、線幅／2＝半径となるように線幅を丸めます。



記述例　　現在のペン位置から*x*、*y*で示される矩形に半径*rx*、*ry*の角丸矩形を描画するとき

```
LPRINT CHR$(&h52);CHR$(&h42) ;x, y, rx, ry, p1;";
または
LPRINT "RB x, y, rx, ry, p1;";"
```

ESC/Pエミュレーション

本項では、N1153-029のESC/Pエミュレーションソフトウエアインタフェース機能について説明します。本プリンタのエミュレーションは、ESC/Pで定義されるESC/P-J84までのサポートを考慮しています。ただし、本プリンタのハードウエア特性等を鑑み、サポートしないものについては、コマンドは受け付けるが何も処理しないというものがあります。サポートしないコマンドについては、389ページの「ESC/Pエミュレーション機能別索引」をご覧ください。また、本プリンタの特性により、ESC/Pコマンドと機能が異なる部分があります。詳細は389ページをご覧ください。

用紙長に関する使用上のご注意

従来のラインプリンタ使用アプリケーションを本プリンタでご使用いただく場合、以下のような制限があります。

印刷範囲

- 7インチ未満または14インチを超える用紙長を設定することはできません。7インチから14インチまでの範囲で用紙長を設定してください。
- 用紙の下端ミシン目から1/6インチの領域は印刷範囲には含まれませんが、メモリスイッチの設定により下端ミシン目から1/6インチの領域を印刷範囲に含むことができます。通常の印刷可能な範囲の長さは“用紙長－1/6インチ”となります。この範囲で印刷を行ってください。従来アプリケーションにおける1ページ長の下端1/6インチにかかっている文字等のデータは、上記印刷範囲の違いにより、改ページ後、次のページの先頭行から印刷が行われます。
- ただし、上記印刷範囲につきましては、あくまでも、ミシン目からミシン目までの最大印刷範囲であり、印刷保証範囲は、「印刷保証範囲」（325ページ）に記載した範囲となりますので、「印刷保証範囲」に記載の印刷範囲で印刷を行ってください。

用紙長の設定（ESC/PモードでのESC Cおよび用紙長設定命令NPDLモードでのVFU設定を使用した場合）

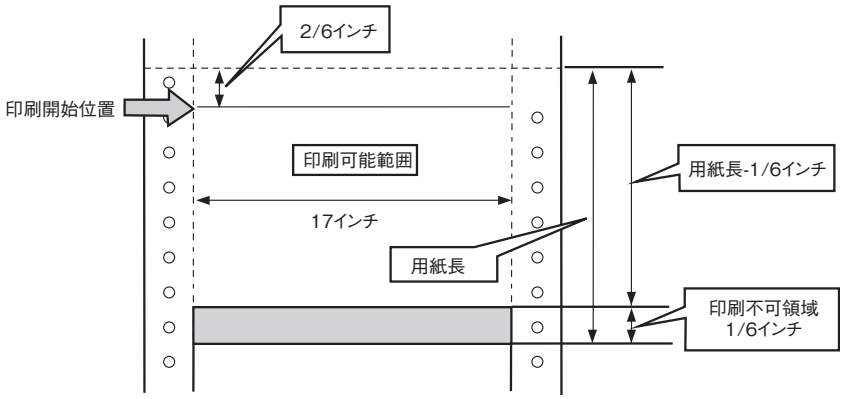
実際の用紙の長さと異なったページ長を設定した場合、指定したページ長の全領域への印刷は保証されません。実際の用紙の長さに一致するように、オートロードパネルで物理用紙長を設定してください。また、印刷可能な範囲でページ長を設定してください。

チェック

NPDLエミュレーション（装置出荷時の設定）からESC/Pエミュレーションへの切り替え方法については、「エミュレーションの切り替え」（332ページ）をご覧ください。

本プリンタでエミュレーション機能を使用するには、以下に示す機能差分があり、この部分についてはESC/Pの印刷結果と異なることがあります。

- 本プリンタはページプリンタであり、ページ単位の印刷（用紙の走行は指定用紙長単位）となります。
- 本プリンタの物理解像度は600dpiであり、ESC/Pの180dpi換算データに対し、期待と異なる印刷結果になる場合があります（印字位置管理で600dpi換算にするときに端数が出るとき）。
- 本プリンタの印刷範囲幅は、17インチ(170桁（10dpi）)です。アプリケーションにおいて、ESC/Pよりも広い印刷範囲幅を意識する必要がありますが、メモリスイッチの設定により144桁、136桁の印刷範囲幅に変更することができます。
- 拡張グラフィックコード表文字は、サポートしていません（印刷できません）。
- 本プリンタでは、文字パターンはNPDLモードと同等のものを使用するため、ESC/Pとは、縦書き印、カタカナモードで異なる文字パターンを印刷する場合があります。
- 本プリンタでサポートする英数カナ文字の書体は、ローマン、サンセリフ、クーリエです。また、漢字書体は、
  明朝体FontAvenue 明朝体―L
  ゴシック体FontAvenue ゴシック体―M
  です。サポートする漢字コード表は、JIS X 0208-1983となっています。
- 印刷可能範囲は、幅：17インチ、長さ：用紙長―1/6インチ（用紙長はセットされているもの（オートロードパネルで設定した値））です。



上記は物理的な印刷可能範囲がX方向は17インチ、Y方向は用紙長―1/6インチであることを示します（ただし、印刷開始位置はミシン目から2/6インチ下を第1行目とします）。用紙の排出（印刷）は用紙長単位で行われます。また、メモリスイッチの設定により用紙下端1/6インチへの印刷ができます。ただし印刷保証範囲は「印刷保証範囲」（325ページ）に記載した範囲となります。

上記印刷範囲の中でページ長設定（論理ページ長）が行われ、論理ページを越えた場合、排出し、次の印刷開始位置は、次の物理的な印刷範囲の先頭（ミシン目から2/6インチ）になります。

ESC/Pエミュレーション機能別索引

機能		コマンド		サポート有無
書式設定・実行	印字領域設定	ESC C	行単位ページ長設定	○
		ESC C 0	インチ単位ページ長設定	○
		ESC N	ミシン目スキップ設定	×
		ESC O	ミシン目スキップ解除	×
		ESC Q	右マージン設定	○
		ESC l	左マージン設定	○
	改行量設定	ESC 0	1/8インチ改行量指定	○
		ESC 2	1/6インチ改行量指定	○
		ESC 3	n/180インチ改行量設定	○
		ESC A	n/60インチ改行量設定	○
		ESC +	n/360インチ改行量設定	○
	タブ設定	ESC B	垂直タブ位置設定	○
		ESC D	水平タブ位置設定	○
		ESC /	VFUチャンネル選択	○
		ESC b	VFUタブ位置設定	○
	印字・紙送り	CR	印字復帰	○
		LF	改行	○
		FF	改ページ	○
		ESC J	n/180インチ順方向紙送り	○
		ESC j	n/180インチ逆方向紙送り	○
	印字位置設定	HT	水平タブ実行	○
		VT	垂直タブ実行	○
		BS	後退	○
		ESC $	絶対位置指定	○
		ESC ¥	相対位置指定	○
テキスト処理	文字セット	ESC M	12CPI指定	○
		ESC P	10CPI指定	○
		ESC g	15CPI指定	○
		ESC p	プロポーショナル指定／解除	○
		ESC R	国際文字選択	○
		ESC S	スーパー／サブスクリプト指定	○
		ESC T	スーパー／サブスクリプト解除	○
		ESC x	文字品位選択	○
		ESC k	書体選択	○
		ESC 6	上位側コントロールコード解除	○
		ESC 7	上位側コントロールコード指定	○
		ESC t	文字コード表選択	△
	文字定義	ESC %	ダウンロード文字セット指定／解除	○
		ESC &	ダウンロード文字定義	○
		ESC :	文字セットコピー	○
	文字ピッチ調整	ESC SP	文字間スペース量設定	○
	ジャスティフィケーション	ESC a	位置ぞろえ選択	×

機能		コマンド		サポート有無
テキスト処理	装飾	ESC w	縦倍拡大指定／解除	○
		SI	縮小指定	○
		ESC SI	縮小指定	○
		DC2	縮小解除	○
		ESC -	アンダーライン指定／解除	○
		SO	自動解除付き倍幅拡大指定	○
		ESC SO	自動解除付き倍幅拡大指定	○
		DC4	自動解除付き倍幅拡大解除	○
		ESC W	倍幅拡大指定／解除	○
		ESC E	強調指定	○
		ESC F	強調解除	○
		ESC G	二重印字指定	○
		ESC H	二重印字解除	○
		FS SO	自動解除付き倍幅拡大指定	○
		FS DC4	自動解除付き倍幅拡大解除	○
		ESC 4	イタリック指定	○
		ESC 5	イタリック解除	○
		ESC q	文字スタイル選択	○
		ESC !	一括指定	○
漢字	装飾	FS J	縦書き指定	○
		FS K	横書き指定	○
		FS D	半角縦書き2文字指定	○
		FS W	4倍角指定／解除	○
		FS -	漢字アンダーライン指定／解除	○
		FS !	漢字一括指定	○
	文字セット	FS &	漢字モード指定	○
		FS .	漢字モード解除	○
		FS SI	半角文字指定	○
		FS DC2	半角文字解除	○
		FS r	1/4角文字指定	○
		FS k	漢字書体選択	○
	文字定義	FS 2	外字定義	○
	文字ピッチ調整	FS S	全角文字スペース量設定	○
		FS T	半角文字スペース量設定	○
		FS U	半角文字スペース量補正	○
		FS V	半角文字スペース量補正解除	○
イメージ処理		ESC K	8ビット単密度ビットイメージ	○
		ESC L	8ビット倍密度ビットイメージ	○
		ESC Y	8ビット倍速倍密度ビットイメージ	○
		ESC Z	8ビット4倍密度ビットイメージ	○
		ESC *	ビットイメージ選択	○
		ESC *	ビットイメージリピート	○
		ESC ?	ビットイメージ変換	○
補助機能	初期化	ESC @	初期化	○
	キャリッジ制御	ESC U	単方向印字指定／解除	×
		FS x	漢字高速印字指定／解除	×
		ESC <	リターン・ホーム	×
補助機能	データ入力制御	DEL	1文字削除	○
		CAN	データ抹消	○
		ESC >	MSB=1指定	×
		ESC =	MSB=0指定	×
		ESC #	MSBコントロール解除	×
	CSF制御	ESC EM	カットシートフィーダ選択	×
	カラー選択	ESC r	カラー選択	×
	ブザー	BEL	ブザー	×

○：サポートあり
×：サポートなし
△：一部のコマンド機能のみサポート

文字の種類

内蔵文字の種類

表中の「○」と「×」は、各書体においてその文字の種類が内蔵されているか（○）内蔵されていないか（×）を示します。

1バイト系文字

文字の種類		標準／クーリエ／ゴシック／イタリック
英数字・記号 （スペース、0を含む）	96種	○
カタカナ・記号	63種	○
ひらがな	55種	○
CGグラフィック	56種	○
各国文字	15種	○

2バイト系文字

文字の種類		明朝体 アウトライン	明朝体 アウトライン
記号 （スペースを含む）	96種	○	○
英数字	63種	○	○
ひらがな	83種	○	○
カタカナ	86種	○	○
ギリシャ文字	48種	○	○
ロシア文字	66種	○	○
半角文字 （スペースを含む）	212種	○	○
JIS第一水準漢字	2965種	○	○
JIS第二水準漢字	3384種	○	○

この表はJIS C6226-1978に準拠していますが、JIS 10208-0983または JIS-X0208-1990への切り替えも可能です。

文字間隔

文字種	文字種	文字間隔（mm（インチ））
1バイト系文字	パイカ	(1/10)
	エリート	(1/12)
	コンデンス	(1/17)
	プロポーショナル	(1/27)～2.54(1/10)
2バイト系文字	2.47mm（7ポイント）*1	2.54（1/10）
	3.7mm（10.5ポイント）*2	約3.81 (1/6.66)
	4.23mm（12ポイント）	4.23（1/6）

*1　正確には2.54mm（7.2ポイント）です。

*2　正確には3.81mm（10.8ポイント）です。

文字構成

1バイト系文字

文字種				ドット構成 (ボディフェース) ＜縦 × 横＞ （ドット）	文字寸法 (ボディフェース) ＜縦 × 横＞(mm)
1バイト系文字	標　準	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	56 × 40	3.39 × 2.54
			エリート	52 × 34	3.17 × 2.12
			コンデンス	42 × 24	2.96 × 1.48
			プロポーショナル	56 × A*1	3.39 × B*1
		CGグラフィック	パイカ	56 × 40	3.17 × 2.54
			エリート	52 × 34	2.96 × 2.12
			コンデンス	42 × 24	1.98 × 1.48
			プロポーショナル	56 × 40	3.39 × 2.54
	スクリプト	英数字 記号 カタカナ ひらがな	パイカ	28 × 40	1.69 × 2.54
			エリート	26 × 34	1.59 × 2.12
			コンデンス	21 × 24	1.48 × 1.48
			プロポーショナル	28 × A*1	1.69 × B*1
		CGグラフィック	パイカ	28 × 40	1.69 × 2.54
			エリート	26 × 34	1.59 × 2.12
			コンデンス	21 × 24	1.48 × 1.48
			プロポーショナル	28 × 40	1.69 × 2.54

*1　プロポーショナルの横のサイズは文字ごとに異なります。
A：15～37ドット（400 dpi）　B：0.95～2.33mm

2バイト系文字、グラフィック

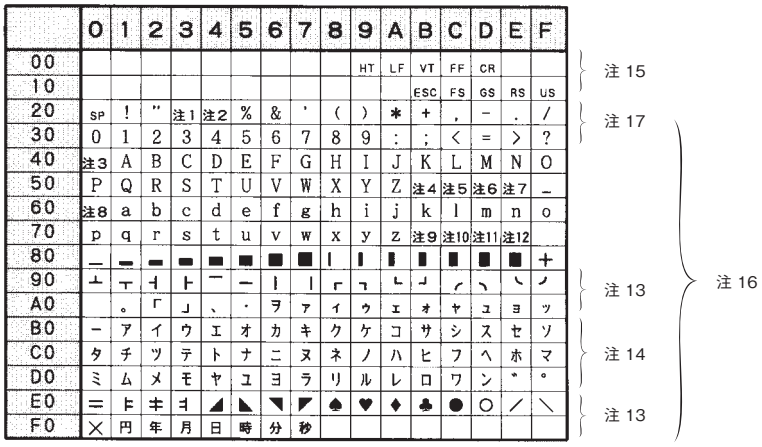
文字種			ドット構成（ボディフェース）＜縦 × 横＞（ドット）	文字寸法（ボディフェース）＜縦 × 横＞（mm）
2バイト系文字	2.47mm（7ポイント）	全角	40 × 40	2.54 × 2.54
		半角	40 × 20	2.54 × 1.27
	3.7mm（10.5ポイント）	全角	60 × 60	3.81 × 3.81
		半角	60 × 30	3.81 × 1.91
	4.23mm（12ポイント）	全角	67 × 67	4.23 × 4.23
		半角	67 × 34	4.23 × 2.12
ドット列印刷	40ドット		67 × n	4.23 × m

文字コード表

N1153-029は、1バイト系コードと2バイト系コードを使用することができます。
1バイト系コードは、メモリスイッチ1-1～1-3を切り替えることによりアメリカ、イギリス、ドイツ、スウェーデン、日本の各国特殊文字が入ったコードにすることができます。工場設定は「日本」になっています。
2バイト系コードは、半角文字、JIS第一水準の漢字や記号など、およびJIS第二水準の漢字を印刷するときに使用できます。半角文字とは全角（普通の漢字）の半分の横幅の文字で、英字、数字、記号、カナなどがあります。

1バイト系コード表

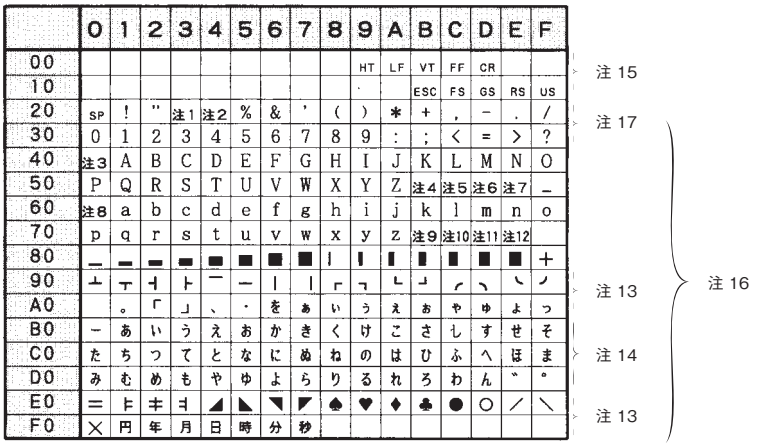
カタカナモード



	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
00										HT	LF	VT	FF	CR			注15
10												ESC	FS	GS	RS	US	
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	−	.	/	注17
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?	
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_	
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12		
80																	
90																	注13
A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ	
B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ	
C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ	注14
D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜	
E0																	
F0	×	円	年	月	日	時	分	秒									注13

注16

ひらがなモード



	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F	
00										HT	LF	VT	FF	CR			注15
10												ESC	FS	GS	RS	US	
20	SP	!	"	注1	注2	%	&	'	(	)	*	+	,	−	.	/	注17
30	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?	
40	注3	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O	
50	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	注4	注5	注6	注7	_	
60	注8	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o	
70	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	注9	注10	注11	注12		
80																	
90																	注13
A0		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ	
B0	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ	
C0	た	ち	つ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま	注14
D0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜	
E0																	
F0	×	円	年	月	日	時	分	秒									注13

注16

注1～12　　各国特殊文字が入ります（メモリスイッチ1-1～1-3で切り替えます。）

国別相違点

注　No.	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12
コード	23	24	40	5B	5C	5D	5E	60	7B	7C	7D	7E
日本	#	$	@	[	¥	]	^	`	{	;	}	~
アメリカ	#	$	@	[	\	]	^	`	{	;	}	~
イギリス	£	$	@	[	\	]	^	`	{	;	}	~
ドイツ	#	$	§	Ä	Ö	Ü	^	`	ä	ö	ü	ß
スウェーデン	#	¤	É	Ä	Ö	Å	Ü	é	ä	ö	å	ü

注13　8、9、E、F行はCGグラフィックを表します。
注14　A～D行はひらがなモード（ESC &で指定）の場合はひらがな文字、カタカナモード（ESC Sで指定）の場合はカタカナ文字になります。
注15　0、1行は制御コードです。
注16　0、1行の空欄は無視されます。2～F行の空欄はスペース（SP）として処理されます。
注17　3行、0列の「0」の印刷字体はメモリスイッチ2-1により「O」に変更できます。

2バイト系コード表

半角文字

- コードは16進で表現されます。例えば、“J”のコードは0040＋A＝004Aとなります。
- 0020は漢字文字幅の半分のスペース（SP）です。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
0020		!	"	#	$	%	&	'	(	)	*	+	,	-	.	/
0030	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	:	;	<	=	>	?
0040	@	A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
0050	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z	[	¥	]	^	_
0060	`	a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
0070	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z	{	|	}	‾	
0080		。	「	」	、	・	を	ぁ	ぃ	ぅ	ぇ	ぉ	ゃ	ゅ	ょ	っ
0090	ー	あ	い	う	え	お	か	き	く	け	こ	さ	し	す	せ	そ
00A0		。	「	」	、	・	ヲ	ァ	ィ	ゥ	ェ	ォ	ャ	ュ	ョ	ッ
00B0	ー	ア	イ	ウ	エ	オ	カ	キ	ク	ケ	コ	サ	シ	ス	セ	ソ
00C0	タ	チ	ツ	テ	ト	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ	ヒ	フ	ヘ	ホ	マ
00D0	ミ	ム	メ	モ	ヤ	ユ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ワ	ン	゛	゜
00E0	た	ち	っ	て	と	な	に	ぬ	ね	の	は	ひ	ふ	へ	ほ	ま
00F0	み	む	め	も	や	ゆ	よ	ら	り	る	れ	ろ	わ	ん	゛	゜

全角文字

- このコード表は、JIS 1978年版に準拠しています。本プリンタでは、制御コードによってコード表をJIS 1978年版／JIS 1983年版およびJIS 1990年版に切り替えることもできます。ただし、デザイン処理などの都合により、一部字形の異なる文字があります。
- コードは16進で表現されます。例えば、“亜”のコードは3020＋1＝3021となります。
- 2121は漢字文字幅のスペース（SP）です。

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
2120			、	。	，	．	・	：	；	？	！	゛	°	^	￣	¨
2130	‾	＿	ヽ	ヾ	ゝ	ゞ	〃	仝	々	〆	〇	―	‐	／	＼	～
2140	∥	｜	…	‥	‘	’	“	”	（	）	〔	〕	［	］	｛	｝
2150	〈	〉	《	》	「	」	『	』	【	】	＋	－	±	×	÷	＝
2160	≠	＜	＞	≦	≧	∞	∴	♂	♀	°	′	″	℃	￥	$	¢
2170	£	%	#	&	*	@	§	☆	★	○	●	◎	◇	◆	□	■
2220	△	▲	▽	▼	※	〒	→	←	↑	↓	〓					
2230																
2240																
2250																
2260																
2270																
2320																
2330	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9						
2340		A	B	C	D	E	F	G	H	I	J	K	L	M	N	O
2350	P	Q	R	S	T	U	V	W	X	Y	Z					
2360		a	b	c	d	e	f	g	h	i	j	k	l	m	n	o
2370	p	q	r	s	t	u	v	w	x	y	z					
2420		ぁ	あ	ぃ	い	ぅ	う	ぇ	え	ぉ	お	か	が	き	ぎ	く
2430	ぐ	け	げ	こ	ご	さ	ざ	し	じ	す	ず	せ	ぜ	そ	ぞ	た
2440	だ	ち	ぢ	っ	つ	づ	て	で	と	ど	な	に	ぬ	ね	の	は
2450	ば	ぱ	ひ	び	ぴ	ふ	ぶ	ぷ	へ	べ	ぺ	ほ	ぼ	ぽ	ま	み
2460	む	め	も	ゃ	や	ゅ	ゆ	ょ	よ	ら	り	る	れ	ろ	ゎ	わ
2470	ゐ	ゑ	を	ん												
2520		ァ	ア	ィ	イ	ゥ	ウ	ェ	エ	ォ	オ	カ	ガ	キ	ギ	ク
2530	グ	ケ	ゲ	コ	ゴ	サ	ザ	シ	ジ	ス	ズ	セ	ゼ	ソ	ゾ	タ
2540	ダ	チ	ヂ	ッ	ツ	ヅ	テ	デ	ト	ド	ナ	ニ	ヌ	ネ	ノ	ハ
2550	バ	パ	ヒ	ビ	ピ	フ	ブ	プ	ヘ	ベ	ペ	ホ	ボ	ポ	マ	ミ
2560	ム	メ	モ	ャ	ヤ	ュ	ユ	ョ	ヨ	ラ	リ	ル	レ	ロ	ヮ	ワ
2570	ヰ	ヱ	ヲ	ン	ヴ	ヵ	ヶ									
2620		A	B	Γ	Δ	E	Z	H	Θ	I	K	Λ	M	N	Ξ	O
2630	Π	P	Σ	T	Υ	Φ	X	Ψ	Ω							
2640		α	β	γ	δ	ε	ζ	η	θ	ι	κ	λ	μ	ν	ξ	ο
2650	π	ρ	σ	τ	υ	φ	χ	ψ	ω							
2660																
2670																
2720		А	Б	В	Г	Д	Е	Ё	Ж	З	И	Й	К	Л	М	Н
2730	О	П	Р	С	Т	У	Ф	Х	Ц	Ч	Ш	Щ	Ъ	Ы	Ь	Э
2740	Ю	Я														
2750		а	б	в	г	д	е	ё	ж	з	и	й	к	л	м	н
2760	о	п	р	с	т	у	ф	х	ц	ч	ш	щ	ъ	ы	ь	э
2770	ю	я														

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3020		亜	唖	娃	阿	哀	愛	挨	姶	逢	葵	茜	穐	悪	握	渥
3030	旭	葦	芦	鯵	梓	圧	斡	扱	宛	姐	虻	飴	絢	綾	鮎	或
3040	粟	袷	安	庵	按	暗	案	闇	鞍	杏	以	伊	位	依	偉	囲
3050	夷	委	威	尉	惟	意	慰	易	椅	為	畏	異	移	維	緯	胃
3060	萎	衣	謂	違	遺	医	井	亥	域	育	郁	磯	一	壱	溢	逸
3070	稲	茨	芋	鰯	允	印	咽	員	因	姻	引	飲	淫	胤	蔭	
3120		院	陰	隠	韻	吋	右	宇	烏	羽	迂	雨	卯	鵜	窺	丑
3130	碓	臼	渦	嘘	唄	欝	蔚	鰻	姥	厩	浦	瓜	閏	噂	云	運
3140	雲	荏	餌	叡	営	嬰	影	映	曳	栄	永	泳	洩	瑛	盈	穎
3150	頴	英	衛	詠	鋭	液	疫	益	駅	悦	謁	越	閲	榎	厭	円
3160	園	堰	奄	宴	延	怨	掩	援	沿	演	炎	焔	煙	燕	猿	縁
3170	艶	苑	薗	遠	鉛	鴛	塩	於	汚	甥	凹	央	奥	往	応	
3220		押	旺	横	欧	殴	王	翁	襖	鴬	鴎	黄	岡	沖	荻	億
3230	屋	憶	臆	桶	牡	乙	俺	卸	恩	温	穏	音	下	化	仮	何
3240	伽	価	佳	加	可	嘉	夏	嫁	家	寡	科	暇	果	架	歌	河
3250	火	珂	禍	禾	稼	箇	花	苛	茄	荷	華	菓	蝦	課	嘩	貨
3260	迦	過	霞	蚊	俄	峨	我	牙	画	臥	芽	蛾	賀	雅	餓	駕
3270	介	会	解	回	塊	壊	廻	快	怪	悔	恢	懐	戒	拐	改	
3320		魁	晦	械	海	灰	界	皆	絵	芥	蟹	開	階	貝	凱	劾
3330	外	咳	害	崖	慨	概	涯	碍	蓋	街	該	鎧	骸	浬	馨	蛙
3340	垣	柿	蠣	鈎	劃	嚇	各	廓	拡	攪	格	核	殻	獲	確	穫
3350	覚	角	赫	較	郭	閣	隔	革	学	岳	楽	額	顎	掛	笠	樫
3360	橿	梶	鰍	潟	割	喝	恰	括	活	渇	滑	葛	褐	轄	且	鰹
3370	叶	椛	樺	鞄	株	兜	竈	蒲	釜	鎌	噛	鴨	栢	茅	萱	
3420		粥	刈	苅	瓦	乾	侃	冠	寒	刊	勘	勧	巻	喚	堪	姦
3430	完	官	寛	干	幹	患	感	慣	憾	換	敢	柑	桓	棺	款	歓
3440	汗	漢	澗	潅	環	甘	監	看	竿	管	簡	緩	缶	翰	肝	艦
3450	莞	観	諌	貫	還	鑑	間	閑	関	陥	韓	館	舘	丸	含	岸
3460	巌	玩	癌	眼	岩	翫	贋	雁	頑	顔	願	企	伎	危	喜	器
3470	基	奇	嬉	寄	岐	希	幾	忌	揮	机	旗	既	期	棋	棄	
3520		機	帰	毅	気	汽	畿	祈	季	稀	紀	徽	規	記	貴	起
3530	軌	輝	飢	騎	鬼	亀	偽	儀	妓	宜	戯	技	擬	欺	犠	疑
3540	祇	義	蟻	誼	議	掬	菊	鞠	吉	吃	喫	桔	橘	詰	砧	杵
3550	黍	却	客	脚	虐	逆	丘	久	仇	休	及	吸	宮	弓	急	救
3560	朽	求	汲	泣	灸	球	究	窮	笈	級	糾	給	旧	牛	去	居
3570	巨	拒	拠	挙	渠	虚	許	距	鋸	漁	禦	魚	亨	享	京	
3620		供	侠	僑	兇	競	共	凶	協	匡	卿	叫	喬	境	峡	強
3630	彊	怯	恐	恭	挟	教	橋	況	狂	狭	矯	胸	脅	興	蕎	郷
3640	鏡	響	饗	驚	仰	凝	尭	暁	業	局	曲	極	玉	桐	粁	僅
3650	勤	均	巾	錦	斤	欣	欽	琴	禁	禽	筋	緊	芹	菌	衿	襟
3660	謹	近	金	吟	銀	九	倶	句	区	狗	玖	矩	苦	躯	駆	駈
3670	駒	具	愚	虞	喰	空	偶	寓	遇	隅	串	櫛	釧	屑	屈	
3720		掘	窟	沓	靴	轡	窪	熊	隈	粂	栗	繰	桑	鍬	勲	君
3730	薫	訓	群	軍	郡	卦	袈	祁	係	傾	刑	兄	啓	圭	珪	型
3740	契	形	径	恵	慶	慧	憩	掲	携	敬	景	桂	渓	畦	稽	系
3750	経	継	繋	罫	茎	荊	蛍	計	詣	警	軽	頸	鶏	芸	迎	鯨
3760	劇	戟	撃	激	隙	桁	傑	欠	決	潔	穴	結	血	訣	月	件
3770	倹	倦	健	兼	券	剣	喧	圏	堅	嫌	建	憲	懸	拳	捲	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
3820		検	権	牽	犬	献	研	硯	絹	県	肩	見	謙	賢	軒	遣
3830	鍵	険	顕	験	鹸	元	原	厳	幻	弦	減	源	玄	現	絃	舷
3840	言	諺	限	乎	個	古	呼	固	姑	孤	己	庫	弧	戸	故	枯
3850	湖	狐	糊	袴	股	胡	菰	虎	誇	跨	鈷	雇	顧	鼓	五	互
3860	伍	午	呉	吾	娯	後	御	悟	梧	檎	瑚	碁	語	誤	護	醐
3870	乞	鯉	交	佼	侯	候	倖	光	公	功	効	勾	厚	口	向	
3920		后	喉	坑	垢	好	孔	孝	宏	工	巧	巷	幸	広	庚	康
3930	弘	恒	慌	抗	拘	控	攻	昂	晃	更	杭	校	梗	構	江	洪
3940	浩	港	溝	甲	皇	硬	稿	糠	紅	紘	絞	綱	耕	考	肯	肱
3950	腔	膏	航	荒	行	衡	講	貢	購	郊	酵	鉱	礦	鋼	閤	降
3960	項	香	高	鴻	剛	劫	号	合	壕	拷	濠	豪	轟	麹	克	刻
3970	告	国	穀	酷	鵠	黒	獄	漉	腰	甑	忽	惚	骨	狛	込	
3A20		此	頃	今	困	坤	墾	婚	恨	懇	昏	昆	根	梱	混	痕
3A30	紺	艮	魂	些	佐	叉	唆	嵯	左	差	査	沙	瑳	砂	詐	鎖
3A40	裟	坐	座	挫	債	催	再	最	哉	塞	妻	宰	彩	才	採	栽
3A50	歳	済	災	采	犀	砕	砦	祭	斎	細	菜	裁	載	際	剤	在
3A60	材	罪	財	冴	坂	阪	堺	榊	肴	咲	崎	埼	碕	鷺	作	削
3A70	咋	搾	昨	朔	柵	窄	策	索	錯	桜	鮭	笹	匙	冊	刷	
3B20		察	拶	撮	擦	札	殺	薩	雑	皐	鯖	捌	錆	鮫	皿	晒
3B30	三	傘	参	山	惨	撒	散	桟	燦	珊	産	算	纂	蚕	讃	賛
3B40	酸	餐	斬	暫	残	仕	仔	伺	使	刺	司	史	嗣	四	士	始
3B50	姉	姿	子	屍	市	師	志	思	指	支	孜	斯	施	旨	枝	止
3B60	死	氏	獅	祉	私	糸	紙	紫	肢	脂	至	視	詞	詩	試	誌
3B70	諮	資	賜	雌	飼	歯	事	似	侍	児	字	寺	慈	持	時	
3C20		次	滋	治	爾	璽	痔	磁	示	而	耳	自	蒔	辞	汐	鹿
3C30	式	識	鴫	竺	軸	宍	雫	七	叱	執	失	嫉	室	悉	湿	漆
3C40	疾	質	実	蔀	篠	偲	柴	芝	屡	蕊	縞	舎	写	射	捨	赦
3C50	斜	煮	社	紗	者	謝	車	遮	蛇	邪	借	勺	尺	杓	灼	爵
3C60	酌	釈	錫	若	寂	弱	惹	主	取	守	手	朱	殊	狩	珠	種
3C70	腫	趣	酒	首	儒	受	呪	寿	授	樹	綬	需	囚	収	周	
3D20		宗	就	州	修	愁	拾	洲	秀	秋	終	繍	習	臭	舟	蒐
3D30	衆	襲	讐	蹴	輯	週	酋	酬	集	醜	什	住	充	十	従	戎
3D40	柔	汁	渋	獣	縦	重	銃	叔	夙	宿	淑	祝	縮	粛	塾	熟
3D50	出	術	述	俊	峻	春	瞬	竣	舜	駿	准	循	旬	楯	殉	淳
3D60	準	潤	盾	純	巡	遵	醇	順	処	初	所	暑	曙	渚	庶	緒
3D70	署	書	薯	藷	諸	助	叙	女	序	徐	恕	鋤	除	傷	償	
3E20		勝	匠	升	召	哨	商	唱	嘗	奨	妾	娼	宵	将	小	少
3E30	尚	庄	床	廠	彰	承	抄	招	掌	捷	昇	昌	昭	晶	松	梢
3E40	樟	樵	沼	消	渉	湘	焼	焦	照	症	省	硝	礁	祥	称	章
3E50	笑	粧	紹	肖	菖	蒋	蕉	衝	裳	訟	証	詔	詳	象	賞	醤
3E60	鉦	鍾	鐘	障	鞘	上	丈	丞	乗	冗	剰	城	場	壌	嬢	常
3E70	情	擾	条	杖	浄	状	畳	穣	蒸	譲	醸	錠	嘱	埴	飾	
3F20		拭	植	殖	燭	織	職	色	触	食	蝕	辱	尻	伸	信	侵
3F30	唇	娠	寝	審	心	慎	振	新	晋	森	榛	浸	深	申	疹	真
3F40	神	秦	紳	臣	芯	薪	親	診	身	辛	進	針	震	人	仁	刃
3F50	塵	壬	尋	甚	尽	腎	訊	迅	陣	靭	笥	諏	須	酢	図	厨
3F60	逗	吹	垂	帥	推	水	炊	睡	粋	翠	衰	遂	酔	錐	錘	随
3F70	瑞	髄	崇	嵩	数	枢	趨	雛	据	杉	椙	菅	頗	雀	裾	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4020		澄	摺	寸	世	瀬	畝	是	凄	制	勢	姓	征	性	成	政
4030	整	星	晴	棲	栖	正	清	牲	生	盛	精	聖	声	製	西	誠
4040	誓	請	逝	醒	青	静	斉	税	脆	隻	席	惜	戚	斥	昔	析
4050	石	積	籍	績	脊	責	赤	跡	蹟	碩	切	拙	接	摂	折	設
4060	窃	節	説	雪	絶	舌	蝉	仙	先	千	占	宣	専	尖	川	戦
4070	扇	撰	栓	栴	泉	浅	洗	染	潜	煎	煽	旋	穿	箭	線	
4120		繊	羨	腺	舛	船	薦	詮	賤	践	選	遷	銭	銑	閃	鮮
4130	前	善	漸	然	全	禅	繕	膳	糎	噌	塑	岨	措	曾	曽	楚
4140	狙	疏	疎	礎	祖	租	粗	素	組	蘇	訴	阻	遡	鼠	僧	創
4150	双	叢	倉	喪	壮	奏	爽	宋	層	匝	惣	想	捜	掃	挿	掻
4160	操	早	曹	巣	槍	槽	漕	燥	争	痩	相	窓	糟	総	綜	聡
4170	草	荘	葬	蒼	藻	装	走	送	遭	鎗	霜	騒	像	増	憎	
4220		臓	蔵	贈	造	促	側	則	即	息	捉	束	測	足	速	俗
4230	属	賊	族	続	卒	袖	其	揃	存	孫	尊	損	村	遜	他	多
4240	太	汰	詑	唾	堕	妥	惰	打	柁	舵	楕	陀	駄	騨	体	堆
4250	対	耐	岱	帯	待	怠	態	戴	替	泰	滞	胎	腿	苔	袋	貸
4260	退	逮	隊	黛	鯛	代	台	大	第	醍	題	鷹	滝	瀧	卓	啄
4270	宅	托	択	拓	沢	濯	琢	託	鐸	濁	諾	茸	凧	蛸	只	
4320		叩	但	達	辰	奪	脱	巽	竪	辿	棚	谷	狸	鱈	樽	誰
4330	丹	単	嘆	坦	担	探	旦	歎	淡	湛	炭	短	端	箪	綻	耽
4340	胆	蛋	誕	鍛	団	壇	弾	断	暖	檀	段	男	談	値	知	地
4350	弛	恥	智	池	痴	稚	置	致	蜘	遅	馳	築	畜	竹	筑	蓄
4360	逐	秩	窒	茶	嫡	着	中	仲	宙	忠	抽	昼	柱	注	虫	衷
4370	註	酎	鋳	駐	樗	瀦	猪	苧	著	貯	丁	兆	凋	喋	寵	
4420		帖	帳	庁	弔	張	彫	徴	懲	挑	暢	朝	潮	牒	町	眺
4430	聴	脹	腸	蝶	調	諜	超	跳	銚	長	頂	鳥	勅	捗	直	朕
4440	沈	珍	賃	鎮	陳	津	墜	椎	槌	追	鎚	痛	通	塚	栂	掴
4450	槻	佃	漬	柘	辻	蔦	綴	鍔	椿	潰	坪	壺	嬬	紬	爪	吊
4460	釣	鶴	亭	低	停	偵	剃	貞	呈	堤	定	帝	底	庭	廷	弟
4470	悌	抵	挺	提	梯	汀	碇	禎	程	締	艇	訂	諦	蹄	逓	
4520		邸	鄭	釘	鼎	泥	摘	擢	敵	滴	的	笛	適	鏑	溺	哲
4530	徹	撤	轍	迭	鉄	典	填	天	展	店	添	纏	甜	貼	転	顛
4540	点	伝	殿	澱	田	電	兎	吐	堵	塗	妬	屠	徒	斗	杜	渡
4550	登	菟	賭	途	都	鍍	砥	礪	努	度	土	奴	怒	倒	党	冬
4560	凍	刀	唐	塔	塘	套	宕	島	嶋	悼	投	搭	東	桃	梼	棟
4570	盗	淘	湯	涛	灯	燈	当	痘	祷	等	答	筒	糖	統	到	
4620		董	蕩	藤	討	謄	豆	踏	逃	透	鐙	陶	頭	騰	闘	働
4630	動	同	堂	導	憧	撞	洞	瞳	童	胴	萄	道	銅	峠	鴇	匿
4640	得	徳	瀆	特	督	禿	篤	毒	独	読	栃	橡	凸	突	椴	届
4650	鳶	苫	寅	酉	瀞	噸	屯	惇	敦	沌	豚	遁	頓	呑	曇	鈍
4660	奈	那	内	乍	凪	薙	謎	灘	捺	鍋	楢	馴	縄	畷	南	楠
4670	軟	難	汝	二	尼	弐	邇	匂	賑	肉	虹	廿	日	乳	入	
4720		如	尿	韮	任	妊	忍	認	濡	禰	祢	寧	葱	猫	熱	年
4730	念	捻	撚	燃	粘	乃	廼	之	埜	嚢	悩	濃	納	能	脳	膿
4740	農	覗	蚤	巴	把	播	覇	杷	波	派	琶	破	婆	罵	芭	馬
4750	俳	廃	拝	排	敗	杯	盃	牌	背	肺	輩	配	倍	培	媒	梅
4760	楳	煤	狽	買	売	賠	陪	這	蝿	秤	矧	萩	伯	剝	博	拍
4770	柏	泊	白	箔	粕	舶	薄	迫	曝	漠	爆	縛	莫	駁	麦	

付録

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
4820		函	箱	硲	箸	肇	筈	櫨	幡	肌	畑	畠	八	鉢	溌	発
4830	醗	髪	伐	罰	抜	筏	閥	鳩	噺	塙	蛤	隼	伴	判	半	反
4840	叛	帆	搬	斑	板	氾	汎	版	犯	班	畔	繁	般	藩	販	範
4850	釆	煩	頒	飯	挽	晩	番	盤	磐	蕃	蛮	匪	卑	否	妃	庇
4860	彼	悲	扉	批	披	斐	比	泌	疲	皮	碑	秘	緋	罷	肥	被
4870	誹	費	避	非	飛	樋	簸	備	尾	微	枇	毘	琵	眉	美	
4920		鼻	柊	稗	匹	疋	髭	彦	膝	菱	肘	弼	必	畢	筆	逼
4930	槍	姫	媛	紐	百	謬	俵	彪	標	氷	漂	瓢	票	表	評	豹
4940	廟	描	病	秒	苗	錨	鋲	蒜	蛭	鰭	品	彬	斌	浜	瀕	貧
4950	賓	頻	敏	瓶	不	付	埠	夫	婦	富	冨	布	府	怖	扶	敷
4960	斧	普	浮	父	符	腐	膚	芙	譜	負	賦	赴	阜	附	侮	撫
4970	武	舞	葡	蕪	部	封	楓	風	葺	蕗	伏	副	復	幅	服	
4A20		福	腹	複	覆	淵	弗	払	沸	仏	物	鮒	分	吻	噴	墳
4A30	憤	扮	焚	奮	粉	糞	紛	雰	文	聞	丙	併	兵	塀	幣	平
4A40	弊	柄	並	蔽	閉	陛	米	頁	僻	壁	癖	碧	別	瞥	蔑	箆
4A50	偏	変	片	篇	編	辺	返	遍	便	勉	娩	弁	鞭	保	舗	鋪
4A60	圃	捕	歩	甫	補	輔	穂	募	墓	慕	戊	暮	母	簿	菩	倣
4A70	俸	包	呆	報	奉	宝	峰	峯	崩	庖	抱	捧	放	方	朋	
4B20		法	泡	烹	砲	縫	胞	芳	萌	蓬	蜂	褒	訪	豊	邦	鋒
4B30	飽	鳳	鵬	乏	亡	傍	剖	坊	妨	帽	忘	忙	房	暴	望	某
4B40	棒	冒	紡	肪	膨	謀	貌	貿	鉾	防	吠	頬	北	僕	卜	墨
4B50	撲	朴	牧	睦	穆	釦	勃	没	殆	堀	幌	奔	本	翻	凡	盆
4B60	摩	磨	魔	麻	埋	妹	昧	枚	毎	哩	槇	幕	膜	枕	鮪	柾
4B70	鱒	桝	亦	俣	又	抹	末	沫	迄	儘	繭	麿	万	慢	満	
4C20		漫	蔓	味	未	魅	巳	箕	岬	密	蜜	湊	蓑	稔	脈	妙
4C30	粍	民	眠	務	夢	無	牟	矛	霧	鵡	椋	婿	娘	冥	名	命
4C40	明	盟	迷	銘	鳴	姪	牝	滅	免	棉	綿	緬	面	麺	摸	模
4C50	茂	妄	孟	毛	猛	盲	網	耗	蒙	儲	木	黙	目	杢	勿	餅
4C60	尤	戻	籾	貰	問	悶	紋	門	匁	也	冶	夜	爺	耶	野	弥
4C70	矢	厄	役	約	薬	訳	躍	靖	柳	薮	鑓	愉	愈	油	癒	
4D20		諭	輸	唯	佑	優	勇	友	宥	幽	悠	憂	揖	有	柚	湧
4D30	涌	猶	猷	由	祐	裕	誘	遊	邑	郵	雄	融	夕	予	余	与
4D40	誉	輿	預	傭	幼	妖	容	庸	揚	揺	擁	曜	楊	様	洋	溶
4D50	熔	用	窯	羊	耀	葉	蓉	要	謡	踊	遙	陽	養	慾	抑	欲
4D60	沃	浴	翌	翼	淀	羅	螺	裸	来	萊	頼	雷	洛	絡	落	酪
4D70	乱	卵	嵐	欄	濫	藍	蘭	覧	利	吏	履	李	梨	理	璃	
4E20		痢	裏	裡	里	離	陸	律	率	立	葎	掠	略	劉	流	溜
4E30	琉	留	硫	粒	隆	竜	龍	侶	慮	旅	虜	了	亮	僚	両	凌
4E40	寮	料	梁	涼	猟	療	瞭	稜	糧	良	諒	遼	量	陵	領	力
4E50	緑	倫	厘	林	淋	燐	琳	臨	輪	隣	鱗	麟	瑠	塁	涙	累
4E60	類	令	伶	例	冷	励	嶺	怜	玲	礼	苓	鈴	隷	零	霊	麗
4E70	齢	暦	歴	列	劣	烈	裂	廉	恋	憐	漣	煉	簾	練	聯	
4F20		蓮	連	錬	呂	魯	櫓	炉	賂	路	露	労	婁	廊	弄	朗
4F30	楼	榔	浪	漏	牢	狼	籠	老	聾	蠟	郎	六	麓	禄	肋	録
4F40	論	倭	和	話	歪	賄	脇	惑	枠	鷲	亙	亘	鰐	詫	藁	蕨
4F50	椀	湾	碗	腕												
4F60																
4F70																

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5020		弋	丐	丕	个	丱	丶	丼	丿	乂	乖	乗	亂	亅	豫	事
5030	舒	弍	于	亞	亟	亠	亢	亰	亳	亶	从	仍	仄	仆	仂	仗
5040	仞	仭	仟	价	伉	佚	估	佛	佝	佗	佇	佶	侈	侏	侘	佻
5050	佩	佰	侑	佯	來	侖	侭	侮	俟	俎	俘	俛	俑	俚	俐	俤
5060	俥	倚	倨	倔	倪	倥	倅	伜	俶	倡	倩	倬	俾	俯	們	倆
5070	偃	假	會	偕	修	偈	做	偬	偸	偸	傀	傚	傅	傴	傲	
5120		僉	僊	傳	僂	僖	僞	僥	僭	僣	僮	價	僵	儉	儁	儂
5130	儖	儕	儔	儚	儡	儺	儷	儼	儻	儿	兀	兒	兌	兔	兢	競
5140	兩	兪	兮	冀	冂	冏	冊	冉	冏	冑	冓	冕	冖	冤	冦	冢
5150	冩	冪	冫	决	冱	冲	冰	况	冽	凅	凉	凛	几	處	凩	凭
5160	凰	凵	函	刃	刋	刎	刎	刧	刪	刮	刳	刹	剏	剄	剋	剌
5170	剞	剔	剪	剴	剩	剳	剿	剽	劍	劒	劒	劔	劈	劑	辨	
5220		辦	劬	劭	劼	劵	勁	勍	勗	勞	勣	勦	飭	勠	勳	勵
5230	勸	勹	匆	匈	甸	甸	匐	匏	匕	匚	匣	匯	匱	匳	匸	區
5240	卆	卅	卅	卉	卍	華	卞	卩	卮	夘	卻	卷	厂	厖	厠	厦
5250	厥	厮	厰	厶	參	簑	雙	叟	曼	燮	叮	叨	叭	叺	吁	吽
5260	呀	听	吭	吠	吮	吶	吩	吝	呪	咏	呵	咎	咢	咼	呻	咫
5270	咒	呻	咀	呪	咄	咐	咆	哇	咢	咸	咥	咬	哄	哈	咨	
5320		咫	哂	咤	咾	咼	哘	哥	哦	唏	唔	哽	哮	哭	哺	哢
5330	唹	唯	唧	唫	售	啜	啅	啖	啗	唸	唳	唧	喙	喀	咯	喊
5340	喟	啻	啾	喘	喞	單	啼	喃	喩	喇	喨	嗚	嗅	嗟	嗄	嗜
5350	嗤	嗔	嘔	嗷	嘖	嗾	嗽	嘛	嗹	噎	噐	營	嘴	嘶	嘲	嘸
5360	噫	噤	嘯	噬	噪	噺	噂	噁	噥	噢	噸	噦	嚊	嚮	嚥	嚴
5370	嚼	嚇	嚥	囀	囓	囮	囘	囑	口	囘	囹	圀	囿	圄	圉	
5420		圈	國	圍	圓	團	圖	嗇	圜	圠	圻	圾	坎	圻	址	坏
5430	坩	垂	垈	坡	坿	垉	垓	垠	垳	垤	垪	垉	埃	埒	埔	埒
5440	埒	埜	垉	埣	堋	堙	堝	塲	堡	塢	塋	塹	毀	塒	堽	塹
5450	墅	墹	墟	墫	墺	壞	墻	墸	墮	壅	壓	壑	壗	壘	壜	
5460	壞	壞	壟	壯	壷	壹	壻	壺	壽	夂	夊	夐	夛	梦	夥	夬
5470	夭	夲	夸	夾	竒	奕	奐	奎	奚	奘	奢	奩	奬	奬	奩	
5520		奸	妁	妝	佞	佚	妣	妲	姆	姨	姜	妍	姪	姚	娥	娟
5530	娑	娜	娉	娚	婀	婬	婉	娵	娶	婢	婪	媚	媼	嬋	嫋	嫂
5540	媽	嫣	嫗	嫦	嫩	嫖	嫺	嫻	嬌	嬋	嬖	嬲	嫐	嬪	嬶	嬾
5550	孃	孅	孀	孑	孕	孚	孛	孥	孩	孰	孳	孵	學	孜	孱	宀
5560	它	宦	宸	寃	寇	寉	寔	寐	寤	實	寢	寞	寥	寫	寰	寶
5570	寳	尅	將	專	對	尓	尠	尢	尨	尸	尹	屁	屆	屎	屓	
5620		屐	屏	孱	屬	屮	山	岑	屹	峩	岑	岱	峯	山	岼	岶
5630	岻	岷	峪	峇	峯	峙	峩	峽	峺	峭	嶌	峪	崋	崕	崗	嵜
5640	崟	崛	崑	崔	崢	崚	崙	崘	嵌	嵒	嵎	嵋	嵬	嵳	嵶	嶇
5650	嶄	嶂	嶢	嶝	嶬	嶮	嶽	嶸	嵺	嶺	嵼	嶺	嶽	巉	巖	巛
5660	巫	已	巵	帋	帚	帙	帑	帛	帶	帷	幄	幃	幀	幎	幗	幔
5670	幟	幢	幣	幇	仟	并	幺	麼	广	庠	廁	廂	廈	廐	廏	
5720		廖	廣	廝	廚	廛	廢	廡	廨	廩	廬	廱	廳	廰	廴	廸
5730	廾	弃	弉	彝	彜	弋	弍	弓	弩	弭	弸	弼	彁	彈	彌	彎
5740	彑	彖	彗	彙	彡	彭	彳	彷	徃	徂	彿	徊	很	徑	徇	從
5750	徙	徘	徠	徨	徭	徼	忖	忻	忤	忸	忱	忝	悳	忿	怡	恠
5760	怙	怐	怩	怎	恕	恒	怕	恍	恰	恢	恂	恁	恁	悠	悵	悧
5770	悒	悔	悅	悚	悖	悩	悗	悧	悩	悚	悴	悳	悸	悺	惇	惓

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
5820		悄	悛	悖	悩	悳	悵	悸	悪	悸	悳	悽	悴	悻	悽	惆
5830	悵	惆	惴	惘	慁	惶	憊	愀	惴	惺	愃	愡	惻	惱	愍	愎
5840	慇	愾	愨	愧	慊	愿	愼	愒	愴	愽	慱	慄	慳	慷	慘	慙
5850	慚	慫	慴	慯	慥	慱	慟	慝	慄	慵	慇	慫	憩	憬	憔	憺
5860	憊	憑	憫	憮	懌	懊	應	懷	懈	憾	懆	憎	懋	罹	懍	戁
5870	戀	懶	懺	戁	戇	戁	戄	戝	戀	戈	戉	戍	戌	戔	戛		
5920		戞	戡	截	戮	戰	戲	戳	扁	扎	扞	扣	扛	扠	扨	扼
5930	抂	抉	找	抒	抓	抖	拔	抃	抔	拗	拑	抻	挲	拿	拆	擔
5940	拈	拜	拌	拊	拂	拇	抛	拉	挌	拮	拱	挧	挂	挈	拯	拵
5950	捐	挾	捍	搜	捏	掖	掎	掀	掫	捶	掣	掏	掉	掟	掄	捫
5960	捩	掾	揩	揀	揆	揣	揉	插	揶	揄	搖	搴	搆	搓	搦	搶
5970	攝	搗	搨	搏	摧	摯	搏	摎	攪	撕	撓	撥	撩	撈	撼	
5A20		據	擒	擅	擇	撻	擘	擂	攔	攀	擘	擠	擡	抬	擣	擯
5A30	攬	攜	攙	攫	攖	攀	攙	攩	攜	攢	攤	攣	攫	攴	攵	攷
5A40	收	攸	畋	效	敖	敕	敍	敘	敞	敝	敲	數	斂	斃	變	斛
5A50	斟	斫	斷	旃	旆	旁	旄	旌	旒	旛	旙	无	旡	旱	杲	昊
5A60	昃	昊	昉	昵	昶	昴	昜	晏	晄	晉	晁	晞	晝	晤	晧	晨
5A70	晟	晢	晰	暃	暈	暎	暉	暄	暘	暝	暹	曉	暾	暼		
5B20		曄	暸	暖	曚	曠	昿	曦	曩	曰	曳	曷	朏	朖	朞	朦
5B30	朧	霸	朮	朿	朵	杁	朽	朷	杆	杞	杠	杙	杣	杤	枉	杰
5B40	枩	杼	杪	枌	枋	枦	枡	枅	枷	柯	枴	柬	枳	柩	枸	柤
5B50	柞	柝	柢	柮	枹	柎	柆	柧	檜	栞	框	栩	桀	桍	栲	桎
5B60	梳	栫	桙	档	桷	桿	梟	梏	梭	梔	條	梛	梃	檮	桾	椁
5B70	梵	椙	棻	椌	棍	棔	棹	棊	棠	椰	椢	椋	椥	棰	椁	棬
5C20		楫	楗	棕	椶	椒	椄	棗	棣	椥	棹	棠	棯	椨	椪	椚
5C30	棰	椮	楡	楹	楷	楜	楸	楫	楔	楾	楮	椹	楴	椽	楙	椰
5C40	楡	楞	楝	榁	楪	榲	榮	槐	榿	槁	槓	榾	槎	寨	槊	榻
5C50	榻	槃	榧	榠	榑	榠	榜	榕	榴	槞	槨	樂	樛	槿	權	槦
5C60	槲	槧	橅	榱	樞	槭	樔	槫	樊	樒	櫃	樣	樓	橾	橢	橙
5C70	橦	橸	橇	櫂	橙	橦	機	橈	樸	樢	檣	檍	檠	檄	檢	檣
5D20		檗	蘗	檻	櫃	欅	檸	櫝	欟	欐	欄	櫟	欅	欄	櫪	欟
5D30	欐	欒	欖	欒	欖	欟	欟	欸	欷	盜	欹	飮	歐	歃	歉	歐
5D40	欽	歙	飮	歟	歡	歸	歹	歿	殀	殄	殃	殍	殘	殕	殞	殤
5D50	殪	殫	殯	殲	殱	殳	殷	殼	毆	毋	毓	毛	毬	毫	毳	毯
5D60	麾	氈	氓	气	氛	氤	氣	汞	汕	汢	汪	沂	沍	沚	沁	沛
5D70	汾	汨	汳	沒	沐	泄	泱	泓	沽	泗	泅	泝	沮	沱	沾	
5E20		泅	泛	泯	泮	泪	洩	衍	洶	洫	洽	洸	洙	洵	洌	洒
5E30	洌	浣	涓	浤	浚	浹	浙	涎	涕	濤	涅	淹	渕	渊	涵	淇
5E40	淦	涸	淆	淬	淞	淌	淨	淒	渐	淺	淙	淤	淥	淪	淮	渭
5E50	湮	渟	渙	湲	湟	渾	渣	湫	溼	湶	渌	滔	溽	滃	滂	渤
5E60	滿	渝	游	溂	溪	溘	滉	溷	滓	溽	溯	滄	溲	滔	滕	溏
5E70	溥	滂	溟	潁	漑	灌	滬	滔	滾	漿	滲	漱	滯	漲	滌	
5F20		漾	漓	滷	澆	潺	潸	澁	澀	潯	潛	濳	潭	澂	潼	潘
5F30	澎	澑	濂	潦	澳	濣	澡	澤	澹	濆	澪	濟	濕	濬	濳	濵
5F40	濱	濮	濛	瀉	瀋	濺	瀑	瀁	瀏	濾	瀛	瀚	瀦	瀝	瀘	瀟
5F50	瀰	瀾	瀲	灑	灣	炙	炒	炯	烟	炬	炸	炳	炮	烟	烋	烝
5F60	烙	焉	烽	焜	焙	煥	煕	熙	煦	煢	煌	煖	煬	熏	燻	熄
5F70	熕	熨	熬	燗	熹	熾	燒	燉	燔	燎	燠	燬	燧	燵	燼	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6020		爨	爝	爍	爐	爛	爨	爭	爬	爰	爲	爻	爼	爿	牀	牆
6030	牋	牘	牴	牾	犂	犁	犇	犒	犖	犢	犧	犹	犲	狃	狆	狄
6040	狎	狒	狢	狠	狡	狹	狷	倏	猗	猊	猜	猖	猝	猴	猯	猩
6050	猥	猾	獎	獏	默	獗	獪	獨	獰	獣	獵	獻	獺	珈	玳	珎
6060	玻	珀	珥	珮	珞	璢	琅	琥	珸	琲	琺	瑕	瑕	瑾	瑟	瑙
6070	瑁	瑜	瑩	瑰	瑣	瑪	瑶	瑾	璋	璞	璧	瓊	瓏	瓔	珱	
6120		甄	甕	甫	甸	甽	甯	甦	甬	甼	畄	畊	畉	畛	畆	畚
6130	畠	畫	聾	聳	當	畷	甬	甥	甲	甶	畋	畔	畎	畚	畝	畤
6140	畧	畫	略	畸	當	疆	疇	畴	疊	疂	疊	疔	疚	疝	疥	疣
6150	痂	疳	痃	疵	疽	疸	疼	疱	痍	痊	痒	痙	痣	痞	痾	痿
6160	痼	瘁	痰	痺	痲	痳	瘋	瘍	瘉	瘟	瘧	瘠	瘡	瘢	瘤	瘴
6170	瘰	瘻	癇	癈	癆	癘	癘	癡	癢	癨	癩	癪	癧	癬	癰	
6220		癩	癶	癸	發	皀	皃	皈	皋	皎	皖	皓	皙	皚	皰	皴
6230	皸	皹	皺	盂	盍	盖	盒	盞	盡	盥	盧	盪	蘯	盻	眈	眇
6240	眄	眩	眤	眞	眥	眦	眛	眷	眸	睇	睚	睨	睫	睛	睥	睿
6250	睾	睹	瞎	瞋	瞑	瞠	瞞	瞰	瞶	瞹	瞿	瞼	瞽	瞻	矇	矍
6260	矗	矚	矜	矣	矮	矼	砌	砒	砿	砠	砺	硅	碎	硼	碑	硯
6270	碚	碌	碣	碵	碪	碯	磑	磆	磋	磔	碾	碼	磅	磊	磬	
6320		磧	磚	磽	磴	礇	礒	礑	礙	礫	礎	祀	祠	祇	祟	祚
6330	祕	祓	祺	祿	禊	禝	禧	齋	禪	禮	禳	禹	禺	秉	秕	秧
6340	秬	秡	秣	稈	稍	稘	稙	稠	稟	稟	稱	稻	稾	稷	穃	穗
6350	穉	穡	穢	穩	龝	龝	窅	窆	窈	窗	窕	窘	窖	窩	竄	窰
6360	竇	竅	竄	窿	邃	竇	竊	竚	竝	竚	竍	竝	竡	竢	竦	
6370	竦	竭	竰	笂	笏	笊	笆	笳	笘	笙	笞	笵	笨	笶	筐	
6420		筺	笄	筍	笋	筌	筅	筵	筰	筱	箇	箸	箟	箘	箙	箝
6430	箘	箭	箍	箜	箚	箋	箒	箏	筝	箙	篏	篋	篁	篌	篏	箴
6440	篆	篝	篩	簑	簔	篦	篥	篭	簀	簇	簍	篷	篭	簔	篶	簀
6450	簧	簪	簟	簷	簫	簽	簫	籃	籔	籏	籠	籐	籘	籟	籠	籤
6460	籌	籬	粁	粃	粐	粤	粭	粢	粨	粡	粨	粳	粲	粱	粮	粹
6470	粽	糀	糅	糘	糘	糒	糜	糢	糲	糯	糲	糲	糺	紆		
6520		紂	紜	紕	紊	紹	紱	紮	紲	紿	紵	紳	絖	絎	絲	
6530	絨	絮	絏	絣	經	綉	絛	綏	絽	綛	綺	綮	綣	綵	緇	綽
6540	綫	總	綱	綯	緜	綸	綟	綛	綫	綢	綯	綟	綮	綯	綛	綫
6550	綮	縣	綷	縺	縱	縟	縕	縒	縺	縢	縲	縡	縟	縢	縷	縲
6560	縲	縺	繧	繝	繖	繞	繙	繚	繹	繪	繩	繼	繻	纃	繽	繿
6570	辮	纃	纈	纉	纉	纒	纈	纒	纔	纖	纎	纛	纜	缸	缺	
6620		罅	罌	罍	罎	罐	网	罕	罔	罘	罟	罠	罨	罩	罸	罰
6630	羂	羆	羃	羈	羇	羌	羔	羞	羝	羚	羣	羯	羲	羹	羮	羶
6640	羸	譱	翅	翆	翊	翕	翔	翡	翦	翩	翳	翹	飜	耆	耄	耋
6650	耒	耘	耙	耜	耡	耨	耿	耻	聊	聆	聒	聘	聚	聟	聢	聨
6660	聳	聲	聰	聶	聹	聽	聿	肄	肆	肅	肛	肓	肚	肭	冐	肬
6670	胛	胥	胙	胝	胄	胚	胖	脉	胯	胱	脛	脩	脣	脯	腋	
6720		隋	腆	脾	腓	腑	胼	腱	腮	腥	腦	腴	膃	膈	膊	膀
6730	膂	膠	膕	膤	膣	腟	膓	膩	膰	膵	膾	膸	膿	臀	臂	膺
6740	臉	臍	臑	臙	臘	臈	臚	臟	臺	臻	與	舁	舂	舅		
6750	與	舊	舍	舐	舗	舩	舫	舸	舳	艀	艙	艘	艝	艚	艟	艤
6760	艦	艪	艫	艙	艇	艟	艶	艸	艾	芍	芒	芫	芟	芻	芬	苡
6770	苣	苟	苒	苴	苳	苺	莓	范	荷	莖	苞	茆	苔	莱	苣	

付録

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
6820		茵	茴	茖	茲	茱	荀	茹	荐	荅	茯	茫	茗	荔	莅	莚
6830	莪	莟	莢	莖	莫	莎	莇	莊	茶	莵	荳	荵	莠	莉	莨	菴
6840	萓	菫	菎	萸	萃	菘	萋	菁	萇	萇	菠	菲	萍	菢	葡	萠
6850	萸	蔆	萩	葭	葑	萼	萼	蒄	葷	葫	蒡	葭	蒂	葩	葆	萬
6860	葯	葹	萵	蓊	葢	蒹	蒿	蒟	蓙	蓍	藪	篠	蓼	蓁	蓜	蔥
6870	蔘	蔡	蓿	蓴	蕪	蔘	蔬	蔟	蕃	蓴	蔓	蘚	蓑	蕘	蕈	蕈
6920		蕁	蕊	蘞	蘊	蘊	蘋	薈	薑	薊	薨	薫	薔	薛	藪	薇
6930	薜	蕷	蕾	薐	藉	薺	藏	薹	藐	藕	藝	藥	藜	藹	蘊	蘓
6940	蘋	藾	藺	蘆	蘢	蘚	蘰	藿	虍	虎	虔	號	虧	虱	蚓	蚣
6950	蚩	蚪	蚋	蚌	蚶	蚯	蛄	蛆	蚰	蛉	蠎	蛇	蛔	蛞	蛩	蛑
6960	蛟	蛛	蛯	蛭	蜆	蜈	蜀	蜃	蛻	蜑	蜉	蜍	蛹	蜊	蜴	蜿
6970	蜷	蜻	蜥	蜩	蜚	蝠	蝟	蝸	蝌	蝎	蝴	蝗	蝨	蝮	蝙	
6A20		蝓	蝣	蝪	蠅	螢	螟	螂	螯	蟋	蟲	蟀	蟐	雖	螫	蟄
6A30	螳	蟇	蟆	螻	蟯	蟲	蟠	蠏	蠍	蟾	蟶	蟷	蠎	蟒	蠑	蠖
6A40	蠕	蠢	蠡	蠱	蠶	蠹	蠧	蠻	衁	衂	衒	衙	衞	衢	衫	袁
6A50	衾	袞	袒	袘	袮	袵	袂	袗	袒	袮	袍	袤	袰	袈	裄	
6A60	裃	裉	裗	裔	裘	裙	裝	裹	褂	楊	裴	裨	補	裬	裨	裲
6A70	裼	褒	褐	褥	褪	褫	襁	襄	褻	褶	褸	襌	褝	襠	襞	
6B20		襦	襤	襪	襭	襷	襴	襷	覀	覃	覈	覊	覓	覘	覡	覩
6B30	覦	覬	覯	覲	覺	覽	覿	覩	觚	觜	觝	觧	觴	觸	訃	訖
6B40	訐	訌	訛	訝	納	訶	詁	詛	詒	詆	詈	詼	詭	詬	詢	誅
6B50	誂	誄	誨	誡	誑	誥	誦	誚	誣	諄	諍	諂	諚	諫	諳	諧
6B60	謔	謗	謙	謚	講	謨	謫	謾	謳	謎	謐	謇	謦	謚	謫	謠
6B70	謳	鞫	謦	謫	謾	謨	譁	譌	譏	譎	證	譖	譛	譚	譫	
6C20		譟	譬	譯	譴	譽	讀	讌	讎	讒	讓	谺	豁	谿	豈	豌
6C30	豎	豐	豕	豢	豬	豸	豺	貂	貉	貅	貍	貎	貔	豼	貘	貝
6C40	貞	貟	貧	貶	賈	賁	貮	賦	賚	賛	賤	賣	賚	賽	賺	賻
6C50	贄	贋	贐	贔	贖	贍	贏	贓	贔	贐	贓	贔	赱	贖	赧	
6C60	赭	赱	赳	趁	趙	跂	趾	趺	跏	跚	跖	跌	跛	跋	跪	跫
6C70	跟	跣	跼	踈	踉	踐	踟	踞	踐	踝	踢	踬	踰	踴	蹊	
6D20		蹇	蹉	蹌	蹐	蹈	蹙	蹤	蹠	踪	蹣	蹕	蹶	躋	躁	躇
6D30	躅	躊	躓	躑	躔	躕	躞	躪	躙	躪	躅	躬	躰	體	躱	躾
6D40	軅	軆	軋	軛	軣	軼	軻	軫	軾	軽	軺	輕	輒	輙	輪	輜
6D50	輟	輛	輌	輦	輳	輻	輹	輿	轂	轌	轉	轆	轎	轗	轜	
6D60	轣	轢	轤	辜	辟	辣	辭	辯	辷	迚	迥	迢	迪	迯	迩	迴
6D70	逅	迹	迺	逑	逕	逡	逍	逞	逖	逋	逧	逶	逵	達	逝	
6E20		遏	遐	遑	遒	逎	遉	逾	遖	遘	遞	遨	遯	遶	隨	遲
6E30	邂	遽	邁	遼	邊	邉	邏	邨	邯	邱	邵	郢	郤	扈	郛	鄂
6E40	鄒	鄙	鄖	鄰	酊	酖	酘	酣	酥	酩	酳	酲	醋	醉	醂	醢
6E50	醫	醯	醪	醵	醴	醸	醸	釁	釉	釋	釐	釖	釟	釜	釚	釖
6E60	釵	釶	鈞	釿	鈔	鈬	鈕	鈑	鉞	鉗	鉅	鉉	鉤	鉈	鉸	鉋
6E70	鉤	鉛	鋮	鉄	鉚	鉚	鋏	鋌	銹	銷	鋩	鋺	鍋	錄	錮	
6F20		錙	錢	錚	錣	錺	錵	錻	鍜	鍠	鍼	鍮	鍖	鎔	鎬	鎭
6F30	鎔	鎰	鏨	鏥	鏝	鏐	鏘	鏃	鏝	鏐	鏈	鏤	鐚	鐓	鐡	鐃
6F40	鐐	鐙	鐶	鐫	鐵	鐡	鐺	鐔	鑒	鑄	鑛	鑠	鑢	鑞	鑰	鈩
6F50	鑰	鑵	鑷	鑽	鑚	鑼	鑾	钁	鑿	門	閇	閊	閔	閖	閘	閙
6F60	閾	閹	閧	閭	閼	閻	閹	閾	閾	澗	闥	闍	闌	闕	闔	闖
6F70	關	闡	闥	闢	阡	阨	阮	阯	陂	陌	陏	陋	陷	陜	陞	

	0	1	2	3	4	5	6	7	8	9	A	B	C	D	E	F
7020		陝	陟	陦	陲	陬	隍	隘	隕	隗	險	隧	隱	隲	隰	隴
7030	隶	隷	佳	雎	雋	雉	雍	襍	雜	霍	雕	雹	霄	霆	霈	霓
7040	霎	霑	霏	霖	霙	霤	霪	霰	霹	霽	霾	靄	靆	靈	靂	靉
7050	靜	靠	靤	靦	鬻	勒	靱	靭	靹	鞅	靼	鞁	靺	鞆	鞋	鞏
7060	鞐	鞜	鞨	鞦	鞣	鞳	鞴	韃	韆	韈	韋	韜	韭	齏	韲	竟
7070	韶	韵	頏	頌	頽	頤	頡	頷	頽	顆	顔	顋	顦	顧	顬	
7120		顱	顴	顳	颪	颯	颱	颶	飄	飃	飜	飩	飫	飮	飼	飯
7130	餔	餘	餡	餝	餞	餤	餅	餬	餮	餽	餾	饂	饉	饅	饐	饋
7140	饑	饒	饌	饗	馗	馘	馥	馭	馮	馼	駆	駛	駝	駘	駑	駭
7150	駮	駱	駲	駸	駻	駾	騏	騅	騈	騙	騫	騒	騙	驂	驀	驃
7160	驟	驕	驍	驛	驗	驟	驢	驤	驤	驤	驫	驪	骭	骰	骼	髀
7170	髏	髑	髓	體	髞	髟	髫	髯	髦	髯	髱	髪	髴	髷	髻	鬆
7220		鬟	鬣	鬮	鬻	鬯	鬢	鬣	鬥	鬧	鬩	鬪	鬮	鬯	鬲	鬻
7230	魂	魃	魏	魍	魎	魑	魘	魴	鮓	鮃	鮑	鮖	鮗	鮟	鮠	鮨
7240	鮴	鮵	鯀	鯆	鯏	鯑	鯒	鯖	鯣	鯢	鯤	鯰	鯡	鰺	鰾	鰹
7250	鯷	鰈	鰒	鰔	鰓	鰌	鰆	鰕	鰹	鰺	鱆	鰲	鰥	鰡	鰰	鱇
7260	鰳	鰮	鰺	鱠	鱸	鱶	鱧	鱮	鱶	鱸	鳧	鳬	鳰	鴉	鴈	鳫
7270	鴃	鴆	鴪	鴦	鴒	鴟	鴣	鴪	鴾	鴿	鴆	鴣	鶇	鴻	鶉	
7320		鶫	鵞	鵟	鵩	鵫	鵤	鵑	鶲	鶸	鶺	鶴	鶻	鶺	鷁	鷂
7330	鶲	鶏	鶫	鶻	鶸	鶺	鷆	鷏	鷂	鷙	鷆	鷭	鷯	鷦	鷲	鷹
7340	鸚	鸛	鸞	鹵	鹹	鹽	麁	麈	麋	麕	麒	麕	麾	麝	麥	麩
7350	麸	麪	麭	靡	黌	黎	黏	黝	黝	黜	點	黝	黠	黟	黨	黯
7360	黴	黶	黷	黼	鼾	鼈	皷	鼕	鼡	鼬	鼾	齊	齒	齔	齣	齟
7370	齠	齡	齟	齠	齡	齦	齧	齬	齪	齷	齲	齶	龕	龜	龠	
7420																
7430																
7440																
7450																
7460																
7470																

用語解説

英数字

[?] ボタン
Windows XP/Windows 2000/Windows Server 2008/2003/Windows Me/98/95/Windows NT 4.0で、ダイアログボックスの項目についてのヘルプ画面を表示するためのボタン。[?] ボタンをクリックしてからウィンドウ内の項目をクリックすると項目の説明が表示される。

16進ダンプ印刷
プリンタが受信したデータを処理せず、そのまま16進数で印刷すること。

201PL
NECのシリアルプリンタ用標準コードのこと。

64ビット版Windows
64ビットプロセッサを搭載したコンピュータ用のWindowsオペレーティングシステム。

CR
Carriage Return キャリッジリターンの略。プリンタの制御コード（コマンド）のひとつ。

DHCP
Dynamic Host Configuration Protocolの略。LAN上のコンピュータに動的にIPアドレスを割り当てる方法。コンピュータがネットワークにログインすると、DHCPサーバが、あらかじめ用意されたIPアドレスの1つをそのコンピュータに割り当てる。

DPI
Dots Per Inchの略。プリンタの解像度などを表す単位。25.4mm（1インチ）当たりのドット数。（→解像度）

EP
Electrophotography（電子写真）の略。本説明書では、電子写真方式印刷プロセス（帯電、露光、現像、転写）を行う機構を総称して使用している。

ESC/P
セイコーエプソン株式会社が開発したプリンタを制御する命令（コマンド）の集まりのこと。

FF
Form Feedの略。プリンタ制御命令のひとつで、改ページを行うためのもの。

IPX/SPX
NetWareをネットワークOSとしてインストールしたコンピュータが使用するプロトコル。

IPアドレス
Internet Protocol Addressの略。TCP/IPネットワーク上のコンピュータを識別するための32ビットのアドレス。「202.247.130.5」のように8ビットごとに区切った4つの数字で表記する。数字だけではわかりにくいことから文字で表現したドメイン名も使われる。インターネットに接続するコンピュータにはすべてIPアドレスが割り振られるが、ダイヤルアップで接続する場合は毎回違うIPアドレスが割り振られる。

ISO 9660
ISO（International Organization for Standardization：国際標準化機構）が定めたCD-ROM用のファイル形式。多くのCDはこの方式を採っており、OSによって異なるフォルダやファイルの名前の規則を守ればMacintoshやUNIXマシンでも読み出すことが可能。

LAN
Local Area Networkの略。同一フロア、同一のビルないしは近隣のビル内などにあるコンピュータ同士を、Ethernetなどの比較的高速なデータ転送能力を持つ方法で接続したネットワーク。

LCD
Liquid Crystal Displayの略。液晶素子による表示装置。

LED
Light Emitting Diodeの略。半導体による固体発光素子。

LPI
Lines Per Inchの略。25.4mm（1インチ）当たりの行数。

MIB
Management Information Baseの略。SNMPによって管理される項目を定義したもので、自機の状況を保持する変数のこと。ハブなどのネットワーク機器が備える。各機器が基本的に備えるべきMIBは、RFCで定められており（MIBの基本的な要素はRFC1213で定められているが、現在も拡張が進められている）、このほかにベンダ独自のMIBを備えていることがある。

MS-DOS
Microsoft Disk Operating Systemの略。マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。

NetWare
ノベル社が開発したネットワークOS。プロトコルにはIPX/SPXが用いられる。

NPDL
NEC Printer Description Languageの略。NECプリンタ記述言語。

OS

Operating Systemの略。オペレーティングシステムとも言う。コンピュータのハードウエア、ソフトウエアを有効に利用するために総合的管理を行うソフトウエアのこと。本書では特に区別して説明する場合、MS-DOSやWindowsなどプログラムの実行管理などを行う基本的なソフトウエアを「基本OS」、Windows NTやNetWareなどネットワークを強く意識したOSを「ネットワークOS」と呼ぶことがある。

PPM

Pages Per Minuteの略。1分間に印刷できるページ数のことでプリンタの印刷速度を表す単位。

PSW

Printer Status Windowの略。プリンタの状態やエラー情報をユーザのパソコンに画面表示するもの。

RFC

Request For Commentsの略。インターネット上の技術を規格化するIETF（Internet Engineering Task Force）の公式文書。プロトコルなどさまざまな技術の仕様がまとめられており、インターネット上で公開されている。日本ではJPNIC「日本ネットワークインフォメーションセンター（JaPan Network Information Center）」がanonymous FTPで公開しいる。

RGBガンマ

Red Green Blueガンマの略。使用しているモニタで中間トーンをどの程度調整する必要があるかを示すもの。専門的にはモニタの特性曲線を線形にするのに使用される指数。

SNMP

Simple Network Management Protocolの略。UDP/IPをベースとし、ネットワークに接続された機器をネットワーク経由で監視するためのプロトコルで、RFC1157として定義されている。SNMPマネージャは、SNMPを利用してリモートコンソールから、ルータやハブの状態、ネットワークのトラフィックの状態をモニタ/管理するプログラムのこと。SNMPで管理される機器側には、MIBと呼ばれる機器の状態を表わす変数と、これを操作するためにSNMPエージェントと呼ばれるプログラムが用意される。

SOS

Start of Scanの略。印刷位置の基準信号。

TCP/IP

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindowsオペレーティングシステム、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

TrueType

Transmission Control Protocol/Internet Protocolの略。ネットワークのプロトコルのひとつ。UNIXをはじめWindowsオペレーティングシステム、Macintoshなど、主要なOSでサポートされる世界的な標準プロトコルになっている。

UNIX

AT&T社のベル研究所で開発された一般的にワークステーションで用いられるOS。プロトコルはTCP/IPを用いるのが標準的。クライアント・サーバシステムにおいてはUNIXマシンをサーバにする例が多い。

Windows 2000

マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。Windows NTの堅牢性とWindows 98の機能を合わせ持つ、ローエンドからハイエンドまですべての領域をカバーするOSである。Windows NT 4.0の後継にあたる。

Windows 7

マイクロソフト社が開発したOS。Windows Vistaの後継にあたる。

Windows 8

マイクロソフト社が開発したOS。Windows 7の後継にあたる。

Windows 95

マイクロソフト社が開発した個人ユーザ向けOS。Windows 3.1の後継にあたる。

Windows 98

マイクロソフト社が開発した個人ユーザ向けOS。Windows 95の後継にあたる。不具合の修正と機能の強化を図ったアップデート版としてWindows 98 Second Editionもある。

Windows Me

マイクロソフト社が開発した個人ユーザ向けOS。インターネットに関連する機能を強化したOS。Windows 98の後継にあたる。

Windows NT

マイクロソフト社が開発したOSのひとつ。サーバとして用いられることが多い。

Windows Server 2003

マイクロソフト社が開発したサーバ用OS。Windows 2000 Serverの後継にあたる。

Windows Server 2008

マイクロソフト社が開発したサーバ用OS。Windows Server 2003の後継にあたる。

Windows Server 2008 R2

マイクロソフト社が開発したサーバ用OS。Windows Server 2008の後継にあたる。

Windows Server 2012
マイクロソフト社が開発したサーバ用OS。Windows Server 2008 Rの後継にあたる。

Windows Vista
マイクロソフト社が開発したOS。Windows XPの後継にあたる。

Windows XP
マイクロソフト社が開発したOS。ビジネスユーザ向けとされるWindows 2000の安定性を受け継ぐ。ただし製品としては、Windows 2000の他、家庭向けのWindows Me/98後継にも位置づけられ、インターネット接続性の機能強化が図られた。

Windowsアプリケーション
Windows専用のソフトウエアプログラム。Windowsオペレーティングシステム（OS）がないと起動できない。

五十音順

アイコン
アプリケーションやドキュメントなどWindowsのいろいろな要素を表す小さな絵。

アウトラインフォント
文字の形を直線や曲線で表された輪郭として記憶し、出力時にその文字データを論理的に処理して表現すること。文字サイズの自由な設定や文字の変形が可能となり、ドット密度に関係なく美しい文字を表現できる。

アプリケーション
文書作成や作図など特定の作業に使うプログラム。

アンインストール
インストールしたソフトウエアを取り除く作業。

イニシャライズ
初期状態にすること。例えば、メモリの内容を全部ゼロにしたり、プログラム中のカウンタをゼロにしたりすること。

印刷ジョブ
Windowsアプリケーションで作成された文書を印刷する作業単位のこと。スプールされて印刷待ちに追加されるか、直接プリンタに送られる。

印刷保証範囲
プリンタ用紙に印刷ができる限界のこと。用紙の上下および左右の余白部分を除いた印刷可能領域を指す。

インストール
一般には設定するという意味であるが、ここではソフトウエアをコンピュータに組み込むという意味。

インタフェース
2つの装置〈デバイス〉を通信できるように接続するための仕様、ケーブルシステム。本プリンタの場合、10BASE-T、100BASE-TX、1000BASE-T、インタフェースが利用できる。

ウィンドウ
アプリケーションやドキュメントが表示される画面上の領域で、開いたり、閉じたりすることができる。

エミュレーション機能
他の装置（プリンタ）のために開発されたソフトウエアの制御コードが使用できる機能。PC-PR201系シリアルプリンタの制御コードが使用できる場合を201PLエミュレーションと呼ぶ。

エリート文字
25.4mm（1インチ）当たり12文字で印刷する文字のこと。

解像度
プリンタが文字や画像を印刷するときの細かさのこと。1インチ当たりのドット数で表す（単位はDPI）。

拡張制御コード
制御コードのうち、ESC （1BH）、FS （1CH）、のように、あとに続くコードと組み合わせて機能を表すコードをいう。

かんたん設定
Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Windows NT4.0のプリンタドライバで利用できる機能。［印刷設定］ダイアログ及び、［ドキュメントプロパティ］ダイアログ内の設定内容をまとめて登録できる機能で、アイコンをクリックすれば登録した設定内容で簡単に印刷することができる。

輝度

CRTモニタなどの管面上の明るさ。画面の明るさ。

基本制御コード

制御コードのうち、CR （0DH）、LF（0AH）のように単独で機能を表すコード。

クライアント

ネットワークを介して他のコンピュータ（またはサーバ）にアクセスしている利用者、または利用者のコンピュータ。

クライアント・サーバ

中規模/大規模のネットワークに適した接続形態。専用のコンピュータ（サーバ）が共有の資源（ハードディスクやプリンタ）を管理し、接続を許されたコンピュータ（クライアント）が利用できるようにしたもの。本書ではクライアント・サーバ型ネットワークとも呼んでいる。（→ピア・ツー・ピア）

クリック

マウスのボタンを押して素早く放す操作のこと。

グレイ（グレー）スケールイメージ

それぞれのドットを、白黒ではなくグレーの濃淡として保存しているビットマップイメージ。

コマンド

コンピュータに行わせたい作業を実行するために選択、または入力する命令。

コンデンス文字

25.4mm（1インチ）当たり約17文字で印刷する文字のこと。

コントラスト

グラフィックなどの明るい部分と暗い部分の差の度合い。

コントロールパネル

Windowsで、キーボードやマウスの使用条件、スピーカーの音量、スクリーンセーバーの種類などといった設定を行うための画面をいう。

［スタート］ボタン

Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Windows Me/98/95/Windows NT 4.0でプログラムの起動やファイルの検索、Windowsの終了などを行うことができるボタン。

スプール

ドキュメント（文書）を印刷する場合に印刷データをパソコンのハードディスクにファイルとしていったん保存して、保存した順にプリンタに送ること。これによりプリンタが印刷を終了するのを待たずにコンピュータでは別の作業を行うことができるようになる。プリンタに送り終えたファイルは自動的に消去される。

制御コード

プリンタの動作を制御するためのコード。印刷データと異なり印刷されない。

双方向通信

コンピュータとプリンタとの間で、情報のやり取りをする通信形態のこと。SimpleMonitor機能を実現するためには必須な条件。コンピュータから印刷データが送られるだけでなく、プリンタからもコンピュータに情報を送ることができるので、プリンタの状況がプリンタステータスウィンドウで、正確にわかる。双方向通信にはネットワークで接続されていることが必要。

ソフトウエア

コンピュータやプリンタなどハードウエアに作業を実行させるための命令の集まり。プログラム、アプリケーション、オペレーティングシステム、プリンタドライバなどが含まれる。

ダイアログボックス

プリンタの設定や操作のために画面に表示されるボタンやリストボックスを持ったウィンドウ。

タイトルバー

ウィンドウやダイアログボックスのタイトルを示す横向きのバー。多くのウィンドウでは、［コントロールメニュー］ボックスや［最大表示］、［アイコン化］、［最小化］ボタンなどもついている。

タブ

Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008/ R2/2008/2003/Windows Me/98/95/Windows NT 4.0で、ダイアログボックスの中に複数の設定画面（シート）がある場合に表示されるインデックスタイプのつまみ。

ダブルクリック

マウスのポインタ（矢印）を動かさず、マウスのボタンを素早く2回押して放す動作。アプリケーションを起動するときなどに使う。

チェックボックス

ダイアログボックスの中の小さな正方形で、オン／オフの切り替えができるオプション（機能）を示す。オンにするとチェックボックスに印が表示される。

通常使うプリンタ
アプリケーションで［印刷］コマンドを実行したときにその印刷データを印刷するプリンタ。本プリンタで印刷を行う前に必ず通常使うプリンタとして設定しておく必要がある。

ツールバー
ウィンドウのメニューバーの下のボタンがついている部分。

坪量
用紙の重さを表す単位。用紙1枚1m2単位の重さをいう（本説明書で使用している用紙の坪量は、64g/m2）。

定着
用紙上のトナー粒子を溶融させて、用紙に固定する操作。

テスト印刷
プリンタが正常に動作していることを確認するためのもの。

転写
静電気力によって感光ドラム上のトナー像を用紙に移す操作。

トナー
用紙に文字を形成する粉末のこと。本プリンタにはポリエステル樹脂の粉末にカーボンブラック顔料を含んだものを使用している。

ドライバ
プリンタドライバの項を参照。

ドライブ名
ドライブに割り当てられている文字。「A」や「C」など。

ドラッグ
マウスのボタンを押したまま、マウスを動かす動作。例えば、ウィンドウのタイトルバーをドラッグするとウィンドウを移動させることができる。

ネットワーク
ケーブルまたは他の手段を用いて接続され、ソフトウエアを使って機器（プリンタなど）を共有し、情報を交換できるようにしたコンピュータの集団。

ハードウエア
コンピュータ本体、キーボード、マウス、コンピュータやプリンタなどコンピュータシステムを構成する個々の機器またはそれらの総称。

バッファフル
ページバッファに1ページ分の印刷データがたまることをバッファフルという。バッファフルになると、自動的にそのページの印刷を行う。

ハーフトーン
グレイスケールイメージを、元のイメージのグレーの濃淡に似せて、白と黒のドットに変換する処理。

ピア・ツー・ピア
小規模のネットワークに適した接続形態。専用のサーバコンピュータを必要とせず、コンピュータどうし、コンピュータとプリンタ間で対等に通信が可能となる。本プリンタをピア・ツー・ピア接続して使用するためにはLANボードが必要。本書ではピア・ツー・ピア型ネットワークとも呼んでいる。(→クライアント・サーバ)

ピクセル
ディスプレイ上の点。画像の最小単位。

ビットマップ
画面やプリンタに出力されるイメージを表す連続した点の集合。

フォーム印刷
見出し文字や罫線枠などのフォームデータを文章データと重ね合わせて印刷すること。フォームデータを作成するには別売のアプリケーションが必要。

フォント
同じ外観、サイズ、スタイルの文字、数字、記号またその他のシンボル等の集合。

不揮発性メモリ
プリンタの電源をOFFにしても記憶した内容が消えていないメモリ。

フューザユニット
用紙上のトナーを光熱によって溶かし、圧力を加えて用紙に固定させるためのもの。フラッシュランプと用紙送りローラで構成されている。

ブラシパターン
図形を塗りつぶすためのある一定のパターン。

プリンタケーブル
コンピュータとプリンタを接続するケーブル。インタフェースケーブルとも呼ばれる。

プリンタドライバ
コンピュータとプリンタの間のやり取りを仲介するプログラム。インタフェースやフォントの指定、インストールされたプリンタの機能などの情報を、Windowsに提供する。

プロトコル
コンピュータが他のコンピュータや周辺機器と通信するための規約。

プロパティ

オブジェクトの属性のこと。Windows Me/98/95、Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Windows NT 4.0では、タイトルの色の設定やプリンタの設定状態などを示す用語として広く使われている。Windows Me/98/95、Windows XP/Windows 2000/Windows 8/7/Windows Vista/Windows Server 2012/2008 R2/2008/2003/Windows NT 4.0のアプリケーションガイドラインでは、マウスの右ボタンをクリックすることにより、いつでもオブジェクトのプロパティを表示させることができる。

プロポーショナル文字

印刷される文字により、印刷幅を変えて印刷する文字のこと。

ページ記述言語

1ページ分のテキスト（文字）やグラフィック（図形）のデータ、位置情報などを正確に表すための言語。

ページプリンタ

ページ単位で印刷を行うプリンタ。1ページ分のデータをプリントイメージとしてメモリ上に展開（作成）して印刷を行うプリンタのこと。

ポイント（マウスの）

マウスのポインタを目的の項目の上に置く動作。

ポイント（文字の）

印刷される活字の大きさの単位で、1ポイントは0.35mm（1/72インチ）。

ポート

プリンタなどの装置をコンピュータに接続するために使う接続先。

ボタン

ダイアログボックス中のボタンの絵。選択した動作の実行やキャンセルを行う。［OK］ボタンや［キャンセル］ボタンなどがある。

マウスポインタ

マウスの動きに応じて画面上を移動する矢印の形をしたマーク。

メニュー

ウィンドウで使用できるコマンドの一覧。メニュー名をクリックするとメニュー名に関連するコマンドの一覧が表示される。

メニューモード

プリンタの設定をプリンタの主操作パネルを使ってメニュー形式で行うモード。

メニューバー

すべてのメニュー名が表示されるバー。ほとんどのアプリケーションで、このバーは、タイトルバーの下に表示される。

メモリ

データを保存する装置。または情報やプログラムの一時的な記憶場所。

メモリスイッチ

不揮発性メモリを利用してプリンタのさまざまな設定を行うスイッチ。機械的にオン／オフを切り替えるスイッチではなく、電気的に切り替えるスイッチ。

用紙ジャム

用紙がつまってプリンタが動作しなくなった状態をいう。

ラジオボタン

ダイアログボックスで複数の選択肢の中から一つを選ぶためのボタン。どれかを選択すると、それまでオンだったものが連動してオフになる。

リストボックス

ユーザに対して、項目の一覧を表示するためのボックス。通常、現在選択されている項目を表示している。

リブプレート

転写後の用紙をフューザ部まで正しく送り込むための用紙ガイド。

レーザプリンタ

電子写真式のページプリンタの代表的タイプ。ドラムにレーザ光、液晶シャッタで遮った蛍光灯や発光ダイオードなどの光をあてて像を作り、トナーで現像して紙に転写するプリンタのこと。

連量

用紙の重さを表す単位。一般に788×1091mmのサイズの用紙1000枚当たりの重さをいう。

ローカルプリンタ

コンピュータと直接プリンタケーブルで接続しているプリンタ。

索　引

記号

100BASE-TX 88
10BASE-T 88
136 桁モード 151
136 桁モード設定 147
16 進ダンプ印刷 147
1 バイト系ゼロ 147
2 バイト系ゼロ 147
7 ビット／8 ビットデータ 151

A

ANK 147
AutoIp 設定 91

B

BARCODE 38

C

CDFE.exe 38
CPU 298
CR 151

D

DHCP 90, 112, 119
DHCP サーバ 115
DocuWorks 体験版 38
DW 38

E

ESC c1 151
ESC/P エミュレーション 72, 340

F

FF 151
FONTS 38
FORMPRN 38
FTP タイムアウト 91
Full Duplex 88

G

Get Request・Set Request 120

H

Half Duplex 88

I

I/F 設定メニュー 147
IP アドレス 90, 93, 96

J

JOB END マーク 152
Jumbo Packet 89

K

KeepAlive 91

L

LAN
　管理者設定画面 87
　設定情報 86
LAN ケーブル 74
LAN 初期化実行 148
LAN ステータス印刷実行 147
LAN ボード 74
LAN ポート基本設定画面 88
LL プリンタ支援ソフトウェア 44, 250, 287
［LOCAL］スイッチ 157
LOCAL ランプ 137, 157
LPR 101, 107
LPR バイトカウント 111

M

MDI/MDIX 89
MIB 120
MTU 89

N

NEC FontAvenue TrueType 38
NEC Internet Printing System 38
　Windows Me/98/95 52
　Windows NT 4.0 57
NEC TrueType バーコードフォント 38
NIC F/W Version 83
NIPP100 38
NPDL 333
NPDL 設定メニュー 147
N 面付け印刷 184

O

OCR 用紙 322

P

PAEXT 38
Password 89, 92, 95, 96
Password 設定画面 97
PC カートリッジ 31, 266
PING 91
PrintAgent 287
PrintAgent 拡張モジュール for SimpleMonitor 38
Printer F/W Revision 83

Printer Name 83
PSW 45

R

RAM 298
RFC1213 120
RFC1514 122
RFC1759 123

S

SIF 環境 44
SimpleMonitor 39, 45, 246
削除 71
SMTP 設定画面 94
SNMP 120
SNMP MIB-II 120
SNMP 設定画面 93
SNMP ホストリソース MIB 122
Standard TCP/IP Port 107

T

TCP/IP 設定画面 90
Trap 93, 125
TR ペーパガイド 33

U

UNIX コマンド 98
UNIX 用印刷サービス 101

W

WWW ブラウザ 113

あ

アクセス制限 91
アラーム検出 152
アラーム表示 278
アラームランプ 137
アンインストール 65
安全上のご注意 16
安全にお使い いただくために 13
安全にかかわる表示 2

い

一時停止 166
色付き用紙 313
印刷 166, 182
印刷可能桁数 152
印刷可能領域 302
印刷可ランプ 137
印刷指令 151
印刷設定メニュー 147
印刷速度 298
印刷できない 272
印刷の異常 273
印刷濃度 169
印刷範囲 179
印刷物の保存 327
印刷方式 298
印刷保証範囲 325
印刷むら 274
印刷文字 298
印刷履歴 85
印刷ログ 89
印字位置微調整 167
印字抜け 274
インストール
UNIX 用印刷サービス 101
Windows Me/98/95 52
Windows NT 4.0 57
Windows XP/2000Windows 7/
Windows Vista/Windows Server 2003.. 46
プリンタドライバ 103
インタフェース 298
インタフェース設定 147
インナユニット 32

う

ウエットワイパ 251
ウォームアップの待ち時間 298
運用設定メニュー 147

え

エアフィルタ 32
エミュレーション 147
エミュレーションモード 151
エンボス用紙 320

お

扇形描画 385
オートロードパネル 144
オートロードローラ 31
オーバーフィードランプ 137
送り孔 302
折りたたみ長さ 301

か

ガードネット 34
カード媒体 322
外観図 29
解像度 298
各国文字 151
各部の名称 29
カスタマバーコード 364
角丸矩形描画 386
かぶり 274
環境条件 298
漢字 147
漢字コード表切り替え 374
かんたん設定 192
関連製品 249

き

機能拡張制御コード 341
給紙容量 298
行桁制御印刷コード 345
共有プリンタ 62
共有プリンタの設定 62

く

国別 147
グレースケール 151

け

警告ラベル 13
ゲートウェイ 90
言語 298
現像方式 298

こ

交換
PC カートリッジ 266
トナーカートリッジ 260
廃トナーボックス 264
故障 271
コピー枚数設定 147
コミュニティ名 93
コンフィグレーションページ 75

さ

最大印刷行数 298
最大印刷桁数 298
最大セッション数 91
座標指定単位 362
サブネットマスク 90
サポートアーム 30
サポート用紙サイズ 177

し

シークレットラベル用紙 320
シールはがき用紙 315
紙質 301
質量 299
自動排出 147
自動復帰改行 151
斜傾防止ガイド 170
周波数 298
修理 272
主操作パネル 31, 132
寿命 28, 299
仕様 298
消耗品 270
初期化メニュー 148
初期状態 333
地汚れ 274

す

スイッチ 138
[+] スイッチ 141
[-] スイッチ 141
[◀] スイッチ 142
[▲] スイッチ 142
[▶] スイッチ 142
[▼] スイッチ 142
[LOCAL] スイッチ 139
[印刷可] スイッチ 140, 166
[決定] スイッチ 142
[スキップ] スイッチ 140, 144
[ストップ] スイッチ 140
[設定] スイッチ 142
[節電中／解除] スイッチ 140
[全送り] スイッチ 173, 140
[選択] スイッチ 141
[中止] スイッチ 144
[テーブルアップ] スイッチ 145
[テーブルストップ] スイッチ 145
[テーブルダウン] スイッチ 145
[電源 OFF] スイッチ 139
[電源 ON] スイッチ 139
[排出] スイッチ 143
[プリンタ印刷可] スイッチ 145
[プリンタストップ] スイッチ 145
[プリンタ頁送り] スイッチ 145
[頁送り] スイッチ 140
[メニュー終了] スイッチ 142
[メニュー] スイッチ 141
[戻る] スイッチ 142
[リセット] スイッチ 143
[ロード] スイッチ 144
水平 167
透かし入り用紙 320
図形モード 339, 341
スタッカテーブル 171
スタッカテーブル部 34
スタッカパネル 34, 145
スタック容量 298
ステータス印刷実行 147
スライドパドル 161
寸法 299

せ

制御コード 335
清掃 251
ADC センサ 258
転写チャージャ 257
トラクタ周辺 255
フラッシュランプ部の窓ガラス 253
前扉の内側 257
清掃筆 251
設定記憶実行 148
設定の概要
Windows Me/98/95 217
Windows NT 4.0 233
プリンタのドキュメントのプロパティ . 237

プリンタのプロパティ 233
Windows XP/2000/Windows 7/ Windows Vista/Windos Server 2003 . 202
設定呼び出し実行 148
節電機能 147, 151
節電時間 147
節電中／解除ランプ 137
ゼロの字体 151
全設定初期化実行 148
全排出 173

そ

総印字枚数 147
操作の手順 155
操作パネル 131
ソータ制御 375

た

楕円弧描画 383
正しく動作させるために 22
タック紙 318

ち

中質紙 313
帳楽 38

つ

通常使うプリンタ 183
通常表示 133
通信速度 88
通信タイムアウト 91
通信ログ印刷実行 147
坪量 301
ツマミネジ 32

て

定格電流 298
定期交換部品 28
ディスプレイ 132
ディスペンサユニット 31
定着方式 298
定着むら 275
データランプ 137
テキストモード 336, 341
テスト印刷メニュー 147
デュプレックスモード 88
電圧 298
[電源 OFF] スイッチ 157
電源 ON/OFF 156
[電源 ON] スイッチ 157
電源周波数 298
電源スイッチ 139
電源電圧 298
電源の OFF 158
電源の ON 157
電源ランプ 137
転写チャージャ 257
添付品 300
電流 298

と

動作エミュレーション 147
動作自動切り替え 147
動作設定メニュー 147
透明フィルム 320
特殊紙 313
特定表示 134
塗工紙 320
ドット列印刷モード 151
トナーキット 260
トラクタ（転写後） 31
トラクタ（転写前） 33
トラクタロック解除レバー 31
取り扱い上のご注意 24

な

内蔵文字 391

ぬ

塗りつぶし 381

ね

ネットワーク 286
ネットワーク環境 42
ネットワーク設定 73
ネットワーク設定の初期化 130
ネットワークポートの作成 100

の

濃度不良 273
ノンカーボン紙 321

は

バーコード 349
バーコード 400dpi 補正 152
廃棄 270
廃トナーボックス 35, 264
廃トナーボックスカバー 30
白紙出力 151
パスワード 89, 92, 95, 96, 97
発熱量 298

ひ

描画コード 376

ふ

ファーストプリントタイム 298
フィルム 320
フードカバー 30
フォーム登録用紙 181

フォント設定メニュー 147
複数ページ印刷 190
ブザー機能 151
フューザカバー 30
ブラシ開閉レバー 162
フラッシュランプ 32
フラッシュランプ部の窓ガラス 253
プリンタ MIB 123
プリンタ言語一覧 84
プリンタ構成 84
プリンタソフトウエア
　動作環境 40
　容量 41
プリンタソフトウエア CD-ROM 38
プリンタソフトウエアインストールメニュー ... 46
プリンタソフトウエアのインストール 46
プリンタソフトウエアのインストールと削除 ... 37
プリンタソフトウエアの削除 65
プリンタ単位 380
プリンタドライバ 39, 176
　削除 65
プリンタドライバの削除 65
プリンタの一覧 45
プリンタの情報 84
プリンタのステータス 83
プリンタを使いこなす 175
プリンティングステータスウィンドウ 45
プレプリント用紙 311
プロパティシート 218
プロパティダイアログボックス 195
　Windows Me/98/95 214
　Windows NT 4.0 230
　Windows XP/2000/Windows 7/
　Windows Vista/Windows Server 2008 R2/
　2008/2003 195

へ

ページ制御コード 356
ページフォーマットの回転 152
ペーパガイド 31
ペーパドア 162

ほ

ボイド 275
保護レバー 31
保守員を呼ぶ前に 296
補修用部品 28
保守サービス 27

ま

前扉 30

み

ミシン目 304
乱れ 275

む

むら 274

め

メインブレーカ 35
メールアドレス 94
メールサーバ 94
メールシール紙 314
メール通知 94
メニュー設定初期化実行 148
メニューツリー 153
メニューモード 146
メニューモード時のスイッチ 142
メモリスイッチ 149
メモリスイッチメニュー 148
面制御コード 355

も

文字間隔 392
文字構成 392
文字コード表 394
文字スタイル制御コード 342
文字セット 147
文字セット制御 363
文字の種類 391
文字ロード 346

ゆ

ユーザサポート 27
有寿命部品 28
弓形描画 384

よ

用紙 298
　規格 301
　保管条件 326
用紙位置 151
用紙ガイド 162
用紙下端 1/6inch 152
用紙経路 159
用紙検出センサ 33
用紙交換 173
用紙ジャム 289
用紙設計 328
用紙センサ 162
用紙長ダイアルゲージ 34, 161
用紙長の設定 160
用紙のセット 159
用紙の登録 213
用紙の取り出し 171
用紙幅 301
用紙幅調整ノブ 162

ら

ランプ 137

り

領域指定イメージ..... 361
利用情報 96
利用情報設定画面..... 96

れ

レフトマージン..... 151
連続印刷実行 147
連量..... 301

ろ

ログインユーザ名..... 96
ロックレバー 33
論理用紙サイズ..... 187

わ

ワイピングガーゼ..... 251
ワイヤクリーナ..... 251

電波障害自主規制について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスA情報技術装置です。この装置を家庭環境で使用すると電波妨害を引き起こすことがあります。この場合には使用者が適切な対策を講ずるよう要求されることがあります。

電源の瞬時電圧低下対策について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお勧めします。
（社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示）

輸出に関する注意事項

本製品（ソフトウエアを含む）は、日本国内のみに使用を限定する装置です。国外への輸出はできません。

NEC

604E 28384

この説明書は、リサイクルに配慮して製本されています。
この説明書が不要になった際、回収・リサイクルに出しましょう。